

田 原 市  
市 民 意 識 調 査  
報 告 書

令和7年12月

田 原 市



# 目次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	1
II 調査結果.....	2
1 市民意識調査.....	2
（1）回答者属性.....	2
（2）あなたの幸福感について.....	4
（3）田原市の住みやすさについて.....	12
（4）各分野での市の取り組みについて.....	35
（5）個別の取り組みについて.....	84
（6）市政に対するご意見.....	163
2 市内事業者.....	167
（1）回答者属性.....	167
（2）田原市の事業環境について.....	171
（3）あなたの事業所の事業について.....	174
（4）市の施策について.....	178
（5）従業員の雇用環境について.....	194
（6）従業員の市内定住対策について.....	195
（7）農業分野での事業展開について.....	196
（8）環境共生について.....	197
（9）男女共同参画について.....	198
（10）地域社会への貢献活動について.....	199
（11）デジタル社会について.....	203
（12）市政に対するご意見.....	208

3	市内農業者.....	209
	(1) 回答者属性.....	209
	(2) 田原市の農業全般について.....	215
	(3) あなたの農業経営について.....	217
	(4) 多様な担い手の育成について.....	221
	(5) 農業経営の活性化について.....	225
	(6) 環境保全型農業の推進について.....	229
	(7) 交流・食育・花育の推進について.....	233
	(8) 農業基盤の整備について.....	235
	(9) 農地の保全・活用の推進について.....	237
	(10) 市政に対するご意見.....	240
4	市内漁業者.....	241
	(1) 回答者属性.....	241
	(2) 田原市の漁業全般について.....	244
	(3) あなたの漁業経営について.....	245
	(4) 水産資源の安定確保について.....	248
	(5) 漁業経営の活性化について.....	251
	(6) 水産施設の充実について.....	256
	(7) 市政に対するご意見.....	258
5	市内団体.....	259
	(1) 回答者属性.....	259
	(2) 団体の活動について.....	267
	(3) 市との連携・協力について.....	275
	(4) 市政に対するご意見.....	286
6	中学生.....	288
	(1) あなたにとっての『幸せ』について.....	288
	(2) あなたの学校生活について.....	291
	(3) あなたの普段の生活・家族との関係について.....	292
	(4) その他.....	294
Ⅲ	調査票.....	295
1	市民意識調査.....	295
2	市内事業者.....	299
3	市内農業者.....	302
4	市内漁業者.....	304
5	市内団体.....	306
6	中学生.....	308

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

市が行う取り組みに対する満足度、重要度及び市民意識の把握を行い、調査項目の多角的な分析を行うことで、市民意識の市政への反映と総合計画の着実な推進を図ることを目的としています。

## 2 調査対象

市民意識調査：田原市に居住する満18歳以上の3,500人

市内事業者調査：田原市内の事業者100人

市内農業者調査：田原市内の農業従事者100人

市内漁業者調査：田原市内の漁業従事者100人

市内団体調査：田原市内の団体100団体

中学生調査：田原市内の中学2年生543人

## 3 調査期間

令和7年7月1日～令和7年7月22日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収及びWEBによる回答

## 5 回収状況

調査対象	配布数	回答件数	回収率
一般市民	3,500通	1,398件	39.9%
事業者	100件	41件	41.0%
農業者	100件	46件	46.0%
漁業者	100件	33件	33.0%
市内団体	100件	53件	53.0%
中学生	543件	489件	90.1%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

## II 調査結果

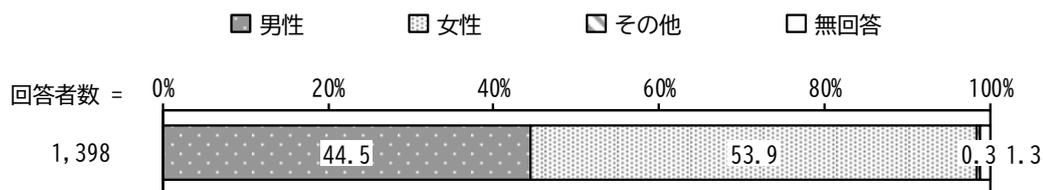
### 1 市民意識調査

#### (1) 回答者属性

問1 あなた自身の令和7年7月1日現在の状況についてお聞きします。  
(あてはまるもの1つに○)

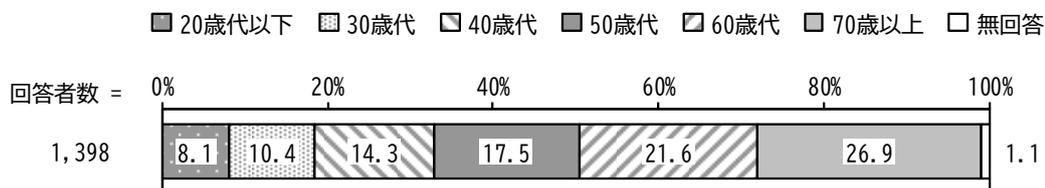
##### (1) 性別

「男性」の割合が44.5%、「女性」の割合が53.9%となっています。



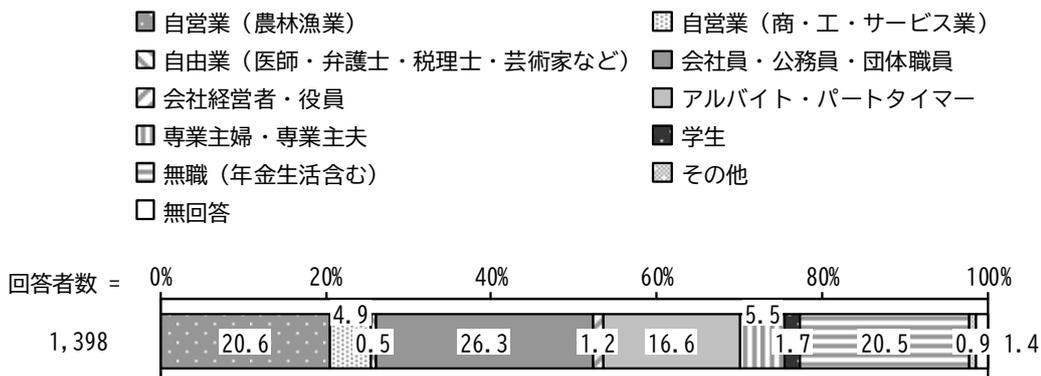
##### (2) 年齢

「70歳以上」の割合が26.9%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が21.6%、「50歳代」の割合が17.5%となっています。



##### (3) 職種など

「会社員・公務員・団体職員」の割合が26.3%と最も高く、次いで「自営業（農林漁業）」の割合が20.6%、「無職（年金生活含む）」の割合が20.5%となっています。



(4) お住まいの小校区

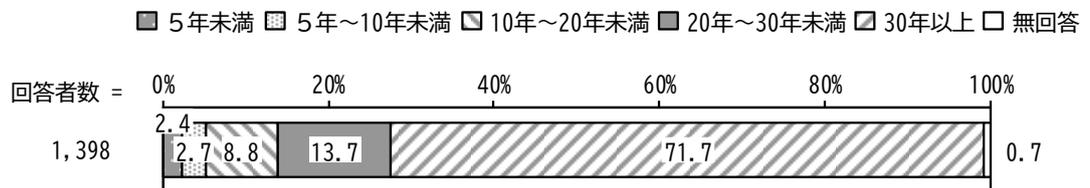
「童浦」の割合が10.7%と最も高く、次いで「田原中部」の割合が10.1%となっています。

単位：%

回答者数(件)	六連	神戸	大草	田原東部	田原南部	童浦	田原中部	衣笠	野田	高松	赤羽根	若戸	伊良湖岬(和地)	伊良湖岬(堀切)	伊良湖岬(伊良湖)	亀山	中山	福江	清田	泉	わからない	無回答
1,398	2.6	8.7	1.6	7.2	3.6	10.7	10.1	9.6	5.8	2.9	3.4	2.4	1.9	2.9	1.1	1.6	6.3	5.7	3.6	6.2	1.4	0.8

(5) 田原にお住まいの延べ年数(旧渥美郡含む)

「30年以上」の割合が71.7%と最も高く、次いで「20年～30年未満」の割合が13.7%となっています。

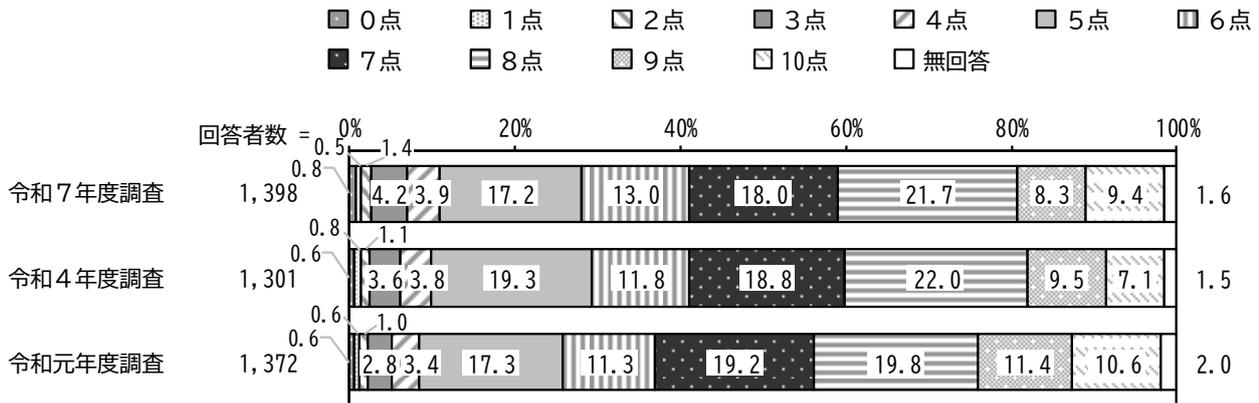


## (2) あなたの幸福感について

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになりますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

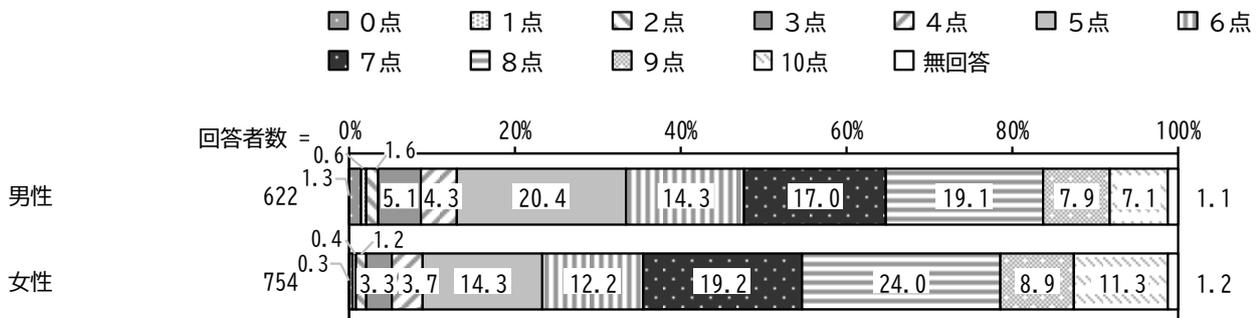
平均点は6.75点で、「8点」の割合が21.7%と最も高く、次いで「7点」の割合が18.0%、「5点」の割合が17.2%となっています。

令和4年度調査の平均点(6.71点)と比べて、0.04ポイント高くなっており、令和元年度調査の平均点(6.95点)と比べて、0.2ポイント低くなっています。



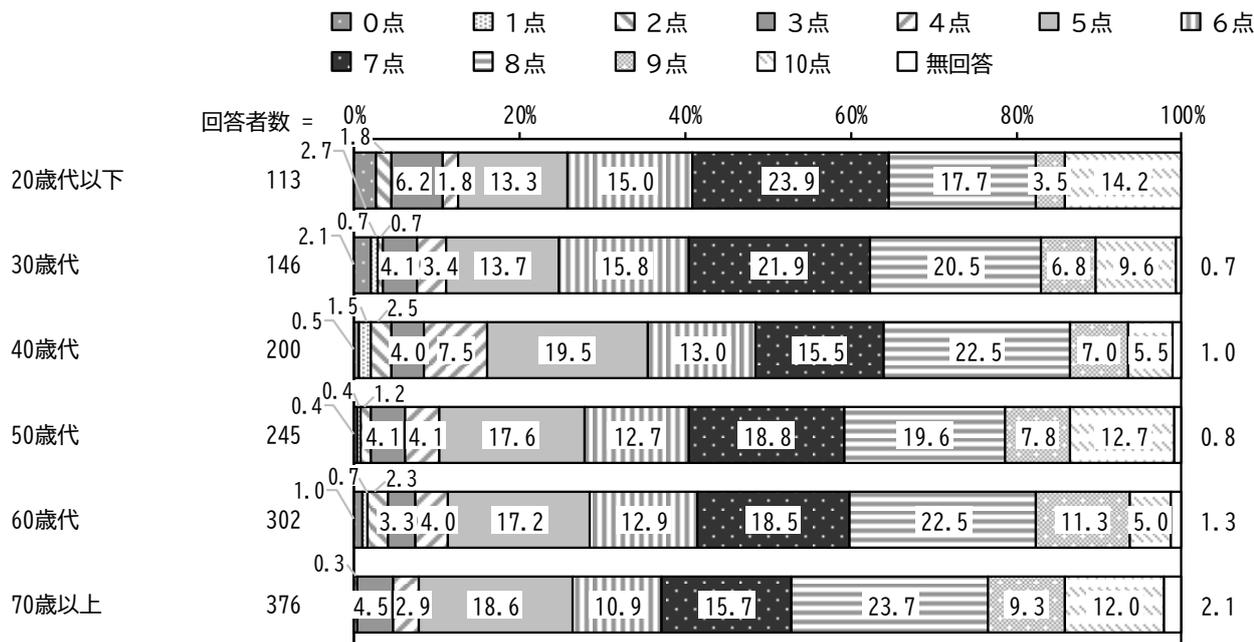
### 【性別】

性別で見ると、《女性》で“8～10点”の割合が、男性に比べ高く、4割を超えています。



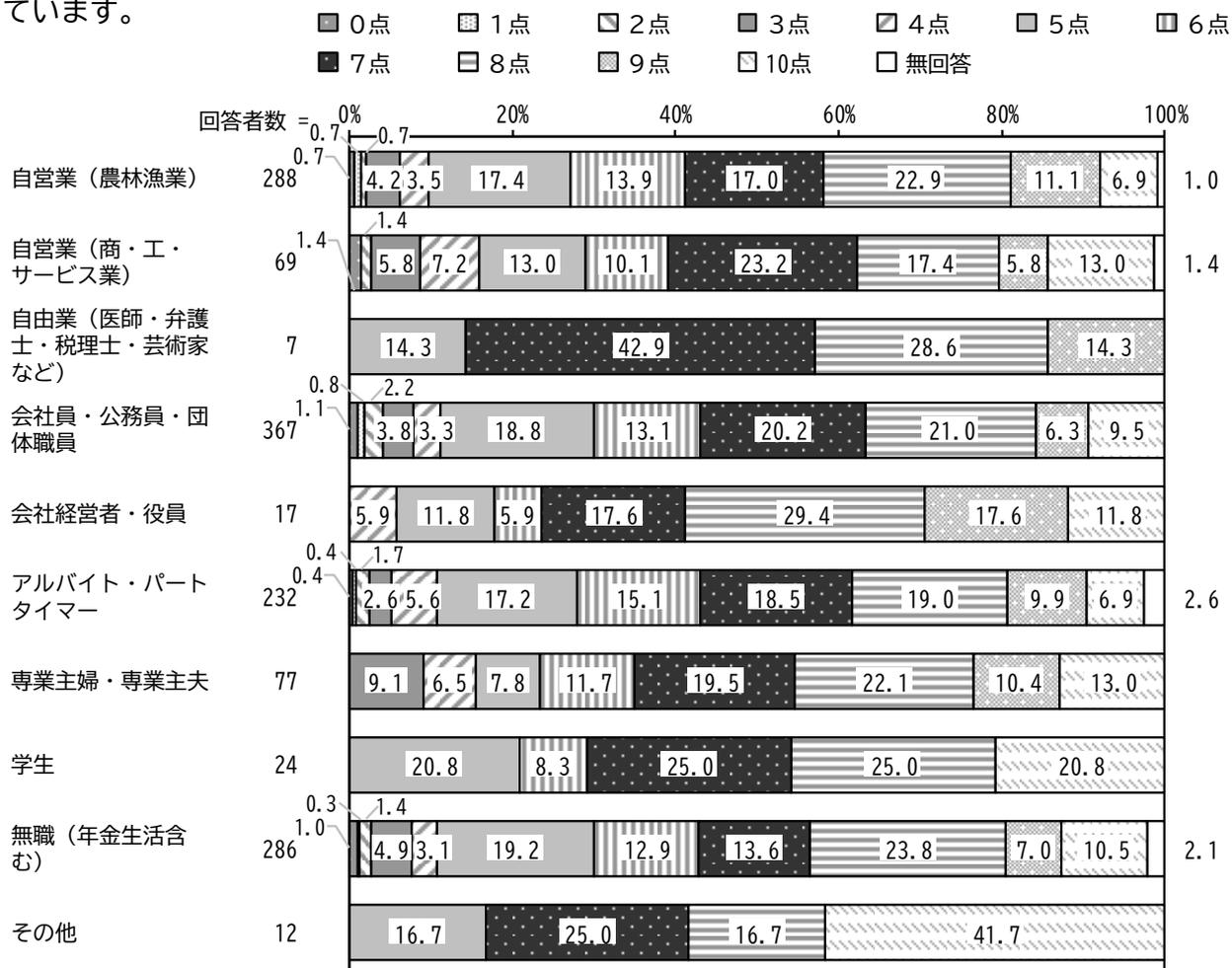
【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど“8～10点”の割合が高い傾向にあり、《70歳以上》で4割を超えています。



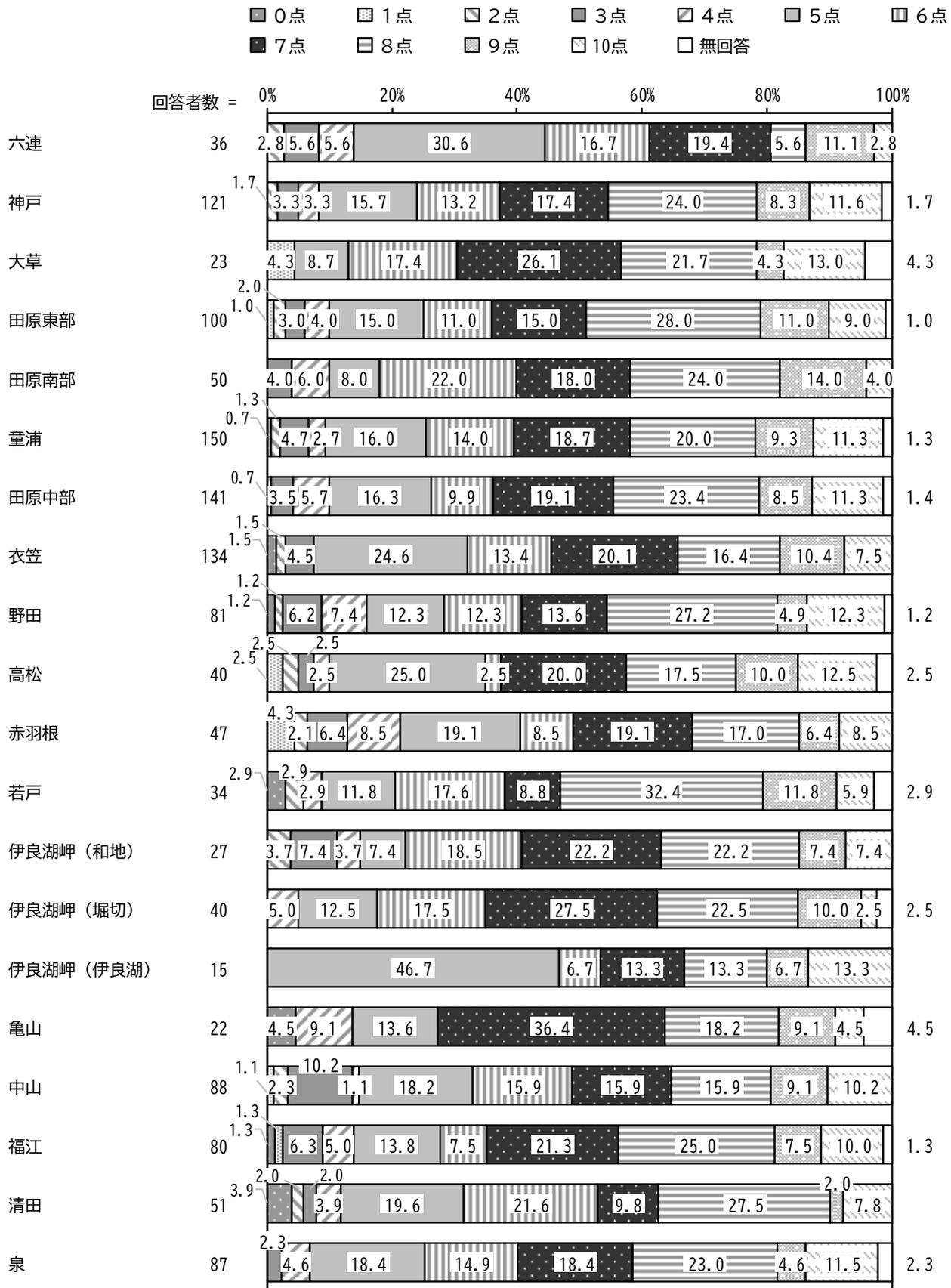
【職業別】

職業別でみると、《会社経営者・役員》で“8～10点”の割合が、他の職業に比べ高く、5割を超えています。



【地区別】

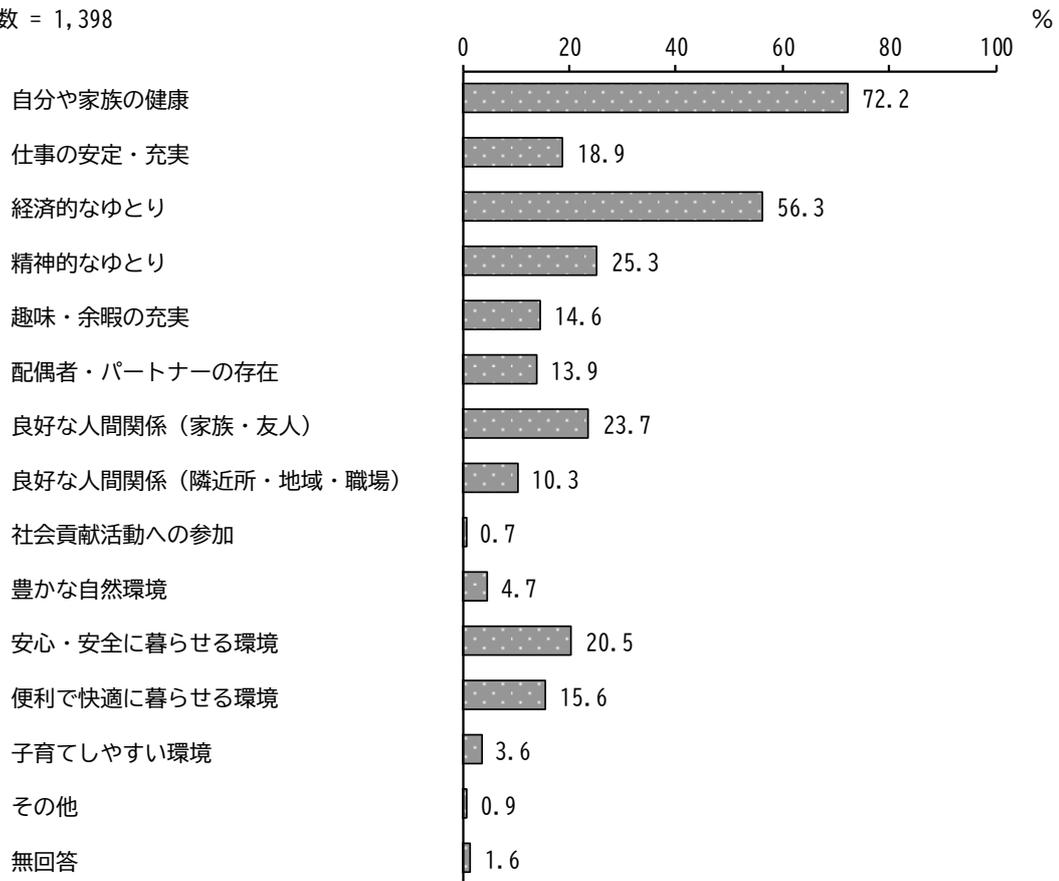
地区別でみると、《若戸》で“8～10点”の割合が、他の地区に比べ最も高く、5割を超えています。



問3 幸福感を高めるために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

「自分や家族の健康」の割合が72.2%と最も高く、次いで「経済的なゆとり」の割合が56.3%、「精神的なゆとり」の割合が25.3%となっています。

回答者数 = 1,398



【性別】

性別でみると、「自分や家族の健康」「仕事の安定・充実」「精神的なゆとり」「趣味・余暇の充実」「配偶者・パートナーの存在」「良好な人間関係（家族・友人）」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分や家族の健康	仕事の安定・充実	経済的なゆとり	精神的なゆとり	趣味・余暇の充実	配偶者・パートナーの存在	良好な人間関係(家族・友人)
全体	1,398	72.2	18.9	56.3	25.3	14.6	13.9	23.7
男性	622	67.4	23.2	58.2	22.3	18.6	17.0	17.8
女性	754	76.7	15.3	55.6	28.1	11.7	11.3	28.6

区分	良好な人間関係(隣近所・地域・職場)	社会貢献活動への参加	豊かな自然環境	安心・安全に暮らせる環境	便利で快適に暮らせる環境	子育てしやすい環境	その他	無回答
全体	10.3	0.7	4.7	20.5	15.6	3.6	0.9	1.6
男性	9.0	0.6	5.3	19.5	15.0	4.5	1.3	1.0
女性	11.3	0.8	4.1	21.4	15.9	2.9	0.7	1.5

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「自分や家族の健康」「安心・安全に暮らせる環境」の割合が高い傾向にあり、「趣味・余暇の充実」の割合が低い傾向にあります。また、《30歳代》《40歳代》で「子育てしやすい環境」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分や家族の健康	仕事の安定・充実	経済的なゆとり	精神的なゆとり	趣味・余暇の充実	配偶者・パートナーの存在	良好な人間関係(家族・友人)
全体	1,398	72.2	18.9	56.3	25.3	14.6	13.9	23.7
20歳代以下	113	48.7	20.4	60.2	25.7	34.5	10.6	24.8
30歳代	146	63.0	23.3	62.3	24.0	19.9	13.0	21.2
40歳代	200	66.5	26.5	65.5	32.5	16.0	9.0	22.5
50歳代	245	73.9	29.4	62.4	28.6	12.7	11.4	20.4
60歳代	302	77.2	17.5	59.3	25.5	11.3	12.3	26.2
70歳以上	376	81.4	7.2	43.4	20.5	10.4	21.0	24.7

区分	良好な人間関係(隣近所・地域・職場)	社会貢献活動への参加	豊かな自然環境	安心・安全に暮らせる環境	便利で快適に暮らせる環境	子育てしやすい環境	その他	無回答
全体	10.3	0.7	4.7	20.5	15.6	3.6	0.9	1.6
20歳代以下	8.8	0.0	5.3	8.8	19.5	4.4	3.5	0.9
30歳代	8.2	1.4	4.1	14.4	13.0	11.0	0.0	3.4
40歳代	7.0	0.5	3.5	15.0	12.0	8.5	0.5	0.5
50歳代	10.6	0.0	4.1	15.9	13.9	2.0	0.8	1.2
60歳代	10.9	0.3	2.6	24.2	16.9	2.0	1.3	0.7
70歳以上	12.8	1.6	7.7	29.8	17.8	0.5	0.5	1.3

【職業別】

職業別でみると、《会社経営者・役員》で「自分や家族の健康」「仕事の安定・充実」「良好な人間関係（家族・友人）」、《学生》で「経済的なゆとり」の割合が、他の職業に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自分や家族の健康	仕事の安定・充実	経済的なゆとり	精神的なゆとり	趣味・余暇の充実	配偶者・パートナーの存在	良好な人間関係(家族・友人)
全体	1,398	72.2	18.9	56.3	25.3	14.6	13.9	23.7
自営業（農林漁業）	288	76.7	31.9	56.9	23.6	9.7	16.3	22.9
自営業（商・工・サービス業）	69	69.6	33.3	50.7	20.3	10.1	13.0	23.2
自由業（医師・弁護士・税理士・芸術家など）	7	100.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	42.9
会社員・公務員・団体職員	367	65.1	20.7	66.8	25.6	24.5	14.2	19.1
会社経営者・役員	17	88.2	47.1	41.2	29.4	0.0	5.9	47.1
アルバイト・パートタイマー	232	70.7	19.0	61.2	32.8	12.5	7.8	25.0
専業主婦・専業主夫	77	72.7	5.2	59.7	24.7	6.5	16.9	26.0
学生	24	58.3	12.5	75.0	25.0	25.0	4.2	33.3
無職（年金生活含む）	286	79.0	2.1	40.9	22.4	12.9	18.9	26.6
その他	12	66.7	25.0	41.7	33.3	8.3	0.0	25.0

区分	近所・地域・職場）良好な人間関係（隣	参加 社会貢献活動への	豊かな自然環境	安心・安全に暮らせる環境	便利で快適に暮らせる環境	子育てしやすい環境	その他	無回答
全体	10.3	0.7	4.7	20.5	15.6	3.6	0.9	1.6
自営業（農林漁業）	6.9	0.0	2.8	17.7	12.8	2.4	0.3	1.0
自営業（商・工・サービス業）	10.1	0.0	8.7	18.8	20.3	7.2	1.4	0.0
自由業（医師・弁護士・税理士・芸術家など）	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
会社員・公務員・団体職員	8.4	0.3	3.5	14.7	15.0	6.8	1.1	1.1
会社経営者・役員	5.9	0.0	0.0	23.5	5.9	0.0	0.0	0.0
アルバイト・パートタイマー	11.2	0.4	3.0	19.8	12.1	3.4	0.4	2.2
専業主婦・専業主夫	13.0	0.0	6.5	29.9	20.8	5.2	1.3	0.0
学生	16.7	0.0	8.3	12.5	20.8	0.0	4.2	0.0
無職（年金生活含む）	13.6	2.1	6.6	30.1	20.6	0.7	1.4	1.4
その他	25.0	8.3	25.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

【地区別】

地区別でみると、《大草》で「精神的なゆとり」、《伊良湖岬（伊良湖）》で「便利で快適に暮らせる環境」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康 自分や家族の	充実 仕事の安定・	り 経済的なゆと	り 精神的なゆと	充実 趣味・余暇の	トナー 配偶者・パ	係 良好な人間関 (家族・友
全体	1,398	72.2	18.9	56.3	25.3	14.6	13.9	23.7
六連	36	69.4	16.7	47.2	27.8	19.4	16.7	25.0
神戸	121	74.4	16.5	61.2	24.0	10.7	17.4	23.1
大草	23	78.3	13.0	39.1	43.5	13.0	21.7	34.8
田原東部	100	71.0	18.0	52.0	20.0	15.0	14.0	22.0
田原南部	50	74.0	24.0	56.0	22.0	20.0	6.0	12.0
童浦	150	68.0	12.7	64.0	28.0	18.7	12.7	22.0
田原中部	141	71.6	20.6	52.5	22.7	16.3	14.2	19.1
衣笠	134	79.1	17.2	59.0	30.6	9.7	11.9	29.1
野田	81	65.4	14.8	56.8	25.9	17.3	9.9	23.5
高松	40	75.0	25.0	60.0	22.5	10.0	25.0	17.5
赤羽根	47	85.1	25.5	55.3	31.9	17.0	6.4	21.3
若戸	34	70.6	26.5	38.2	23.5	8.8	20.6	23.5
伊良湖岬(和地)	27	74.1	11.1	66.7	29.6	14.8	14.8	37.0
伊良湖岬(堀切)	40	77.5	35.0	70.0	20.0	7.5	10.0	12.5
伊良湖岬(伊良湖)	15	66.7	26.7	60.0	13.3	20.0	13.3	26.7
亀山	22	81.8	22.7	40.9	18.2	22.7	13.6	27.3
中山	88	72.7	23.9	63.6	26.1	12.5	13.6	30.7
福江	80	70.0	16.3	56.3	23.8	20.0	16.3	26.3
清田	51	68.6	23.5	54.9	23.5	11.8	17.6	13.7
泉	87	77.0	14.9	55.2	23.0	10.3	13.8	35.6

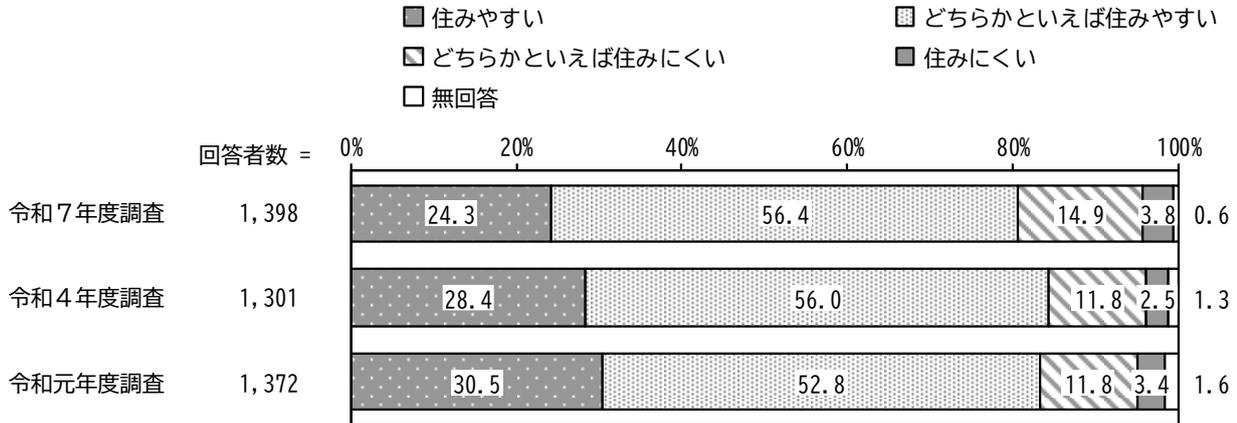
区分	係 良好な人間関 (隣近所・地 域・職場)	へ 社会貢献活動 への参加	境 豊かな自然環	暮 安心・安全に 暮らせる環境	暮 便利で快適に 暮らせる環境	い 子育てしやす い環境	そ 他	無 回答
全体	10.3	0.7	4.7	20.5	15.6	3.6	0.9	1.6
六連	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	2.8	2.8	0.0
神戸	8.3	0.8	3.3	18.2	16.5	7.4	0.0	2.5
大草	4.3	4.3	0.0	17.4	8.7	0.0	0.0	0.0
田原東部	14.0	1.0	8.0	23.0	12.0	2.0	1.0	1.0
田原南部	18.0	0.0	6.0	28.0	12.0	4.0	0.0	2.0
童浦	11.3	0.7	1.3	23.3	10.7	4.0	1.3	3.3
田原中部	11.3	2.1	6.4	29.8	12.1	6.4	0.7	0.7
衣笠	9.0	0.0	4.5	20.9	13.4	3.0	2.2	0.0
野田	18.5	0.0	8.6	14.8	19.8	3.7	0.0	1.2
高松	12.5	0.0	7.5	10.0	22.5	0.0	0.0	2.5
赤羽根	4.3	0.0	4.3	14.9	19.1	4.3	2.1	0.0
若戸	8.8	0.0	5.9	17.6	20.6	5.9	0.0	2.9
伊良湖岬(和地)	7.4	0.0	0.0	11.1	29.6	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬(堀切)	12.5	2.5	2.5	20.0	17.5	2.5	2.5	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	13.3	0.0	0.0	13.3	33.3	0.0	0.0	0.0
亀山	4.5	0.0	9.1	27.3	18.2	4.5	4.5	0.0
中山	6.8	1.1	1.1	11.4	19.3	2.3	0.0	0.0
福江	10.0	1.3	3.8	17.5	18.8	1.3	1.3	1.3
清田	7.8	0.0	3.9	23.5	13.7	5.9	0.0	0.0
泉	6.9	0.0	5.7	23.0	14.9	3.4	0.0	1.1

### (3) 田原市の住みやすさについて

#### 問4 田原市は住みよいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

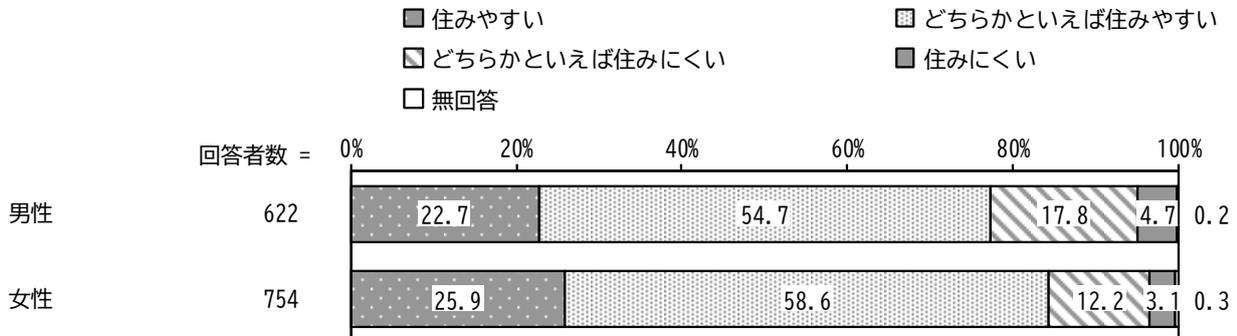
「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”(以下同じ)の割合が80.7%、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」を合わせた“住みにくい”(以下同じ)の割合が18.7%となっています。

令和4年度調査と比べて、“住みやすい”が3.7ポイント減少しています。



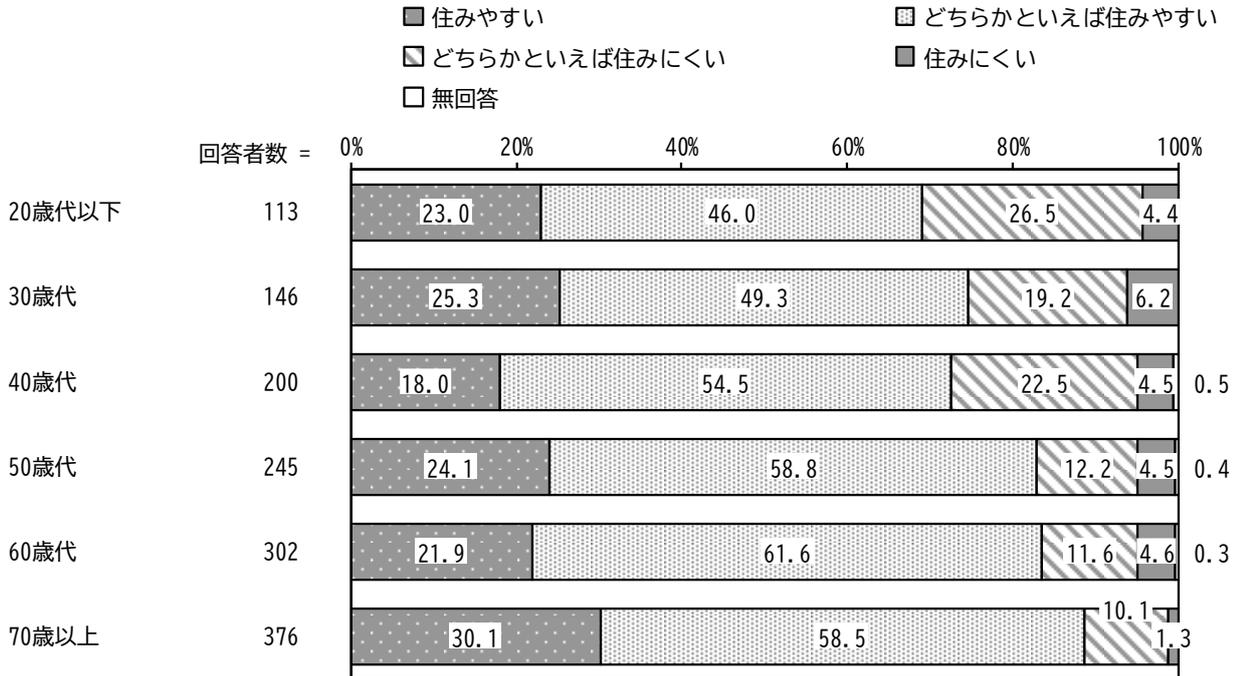
#### 【性別】

性別で見ると、《女性》で“住みやすい”の割合が、男性に比べ高く、8割を超えています。



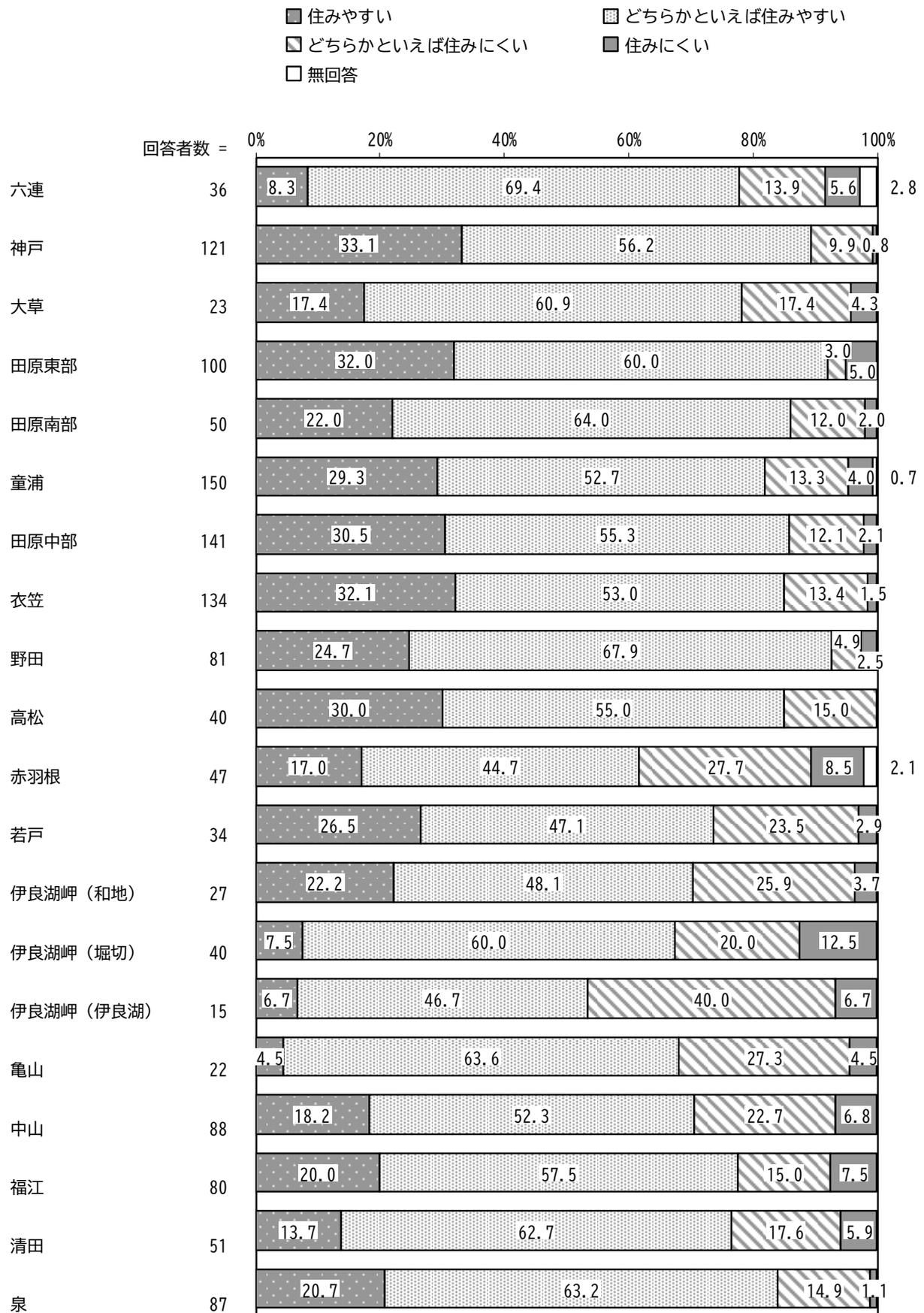
【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど“住みやすい”の割合が高い傾向にあります。また、《40歳代》以下で「どちらかといえば住みにくい」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



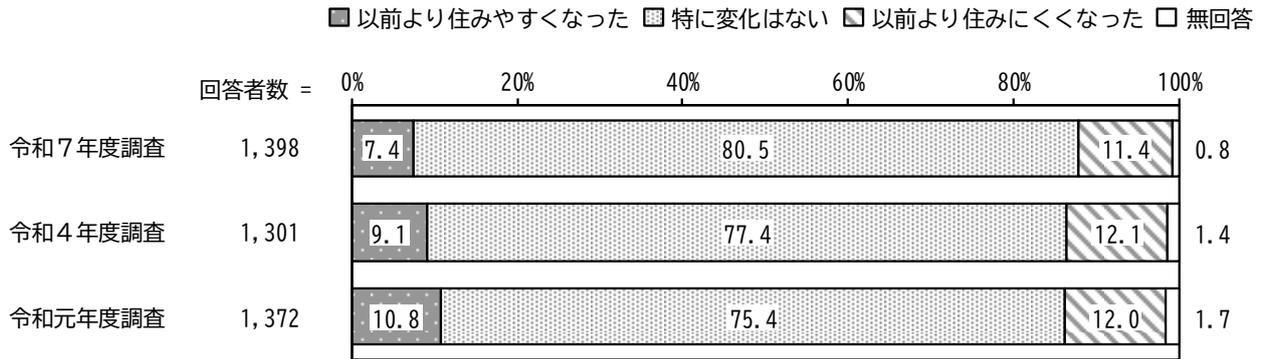
【地区別】

地区別でみると、《田原東部》《野田》で“住みやすい”、《伊良湖岬（伊良湖）》で“住みにくい”の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



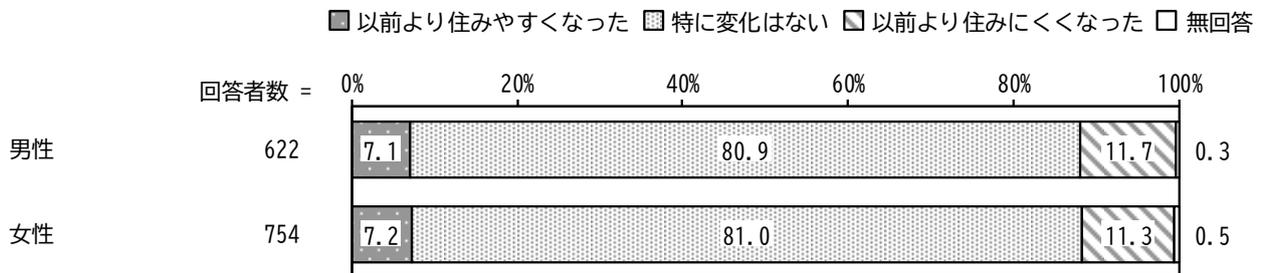
問5 ここ数年の間に、住みごちに变化がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

令和4年度調査と比べて、「以前より住みやすくなった」が1.7ポイント減少しています。



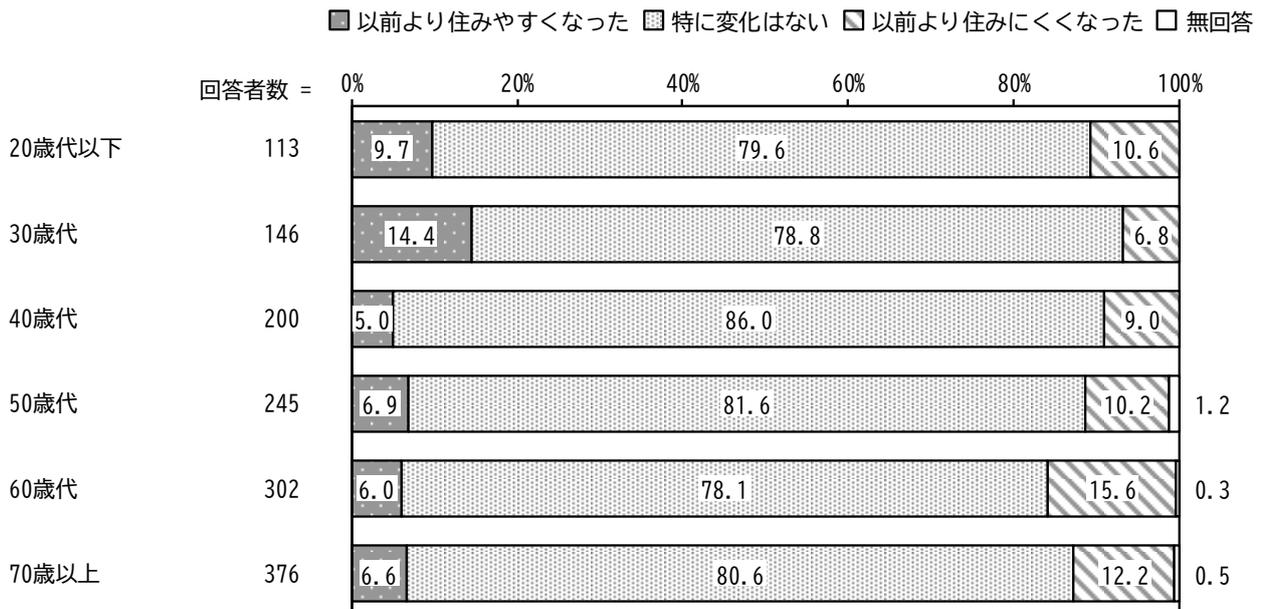
【性別】

性別で見ると、《男性》《女性》ともに「特に変化はない」の割合が高くなっています。



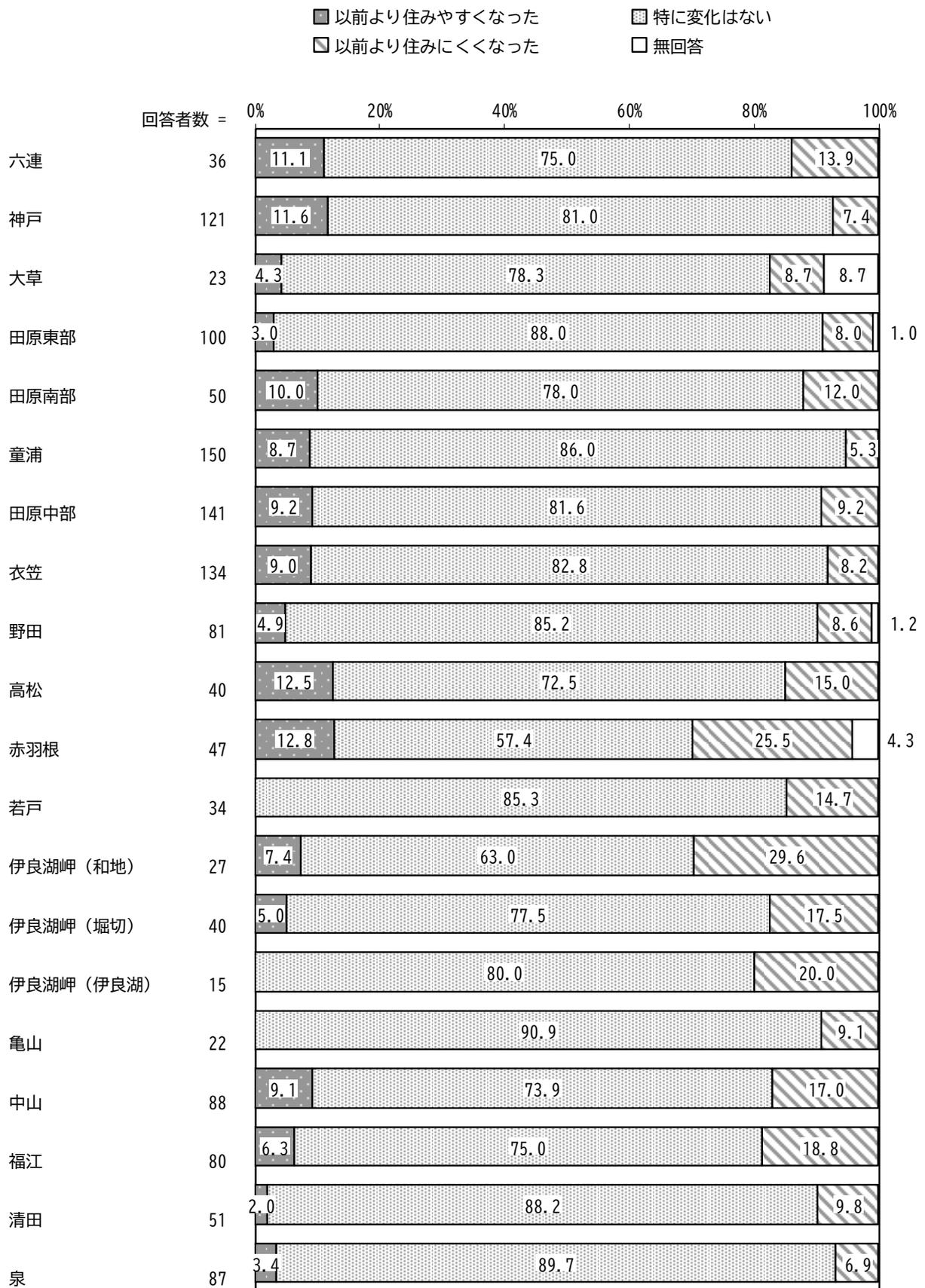
【年齢別】

年齢別で見ると、《30歳代》で「以前より住みやすくなった」、《60歳代》で「以前より住みにくくなった」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

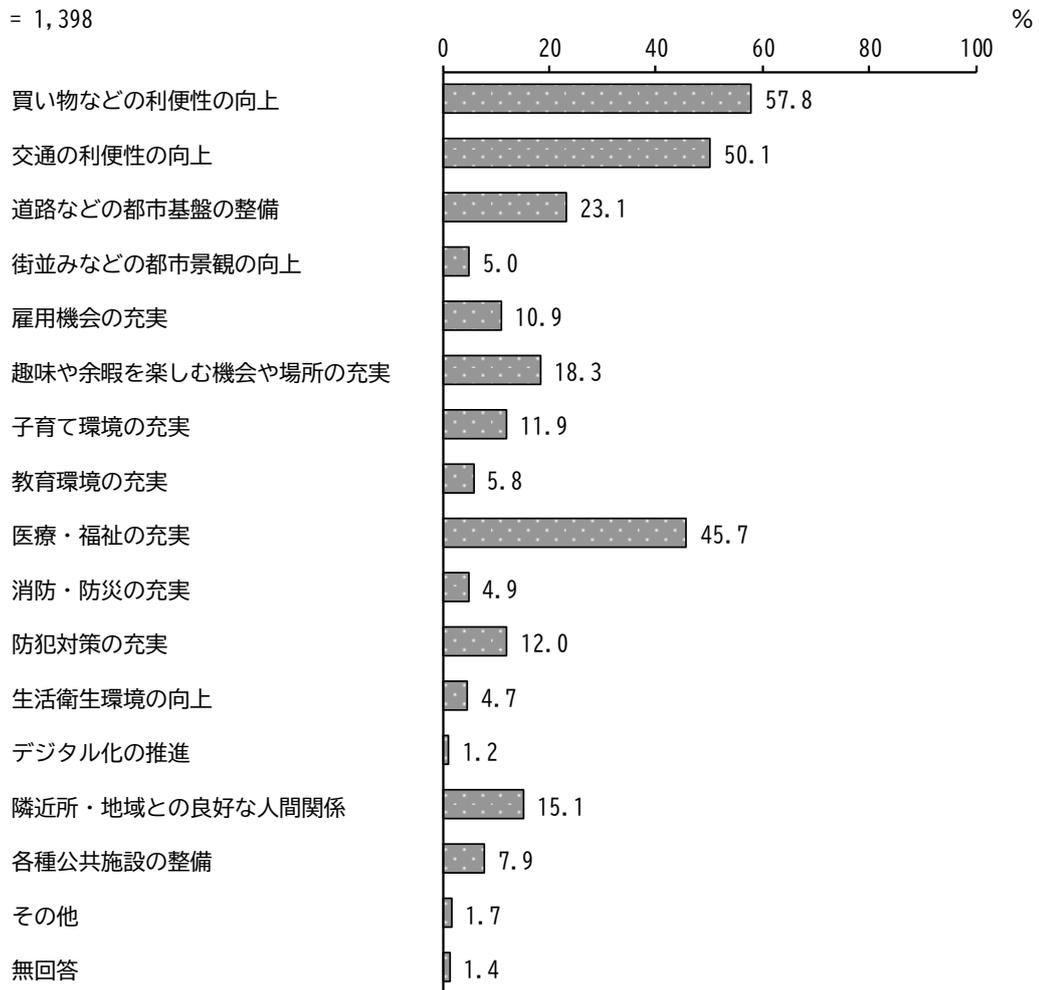
地区別でみると、《赤羽根》《伊良湖岬（和地）》で「以前より住みにくくなった」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



問6 住みやすさを向上させるために必要だと思うことは何ですか。  
(あてはまるもの3つまで○)

「買い物などの利便性の向上」の割合が57.8%と最も高く、次いで「交通の利便性の向上」の割合が50.1%、「医療・福祉の充実」の割合が45.7%となっています。

回答者数 = 1,398



【性別】

性別でみると、「買い物などの利便性の向上」「道路などの都市基盤の整備」「医療・福祉の充実」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	買い物などの利便性の向上	交通の利便性の向上	道路などの都市基盤の整備	街並みなどの都市景観の向上	雇用機会の充実	趣味や余暇を楽しむ機会や場所の充実	子育て環境の充実	教育環境の充実
全体	1,398	57.8	50.1	23.1	5.0	10.9	18.3	11.9	5.8
男性	622	52.4	48.2	32.0	5.8	11.4	19.0	13.3	6.1
女性	754	63.4	52.0	16.2	4.4	10.3	17.9	10.6	5.2

区分	医療・福祉の充実	消防・防災の充実	防犯対策の充実	生活衛生環境の向上	デジタル化の推進	隣近所・地域との良好な人間関係	各種公共施設の整備	その他	無回答
全体	45.7	4.9	12.0	4.7	1.2	15.1	7.9	1.7	1.4
男性	38.9	4.0	12.2	5.3	2.3	15.4	8.8	1.4	1.4
女性	51.3	5.7	11.8	4.1	0.4	14.6	7.3	2.0	0.8

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「医療・福祉の充実」「隣近所・地域との良好な人間関係」の割合が高い傾向にあります。また、《20歳代以下》で「交通の利便性の向上」「趣味や余暇を楽しむ機会や場所の充実」、《30歳代》で「子育て環境の充実」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	買い物などの利便性の向上	交通の利便性の向上	道路などの都市基盤の整備	街並みなどの都市景観の向上	雇用機会の充実	趣味や余暇を楽しむ機会や場所の充実	子育て環境の充実	教育環境の充実
全体	1,398	57.8	50.1	23.1	5.0	10.9	18.3	11.9	5.8
20歳代以下	113	60.2	62.8	20.4	8.0	10.6	38.9	12.4	4.4
30歳代	146	63.7	46.6	26.0	5.5	15.1	20.5	30.1	8.9
40歳代	200	61.5	55.5	26.0	4.5	14.5	19.5	17.0	11.0
50歳代	245	56.3	51.8	29.0	6.9	13.9	16.3	11.8	5.7
60歳代	302	56.6	52.3	21.2	3.0	11.9	14.6	8.3	3.3
70歳以上	376	56.1	43.1	19.7	4.8	4.8	15.2	5.1	4.0

区分	医療・福祉の充実	消防・防災の充実	防犯対策の充実	生活衛生環境の向上	デジタル化の推進	隣近所・地域との良好な人間関係	各種公共施設の整備	その他	無回答
全体	45.7	4.9	12.0	4.7	1.2	15.1	7.9	1.7	1.4
20歳代以下	17.7	1.8	7.1	4.4	1.8	3.5	12.4	2.7	0.0
30歳代	24.7	1.4	7.5	1.4	3.4	8.9	11.0	2.7	2.7
40歳代	33.5	5.0	10.5	2.5	2.0	9.5	7.5	1.0	0.5
50歳代	42.9	2.4	13.5	4.1	1.2	10.2	7.8	1.2	1.6
60歳代	56.3	7.6	14.9	6.0	0.7	15.2	7.0	1.7	0.3
70歳以上	62.2	6.6	13.0	6.9	0.3	27.1	6.1	1.9	1.3

【地区別】

地区別でみると、《若戸》で「買い物などの利便性の向上」「医療・福祉の充実」、《伊良湖岬（堀切）》《伊良湖岬（伊良湖）》《亀山》で「交通の利便性の向上」、《高松》で「子育て環境の充実」「隣近所・地域との良好な人間関係」、《伊良湖岬（和地）》で「教育環境の充実」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

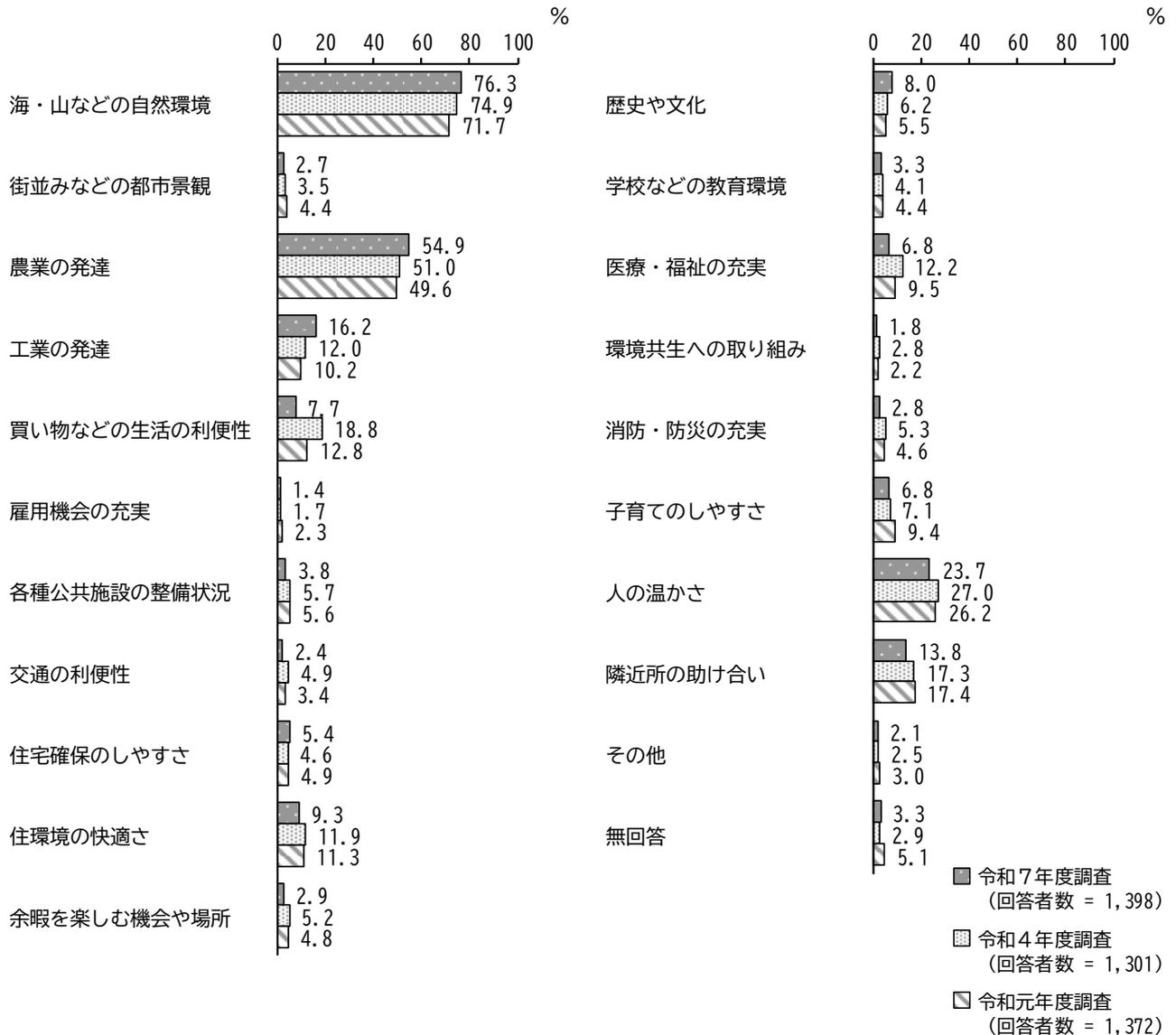
区分	回答者数(件)	買い物などの利便性の向上	交通の利便性の向上	道路などの都市基盤の整備	街並みなどの都市景観の向上	雇用機会の充実	趣味や余暇を楽しむ機会や場所の充実	子育て環境の充実	実教育環境の充実
全体	1,398	57.8	50.1	23.1	5.0	10.9	18.3	11.9	5.8
六連	36	66.7	52.8	19.4	5.6	0.0	19.4	11.1	5.6
神戸	121	52.1	47.9	21.5	3.3	12.4	21.5	13.2	5.0
大草	23	52.2	56.5	26.1	8.7	4.3	4.3	0.0	4.3
田原東部	100	56.0	37.0	19.0	5.0	11.0	21.0	17.0	6.0
田原南部	50	36.0	48.0	22.0	0.0	4.0	30.0	14.0	6.0
童浦	150	59.3	52.0	24.7	10.0	11.3	20.7	14.7	5.3
田原中部	141	53.9	49.6	22.7	8.5	11.3	20.6	13.5	4.3
衣笠	134	47.8	42.5	24.6	6.7	10.4	13.4	10.4	6.0
野田	81	49.4	55.6	22.2	2.5	12.3	16.0	13.6	4.9
高松	40	55.0	47.5	12.5	5.0	2.5	17.5	22.5	7.5
赤羽根	47	68.1	40.4	21.3	6.4	12.8	17.0	10.6	6.4
若戸	34	82.4	61.8	11.8	0.0	5.9	20.6	5.9	5.9
伊良湖岬（和地）	27	74.1	59.3	29.6	0.0	11.1	18.5	14.8	18.5
伊良湖岬（堀切）	40	70.0	70.0	22.5	2.5	17.5	10.0	7.5	2.5
伊良湖岬（伊良湖）	15	66.7	66.7	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7
亀山	22	63.6	68.2	27.3	0.0	13.6	27.3	4.5	0.0
中山	88	69.3	51.1	28.4	5.7	12.5	18.2	10.2	5.7
福江	80	55.0	57.5	28.8	5.0	18.8	21.3	6.3	2.5
清田	51	68.6	52.9	25.5	0.0	9.8	11.8	9.8	9.8
泉	87	60.9	43.7	29.9	3.4	12.6	16.1	12.6	8.0

区分	医療・福祉の充実	消防・防災の充実	防犯対策の充実	生活衛生環境の向上	デジタル化の推進	隣近所・地域との良好な人間関係	各種公共施設の整備	その他	無回答
全体	45.7	4.9	12.0	4.7	1.2	15.1	7.9	1.7	1.4
六連	44.4	5.6	11.1	11.1	0.0	8.3	2.8	8.3	2.8
神戸	56.2	6.6	16.5	4.1	0.0	14.9	11.6	0.8	0.0
大草	60.9	13.0	17.4	8.7	4.3	8.7	13.0	0.0	0.0
田原東部	50.0	6.0	12.0	9.0	1.0	16.0	9.0	2.0	0.0
田原南部	38.0	10.0	20.0	6.0	4.0	12.0	12.0	4.0	2.0
童浦	37.3	2.0	12.0	2.7	0.0	16.7	7.3	0.7	1.3
田原中部	50.4	7.8	13.5	5.7	0.7	14.2	10.6	0.0	0.7
衣笠	51.5	5.2	17.2	6.7	0.7	17.2	6.7	3.7	0.0
野田	44.4	2.5	8.6	6.2	3.7	17.3	7.4	1.2	2.5
高松	40.0	2.5	15.0	2.5	0.0	30.0	7.5	2.5	2.5
赤羽根	38.3	4.3	12.8	2.1	0.0	19.1	8.5	4.3	0.0
若戸	64.7	2.9	0.0	2.9	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬（和地）	44.4	11.1	3.7	0.0	0.0	3.7	11.1	0.0	0.0
伊良湖岬（堀切）	42.5	2.5	7.5	2.5	0.0	17.5	7.5	2.5	0.0
伊良湖岬（伊良湖）	33.3	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	13.3
亀山	36.4	4.5	4.5	0.0	4.5	18.2	4.5	4.5	0.0
中山	43.2	1.1	6.8	4.5	0.0	19.3	4.5	2.3	0.0
福江	43.8	6.3	12.5	6.3	1.3	6.3	6.3	1.3	1.3
清田	45.1	2.0	5.9	0.0	3.9	21.6	7.8	2.0	0.0
泉	42.5	4.6	11.5	2.3	1.1	10.3	8.0	0.0	3.4

問7 田原市が優れていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「海・山などの自然環境」の割合が76.3%と最も高く、次いで「農業の発達」の割合が54.9%、「人の温かさ」の割合が23.7%となっています。

令和4年度調査と比べて、「買い物などの生活の利便性」が11.1ポイント、「医療・福祉の充実」が5.4ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「海・山などの自然環境」が7割以上で最も高く、次いで「農業の発達」となっています。また、「工業の発達」「人の温かさ」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
全体	1,398	76.3	2.7	54.9	16.2	7.7	1.4	3.8	2.4	5.4	9.3
男性	622	74.1	2.6	55.6	21.7	7.2	1.9	4.8	3.1	5.3	10.8
女性	754	78.5	2.9	54.6	11.7	8.4	1.1	3.1	1.7	5.6	8.4

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
全体	2.9	8.0	3.3	6.8	1.8	2.8	6.8	23.7	13.8	2.1	3.3
男性	3.9	8.4	3.1	5.6	1.9	2.4	4.3	19.3	13.7	2.3	3.1
女性	2.3	7.6	3.3	7.6	1.7	3.1	8.6	27.6	14.2	2.1	2.9

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「隣近所の助け合い」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
全体	1,398	76.3	2.7	54.9	16.2	7.7	1.4	3.8	2.4	5.4	9.3
20歳代以下	113	79.6	4.4	61.1	21.2	1.8	0.9	2.7	0.9	1.8	8.8
30歳代	146	78.8	2.1	62.3	21.2	3.4	2.1	4.8	1.4	6.8	7.5
40歳代	200	77.0	3.5	54.0	22.5	1.0	1.0	3.0	1.5	6.0	8.0
50歳代	245	80.4	1.6	59.2	20.4	6.5	1.6	2.0	2.4	9.8	6.9
60歳代	302	79.8	3.0	50.0	11.9	7.9	2.6	5.3	1.0	5.0	11.6
70歳以上	376	69.4	2.4	52.7	10.9	14.6	0.5	4.0	4.8	3.2	10.6

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
全体	2.9	8.0	3.3	6.8	1.8	2.8	6.8	23.7	13.8	2.1	3.3
20歳代以下	2.7	8.0	5.3	3.5	1.8	1.8	5.3	21.2	5.3	0.9	1.8
30歳代	1.4	10.3	2.1	1.4	0.7	2.1	8.9	19.2	6.2	1.4	2.7
40歳代	4.0	8.5	4.0	4.0	2.0	4.0	15.0	21.5	9.0	2.5	1.5
50歳代	0.8	6.1	2.0	4.5	1.6	1.6	6.5	21.2	16.3	3.3	2.9
60歳代	3.3	7.6	3.6	4.3	2.0	1.7	5.0	24.2	17.2	3.0	4.0
70歳以上	4.0	8.5	3.2	15.2	1.6	4.3	3.5	28.5	17.3	1.3	4.0

【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》で「海・山などの自然環境」「医療・福祉の充実」、《亀山》で「農業の発達」「隣近所の助け合い」、《衣笠》で「買い物などの生活の利便性」、《伊良湖岬（和地）》《伊良湖岬（伊良湖）》で「人の温かさ」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

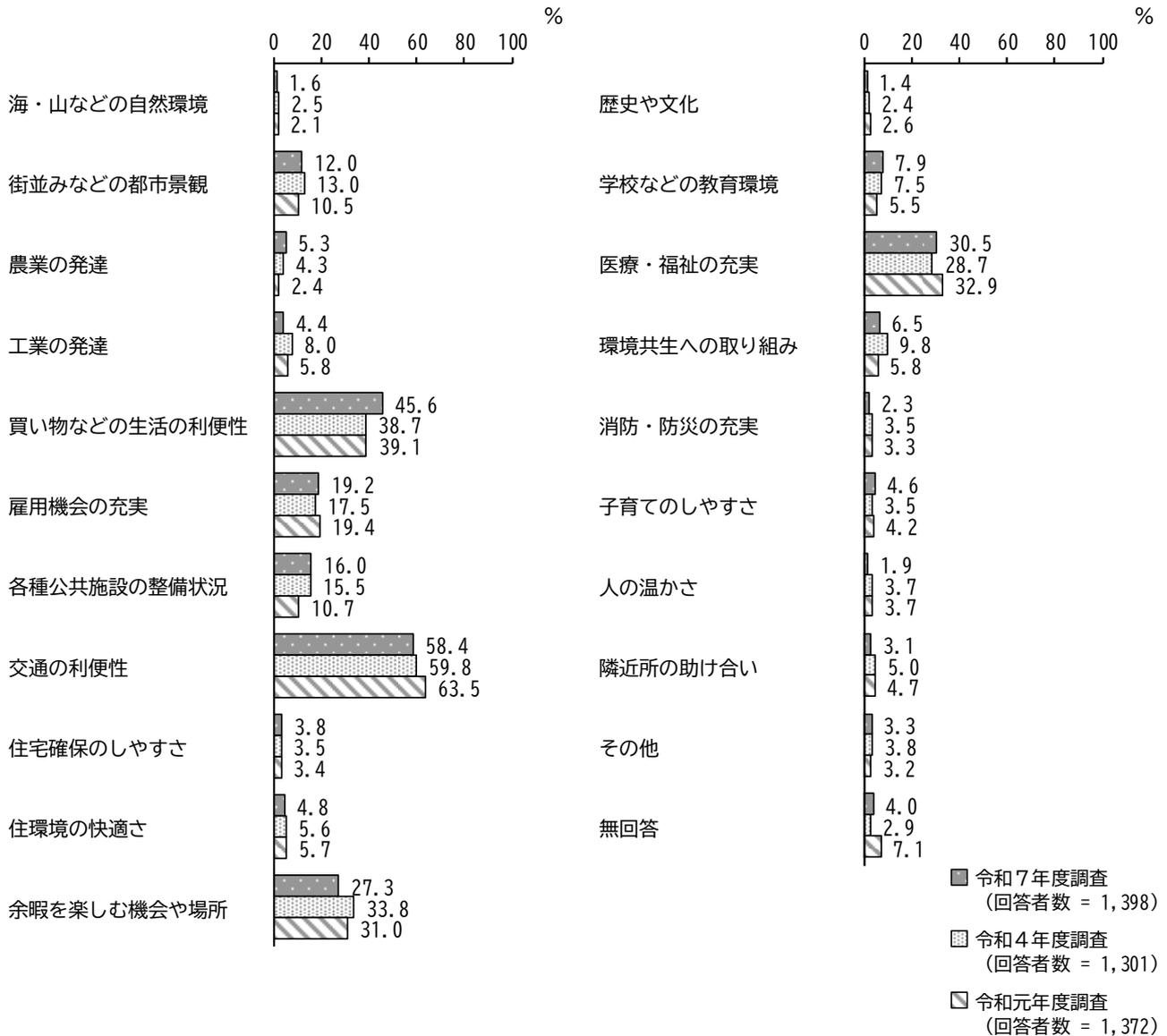
区分	回答者数(件)	自然環境 海・山などの	街並みなどの 都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの 生活の利便性	雇用機会の充 実	各種公共施設 の整備状況	交通の利便性	住宅確保のし やすさ	住環境の快適 さ
全体	1,398	76.3	2.7	54.9	16.2	7.7	1.4	3.8	2.4	5.4	9.3
六連	36	86.1	8.3	66.7	16.7	5.6	0.0	2.8	2.8	5.6	0.0
神戸	121	75.2	3.3	49.6	18.2	12.4	0.8	7.4	2.5	6.6	9.1
大草	23	69.6	4.3	47.8	21.7	0.0	0.0	4.3	4.3	4.3	4.3
田原東部	100	74.0	4.0	53.0	20.0	9.0	0.0	5.0	5.0	5.0	17.0
田原南部	50	84.0	2.0	54.0	22.0	4.0	2.0	2.0	2.0	4.0	18.0
童浦	150	77.3	2.0	49.3	26.0	5.3	2.7	2.0	2.0	8.0	12.0
田原中部	141	78.7	4.3	45.4	20.6	10.6	2.1	7.1	2.1	3.5	13.5
衣笠	134	76.1	1.5	45.5	20.1	18.7	1.5	5.2	3.7	4.5	10.4
野田	81	74.1	1.2	64.2	29.6	3.7	1.2	3.7	2.5	2.5	6.2
高松	40	75.0	2.5	62.5	10.0	2.5	0.0	7.5	0.0	2.5	15.0
赤羽根	47	72.3	2.1	55.3	10.6	6.4	2.1	2.1	2.1	2.1	6.4
若戸	34	85.3	0.0	50.0	2.9	8.8	2.9	0.0	2.9	2.9	8.8
伊良湖岬（和地）	27	74.1	3.7	51.9	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	11.1
伊良湖岬（堀切）	40	87.5	0.0	65.0	10.0	0.0	2.5	2.5	0.0	7.5	5.0
伊良湖岬（伊良湖）	15	93.3	6.7	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7
亀山	22	77.3	0.0	77.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中山	88	69.3	4.5	65.9	8.0	5.7	2.3	2.3	2.3	5.7	4.5
福江	80	77.5	2.5	53.8	7.5	13.8	0.0	0.0	1.3	10.0	7.5
清田	51	72.5	0.0	70.6	9.8	3.9	2.0	0.0	2.0	3.9	3.9
泉	87	74.7	0.0	71.3	8.0	1.1	0.0	5.7	1.1	8.0	5.7

区分	余暇を楽しむ 機会や場所	歴史や文化	学校などの教 育環境	医療・福祉の 充実	環境共生への 取り組み	消防・防災の 充実	子育てのしや すさ	人の温かさ	隣近所の助け 合い	その他	無回答
全体	2.9	8.0	3.3	6.8	1.8	2.8	6.8	23.7	13.8	2.1	3.3
六連	0.0	8.3	2.8	5.6	2.8	5.6	5.6	16.7	11.1	0.0	2.8
神戸	4.1	10.7	4.1	8.3	1.7	2.5	9.1	26.4	14.9	1.7	0.0
大草	8.7	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	8.7	21.7	8.7	0.0	13.0
田原東部	2.0	3.0	3.0	6.0	4.0	1.0	10.0	18.0	11.0	1.0	1.0
田原南部	6.0	12.0	4.0	6.0	4.0	2.0	6.0	22.0	14.0	0.0	0.0
童浦	2.0	8.0	2.7	2.7	2.0	1.3	4.0	22.0	8.0	3.3	3.3
田原中部	1.4	15.6	4.3	7.8	0.7	2.1	8.5	19.1	7.1	2.1	5.7
衣笠	3.0	9.0	3.7	9.0	2.2	3.7	6.7	20.9	7.5	1.5	4.5
野田	2.5	7.4	3.7	6.2	1.2	1.2	3.7	19.8	23.5	1.2	2.5
高松	15.0	5.0	0.0	7.5	0.0	2.5	10.0	22.5	20.0	2.5	0.0
赤羽根	4.3	4.3	4.3	10.6	0.0	8.5	2.1	19.1	19.1	4.3	0.0
若戸	5.9	2.9	5.9	5.9	2.9	8.8	11.8	23.5	5.9	5.9	2.9
伊良湖岬（和地）	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	3.7	7.4	44.4	22.2	11.1	7.4
伊良湖岬（堀切）	0.0	10.0	7.5	12.5	5.0	2.5	7.5	22.5	15.0	5.0	2.5
伊良湖岬（伊良湖）	0.0	0.0	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0	46.7	26.7	0.0	0.0
亀山	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	36.4	36.4	0.0	0.0
中山	3.4	3.4	2.3	5.7	1.1	2.3	5.7	30.7	13.6	1.1	6.8
福江	2.5	8.8	3.8	7.5	0.0	6.3	5.0	36.3	17.5	1.3	1.3
清田	5.9	5.9	2.0	3.9	0.0	2.0	7.8	17.6	19.6	3.9	3.9
泉	0.0	4.6	1.1	8.0	2.3	2.3	8.0	28.7	17.2	2.3	3.4

## 問8 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「交通の利便性」の割合が58.4%と最も高く、次いで「買い物などの生活の利便性」の割合が45.6%、「医療・福祉の充実」の割合が30.5%となっています。

令和4年度調査と比べて、「買い物などの生活の利便性」が6.9ポイント増加しています。一方、「余暇を楽しむ機会や場所」が6.5ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、「交通の利便性」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
全体	1,398	1.6	12.0	5.3	4.4	45.6	19.2	16.0	58.4	3.8	4.8
男性	622	1.8	13.3	5.9	4.7	44.4	18.0	18.3	53.7	4.7	5.9
女性	754	1.5	10.9	4.8	4.0	47.3	20.2	13.8	62.6	2.9	3.8

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
全体	27.3	1.4	7.9	30.5	6.5	2.3	4.6	1.9	3.1	3.3	4.0
男性	27.2	2.4	7.7	29.3	5.6	2.7	5.0	2.6	3.4	3.7	3.9
女性	27.6	0.5	8.0	31.6	7.3	1.9	4.4	1.3	2.4	3.1	3.8

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「環境共生への取り組み」の割合が高い傾向にあり、「買い物などの生活の利便性」の割合が低い傾向にあります。また、《20歳代以下》で「買い物などの生活の利便性」「交通の利便性」「余暇を楽しむ機会や場所」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
全体	1,398	1.6	12.0	5.3	4.4	45.6	19.2	16.0	58.4	3.8	4.8
20歳代以下	113	0.9	14.2	3.5	0.9	61.9	12.4	14.2	72.6	3.5	4.4
30歳代	146	0.7	11.6	1.4	2.1	55.5	19.2	20.5	54.1	6.2	4.8
40歳代	200	0.0	10.0	6.5	2.0	57.5	20.5	15.0	65.5	5.5	2.0
50歳代	245	0.8	10.6	6.5	2.4	44.1	23.3	15.5	62.9	3.7	3.7
60歳代	302	1.3	8.6	6.6	6.0	39.1	22.8	15.2	59.3	4.0	5.3
70歳以上	376	3.5	16.5	4.5	7.4	38.0	14.9	16.8	49.7	1.9	6.6

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校などの教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
全体	27.3	1.4	7.9	30.5	6.5	2.3	4.6	1.9	3.1	3.3	4.0
20歳代以下	38.9	0.9	6.2	9.7	0.0	0.9	7.1	3.5	2.7	1.8	2.7
30歳代	32.2	0.7	7.5	32.2	1.4	1.4	11.0	0.7	0.0	4.1	2.7
40歳代	26.0	1.0	11.0	29.5	4.0	3.0	4.5	2.0	2.0	3.5	0.0
50歳代	27.3	0.0	7.3	38.0	3.7	1.2	5.3	0.8	0.8	5.3	3.7
60歳代	29.8	1.0	8.3	37.4	8.9	2.3	2.3	1.0	3.0	3.6	2.6
70歳以上	20.5	3.2	6.9	26.9	11.4	3.2	3.2	3.2	6.1	1.9	7.7

【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（堀切）》で「農業の発達」、《伊良湖岬（和地）》で「買い物などの生活の利便性」、《伊良湖岬（和地）》《伊良湖岬（伊良湖）》で「交通の利便性」、《大草》で「住環境の快適さ」、《神戸》で「余暇を楽しむ機会や場所」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：%

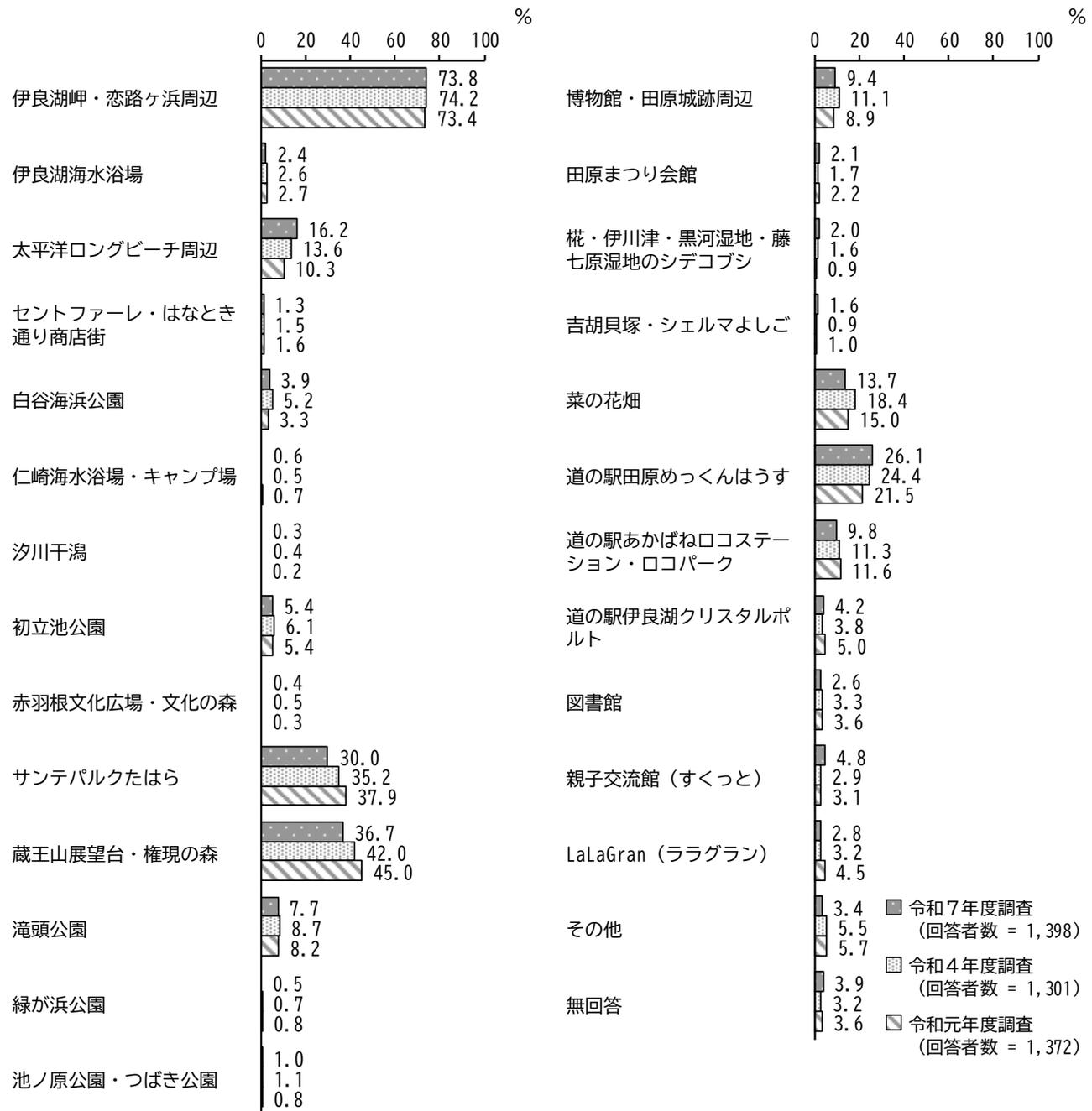
区分	回答者数(件)	自然環境 海・山などの	街並みなどの 都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの 生活の利便性	雇用機会の充 実	各種公共施設 の整備状況	交通の利便性	住宅確保のし やすさ	住環境の快適 さ
全体	1,398	1.6	12.0	5.3	4.4	45.6	19.2	16.0	58.4	3.8	4.8
六連	36	2.8	11.1	2.8	5.6	58.3	16.7	8.3	69.4	5.6	2.8
神戸	121	0.8	10.7	5.0	5.0	30.6	19.0	24.0	51.2	5.0	5.0
大草	23	4.3	13.0	0.0	13.0	34.8	17.4	8.7	65.2	4.3	21.7
田原東部	100	1.0	14.0	6.0	0.0	42.0	17.0	21.0	50.0	4.0	6.0
田原南部	50	0.0	4.0	12.0	0.0	46.0	12.0	18.0	58.0	0.0	4.0
童浦	150	0.0	15.3	2.7	4.7	55.3	14.0	16.7	60.0	2.0	2.0
田原中部	141	1.4	12.1	0.7	3.5	36.9	18.4	11.3	56.7	8.5	5.0
衣笠	134	0.7	12.7	4.5	3.0	29.9	19.4	13.4	44.0	5.2	5.2
野田	81	6.2	11.1	2.5	3.7	38.3	18.5	17.3	65.4	2.5	6.2
高松	40	0.0	12.5	7.5	2.5	45.0	20.0	20.0	65.0	2.5	5.0
赤羽根	47	4.3	6.4	6.4	2.1	46.8	17.0	17.0	66.0	2.1	6.4
若戸	34	0.0	14.7	14.7	0.0	61.8	20.6	5.9	64.7	5.9	0.0
伊良湖岬（和地）	27	0.0	11.1	0.0	3.7	70.4	18.5	14.8	77.8	0.0	7.4
伊良湖岬（堀切）	40	0.0	7.5	17.5	5.0	57.5	25.0	12.5	67.5	0.0	5.0
伊良湖岬（伊良湖）	15	0.0	0.0	13.3	6.7	53.3	13.3	13.3	80.0	0.0	6.7
亀山	22	0.0	9.1	9.1	4.5	50.0	27.3	13.6	63.6	4.5	0.0
中山	88	4.5	10.2	6.8	10.2	59.1	29.5	18.2	67.0	1.1	0.0
福江	80	1.3	10.0	7.5	6.3	46.3	27.5	17.5	60.0	5.0	5.0
清田	51	2.0	13.7	3.9	7.8	60.8	11.8	11.8	56.9	3.9	2.0
泉	87	2.3	18.4	4.6	5.7	50.6	21.8	17.2	55.2	3.4	6.9

区分	余暇を楽しむ 機会や場所	歴史や文化	学校などの教 育環境	医療・福祉の 充実	環境共生への 取り組み	消防・防災の 充実	子育てのしや すさ	人の温かさ	隣近所の助け 合い	その他	無回答
全体	27.3	1.4	7.9	30.5	6.5	2.3	4.6	1.9	3.1	3.3	4.0
六連	33.3	2.8	5.6	16.7	8.3	2.8	8.3	0.0	2.8	8.3	0.0
神戸	39.7	1.7	10.7	41.3	10.7	3.3	3.3	0.8	5.0	1.7	0.8
大草	13.0	0.0	17.4	47.8	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田原東部	29.0	2.0	7.0	32.0	4.0	3.0	5.0	2.0	4.0	6.0	1.0
田原南部	26.0	0.0	12.0	40.0	6.0	6.0	10.0	4.0	2.0	0.0	0.0
童浦	24.7	1.3	6.7	34.0	6.0	3.3	3.3	2.7	4.0	2.0	2.0
田原中部	30.5	2.1	6.4	27.7	11.3	2.8	5.7	1.4	5.0	4.3	8.5
衣笠	26.9	0.7	9.7	32.8	9.7	1.5	3.0	4.5	5.2	2.2	9.0
野田	30.9	1.2	3.7	35.8	3.7	2.5	7.4	0.0	1.2	1.2	3.7
高松	20.0	0.0	7.5	27.5	10.0	0.0	7.5	5.0	2.5	5.0	2.5
赤羽根	19.1	2.1	6.4	21.3	2.1	0.0	4.3	6.4	2.1	6.4	4.3
若戸	26.5	0.0	2.9	35.3	5.9	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9	2.9
伊良湖岬（和地）	22.2	0.0	7.4	25.9	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	7.4	3.7
伊良湖岬（堀切）	32.5	0.0	5.0	30.0	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	5.0	0.0
伊良湖岬（伊良湖）	20.0	0.0	13.3	33.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
亀山	18.2	0.0	4.5	18.2	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	18.2	4.5
中山	21.6	1.1	5.7	18.2	6.8	1.1	6.8	2.3	1.1	4.5	2.3
福江	31.3	0.0	7.5	26.3	5.0	2.5	1.3	1.3	2.5	2.5	5.0
清田	15.7	2.0	11.8	37.3	3.9	0.0	3.9	0.0	0.0	2.0	5.9
泉	26.4	2.3	11.5	23.0	3.4	3.4	8.0	0.0	2.3	1.1	4.6

問9 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。(あてはまるもの3つに○)

「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」の割合が73.8%と最も高く、次いで「蔵王山展望台・権現の森」の割合が36.7%、「サンテパルクたはら」の割合が30.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「蔵王山展望台・権現の森」が5.3ポイント、「サンテパルクたはら」が5.2ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高くなっています。また、「太平洋ロングビーチ周辺」「サンテパルクたはら」「菜の花畑」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	太平洋ロングビーチ周辺	セントファール・はなと き通り商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ 場	汐川干潟	初立池公園	森 赤羽根文化広場・文化の 森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
全 体	1,398	73.8	2.4	16.2	1.3	3.9	0.6	0.3	5.4	0.4	30.0	36.7	7.7	0.5
男性	622	74.1	3.1	20.1	1.9	3.4	0.3	0.5	4.0	0.3	25.7	37.8	6.8	0.6
女性	754	74.3	1.9	13.4	0.5	4.2	0.7	0.1	6.5	0.4	33.6	35.3	8.5	0.4

区分	池ノ原公園・つばき公園	博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	桜・伊川津・黒河湿地・ 藤七原湿地のシデゴブシ	吉胡貝塚・シエルマよし ご	菜の花畑	す 道の駅田原めつくんはう	道の駅あかねロコステ ーション・ロコパーク	道の駅伊良湖クリスタル ポルト	図書館	親子交流館(すくっと)	L'artisan(フラグラン)	その他	無回答
全 体	1.0	9.4	2.1	2.0	1.6	13.7	26.1	9.8	4.2	2.6	4.8	2.8	3.4	3.9
男性	0.8	10.1	2.4	1.3	2.1	10.0	24.1	9.6	4.5	2.9	4.2	3.2	3.9	4.3
女性	0.9	8.6	1.9	2.5	1.2	17.1	27.9	10.2	4.1	2.3	5.4	2.5	3.1	3.1

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高くなっています。また、年代が上がるほど「初立池公園」の割合が高い傾向にあり、「菜の花畑」の割合が低い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	太平洋ロングビーチ周辺	セントファール・はなと き通り商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ 場	汐川干潟	初立池公園	森 赤羽根文化広場・文化の 森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
全体	1,398	73.8	2.4	16.2	1.3	3.9	0.6	0.3	5.4	0.4	30.0	36.7	7.7	0.5
20歳代以下	113	74.3	5.3	22.1	3.5	6.2	1.8	0.0	0.0	0.9	19.5	30.1	2.7	0.9
30歳代	146	70.5	2.7	17.8	3.4	4.8	0.7	0.0	1.4	0.0	32.2	26.7	5.5	0.0
40歳代	200	72.0	3.0	17.5	1.0	5.0	1.0	0.0	1.0	0.0	29.5	33.5	6.0	0.5
50歳代	245	78.4	1.2	21.2	1.6	4.1	0.4	0.0	3.3	0.0	31.4	40.8	4.9	0.0
60歳代	302	77.2	1.7	15.9	0.0	2.3	0.0	0.0	6.3	0.7	34.4	40.4	9.3	0.3
70歳以上	376	70.7	2.4	10.9	0.5	3.2	0.5	1.1	11.4	0.5	28.7	37.8	11.7	0.8

区分	池ノ原公園・つばき公園	博物館・田原城跡周辺	田原まつり会館	椀・伊川津・黒河湿地・ 藤七原湿地のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよし ご	菜の花畑	道の駅田原めつくんはう す	道の駅あかね口コステ ーション・口コパーク	道の駅伊良湖クリスタル ポルト	図書館	親子交流館(すくっと)	Lalagan(ララグラン)	その他	無回答
全体	1.0	9.4	2.1	2.0	1.6	13.7	26.1	9.8	4.2	2.6	4.8	2.8	3.4	3.9
20歳代以下	0.0	0.9	0.9	0.9	1.8	23.9	19.5	5.3	1.8	2.7	1.8	8.0	5.3	4.4
30歳代	0.0	0.7	2.7	0.0	1.4	17.8	22.6	6.8	4.8	5.5	17.8	8.2	4.1	4.1
40歳代	0.5	4.5	0.0	0.0	0.5	15.0	33.0	11.0	3.0	0.5	9.0	4.0	6.0	1.5
50歳代	0.4	4.1	0.4	1.2	2.0	13.5	30.2	8.2	4.9	1.6	2.9	2.0	4.1	2.9
60歳代	1.0	11.6	2.6	2.3	2.3	11.3	23.5	12.3	4.6	3.3	1.7	1.0	2.0	4.6
70歳以上	2.1	19.1	4.0	4.3	1.6	10.9	25.5	10.9	4.8	2.4	2.4	0.5	1.9	4.3

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高くなっています。

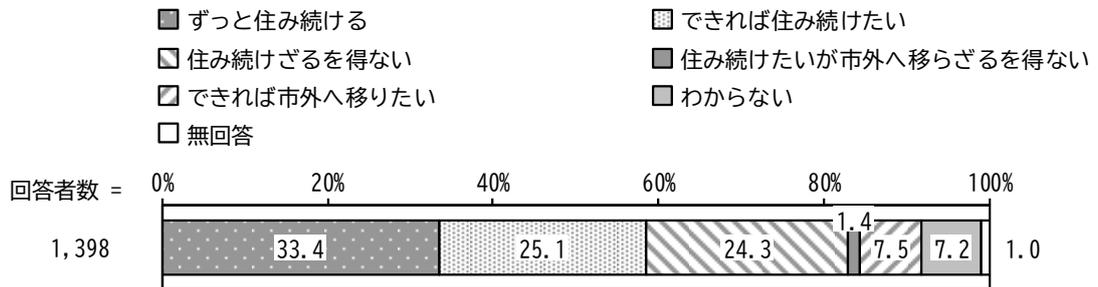
単位：％

区分	回答者数(件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	太平洋ロングビーチ周辺	セントファール・はなとき通り・商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キヤンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
全体	1,398	73.8	2.4	16.2	1.3	3.9	0.6	0.3	5.4	0.4	30.0	36.7	7.7	0.5
六連	36	66.7	0.0	13.9	0.0	2.8	0.0	0.0	5.6	0.0	36.1	36.1	5.6	0.0
神戸	121	75.2	0.0	13.2	0.8	5.8	0.0	0.0	0.8	0.0	33.9	43.8	8.3	0.0
大草	23	69.6	4.3	21.7	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	34.8	39.1	13.0	0.0
田原東部	100	62.0	1.0	8.0	4.0	7.0	0.0	1.0	1.0	0.0	26.0	44.0	10.0	1.0
田原南部	50	76.0	2.0	26.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.0	48.0	4.0	0.0
童浦	150	70.0	0.0	16.7	2.0	4.0	0.7	0.7	1.3	0.7	25.3	45.3	6.0	0.7
田原中部	141	67.4	2.1	18.4	0.7	5.0	0.7	0.7	1.4	0.0	23.4	46.8	9.9	0.0
衣笠	134	70.9	1.5	14.9	2.2	6.0	0.0	0.0	1.5	0.0	23.9	38.8	11.2	0.7
野田	81	71.6	1.2	18.5	1.2	3.7	4.9	0.0	1.2	0.0	56.8	34.6	11.1	1.2
高松	40	75.0	0.0	47.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	5.0	32.5	40.0	5.0	0.0
赤羽根	47	59.6	0.0	42.6	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	4.3	31.9	29.8	10.6	0.0
若戸	34	73.5	2.9	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	26.5	29.4	8.8	0.0
伊良湖岬(和地)	27	81.5	7.4	7.4	0.0	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	29.6	22.2	11.1	0.0
伊良湖岬(堀切)	40	80.0	7.5	12.5	2.5	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	40.0	22.5	5.0	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	15	80.0	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	26.7	13.3	0.0	0.0
亀山	22	81.8	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	0.0	27.3	31.8	4.5	0.0
中山	88	88.6	8.0	14.8	0.0	1.1	1.1	1.1	17.0	0.0	22.7	23.9	2.3	1.1
福江	80	92.5	5.0	11.3	1.3	3.8	0.0	0.0	15.0	0.0	27.5	21.3	3.8	0.0
清田	51	82.4	2.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	0.0	29.4	21.6	5.9	0.0
泉	87	78.2	1.1	10.3	1.1	4.6	0.0	0.0	10.3	0.0	33.3	40.2	8.0	0.0

区分	池ノ原公園・つばき公園	博物館 田原城跡周辺	田原まつり会館	桜・伊川津・黒河湿地・藤原湿地	吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	くのはうす道の駅田原めぐ	道の駅あかばね・ロコパーク	道の駅伊良湖クリスタルボルト	図書館	親子交流館(すくつと)	ラン(ララン)	その他	無回答
全体	1.0	9.4	2.1	2.0	1.6	13.7	26.1	9.8	4.2	2.6	4.8	2.8	3.4	3.9
六連	2.8	11.1	2.8	2.8	0.0	16.7	30.6	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	2.8
神戸	1.7	10.7	4.1	0.0	1.7	9.9	43.0	8.3	5.0	0.8	5.0	4.1	3.3	0.0
大草	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	17.4	26.1	4.3	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0	8.7
田原東部	0.0	11.0	3.0	2.0	0.0	12.0	34.0	11.0	2.0	4.0	5.0	6.0	7.0	2.0
田原南部	2.0	12.0	4.0	0.0	0.0	6.0	30.0	8.0	2.0	2.0	4.0	4.0	2.0	2.0
童浦	0.0	10.7	0.7	0.0	4.0	12.0	27.3	3.3	0.7	2.7	4.0	4.0	2.7	6.0
田原中部	2.8	22.0	5.0	3.5	2.8	4.3	25.5	7.1	2.8	7.8	5.7	2.8	2.1	4.3
衣笠	2.2	12.7	3.7	1.5	4.5	11.2	31.3	6.7	1.5	2.2	6.7	2.2	3.7	5.2
野田	1.2	9.9	2.5	0.0	1.2	6.2	23.5	7.4	3.7	2.5	3.7	2.5	3.7	3.7
高松	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	5.0	15.0	12.5	0.0	0.0	5.0	0.0	5.0	7.5
赤羽根	0.0	2.1	2.1	4.3	0.0	8.5	12.8	36.2	4.3	2.1	2.1	0.0	0.0	2.1
若戸	0.0	11.8	2.9	0.0	2.9	14.7	8.8	29.4	5.9	0.0	2.9	0.0	2.9	2.9
伊良湖岬(和地)	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	37.0	18.5	14.8	7.4	0.0	3.7	3.7	11.1	3.7
伊良湖岬(堀切)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	30.0	20.0	15.0	0.0	0.0	2.5	7.5	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	6.7	0.0	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
亀山	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	13.6	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6
中山	0.0	3.4	0.0	4.5	0.0	25.0	17.0	11.4	11.4	1.1	2.3	1.1	2.3	2.3
福江	0.0	3.8	0.0	1.3	1.3	22.5	17.5	12.5	10.0	1.3	8.8	2.5	5.0	1.3
清田	0.0	2.0	2.0	3.9	0.0	27.5	31.4	11.8	2.0	2.0	7.8	3.9	0.0	5.9
泉	1.1	8.0	0.0	8.0	1.1	21.8	20.7	5.7	1.1	1.1	8.0	2.3	3.4	3.4

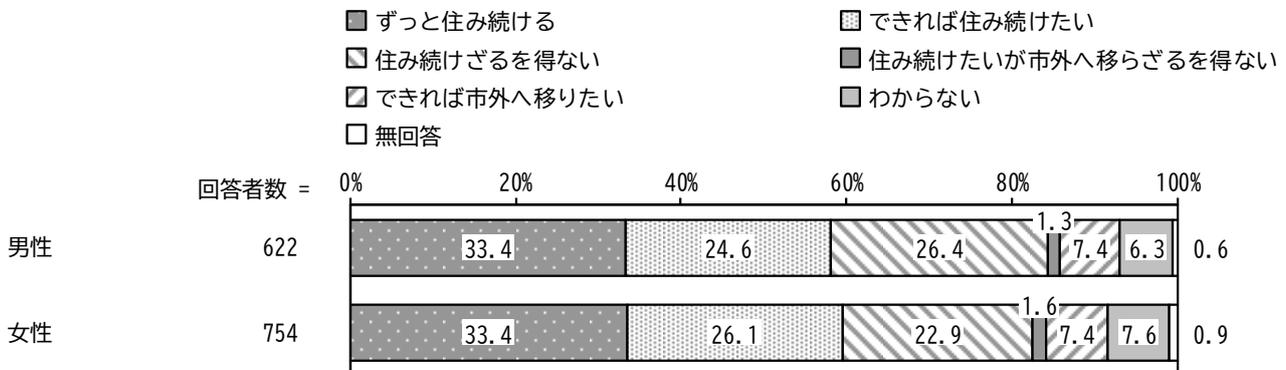
問10 あなたは、今後も田原市に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「ずっと住み続ける」の割合が33.4%と最も高く、次いで「できれば住み続けたい」の割合が25.1%、「住み続けざるを得ない」の割合が24.3%となっています。



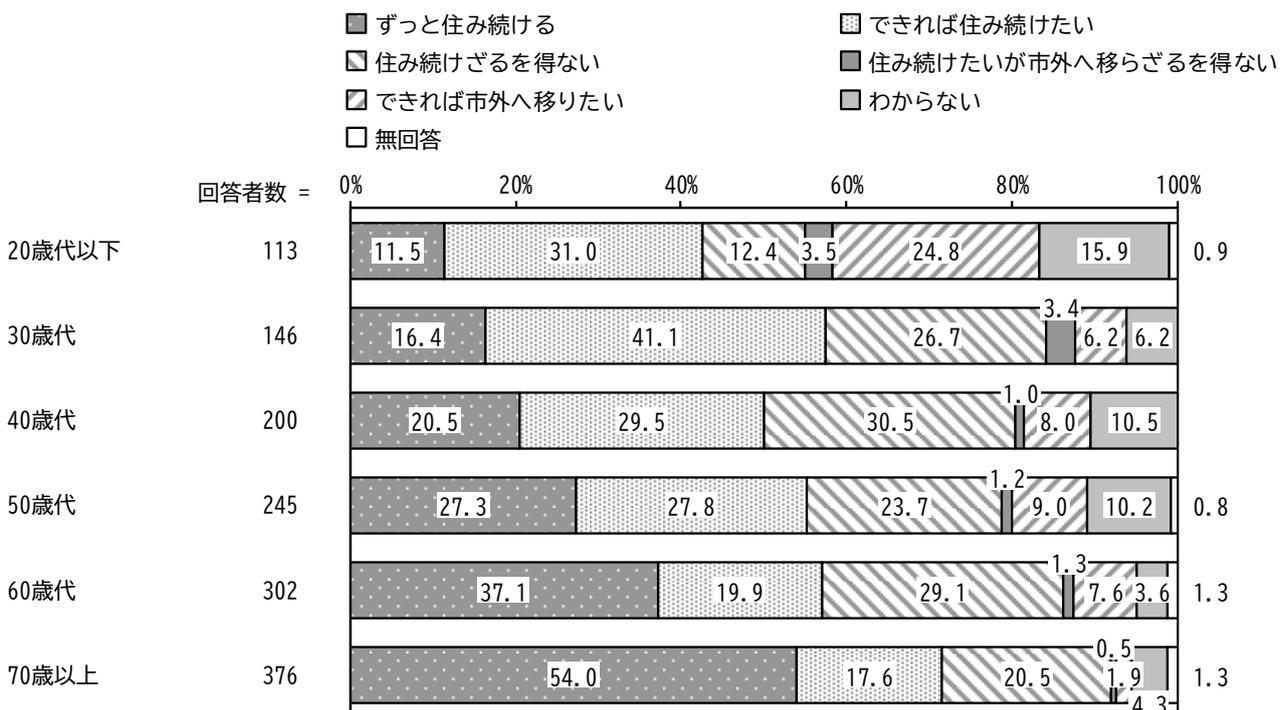
【性別】

性別でみると、《男性》で「住み続けざるを得ない」の割合が、女性に比べ高くなっています。



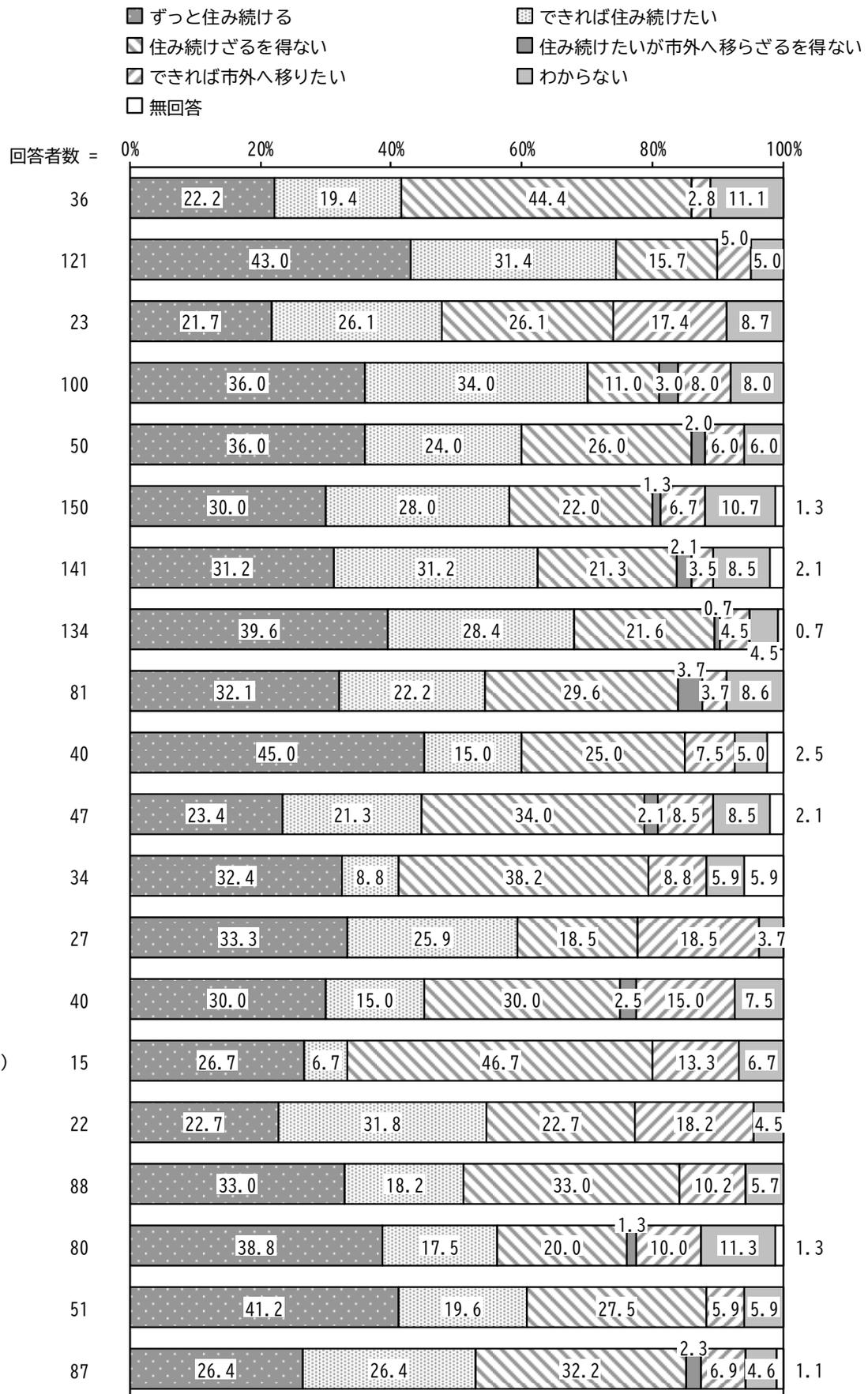
【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「ずっと住み続ける」の割合が高い傾向にあります。また、《20歳代以下》で「できれば市外へ移りたい」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、《神戸》《高松》《清田》で「ずっと住み続ける」、《六連》《伊良湖岬（伊良湖）》で「住み続けざるを得ない」、《大草》《伊良湖岬（和地）》《亀山》で「できれば市外へ移りたい」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



## (4) 各分野での市の取り組みについて

問11 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。また、それぞれの取り組みについて、重要度はどの程度だと思いますか。(項目ごとに、「満足度」「重要度」をそれぞれ評価し、該当する番号に○をつけてください。)

### 【ポートフォリオによる分析】

#### (1) 満足度・重要度の得点化

満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、無回答を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化しました。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係について分布図を作成し、ポートフォリオ分析により、今後の方向性を分析しました。

#### ■満足度・重要度の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
満足	→	2点		非常に重要	→	2点
やや満足	→	1点		重要	→	1点
普通	→	0点		普通	→	0点
やや不満	→	-1点		あまり重要でない	→	-1点
不満	→	-2点		重要ではない	→	-2点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

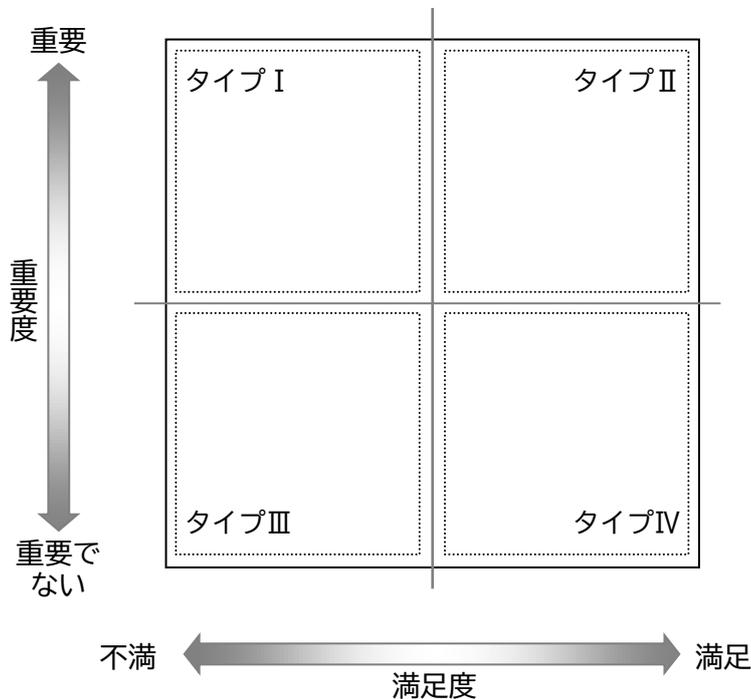
#### ■得点の算出式■

$$\begin{aligned}
 & 2点 \times \text{「満足 (非常に重要)」の回答数} \\
 & + 1点 \times \text{「やや満足 (重要)」の回答数} \\
 & + 0点 \times \text{「普通」の回答数} \\
 & - 1点 \times \text{「やや不満 (あまり重要でない)」の回答数} \\
 & - 2点 \times \text{「不満 (重要ではない)」の回答数} / \text{無回答を除く回答数}
 \end{aligned}$$

※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

## (2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、分析しました。



◆タイプⅠ 満足度は低いが、重要度が高い

→ 今後の重点課題として検討が必要な施策。

◆タイプⅡ 取り組んでおり、拡充したい

→ 継続して実施する必要がある施策。

◆タイプⅢ 取り組んでおらず、縮小したい

→ 満足度及び重要度が低いため、施策の実施方法の変更などの検討が必要な施策。

◆タイプⅣ 取り組んでいるが、縮小したい

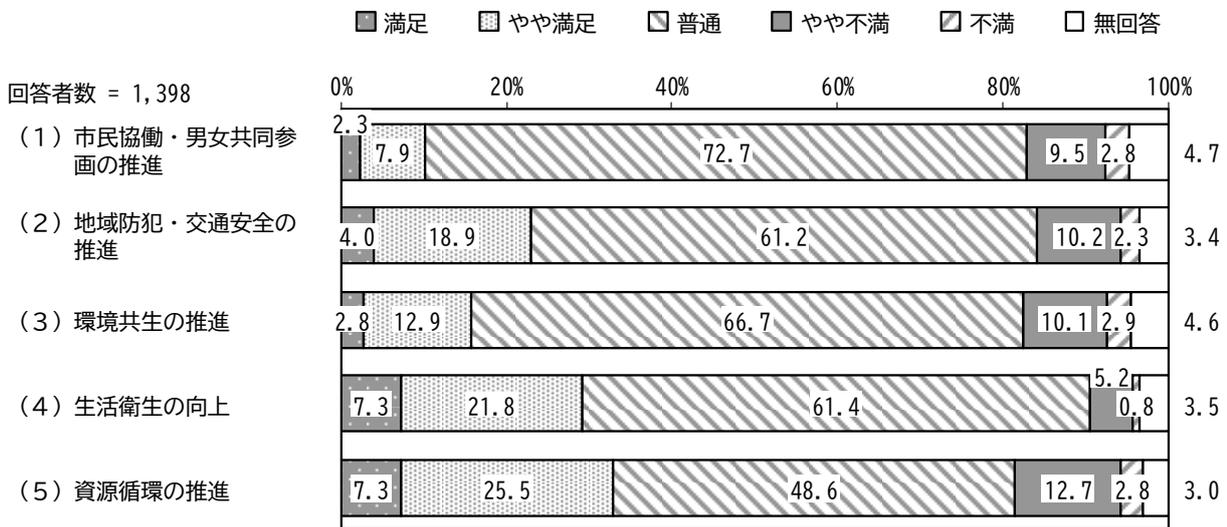
→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられる施策。ただし、施策が過剰になっていないか、検討が必要。

<市民環境分野>

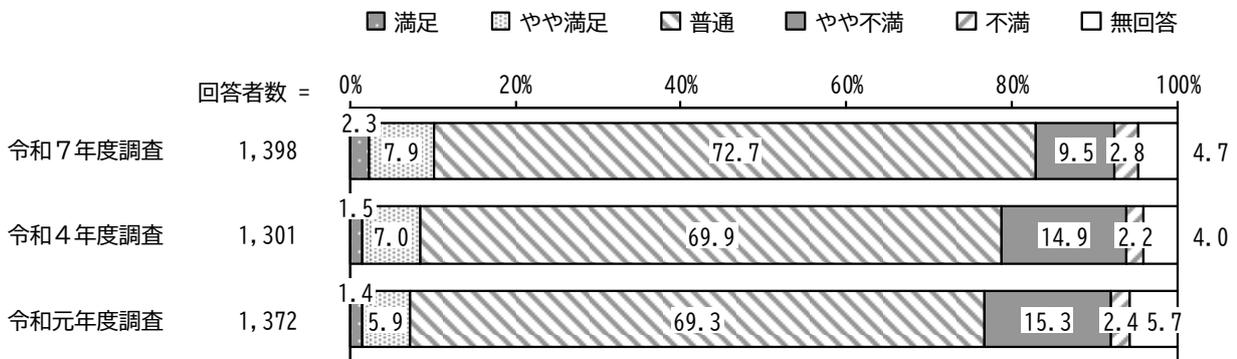
満足度

満足度について、令和4年度調査と比べると、「満足」「やや満足」を合わせた“満足”（以下同じ）は、『(1) 市民協働・男女共同参画の推進』『(3) 環境共生の推進』で増加しています。

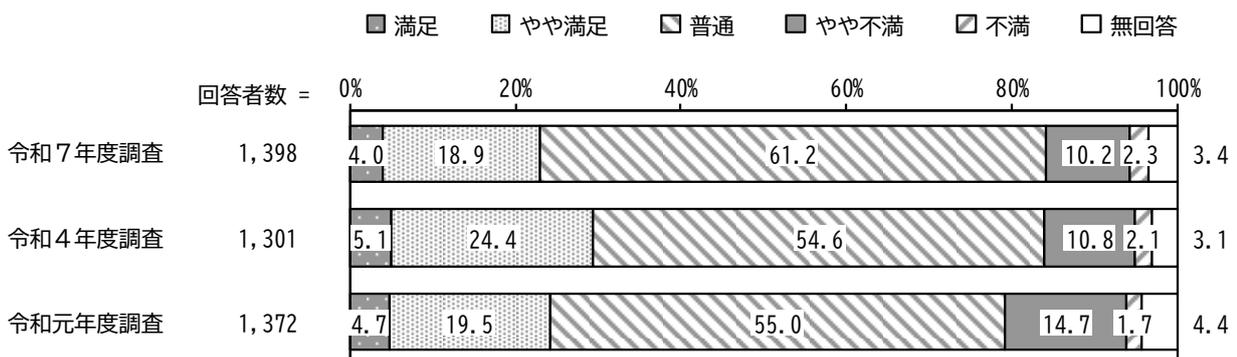
「不満」「やや不満」を合わせた“不満”（以下同じ）は、『(4) 生活衛生の向上』『(5) 資源循環の推進』で増加しており、『(5) 資源循環の推進』は6.7ポイント増加しています。



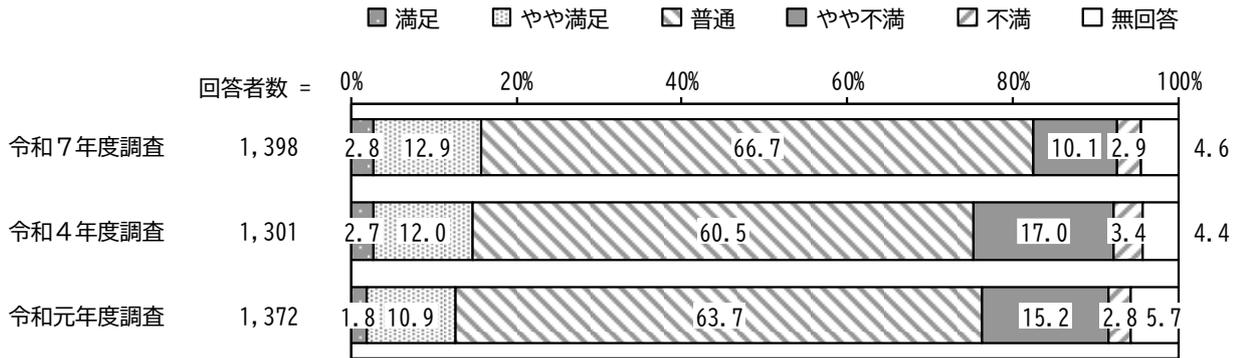
(1) 市民協働・男女共同参画の推進



(2) 地域防犯・交通安全の推進

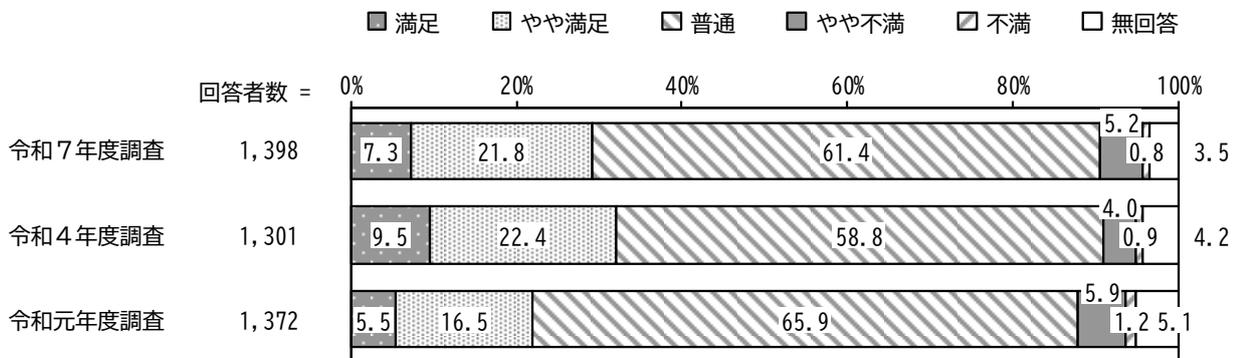


### (3) 環境共生の推進

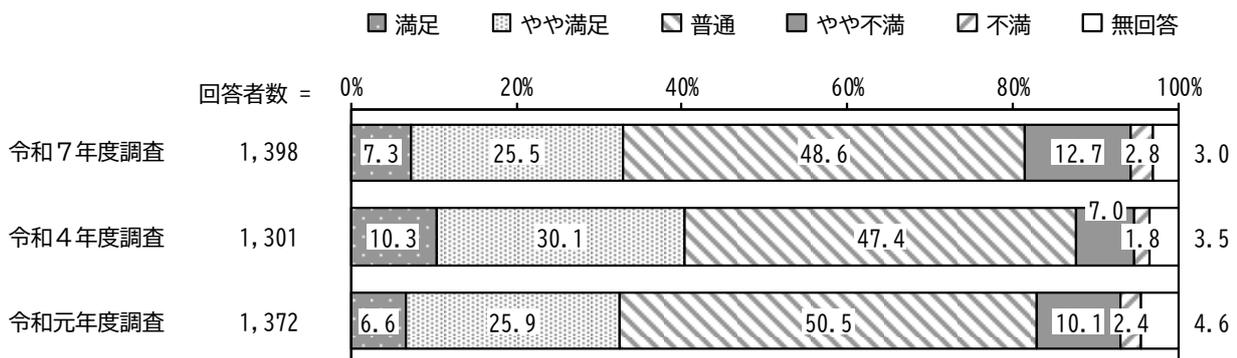


※令和4年度調査・令和元年度調査では、項目が「(3) 環境共生まちづくり」「(4) 環境保全の推進」に分かれていました。

### (4) 生活衛生の向上



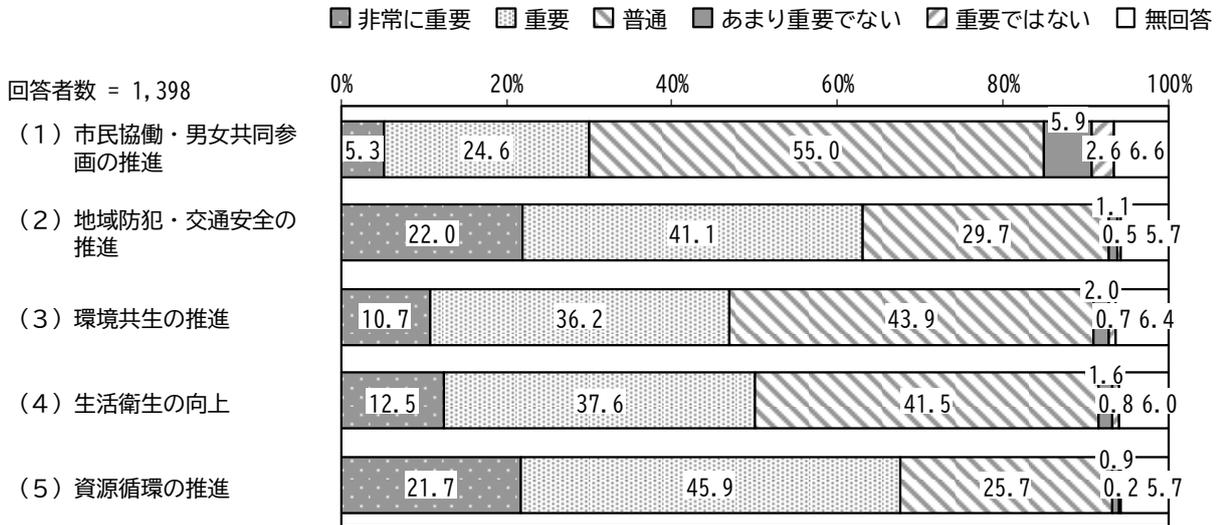
### (5) 資源循環の推進



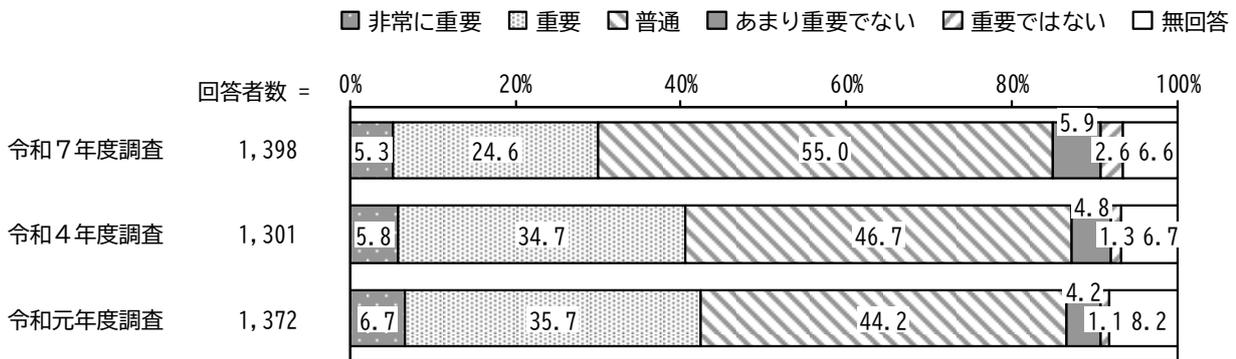
## 重要度

重要度について、令和4年度調査と比べると、「非常に重要」「重要」を合わせた“重要”（以下同じ）は、『(4)生活衛生の向上』で増加しています。

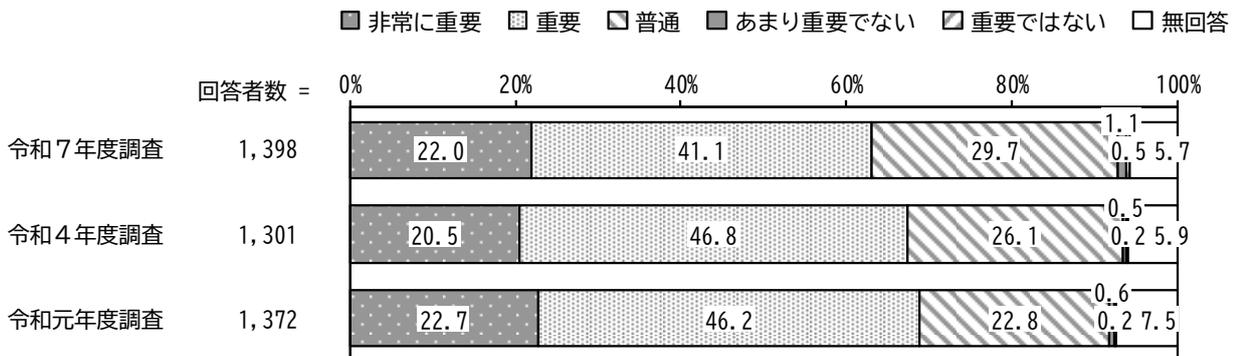
「重要ではない」「あまり重要でない」を合わせた“重要ではない”（以下同じ）は、『(3)環境共生の推進』を除く全ての項目で増加しています。



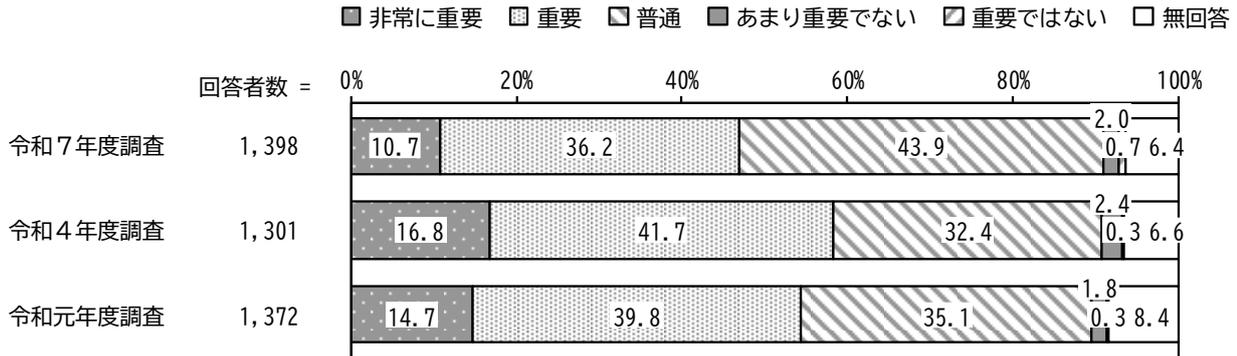
### (1) 市民協働・男女共同参画の推進



### (2) 地域防犯・交通安全の推進

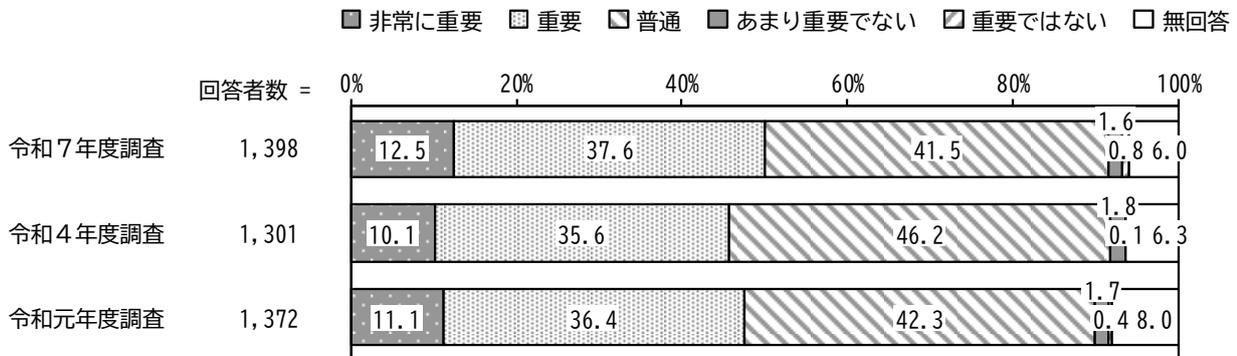


### (3) 環境共生の推進

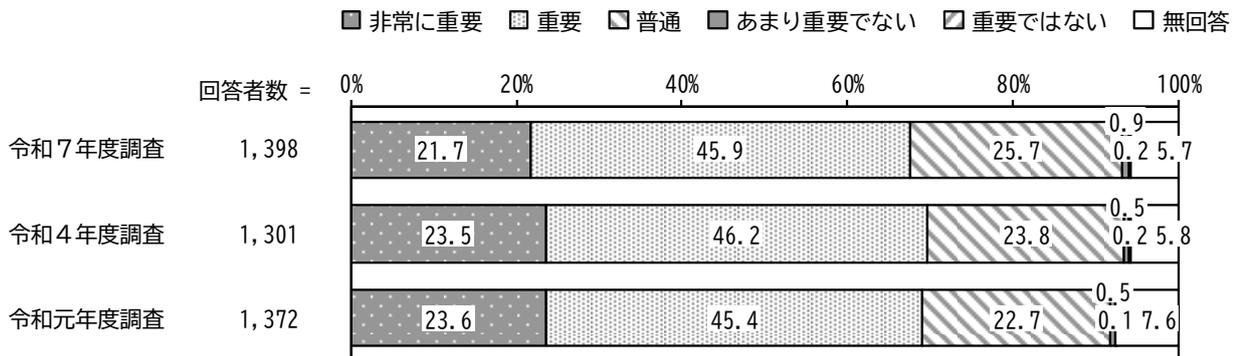


※令和4年度調査・令和元年度調査では、項目が「(3) 環境共生まちづくり」「(4) 環境保全の推進」に分かれていました。

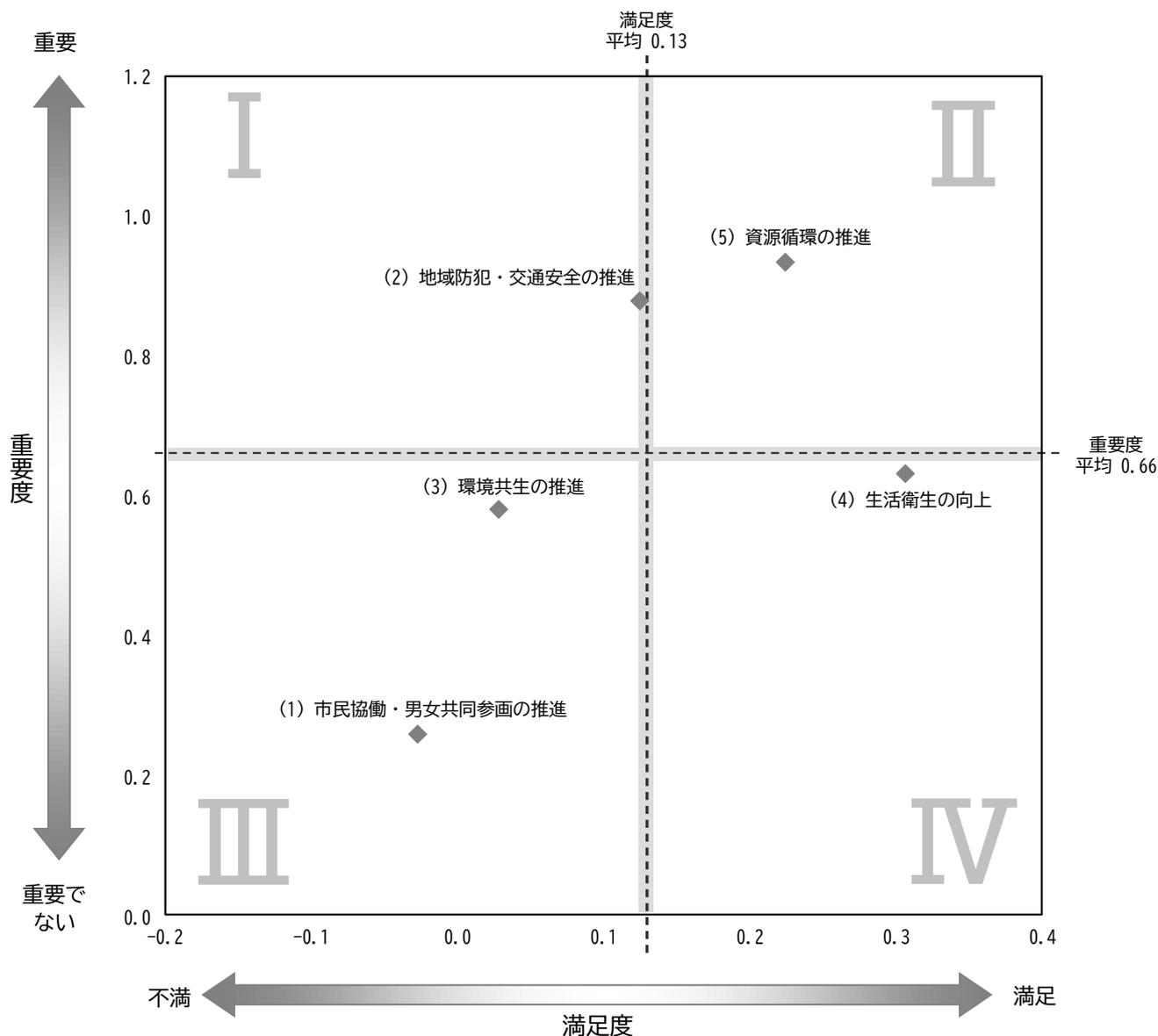
### (4) 生活衛生の向上



### (5) 資源循環の推進



ポートフォリオ分析による市民環境分野の評価については、『(2) 地域防犯・交通安全の推進』が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度			重要度		
	R1	R4	R7	R1	R4	R7
(1) 市民協働・男女共同参画の推進	-0.12	-0.10	-0.03	0.47	0.42	0.26
(2) 地域防犯・交通安全の推進	0.12	0.20	0.13	0.98	0.92	0.88
(3) 環境共生の推進	0.02	-0.04	0.03	0.62	0.71	0.58
(4) 生活衛生の向上	0.20	0.37	0.31	0.61	0.57	0.63
(5) 資源循環の推進	0.25	0.42	0.22	0.99	0.98	0.93

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

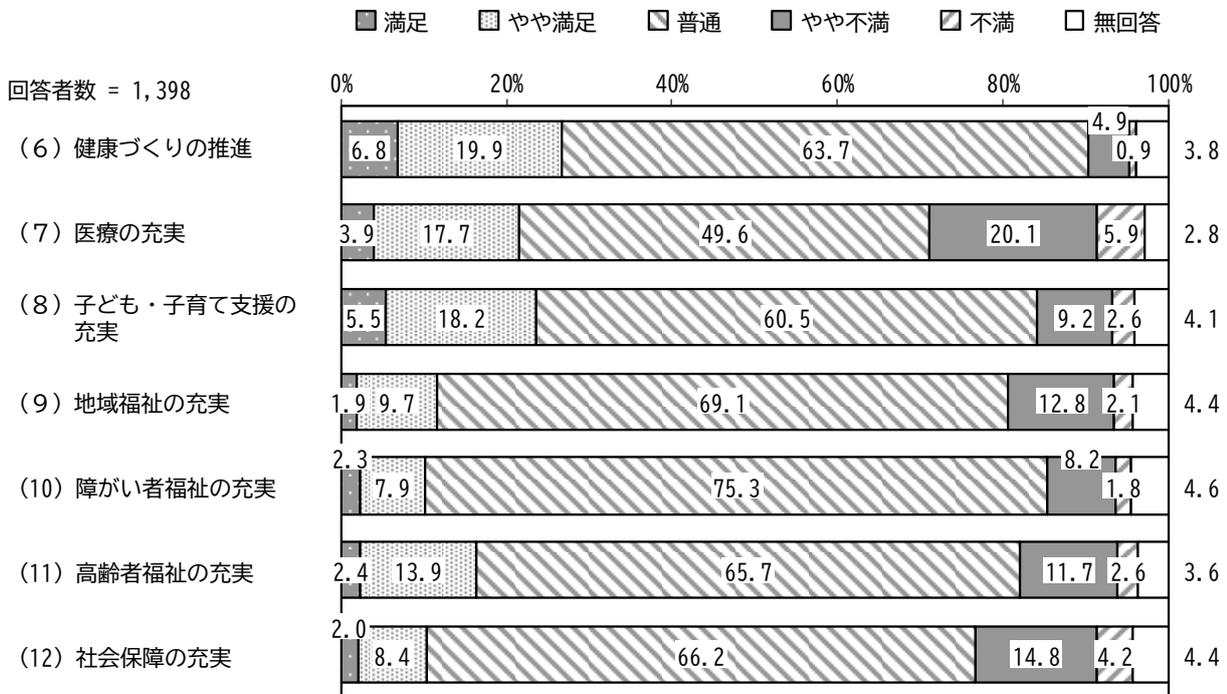
(2) 地域防犯・交通安全の推進

<健康福祉分野>

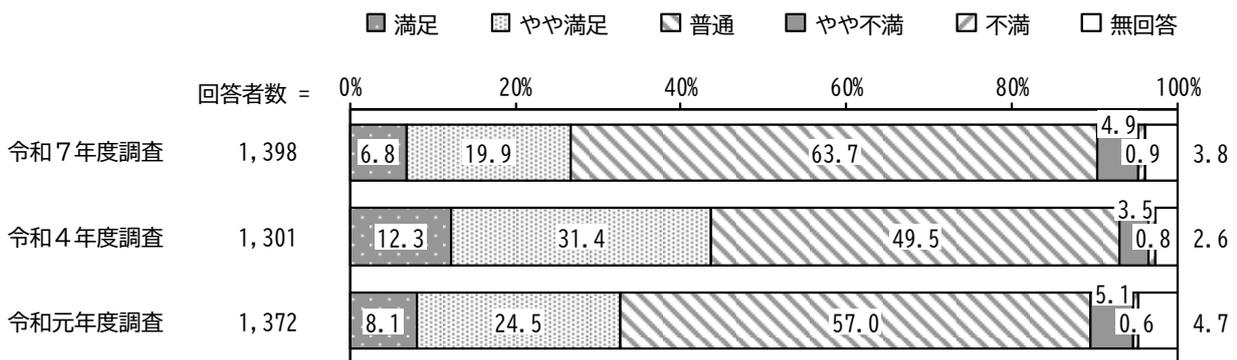
満足度

満足度について、令和4年度調査と比べると、“満足”は、全ての項目で減少しており、『(6)健康づくりの推進』は17.0ポイント減少しています。

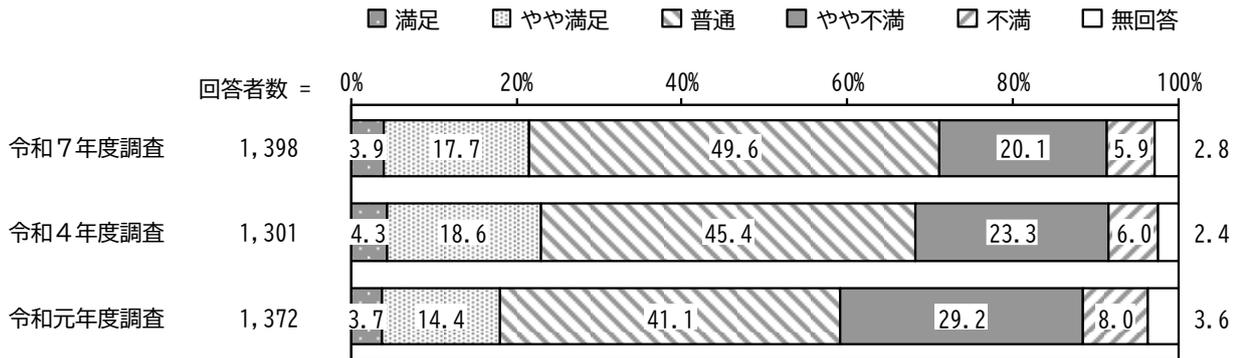
“不満”は、『(7)医療の充実』を除く全ての項目で増加しており、『(8)子ども・子育て支援の充実』は6.4ポイント増加しています。



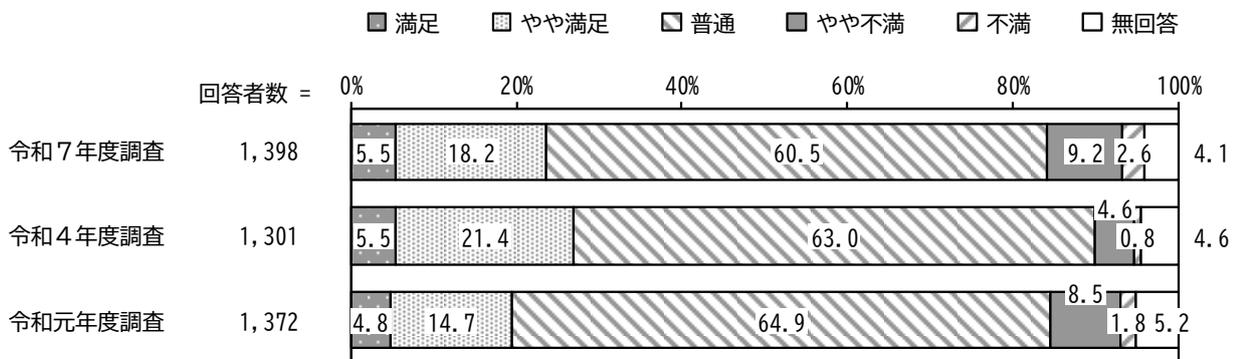
(6) 健康づくりの推進



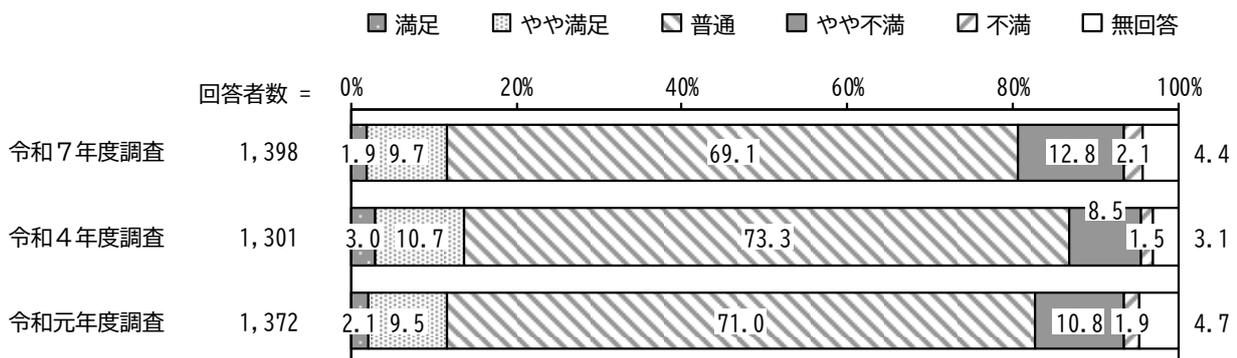
### (7) 医療の充実



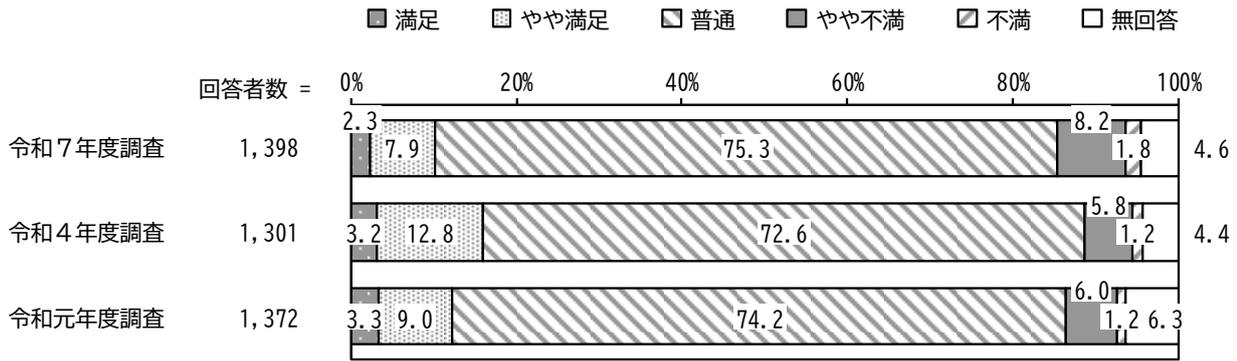
### (8) 子ども・子育て支援の充実



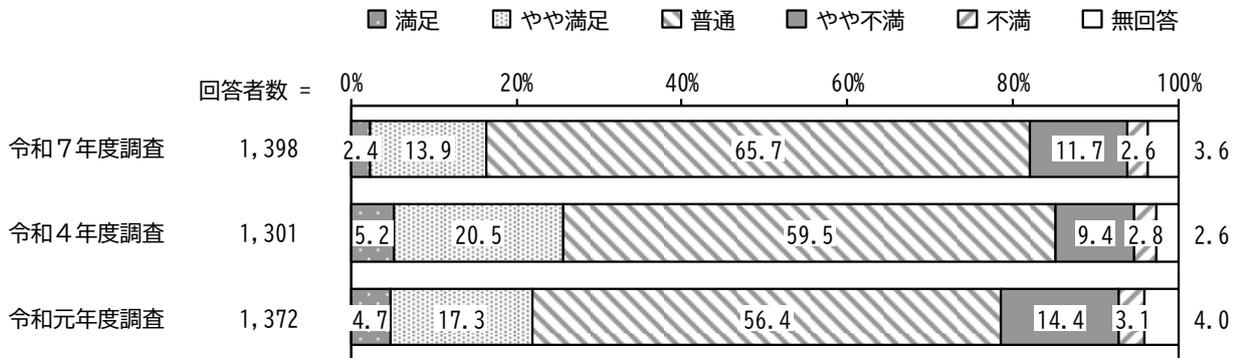
### (9) 地域福祉の充実



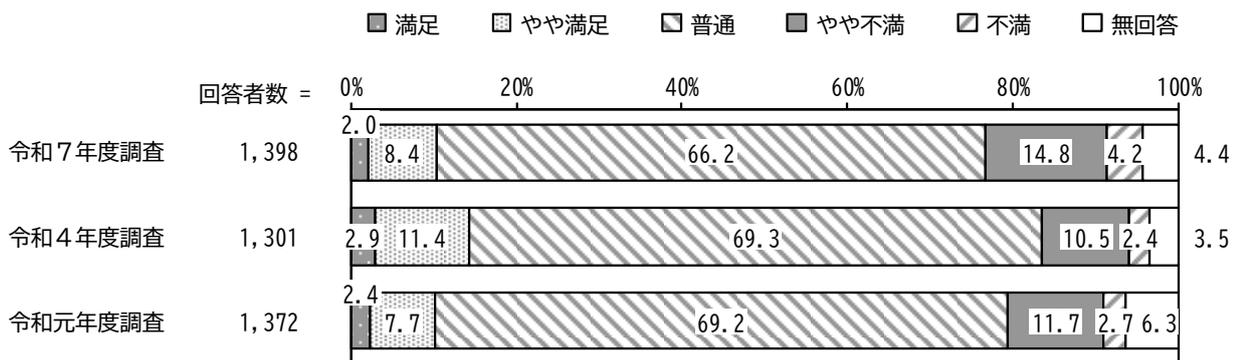
### (10) 障がい者福祉の充実



### (11) 高齢者福祉の充実



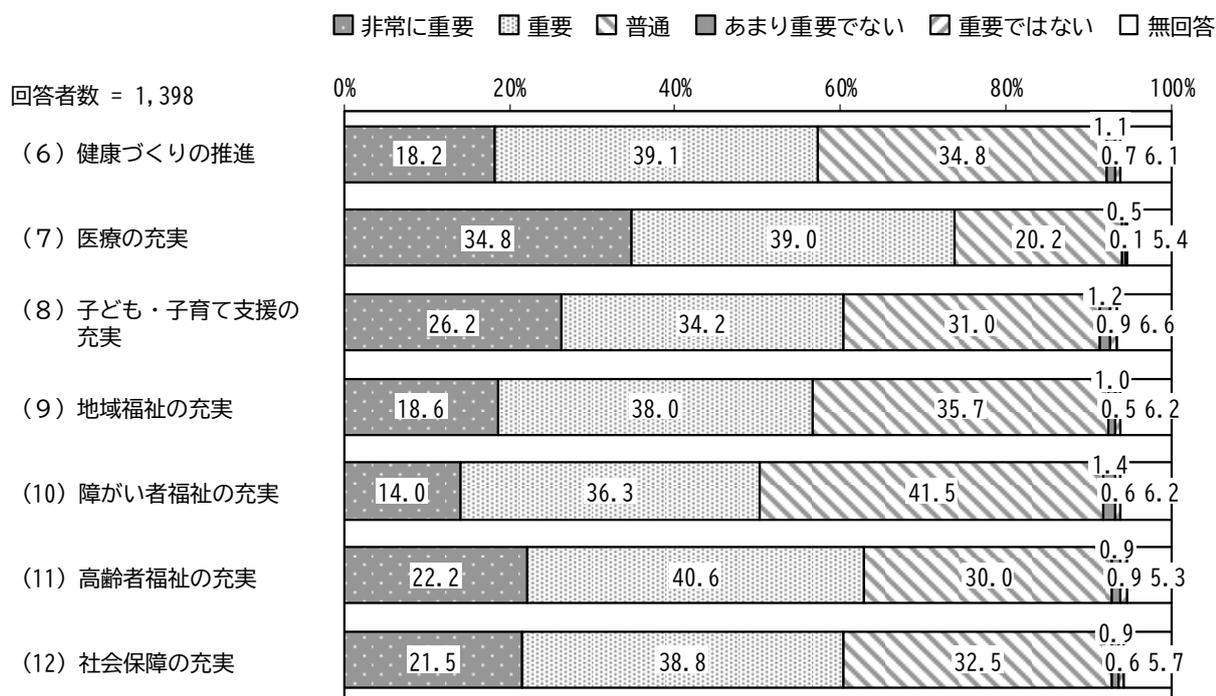
### (12) 社会保障の充実



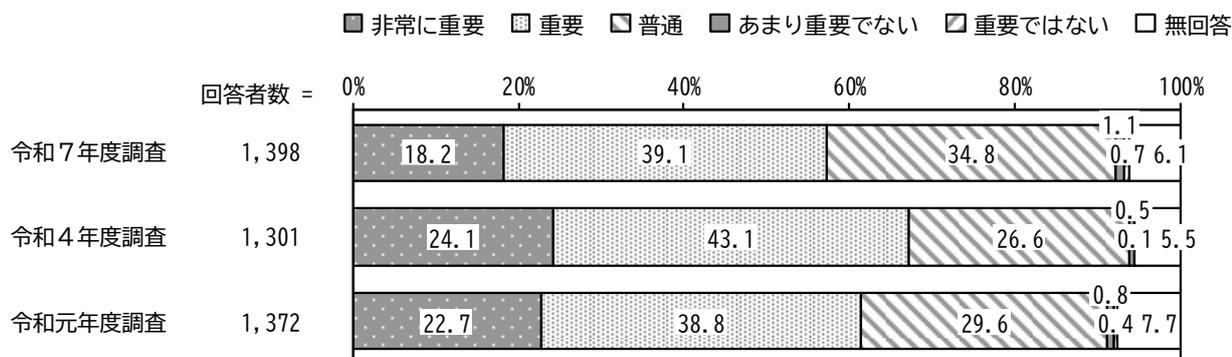
## 重要度

重要度について、令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(8) 子ども・子育て支援の充実』『(9) 地域福祉の充実』『(11) 高齢者福祉の充実』『(12) 社会保障の充実』で増加しています。

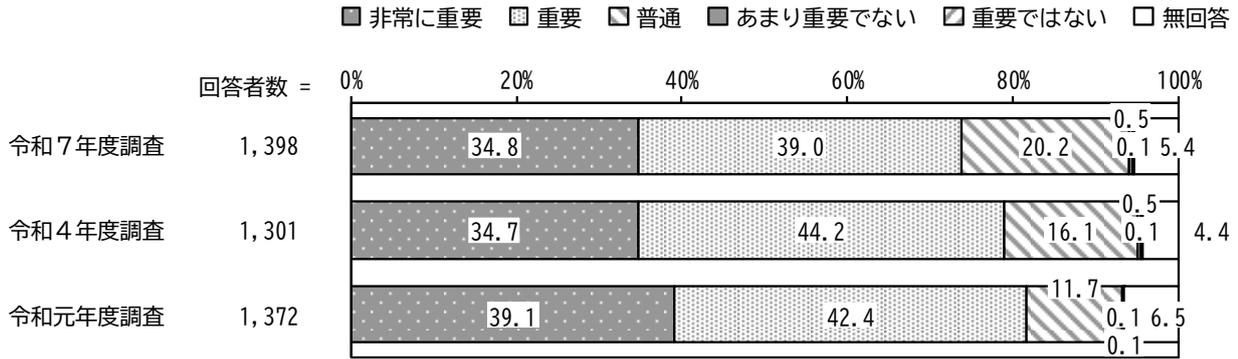
“重要ではない”は、いずれも1.5ポイント未満の増減となっています。



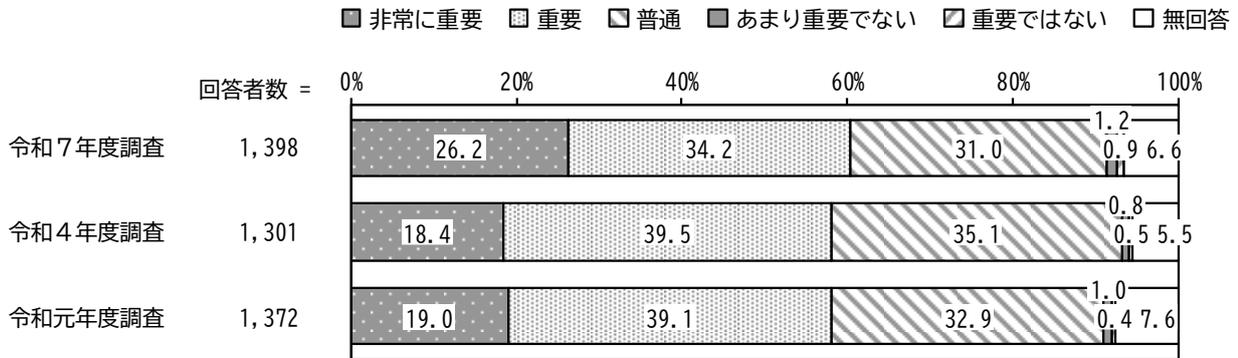
## (6) 健康づくりの推進



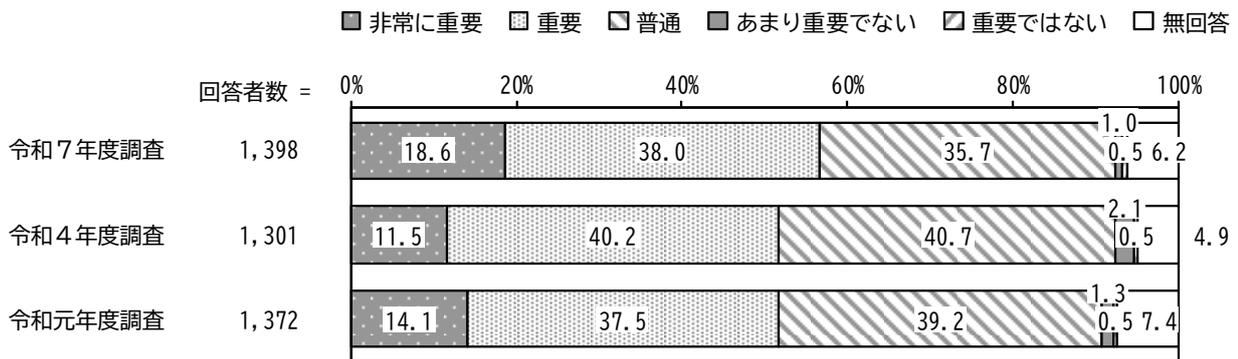
### (7) 医療の充実



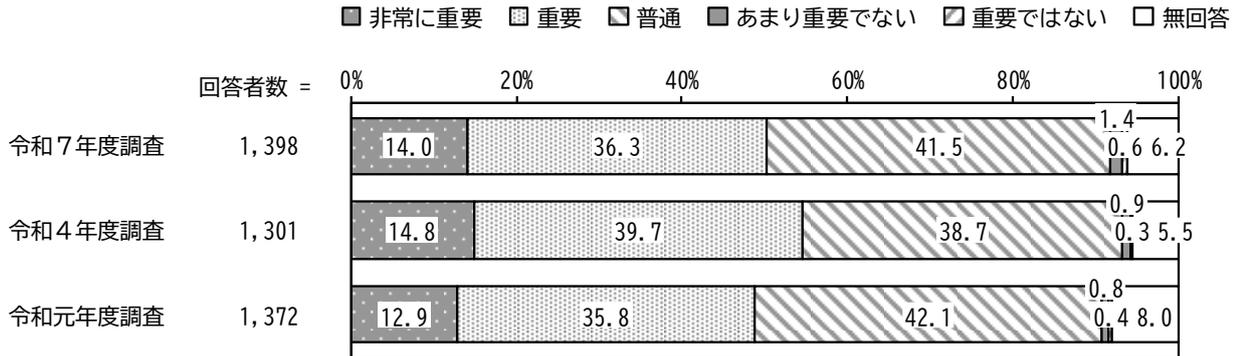
### (8) 子ども・子育て支援の充実



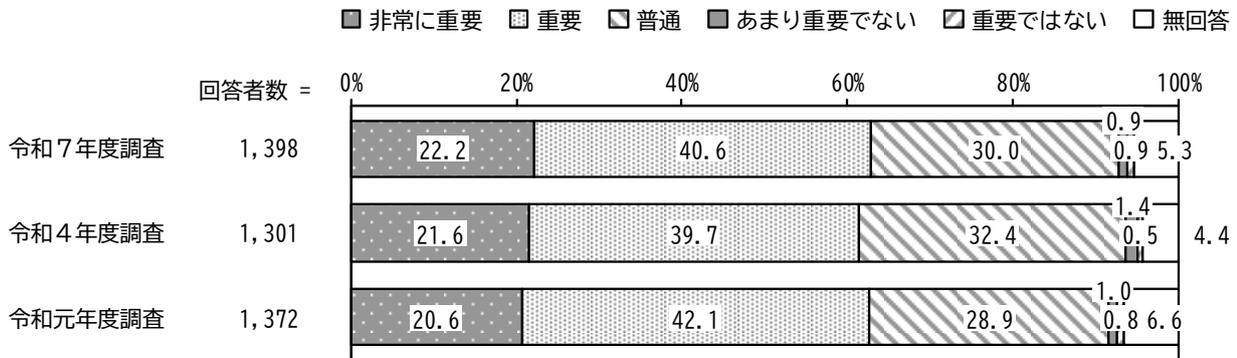
### (9) 地域福祉の充実



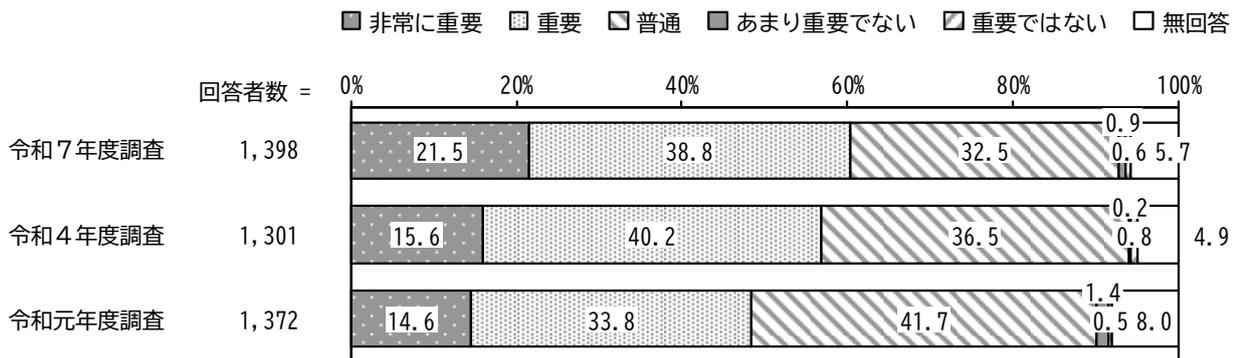
### (10) 障がい者福祉の充実



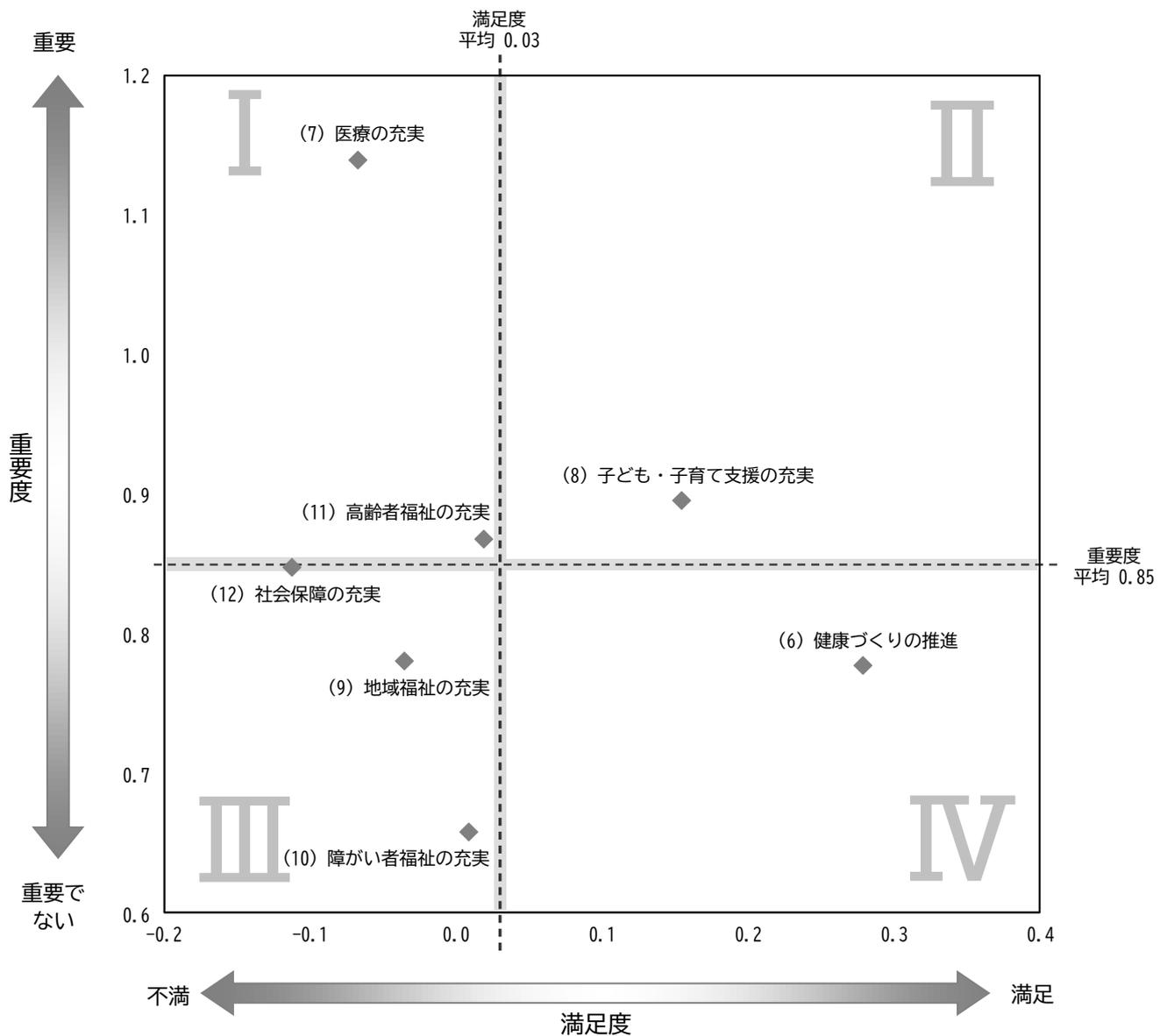
### (11) 高齢者福祉の充実



### (12) 社会保障の充実



ポートフォリオ分析による健康福祉分野の評価については、『(7) 医療の充実』『(11) 高齢者福祉の充実』が、ともに重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度			重要度		
	R1	R4	R7	R1	R4	R7
(6) 健康づくりの推進	0.36	0.52	0.28	0.90	0.96	0.78
(7) 医療の充実	-0.24	-0.08	-0.07	1.24	1.29	1.14
(8) 子ども・子育て支援の充実	-0.01	0.05	0.16	0.68	0.63	0.90
(9) 地域福祉の充実	0.13	0.27	-0.04	0.81	0.81	0.78
(10) 障がい者福祉の充実	0.08	0.12	0.01	0.65	0.65	0.66
(11) 高齢者福祉の充実	0.07	0.16	0.02	0.86	0.86	0.87
(12) 社会保障の充実	-0.05	0.02	-0.11	0.66	0.66	0.85

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

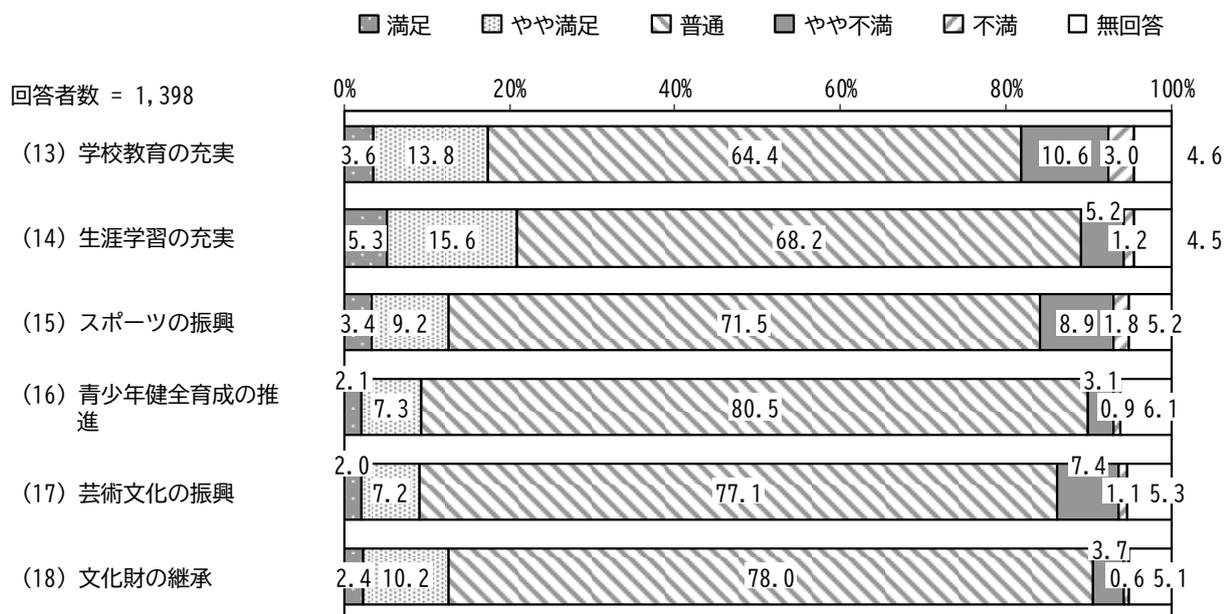
(7) 医療の充実 (11) 高齢者福祉の充実

<教育文化分野>

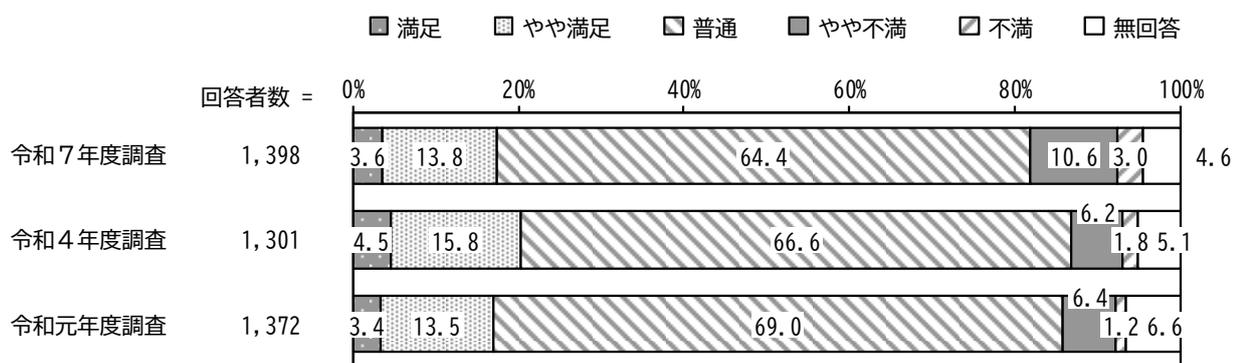
満足度

満足度について、令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(13) 学校教育の充実』『(17) 芸術文化の振興』で減少しています。

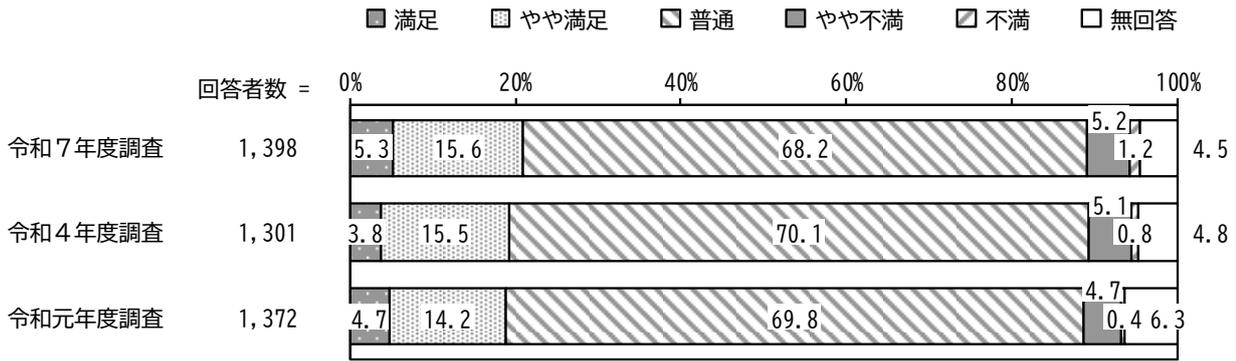
“不満”は、『(16) 青少年健全育成の推進』『(18) 文化財の継承』を除く項目で増加しており、『(13) 学校教育の充実』は5.6ポイント増加しています。



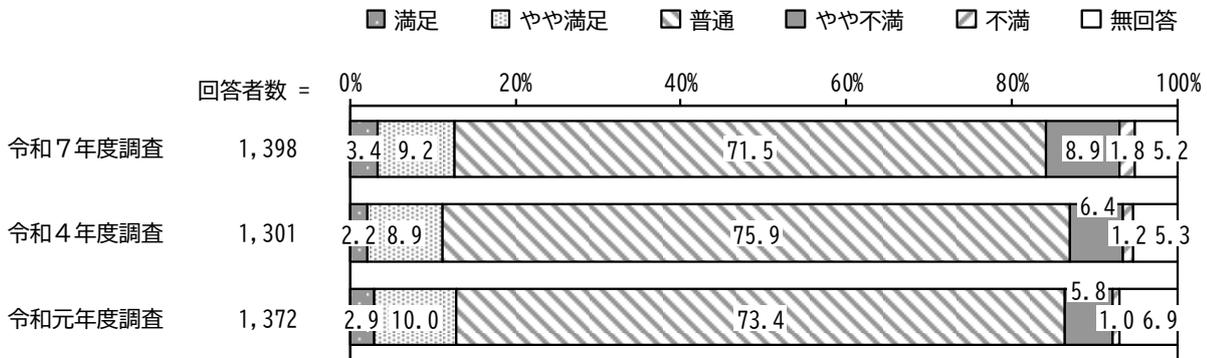
(13) 学校教育の充実



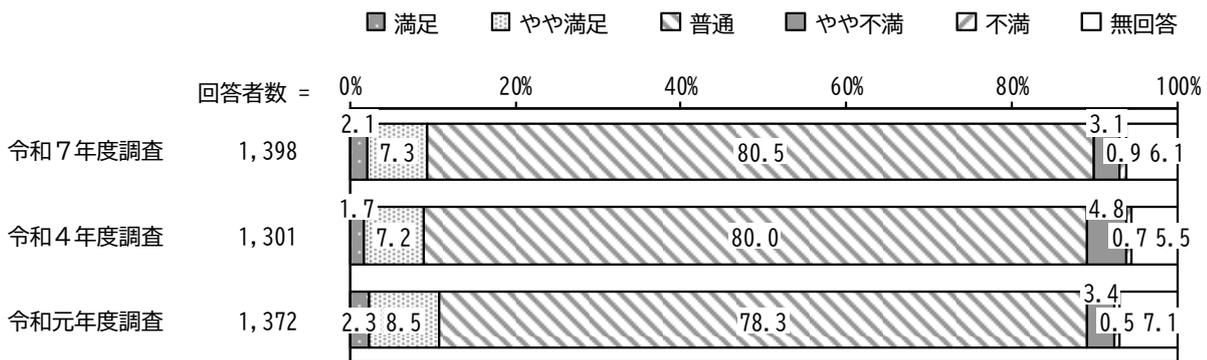
### (14) 生涯学習の充実



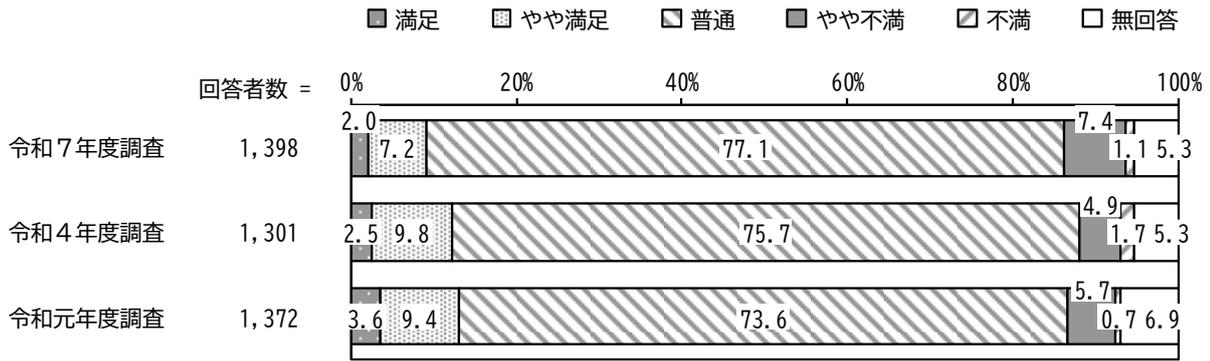
### (15) スポーツの振興



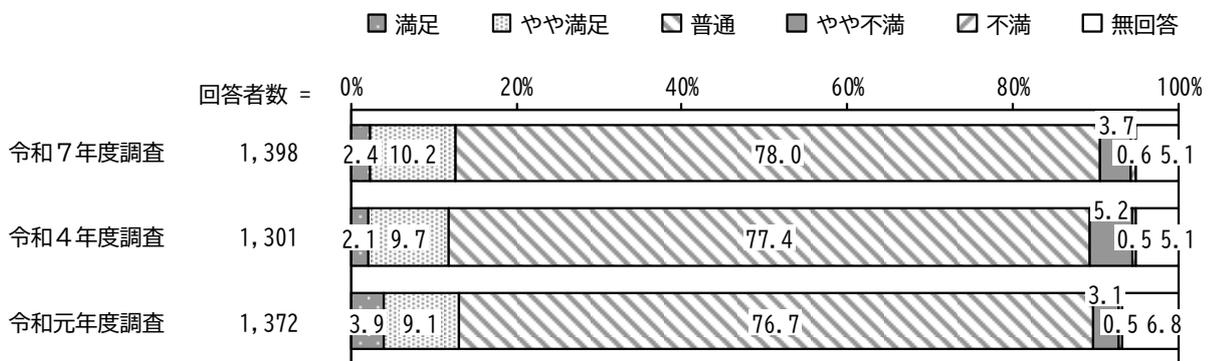
### (16) 青少年健全育成の推進



### (17) 芸術文化の振興



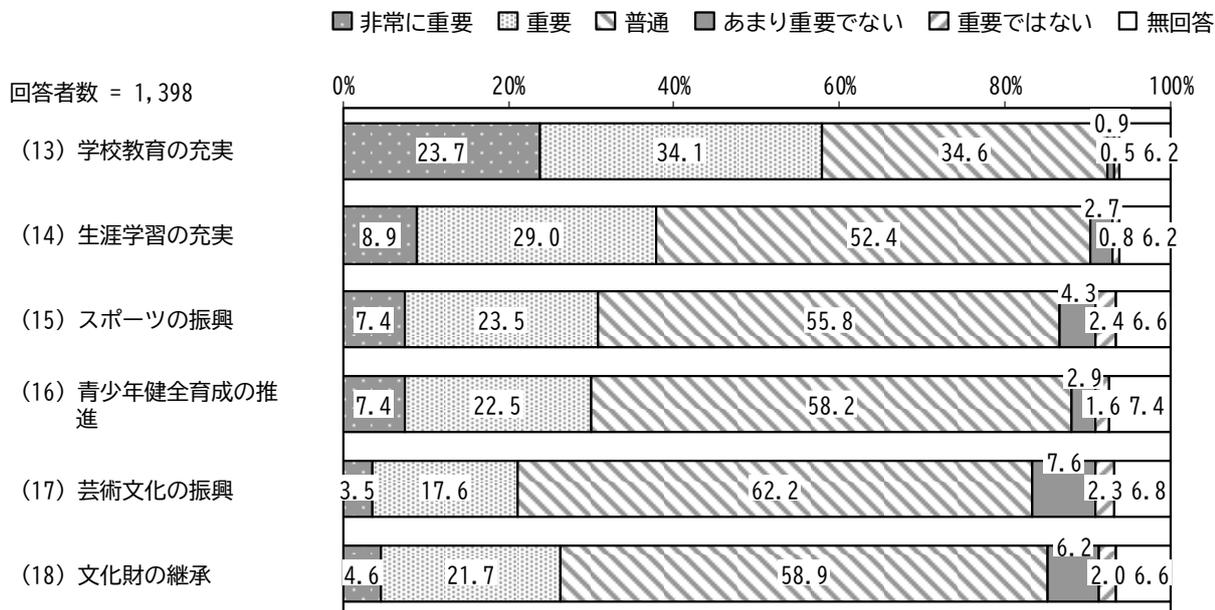
### (18) 文化財の継承



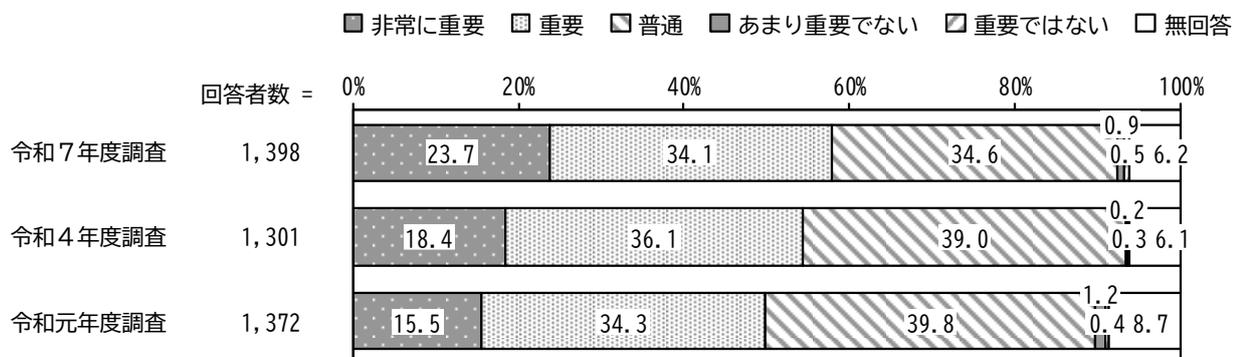
## 重要度

重要度について、令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(13) 学校教育の充実』『(14) 生涯学習の充実』『(15) スポーツの振興』で増加しています。

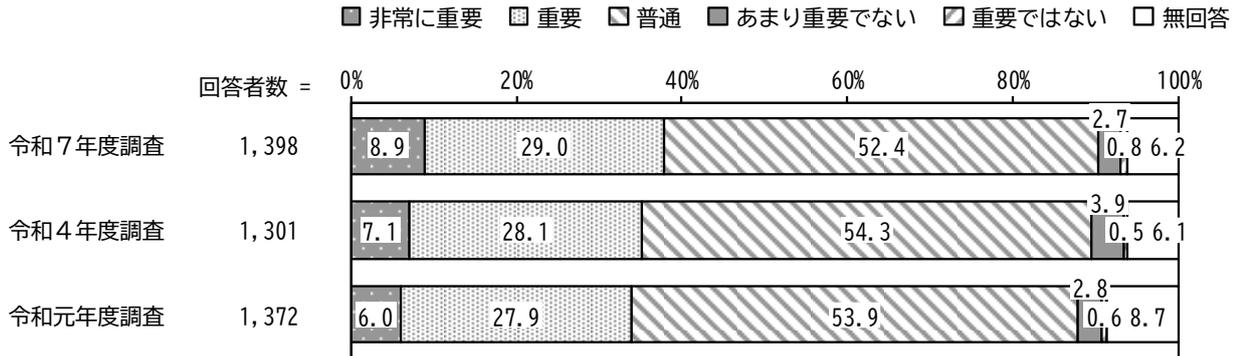
“重要ではない”は、『(17) 芸術文化の振興』を除く全ての項目で、いずれも1ポイント未満の増減となっています。



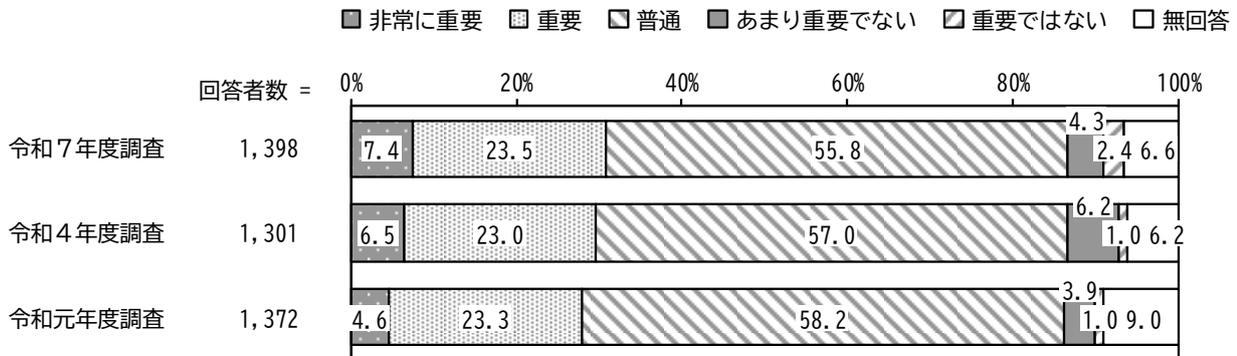
## (13) 学校教育の充実



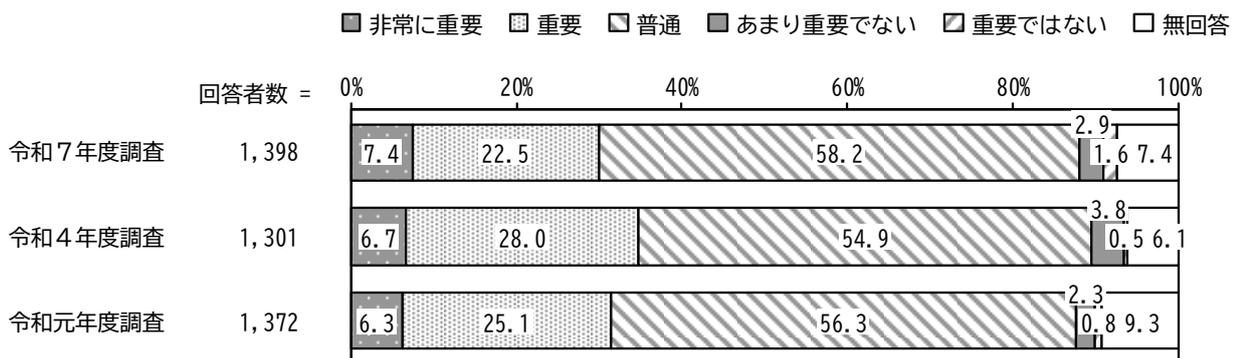
### (14) 生涯学習の充実



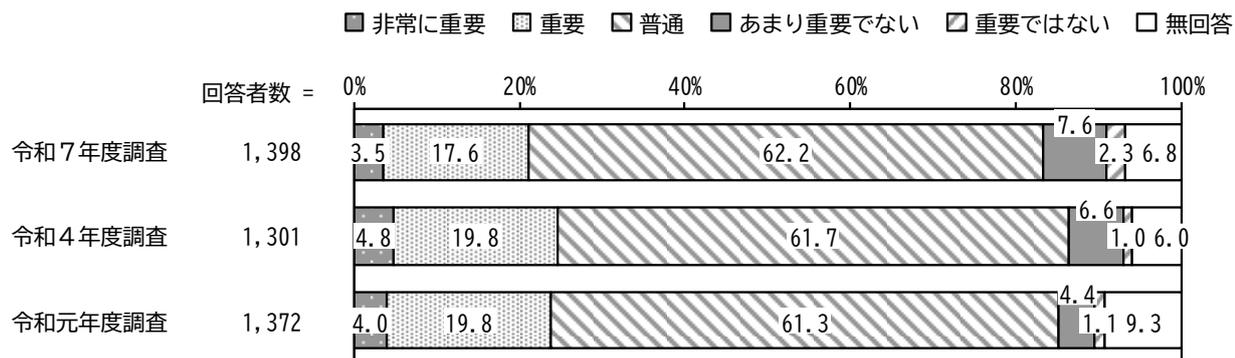
### (15) スポーツの振興



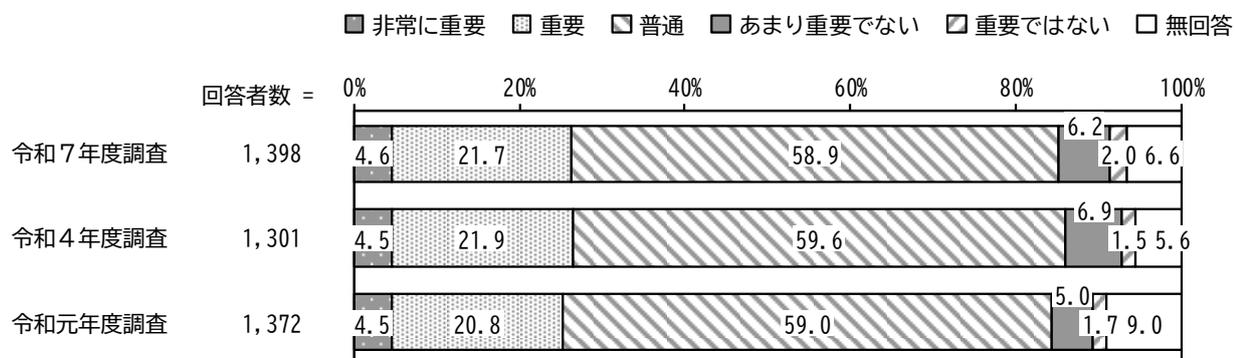
### (16) 青少年健全育成の推進



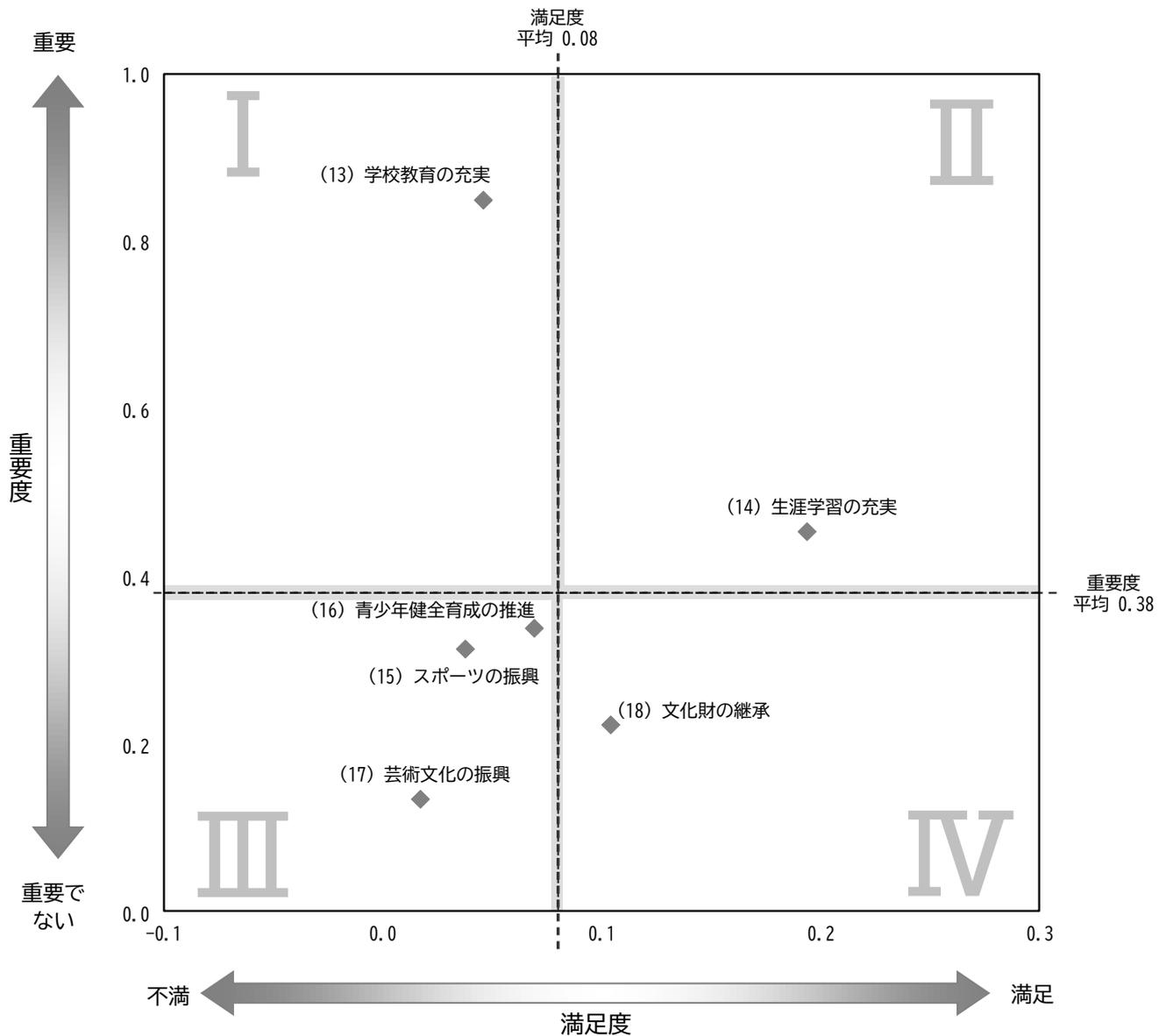
## (17) 芸術文化の振興



## (18) 文化財の継承



ポートフォリオ分析による教育文化分野の評価については、『(13) 学校教育の充実』が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度			重要度		
	R1	R4	R7	R1	R4	R7
(13) 学校教育の充実	0.12	0.16	0.05	0.69	0.77	0.85
(14) 生涯学習の充実	0.20	0.17	0.19	0.39	0.40	0.45
(15) スポーツの振興	0.09	0.05	0.04	0.29	0.30	0.31
(16) 青少年健全育成の推進	0.09	0.05	0.07	0.37	0.39	0.34
(17) 芸術文化の振興	0.10	0.07	0.02	0.23	0.22	0.13
(18) 文化財の継承	0.14	0.08	0.10	0.23	0.22	0.22

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

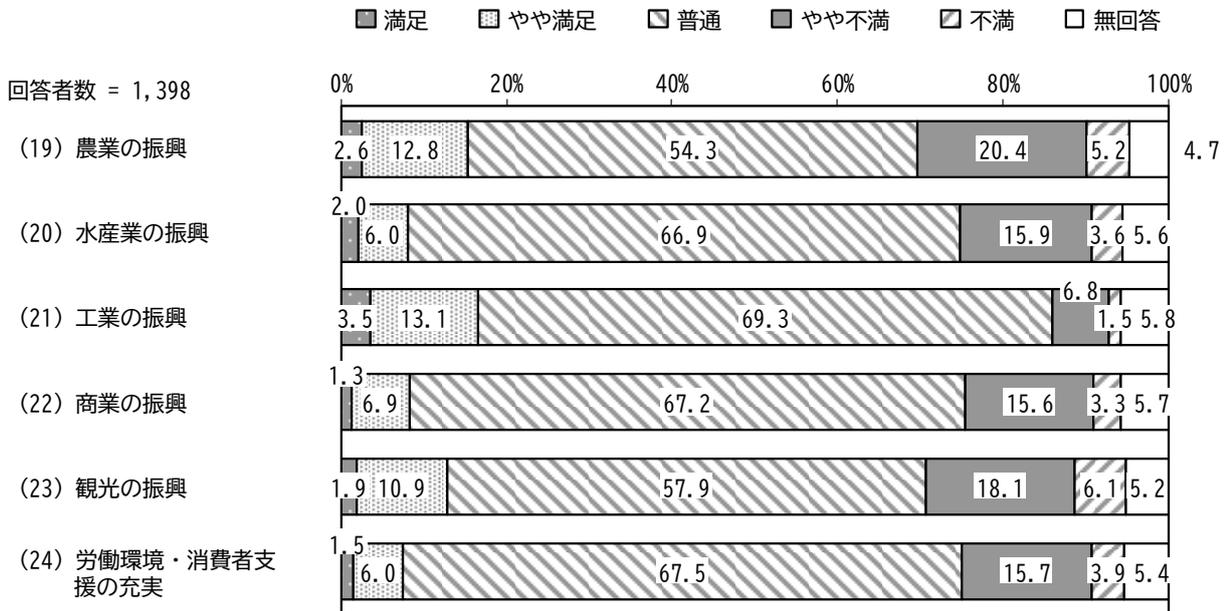
(13) 学校教育の充実

<産業経済分野>

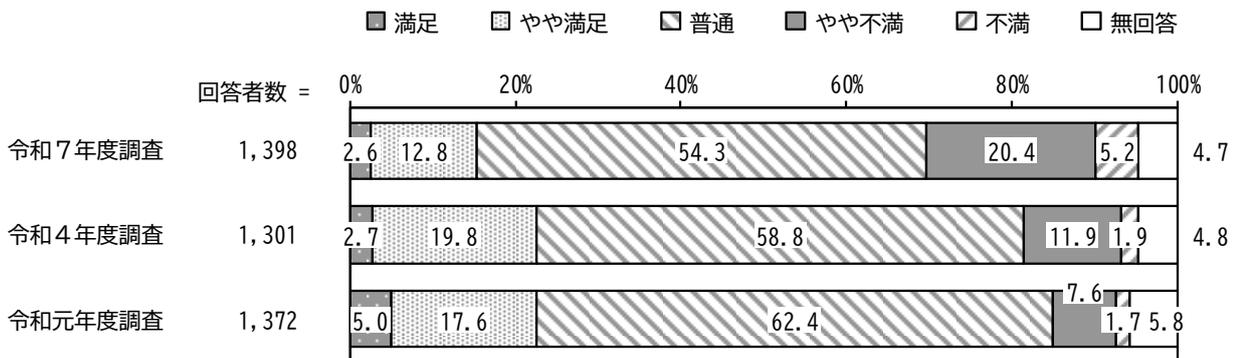
満足度

満足度について、令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(21) 工業の振興』『(24) 労働環境・消費者支援の充実』で増加しており、『(21) 工業の振興』は3.5ポイント増加しています。

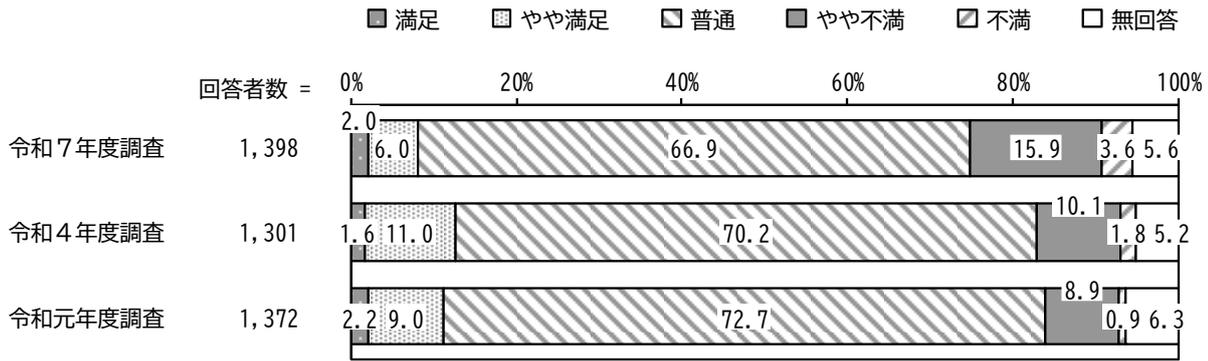
“不満”は、『(21) 工業の振興』を除く全ての項目で増加しており、『(19) 農業の振興』は11.8ポイント、『(20) 水産業の振興』は7.6ポイント増加しています。



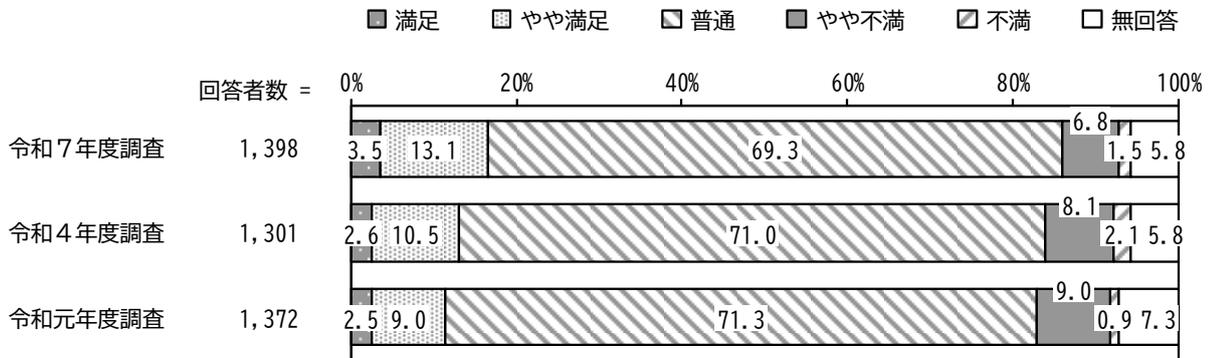
(19) 農業の振興



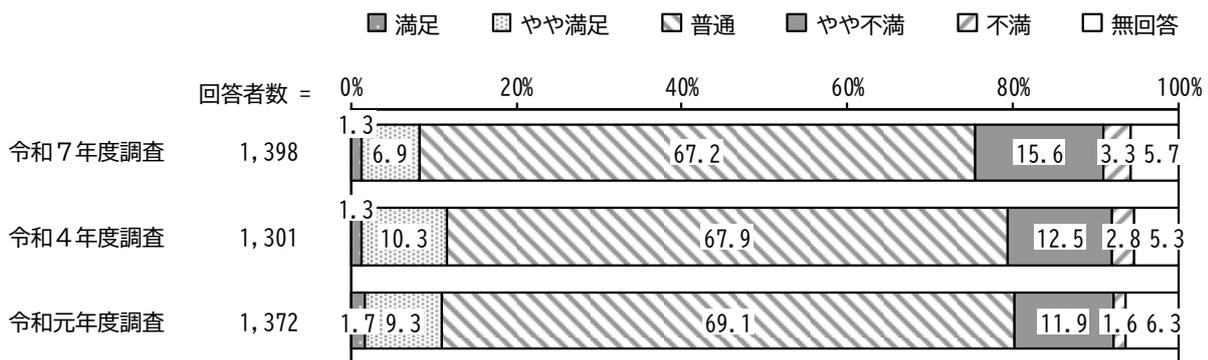
## (20) 水産業の振興



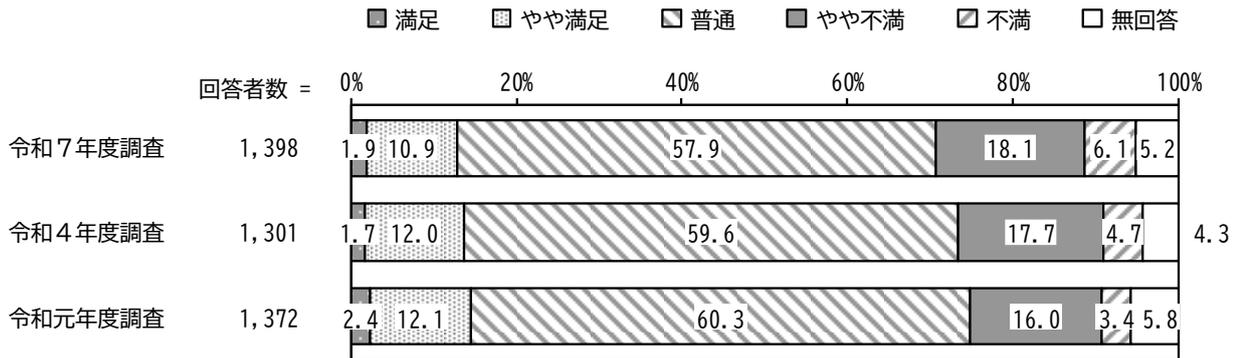
## (21) 工業の振興



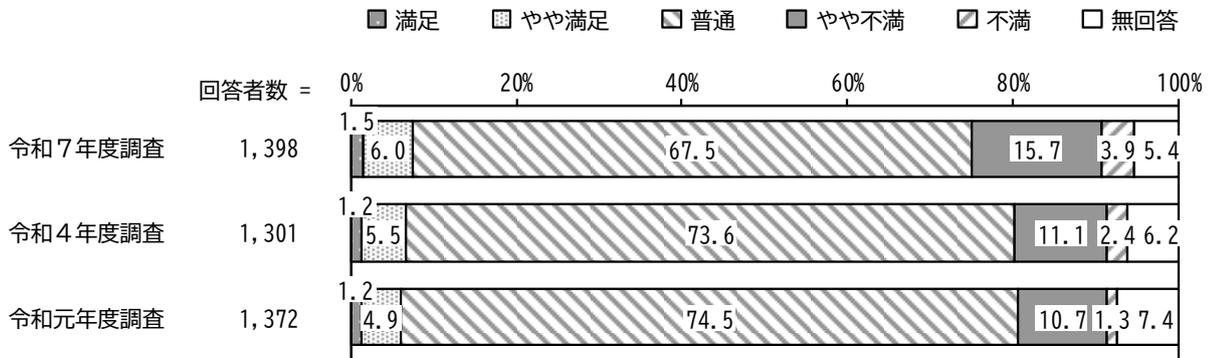
## (22) 商業の振興



(23) 観光の振興



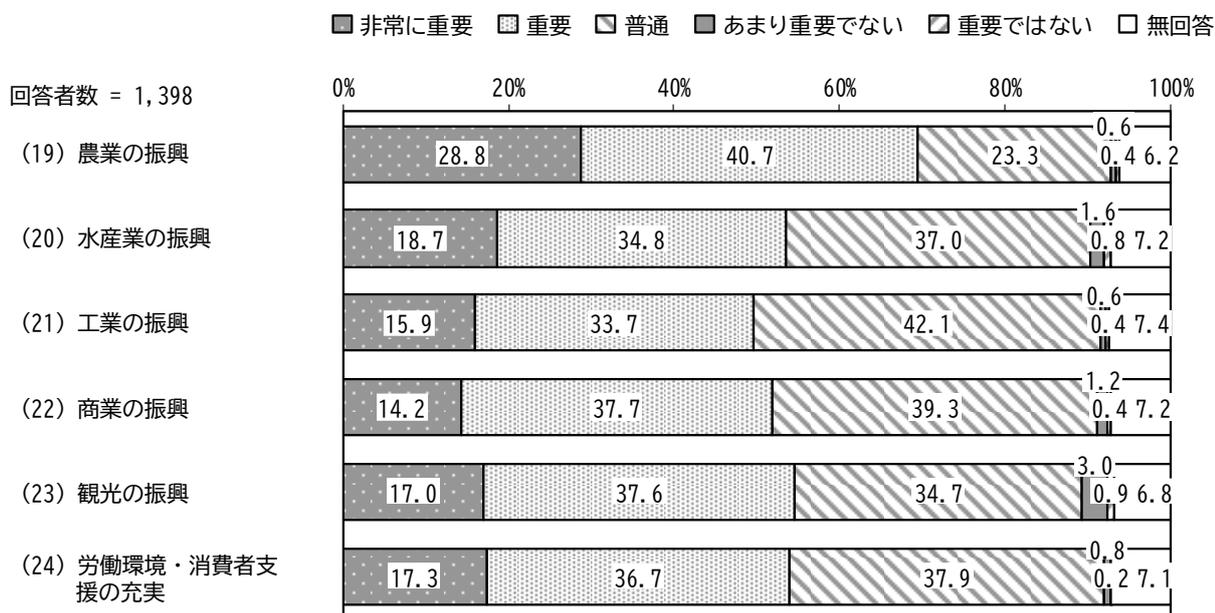
(24) 労働環境・消費者支援の充実



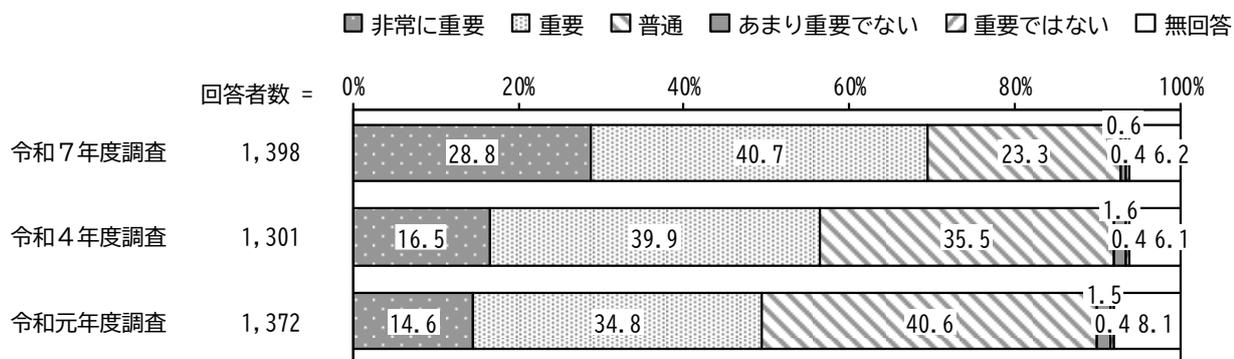
## 重要度

重要度について、令和4年度調査と比べると、“重要”は、全ての項目で増加しており、『(19) 農業の振興』は13.1ポイント、『(20) 水産業の振興』は8.0ポイント増加しています。

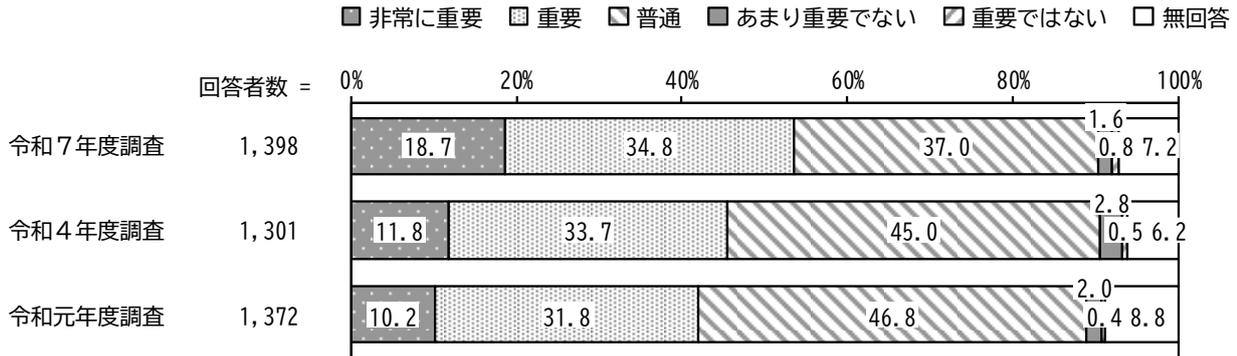
“重要ではない”は、いずれも1.5ポイント未満の増減となっています。



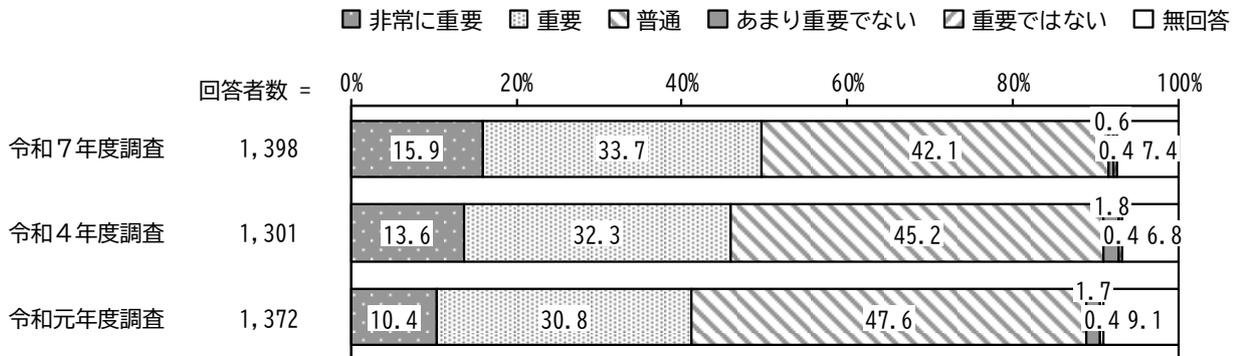
## (19) 農業の振興



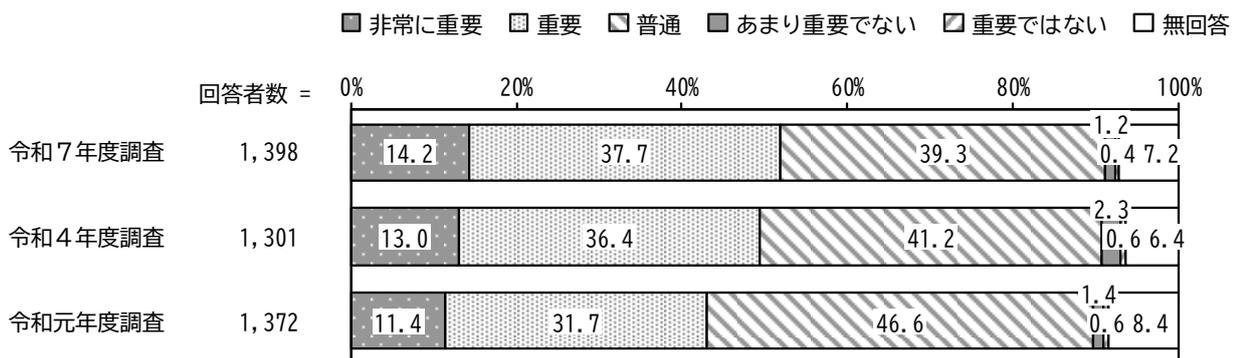
## (20) 水産業の振興



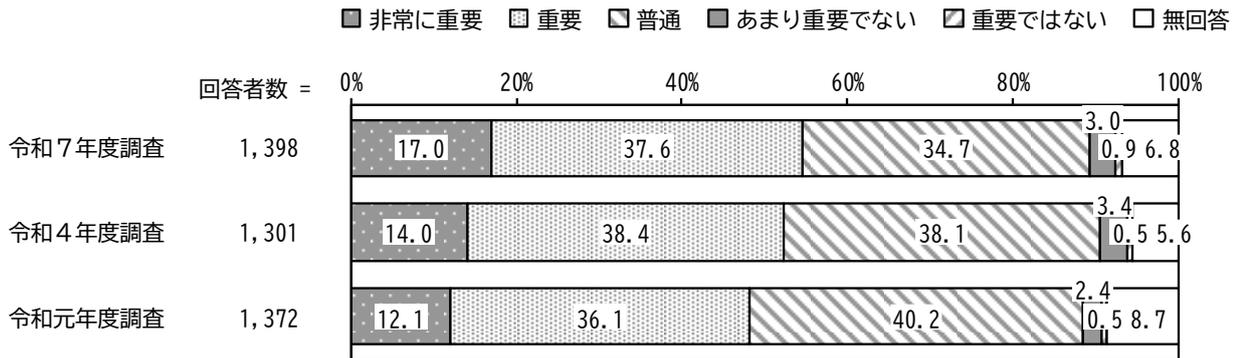
## (21) 工業の振興



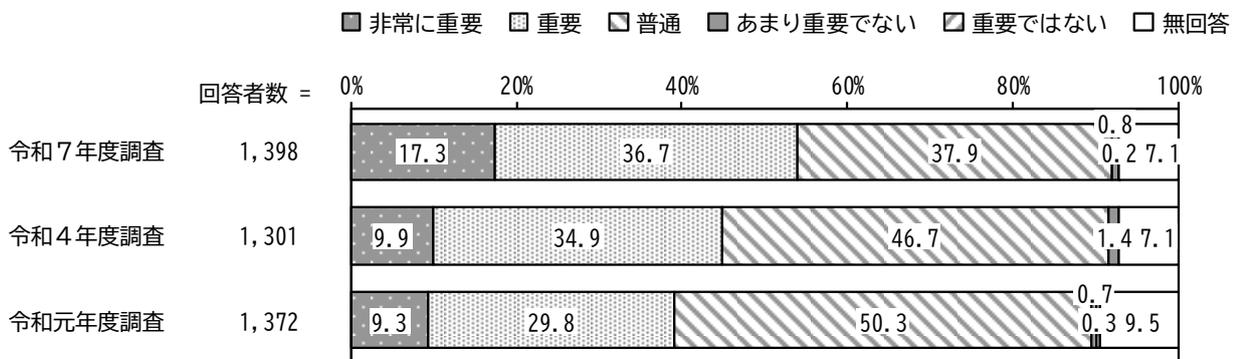
## (22) 商業の振興



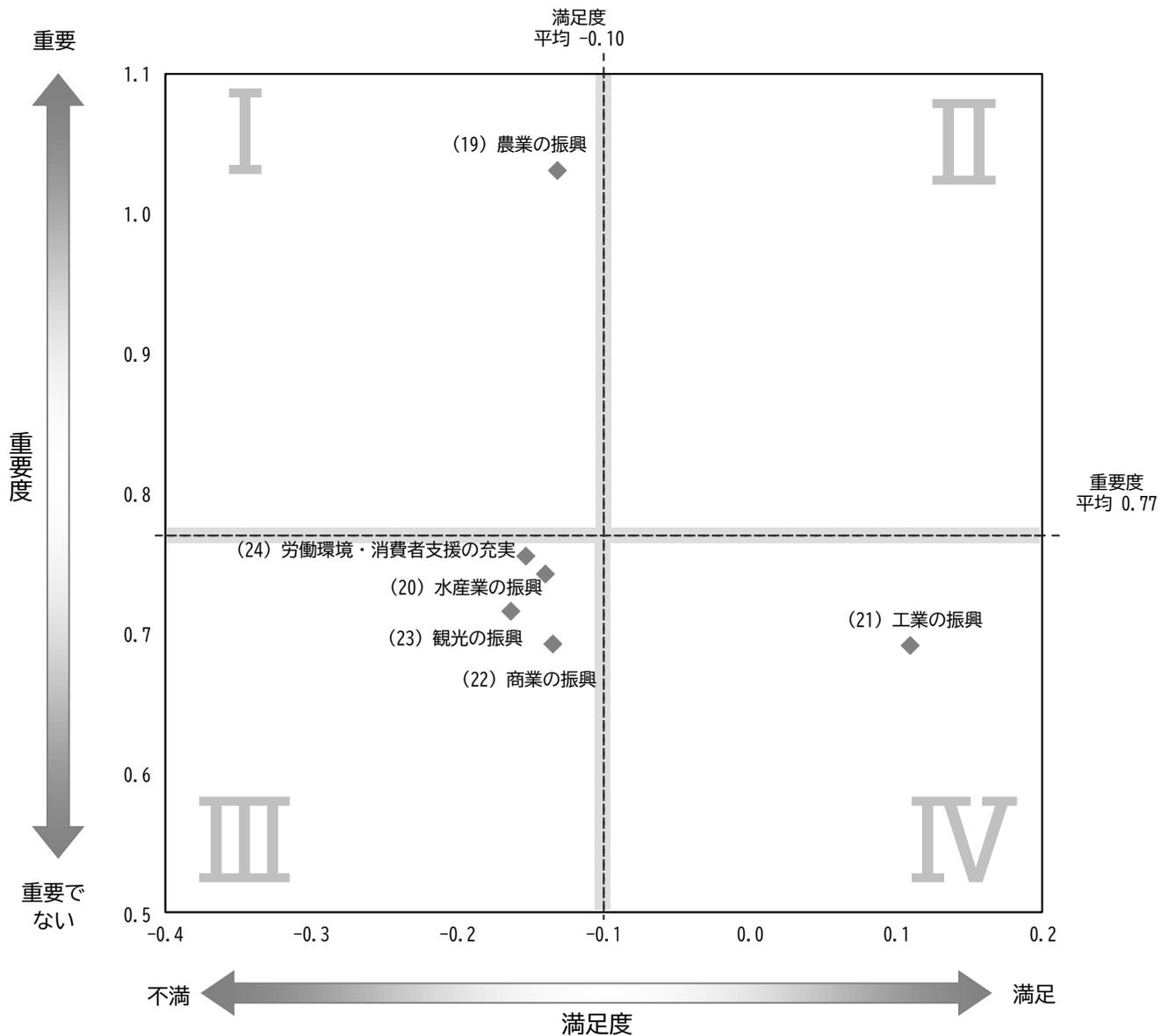
### (23) 観光の振興



### (24) 労働環境・消費者支援の充実



ポートフォリオ分析による産業経済分野の評価については、『(19) 農業の振興』が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度			重要度		
	R1	R4	R7	R1	R4	R7
(19) 農業の振興	0.17	0.10	-0.13	0.67	0.75	1.03
(20) 水産業の振興	0.03	0.00	-0.14	0.54	0.57	0.74
(21) 工業の振興	0.03	0.04	0.11	0.54	0.61	0.69
(22) 商業の振興	-0.02	-0.05	-0.14	0.57	0.63	0.69
(23) 観光の振興	-0.06	-0.12	-0.16	0.62	0.66	0.72
(24) 労働環境・消費者支援の充実	-0.06	-0.09	-0.15	0.52	0.57	0.75

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

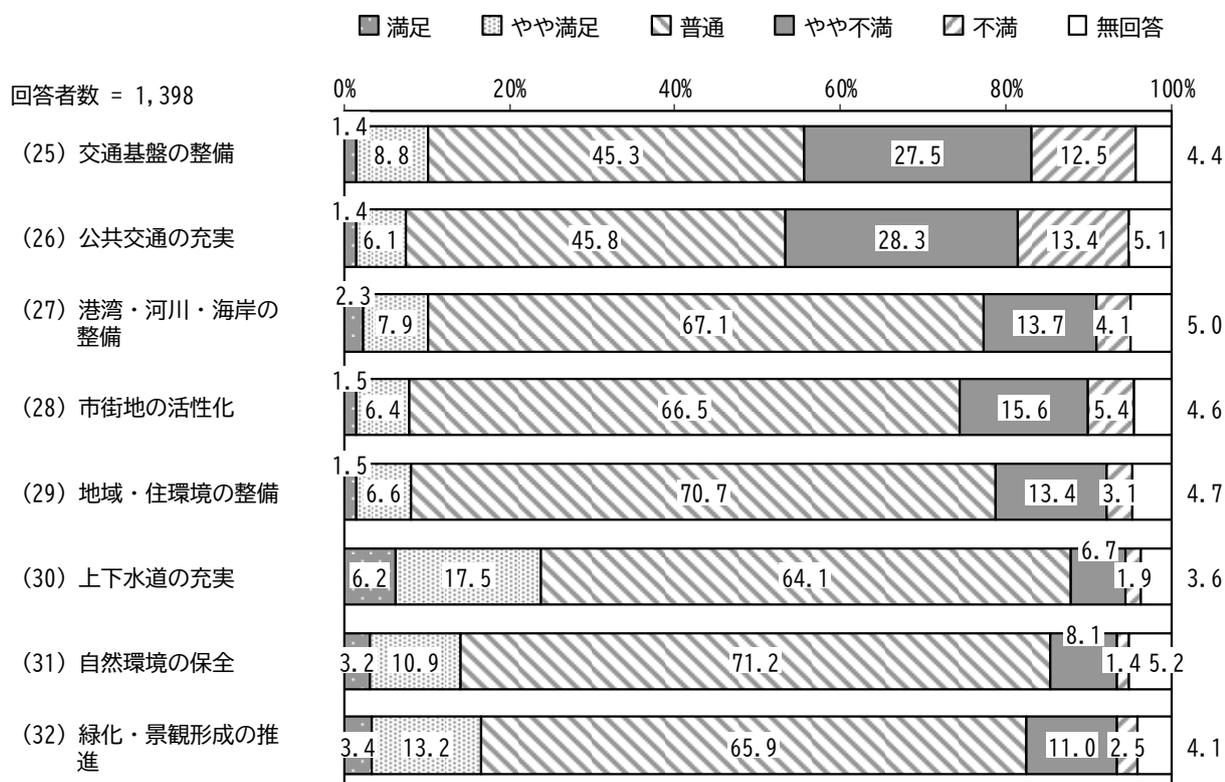
(19) 農業の振興

<都市整備分野>

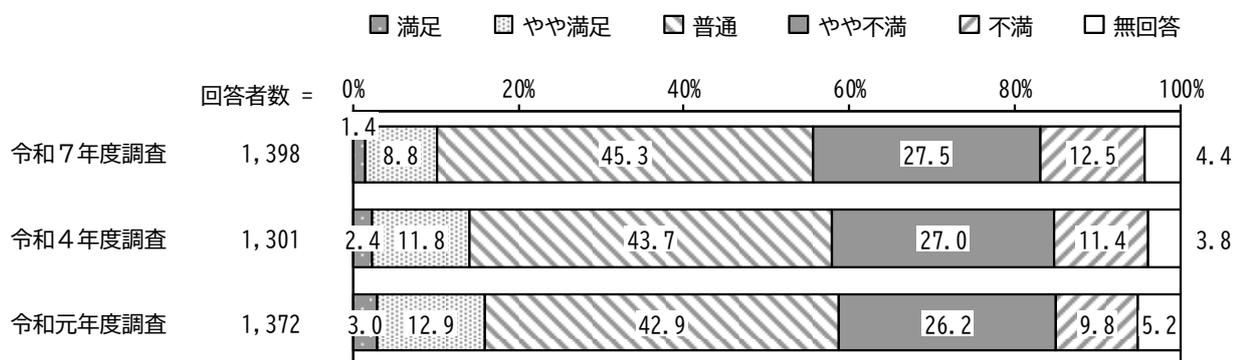
満足度

満足度について、令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(29) 地域・住環境の整備』『(31) 自然環境の保全』を除く項目で減少しており、『(26) 公共交通の充実』は6.3ポイント減少しています。

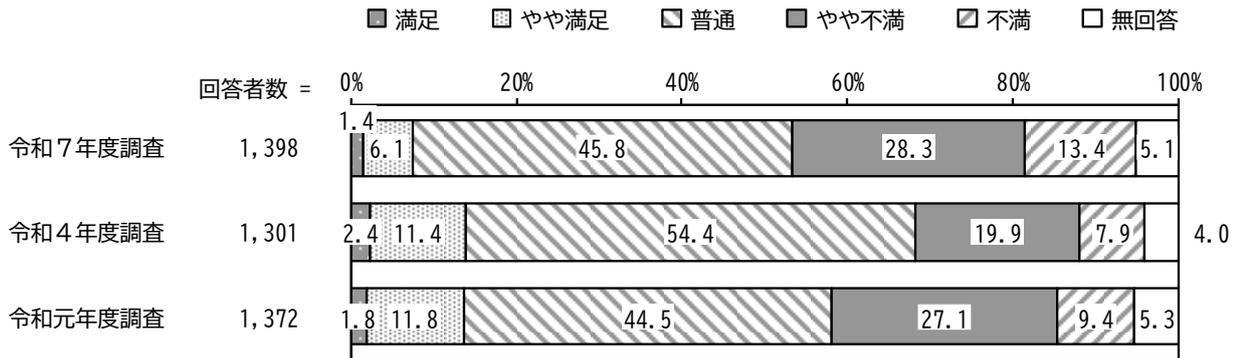
“不満”は、『(29) 地域・住環境の整備』『(31) 自然環境の保全』を除く項目で増加しており、『(26) 公共交通の充実』は13.9ポイント増加しています。



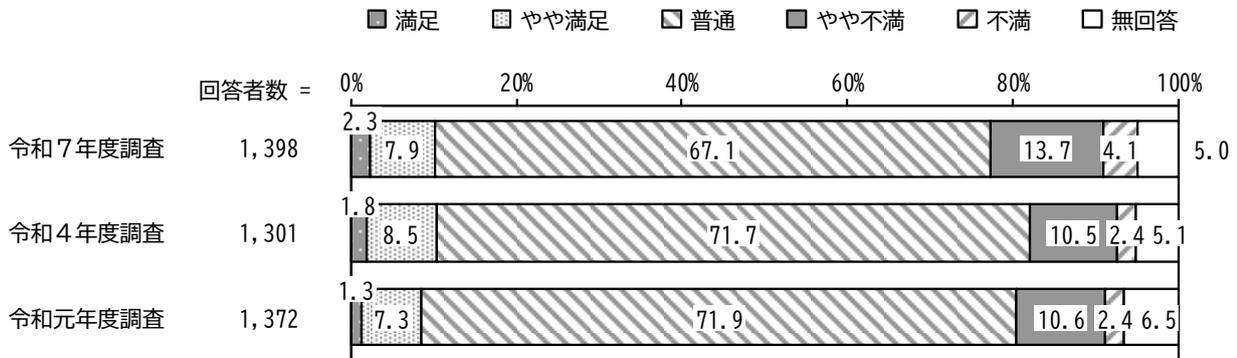
(25) 交通基盤の整備



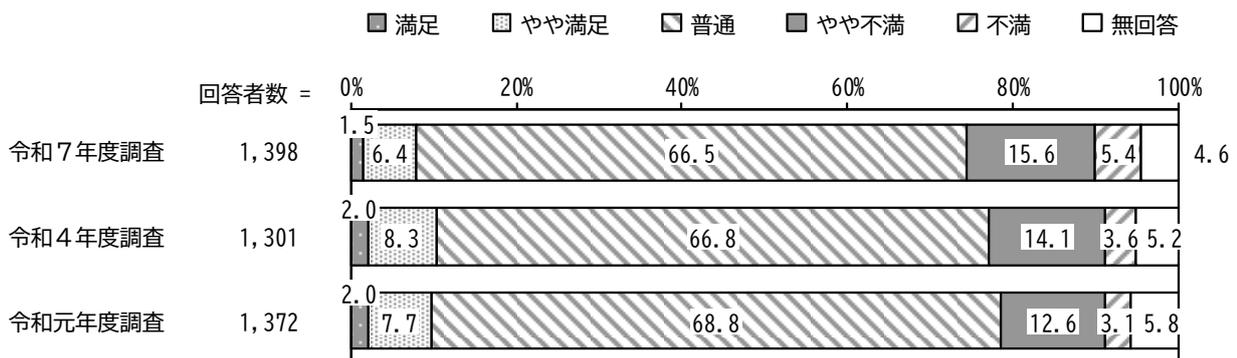
## (26) 公共交通の充実



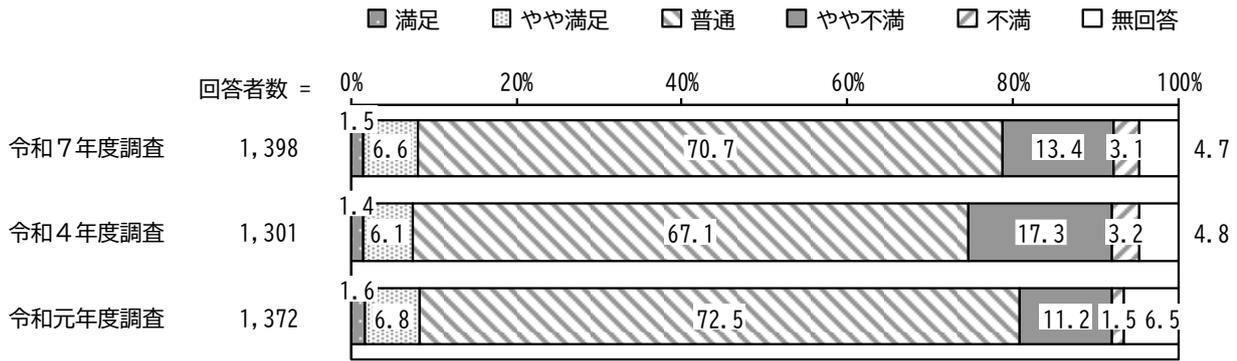
## (27) 港湾・河川・海岸の整備



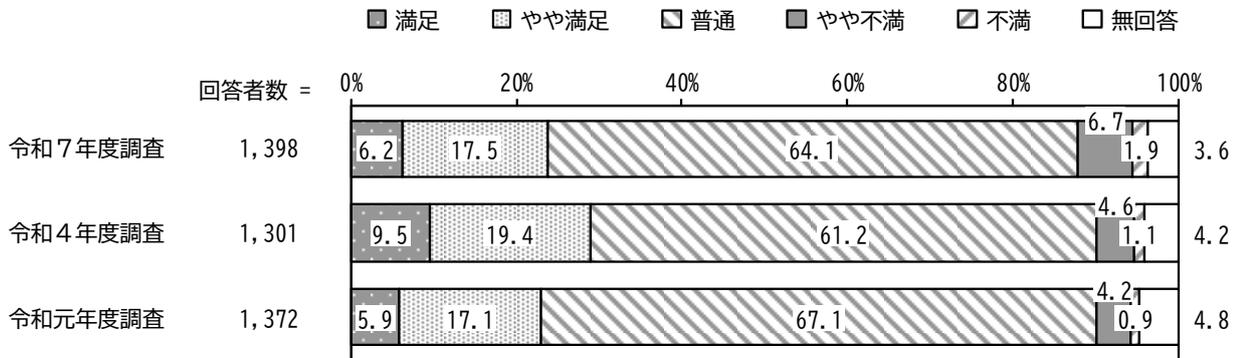
## (28) 市街地の活性化



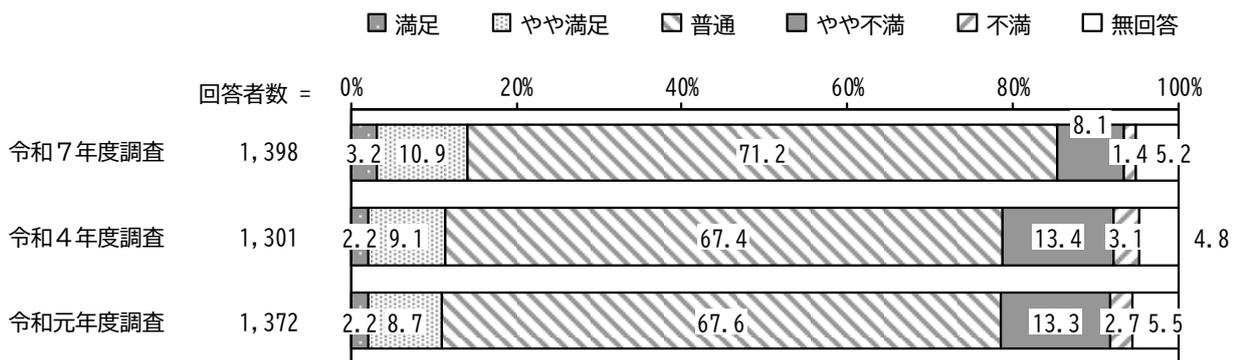
### (29) 地域・住環境の整備



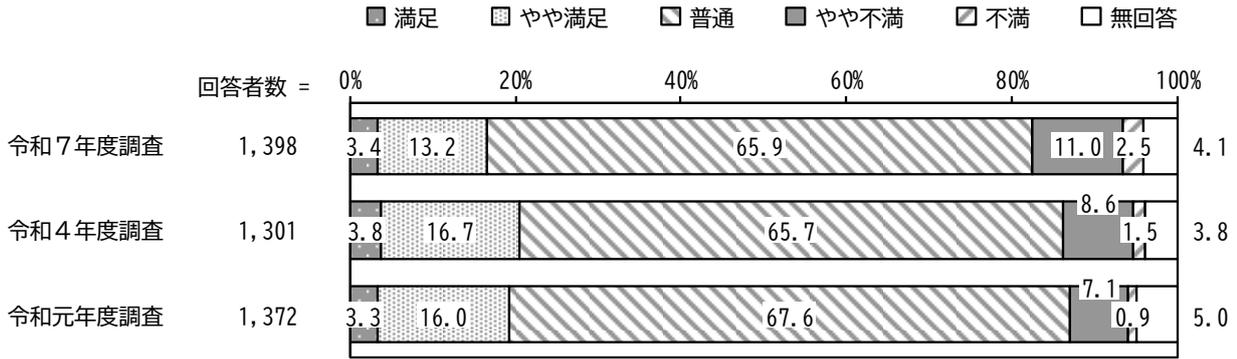
### (30) 上下水道の充実



### (31) 自然環境の保全



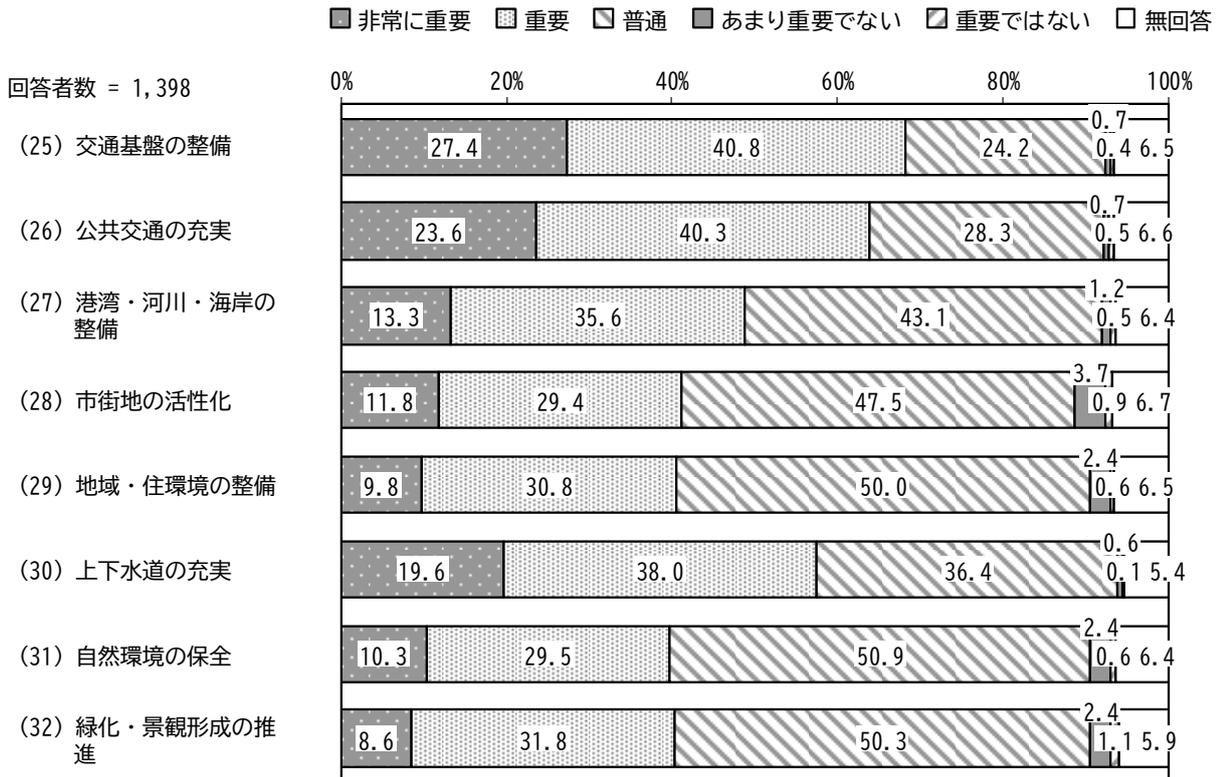
(32) 緑化・景観形成の推進



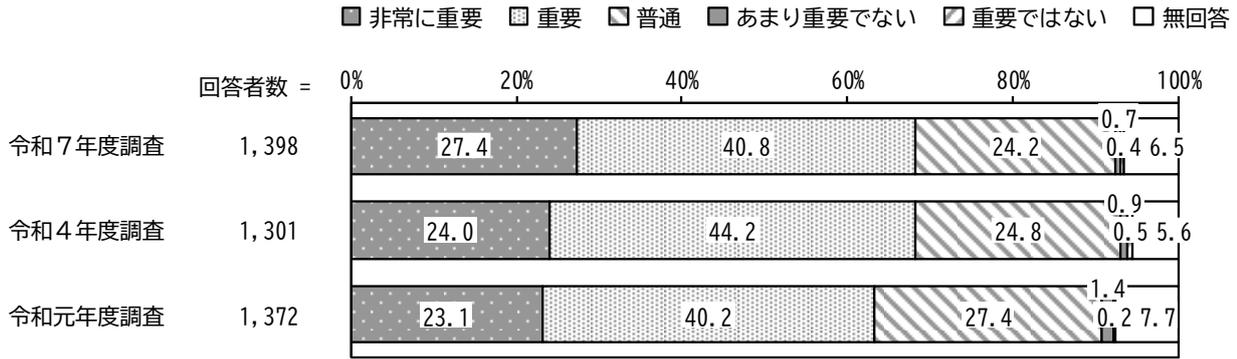
重要度

重要度について、令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(26)公共交通の充実』『(27)港湾・河川・海岸の整備』『(30)上下水道の充実』『(32)緑化・景観形成の推進』で増加しており、『(27)港湾・河川・海岸の整備』は7.4ポイント増加しています。

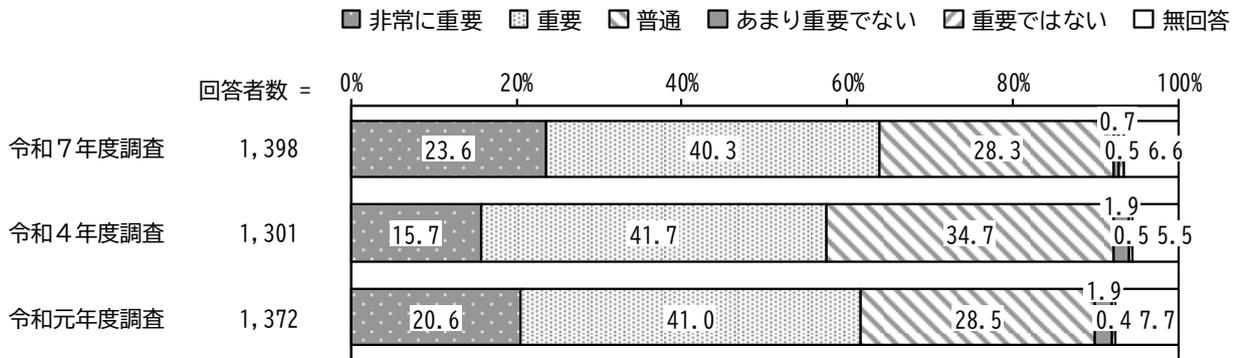
“重要ではない”は、いずれも1.5ポイント未満の増減となっています。



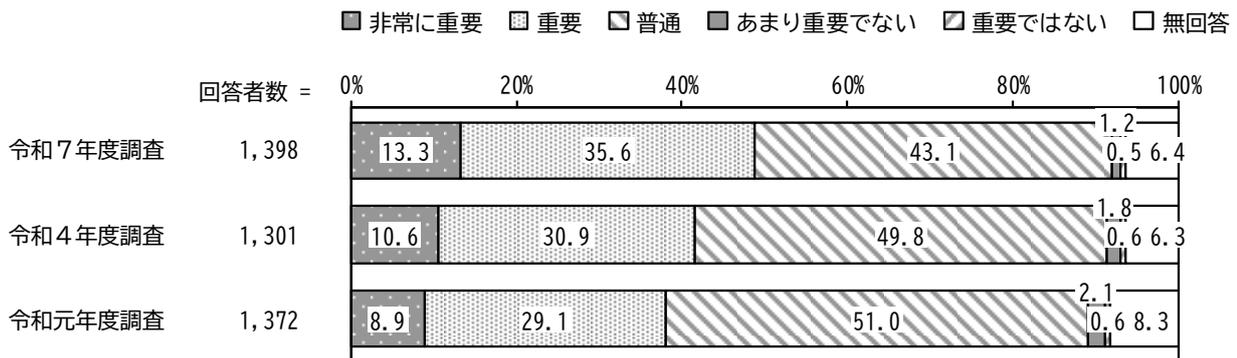
(25) 交通基盤の整備



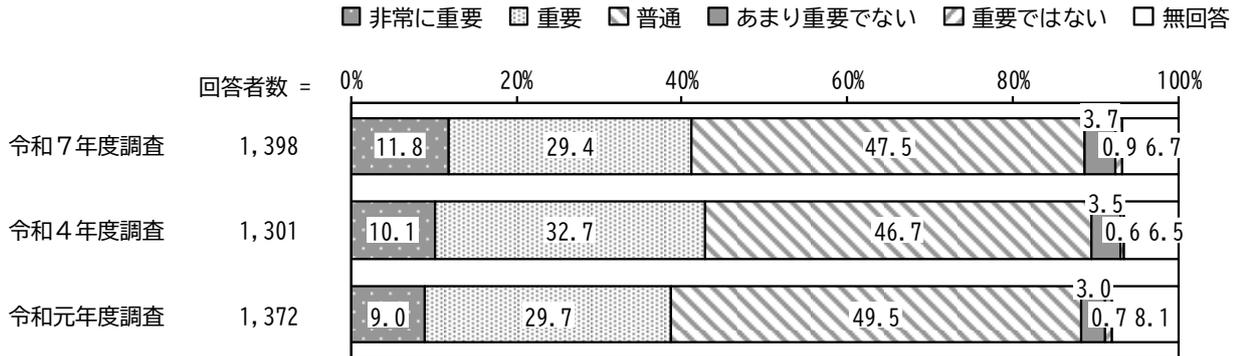
(26) 公共交通の充実



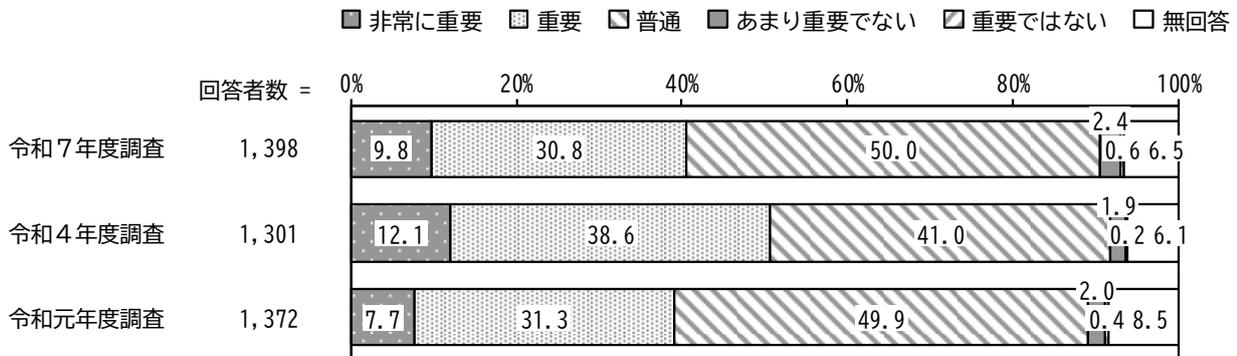
(27) 港湾・河川・海岸の整備



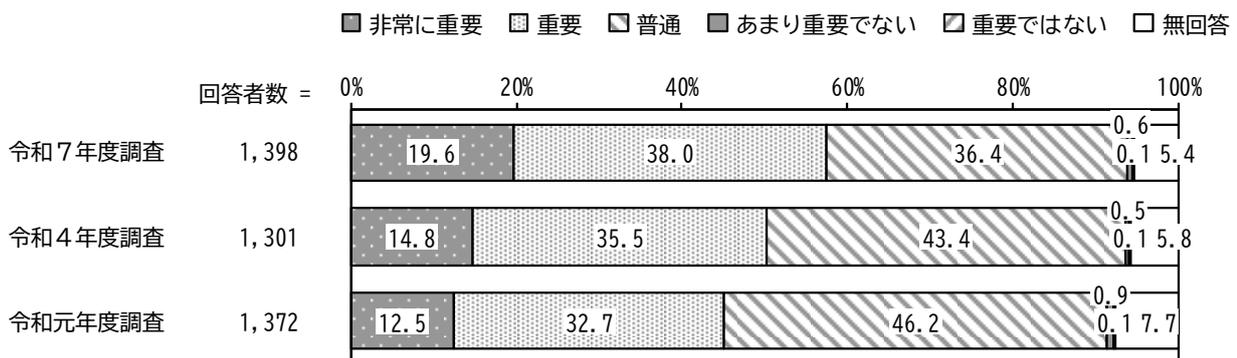
## (28) 市街地の活性化



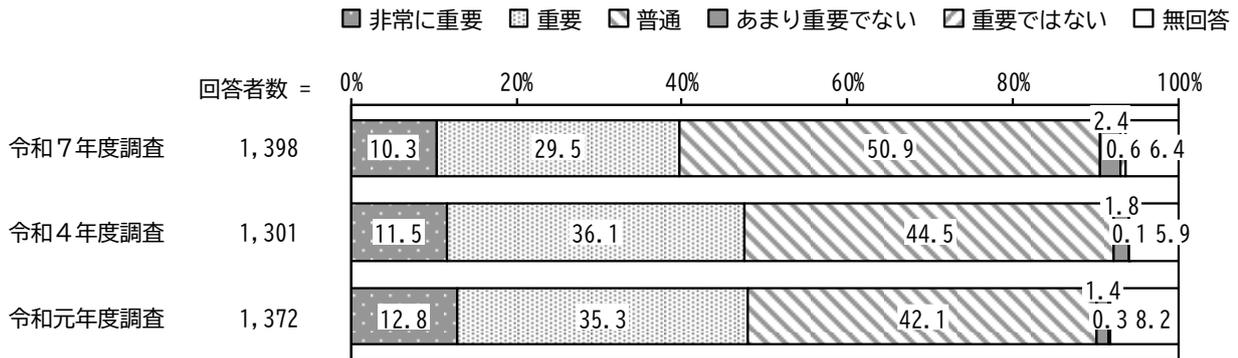
## (29) 地域・住環境の整備



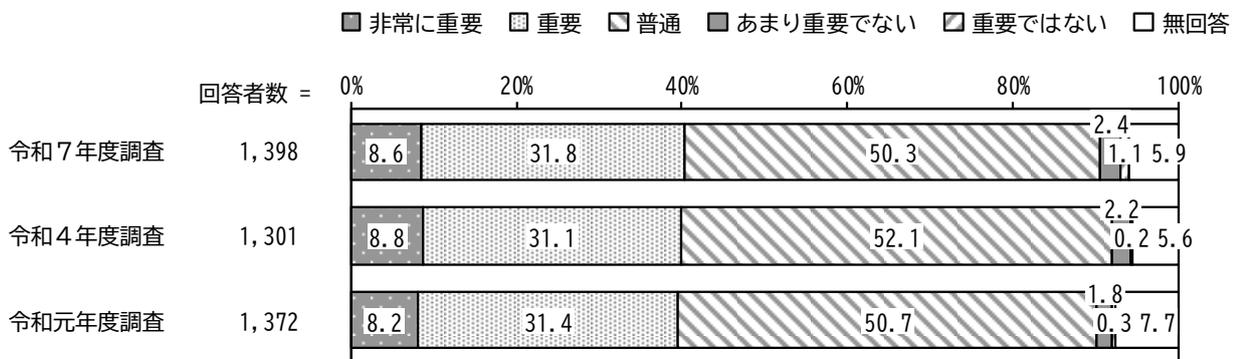
## (30) 上下水道の充実



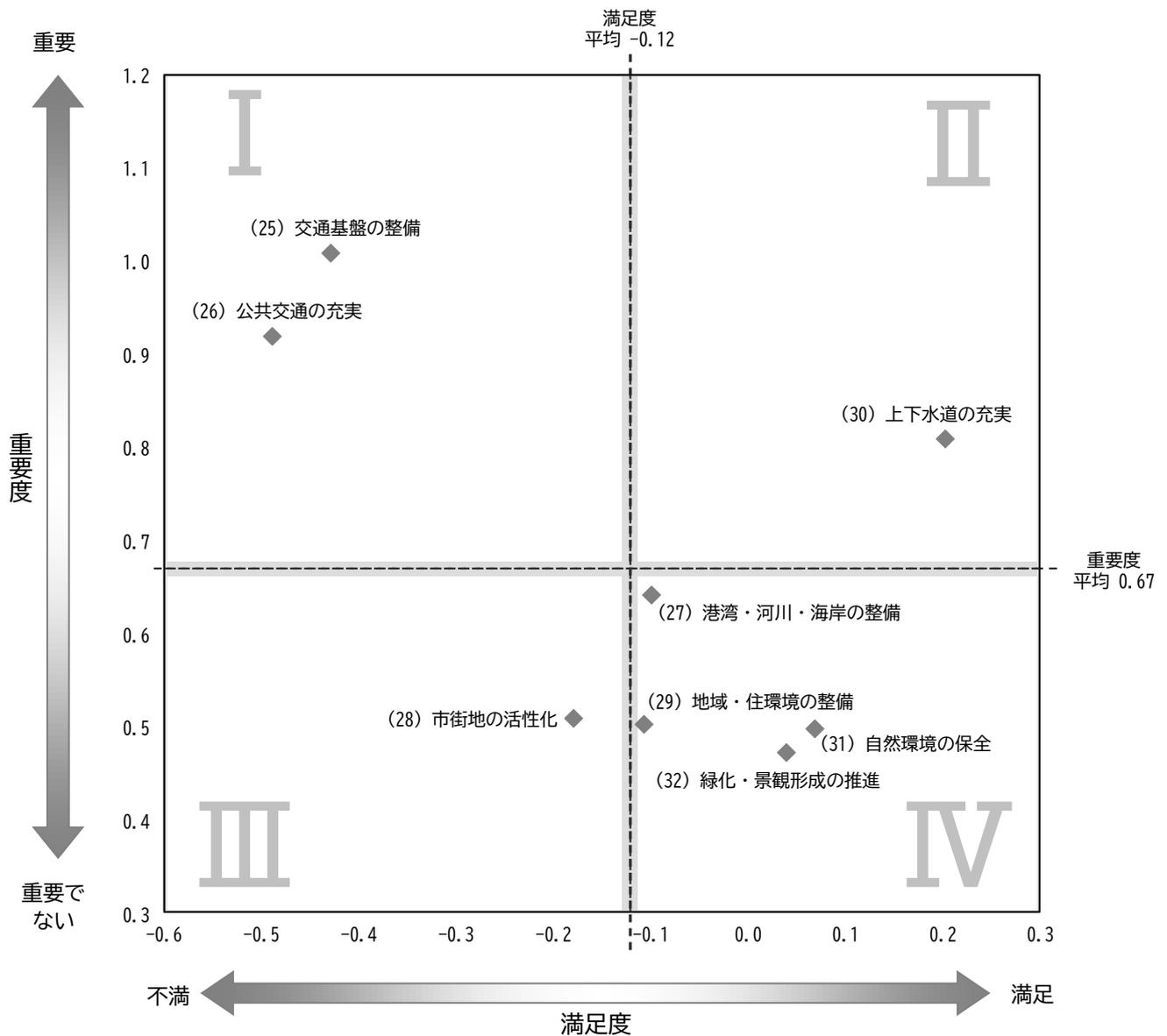
### (31) 自然環境の保全



### (32) 緑化・景観形成の推進



ポートフォリオ分析による都市整備分野の評価については、『(25) 交通基盤の整備』『(26) 公共交通の充実』が、ともに重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度			重要度		
	R1	R4	R7	R1	R4	R7
(25) 交通基盤の整備	-0.28	-0.35	-0.43	0.92	0.96	1.01
(26) 公共交通の充実	-0.32	-0.20	-0.49	0.86	0.86	0.92
(27) 港湾・河川・海岸の整備	-0.06	-0.03	-0.10	0.48	0.48	0.64
(28) 市街地の活性化	-0.08	-0.09	-0.18	0.47	0.47	0.51
(29) 地域・住環境の整備	-0.04	-0.16	-0.11	0.48	0.48	0.50
(30) 上下水道の充実	0.24	0.33	0.20	0.61	0.61	0.81
(31) 自然環境の保全	-0.06	-0.06	0.07	0.61	0.64	0.50
(32) 緑化・景観形成の推進	0.14	0.13	0.04	0.47	0.49	0.47

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

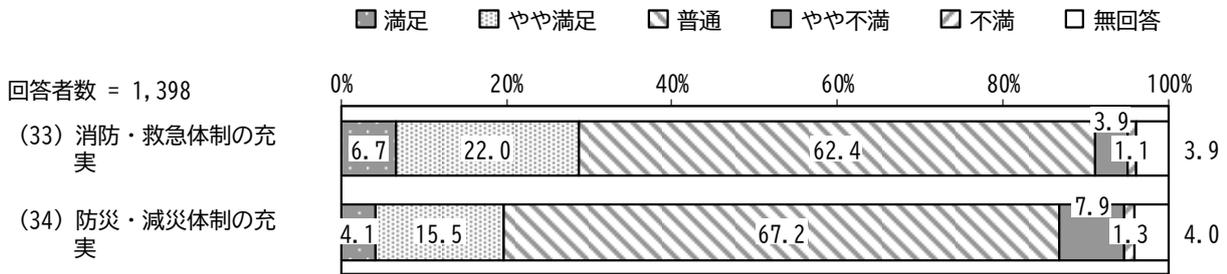
(25) 交通基盤の整備 (26) 公共交通の充実

<消防防災分野>

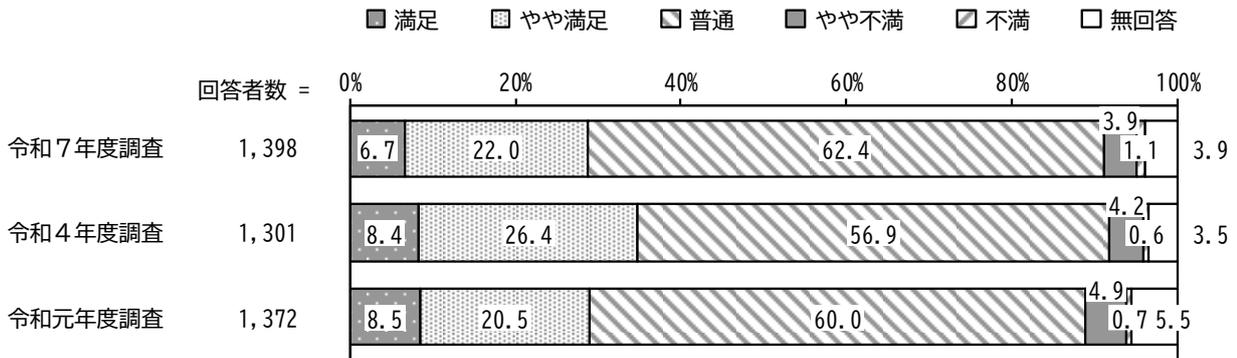
満足度

満足度について、令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(33) 消防・救急体制の充実』は6.1ポイント、『(34) 防災・減災体制の充実』は5.0ポイント減少しています。

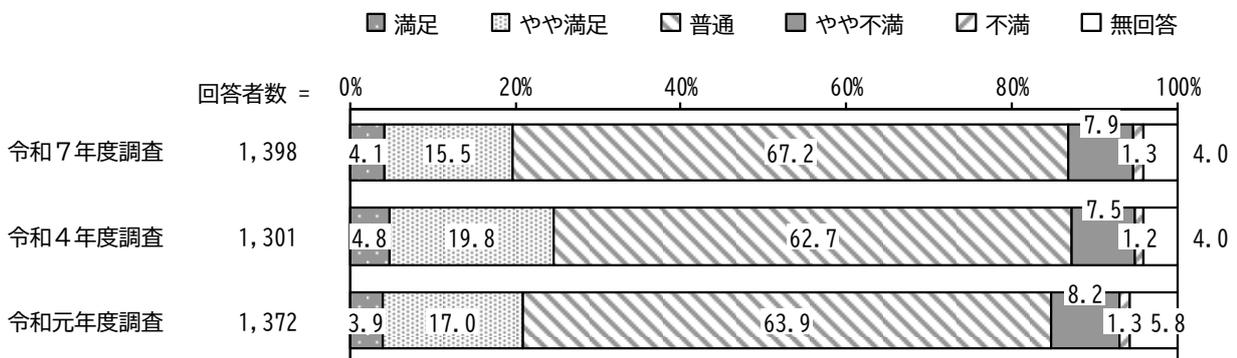
“不満”は、どちらの項目も1ポイント未満の増加となっています。



(33) 消防・救急体制の充実



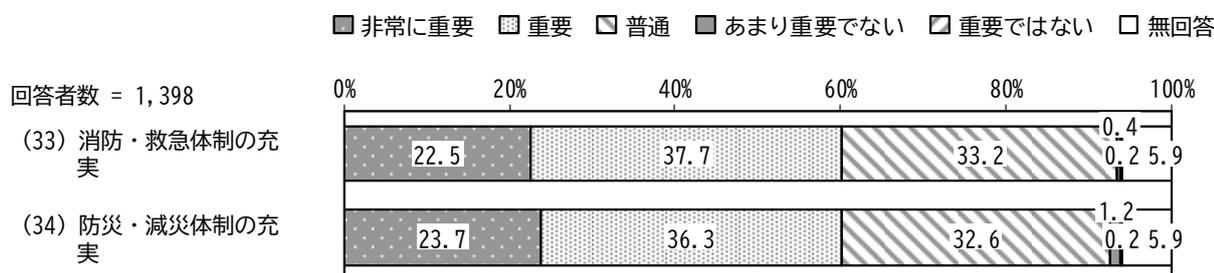
(34) 防災・減災体制の充実



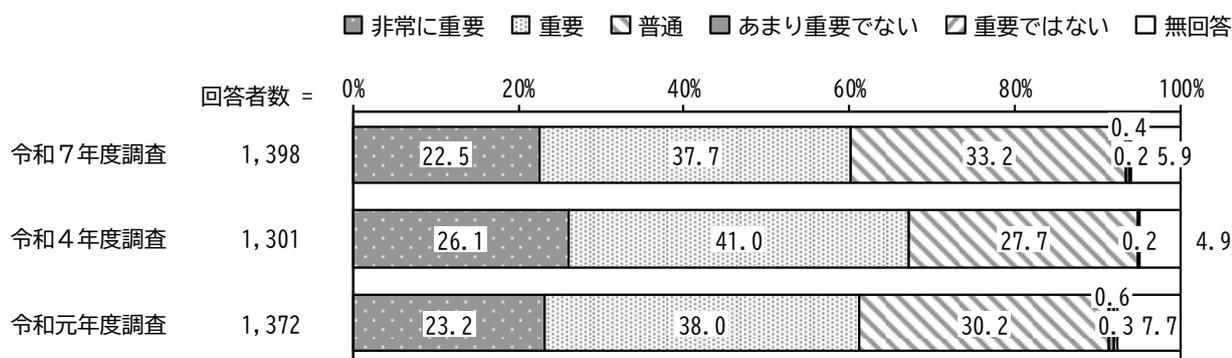
## 重要度

重要度について、令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(33) 消防・救急体制の充実』は6.9ポイント、『(34) 防災・減災体制の充実』は7.7ポイント減少しています。

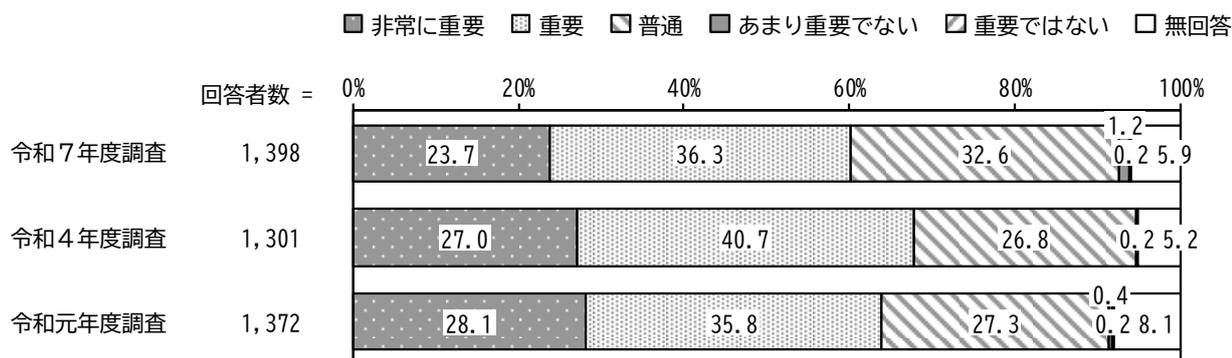
“重要ではない”は、どちらの項目も1.5ポイント未満の増加となっています。



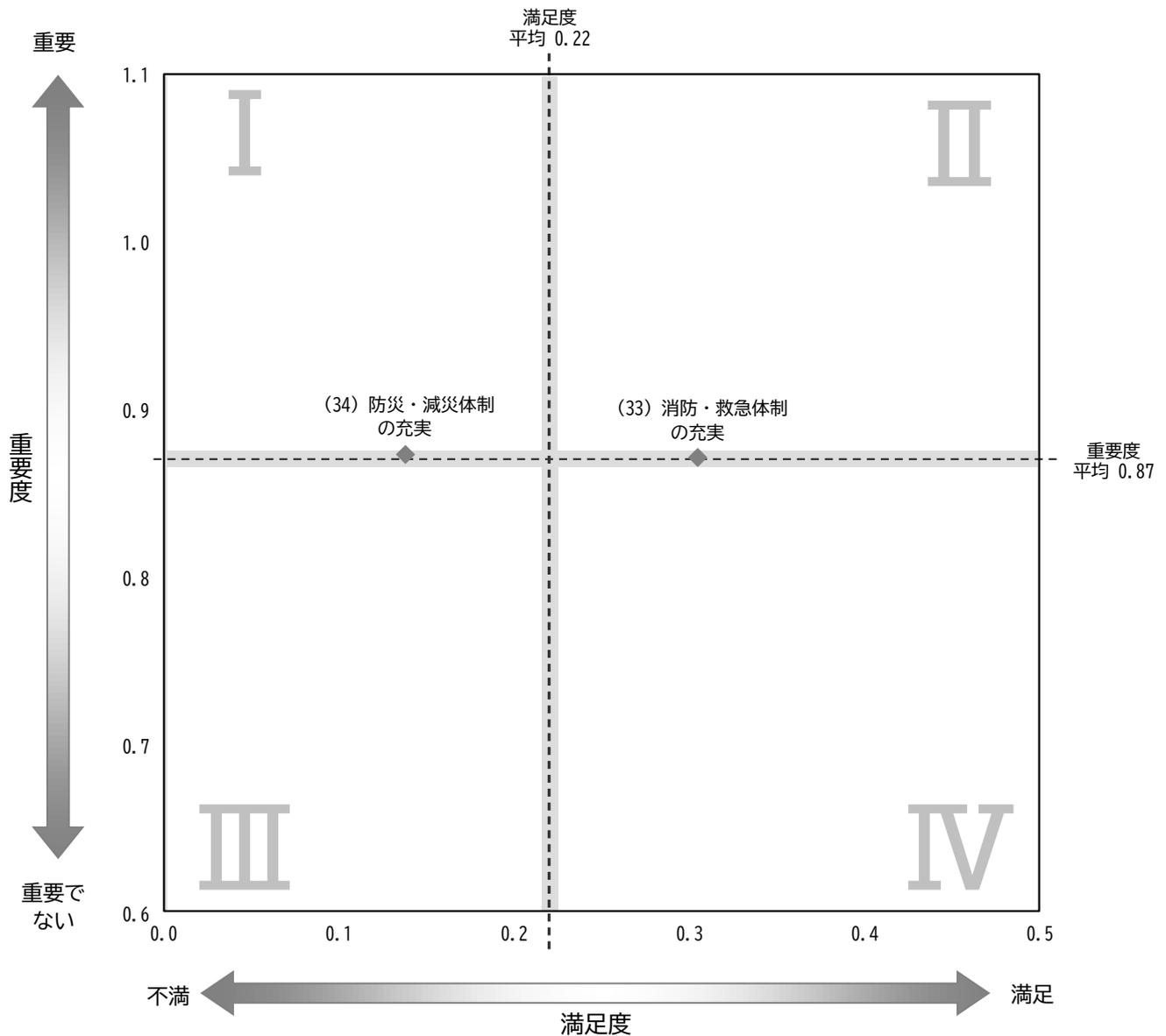
### (33) 消防・救急体制の充実



### (34) 防災・減災体制の充実



ポートフォリオ分析による消防防災分野の評価については、『(34) 防災・減災体制の充実』が、満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度			重要度		
	R1	R4	R7	R1	R4	R7
(33) 消防・救急体制の充実	0.33	0.39	0.31	0.90	0.98	0.87
(34) 防災・減災体制の充実	0.15	0.20	0.14	0.99	1.00	0.87

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

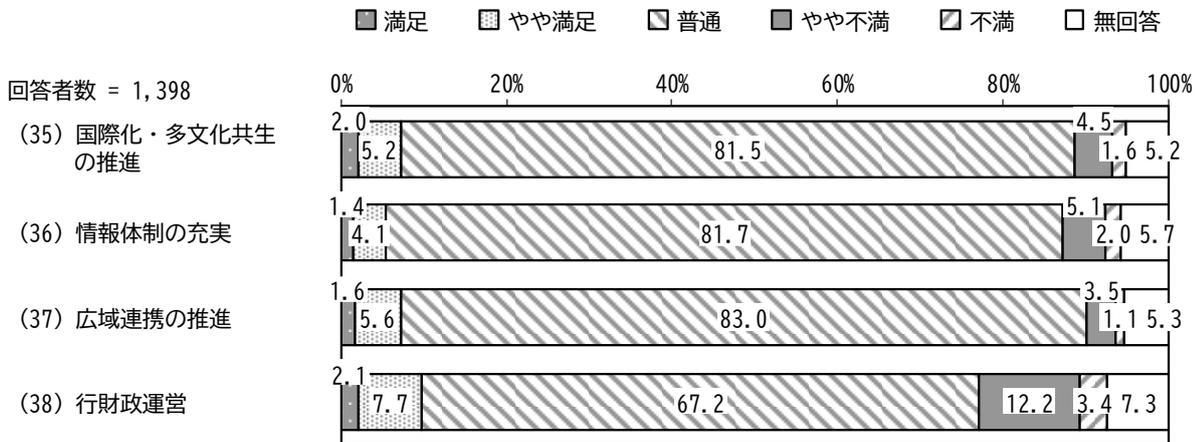
(34) 防災・減災体制の充実

<行財政分野>

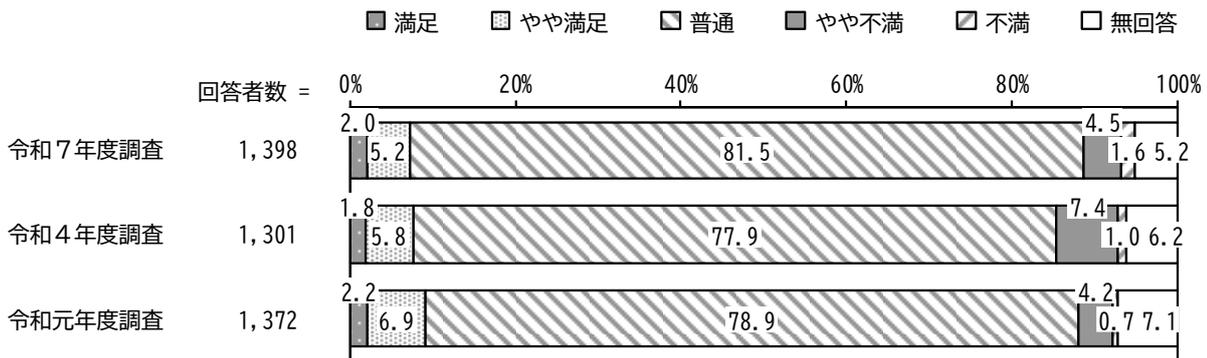
満足度

満足度について、令和4年度調査と比べると、“満足”は、全ての項目で減少しており、『(36) 情報体制の充実』は13.9ポイント減少しています。

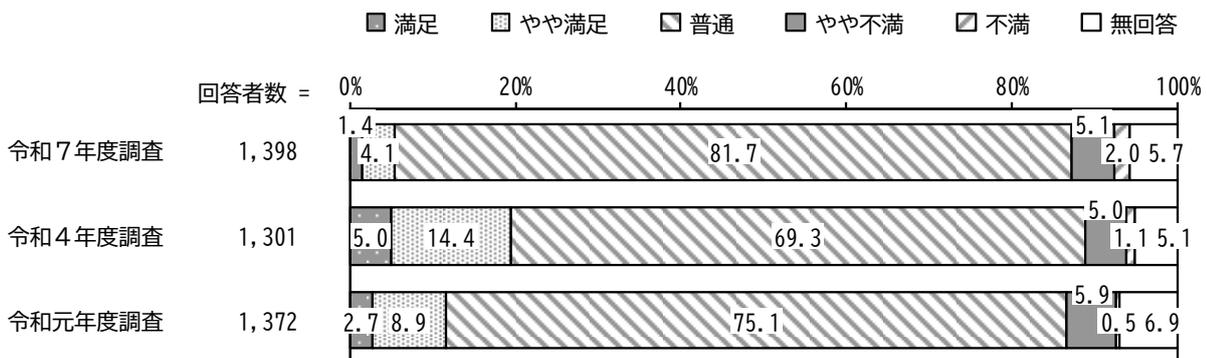
“不満”は、『(35) 国際化・多文化共生の推進』を除く全ての項目で増加しています。



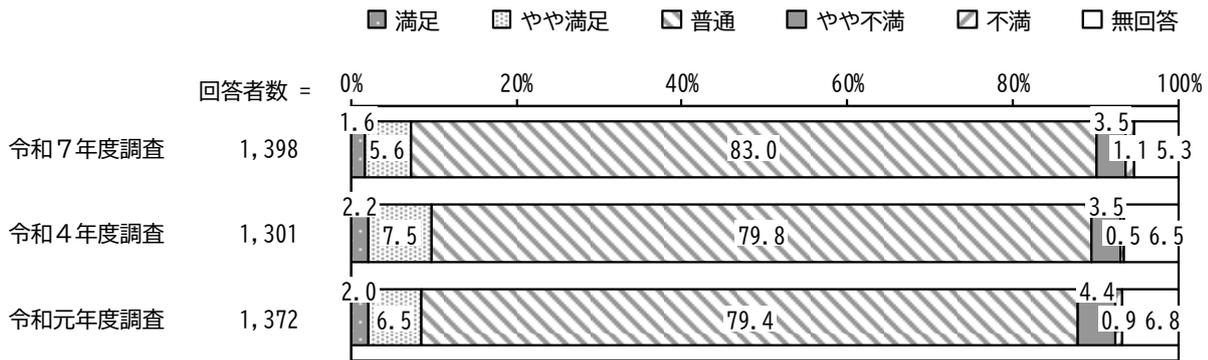
(35) 国際化・多文化共生の推進



(36) 情報体制の充実

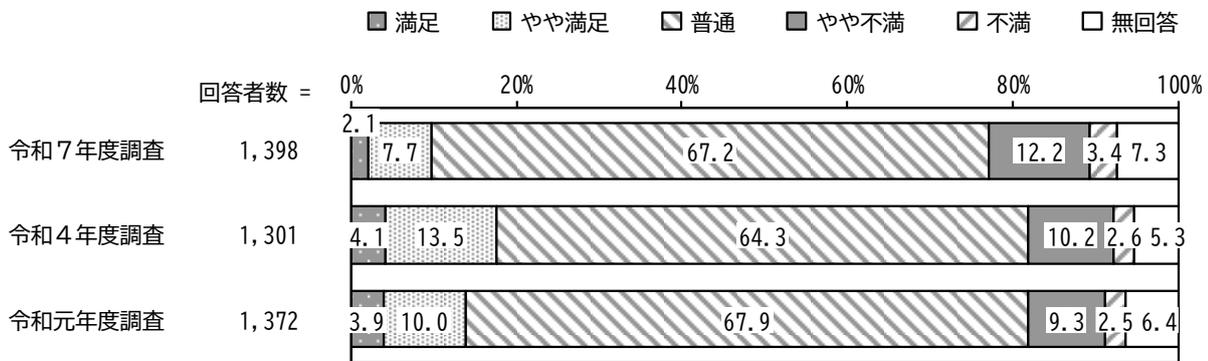


### (37) 広域連携の推進



※令和4年度調査・令和元年度調査では、項目が「(38) 広域連携の推進」「(39) 水資源の確保」に分かれていました。

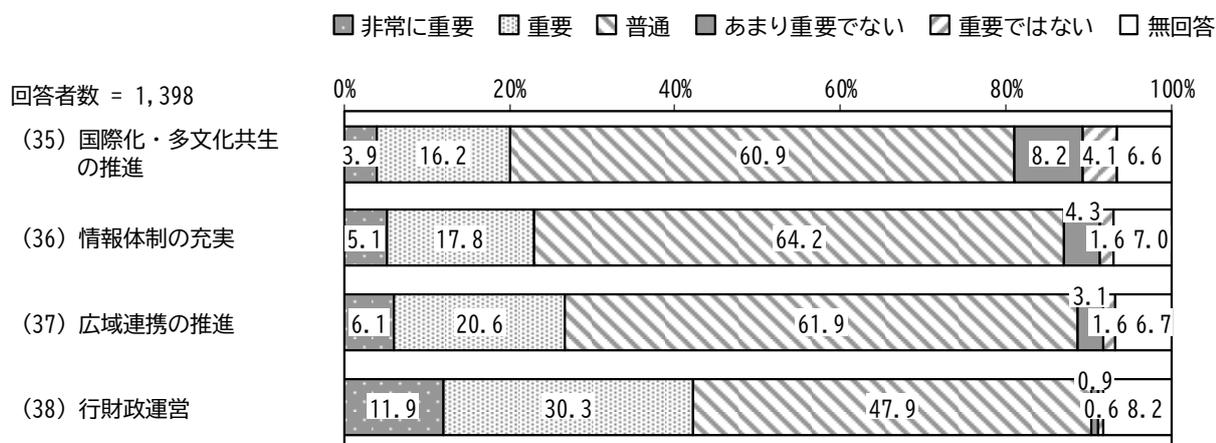
### (38) 行財政運営



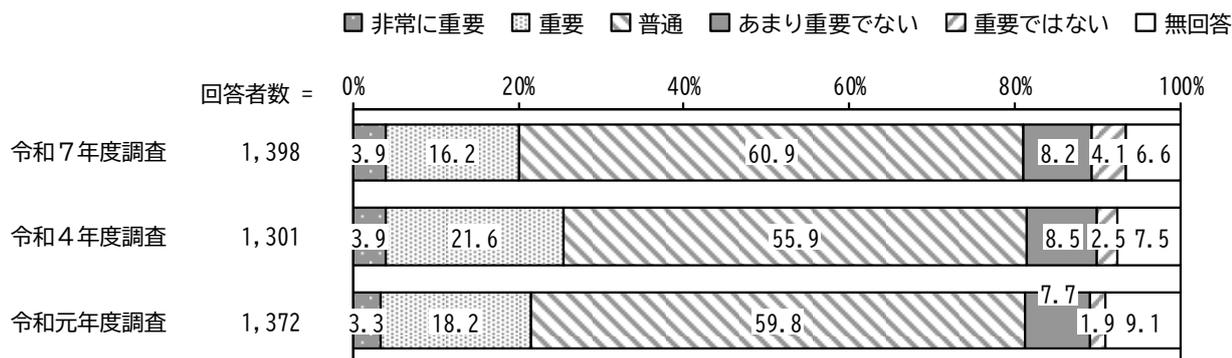
## 重要度

重要度について、令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(37) 広域連携の推進』を除く全ての項目で減少しており、『(36) 情報体制の充実』は8.8ポイント減少しています。

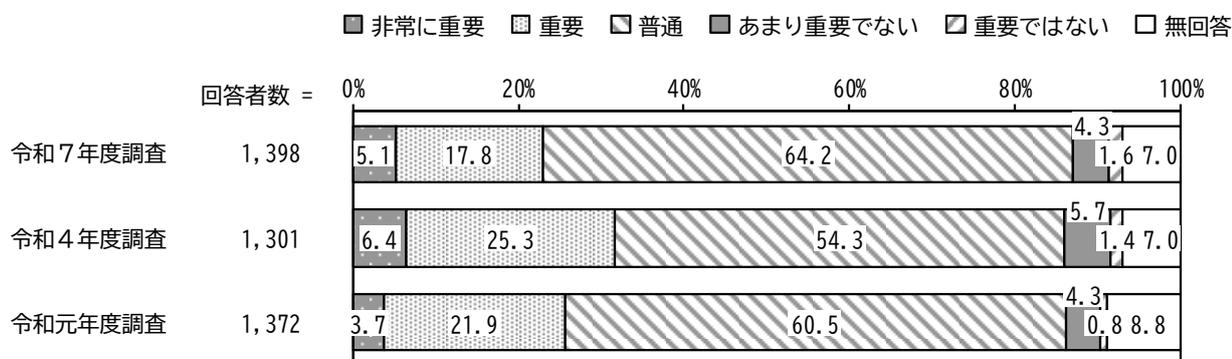
“重要ではない”は、『(35) 国際化・多文化共生の推進』『(38) 行財政運営』で増加しています。



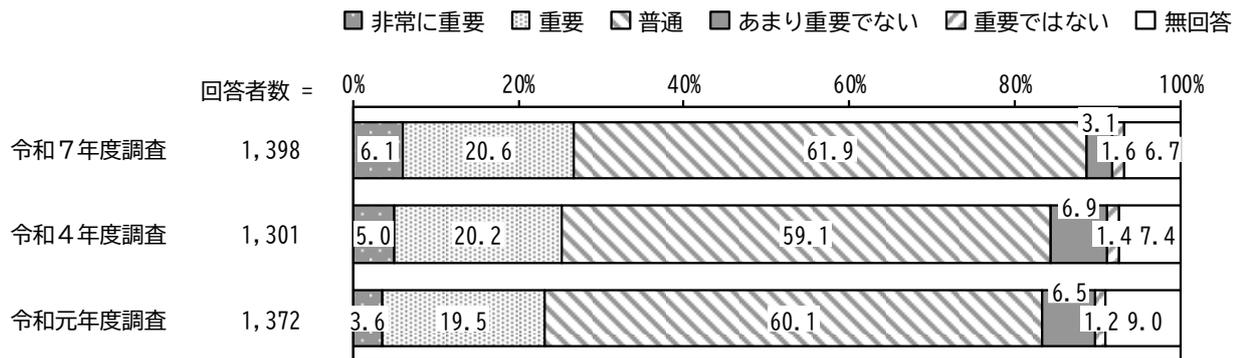
### (35) 国際化・多文化共生の推進



### (36) 情報体制の充実

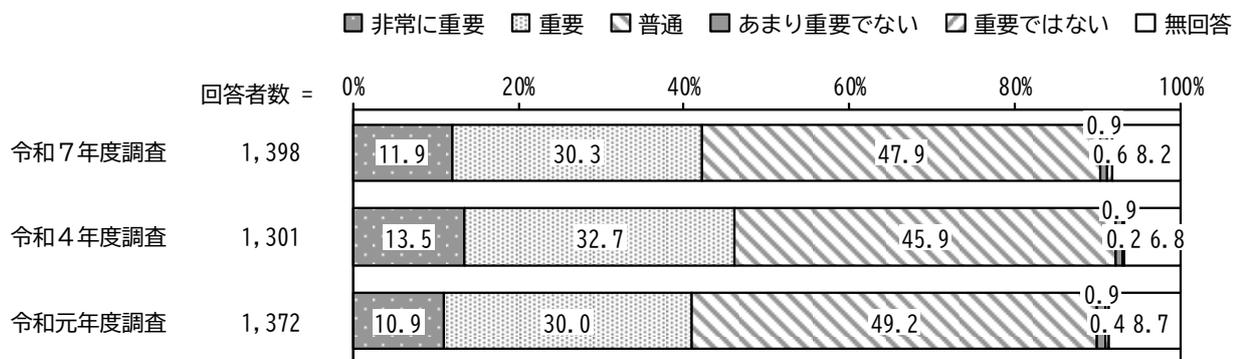


### (37) 広域連携の推進

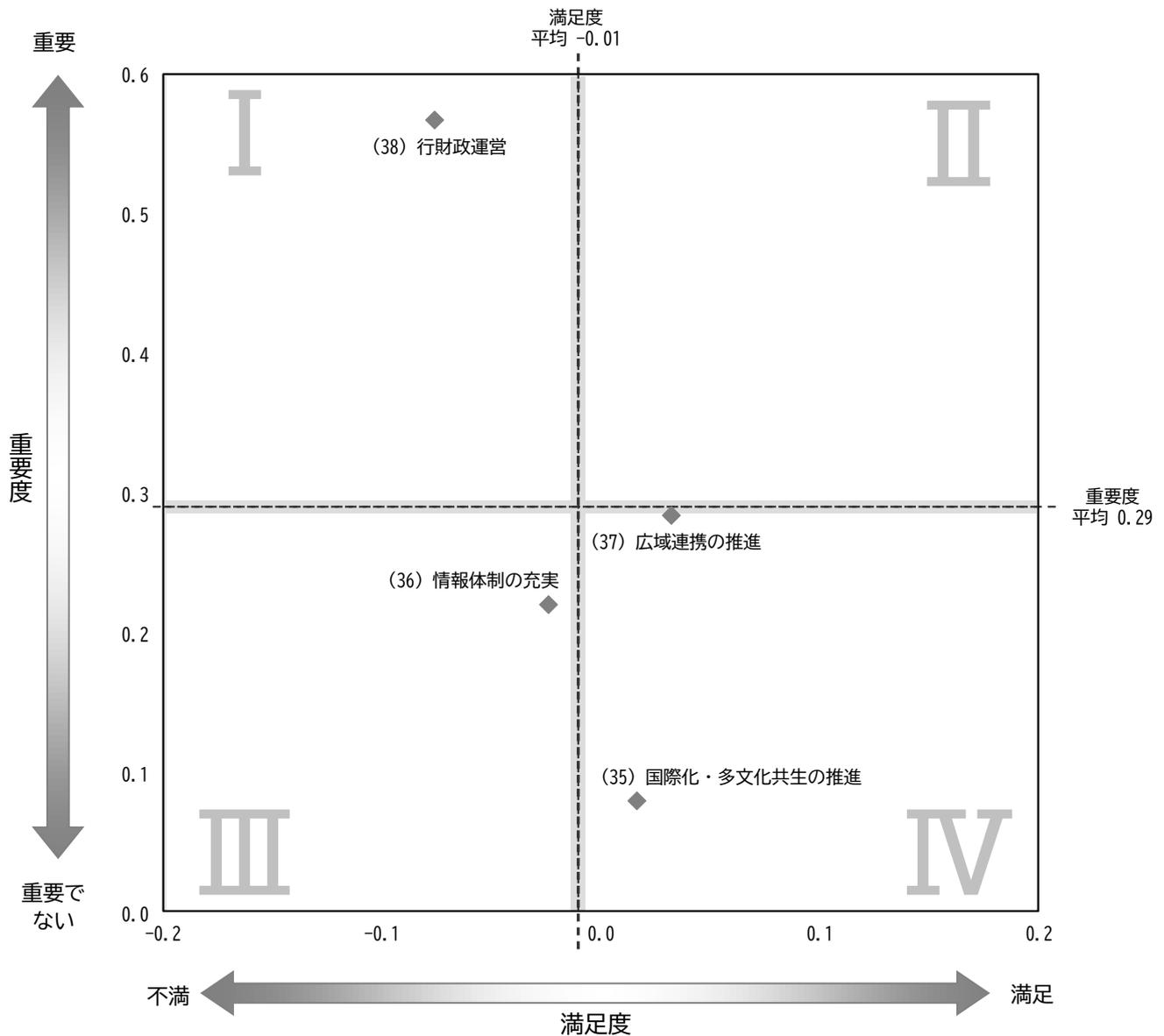


※令和4年度調査・令和元年度調査では、項目が「(38) 広域連携の推進」「(39) 水資源の確保」に分かれていました。

### (38) 行財政運営



ポートフォリオ分析による行財政分野の評価については、『(38) 行財政運営』が、重要度が最も高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度			重要度		
	R1	R4	R7	R1	R4	R7
(35) 国際化・多文化共生の推進	0.06	0.00	0.02	0.15	0.17	0.08
(36) 情報体制の充実	0.08	0.18	-0.02	0.26	0.32	0.22
(37) 広域連携の推進	0.05	0.08	0.03	0.20	0.22	0.28
(38) 行財政運営	0.04	0.07	-0.08	0.55	0.63	0.57

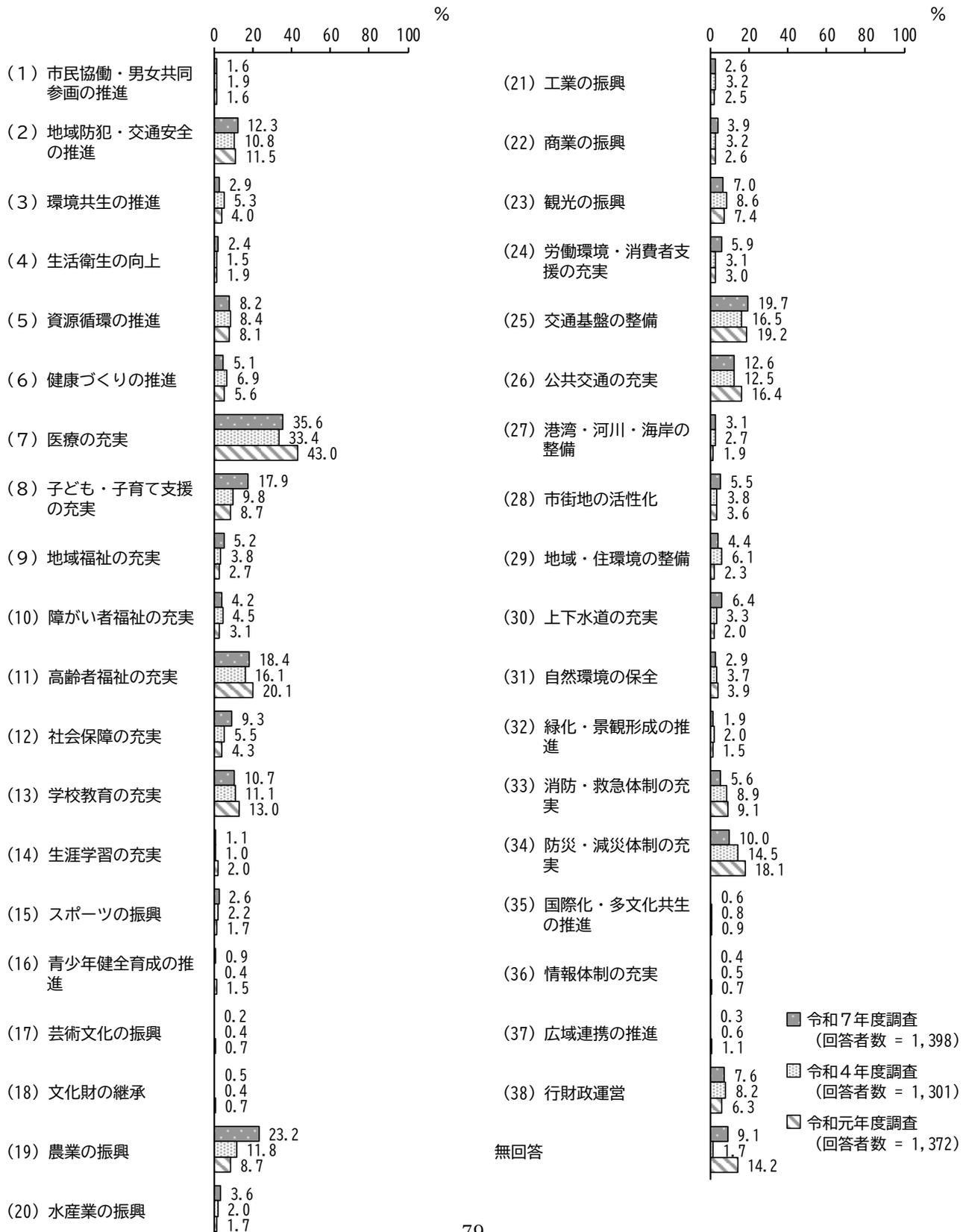
◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(38) 行財政運営

問12 問11の(1)～(38)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

「(7) 医療の充実」の割合が35.6%と最も高く、次いで「(19) 農業の振興」の割合が23.2%、「(25) 交通基盤の整備」の割合が19.7%となっています。

令和4年度調査と比べて、「(19) 農業の振興」が11.4ポイント、「(8) 子ども・子育て支援の充実」が8.1ポイント増加しています。一方、「(34) 防災・減災体制の充実」が4.5ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「(7) 医療の充実」が最も高くなっています。また、「(7) 医療の充実」「(11) 高齢者福祉の充実」「(25) 交通基盤の整備」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	(1) 市民協働・男女共同参画の推進	(2) 地域防犯・交通安全の推進	(3) 環境共生の推進	(4) 生活衛生の向上	(5) 資源循環の推進	(6) 健康づくりの推進	(7) 医療の充実	(8) 子ども・子育て支援の充実	(9) 地域福祉の充実	(10) 障がい者福祉の充実	(11) 高齢者福祉の充実	(12) 社会保障の充実	(13) 学校教育の充実
全体	1,398	1.6	12.3	2.9	2.4	8.2	5.1	35.6	17.9	5.2	4.2	18.4	9.3	10.7
男性	622	1.9	13.0	3.5	2.6	7.9	4.5	32.3	19.6	3.4	3.5	14.1	10.3	9.0
女性	754	1.3	12.1	2.4	2.3	8.8	5.3	38.3	16.6	6.5	4.6	21.6	8.6	12.2

区分	(14) 生涯学習の充実	(15) スポーツの振興	(16) 青少年健全育成の推進	(17) 芸術文化の振興	(18) 文化財の継承	(19) 農業の振興	(20) 水産業の振興	(21) 工業の振興	(22) 商業の振興	(23) 観光の振興	(24) 労働環境・消費者支援の充実	(25) 交通基盤の整備	(26) 公共交通の充実	(27) 港湾・河川・海岸の整備
全体	1.1	2.6	0.9	0.2	0.5	23.2	3.6	2.6	3.9	7.0	5.9	19.7	12.6	3.1
男性	1.0	4.2	1.4	0.2	0.6	23.5	4.5	3.2	4.5	8.7	5.1	24.6	11.9	3.4
女性	1.2	1.5	0.5	0.3	0.4	23.2	2.9	2.0	3.2	5.8	6.4	15.9	13.5	2.9

区分	(28) 市街地の活性化	(29) 地域・住環境の整備	(30) 上下水道の充実	(31) 自然環境の保全	(32) 緑化・景観形成の推進	(33) 消防・救急体制の充実	(34) 防災・減災体制の充実	(35) 国際化・多文化共生の推進	(36) 情報体制の充実	(37) 広域連携の推進	(38) 行財政運営	無回答
全体	5.5	4.4	6.4	2.9	1.9	5.6	10.0	0.6	0.4	0.3	7.6	9.1
男性	7.7	3.4	6.6	2.7	1.8	4.3	9.8	0.8	0.5	0.3	7.9	7.9
女性	3.8	5.2	6.1	3.1	2.0	6.8	10.5	0.4	0.3	0.3	7.4	9.4

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「(5) 資源循環の推進」の割合が高い傾向にあり、「(28) 市街地の活性化」の割合が低い傾向にあります。また、《20歳代以下》で「(26) 公共交通の充実」、《30歳代》で「(8) 子ども・子育て支援の充実」、《40歳代》で「(13) 学校教育の充実」、《50歳代》で「(7) 医療の充実」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	(1) 市民協働・男女共同参画の推進	(2) 地域防犯・交通安全の推進	(3) 環境共生の推進	(4) 生活衛生の向上	(5) 資源循環の推進	(6) 健康づくりの推進	(7) 医療の充実	(8) 子ども・子育て支援の充実	(9) 地域福祉の充実	(10) 障がい者福祉の充実	(11) 高齢者福祉の充実	(12) 社会保障の充実	(13) 学校教育の充実
全体	1,398	1.6	12.3	2.9	2.4	8.2	5.1	35.6	17.9	5.2	4.2	18.4	9.3	10.7
20歳代以下	113	0.9	18.6	1.8	3.5	0.9	6.2	31.0	23.0	2.7	3.5	9.7	6.2	9.7
30歳代	146	3.4	10.3	2.1	4.1	3.4	2.7	29.5	41.8	4.8	5.5	10.3	8.9	17.1
40歳代	200	2.0	15.0	3.5	3.5	6.5	5.5	33.0	27.5	5.0	5.0	9.5	10.5	21.5
50歳代	245	1.2	11.8	2.4	1.2	6.5	3.3	43.7	13.5	4.5	6.1	22.0	8.6	9.0
60歳代	302	1.0	9.9	3.3	1.3	11.3	5.0	38.4	15.2	5.3	5.0	22.5	9.6	8.3
70歳以上	376	1.6	12.5	3.5	2.4	12.0	6.6	33.8	7.4	6.1	1.6	23.1	9.8	6.1

区分	(14) 生涯学習の充実	(15) スポーツの振興	(16) 青少年健全育成の推進	(17) 芸術文化の振興	(18) 文化財の継承	(19) 農業の振興	(20) 水産業の振興	(21) 工業の振興	(22) 商業の振興	(23) 観光の振興	(24) 労働環境・消費者支援の充実	(25) 交通基盤の整備	(26) 公共交通の充実	(27) 港湾・河川・海岸の整備
全体	1.1	2.6	0.9	0.2	0.5	23.2	3.6	2.6	3.9	7.0	5.9	19.7	12.6	3.1
20歳代以下	0.9	6.2	0.0	0.0	0.0	20.4	4.4	2.7	8.0	13.3	9.7	23.0	24.8	0.9
30歳代	1.4	4.8	0.7	0.7	0.7	25.3	2.1	2.7	6.2	8.9	13.0	17.8	10.3	2.1
40歳代	0.0	5.5	1.5	0.0	0.5	27.0	4.0	4.0	4.0	8.0	7.5	22.5	16.0	2.5
50歳代	1.2	1.2	0.4	0.0	0.0	22.4	3.3	2.0	3.7	10.6	5.3	23.7	18.4	5.7
60歳代	1.3	0.7	1.0	0.3	0.3	26.5	5.3	2.3	5.3	4.3	4.6	20.2	9.3	2.3
70歳以上	1.3	1.9	1.1	0.3	1.1	19.7	2.4	2.4	0.8	4.0	2.7	15.7	7.4	3.2

区分	(28) 市街地の活性化	(29) 地域・住環境の整備	(30) 上下水道の充実	(31) 自然環境の保全	(32) 緑化・景観形成の推進	(33) 消防・救急体制の充実	(34) 防災・減災体制の充実	(35) 国際化・多文化共生の推進	(36) 情報体制の充実	(37) 広域連携の推進	(38) 行政運営	無回答
全体	5.5	4.4	6.4	2.9	1.9	5.6	10.0	0.6	0.4	0.3	7.6	9.1
20歳代以下	14.2	2.7	4.4	4.4	0.9	0.9	11.5	0.0	0.0	0.0	7.1	1.8
30歳代	8.9	5.5	3.4	1.4	2.7	4.1	5.5	2.7	1.4	0.0	5.5	2.1
40歳代	4.5	5.0	3.5	3.0	1.0	3.0	8.0	0.5	0.5	0.0	6.5	2.5
50歳代	6.9	4.1	6.1	3.7	1.6	6.1	8.6	0.4	0.4	0.4	6.9	4.9
60歳代	3.3	4.6	7.3	2.0	2.6	7.6	15.9	0.3	0.0	1.0	7.3	8.6
70歳以上	3.2	4.3	8.8	3.2	1.9	7.2	9.0	0.3	0.3	0.0	9.0	19.1

【地区別】

地区別でみると、《大草》《野田》で「(7) 医療の充実」、《大草》で「(11) 高齢者福祉の充実」「(12) 社会保障の充実」「(33) 消防・救急体制の充実」、《大草》《亀山》で「(15) スポーツの振興」、《伊良湖岬(和地)》で「(19) 農業の振興」、《亀山》で「(23) 観光の振興」、《伊良湖岬(伊良湖)》で「(25) 交通基盤の整備」、《高松》で「(30) 上下水道の充実」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	(1) 市民協働の推進 共同参画の推進	(2) 地域防犯・交通安全の推進	(3) 環境共生の推進	(4) 生活衛生の向上	(5) 資源循環の推進	(6) 健康づくりの推進	(7) 医療の充実	(8) 子ども・子育て支援の充実	(9) 地域福祉の充実	(10) 障がい者福祉の充実	(11) 高齢者福祉の充実	(12) 社会保障の充実	(13) 学校教育の充実
全体	1,398	1.6	12.3	2.9	2.4	8.2	5.1	35.6	17.9	5.2	4.2	18.4	9.3	10.7
六連	36	0.0	5.6	5.6	0.0	11.1	2.8	22.2	19.4	2.8	5.6	8.3	11.1	8.3
神戸	121	1.7	14.0	4.1	4.1	9.9	5.8	43.0	21.5	5.8	6.6	16.5	9.9	8.3
大草	23	0.0	4.3	4.3	0.0	13.0	13.0	47.8	4.3	8.7	0.0	39.1	21.7	0.0
田原東部	100	3.0	19.0	4.0	1.0	12.0	6.0	43.0	16.0	2.0	6.0	19.0	13.0	9.0
田原南部	50	0.0	20.0	2.0	4.0	10.0	2.0	42.0	14.0	2.0	10.0	16.0	8.0	8.0
童浦	150	0.0	15.3	4.0	3.3	9.3	4.7	38.7	16.0	10.7	4.7	16.7	8.0	16.0
田原中部	141	0.0	16.3	4.3	2.8	4.3	3.5	35.5	20.6	4.3	5.0	14.9	9.2	12.1
衣笠	134	1.5	17.9	0.7	0.7	10.4	5.2	37.3	22.4	7.5	3.7	26.9	7.5	11.2
野田	81	1.2	6.2	1.2	3.7	4.9	1.2	45.7	12.3	3.7	6.2	18.5	14.8	13.6
高松	40	2.5	7.5	5.0	0.0	2.5	7.5	32.5	15.0	2.5	5.0	22.5	7.5	5.0
赤羽根	47	2.1	4.3	2.1	4.3	4.3	2.1	31.9	27.7	6.4	6.4	25.5	12.8	6.4
若戸	34	0.0	2.9	2.9	0.0	8.8	5.9	32.4	20.6	5.9	5.9	17.6	11.8	11.8
伊良湖岬(和地)	27	7.4	0.0	3.7	3.7	11.1	3.7	25.9	18.5	11.1	0.0	18.5	7.4	14.8
伊良湖岬(堀切)	40	5.0	10.0	2.5	0.0	10.0	7.5	42.5	15.0	0.0	2.5	15.0	10.0	12.5
伊良湖岬(伊良湖)	15	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	13.3	6.7	0.0	6.7	13.3	0.0
亀山	22	4.5	13.6	0.0	0.0	4.5	13.6	27.3	18.2	0.0	0.0	13.6	13.6	9.1
中山	88	4.5	12.5	2.3	2.3	8.0	1.1	28.4	17.0	4.5	0.0	19.3	3.4	12.5
福江	80	2.5	11.3	1.3	2.5	5.0	12.5	30.0	13.8	2.5	0.0	8.8	11.3	8.8
清田	51	0.0	9.8	2.0	5.9	7.8	2.0	35.3	17.6	9.8	5.9	27.5	7.8	7.8
泉	87	1.1	8.0	4.6	2.3	11.5	8.0	25.3	23.0	1.1	1.1	16.1	3.4	17.2

(次ページへ続く)

単位：％

区分	(14) 実生涯学習の充 興	(15) スポーツの振 興	(16) 青少年健全育 成の推進	(17) 興芸術文化の振 興	(18) 文化財の継承	(19) 農業の振興	(20) 水産業の振興	(21) 工業の振興	(22) 商業の振興	(23) 観光の振興	(24) 労働環境・消費 者支援の充実	(25) 備交通基盤の整 備	(26) 実公共交通の充 実	(27) 港湾・河川・海 岸の整備
全 体	1.1	2.6	0.9	0.2	0.5	23.2	3.6	2.6	3.9	7.0	5.9	19.7	12.6	3.1
六連	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	36.1	0.0	0.0	2.8	2.8	5.6	13.9	2.8	2.8
神戸	2.5	0.8	0.0	0.8	0.8	19.0	3.3	4.1	4.1	8.3	6.6	14.0	8.3	4.1
大草	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	13.0	0.0	4.3	4.3	4.3	13.0	4.3	21.7	4.3
田原東部	0.0	4.0	1.0	0.0	2.0	21.0	1.0	1.0	1.0	3.0	8.0	14.0	10.0	3.0
田原南部	2.0	4.0	0.0	0.0	0.0	26.0	4.0	10.0	4.0	4.0	8.0	16.0	8.0	4.0
童浦	1.3	2.0	1.3	0.0	0.0	14.0	2.7	4.7	6.7	8.0	6.7	22.0	20.7	2.0
田原中部	2.1	1.4	1.4	0.7	1.4	15.6	0.7	2.8	6.4	5.7	4.3	21.3	9.2	1.4
衣笠	0.0	1.5	0.7	0.0	0.7	17.9	1.5	0.7	2.2	8.2	6.0	14.2	9.0	2.2
野田	0.0	1.2	2.5	0.0	0.0	27.2	2.5	2.5	3.7	7.4	8.6	25.9	13.6	1.2
高松	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	27.5	5.0	5.0	2.5	10.0	0.0	17.5	12.5	0.0
赤羽根	2.1	6.4	0.0	0.0	0.0	31.9	8.5	2.1	2.1	4.3	6.4	8.5	14.9	4.3
若戸	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	26.5	5.9	0.0	2.9	11.8	5.9	26.5	2.9	2.9
伊良湖岬(和地)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.7	0.0	3.7	3.7	11.1	7.4	14.8	11.1	3.7
伊良湖岬(堀切)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.0	2.5	2.5	0.0	7.5	7.5	30.0	20.0	5.0
伊良湖岬(伊良湖)	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	6.7	0.0	13.3	13.3	40.0	6.7	6.7
亀山	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	22.7	4.5	0.0	4.5	18.2	4.5	31.8	13.6	0.0
中山	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	29.5	5.7	2.3	4.5	9.1	4.5	26.1	18.2	3.4
福江	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	30.0	11.3	0.0	2.5	7.5	3.8	28.8	13.8	5.0
清田	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	27.5	3.9	2.0	5.9	3.9	2.0	13.7	13.7	2.0
泉	1.1	4.6	2.3	0.0	0.0	28.7	5.7	0.0	2.3	3.4	3.4	19.5	16.1	6.9

区分	(28) 市街地の活 性	(29) 地域・住環境の 整備	(30) 実上下水道の充 実	(31) 全自然環境の保 全	(32) 緑化・景観形成 の推進	(33) 消防・救急体制 の充実	(34) 防災・減災体制 の充実	(35) 国際化・多文化 共生の推進	(36) 実情報体制の充 実	(37) 進広域連携の推 進	(38) 行財政運営	無 回 答
全 体	5.5	4.4	6.4	2.9	1.9	5.6	10.0	0.6	0.4	0.3	7.6	9.1
六連	5.6	11.1	8.3	8.3	2.8	8.3	11.1	0.0	0.0	0.0	13.9	16.7
神戸	2.5	4.1	6.6	1.7	3.3	7.4	15.7	0.0	0.0	0.8	9.1	5.8
大草	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0	17.4	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田原東部	1.0	3.0	11.0	0.0	3.0	6.0	13.0	0.0	0.0	0.0	11.0	9.0
田原南部	8.0	6.0	12.0	10.0	2.0	2.0	12.0	0.0	2.0	2.0	4.0	2.0
童浦	11.3	2.7	4.0	2.7	2.0	3.3	4.0	1.3	0.0	0.0	6.0	4.7
田原中部	9.9	1.4	6.4	3.5	2.1	8.5	12.8	0.0	0.0	0.7	9.9	9.9
衣笠	4.5	3.7	4.5	3.0	3.0	6.7	9.0	0.7	0.7	0.0	7.5	9.7
野田	6.2	1.2	4.9	2.5	0.0	2.5	7.4	1.2	0.0	0.0	8.6	11.1
高松	0.0	10.0	20.0	5.0	0.0	5.0	12.5	0.0	0.0	0.0	2.5	15.0
赤羽根	0.0	4.3	6.4	0.0	0.0	4.3	6.4	0.0	0.0	0.0	4.3	14.9
若戸	5.9	2.9	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	14.7
伊良湖岬(和地)	0.0	3.7	3.7	3.7	0.0	7.4	7.4	7.4	0.0	0.0	11.1	11.1
伊良湖岬(堀切)	2.5	10.0	2.5	0.0	0.0	5.0	2.5	0.0	0.0	0.0	7.5	7.5
伊良湖岬(伊良湖)	13.3	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3
亀山	0.0	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
中山	4.5	6.8	5.7	4.5	1.1	6.8	8.0	0.0	1.1	1.1	8.0	9.1
福江	6.3	1.3	6.3	2.5	2.5	3.8	15.0	0.0	0.0	0.0	7.5	6.3
清田	3.9	3.9	5.9	2.0	0.0	3.9	3.9	0.0	2.0	0.0	9.8	13.7
泉	4.6	10.3	1.1	4.6	2.3	3.4	11.5	1.1	1.1	0.0	4.6	10.3

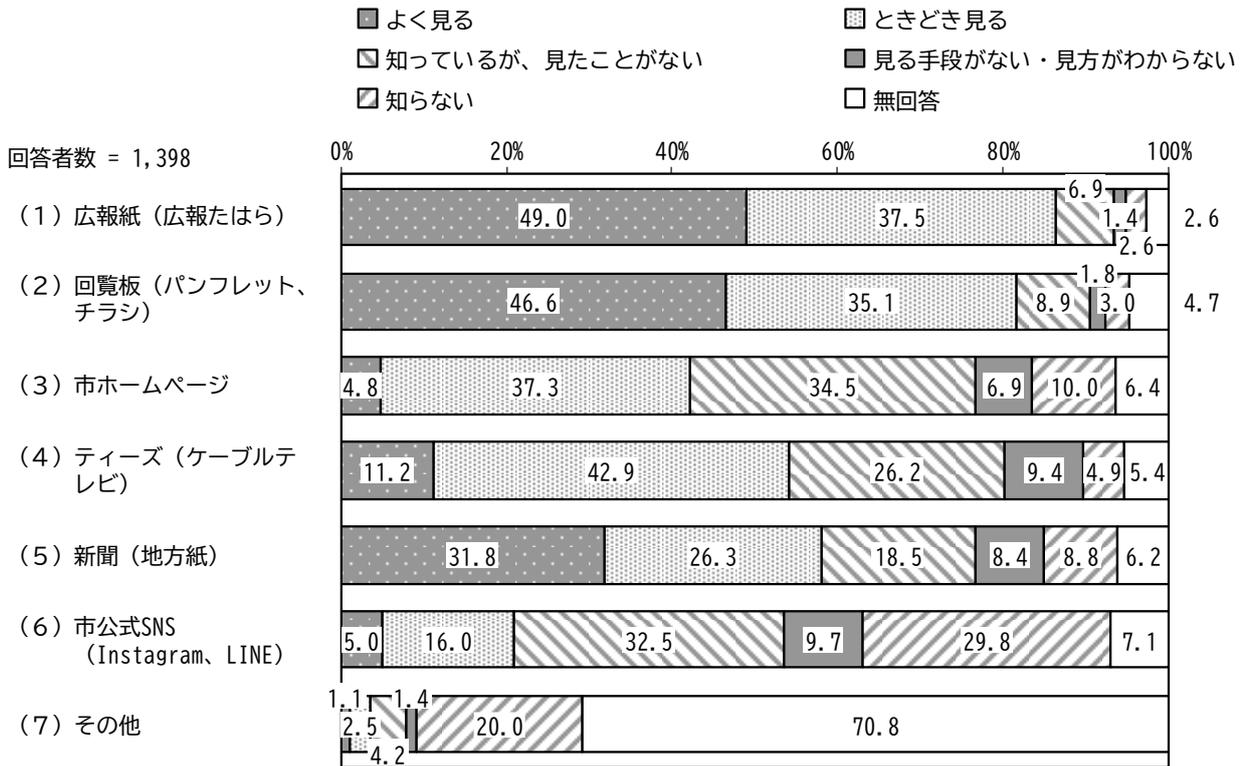
(前ページの表 続き)

## (5) 個別の取り組みについて

### ■市政の情報について

問13 あなたは、市から発信している市政に関する情報をどの程度活用していますか。  
(項目ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

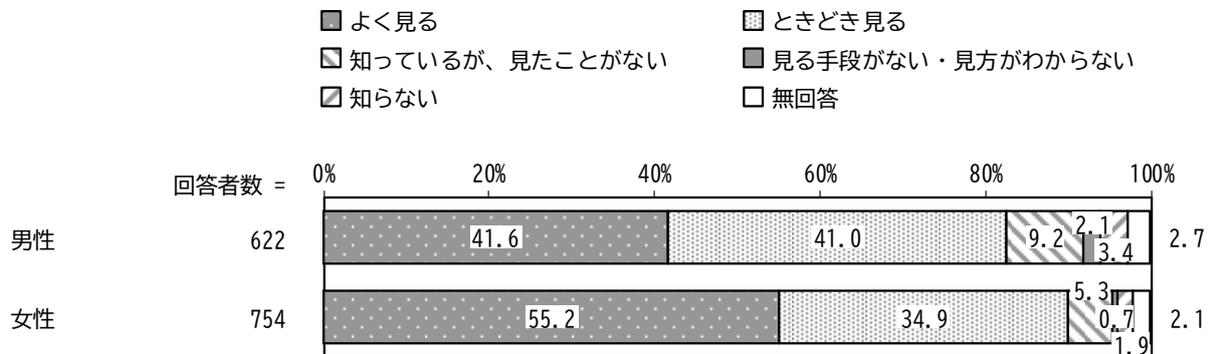
『(1) 広報紙 (広報たはら)』『(2) 回覧板 (パンフレット、チラシ)』で「よく見る」「ときどき見る」を合わせた“見る”(以下同じ)の割合が高くなっており、8割を超えています。また、『(6) 市公式SNS (Instagram、LINE)』で「知らない」の割合が高くなっています。



## (1) 広報紙（広報たはら）

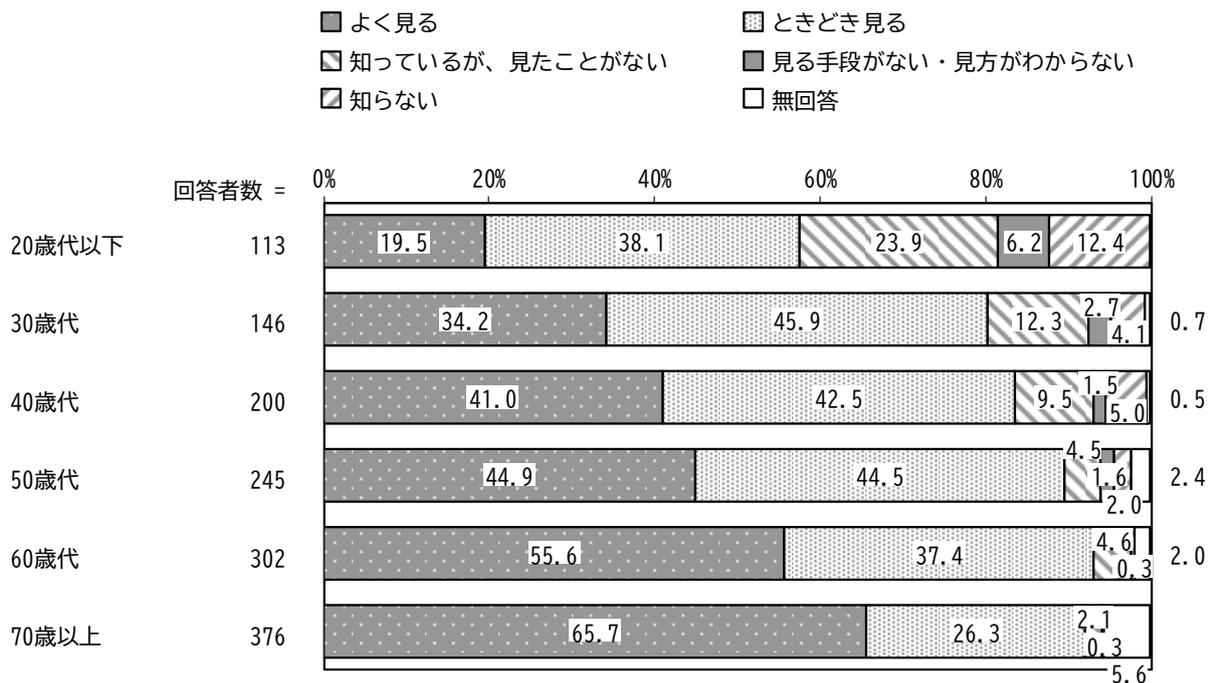
### 【性別】

性別でみると、《女性》で“見る”の割合が、男性に比べ高く、9割を超えています。



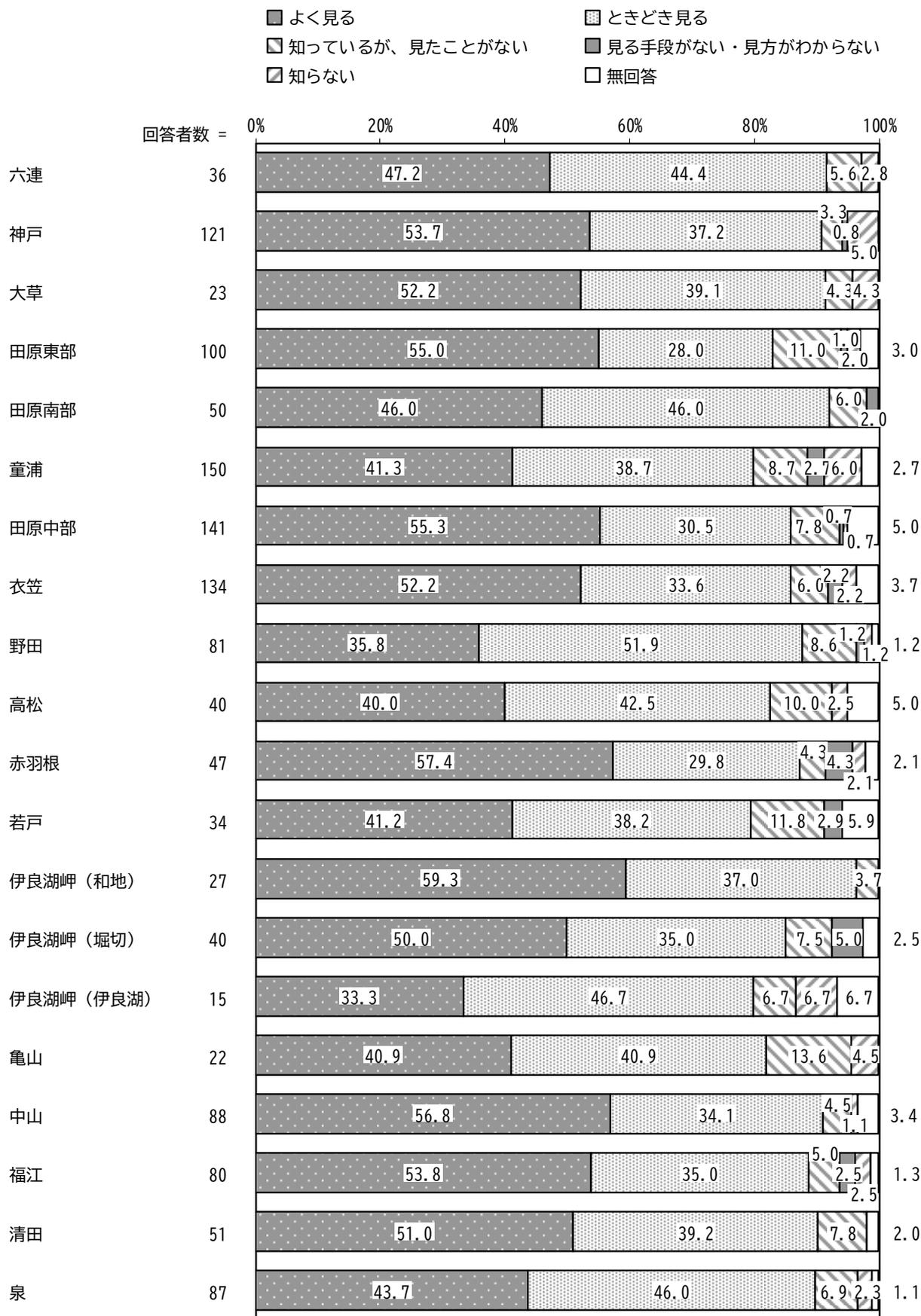
### 【年齢別】

年齢別でみると、年代が下がるほど「知らない」の割合が高い傾向にあります。また、《60歳代》で“見る”の割合が、他の年代に比べ最も高く、次いで《70歳以上》、《50歳代》となっています。



【地区別】

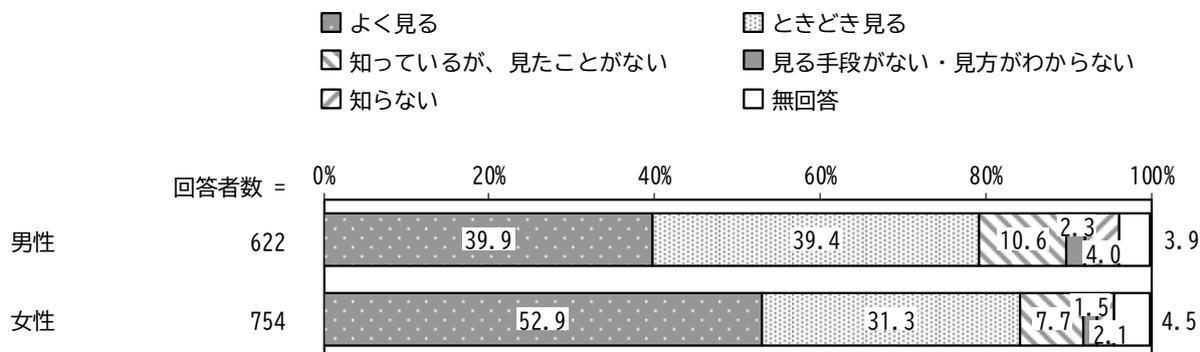
地区別でみると、《伊良湖岬（和地）》で“見る”の割合が、他の地区に比べ最も高くなっています。また、《六連》《神戸》《大草》《田原南部》《伊良湖岬（和地）》《中山》《清田》で“見る”の割合が9割を超えています。



## (2) 回覧板 (パンフレット、チラシ)

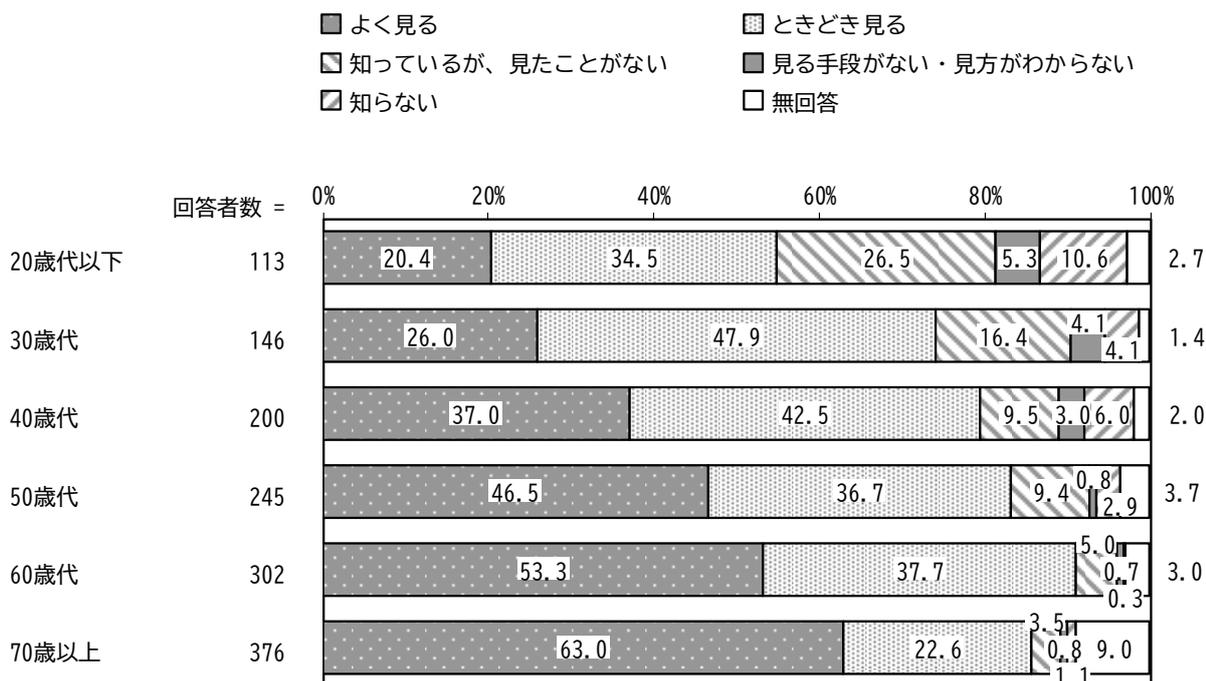
### 【性別】

性別で見ると、《女性》で“見る”の割合が、男性に比べ高く、8割を超えています。



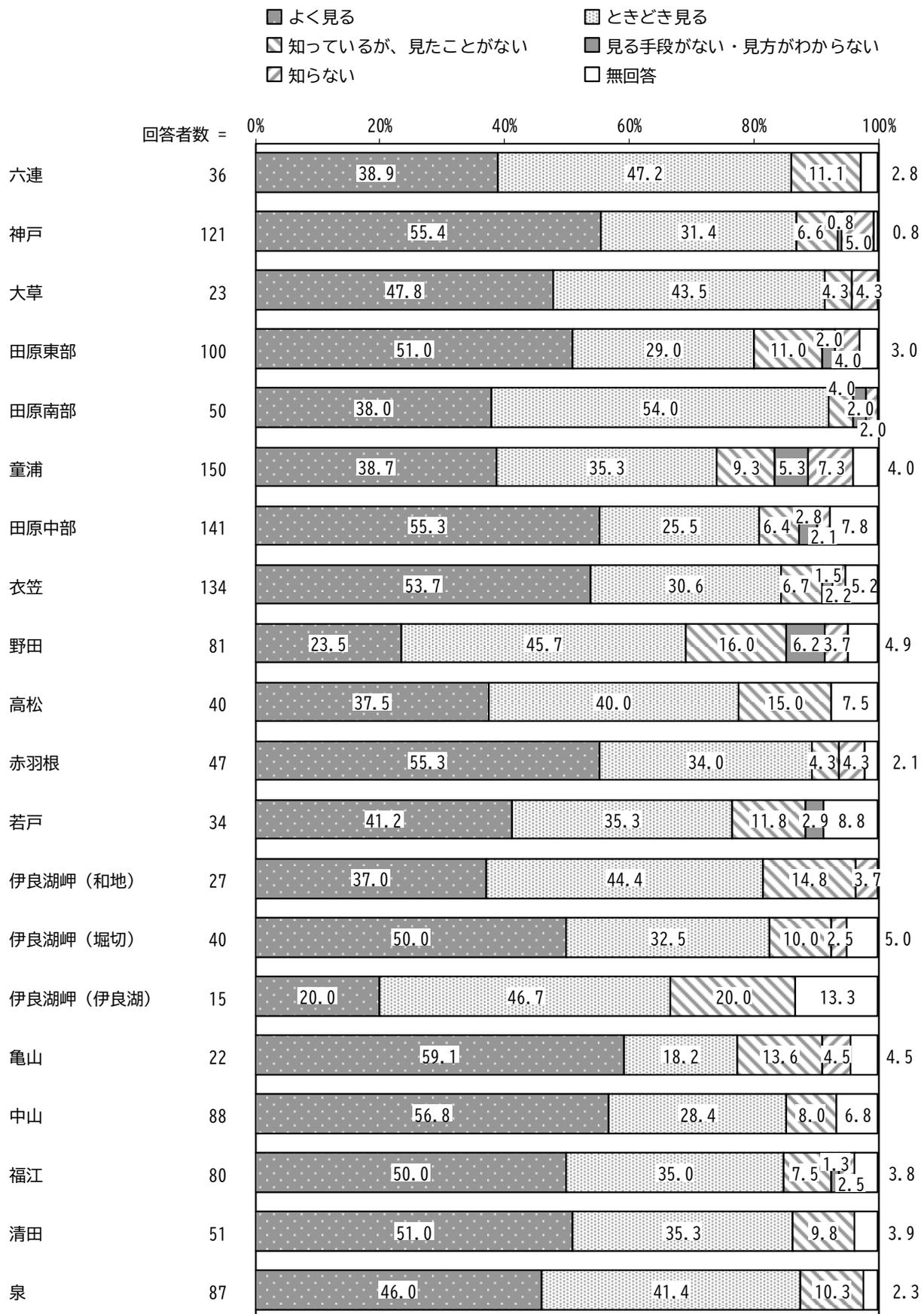
### 【年齢別】

年齢別で見ると、年代が下がるほど「知らない」の割合が高い傾向にあります。また、《60歳代》で“見る”の割合が、他の年代に比べ最も高く、次いで《70歳以上》、《50歳代》となっています。



【地区別】

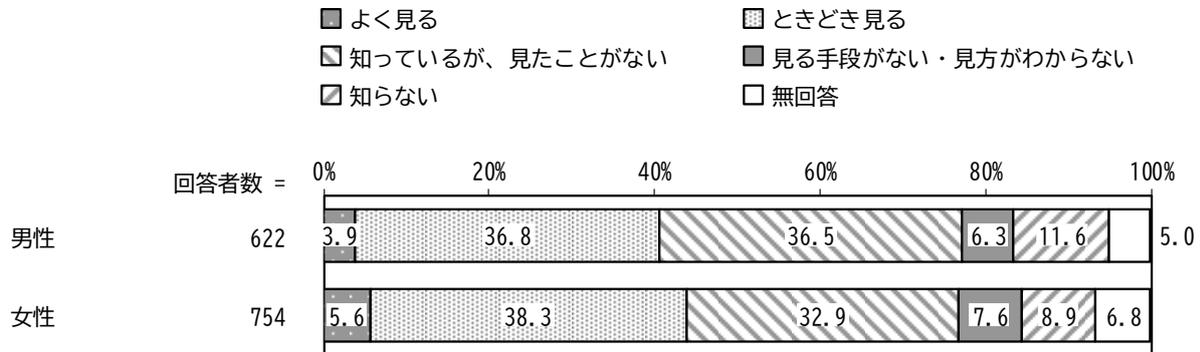
地区別でみると、《田原南部》で“見る”の割合が、他の地区に比べ最も高くなっています。また、《大草》《田原南部》で“見る”の割合が9割を超えています。



### (3) 市ホームページ

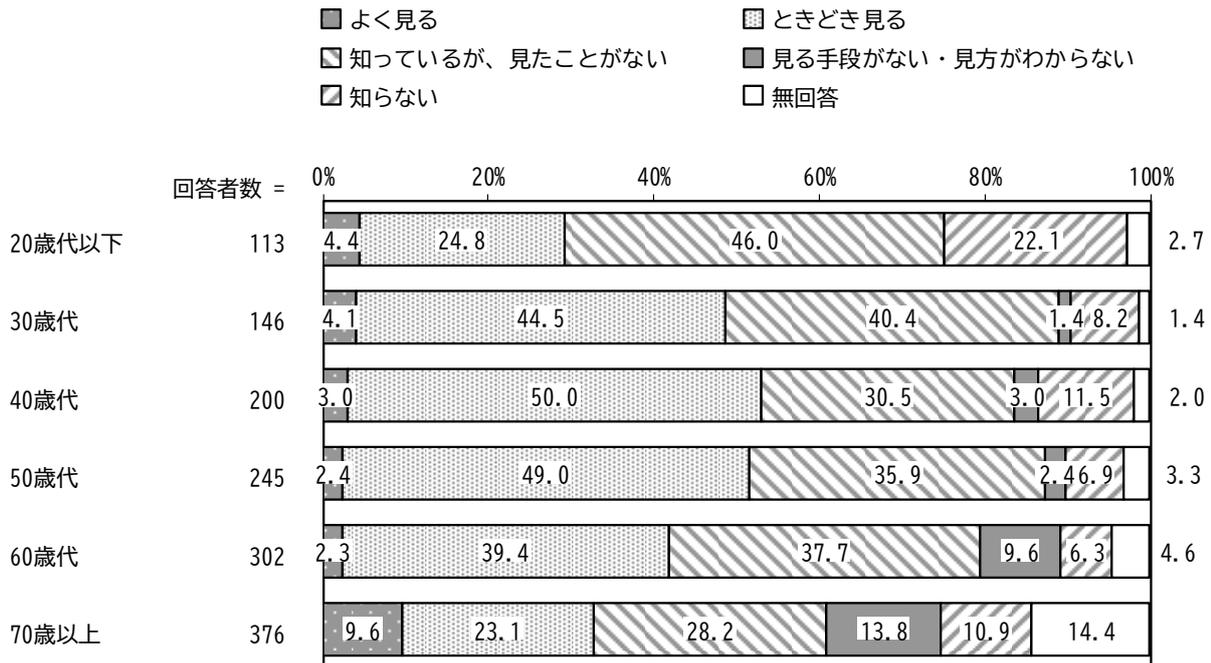
#### 【性別】

性別で見ると、《女性》で“見る”の割合が、男性に比べ高くなっています。



#### 【年齢別】

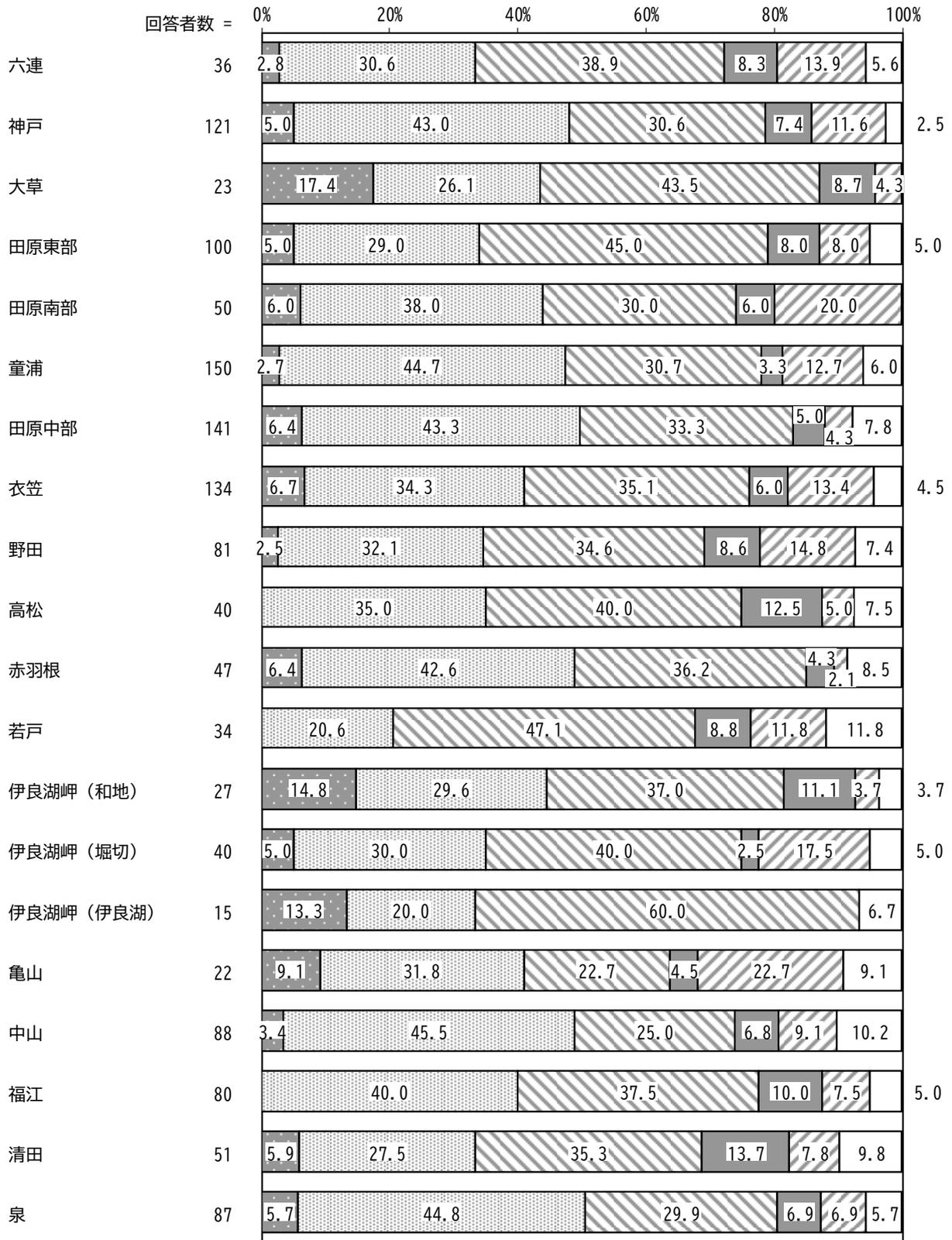
年齢別で見ると、《40歳代》《50歳代》で“見る”、《20歳代以下》で「知っているが、見たことがない」「知らない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、《泉》で“見る”の割合が、他の地区に比べ最も高く、5割を超えています。また、《伊良湖岬（伊良湖）》で「知っているが、見たことがない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

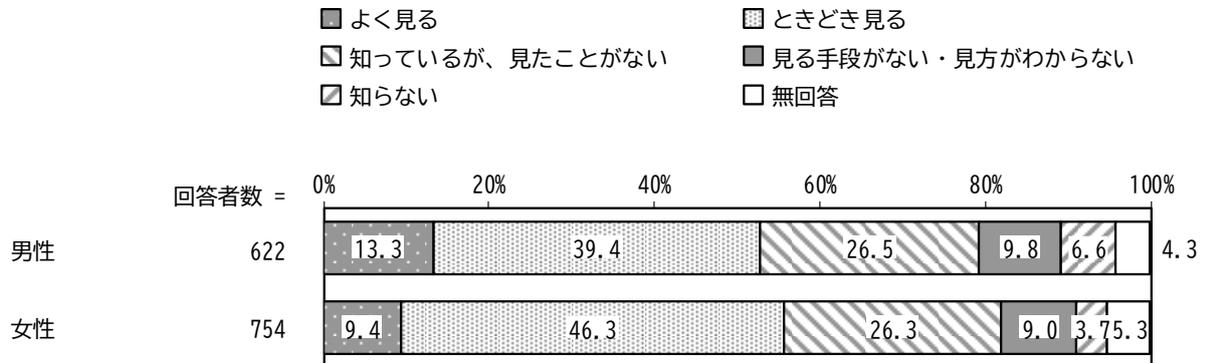
- よく見る
- 知っているが、見たことがない
- 知らない
- とどき見る
- 見る手段がない・見方がわからない
- 無回答



#### (4) ティーズ (ケーブルテレビ)

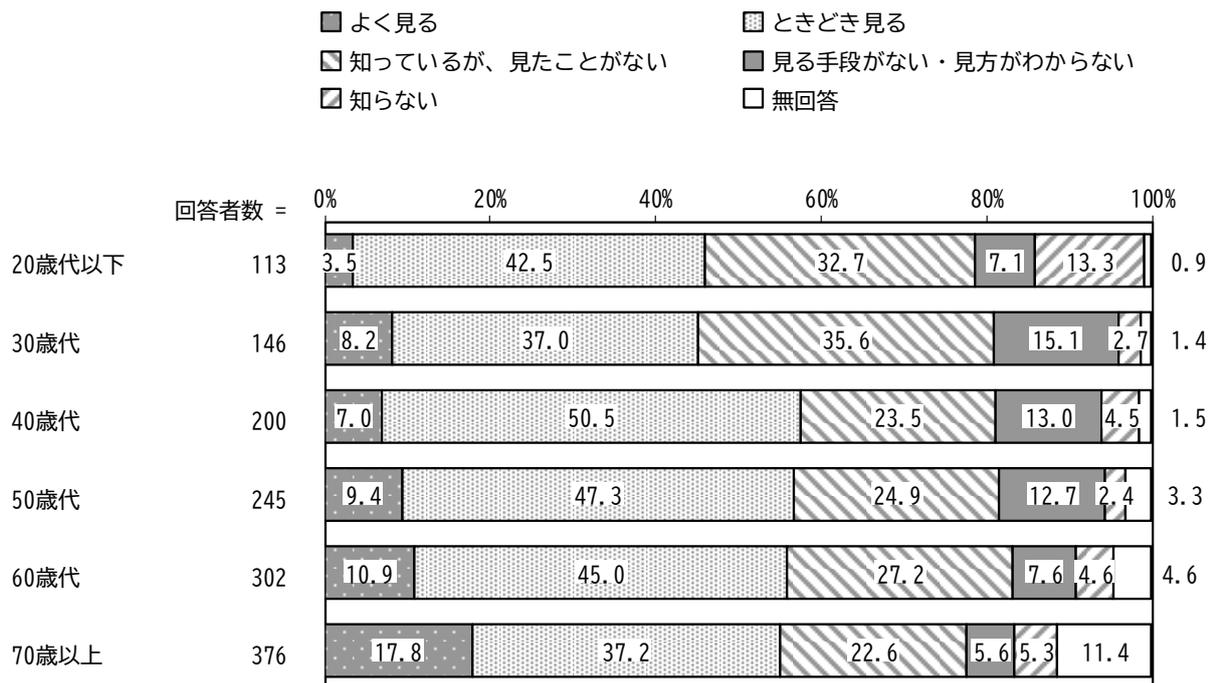
##### 【性別】

性別でみると、《女性》で“見る”の割合が、男性に比べ高くなっています。



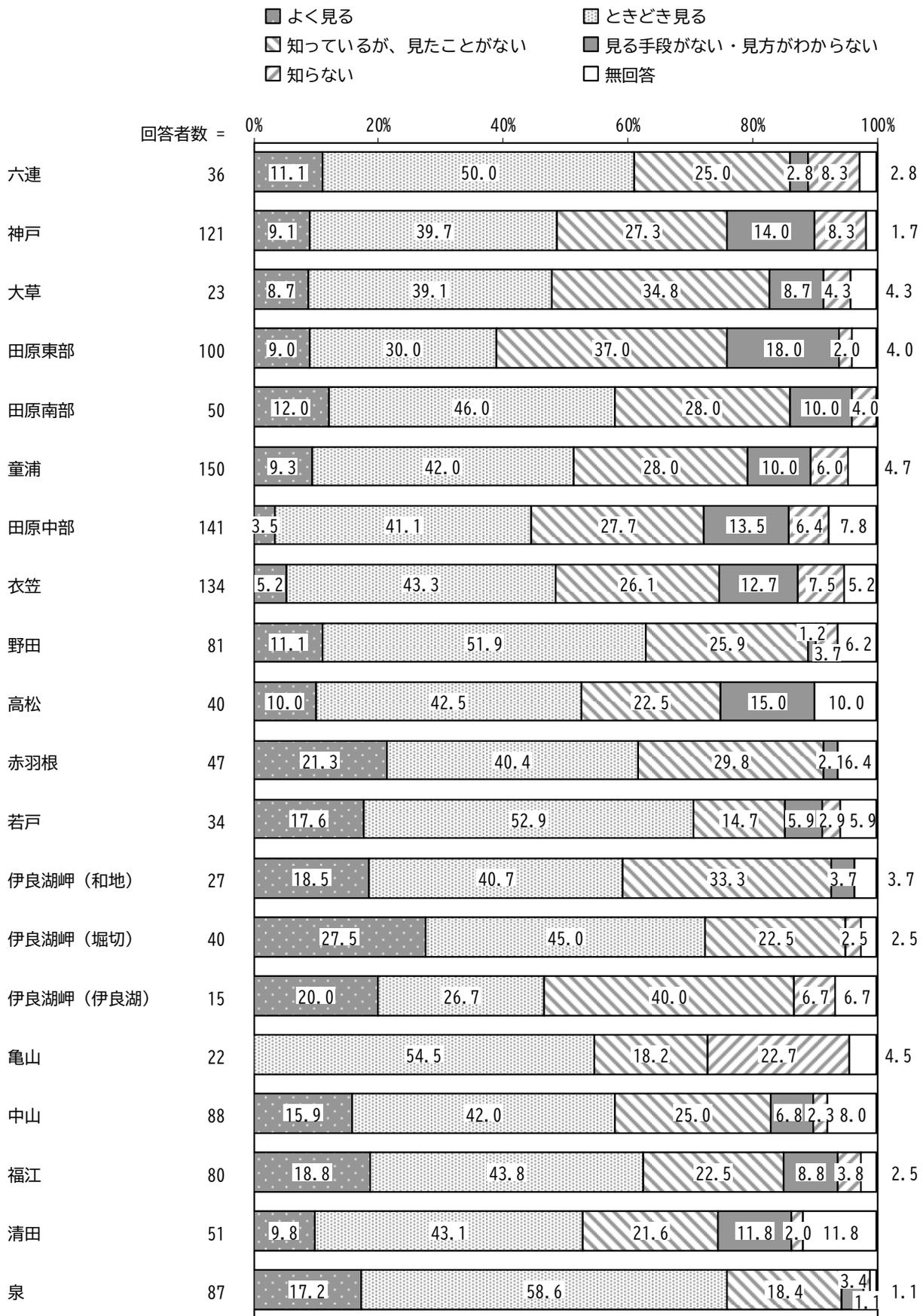
##### 【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代以下》《30歳代》で“見る”の割合が、他の年代に比べ低くなっています。また、《20歳代以下》で「知らない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

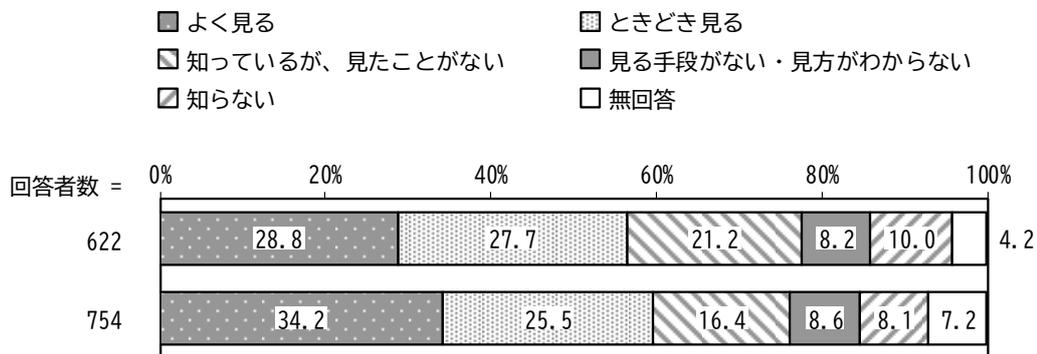
地区別でみると、《泉》で“見る”の割合が、他の地区に比べ最も高く、7割を超えています。



## (5) 新聞（地方紙）

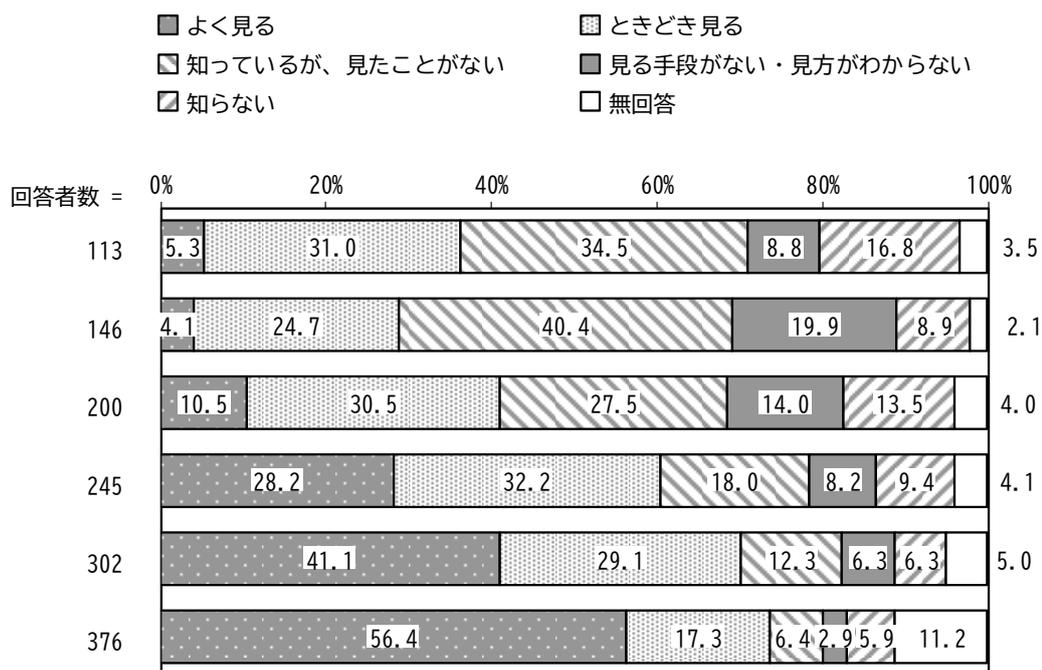
### 【性別】

性別で見ると、《女性》で“見る”の割合が、男性に比べ高くなっています。



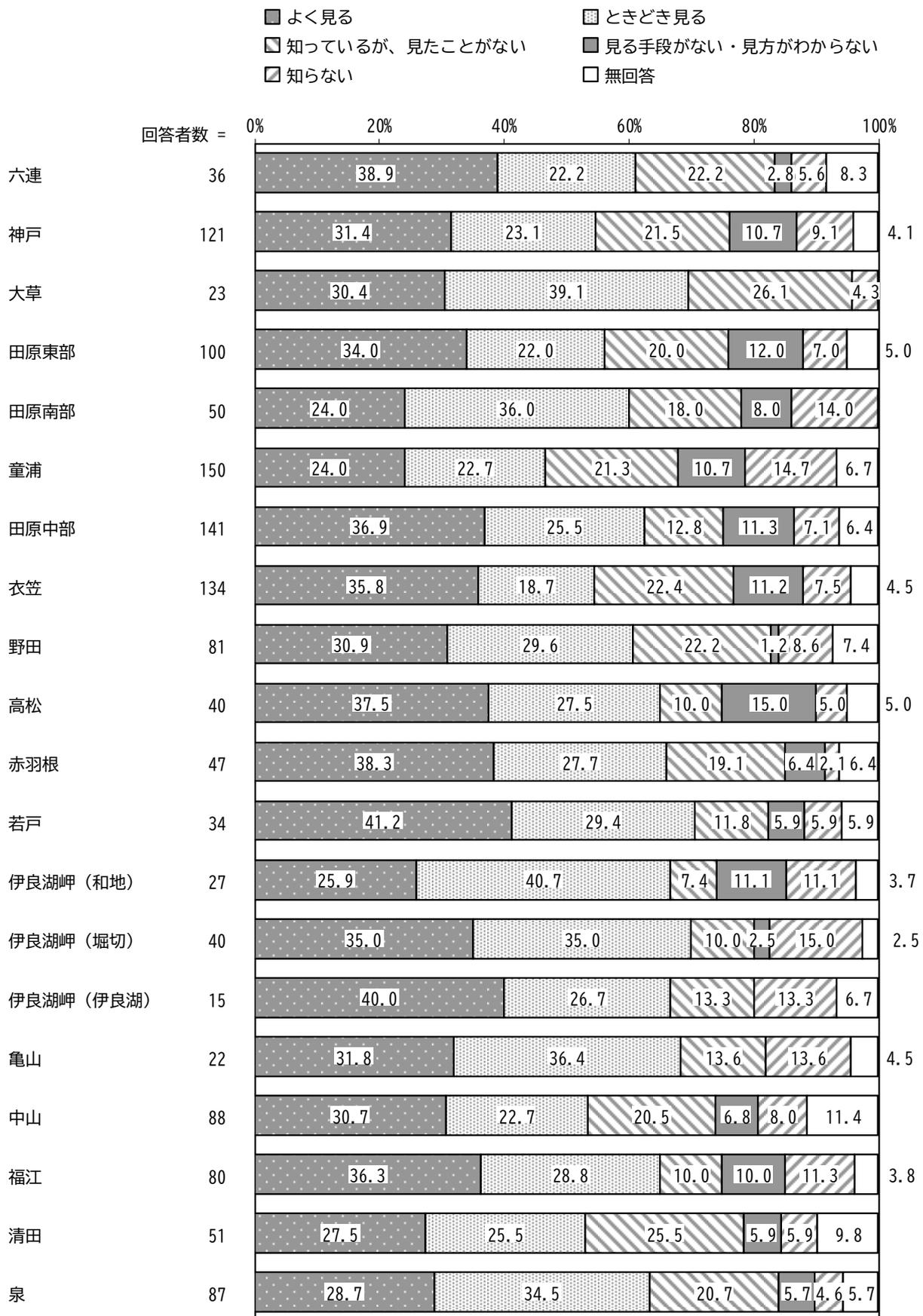
### 【年齢別】

年齢別で見ると、年代が上がるほど“見る”の割合が高い傾向にあります。また、《30歳代》で「知っているが、見たことがない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

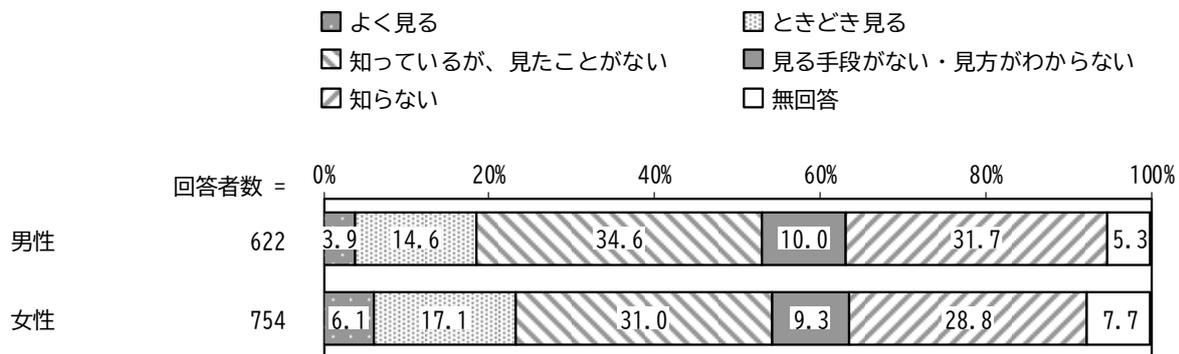
地区別でみると、《若戸》《伊良湖岬（堀切）》で“見る”の割合が、他の地区に比べ高く、7割以上となっています。



## (6) 市公式 SNS (Instagram、LINE)

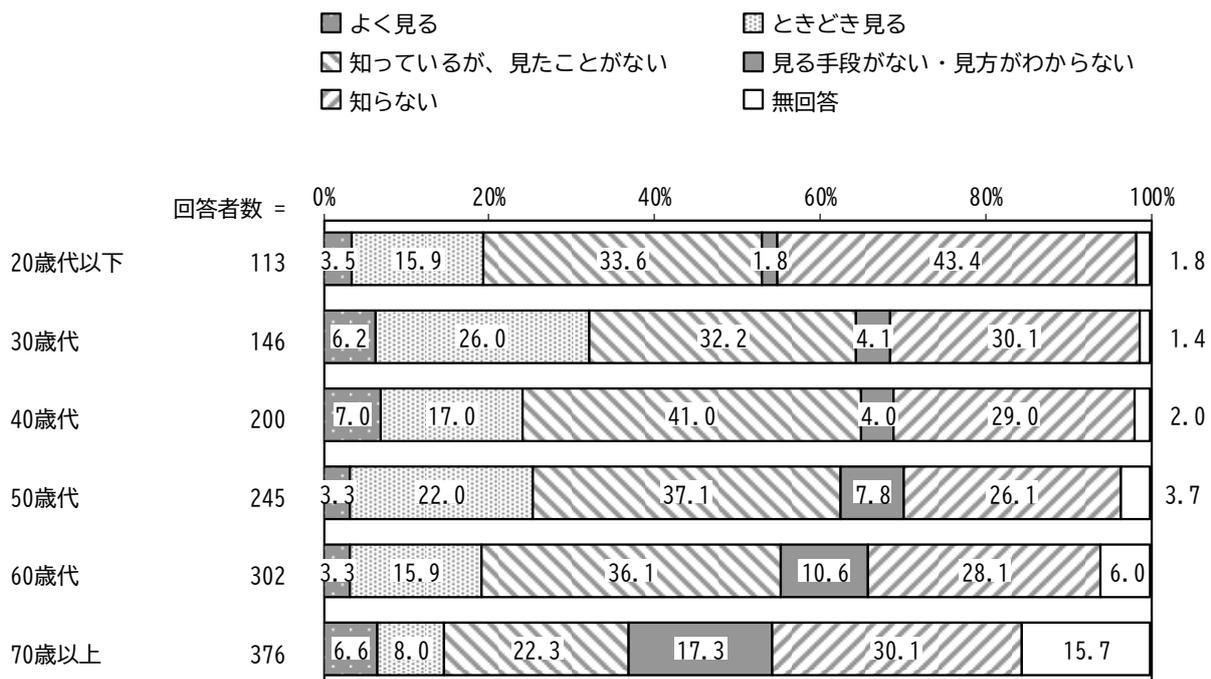
### 【性別】

性別でみると、《女性》で“見る”の割合が、男性に比べ高くなっています。



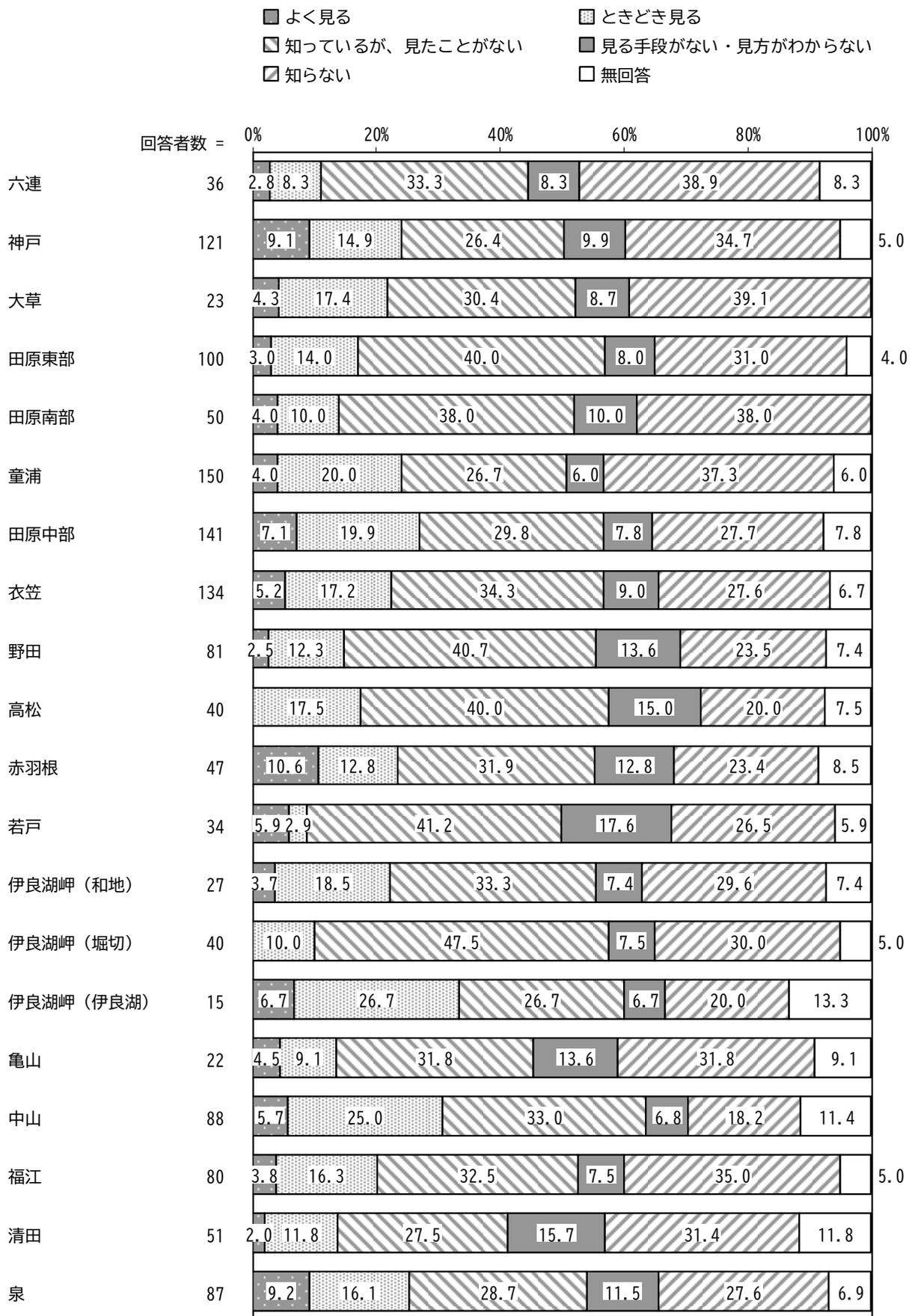
### 【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代以下》で「知らない」の割合が、他の年代に比べ高く、年代が上がるほど「見る手段がない・見方がわからない」の割合が高い傾向にあります。



【地区別】

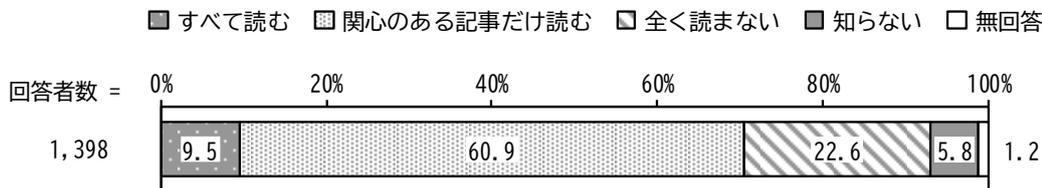
地区別でみると、《六連》《大草》《田原南部》《童浦》で「知らない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



■議会について

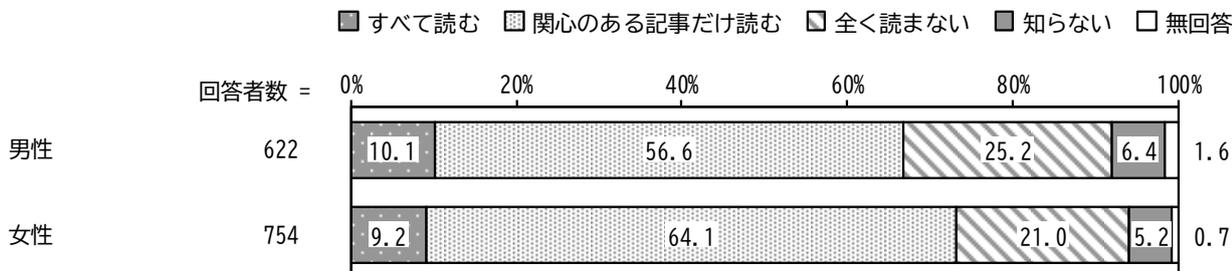
問14 あなたは、「議会だより」を読んでいますか。(あてはまるもの1つだけ○)

「すべて読む」「関心のある記事だけ読む」を合わせた“読む”(以下同じ)の割合が70.4%となっています。



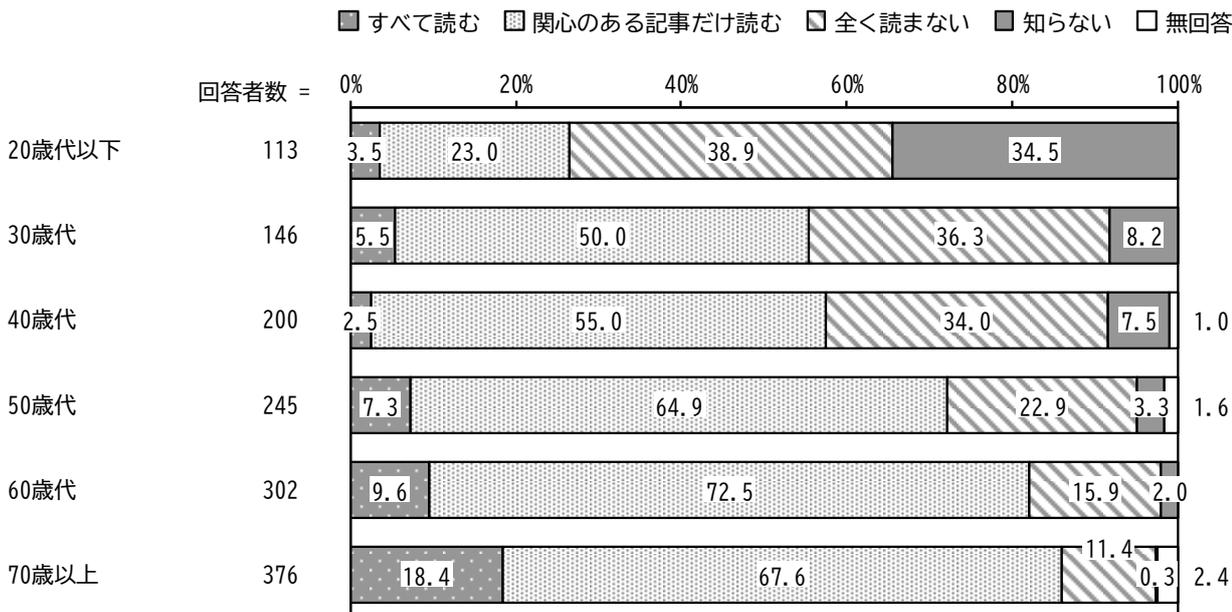
【性別】

性別で見ると、《女性》で“読む”の割合が、男性に比べ高く、7割を超えています。



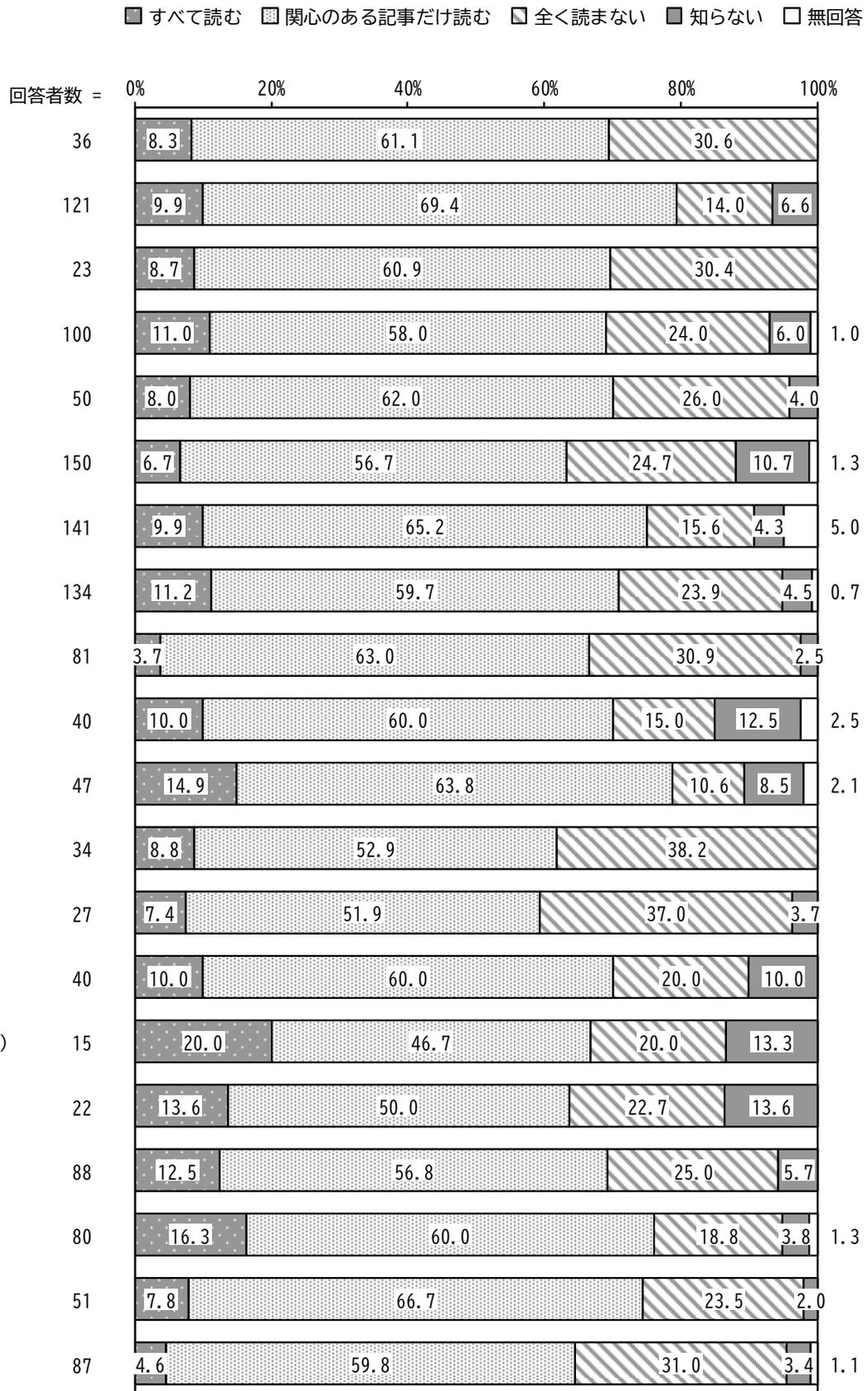
【年齢別】

年齢別で見ると、年代が上がるほど“読む”の割合が高い傾向にあります。また、《20歳代以下》では「全く読まない」「知らない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



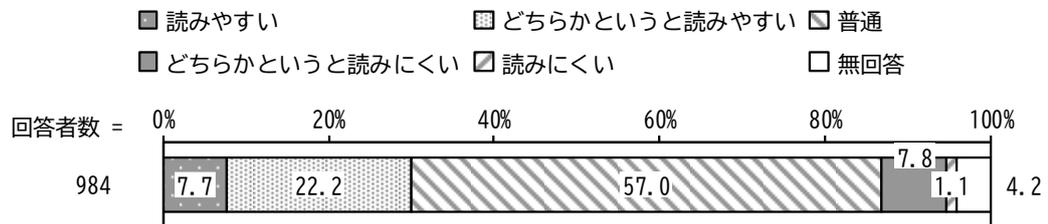
【地区別】

地区別でみると、《神戸》《赤羽根》で“見る”、《若戸》《伊良湖岬（和地）》で「全く読まない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



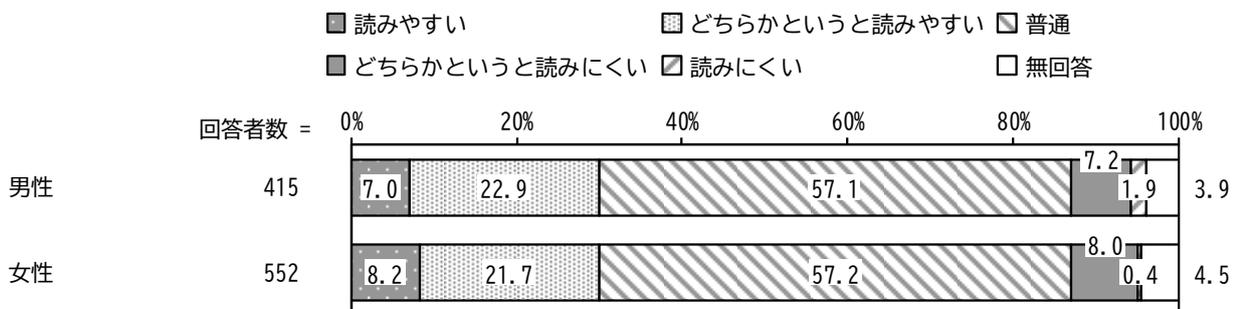
問15 問14で「すべて読む」「関心のある記事だけ読む」を選んだ方にお聞きします。「議会議だより」は読みやすいと思いますか。(あてはまるもの1つだけ○)

「読みやすい」「どちらかという読みやすい」を合わせた“読みやすい”(以下同じ)の割合が29.9%、「どちらかという読みにくい」「読みにくい」を合わせた“読みにくい”(以下同じ)の割合が8.9%となっています。



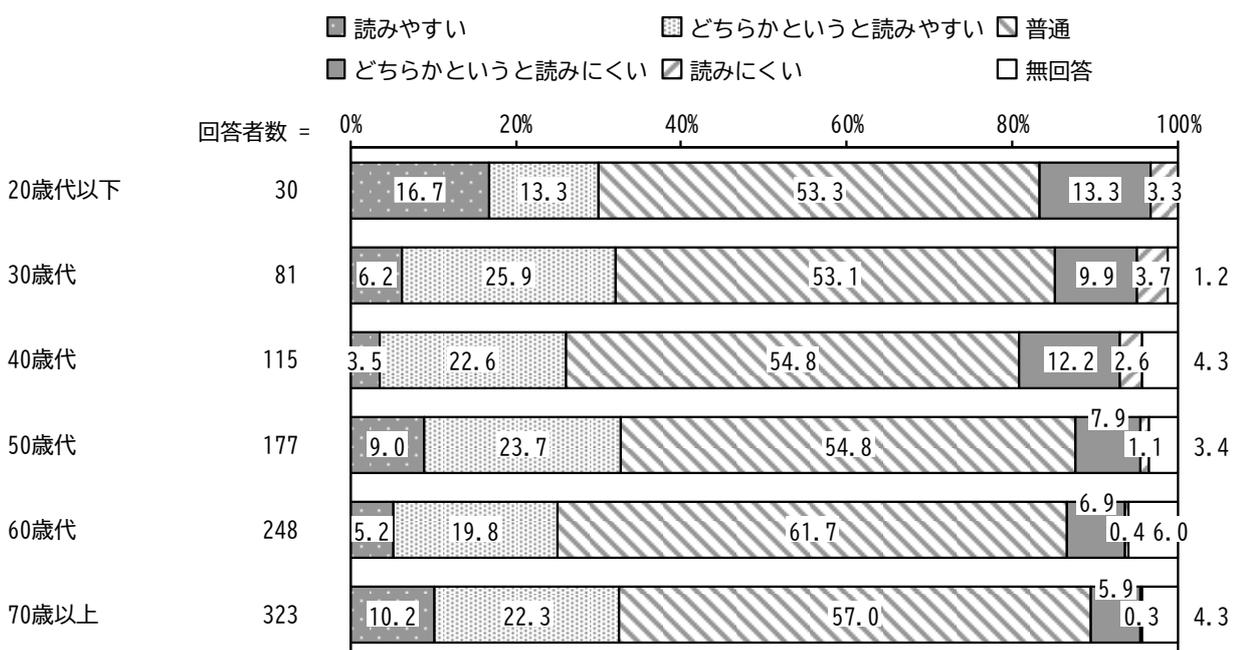
【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに“読みやすい”の割合が29.9%となっています。



【年齢別】

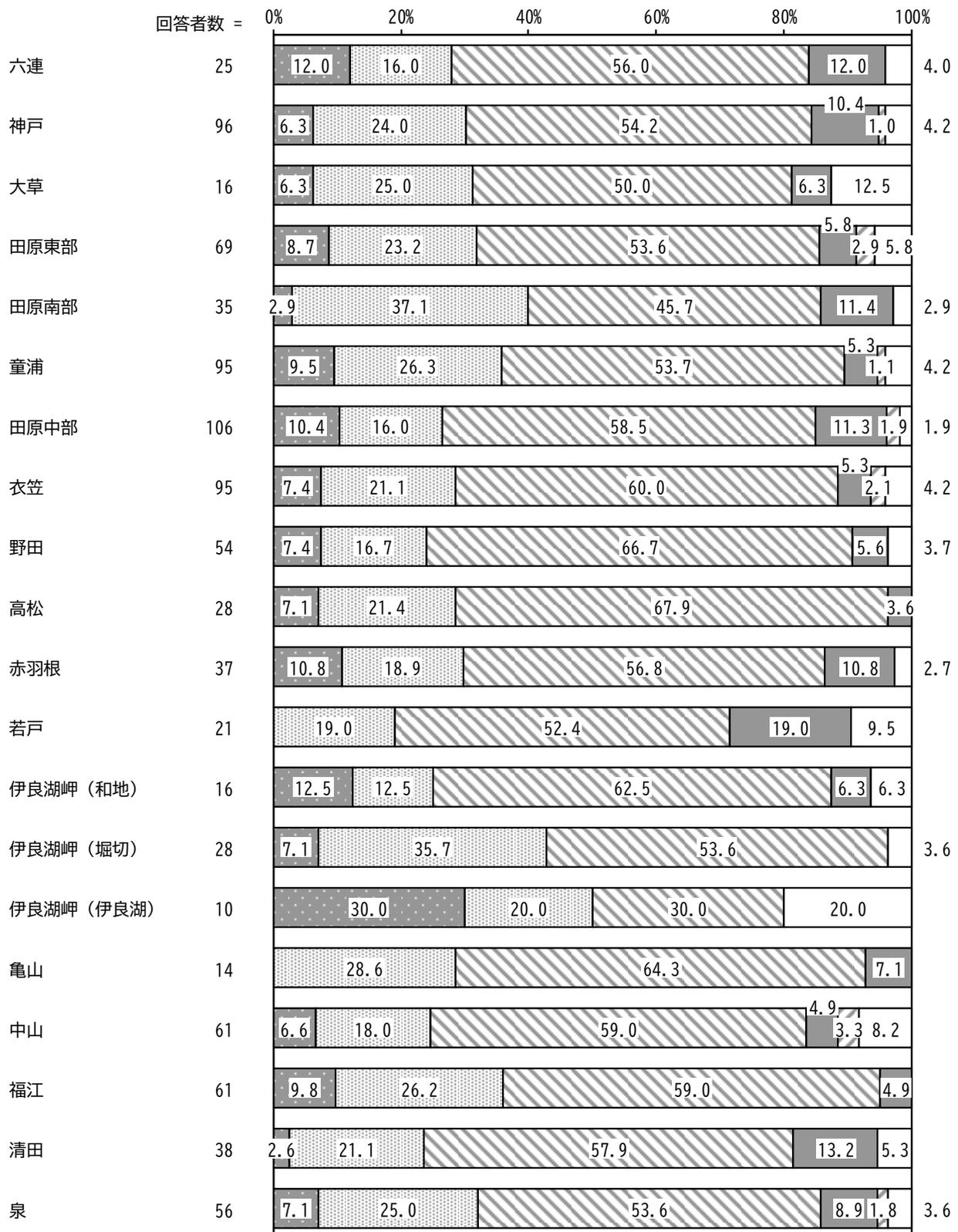
年齢別でみると、《40歳代》以下で“読みにくい”の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

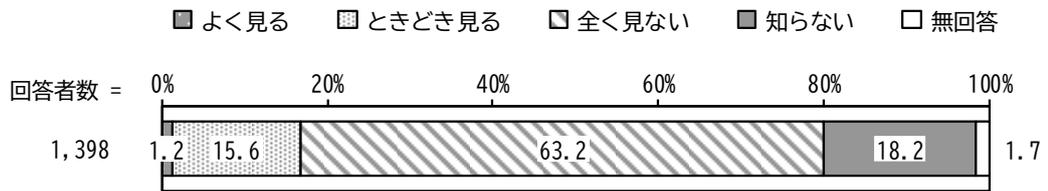
地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》で“読みやすい”、《若戸》で“読みにくい”の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

■ 読みやすい                      ▨ どちらかという読みやすい    □ 普通  
 ■ どちらかという読みにくい   ▩ 読みにくい                      □ 無回答



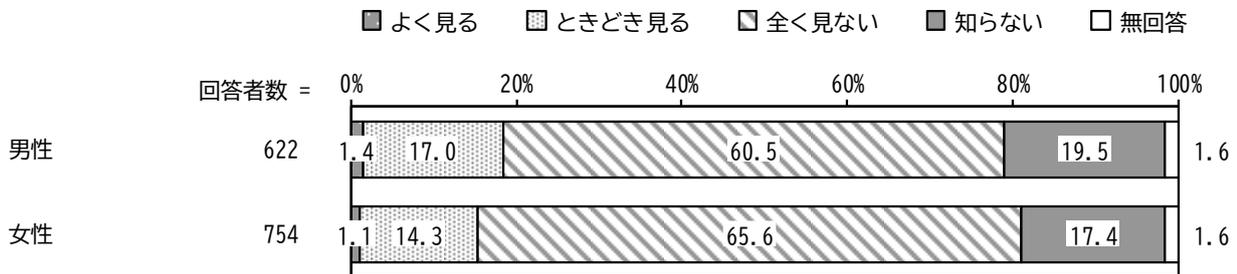
問16 あなたは、ティーズやインターネットの議会中継を見ていますか。  
(あてはまるもの1つだけ○)

「全く見ない」の割合が63.2%と最も高くなっています。



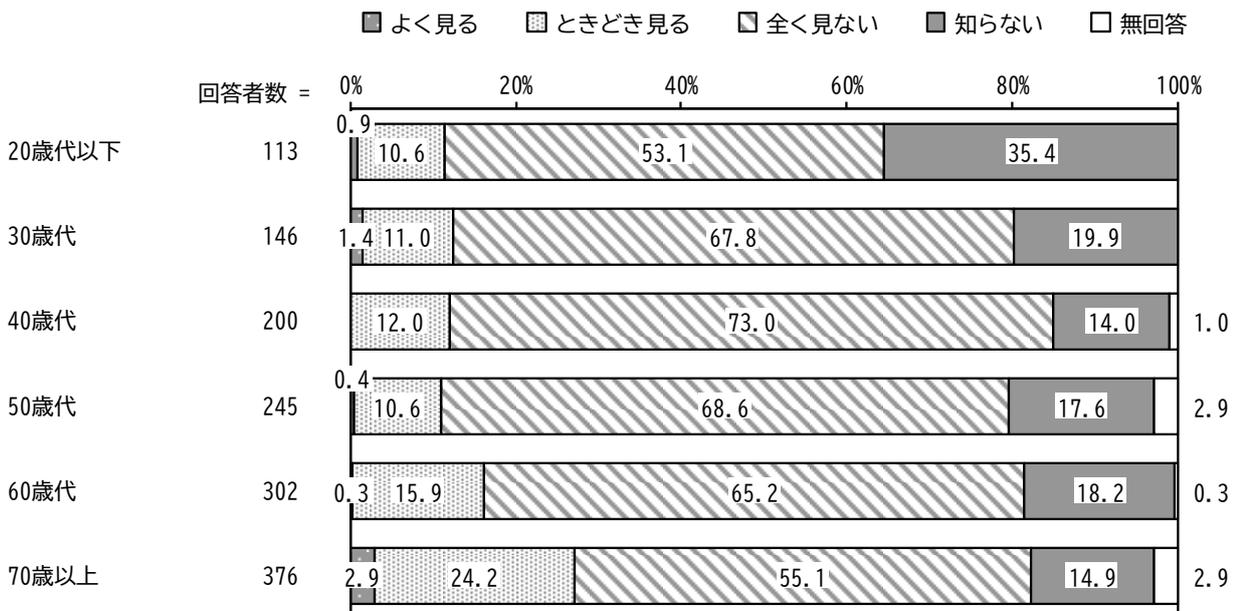
【性別】

性別でみると、《女性》で「全く見ない」の割合が、男性に比べ高くなっています。



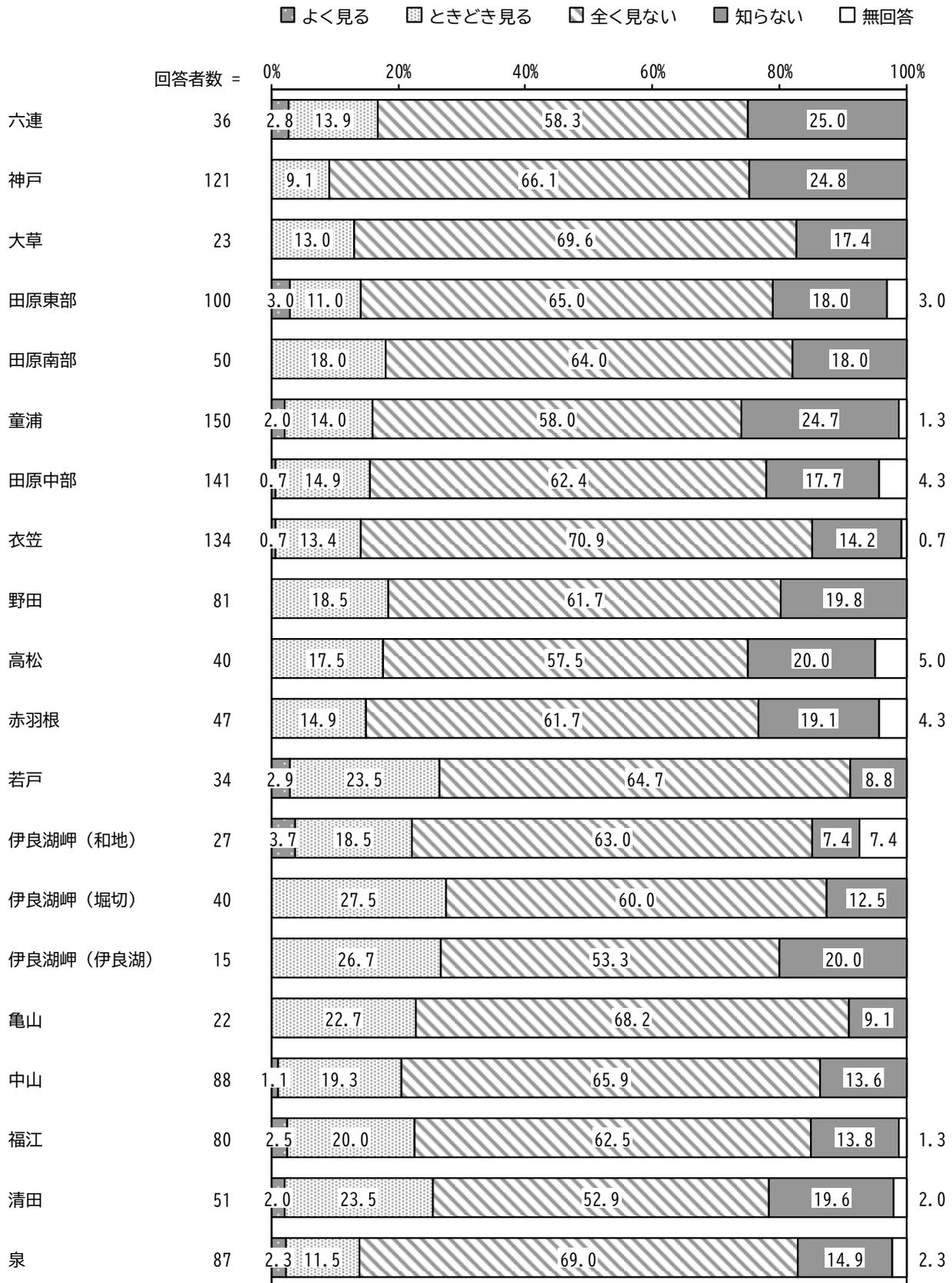
【年齢別】

年齢別でみると、《60歳代》以上で「よく見る」「ときどき見る」を合わせた“見る”、《20歳代以下》で「知らない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



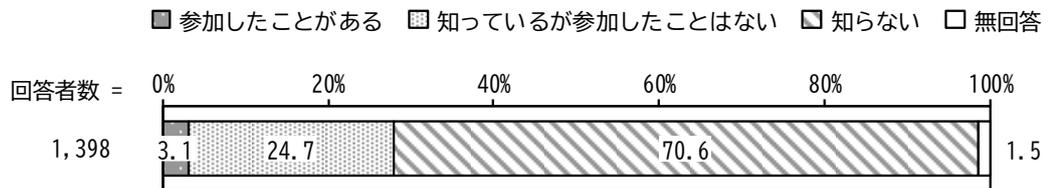
【地区別】

地区別でみると、《衣笠》で「全く見ない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



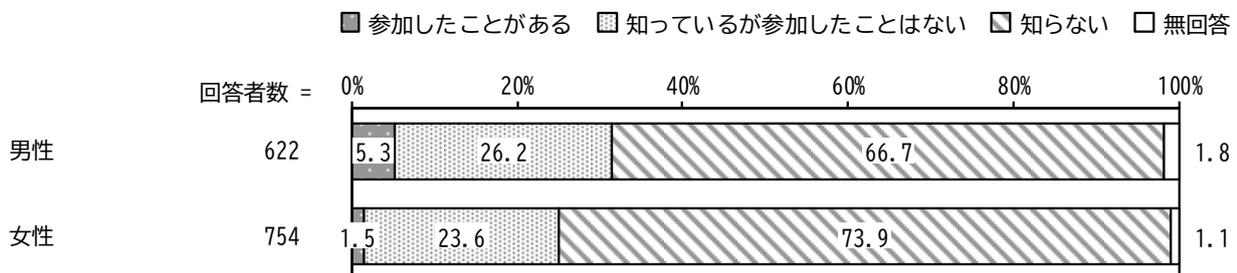
問 17 あなたは、「議員とたはらトーク」（議会報告会、意見交換会）に参加したことがありますか。（あてはまるもの1つだけ○）

「知らない」の割合が最も高く、70.6%となっています。



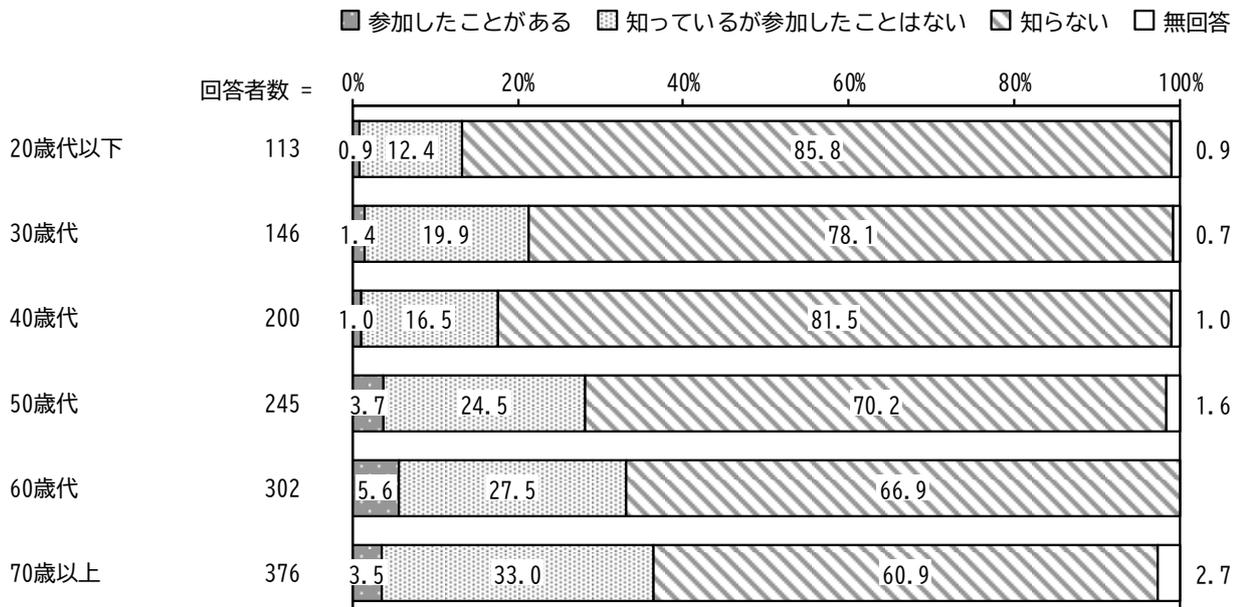
【性別】

性別で見ると、「女性」で「知らない」の割合が、男性に比べ高くなっています。



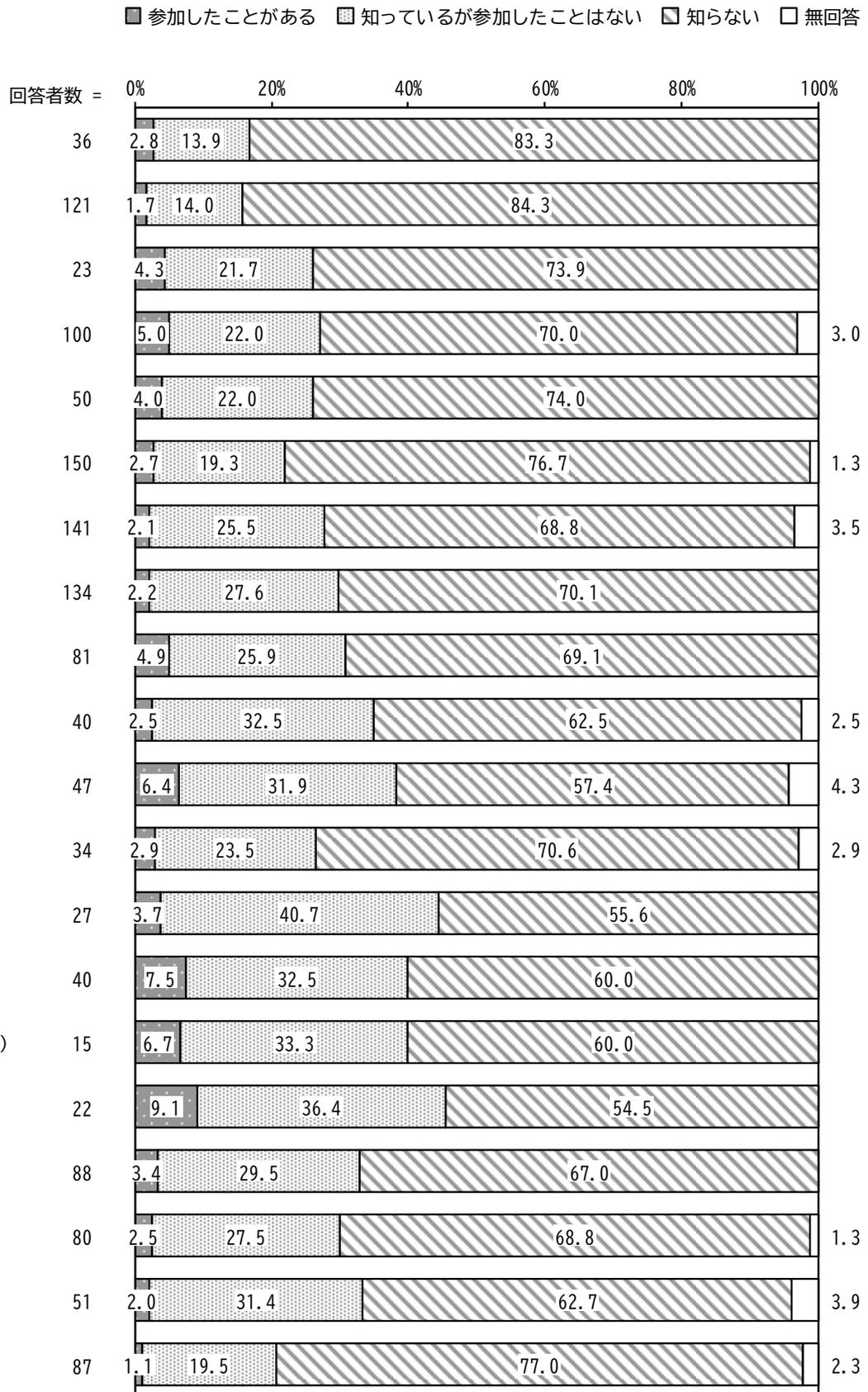
【年齢別】

年齢別で見ると、「40歳代」以下で「知らない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

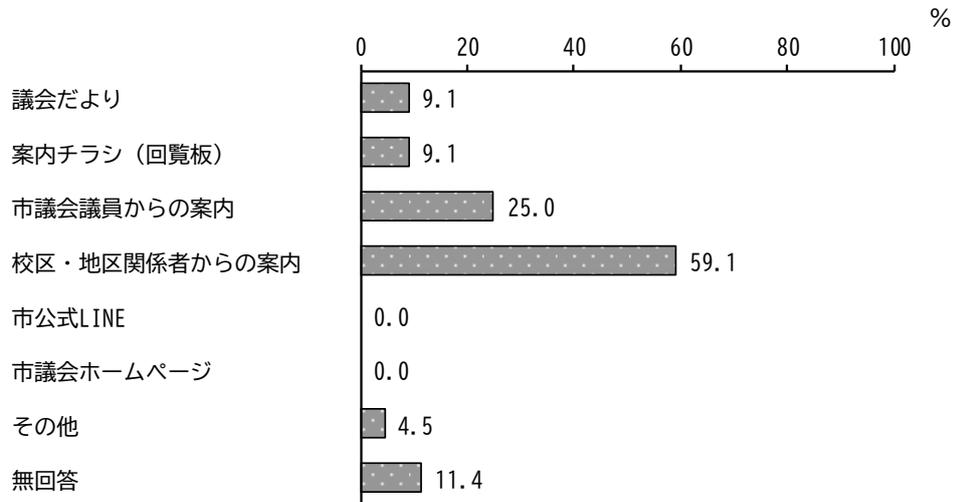
地区別でみると、《伊良湖岬（和地）》で「知っているが参加したことはない」、《六連》《神戸》で「知らない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



問18 問17で「参加したことがある」を選んだ方にお聞きします。参加のきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「校区・地区関係者からの案内」の割合が59.1%と最も高く、次いで「市議会議員からの案内」の割合が25.0%となっています。

回答者数 = 44



【性別】

性別で見ると、「案内チラシ (回覧板)」「校区・地区関係者からの案内」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	議会だより	案内チラシ (回覧板)	市議会議員からの案内	校区・地区関係者からの案内	市公式LINE	市議会ホームページ	その他	無回答
全体	44	9.1	9.1	25.0	59.1	0.0	0.0	4.5	11.4
男性	33	9.1	6.1	24.2	69.7	0.0	0.0	6.1	6.1
女性	11	9.1	18.2	27.3	27.3	0.0	0.0	0.0	27.3

【年齢別】

年齢別でみると、《60歳代》で「校区・地区関係者からの案内」、《70歳以上》で「議会だより」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	議会だより	案内チラシ(回覧板)	市議会議員からの案内	校区・地区関係者からの案内	市公式LINE	市議会ホームページ	その他	無回答
全体	44	9.1	9.1	25.0	59.1	0.0	0.0	4.5	11.4
20歳代以下	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
40歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
50歳代	9	0.0	22.2	33.3	44.4	0.0	0.0	0.0	11.1
60歳代	17	0.0	0.0	23.5	70.6	0.0	0.0	0.0	17.6
70歳以上	13	30.8	15.4	15.4	61.5	0.0	0.0	0.0	7.7

【地区別】

地区別でみると、多くの地区で、「校区・地区関係者からの案内」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

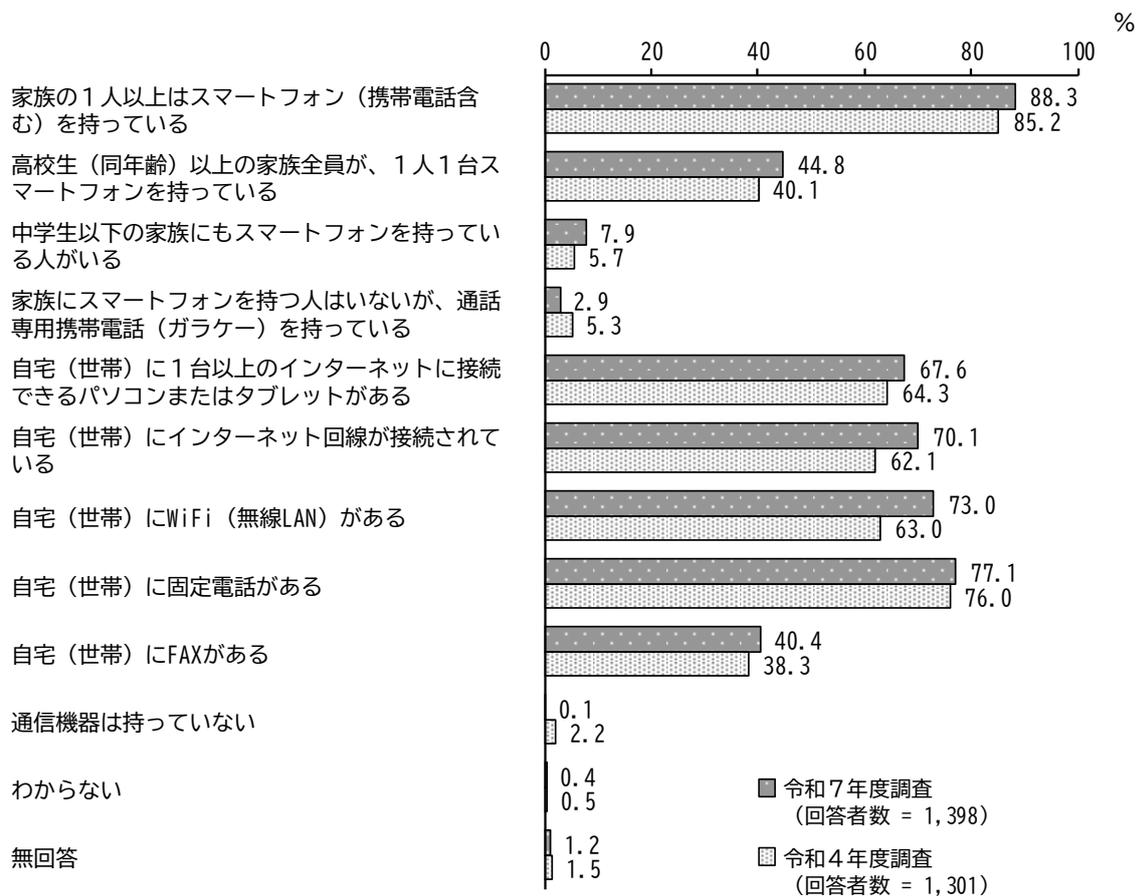
区分	回答者数(件)	議会だより	案内チラシ(回覧板)	市議会議員からの案内	校区・地区関係者からの案内	市公式LINE	市議会ホームページ	その他	無回答
全体	44	9.1	9.1	25.0	59.1	0.0	0.0	4.5	11.4
六連	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神戸	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
大草	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
田原東部	5	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
田原南部	2	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
童浦	4	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
田原中部	3	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
衣笠	3	0.0	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
野田	4	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
高松	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
赤羽根	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
若戸	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
伊良湖岬(和地)	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬(堀切)	3	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
亀山	2	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中山	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福江	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
清田	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
泉	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## ■デジタル社会について

問 19 あなたを含めた、ご家族が所有する通信機器についてお聞きします。  
(あてはまるものすべてに○)

「家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている」の割合が88.3%と最も高く、次いで「自宅（世帯）に固定電話がある」の割合が77.1%、「自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある」の割合が73.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある」が10.0ポイント、「自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている」が8.0ポイント増加しています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている」の割合が最も高く、8割を超えています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている 家族が1人1台スマートフォンを持っている	高校生（同年齢）以上の家族全員が1人1台スマートフォンを持っている	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる 話（ガラケー）を持っている	家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている	家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている コンまたはタブレットがある	自宅（世帯）に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある	自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている	自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている 自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある	自宅（世帯）に固定電話がある	自宅（世帯）にFAXがある	通信機器は持っていない	わからない	無回答
全体	1,398	88.3	44.8	7.9	2.9	67.6	70.1	73.0	77.1	40.4	0.1	0.4	1.2			
男性	622	88.1	42.0	6.4	2.9	65.6	69.9	71.5	71.9	39.1	0.2	0.5	1.4			
女性	754	89.0	47.6	9.2	2.7	69.5	70.7	75.2	81.7	41.9	0.0	0.4	0.5			

【年齢別】

年齢別でみると、《70歳以上》で「自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている」「自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある」の割合が、他の年代に比べ低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている 家族が1人1台スマートフォンを持っている	高校生（同年齢）以上の家族全員が1人1台スマートフォンを持っている	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる 話（ガラケー）を持っている	家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている	家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている コンまたはタブレットがある	自宅（世帯）に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある	自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている	自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている 自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある	自宅（世帯）に固定電話がある	自宅（世帯）にFAXがある	通信機器は持っていない	わからない	無回答
全体	1,398	88.3	44.8	7.9	2.9	67.6	70.1	73.0	77.1	40.4	0.1	0.4	1.2			
20歳代以下	113	86.7	60.2	9.7	1.8	69.9	71.7	83.2	67.3	31.9	0.0	0.9	0.9			
30歳代	146	88.4	49.3	13.0	0.7	71.2	74.7	85.6	45.2	24.0	0.0	0.7	0.0			
40歳代	200	85.5	56.0	19.0	1.0	74.5	76.5	86.0	66.5	39.5	0.5	0.5	0.5			
50歳代	245	86.9	49.4	5.7	1.6	78.8	81.2	87.8	80.8	40.0	0.0	0.0	1.2			
60歳代	302	93.4	41.4	3.6	1.3	66.9	74.5	81.5	88.7	51.3	0.0	0.0	0.0			
70歳以上	376	87.8	33.0	4.3	6.9	55.3	54.3	43.1	87.0	41.8	0.0	0.8	2.1			

【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》で「自宅（世帯）に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある」「自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている」「自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

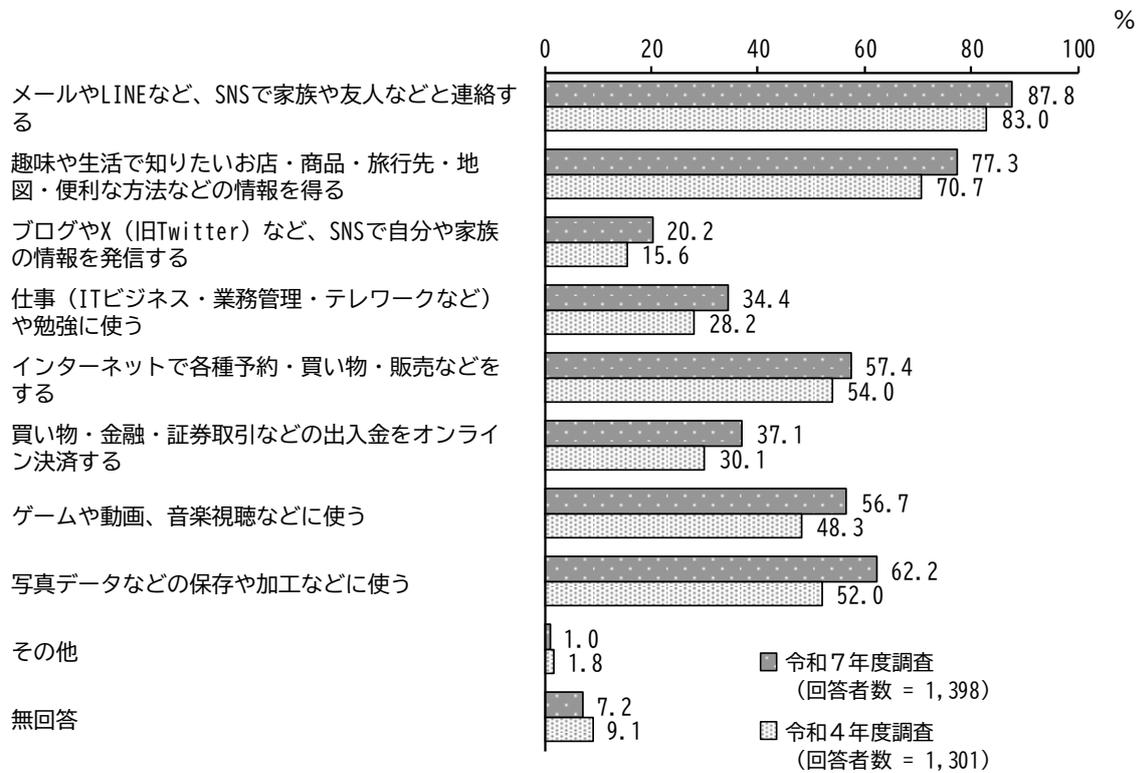
単位：％

区分	回答者数（件）	家族の1人以上はスマートフォン（携帯電話含む）を持っている	高校生（同年齢）以上の家族全員が、1人1台スマートフォンを持っている	中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている	家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話（ガラケー）を持っている	自宅（世帯）に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある	自宅（世帯）にインターネット回線が接続されている	自宅（世帯）にWiFi（無線LAN）がある	自宅（世帯）に固定電話がある	自宅（世帯）にFAXがある	通信機器は持っていない	わからない	無回答
全体	1,398	88.3	44.8	7.9	2.9	67.6	70.1	73.0	77.1	40.4	0.1	0.4	1.2
六連	36	80.6	50.0	5.6	5.6	61.1	61.1	72.2	88.9	36.1	0.0	0.0	0.0
神戸	121	90.1	48.8	9.1	3.3	68.6	69.4	73.6	74.4	33.1	0.0	0.8	0.0
大草	23	95.7	34.8	8.7	0.0	65.2	73.9	78.3	65.2	39.1	0.0	4.3	0.0
田原東部	100	91.0	39.0	9.0	6.0	69.0	74.0	78.0	81.0	35.0	0.0	0.0	0.0
田原南部	50	86.0	58.0	4.0	2.0	72.0	76.0	76.0	76.0	50.0	0.0	0.0	0.0
童浦	150	86.0	50.7	10.7	1.3	70.0	72.0	77.3	69.3	28.0	0.0	0.7	2.0
田原中部	141	85.1	49.6	10.6	2.8	66.7	64.5	73.0	62.4	36.9	0.0	0.0	2.8
衣笠	134	86.6	44.0	6.7	3.0	67.2	72.4	76.1	73.1	29.1	0.0	0.7	0.0
野田	81	90.1	42.0	6.2	3.7	70.4	70.4	71.6	87.7	34.6	0.0	0.0	0.0
高松	40	95.0	35.0	7.5	0.0	65.0	65.0	80.0	90.0	60.0	0.0	0.0	2.5
赤羽根	47	95.7	40.4	10.6	6.4	74.5	72.3	70.2	80.9	57.4	0.0	0.0	0.0
若戸	34	88.2	38.2	11.8	2.9	64.7	58.8	76.5	88.2	64.7	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬（和地）	27	88.9	40.7	14.8	0.0	63.0	66.7	63.0	88.9	63.0	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬（堀切）	40	95.0	45.0	5.0	0.0	72.5	65.0	65.0	87.5	55.0	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬（伊良湖）	15	100.0	60.0	0.0	0.0	80.0	86.7	86.7	86.7	60.0	0.0	0.0	0.0
亀山	22	100.0	45.5	4.5	0.0	77.3	81.8	81.8	81.8	77.3	0.0	0.0	0.0
中山	88	84.1	46.6	10.2	2.3	61.4	75.0	69.3	83.0	44.3	0.0	0.0	1.1
福江	80	93.8	43.8	5.0	2.5	70.0	73.8	71.3	81.3	51.3	0.0	0.0	2.5
清田	51	82.4	31.4	2.0	2.0	56.9	64.7	62.7	82.4	37.3	2.0	0.0	2.0
泉	87	88.5	48.3	5.7	5.7	72.4	75.9	74.7	86.2	47.1	0.0	0.0	2.3

問 20 あなたを含めた、ご家族のスマートフォン・パソコン・タブレットの使用目的についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

「メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する」の割合が87.8%と最も高く、次いで「趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る」の割合が77.3%、「写真データなどの保存や加工などに使う」の割合が62.2%となっています。

令和4年度調査と比べて、全ての項目で増加傾向にあります。



【性別】

性別でみると、「メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する」「仕事（ITビジネス・業務管理・テレワークなど）や勉強に使う」「写真データなどの保存や加工などに使う」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する	趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る	ブログやX(旧Twitter)など、SNSで自分や家族の情報を発信する	仕事(ITビジネス・業務管理・テレワークなど)や勉強に使う	インターネットで各種予約・買い物・販売などを	買い物・金融・証券取引などの出入金をオンライン決済する	ゲームや動画、音楽視聴などに使う	写真データなどの保存や加工などに使う	その他	無回答
全体	1,398	87.8	77.3	20.2	34.4	57.4	37.1	56.7	62.2	1.0	7.2
男性	622	84.6	76.2	20.9	38.6	55.3	37.9	56.4	56.3	1.0	7.7
女性	754	91.6	79.0	19.9	31.4	59.8	36.9	57.3	68.0	1.1	5.8

【年齢別】

年齢別でみると、全ての項目で年代が上がるほど割合が低くなる傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する	趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る	ブログやX(旧Twitter)など、SNSで自分や家族の情報を発信する	仕事(ITビジネス・業務管理・テレワークなど)や勉強に使う	インターネットで各種予約・買い物・販売などを	買い物・金融・証券取引などの出入金をオンライン決済する	ゲームや動画、音楽視聴などに使う	写真データなどの保存や加工などに使う	その他	無回答
全体	1,398	87.8	77.3	20.2	34.4	57.4	37.1	56.7	62.2	1.0	7.2
20歳代以下	113	96.5	88.5	54.0	50.4	81.4	56.6	87.6	75.2	0.0	1.8
30歳代	146	95.9	89.0	36.3	52.7	83.6	63.7	84.9	78.1	1.4	0.0
40歳代	200	94.5	89.0	28.5	46.0	81.5	54.5	82.0	71.5	2.0	1.0
50歳代	245	94.7	91.0	22.0	39.2	74.7	50.2	74.3	71.8	2.0	2.9
60歳代	302	93.0	81.5	12.3	30.1	52.3	28.8	48.3	64.2	0.0	3.3
70歳以上	376	71.3	51.6	5.3	17.6	21.8	10.9	19.7	41.2	0.5	19.9

【地区別】

地区別で見ると、全ての地区で「メールや LINE など、SNS で家族や友人などと連絡する」の割合が最も高くなっています。

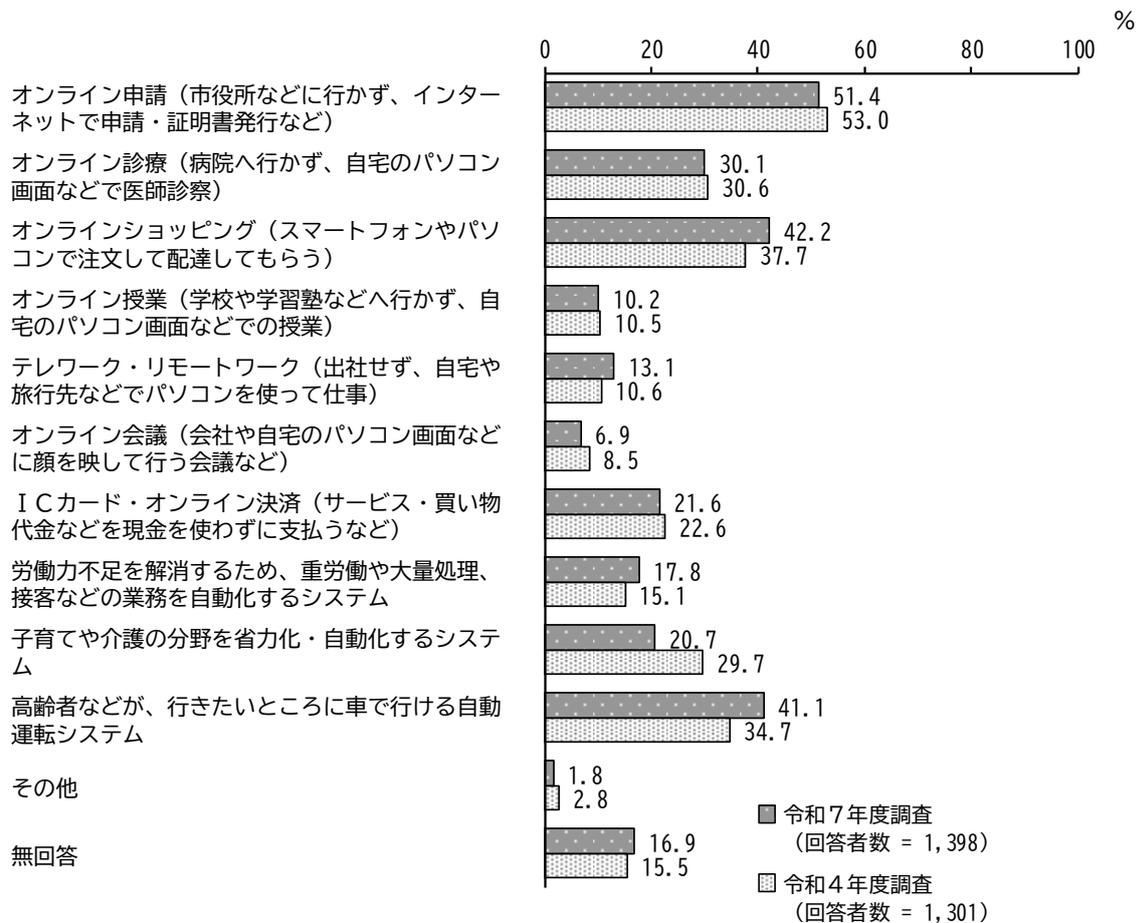
単位：％

区分	回答者数(件)	メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する	趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る	ブログやX(旧Twitter)など、SNSで自分や家族の情報を発信する	仕事(ビジネス・業務管理・テレワークなど)や勉強に使う	インターネットで各種予約・買い物・販売などをする	買い物・金融・証券取引などの出入金をオンライン決済する	ゲームや動画、音楽視聴などに使う	写真データなどの保存や加工などに使う	その他	無回答
全体	1,398	87.8	77.3	20.2	34.4	57.4	37.1	56.7	62.2	1.0	7.2
六連	36	91.7	75.0	2.8	30.6	44.4	30.6	44.4	47.2	0.0	5.6
神戸	121	93.4	80.2	24.8	30.6	62.8	38.0	60.3	68.6	2.5	3.3
大草	23	87.0	78.3	13.0	30.4	47.8	34.8	52.2	73.9	0.0	8.7
田原東部	100	86.0	79.0	15.0	32.0	54.0	40.0	59.0	57.0	2.0	6.0
田原南部	50	92.0	90.0	22.0	34.0	60.0	48.0	62.0	70.0	2.0	4.0
童浦	150	86.0	79.3	22.7	34.0	68.0	42.7	68.0	67.3	0.7	8.0
田原中部	141	88.7	78.0	22.7	39.7	58.9	37.6	59.6	61.0	0.0	9.2
衣笠	134	91.0	77.6	20.1	33.6	60.4	38.1	56.7	62.7	0.7	6.0
野田	81	81.5	76.5	23.5	40.7	50.6	32.1	56.8	55.6	0.0	8.6
高松	40	87.5	77.5	25.0	35.0	57.5	35.0	45.0	65.0	0.0	5.0
赤羽根	47	93.6	80.9	14.9	44.7	55.3	44.7	48.9	70.2	2.1	4.3
若戸	34	85.3	73.5	26.5	32.4	41.2	26.5	61.8	55.9	0.0	8.8
伊良湖岬(和地)	27	88.9	77.8	11.1	25.9	55.6	37.0	51.9	74.1	7.4	3.7
伊良湖岬(堀切)	40	95.0	85.0	15.0	27.5	57.5	25.0	45.0	47.5	0.0	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	15	86.7	66.7	33.3	33.3	53.3	46.7	60.0	66.7	0.0	13.3
亀山	22	86.4	86.4	18.2	40.9	72.7	40.9	77.3	72.7	0.0	0.0
中山	88	87.5	67.0	13.6	29.5	56.8	26.1	52.3	60.2	1.1	9.1
福江	80	90.0	77.5	20.0	38.8	57.5	40.0	51.3	68.8	0.0	5.0
清田	51	76.5	62.7	15.7	27.5	45.1	31.4	43.1	54.9	2.0	17.6
泉	87	87.4	82.8	27.6	39.1	60.9	39.1	58.6	64.4	1.1	8.0

問 21 デジタル社会の実現で、特に期待することは何ですか。(あてはまるもの5つまで○)

「オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）」の割合が 51.4% と最も高く、次いで「オンラインショッピング（スマートフォンやパソコンで注文して配達してもらう）」の割合が 42.2%、「高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム」の割合が 41.1% となっています。

令和4年度調査と比べて、「高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム」が 6.4 ポイント増加しています。一方、「子育てや介護の分野を省力化・自動化するシステム」が 9.0 ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、「オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）」「高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）	オンライン診療（病院へ行かず、自宅のパソコン画面などで医師診察）	オンラインショッピング（スマートフォンやパソコンで注文して配達してもらう）	オンライン授業（学校や学習塾などへ行かず、自宅のパソコン画面などでの授業）	テレワーク・リモートワーク（出社せず、自宅や旅行先などでパソコンを使って仕事）	オンライン会議（会社や自宅のパソコン画面などに顔を映して行う会議など）	ＩＣカード・オンライン決済（サービス・買い物代金などを現金を使わずに支払うなど）	労働力不足を解消するため、重労働や大量処理、接客などの業務を自動化するシステム	子育てや介護の分野を省力化・自動化するシステム	高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム	その他	無回答
全体	1,398	51.4	30.1	42.2	10.2	13.1	6.9	21.6	17.8	20.7	41.1	1.8	16.9
男性	622	57.1	31.0	42.9	10.1	13.3	7.9	22.8	18.6	18.6	38.3	1.9	16.9
女性	754	47.2	30.0	42.3	10.2	12.9	6.2	20.7	17.0	22.3	43.9	1.7	16.2

【年齢別】

年齢別でみると、年代が下がるほど「テレワーク・リモートワーク（出社せず、自宅や旅行先などでパソコンを使って仕事）」「オンライン会議（会社や自宅のパソコン画面などに顔を映して行う会議など）」の割合が高い傾向にあります。また、《20歳代以下》で「ＩＣカード・オンライン決済（サービス・買い物代金などを現金を使わずに支払うなど）」「労働力不足を解消するため、重労働や大量処理、接客などの業務を自動化するシステム」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	オンライン申請（市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など）	オンライン診療（病院へ行かず、自宅のパソコン画面などで医師診察）	オンラインショッピング（スマートフォンやパソコンで注文して配達してもらう）	オンライン授業（学校や学習塾などへ行かず、自宅のパソコン画面などでの授業）	テレワーク・リモートワーク（出社せず、自宅や旅行先などでパソコンを使って仕事）	オンライン会議（会社や自宅のパソコン画面などに顔を映して行う会議など）	ＩＣカード・オンライン決済（サービス・買い物代金などを現金を使わずに支払うなど）	労働力不足を解消するため、重労働や大量処理、接客などの業務を自動化するシステム	子育てや介護の分野を省力化・自動化するシステム	高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム	その他	無回答
全体	1,398	51.4	30.1	42.2	10.2	13.1	6.9	21.6	17.8	20.7	41.1	1.8	16.9
20歳代以下	113	70.8	32.7	52.2	15.9	31.0	16.8	42.5	31.9	24.8	31.0	1.8	2.7
30歳代	146	71.9	38.4	52.1	17.8	24.7	9.6	30.1	24.7	35.6	36.3	0.7	4.1
40歳代	200	69.5	36.5	56.5	19.0	13.5	10.0	20.0	17.0	23.5	39.0	2.0	7.0
50歳代	245	58.8	38.0	49.8	10.2	15.9	7.3	26.9	19.6	18.4	48.6	2.0	8.6
60歳代	302	47.4	31.8	40.1	6.0	8.6	4.3	19.5	18.5	19.9	43.0	1.7	17.2
70歳以上	376	27.7	17.3	25.5	4.5	4.8	3.2	11.4	9.8	14.4	41.5	1.9	35.4

【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》《亀山》で「オンライン診療（病院へ行かず、自宅のパソコン画面などで医師診察）」、《田原南部》《伊良湖岬（堀切）》《亀山》で「オンラインショッピング（スマートフォンやパソコンで注文して配達してもらう）」、《大草》《伊良湖岬（伊良湖）》で「高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

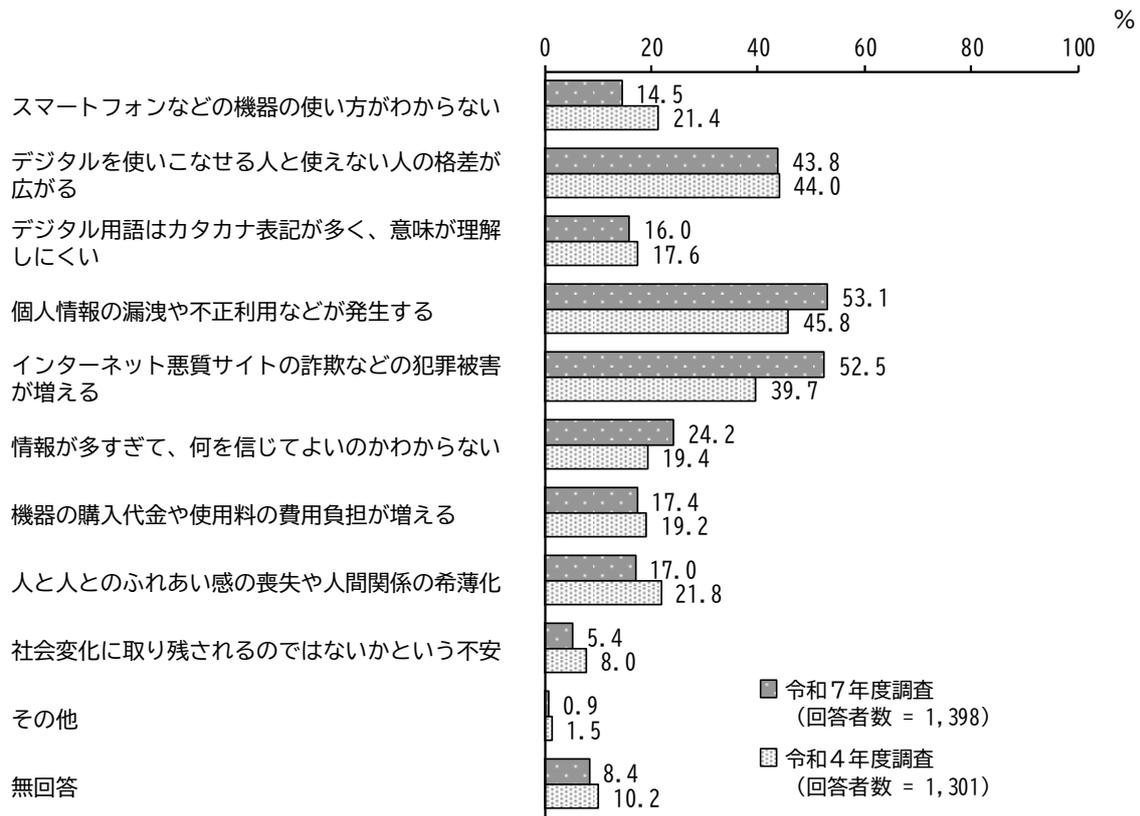
単位：％

区分	回答者数（件）	オンライン申請（市役所などに 行かず、インターネットで申 請・証明書発行など）	オンライン診療（病院へ行か ず、自宅のパソコン画面など で医師診察）	オンラインショッピング（スマ ートフォンやパソコンで注文 して配達してもらう）	オンライン授業（学校や学習塾 などへ行かず、自宅のパソコン 画面などでの授業）	テレワーク・リモートワーク （出社せず、自宅や旅行先など でパソコンを使って仕事）	オンライン会議（会社や自宅の パソコン画面などに顔を映し て行う会議など）	ICカード・オンライン決済 （サービス・買い物代金などを 現金を使わずに支払うなど）	労働力不足を解消するため、重 労働や大量処理、接客などの業 務を自動化するシステム	子育てや介護の分野を省力化・ 自動化するシステム	高齢者などが、行きたいところ に車で行ける自動運転システ ム	その他	無回答
全体	1,398	51.4	30.1	42.2	10.2	13.1	6.9	21.6	17.8	20.7	41.1	1.8	16.9
六連	36	38.9	27.8	41.7	0.0	5.6	5.6	22.2	11.1	19.4	38.9	0.0	27.8
神戸	121	53.7	34.7	43.0	13.2	14.9	5.0	24.0	19.0	24.0	41.3	1.7	10.7
大草	23	43.5	26.1	43.5	13.0	8.7	8.7	21.7	8.7	13.0	52.2	4.3	17.4
田原東部	100	52.0	33.0	40.0	8.0	13.0	5.0	20.0	18.0	18.0	47.0	3.0	16.0
田原南部	50	50.0	28.0	54.0	2.0	10.0	10.0	22.0	22.0	26.0	42.0	0.0	12.0
童浦	150	60.0	34.0	42.0	9.3	16.7	9.3	26.0	17.3	18.0	38.0	0.7	16.7
田原中部	141	53.9	37.6	41.1	12.1	11.3	6.4	27.0	14.9	17.7	40.4	0.7	18.4
衣笠	134	52.2	28.4	39.6	9.0	11.2	9.0	21.6	19.4	23.9	44.0	2.2	14.9
野田	81	46.9	28.4	39.5	9.9	22.2	7.4	13.6	19.8	23.5	40.7	1.2	21.0
高松	40	42.5	22.5	42.5	0.0	10.0	10.0	20.0	20.0	15.0	45.0	10.0	15.0
赤羽根	47	48.9	29.8	38.3	14.9	12.8	2.1	17.0	17.0	23.4	29.8	0.0	19.1
若戸	34	50.0	23.5	23.5	11.8	2.9	11.8	20.6	23.5	29.4	41.2	0.0	17.6
伊良湖岬 （和地）	27	51.9	33.3	48.1	11.1	14.8	0.0	22.2	18.5	18.5	33.3	3.7	18.5
伊良湖岬 （堀切）	40	57.5	32.5	55.0	15.0	15.0	0.0	17.5	30.0	30.0	40.0	5.0	10.0
伊良湖岬 （伊良湖）	15	46.7	46.7	46.7	6.7	6.7	0.0	33.3	26.7	13.3	53.3	0.0	13.3
亀山	22	59.1	45.5	54.5	13.6	13.6	4.5	18.2	4.5	18.2	40.9	9.1	13.6
中山	88	46.6	21.6	44.3	13.6	11.4	3.4	17.0	13.6	19.3	35.2	1.1	22.7
福江	80	56.3	25.0	43.8	8.8	13.8	3.8	31.3	13.8	16.3	40.0	1.3	13.8
清田	51	43.1	31.4	33.3	9.8	7.8	9.8	11.8	15.7	15.7	47.1	0.0	25.5
泉	87	48.3	24.1	46.0	14.9	17.2	12.6	18.4	19.5	24.1	44.8	1.1	14.9

問 22 デジタル社会に変化していくことで、特に不安に感じることは何ですか。  
(あてはまるもの3つまで○)

「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える」の割合が 52.5%、「デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる」の割合が 43.8%となっています。

令和4年度調査と比べて、「インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える」が 12.8 ポイント、「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」が 7.3 ポイント増加しています。一方、「スマートフォンなどの機器の使い方がわからない」が 6.9 ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、「デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる」「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」「機器の購入代金や使用料の費用負担が増える」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	スマートフォンの使い方がわからない	デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる	デジタル用語はカタカナ表記が多く、意味が理解しにくい	個人情報の漏洩や不正利用などが発生する	インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える	情報が多すぎて、何を信じてよいのかわからない	機器の購入代金や使用料の費用負担が増える	人と人とのふれあい感の喪失や人間関係の希薄化	社会変化に取り残されるのではないかと不安	その他	無回答
全体	1,398	14.5	43.8	16.0	53.1	52.5	24.2	17.4	17.0	5.4	0.9	8.4
男性	622	11.9	40.2	14.1	50.0	51.8	22.8	21.2	18.0	4.8	1.3	9.3
女性	754	16.4	47.6	17.6	56.5	53.4	25.7	14.2	16.3	5.3	0.7	7.2

【年齢別】

年齢別でみると、年代が下がるほど「情報が多すぎて、何を信じてよいのかわからない」の割合が高い傾向にあります。また、《70歳以上》で「スマートフォンなどの機器の使い方がわからない」、《30歳代》《40歳代》《50歳代》で「個人情報の漏洩や不正利用などが発生する」、《40歳代》で「インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	スマートフォンの使い方がわからない	デジタルと使いこなさない人の格差が広がる	デジタル用語は、意味が理解しにくい	デジタル用語は、利用などが発生する	個人情報の漏洩や不正利用などが発生する	サイバーネット悪質犯罪被害が増える	情報を信じてよいのかわからない	機器の購入代金や増える	機器の費用負担が増える	人の喪失や人間関係の希薄化	社会変化に取れない不安	その他	無回答
全体	1,398	14.5	43.8	16.0	53.1	52.5	24.2	17.4	17.0	5.4	0.9	8.4		
20歳代以下	113	1.8	37.2	3.5	60.2	61.1	38.1	20.4	19.5	0.0	0.9	5.3		
30歳代	146	2.1	43.2	10.3	63.7	59.6	30.1	24.0	17.8	1.4	2.7	2.7		
40歳代	200	1.5	41.0	11.0	65.5	67.5	24.0	18.0	18.0	3.5	0.5	4.5		
50歳代	245	8.6	49.0	11.8	65.3	60.0	23.3	20.4	16.7	3.7	1.2	4.9		
60歳代	302	17.2	49.0	22.8	54.6	52.0	22.5	18.2	13.9	6.0	1.3	7.6		
70歳以上	376	31.9	41.0	22.1	32.2	35.4	21.0	10.6	18.4	9.3	0.0	15.7		

【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（和地）》で「スマートフォンなどの機器の使い方がわからない」「社会変化に取り残されるのではないかという不安」、《六連》《田原南部》で「デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる」、《高松》で「デジタル用語はカタカナ表記が多く、意味が理解しにくい」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

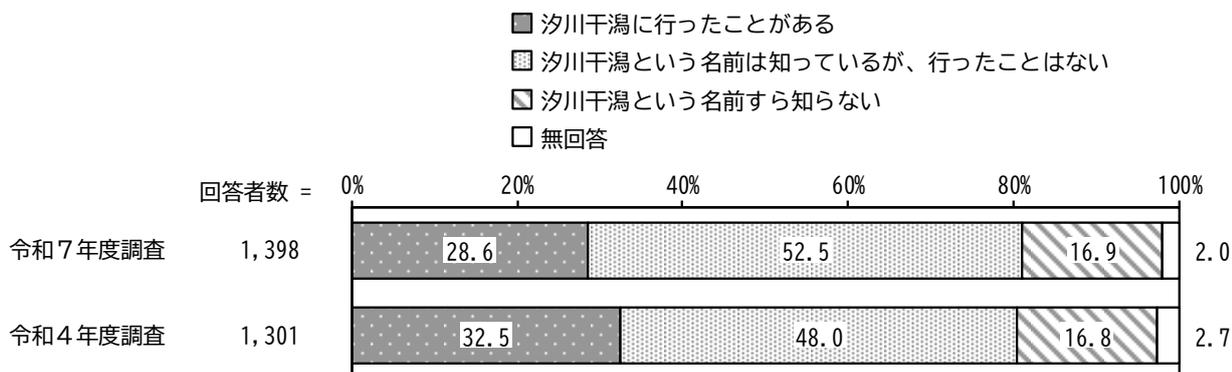
区分	回答者数（件）	スマートフォンなどの機器の使い方がわからない	デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる	デジタル用語はカタカナ表記が多く、意味が理解しにくい	個人情報などの漏洩や不正利用などが発生する	サイバーネット悪質犯罪被害が増える	インターネット悪質情報を多く見て、何を信じてよいかわからない	機器の購入代金や使料の費用負担が増える	人の喪失や人間関係の希薄化	社会変化に取り残さる不安	その他	無回答
全体	1,398	14.5	43.8	16.0	53.1	52.5	24.2	17.4	17.0	5.4	0.9	8.4
六連	36	11.1	58.3	22.2	33.3	52.8	11.1	22.2	19.4	2.8	0.0	13.9
神戸	121	11.6	49.6	14.9	61.2	59.5	28.9	14.9	15.7	4.1	0.0	5.8
大草	23	21.7	52.2	13.0	39.1	60.9	17.4	13.0	8.7	8.7	0.0	8.7
田原東部	100	17.0	47.0	13.0	54.0	52.0	24.0	19.0	21.0	3.0	0.0	10.0
田原南部	50	16.0	58.0	22.0	60.0	48.0	28.0	12.0	18.0	6.0	0.0	4.0
童浦	150	7.3	36.7	14.0	56.7	55.3	25.3	21.3	14.0	2.7	2.0	13.3
田原中部	141	16.3	46.1	18.4	60.3	51.8	22.0	12.1	17.0	5.7	0.7	6.4
衣笠	134	11.9	44.0	14.9	49.3	54.5	28.4	14.2	24.6	6.0	1.5	9.0
野田	81	19.8	42.0	16.0	58.0	46.9	17.3	30.9	14.8	3.7	2.5	4.9
高松	40	10.0	37.5	35.0	57.5	47.5	32.5	12.5	17.5	5.0	0.0	7.5
赤羽根	47	17.0	42.6	12.8	51.1	63.8	34.0	17.0	10.6	6.4	0.0	6.4
若戸	34	11.8	38.2	0.0	35.3	41.2	20.6	23.5	17.6	5.9	0.0	20.6
伊良湖岬（和地）	27	29.6	22.2	7.4	29.6	55.6	25.9	25.9	14.8	25.9	0.0	7.4
伊良湖岬（堀切）	40	12.5	50.0	20.0	65.0	52.5	20.0	15.0	25.0	0.0	2.5	2.5
伊良湖岬（伊良湖）	15	13.3	40.0	0.0	60.0	53.3	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	6.7
亀山	22	9.1	45.5	18.2	59.1	36.4	18.2	22.7	22.7	13.6	4.5	0.0
中山	88	17.0	46.6	14.8	52.3	50.0	36.4	15.9	15.9	2.3	2.3	4.5
福江	80	12.5	41.3	16.3	55.0	53.8	28.8	17.5	13.8	5.0	0.0	6.3
清田	51	19.6	41.2	23.5	41.2	41.2	19.6	11.8	19.6	7.8	0.0	9.8
泉	87	19.5	42.5	19.5	47.1	52.9	16.1	13.8	12.6	8.0	1.1	10.3

■ 汐川干潟について

問 23 あなたは、「汐川干潟」（三河湾沿岸の汐川河口から豊橋市にかけて広がる自然の干潟）に行ったことはありますか。（あてはまるもの1つだけ○）

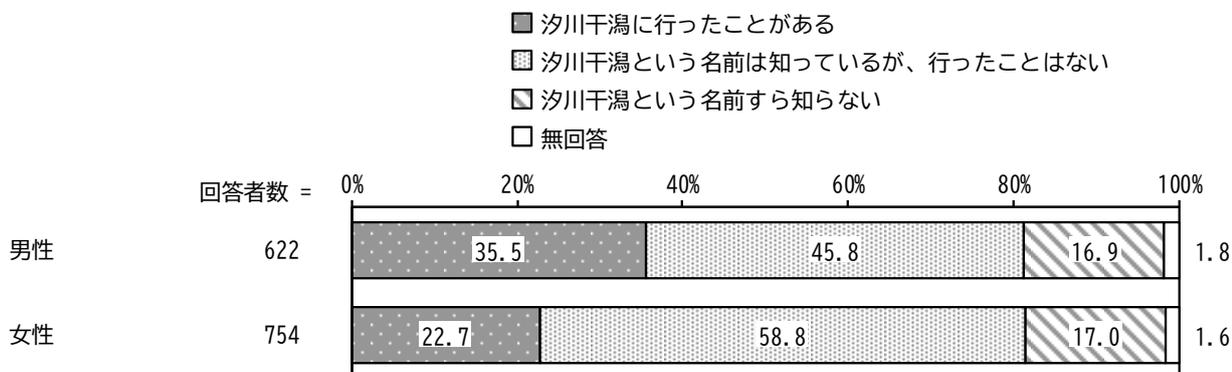
「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」の割合が 52.5%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比べて、「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」が 4.5 ポイント増加しています。



【性別】

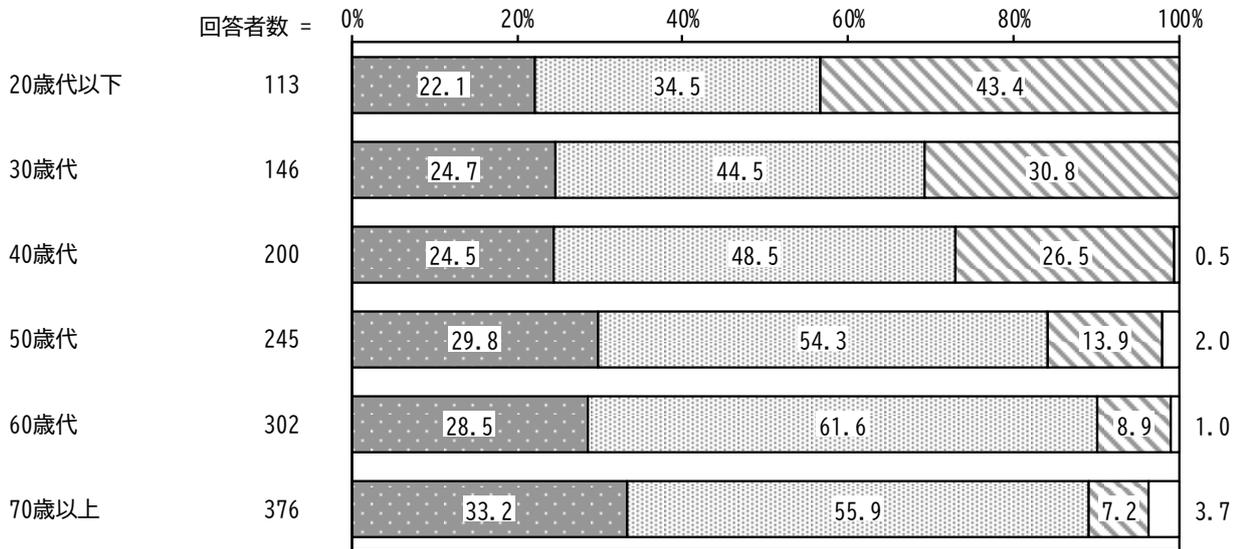
性別でみると、《男性》《女性》ともに「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」の割合が最も高く、《女性》では5割を超えています。



【年齢別】

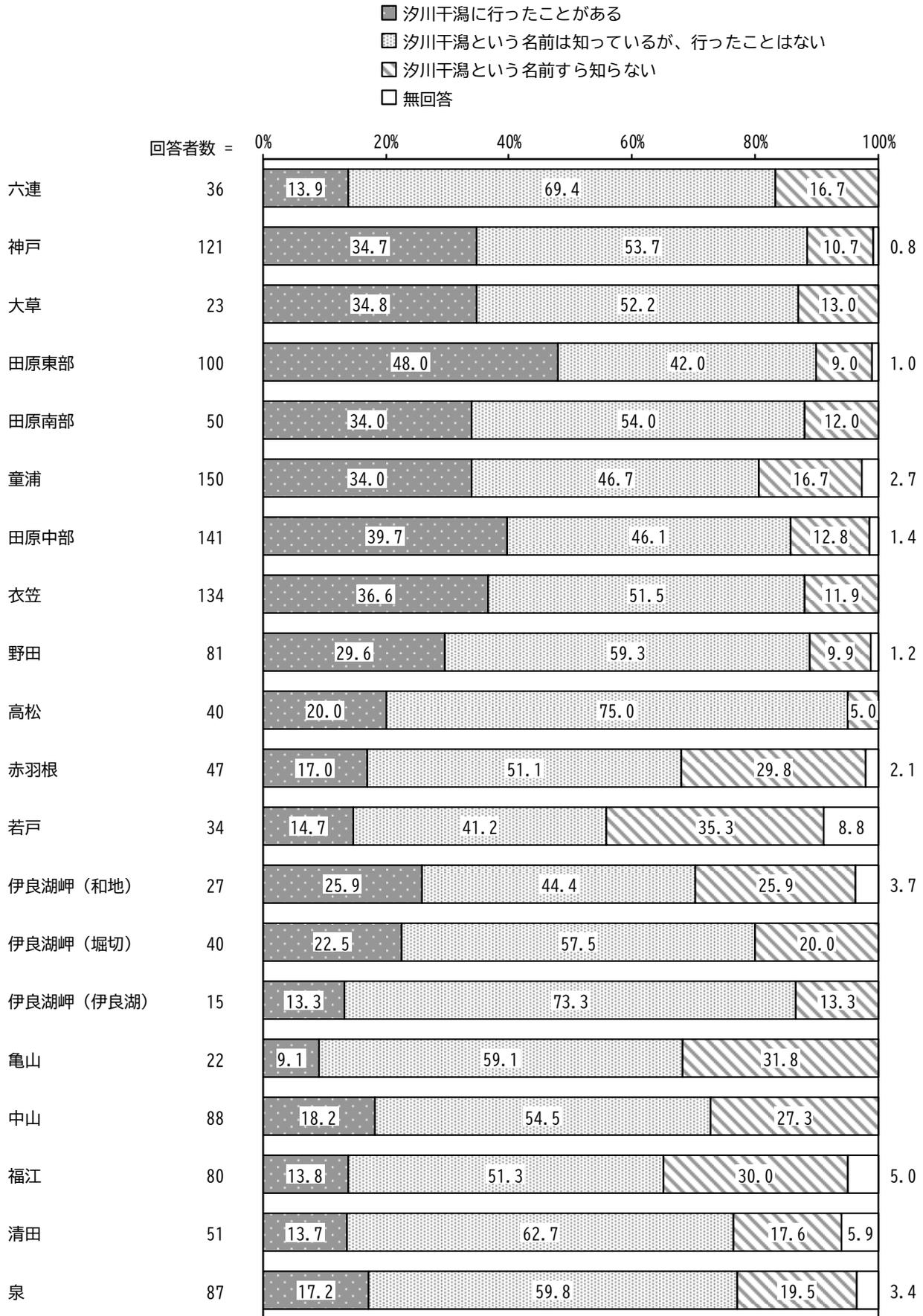
年齢別で見ると、年代が下がるほど「汐川干潟という名前すら知らない」の割合が高くなっています。

- 汐川干潟に行ったことがある
- ▨ 汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない
- ▩ 汐川干潟という名前すら知らない
- 無回答



【地区別】

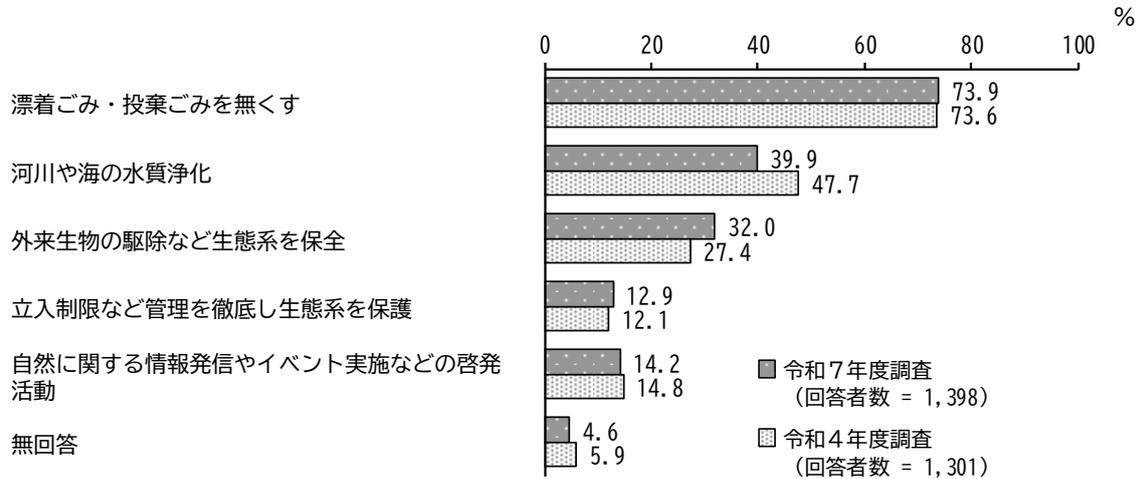
地区別でみると、《田原東部》で「汐川干潟に行ったことがある」、《高松》《伊良湖岬（伊良湖）》で「汐川干潟という名前は知っているが、行ったことはない」、《若戸》で「汐川干潟という名前すら知らない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



問 24 あなたは、汐川干潟をはじめとした「豊かな自然環境」を保全するためには、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるもの2つまで○)

「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」の割合が 73.9%と最も高く、次いで「河川や海の水質浄化」の割合が 39.9%、「外来生物の駆除など生態系を保全」の割合が 32.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「河川や海の水質浄化」が 7.8 ポイント減少しています。



【性別】

性別で見ると、「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」「外来生物の駆除など生態系を保全」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	漂着ごみ・投棄ごみを無くす	河川や海の水質浄化	外来生物の駆除など生態系を保全	立入制限など管理を徹底し生態系を保護	自然に関する情報発信やイベント実施などの啓発活動	無回答
全体	1,398	73.9	39.9	32.0	12.9	14.2	4.6
男性	622	71.7	42.1	28.3	13.0	15.9	4.3
女性	754	76.7	38.5	35.4	12.7	12.7	4.1

【年齢別】

年齢別で見ると、《20歳代以下》で「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。また、《70歳以上》で「外来生物の駆除など生態系を保全」の割合が、他の年代に比べ低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	漂着ごみ・投棄ごみを無くす	河川や海の水質浄化	外来生物の駆除など生態系を保全	立入制限など管理を徹底し生態系を保護	自然に関する情報発信やイベント実施などの啓発活動	無回答
全体	1,398	73.9	39.9	32.0	12.9	14.2	4.6
20歳代以下	113	82.3	32.7	31.9	5.3	15.0	4.4
30歳代	146	77.4	37.7	37.0	15.1	11.6	1.4
40歳代	200	69.5	41.5	36.0	11.5	14.5	3.5
50歳代	245	72.7	40.4	31.8	14.3	15.1	2.4
60歳代	302	71.2	43.4	35.4	16.6	16.2	2.3
70歳以上	376	76.1	39.9	26.3	11.4	12.5	8.8

【地区別】

地区別で見ると、全ての地区で、「漂着ごみ・投棄ごみを無くす」の割合が最も高く、《清田》では8割を超えています。

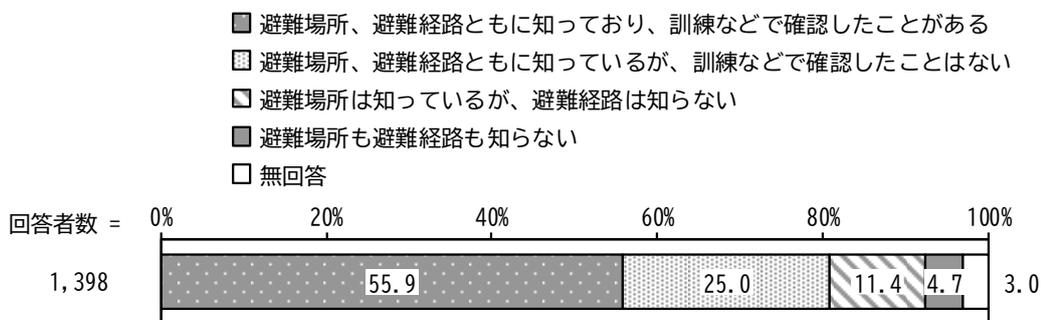
単位：％

区分	回答者数 (件)	漂着ごみ・投棄ごみを無くす	河川や海の水質浄化	外来生物の駆除など生態系を保全	立入制限など管理を徹底し生態系を保護	自然に関する情報発信やイベント実施などの啓発活動	無回答
全体	1,398	73.9	39.9	32.0	12.9	14.2	4.6
六連	36	72.2	47.2	33.3	13.9	11.1	8.3
神戸	121	74.4	52.9	37.2	8.3	14.9	0.8
大草	23	60.9	52.2	30.4	26.1	4.3	4.3
田原東部	100	76.0	39.0	46.0	12.0	14.0	2.0
田原南部	50	76.0	38.0	26.0	18.0	14.0	4.0
童浦	150	77.3	45.3	25.3	12.0	10.0	4.0
田原中部	141	75.2	45.4	26.2	9.9	16.3	5.0
衣笠	134	70.9	47.0	28.4	13.4	16.4	3.7
野田	81	70.4	38.3	38.3	11.1	17.3	6.2
高松	40	65.0	32.5	50.0	2.5	25.0	0.0
赤羽根	47	74.5	40.4	38.3	17.0	10.6	2.1
若戸	34	73.5	17.6	29.4	14.7	17.6	11.8
伊良湖岬(和地)	27	70.4	40.7	37.0	7.4	18.5	3.7
伊良湖岬(堀切)	40	77.5	35.0	30.0	12.5	12.5	2.5
伊良湖岬(伊良湖)	15	60.0	20.0	46.7	20.0	13.3	6.7
亀山	22	77.3	36.4	36.4	9.1	9.1	4.5
中山	88	76.1	33.0	31.8	19.3	14.8	3.4
福江	80	72.5	31.3	23.8	12.5	17.5	11.3
清田	51	82.4	31.4	33.3	13.7	5.9	7.8
泉	87	78.2	29.9	28.7	18.4	13.8	3.4

■防災対策について

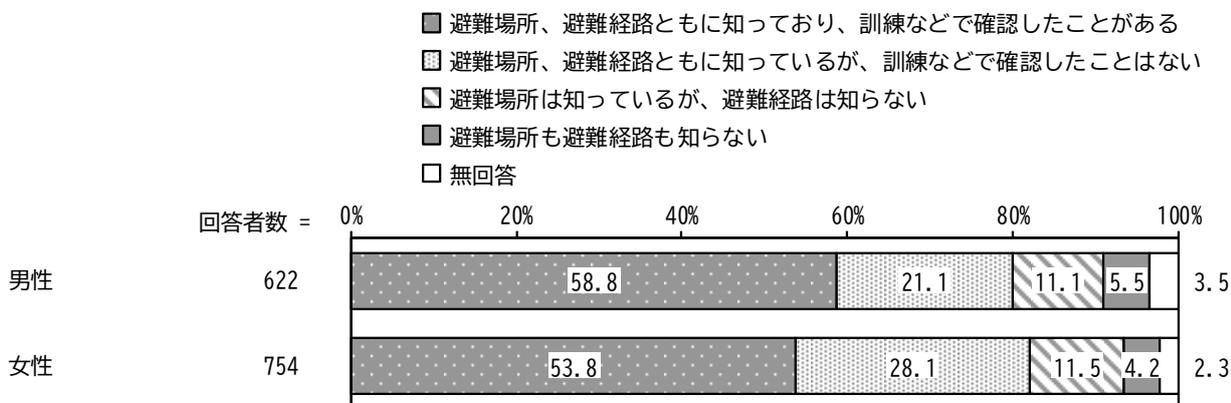
問 25 自宅からの避難場所（避難所・一時避難場所）、避難経路についてお聞きします。  
（あてはまるもの1つだけ○）

「避難場所、避難経路ともに知っており、訓練などで確認したことがある」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「避難場所、避難経路ともに知っているが、訓練などで確認したことはない」の割合が 25.0%、「避難場所は知っているが、避難経路は知らない」の割合が 11.4%となっています。



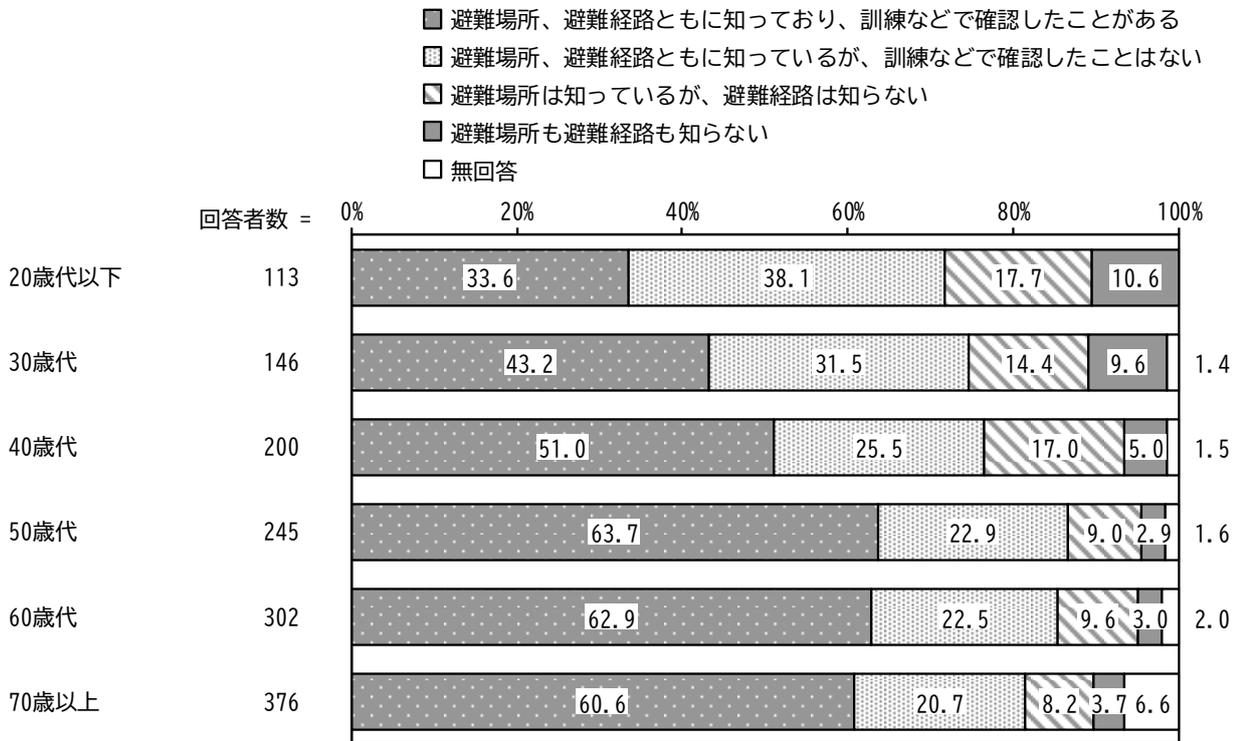
【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「避難場所、避難経路ともに知っており、訓練などで確認したことがある」の割合が高くなっています。



【年齢別】

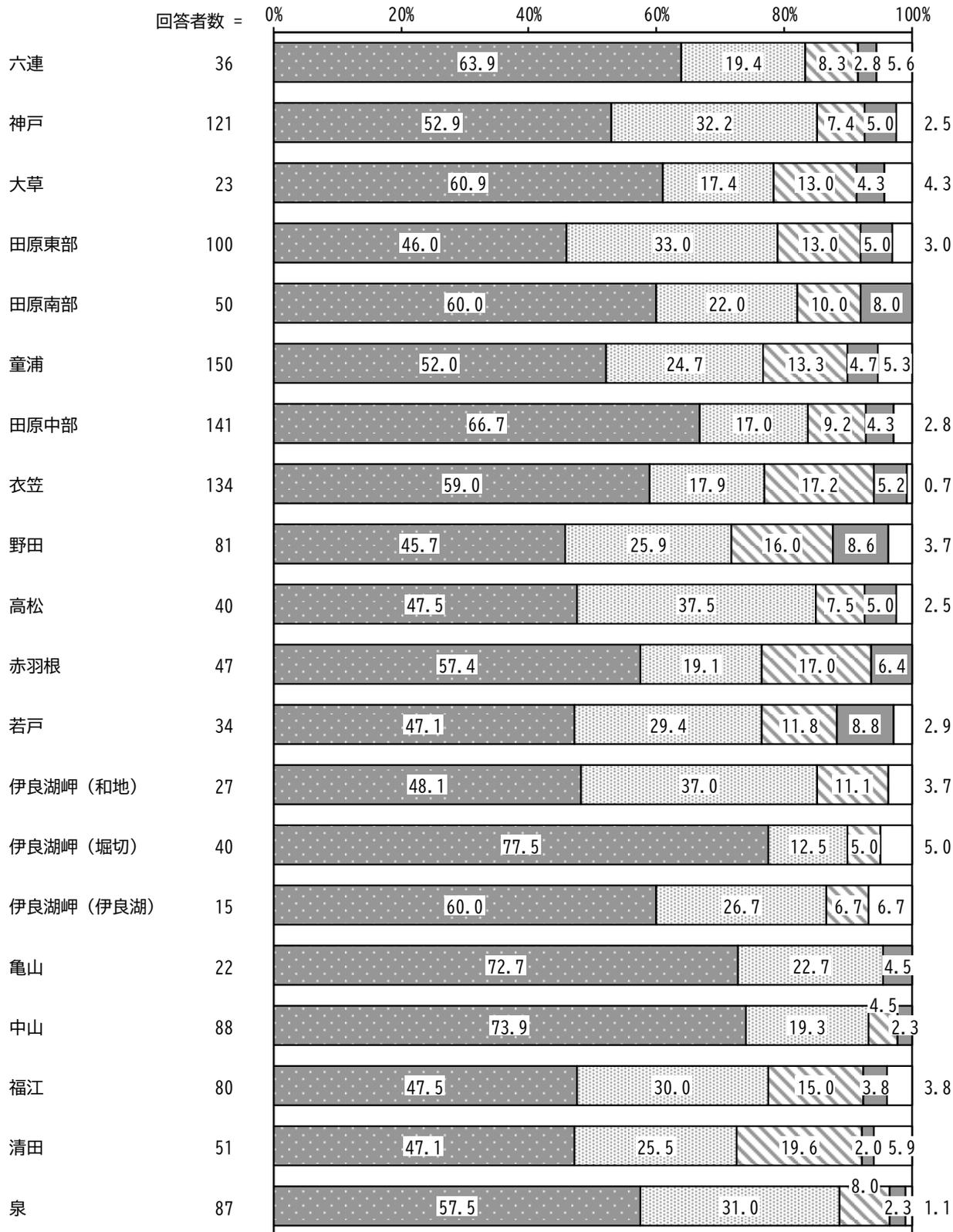
年齢別でみると、年代が下がるほど「避難場所、避難経路ともに知っているが、訓練などで確認したことはない」の割合が高い傾向にあり、《30歳代》以下で「避難場所も避難経路も知らない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



【地区別】

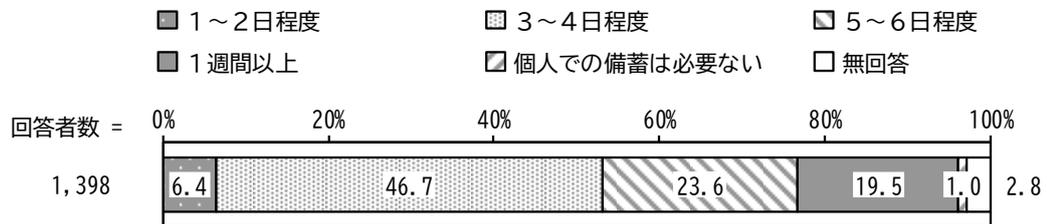
地区別でみると、《伊良湖岬（堀切）》で「避難場所、避難経路ともに知っており、訓練などで確認したことがある」、《高松》《伊良湖岬（和地）》で「避難場所、避難経路ともに知っているが、訓練などで確認したことはない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

- 避難場所、避難経路ともに知っており、訓練などで確認したことがある
- ▨ 避難場所、避難経路ともに知っているが、訓練などで確認したことはない
- ▧ 避難場所は知っているが、避難経路は知らない
- 避難場所も避難経路も知らない
- 無回答



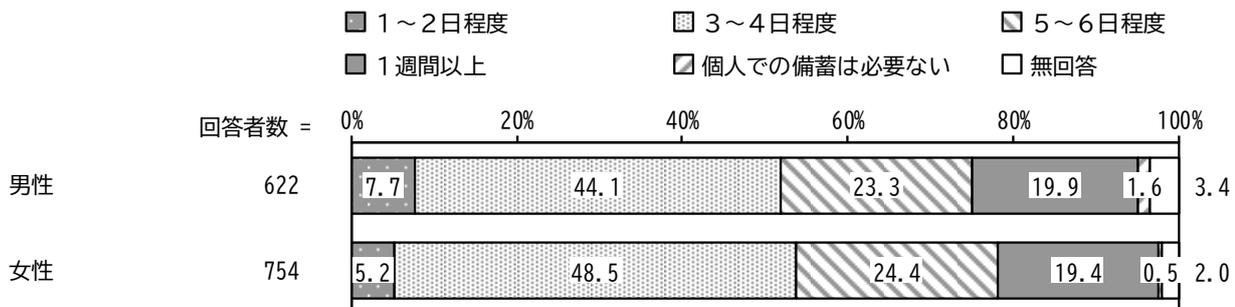
問 26 災害時は、食料などの支援物資が被災された皆さんのもとへすぐに届くわけではありません。支援物資が届くまでの間、個人（家庭）で備蓄する食料は最低何日分必要だと思いますか。（あてはまるもの1つだけ○）

「3～4日程度」の割合が46.7%と最も高く、次いで「5～6日程度」の割合が23.6%、「1週間以上」の割合が19.5%となっています。



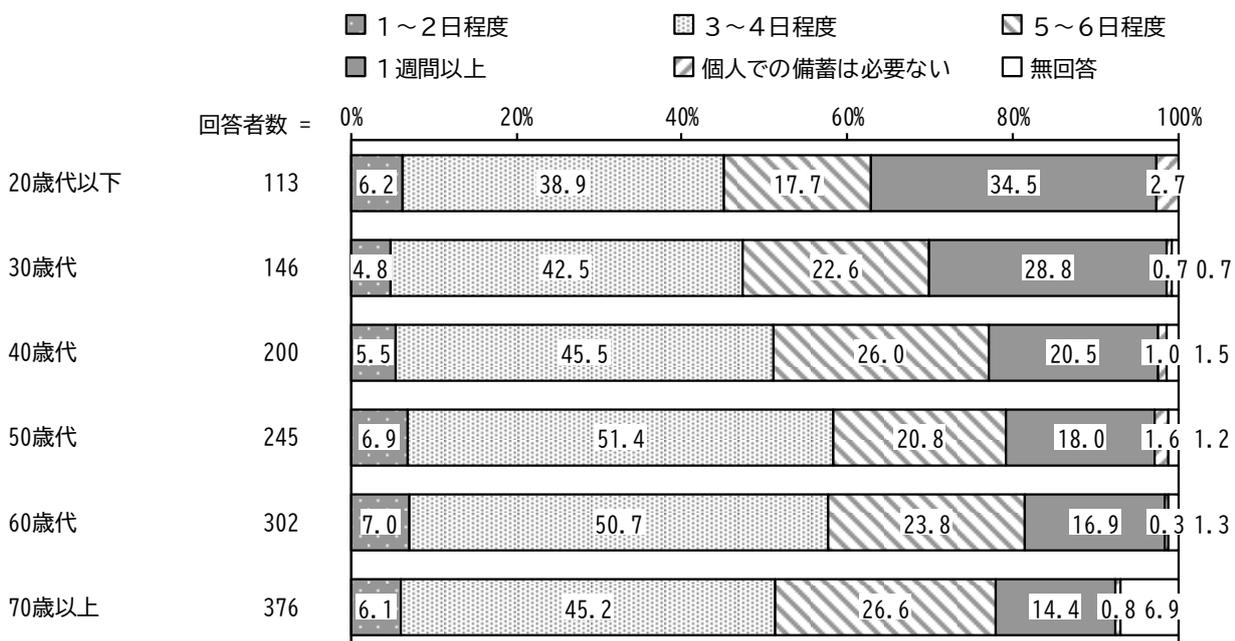
### 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「1～2日程度」「3～4日程度」を合わせた“1～4日程度”（以下同じ）の割合が高くなっています。



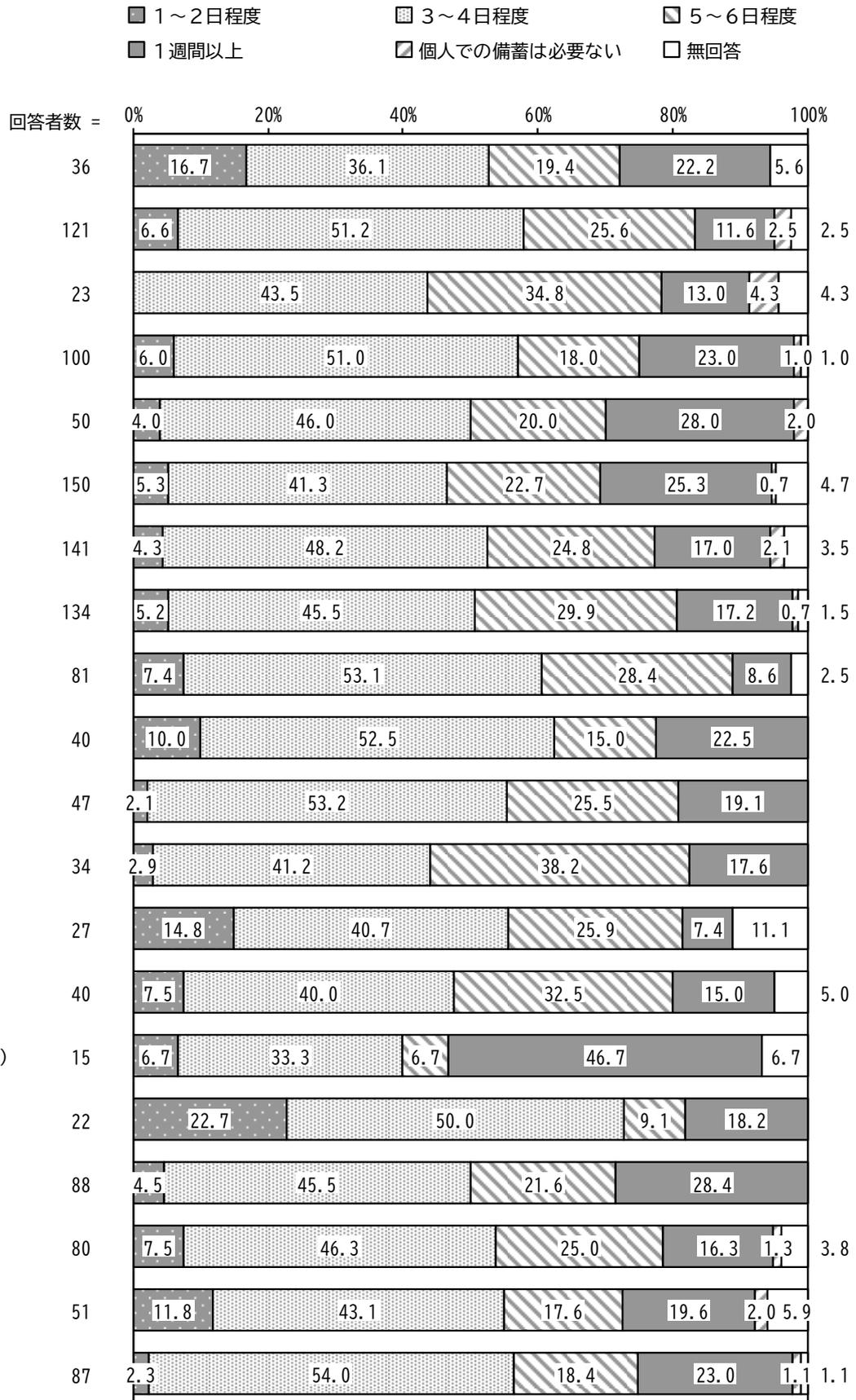
### 【年齢別】

年齢別でみると、《50歳代》《60歳代》で“1～4日程度”、《20歳代以下》《30歳代》で「5～6日程度」「1週間以上」を合わせた“5日以上”（以下同じ）の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



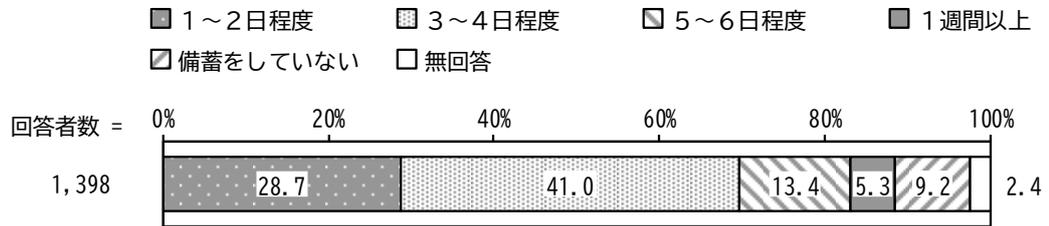
【地区別】

地区別でみると、《亀山》で“1～4日程度”、《若戸》《伊良湖岬（伊良湖）》で“5日以上”の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



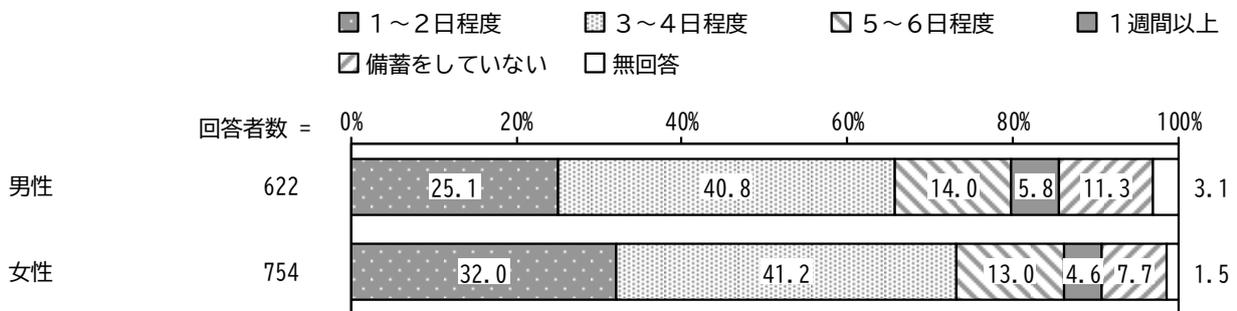
問 27 あなたの自宅に普段から備蓄している食料（調理不要な食品など）で、災害時に何日程度生活できると思いますか。（あてはまるもの1つだけ○）

「3～4日程度」の割合が41.0%と最も高く、次いで「1～2日程度」の割合が28.7%、「5～6日程度」の割合が13.4%となっています。



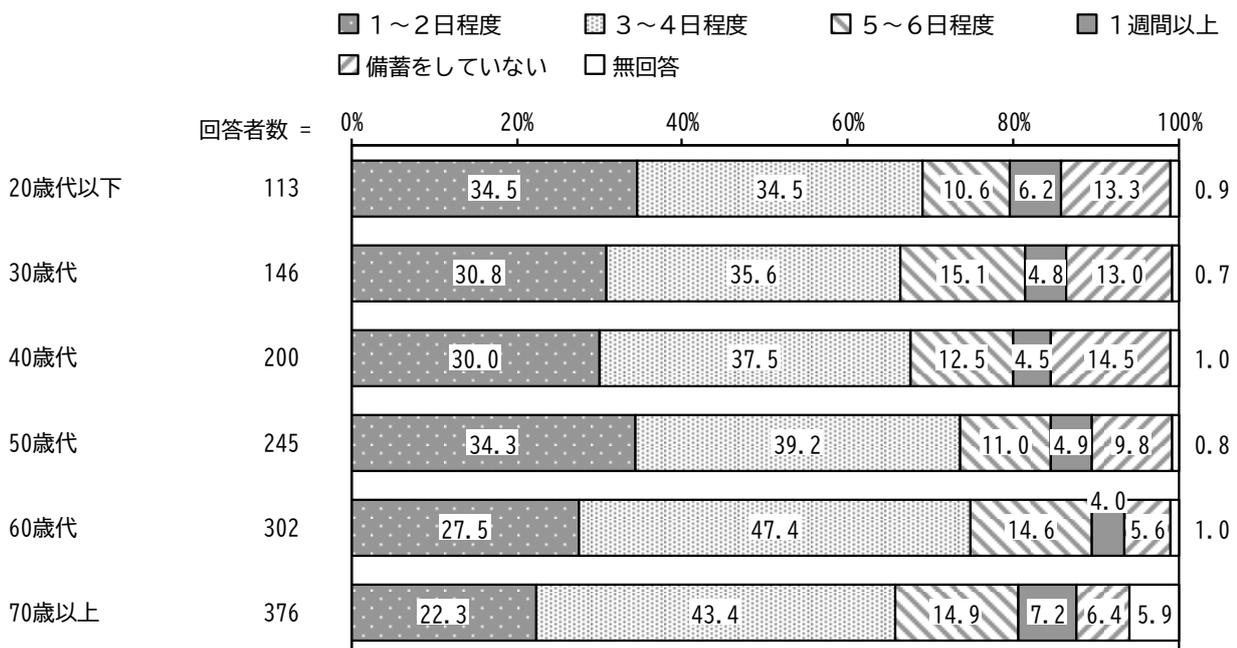
【性別】

性別でみると、《女性》で“1～4日程度”の割合が、男性に比べ高くなっています。



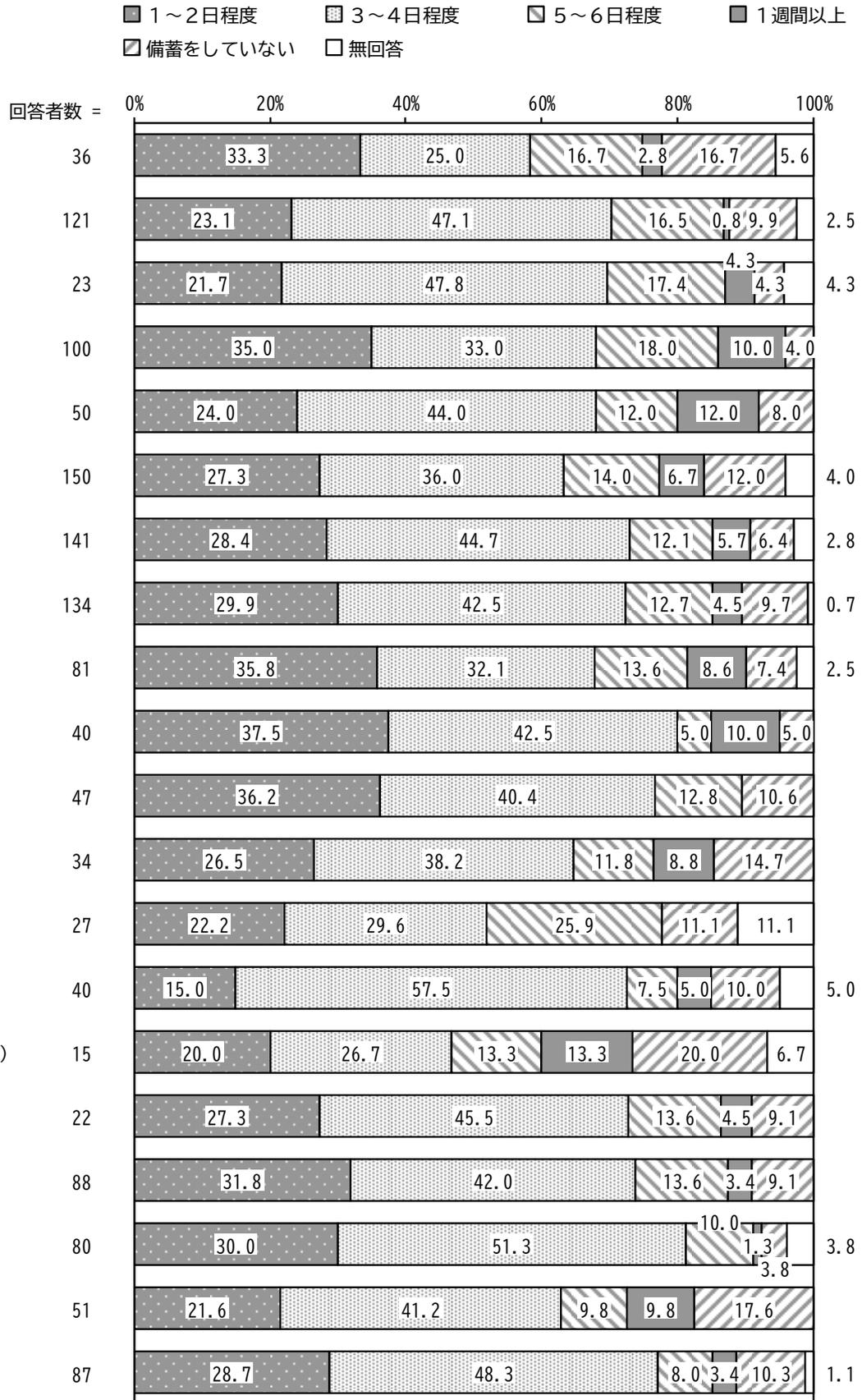
【年齢別】

年齢別でみると、《50歳代》《60歳代》で“1～4日程度”の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



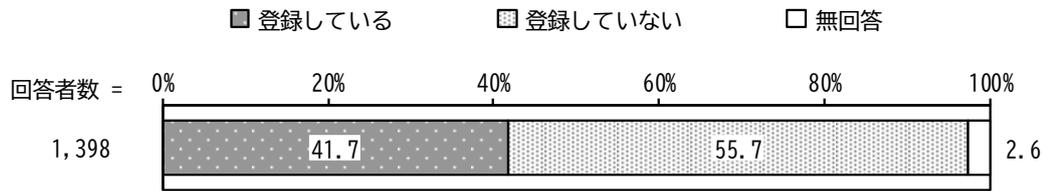
【地区別】

地区別でみると、《高松》《福江》で“1～4日程度”、《田原東部》《伊良湖岬（和地）》《伊良湖岬（伊良湖）》で“5日以上”の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



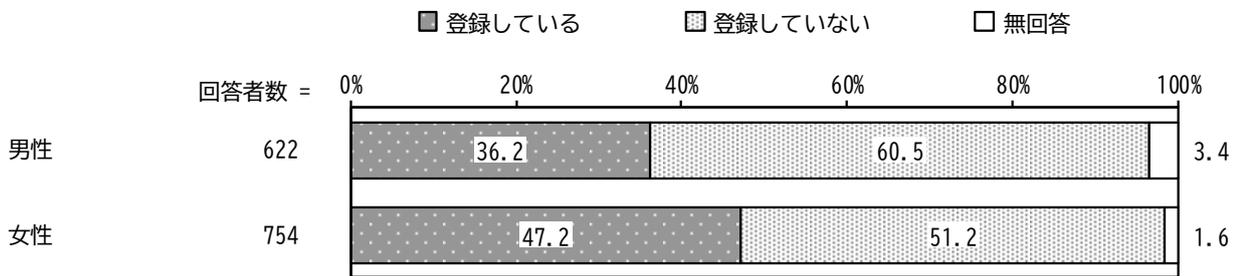
問 28 あなたは、「田原市防災アプリ」または「安心安全ほっとメール」を登録していますか。(あてはまるもの1つだけ)

「登録している」の割合が41.7%、「登録していない」の割合が55.7%となっています。



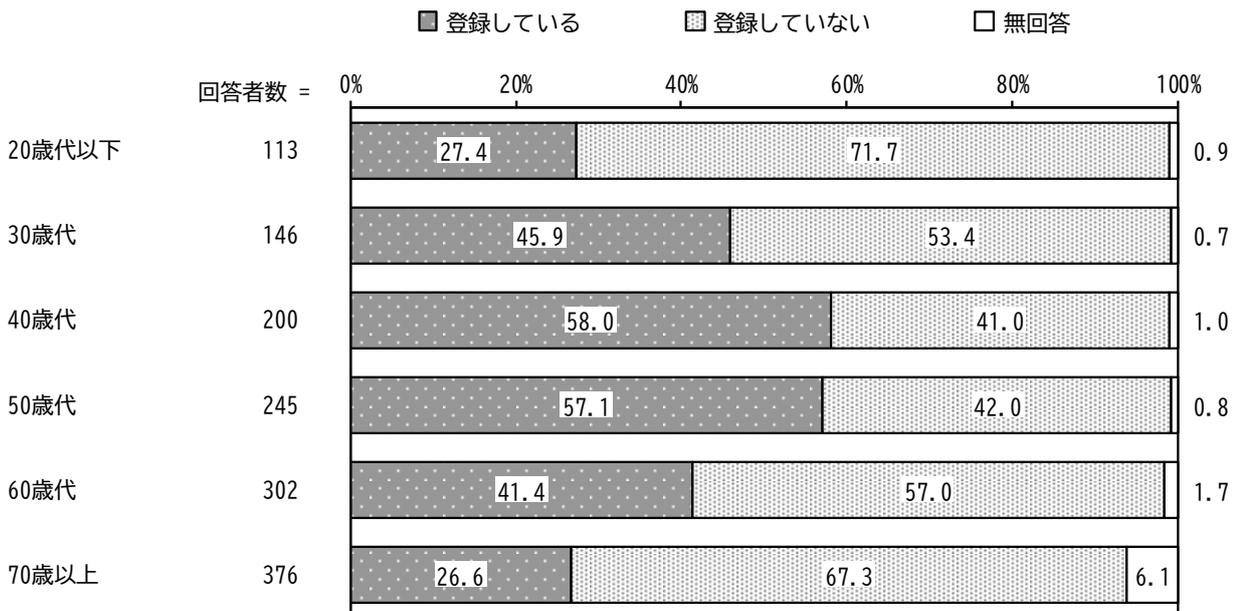
【性別】

性別でみると、《女性》で「登録している」の割合が、男性に比べ高くなっています。



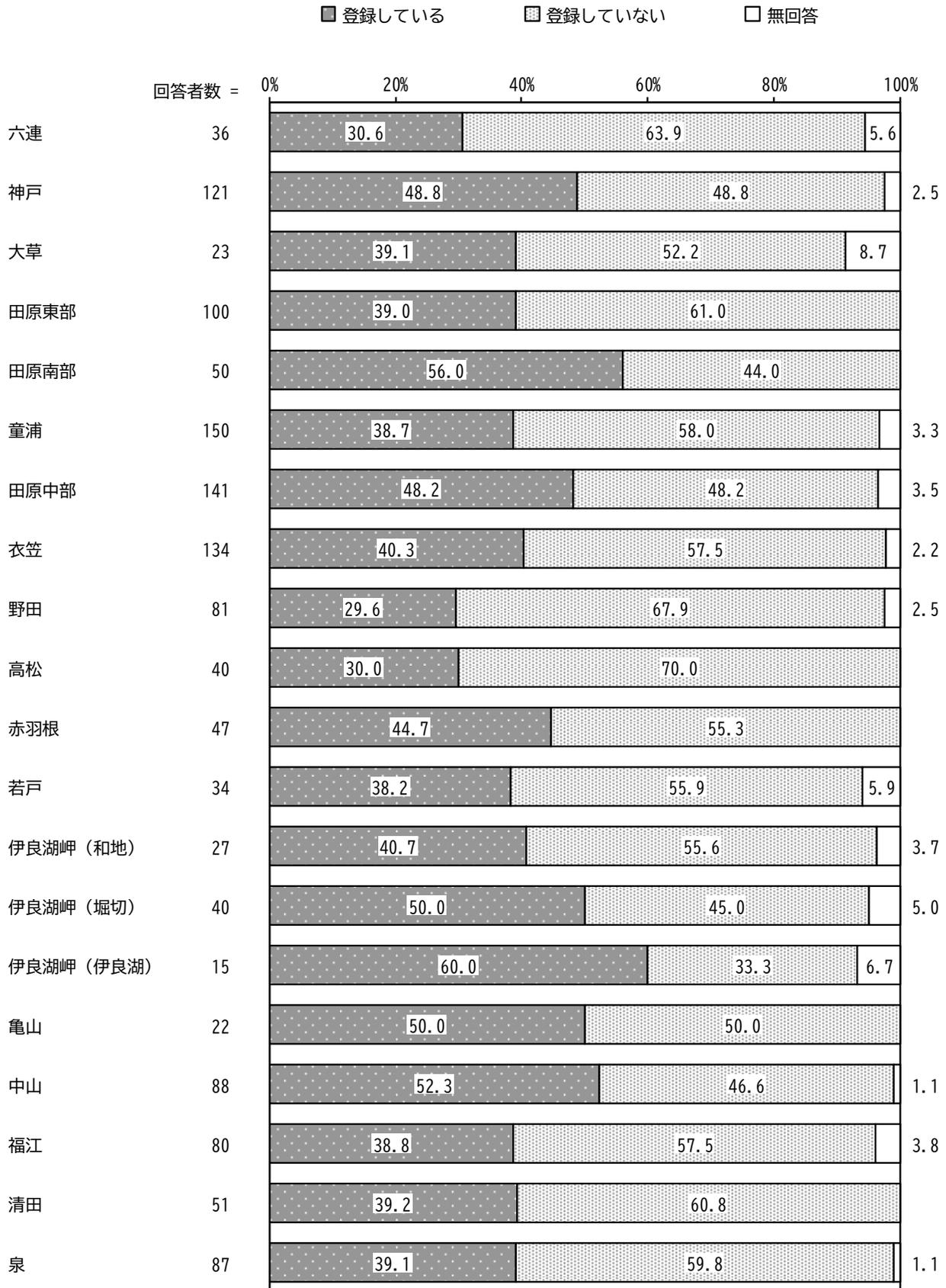
【年齢別】

年齢別でみると、《40歳代》《50歳代》で「登録している」、《20歳代以下》《70歳以上》で「登録していない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。



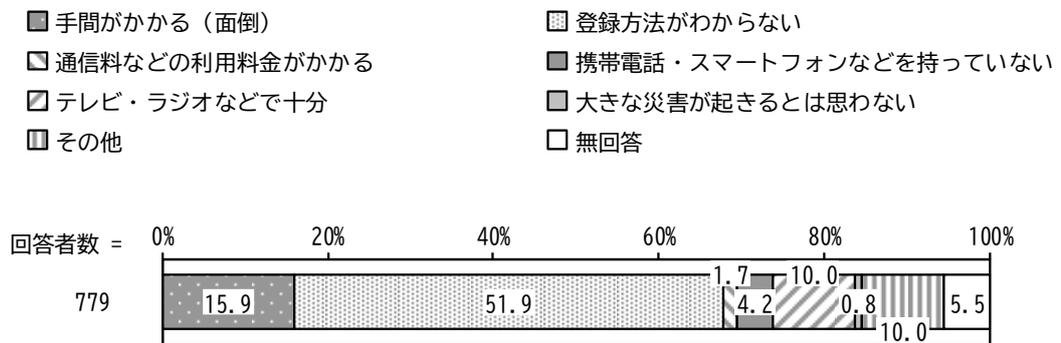
【地区別】

地区別でみると、《田原南部》《伊良湖岬（伊良湖）》で「登録している」、《野田》《高松》で「登録していない」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。



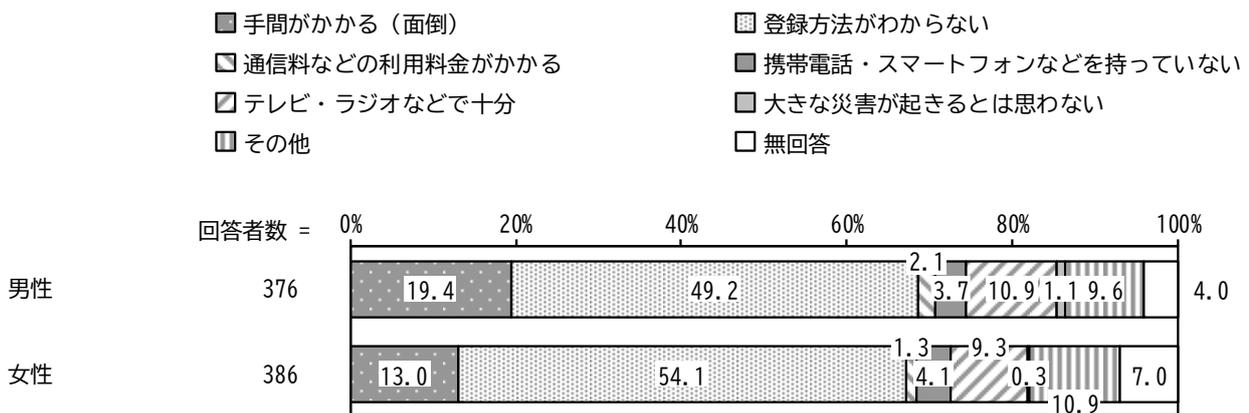
問 29 問 28 で「登録していない」と回答された方にお聞きします。登録をしていない主な理由は何ですか。(あてはまるもの1つだけ○)

「登録方法がわからない」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「手間がかかる（面倒）」の割合が 15.9%、「テレビ・ラジオなどで十分」の割合が 10.0%となっています。



【性別】

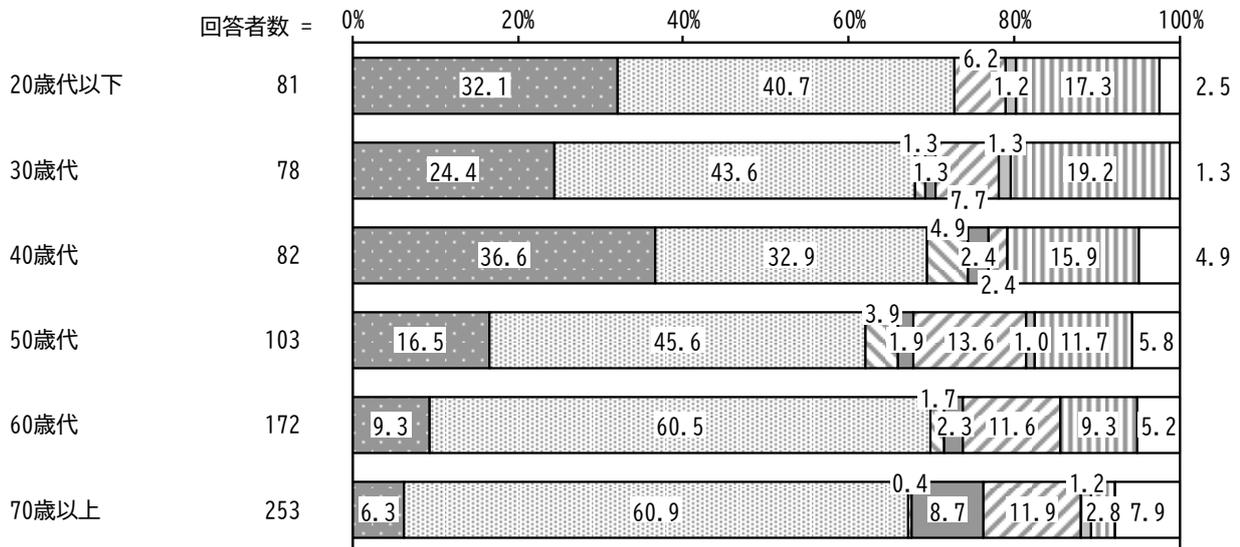
性別でみると、《男性》《女性》ともに「登録方法がわからない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代以下》《40歳代》で「手間がかかる（面倒）」、《60歳代》《70歳以上》で「登録方法がわからない」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

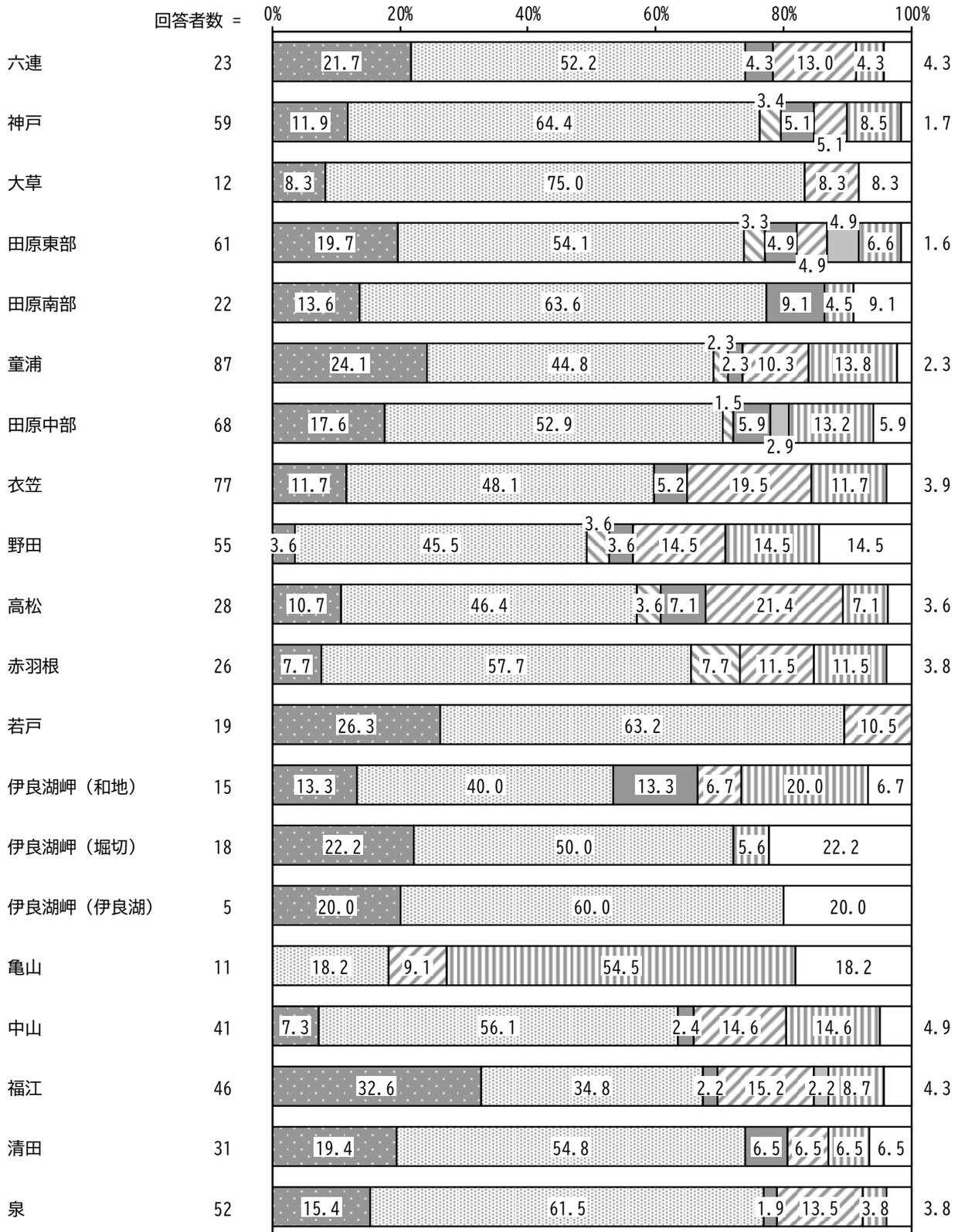
- 手間がかかる（面倒）
- 登録方法がわからない
- 通信料などの利用料金がかかる
- 携帯電話・スマートフォンなどを持っていない
- テレビ・ラジオなどで十分
- 大きな災害が起きるとは思わない
- その他
- 無回答



【地区別】

地区別でみると、《福江》で「手間がかかる（面倒）」、《大草》で「登録方法がわからない」、《高松》で「テレビ・ラジオなどで十分」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

- 手間がかかる（面倒）
- 登録方法がわからない
- 通信料などの利用料金がかかる
- 携帯電話・スマートフォンを持っていない
- テレビ・ラジオなどで十分
- 大きな災害が起きるとは思わない
- その他
- 無回答

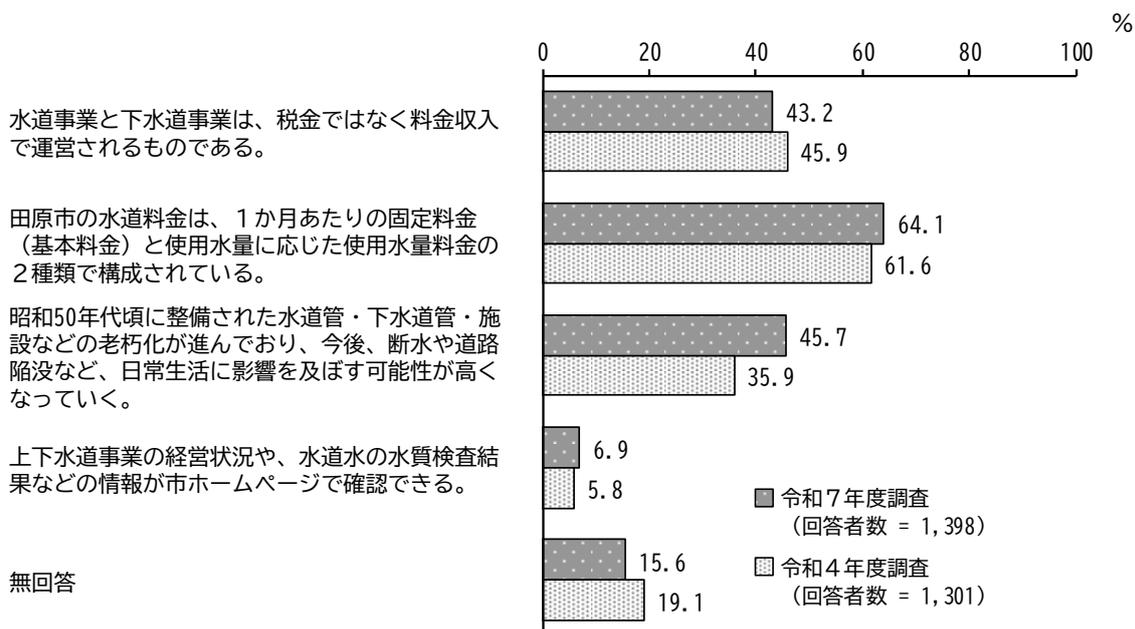


■上下水道について

問 30 上下水道について、知っていることをお聞かせください。  
(あてはまるものすべてに○)

「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。」の割合が64.1%と最も高く、次いで「昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。」の割合が45.7%、「水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである。」の割合が43.2%となっています。

令和4年度調査と比べて、「昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。」が9.8ポイント増加しています。



【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。」の割合が最も高く、6割を超えています。

単位：％

区分	回答者数(件)	水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである。	田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金(基本料金)と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。	昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。	上下水道事業の経営状況や、水道水の水質検査結果などの情報が市ホームページで確認できる。	無回答
全体	1,398	43.2	64.1	45.7	6.9	15.6
男性	622	44.5	62.1	46.3	8.8	15.3
女性	754	42.3	66.0	45.5	5.6	15.5

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。」「昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである。	田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金(基本料金)と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。	昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。	上下水道事業の経営状況や、水道水の水質検査結果などの情報が市ホームページで確認できる。	無回答
全体	1,398	43.2	64.1	45.7	6.9	15.6
20歳代以下	113	31.0	30.1	34.5	12.4	32.7
30歳代	146	34.2	56.2	39.7	8.9	21.9
40歳代	200	32.0	62.5	38.5	6.5	18.0
50歳代	245	42.4	62.0	45.7	6.1	13.1
60歳代	302	51.7	72.8	47.0	5.0	10.6
70歳以上	376	49.2	73.7	53.7	7.2	12.0

【地区別】

地区別でみると、《田原南部》で「水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである。」、《大草》で「田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金（基本料金）と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。」、《伊良湖岬（和地）》で「昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

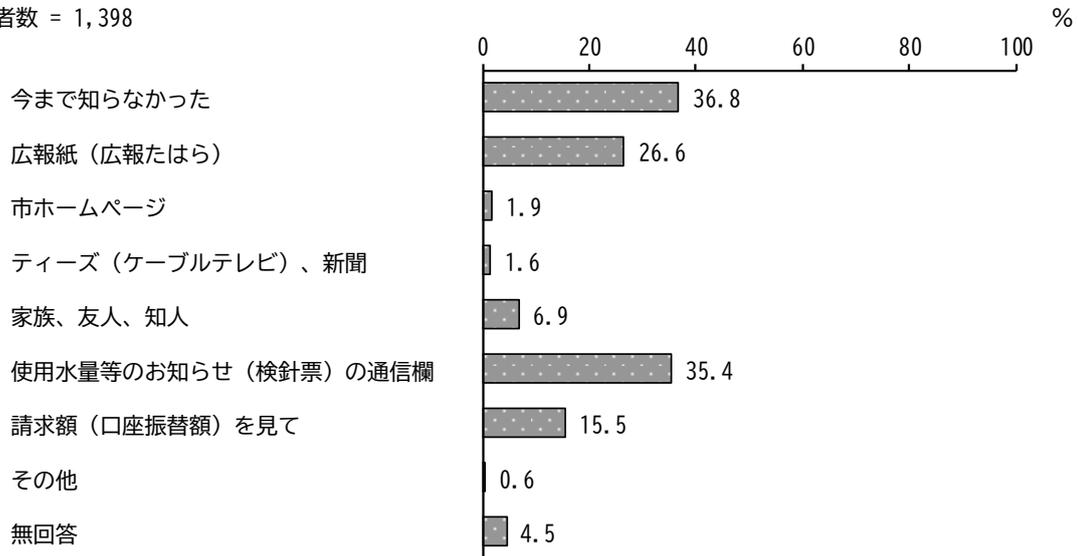
単位：％

区分	回答者数 (件)	水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである。	田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金(基本料金)と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。	昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。	上下水道事業の経営状況や、水道の水質検査結果などの情報が市ホームページで確認できる。	無回答
全 体	1,398	43.2	64.1	45.7	6.9	15.6
六連	36	33.3	58.3	38.9	8.3	19.4
神戸	121	43.0	66.9	39.7	5.8	16.5
大草	23	34.8	78.3	43.5	0.0	8.7
田原東部	100	43.0	71.0	43.0	5.0	14.0
田原南部	50	60.0	64.0	54.0	6.0	8.0
童浦	150	40.0	57.3	38.7	5.3	22.0
田原中部	141	46.8	64.5	46.8	12.1	16.3
衣笠	134	47.8	68.7	50.0	7.5	9.0
野田	81	32.1	63.0	45.7	9.9	14.8
高松	40	35.0	70.0	45.0	5.0	12.5
赤羽根	47	53.2	66.0	38.3	4.3	19.1
若戸	34	35.3	55.9	44.1	5.9	20.6
伊良湖岬（和地）	27	37.0	59.3	66.7	11.1	11.1
伊良湖岬（堀切）	40	42.5	65.0	40.0	10.0	20.0
伊良湖岬（伊良湖）	15	40.0	60.0	46.7	6.7	20.0
亀山	22	45.5	72.7	40.9	4.5	18.2
中山	88	47.7	70.5	51.1	8.0	9.1
福江	80	45.0	62.5	46.3	8.8	11.3
清田	51	43.1	56.9	60.8	3.9	19.6
泉	87	47.1	59.8	48.3	3.4	19.5

問 31 安定的な上下水道のサービスを維持するため、田原市では令和6年4月に上下水道料金を改定しました。あなたは、料金改定をどのようにして知りましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

「今まで知らなかった」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「使用水量等のお知らせ（検針票）の通信欄」の割合が 35.4%、「広報紙（広報たはら）」の割合が 26.6%となっています。

回答者数 = 1,398



【性別】

性別でみると、「今まで知らなかった」「使用水量等のお知らせ（検針票）の通信欄」で、男女間の割合の差が大きくなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	今まで知らなかった	広報紙（広報たはら）	市ホームページ	ティーズ（ケーブルテレビ）、新聞	家族、友人、知人	使用水量等のお知らせ（検針票）の通信欄	請求額（口座振替額）を見て	その他	無回答
全体	1,398	36.8	26.6	1.9	1.6	6.9	35.4	15.5	0.6	4.5
男性	622	40.2	26.8	1.4	2.4	5.8	27.8	16.4	0.8	5.3
女性	754	34.2	26.7	2.1	0.9	8.0	42.0	14.9	0.5	3.3

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど「広報紙（広報たはら）」「使用水量等のお知らせ（検針票）の通信欄」の割合が高い傾向にあります。また、年代が下がるほど「今まで知らなかった」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数（件）	今まで知らなかった	広報紙（広報たはら）	市ホームページ	ティーズ（ケーブルテレビ）、新聞	家族、友人、知人	使用水量等のお知らせ（検針票）の通信欄	請求額（口座振替額）を見て	その他	無回答
全体	1,398	36.8	26.6	1.9	1.6	6.9	35.4	15.5	0.6	4.5
20歳代以下	113	68.1	10.6	0.9	0.9	7.1	15.0	3.5	—	2.7
30歳代	146	48.6	17.1	2.1	2.1	8.9	29.5	11.0	—	0.7
40歳代	200	46.0	16.5	1.5	1.5	7.0	32.5	13.0	—	2.5
50歳代	245	38.4	26.1	1.6	—	5.3	35.5	11.0	1.6	2.4
60歳代	302	31.1	31.8	1.7	1.3	7.0	42.7	17.2	1.3	3.3
70歳以上	376	21.5	37.2	2.4	2.9	6.9	40.4	24.2	0.3	9.0

【地区別】

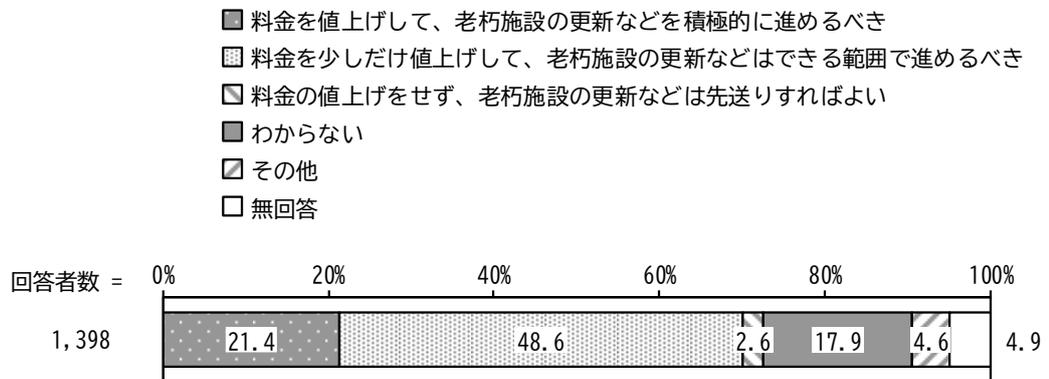
地区別でみると、《若戸》《亀山》で「今まで知らなかった」、《田原南部》《赤羽根》で「使用水量等のお知らせ（検針票）の通信欄」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	今まで知らなかった	広報紙（広報たはら）	市ホームページ	ティーズ（ケーブルテレビ）、新聞	家族、友人、知人	使用水量等のお知らせ（検針票）の通信欄	請求額（口座振替額）を見て	その他	無回答
全体	1,398	36.8	26.6	1.9	1.6	6.9	35.4	15.5	0.6	4.5
六連	36	30.6	25.0	—	—	13.9	36.1	19.4	—	5.6
神戸	121	33.9	28.9	0.8	—	8.3	41.3	12.4	0.8	3.3
大草	23	34.8	34.8	—	—	8.7	43.5	17.4	—	4.3
田原東部	100	33.0	34.0	2.0	—	5.0	38.0	20.0	1.0	3.0
田原南部	50	34.0	34.0	4.0	4.0	6.0	50.0	16.0	—	—
童浦	150	44.7	17.3	0.7	2.0	4.7	32.0	15.3	—	4.7
田原中部	141	36.2	22.7	0.7	—	4.3	40.4	17.7	—	3.5
衣笠	134	36.6	24.6	2.2	1.5	7.5	37.3	17.2	1.5	0.7
野田	81	34.6	29.6	1.2	1.2	11.1	35.8	13.6	2.5	4.9
高松	40	35.0	37.5	5.0	—	5.0	25.0	20.0	—	2.5
赤羽根	47	23.4	29.8	—	—	8.5	53.2	25.5	—	6.4
若戸	34	50.0	23.5	—	5.9	2.9	20.6	11.8	—	8.8
伊良湖岬（和地）	27	29.6	29.6	—	3.7	11.1	25.9	14.8	—	14.8
伊良湖岬（堀切）	40	32.5	27.5	5.0	5.0	2.5	40.0	15.0	—	10.0
伊良湖岬（伊良湖）	15	33.3	13.3	—	—	6.7	26.7	13.3	13.3	6.7
亀山	22	54.5	31.8	—	4.5	—	13.6	4.5	—	4.5
中山	88	33.0	35.2	3.4	—	6.8	38.6	15.9	—	1.1
福江	80	45.0	22.5	2.5	5.0	2.5	26.3	13.8	1.3	5.0
清田	51	41.2	23.5	2.0	2.0	7.8	23.5	13.7	—	9.8
泉	87	40.2	26.4	3.4	1.1	13.8	34.5	10.3	—	2.3

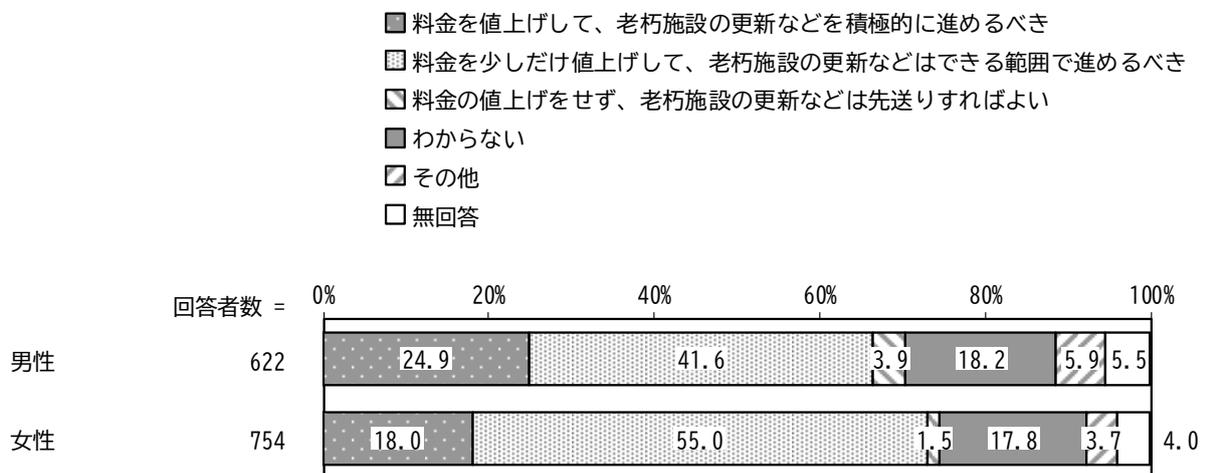
問 32 水道水の安定供給や適切な汚水処理のためには、今後、老朽化した施設の更新や地震対策などに多額の費用が必要です。料金とサービスのバランスについて、どのように考えますか。(あてはまるもの1つだけ○)

「料金を少しだけ値上げして、老朽施設の更新などではできる範囲で進めるべき」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「料金を値上げして、老朽施設の更新などを積極的に進めるべき」の割合が 21.4%となっています。



【性別】

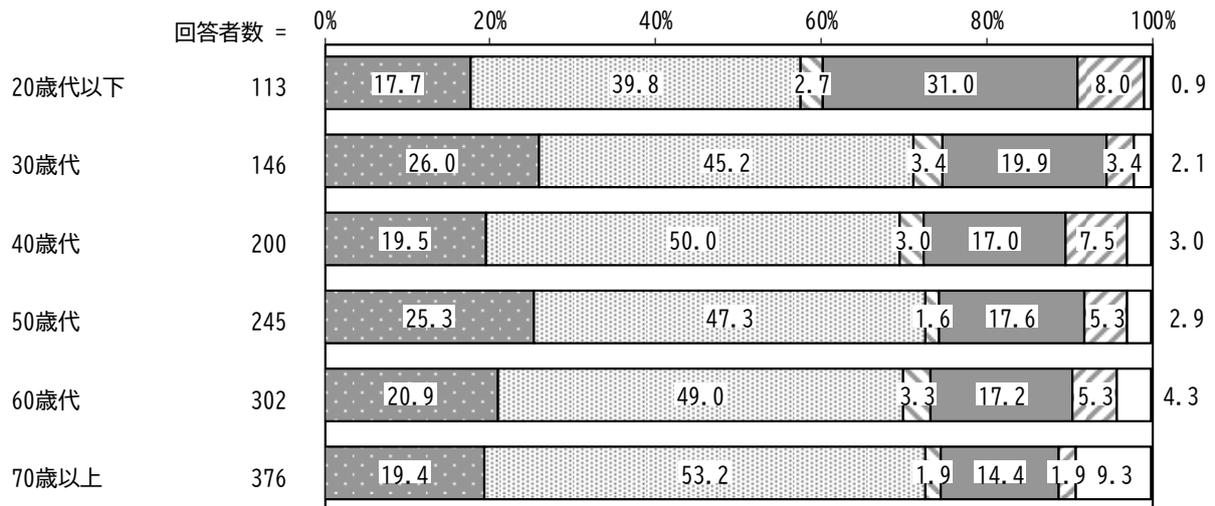
性別でみると、《男性》で「料金を値上げして、老朽施設の更新などを積極的に進めるべき」の割合が、女性に比べ高く、《女性》で「料金を少しだけ値上げして、老朽施設の更新などではできる範囲で進めるべき」の割合が、男性に比べ高くなっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、全ての年代で「料金を少しだけ値上げして、老朽施設の更新などはできる範囲で進めるべき」の割合が最も高くなっています。

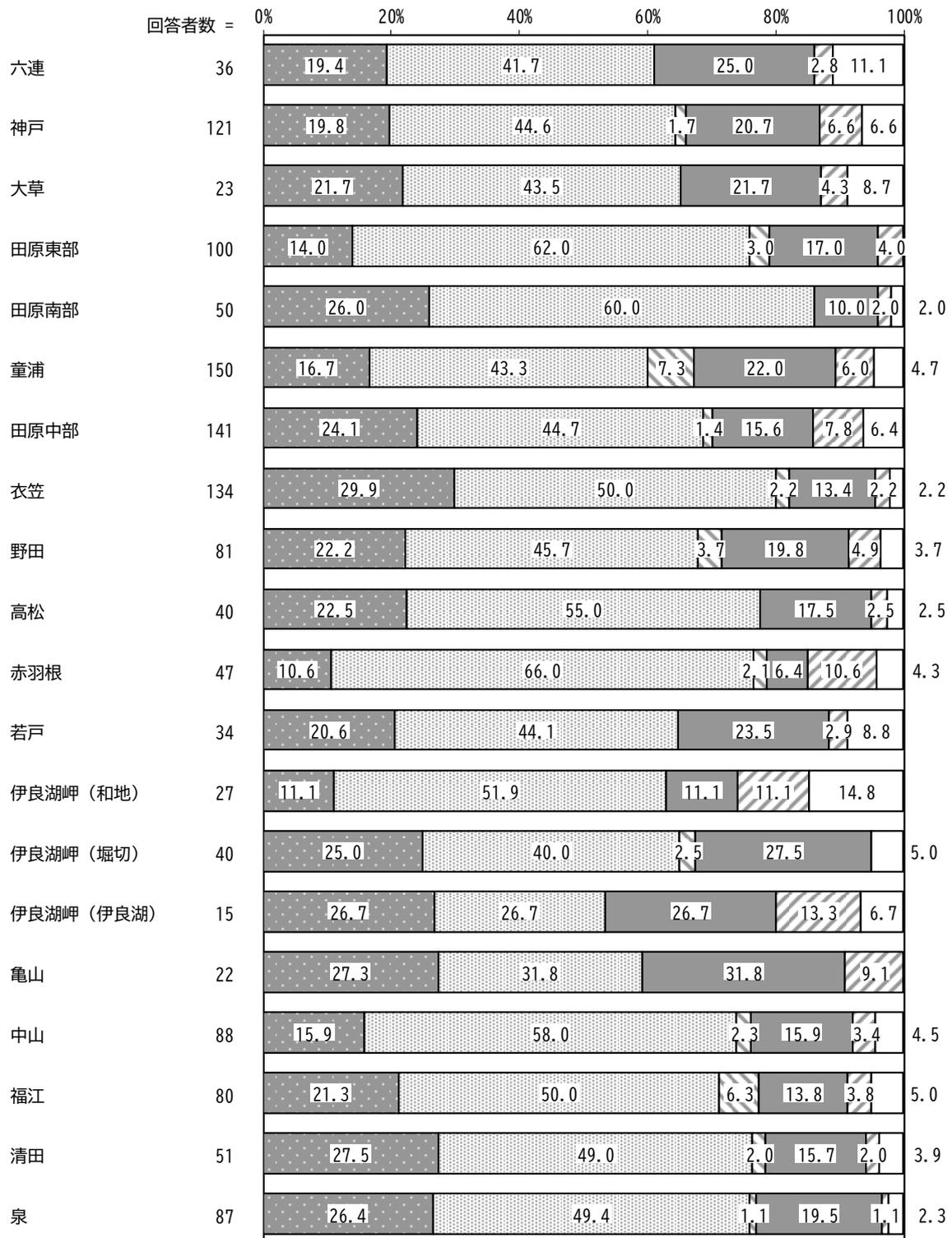
- 料金を値上げして、老朽施設の更新などを積極的に進めるべき
- ▨ 料金を少しだけ値上げして、老朽施設の更新などはできる範囲で進めるべき
- ▩ 料金の値上げをせず、老朽施設の更新などは先送りすればよい
- わからない
- その他
- 無回答



【地区別】

地区別でみると、《赤羽根》で「料金を少しだけ値上げして、老朽施設の更新など是可以する範囲で進めるべき」の割合が、他の地区に比べ高くなっています。

- 料金を値上げして、老朽施設の更新などを積極的に進めるべき
- ▨ 料金を少しだけ値上げして、老朽施設の更新など是可以する範囲で進めるべき
- ▩ 料金の値上げをせず、老朽施設の更新などは先送りすればよい
- わからない
- その他
- 無回答



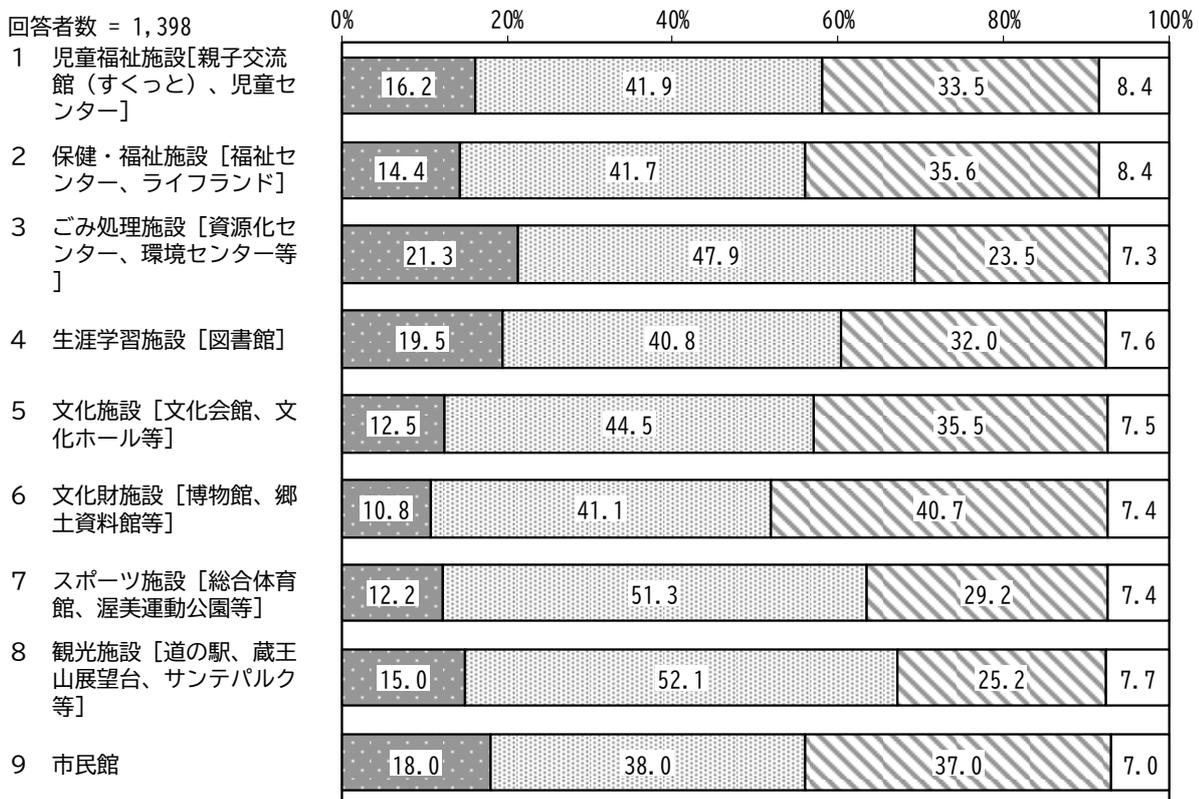
■市内の公共施設について

問 33 公共施設の老朽化により、多額の建替費用や修繕費用が必要となっています。また、少子高齢化の更なる進行が予想され、全ての施設を現状のまま維持することは難しくなります。あなたは、この問題に対し、今後どのように取り組むべきだと思いますか。  
(施設ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」の割合は『3 ごみ処理施設 [資源化センター、環境センター等]』が 21.3%で、「施設の使用料を上げて (または有料化して)、現在の施設を維持すべき」の割合は『8 観光施設 [道の駅、蔵王山展望台、サンテパルク等]』が 52.1%で、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」の割合は『6 文化財施設 [博物館、郷土資料館等]』が 40.7%で最も高くなっています。

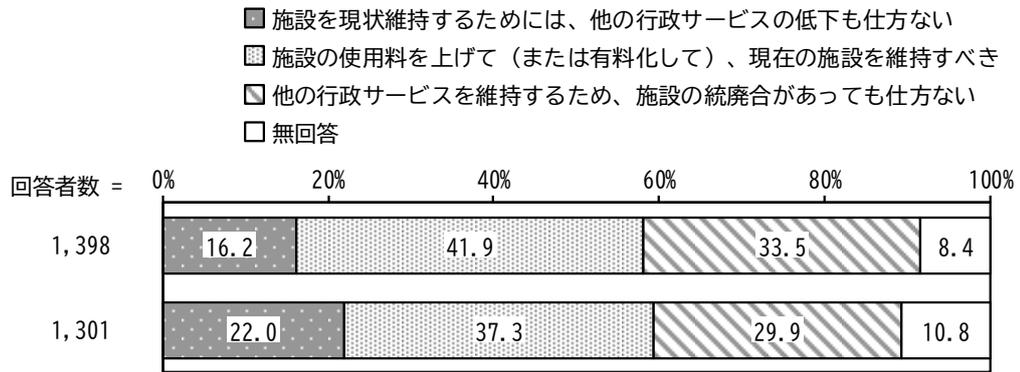
- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて (または有料化して)、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

回答者数 = 1,398

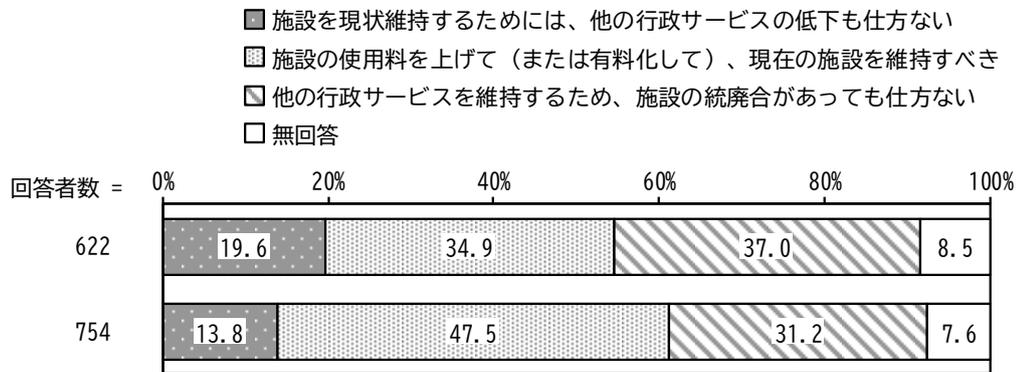


# 1 児童福祉施設【親子交流館（すくっと）、児童センター】

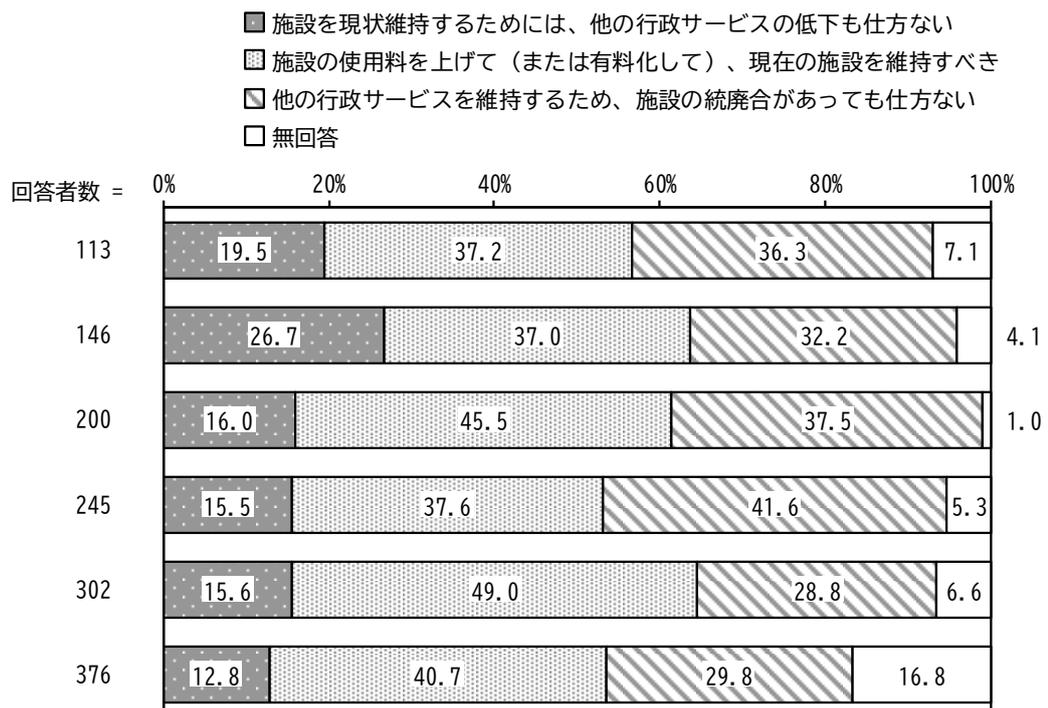
令和4年度調査と比べて、「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が5.8ポイント減少しています。



## 【性別】

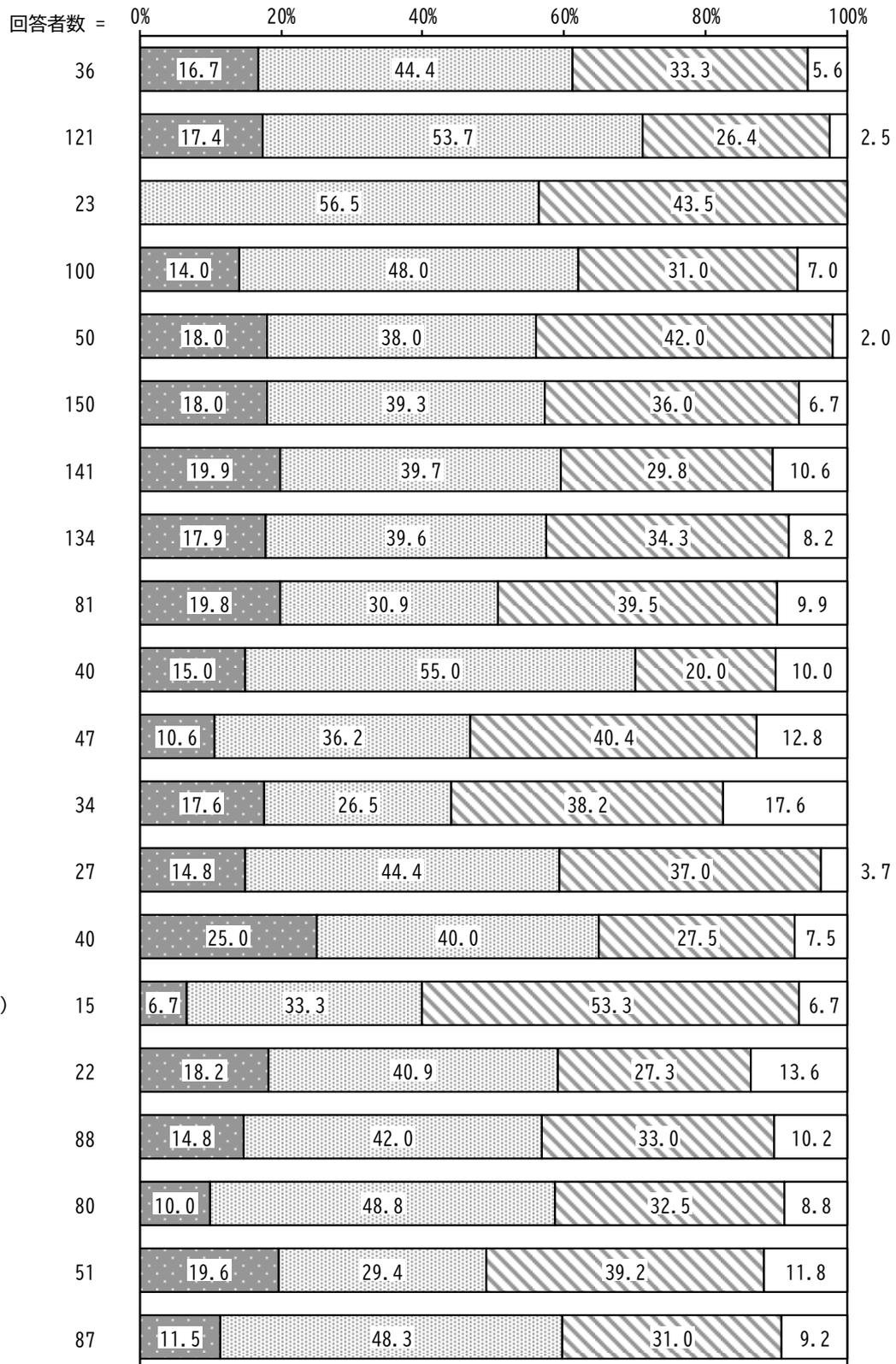


## 【年齢別】



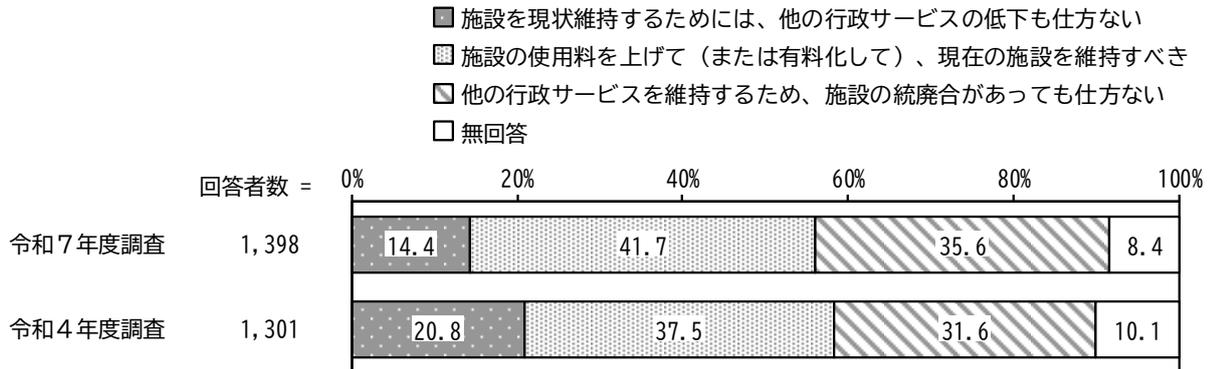
【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▧ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

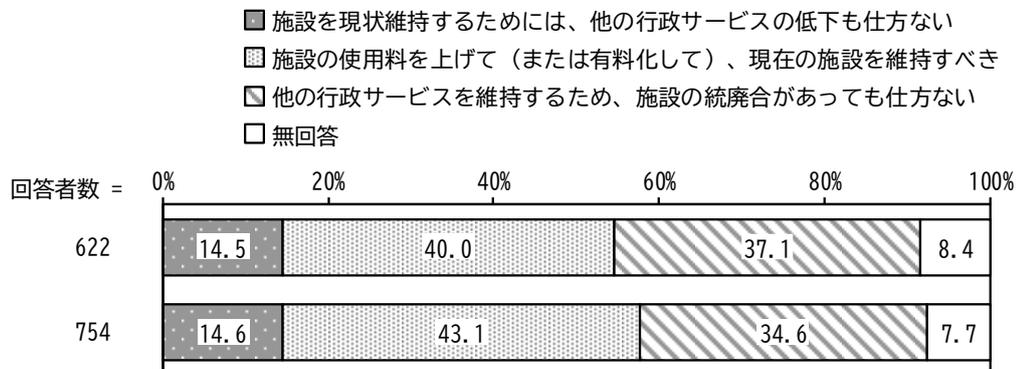


## 2 保健・福祉施設【福祉センター、ライフランド】

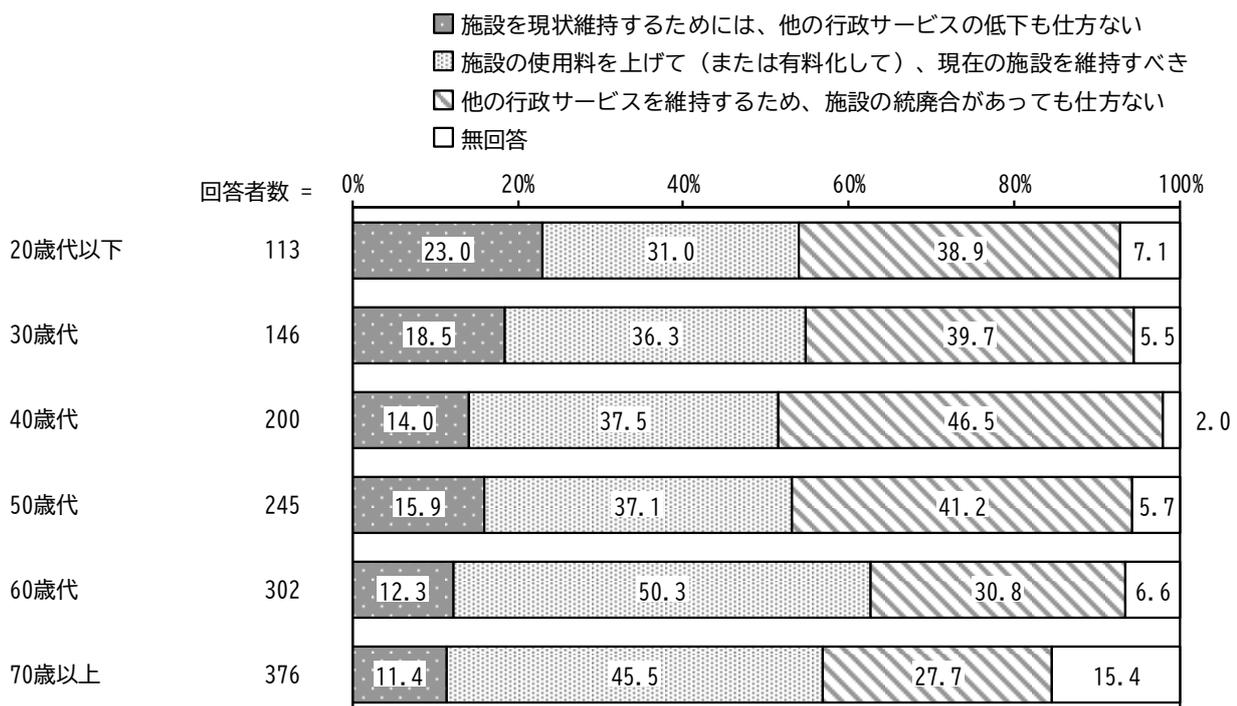
令和4年度調査と比べて、「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が6.4ポイント減少しています。



### 【性別】

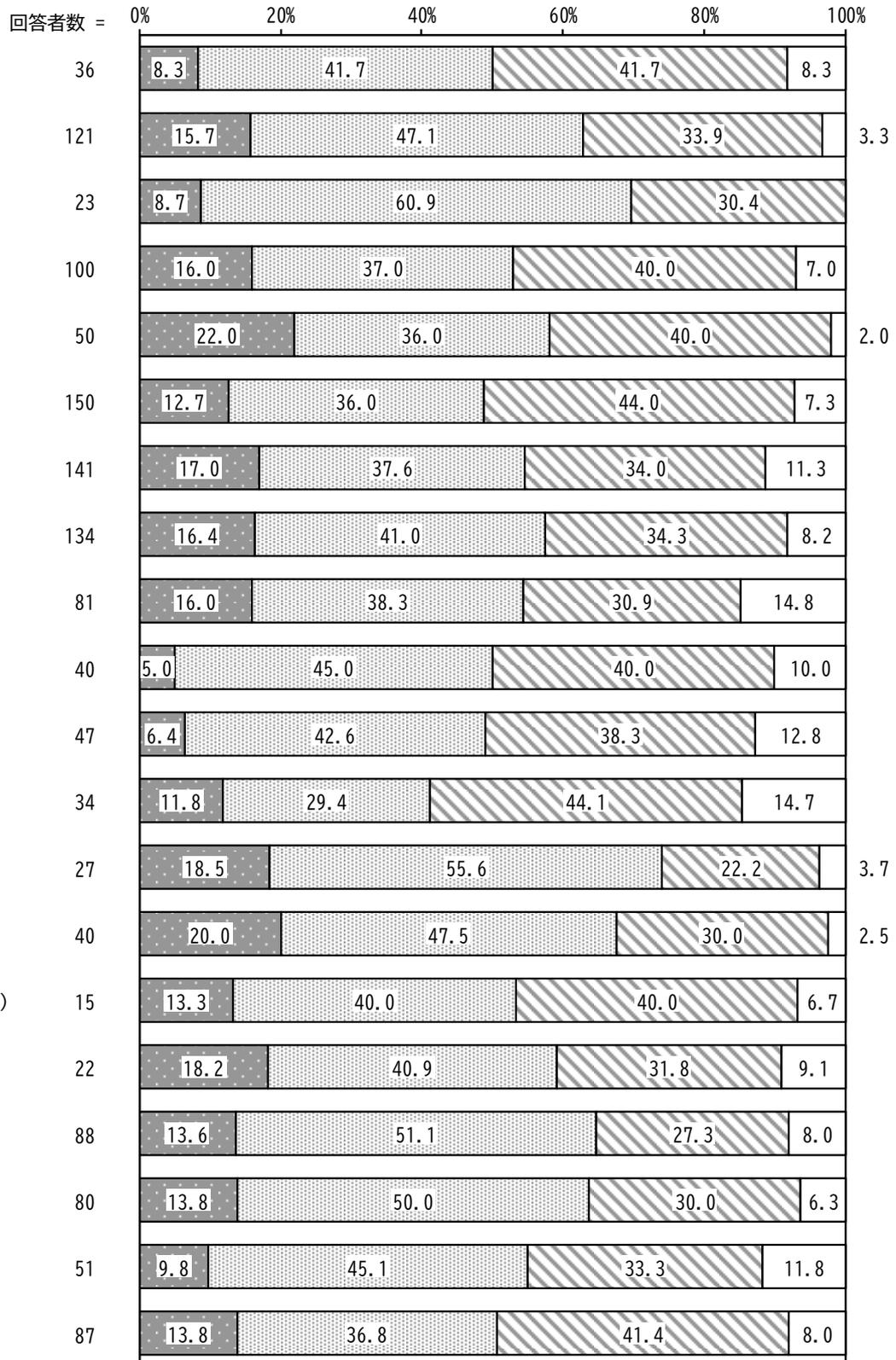


### 【年齢別】



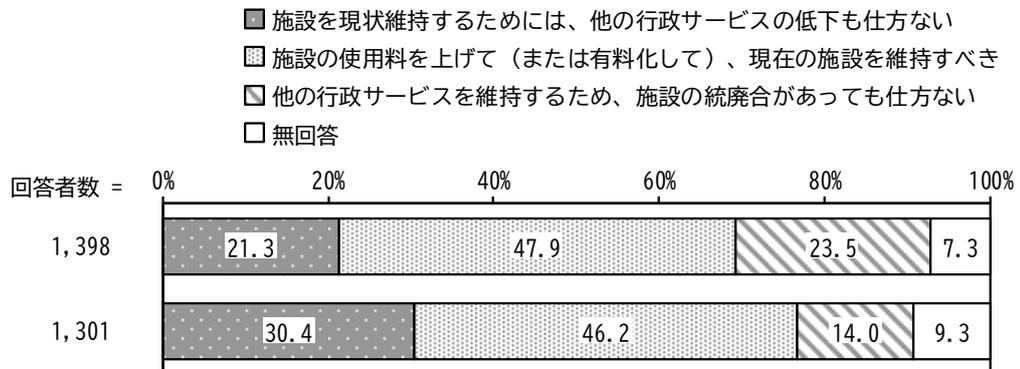
【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▧ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

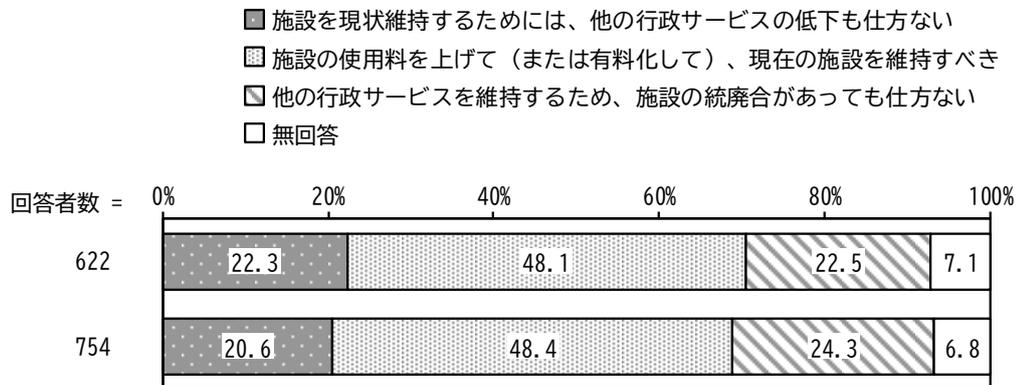


### 3 ごみ処理施設【資源化センター、環境センター等】

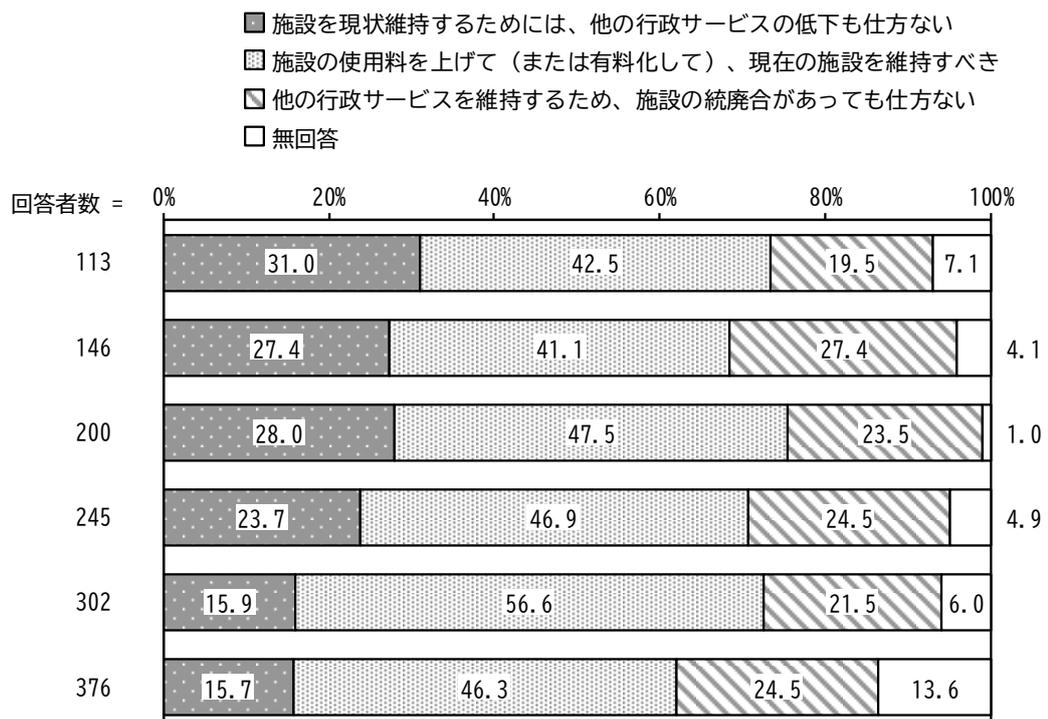
令和4年度調査と比べて、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が9.5ポイント増加しています。一方、「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が9.1ポイント減少しています。



#### 【性別】

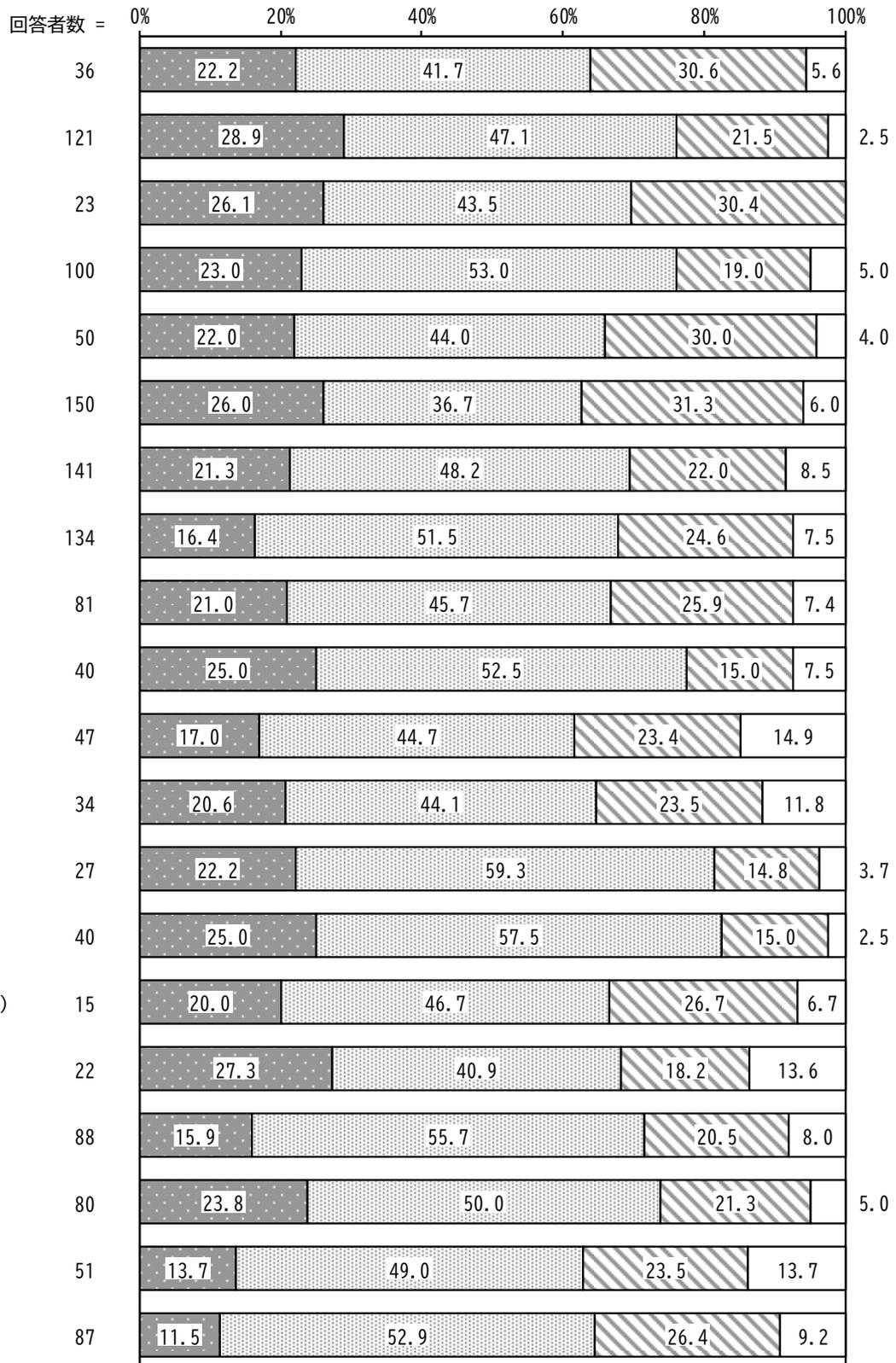


#### 【年齢別】



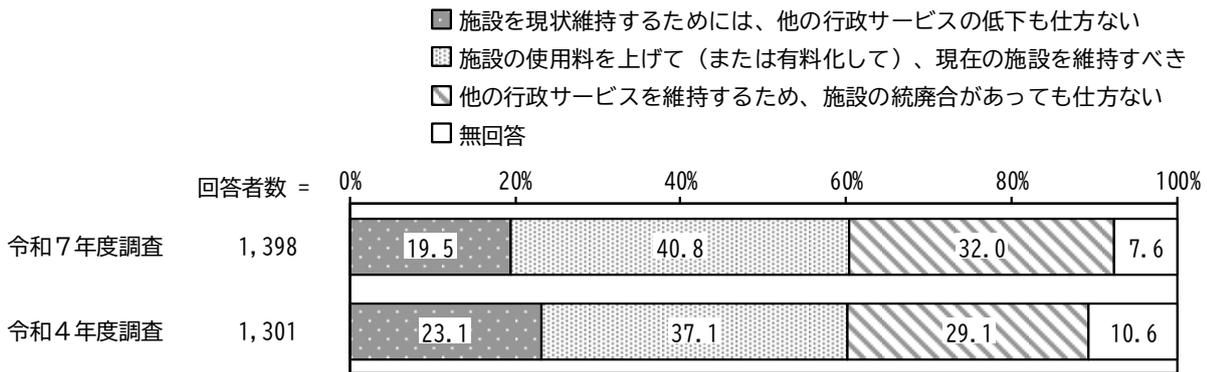
【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

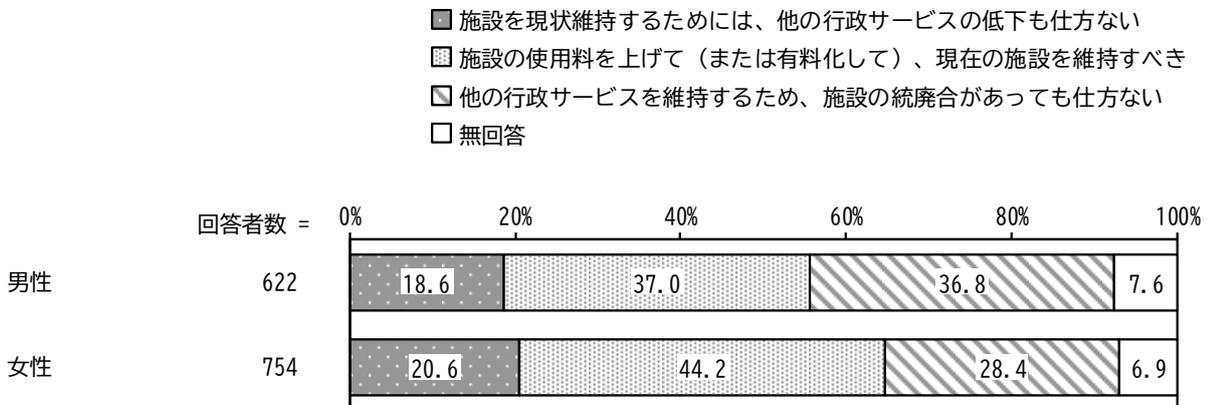


#### 4 生涯学習施設【図書館】

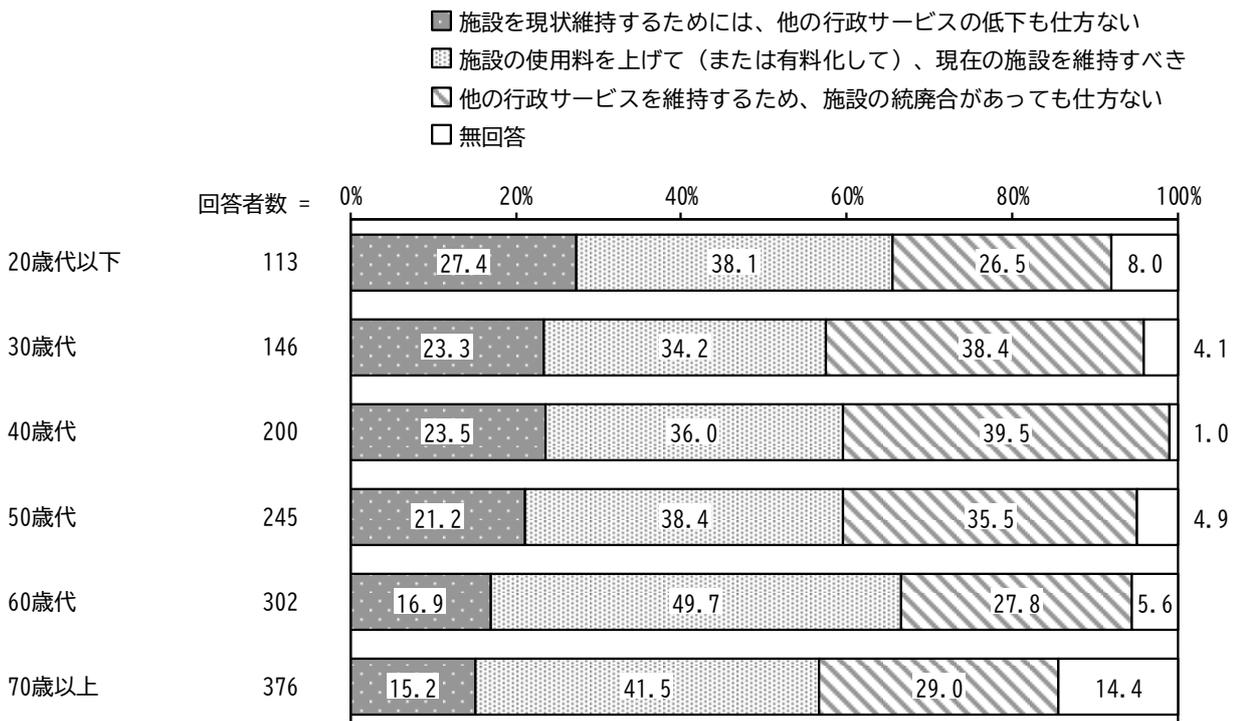
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



#### 【性別】

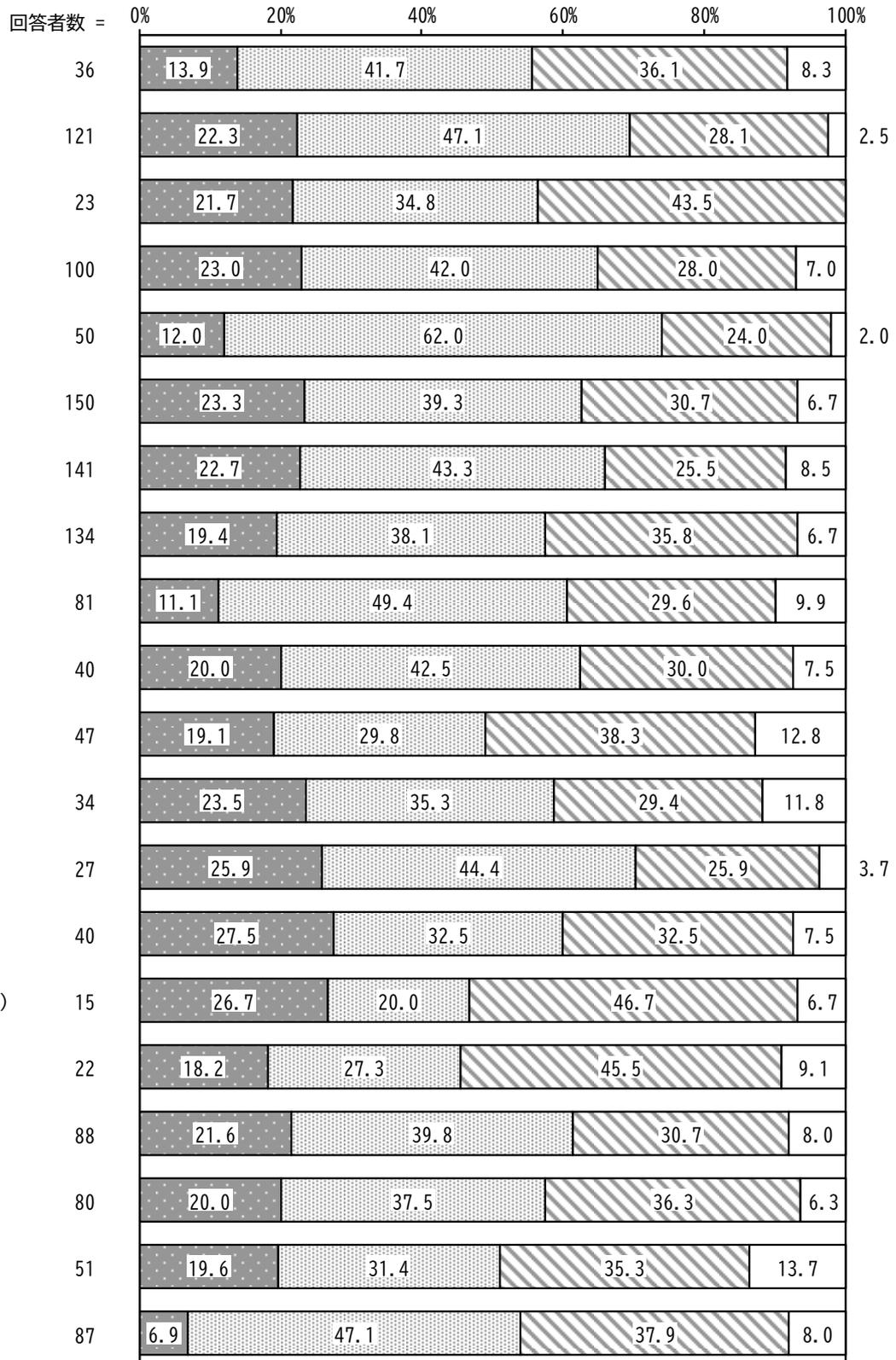


#### 【年齢別】



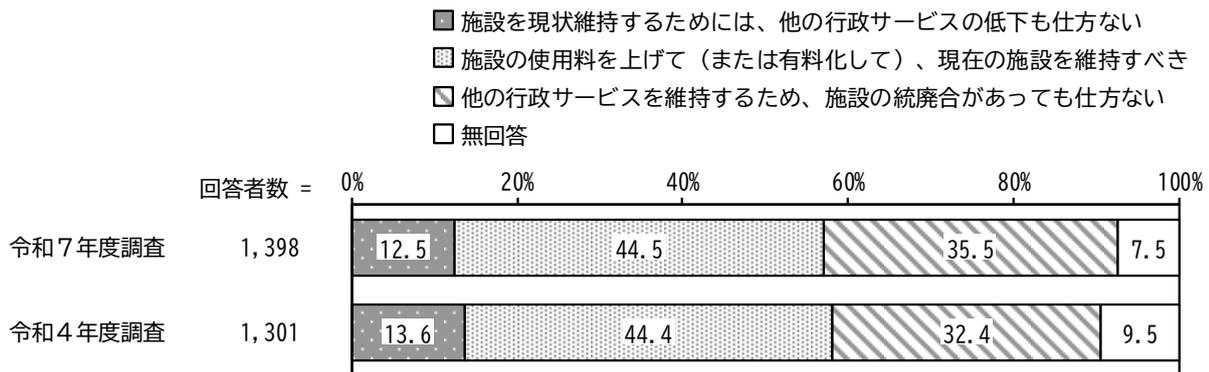
【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▧ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

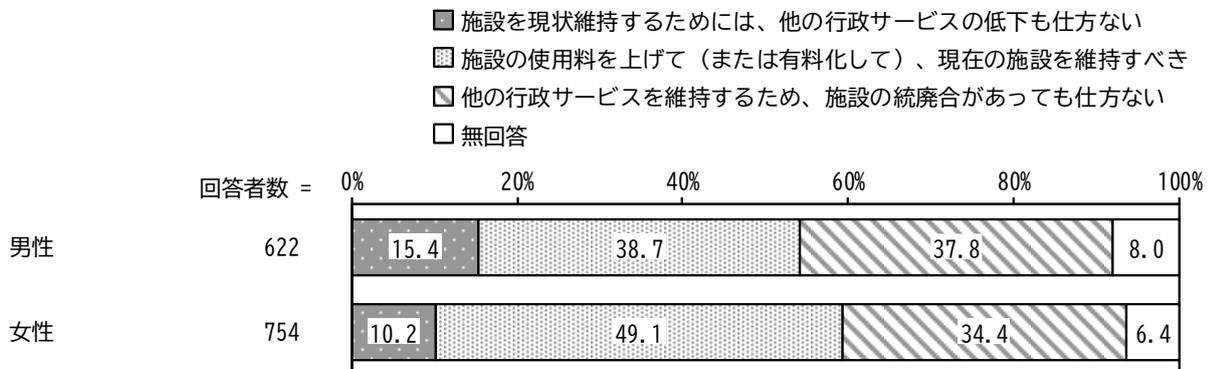


## 5 文化施設【文化会館、文化ホール等】

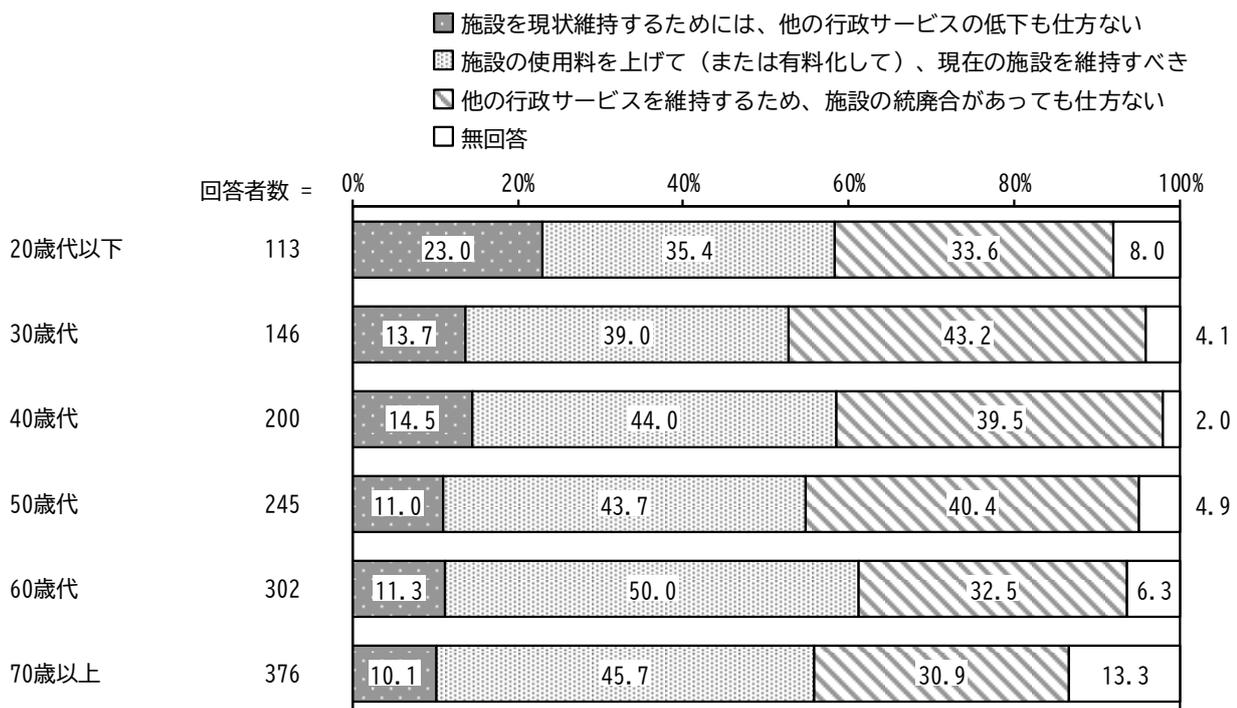
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



### 【性別】

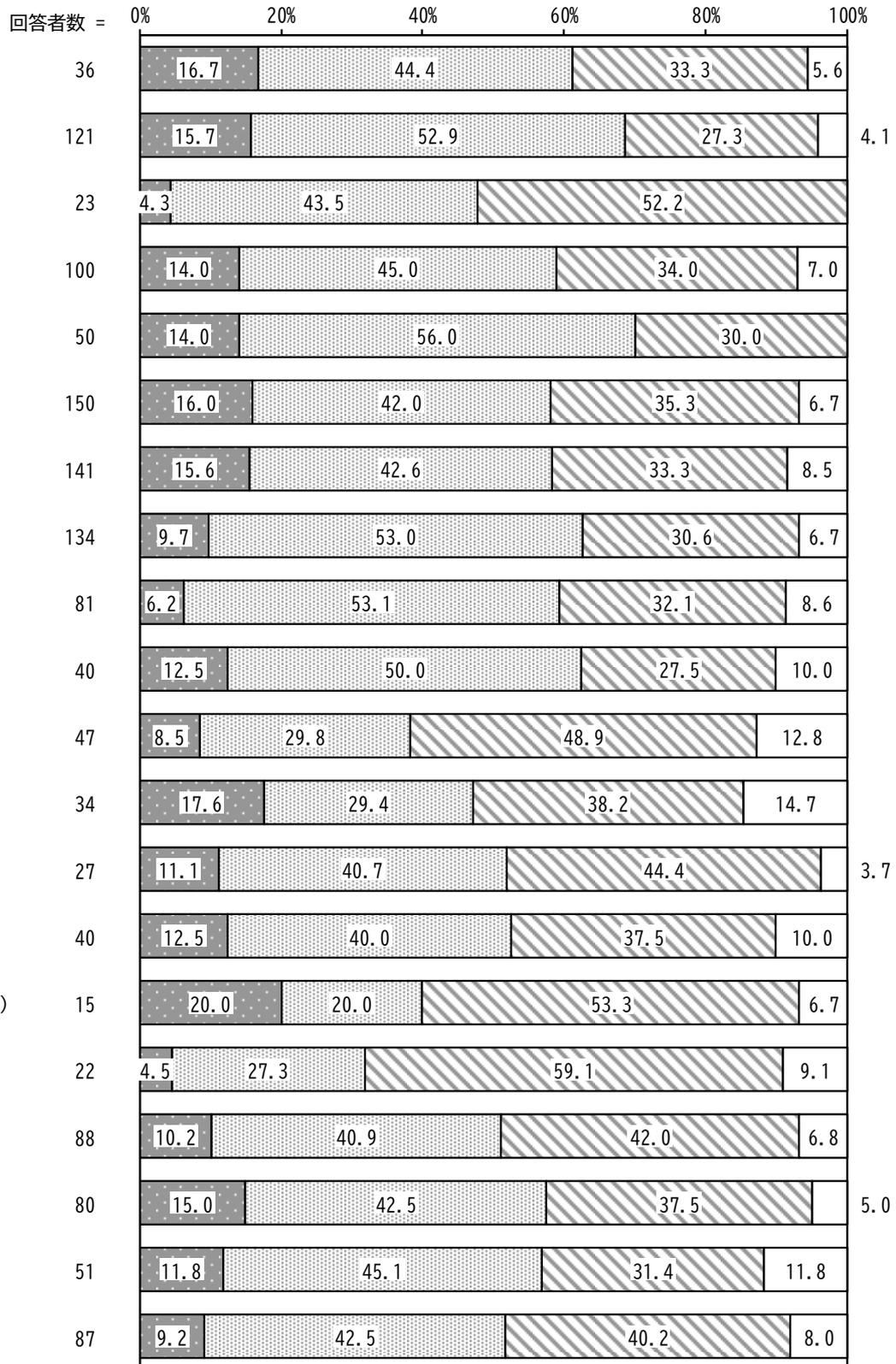


### 【年齢別】



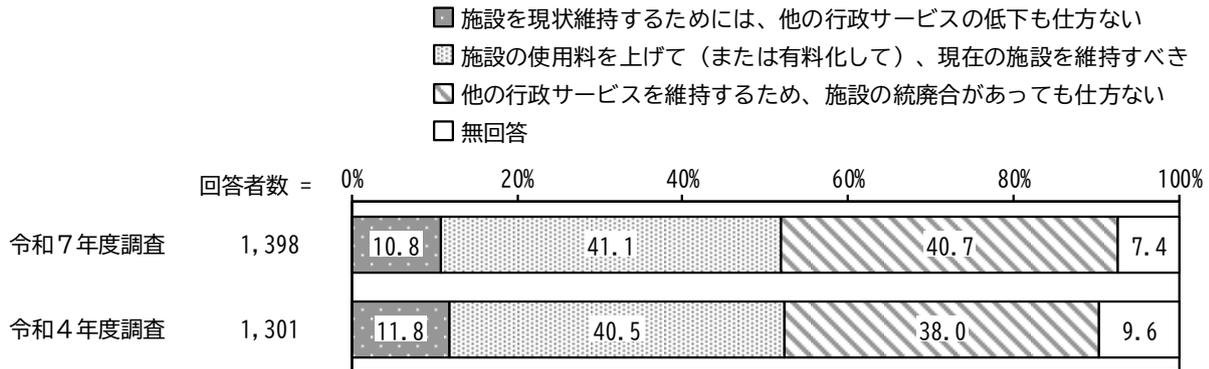
【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

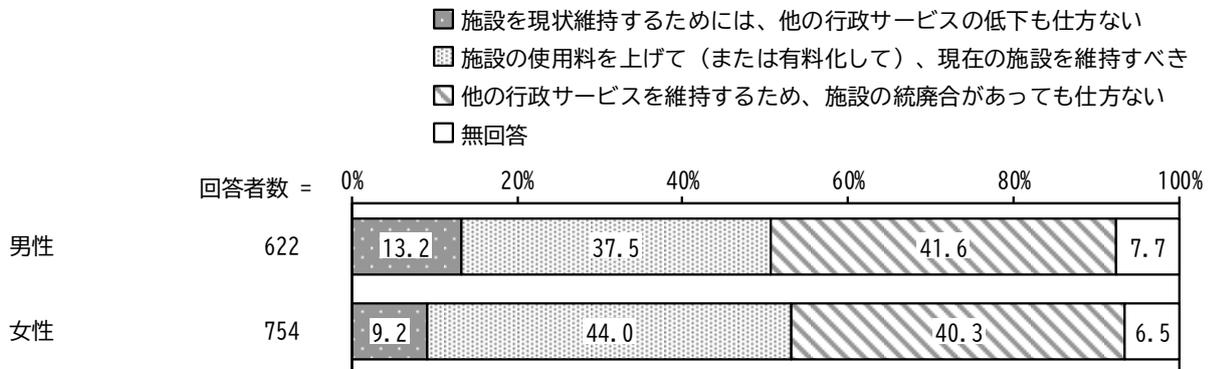


## 6 文化財施設【博物館、郷土資料館等】

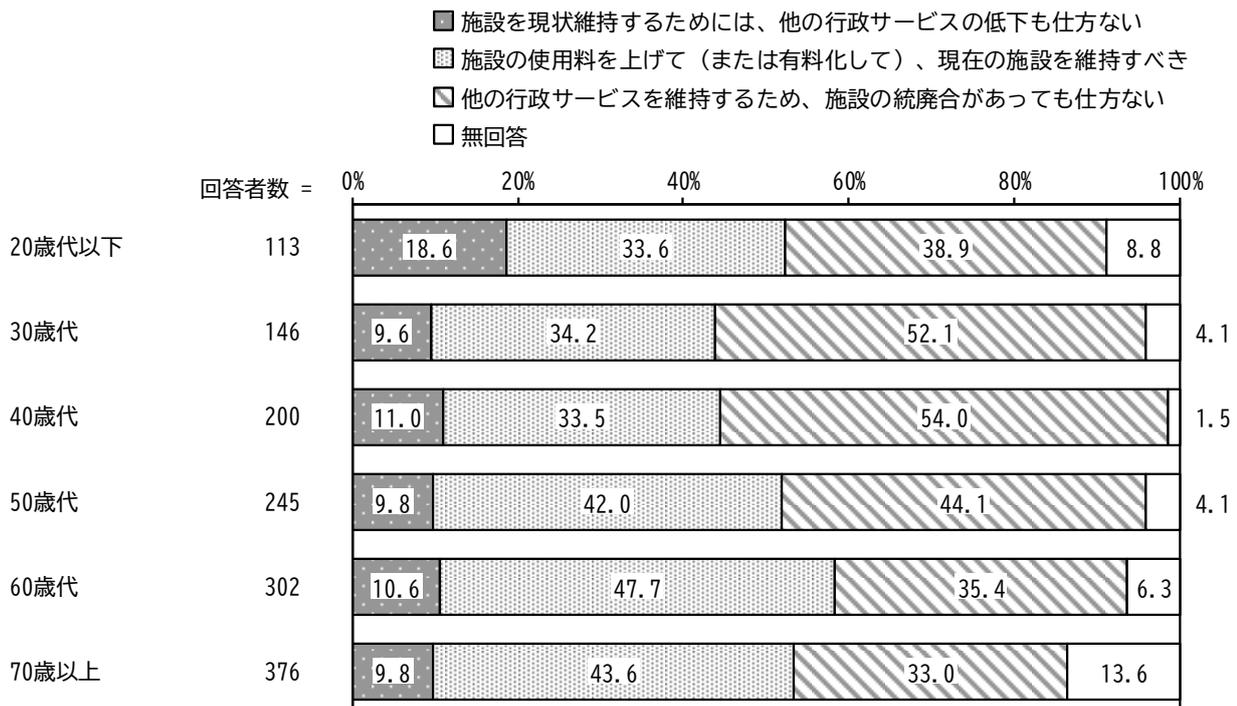
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



### 【性別】

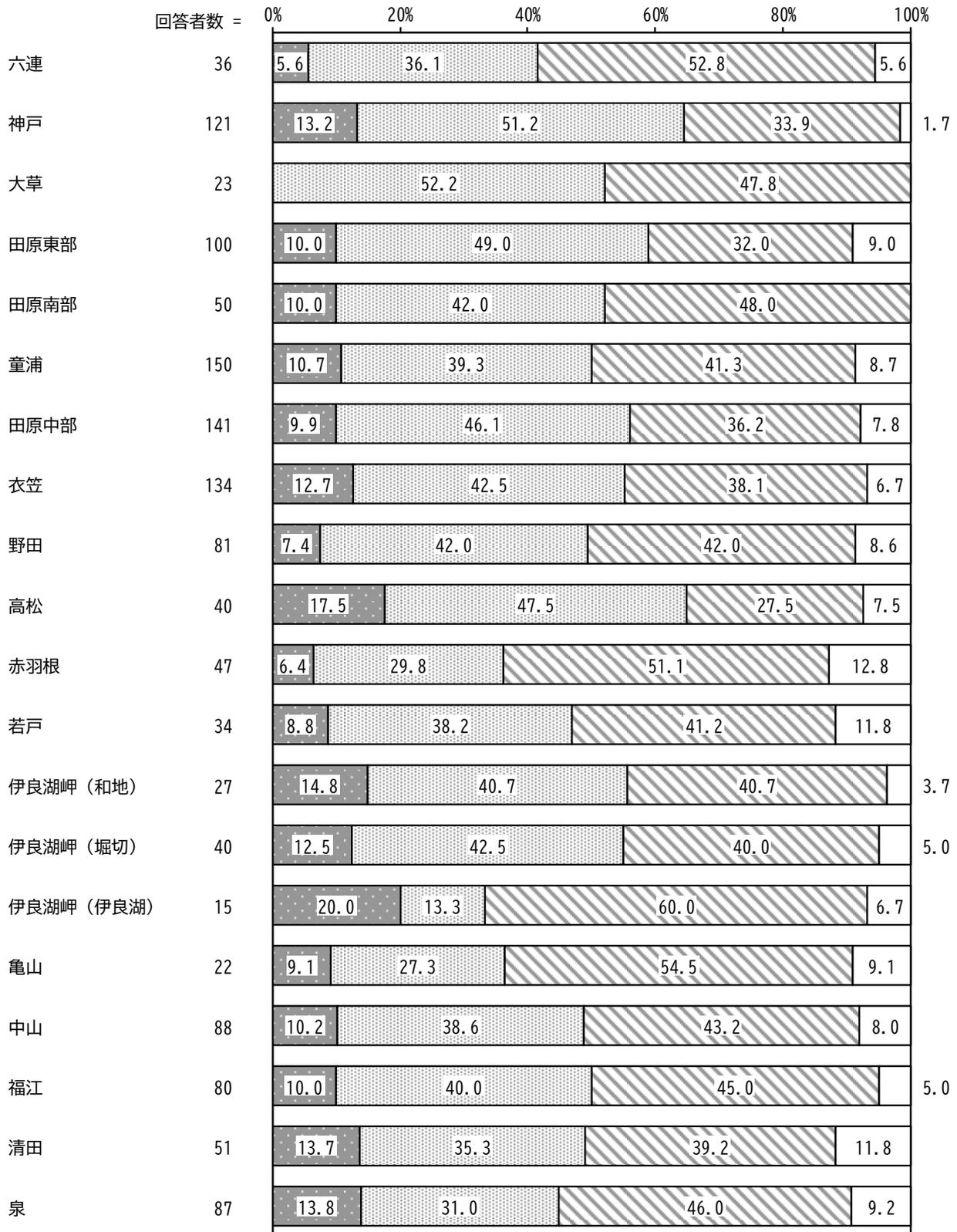


### 【年齢別】



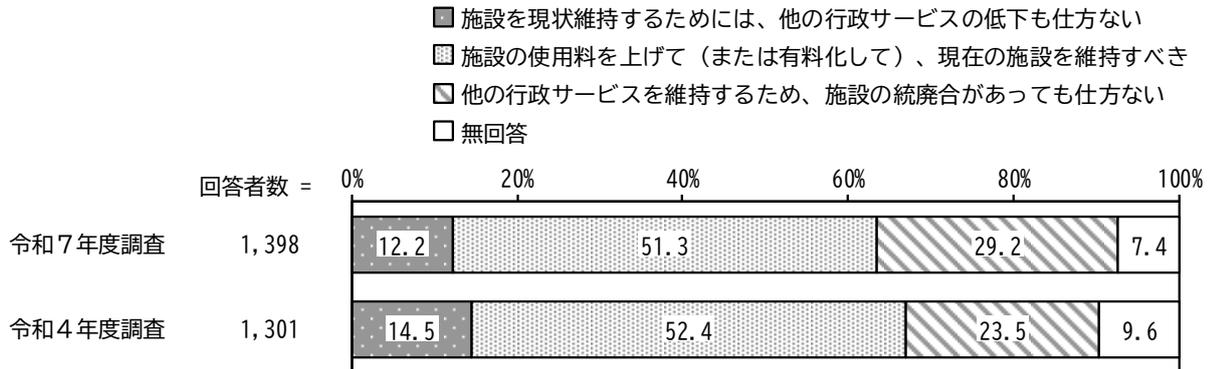
【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▧ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

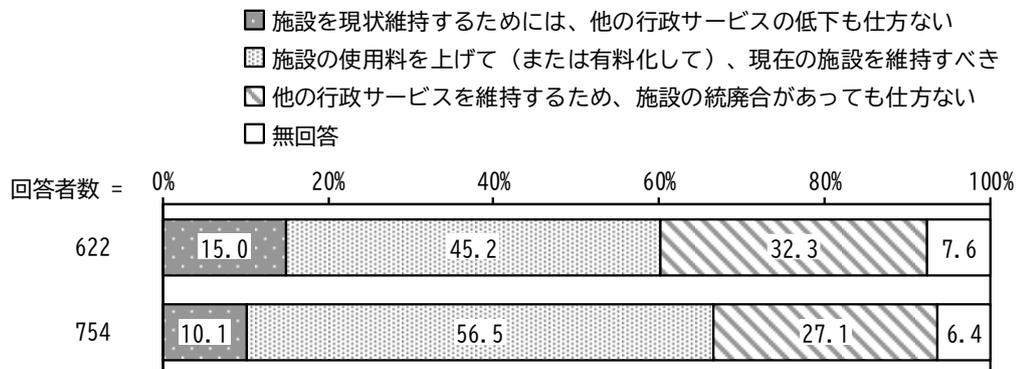


## 7 スポーツ施設【総合体育館、渥美運動公園等】

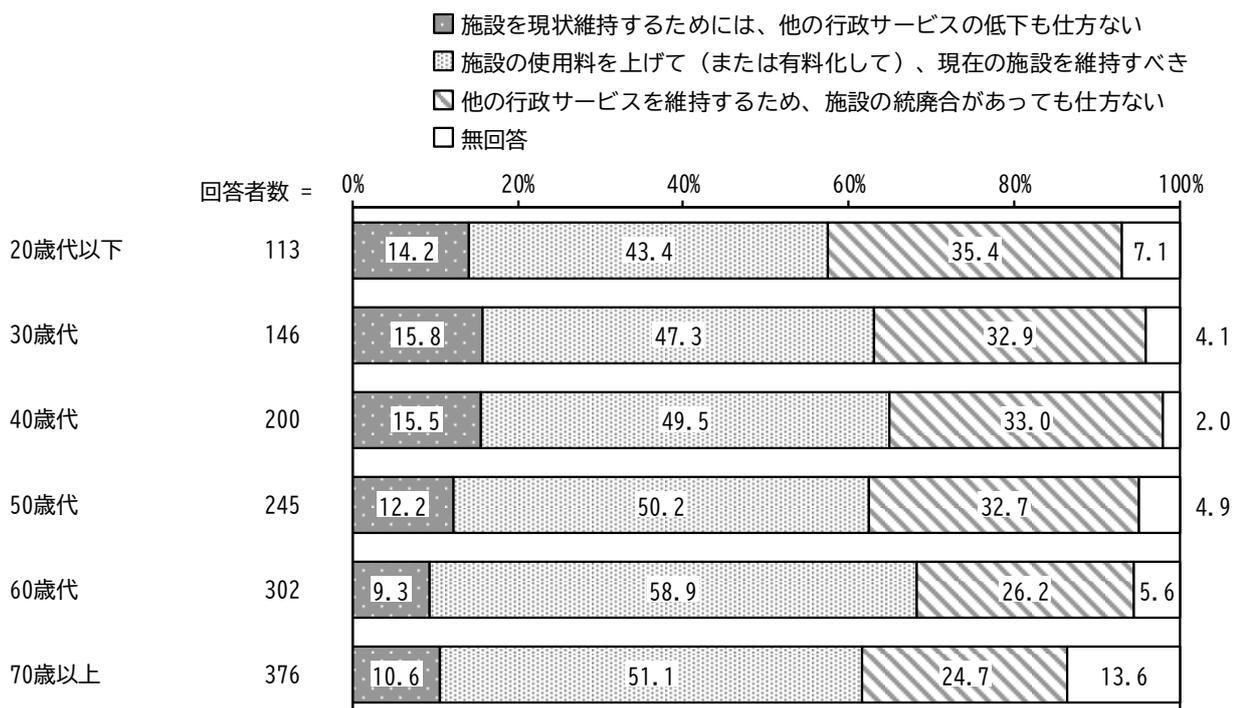
令和4年度調査と比べて、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が5.7ポイント増加しています。



### 【性別】

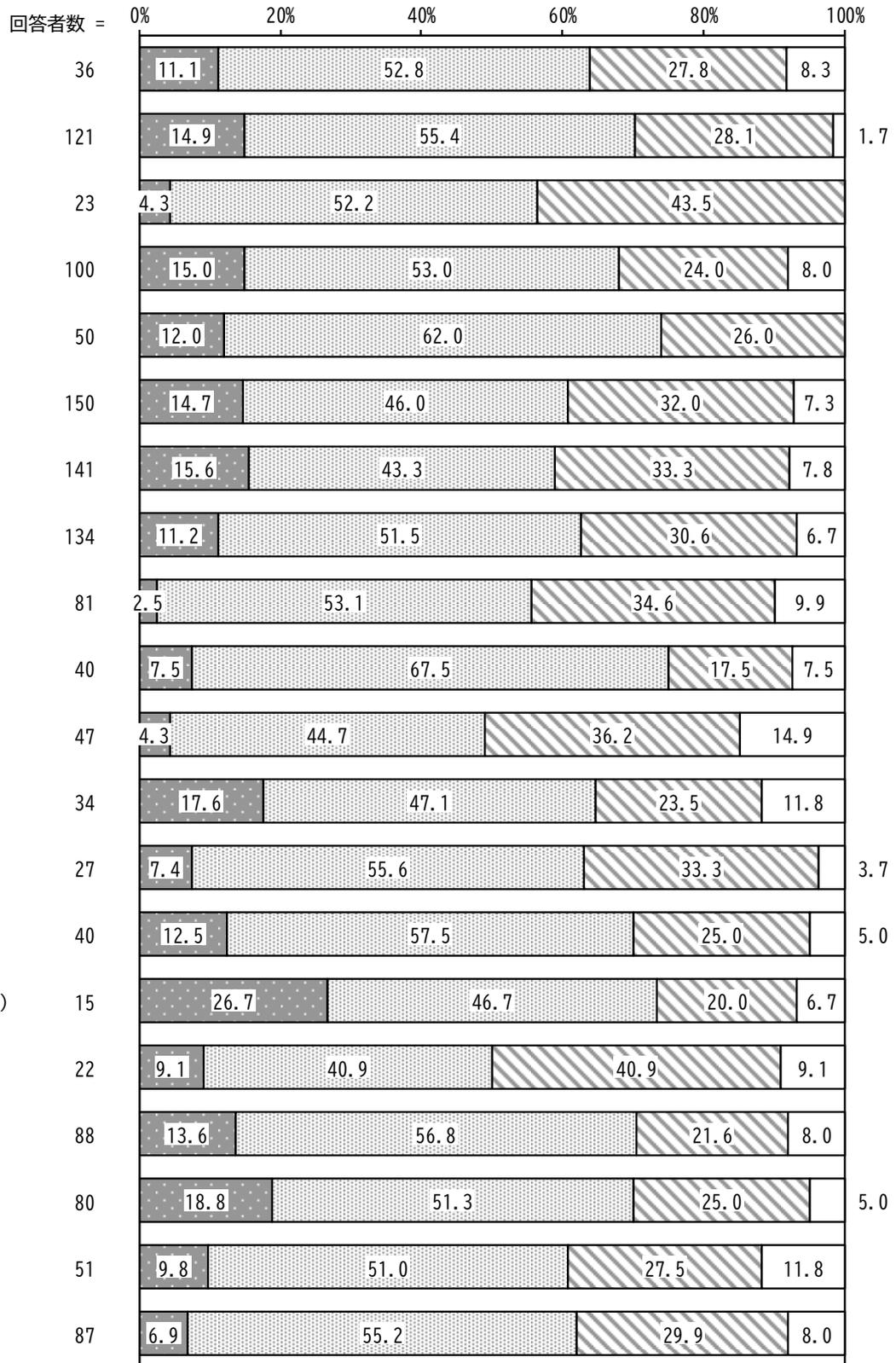


### 【年齢別】



【地区別】

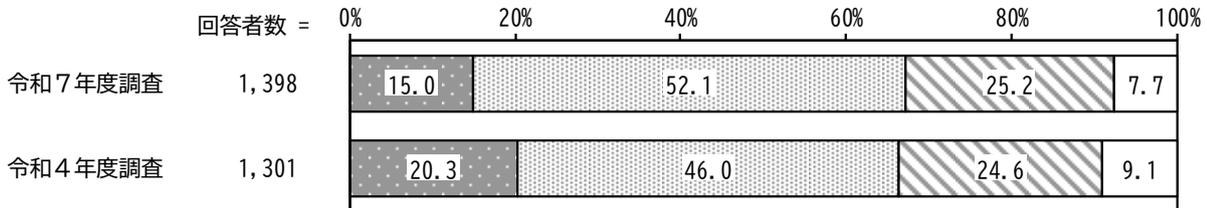
- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



## 8 観光施設 [道の駅、蔵王山展望台、サンテパーク等]

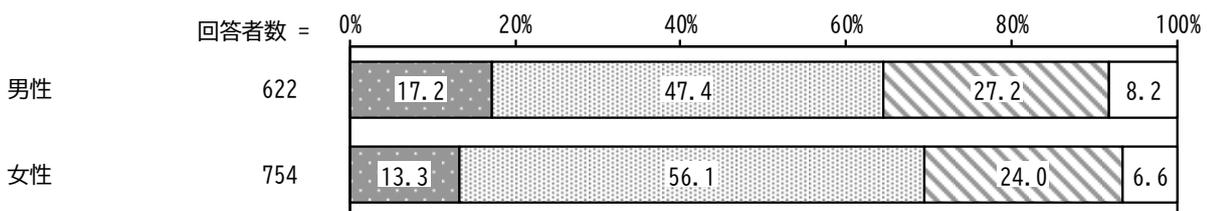
令和4年度調査と比べて、「施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき」が6.1ポイント増加しています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



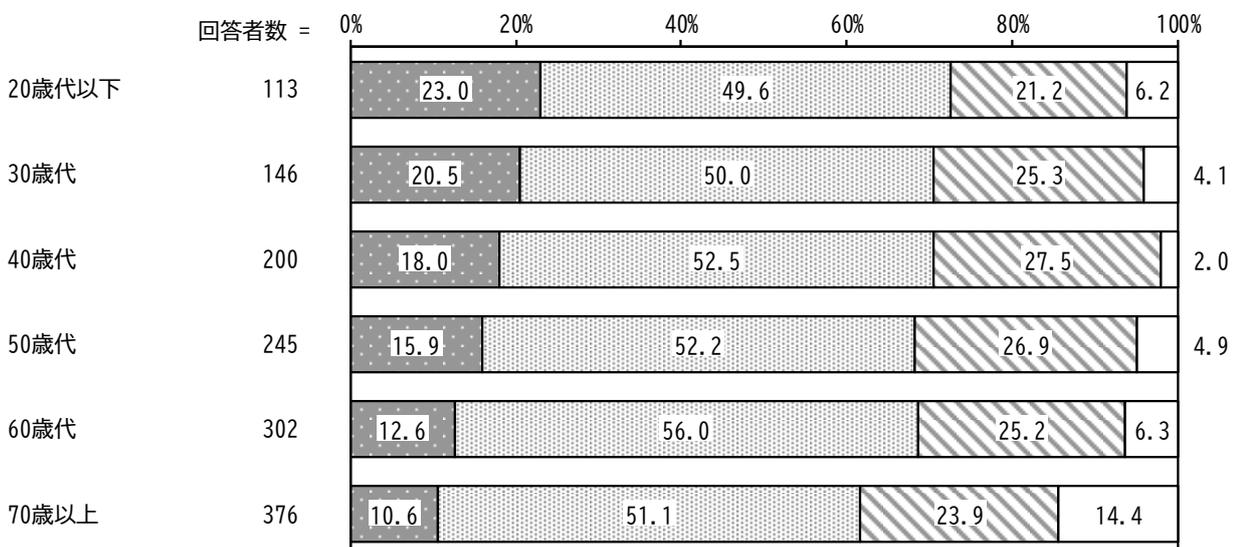
### 【性別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



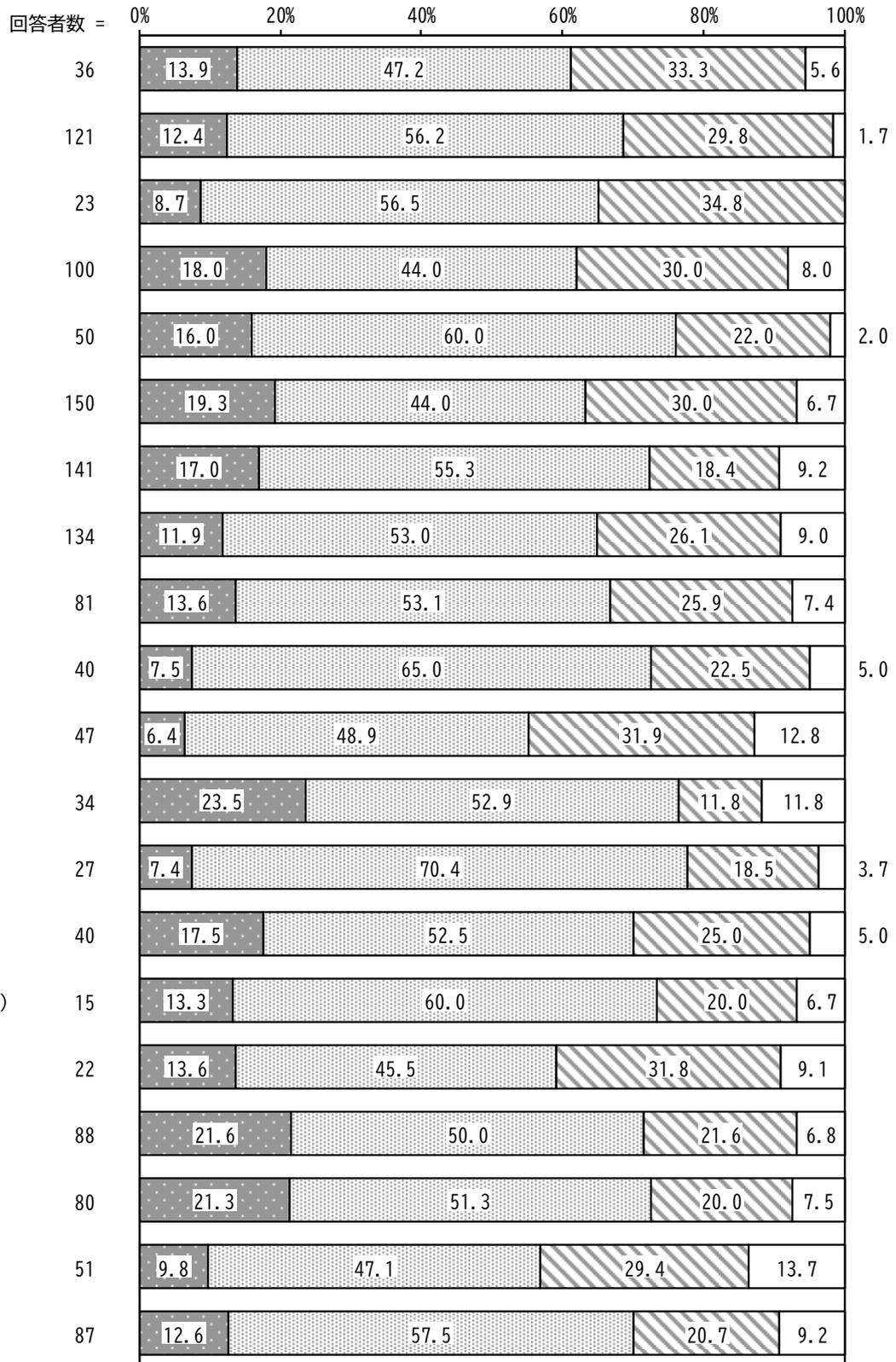
### 【年齢別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



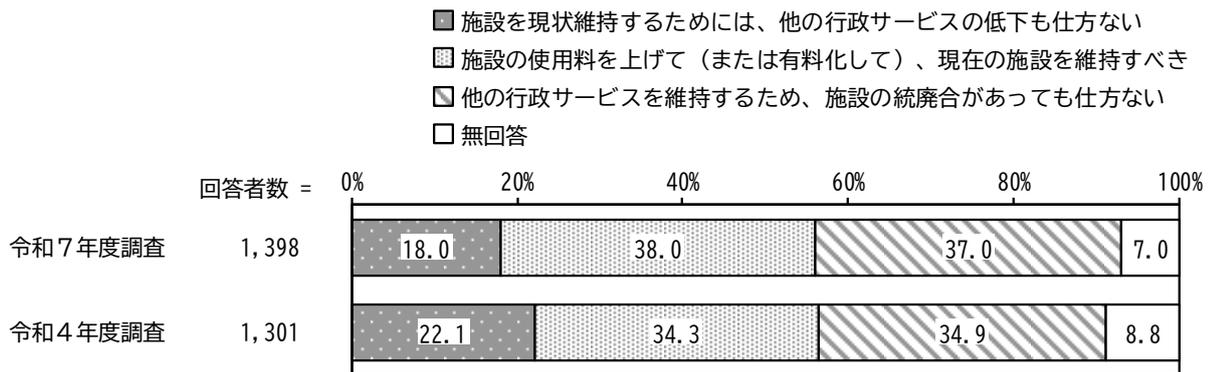
【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▩ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

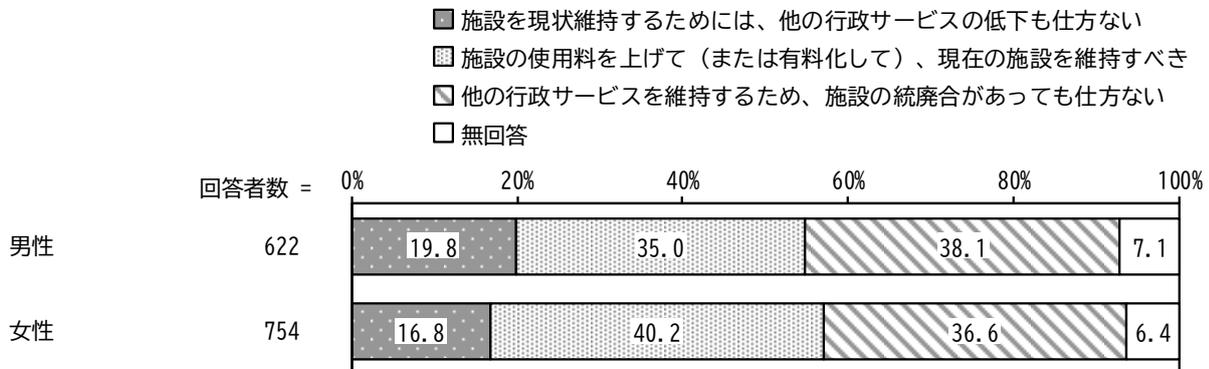


## 9 市民館

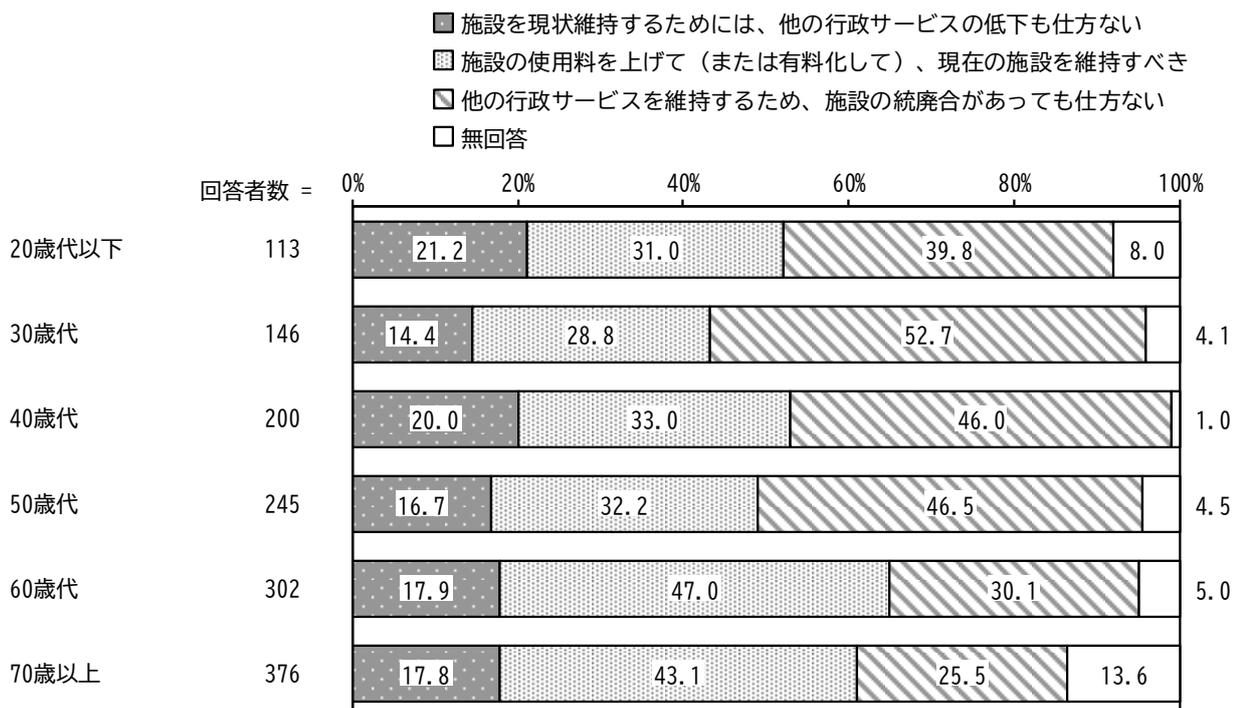
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



### 【性別】

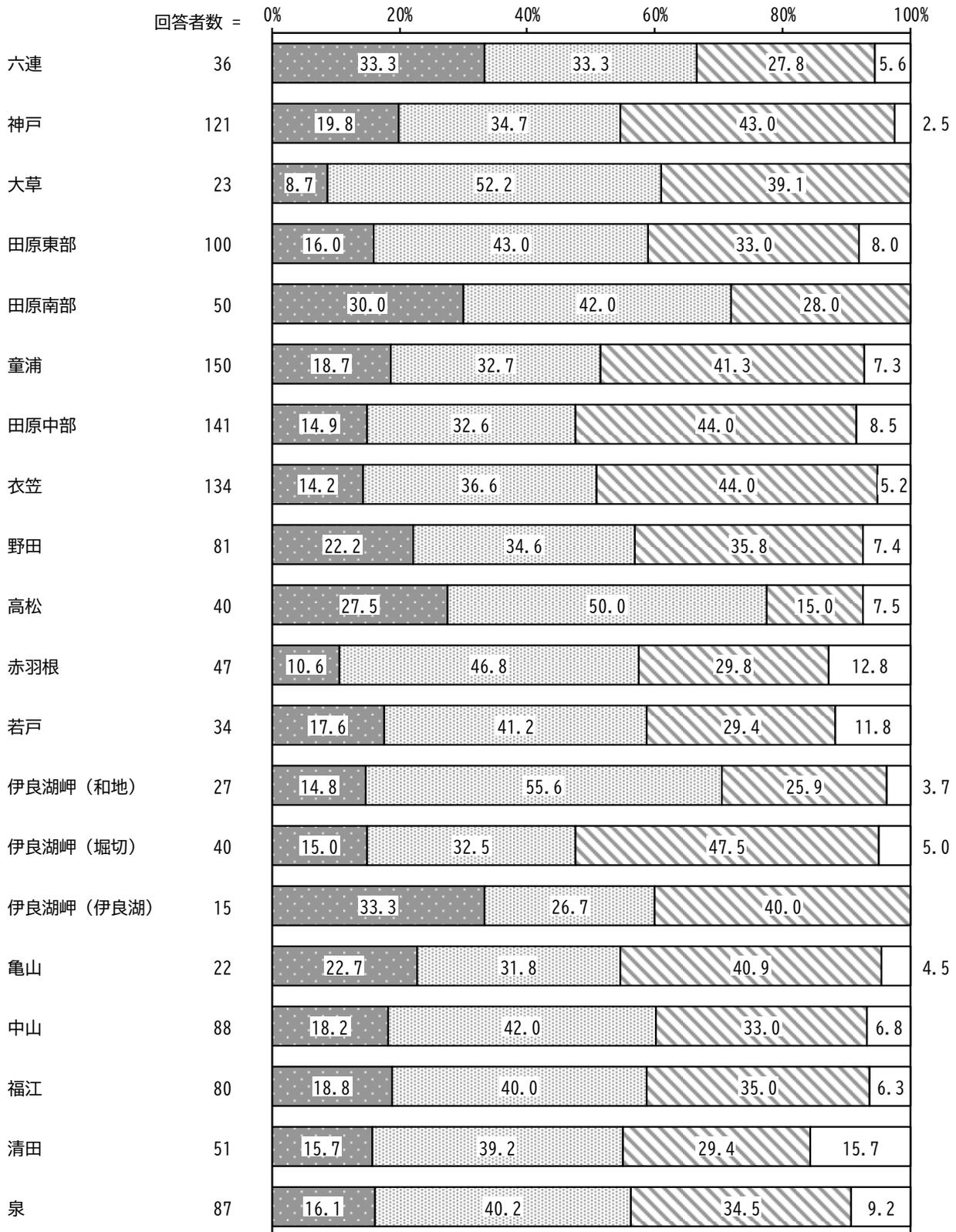


### 【年齢別】



【地区別】

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- ▨ 施設の使用料を上げて（または有料化して）、現在の施設を維持すべき
- ▧ 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



## (6) 市政に対するご意見

問 34 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

### (1) 市民環境について

#### ◆自然環境・衛生対策 (12 件)

- ・河川や干潟の臭いを改善してほしい。(3 件)
- ・除草剤・農薬使用を中止して、自然を守ってほしい。(2 件)
- ・外来種の駆除を実施してほしい。(1 件)
- ・野良猫対策や自然保護、美化活動を推進してほしい。(3 件)
- ・害獣対策をしっかりと進めてほしい。(1 件)
- ・集落排水の改善で豊かな海を取り戻してほしい。(1 件)
- ・ソーラーパネルの無秩序な設置を見直してほしい。(1 件)

#### ◆防犯・安全対策 (20 件)

- ・全地域の美化・安全対策で住民サービスを改善してほしい。(8 件)
- ・農道の通行妨げ、信号無視などを改善してほしい。(7 件)
- ・夜間の街灯増設や安全対策を強化し、暗い道や不審者の存在による不安を解消してほしい。(2 件)
- ・安全対策の強化を要請する。(3 件)

### (2) 健康福祉について

#### ◆医療 (16 件)

- ・病院の体制を見直して、土日や夜間も診てもらえるようにしてほしい。(13 件)
- ・誰でも診療を受けやすくしてほしい。(3 件)

#### ◆子育て (24 件)

- ・子どもを産み育てやすい市にしてほしい。(10 件)
- ・子どもの医療と健康支援を充実させてほしい。(4 件)
- ・子どもが遊べる公園の整備をしてほしい。(2 件)
- ・未来の子どもたちに予算を充ててほしい。(3 件)
- ・子育てしやすい環境を実現するために予算を充ててほしい。(3 件)
- ・子どもが安全に遊べる公園、遊具など、子どもたちのための施設充実を実現してほしい。(2 件)

#### ◆地域福祉・高齢福祉 (28 件)

- ・生活支援に関する施策を実施してほしい。(2 件)
- ・生活基盤をしっかりと支えてほしい。(2 件)
- ・子育て支援や高齢者支援など生活基盤の充実に力を入れ、住民の福祉向上を図ってほしい。(4 件)
- ・子育て世代と高齢者への支援を均等にしてほしい。(5 件)
- ・福祉施設を充実させてほしい。(5 件)
- ・介護制度や住居の支援を充実させてほしい。(9 件)
- ・病院で高齢者向けのイベントを開催してほしい。(1 件)

### (3) 教育文化について

#### ◆学校・教育（10件）

- ・学校用品や制服代など教育費の負担を軽減してほしい。（4件）
- ・通学路やバス停の整備をしてほしい。（3件）
- ・子ども達の心の育成とキャリア形成に力を入れてほしい。（1件）
- ・小・中学校を統合してほしい。（2件）

#### ◆スポーツ・文化（9件）

- ・子どもたちが快適にスポーツに取り組める環境にしてほしい。（2件）
- ・スポーツイベントの見直しを求める。（3件）
- ・文化施設の活用を推進してほしい。（3件）
- ・文化・レクリエーション施設を維持してほしい。（1件）

### (4) 産業経済について

#### ◆産業振興・魅力づくり（39件）

- ・観光資源PRでまちを活性化してほしい。（2件）
- ・観光・移住でまちを活性化してほしい。（7件）
- ・観光施設の充実と外部誘致を進め、観光と住民生活のバランスを整えてほしい。（2件）
- ・観光やレジャー施設を整え、低価格で利用できるようにしてほしい。（4件）
- ・暮らしやすく、観光に強いまちづくりを実現してほしい。（10件）
- ・自給自足体制を確立してほしい。（4件）
- ・企業誘致や道路保全を進め、まち全体の発展を実現してほしい。（4件）
- ・スーパー・飲食店の充実で地域自給体制を強化してほしい。（4件）
- ・高齢農業者支援と農業イベントを実施してほしい。（2件）

#### ◆雇用・労働（5件）

- ・雇用創出の実現。（3件）
- ・就業支援を強化してほしい。（2件）

### (5) 都市整備について

#### ◆まちづくり（49件）

- ・景観の整備を徹底してほしい。（7件）
- ・花のまちの魅力を高める施策を実施してほしい。（3件）
- ・安全で魅力あるまちづくりを推進してほしい。（9件）
- ・市街地だけでなく、郊外の整備も進めてほしい。（3件）
- ・鉄道・道路整備で観光収益を市民に還元するまちづくりを進めてほしい。（5件）
- ・道の駅などを活かした活気あるまちづくりを実施してほしい。（3件）
- ・若者が住みたくなる魅力あるまちにしてほしい。（7件）
- ・子どもたちのために、住みやすい環境と地域交流を推進してほしい。（2件）
- ・移住しやすい地域にしてほしい。（4件）
- ・若者定着と少子高齢化防止を目指してほしい。（6件）

◆インフラ整備（43件）

- ・交通・安全インフラを強化してほしい。（10件）
- ・通行環境を整備してほしい。（8件）
- ・道路や歩道の雑草・枝の除去、環境美化を徹底して歩行環境の改善を図ってほしい。（3件）
- ・道路周りの整備をしてほしい。（5件）
- ・道路整備、治安対策、医療や上下水道の改善を図ってほしい。（3件）
- ・公共の水辺の安全管理を徹底してほしい。（5件）
- ・駅から観光地域への交通を改善してほしい。（2件）
- ・交通渋滞の原因となる場所の整備見直しを行い、道路交通環境の改善を求める。（4件）
- ・災害時のための道路・水路の整備と環境改善を進めてほしい。（3件）

◆公共交通（37件）

- ・日常の移動用バスをもっと充実させてほしい。（10件）
- ・定期的なシャトルバス運行やツアーなどの交通サービスを実施してほしい。（3件）
- ・買い物や医療施設へのアクセスを確保してほしい。（2件）
- ・公共交通のルート見直しや増便を行ってほしい。（7件）
- ・ぐるりんバスなど公共交通機関の運行を改善し、移動の利便性向上を実現してほしい。（3件）
- ・高齢者が安心して過ごせるよう、タクシーサービスなど公共交通を充実させてほしい。（4件）
- ・自転車道および公共交通の拡充で利便性を向上させてほしい。（6件）
- ・車を持たずとも安心して移動できるまちにしてほしい。（2件）

（6）消防防災について

◆防災・減災対策（6件）

- ・災害時の住民支援体制の強化をしてほしい。（4件）
- ・避難所での支援を向上させてほしい。（2件）

（7）市政・行政について

◆市役所・行政サービス等（39件）

- ・市民が情報をすぐ得られる仕組みにしてほしい。（12件）
- ・市民の生活に直結する施策を徹底してほしい。（9件）
- ・長期的な市政の方向性を明確にしてほしい。（3件）
- ・市政の将来目標や方針を明確に共有し、住民が安心して暮らせるまちづくりを推進してほしい。（3件）
- ・公共サービスの質を向上させてほしい。（3件）
- ・市民の声を反映する仕組みを構築してほしい。（7件）
- ・持続可能な運営を実現してほしい。（2件）

◆財政・税金の使い道（52件）

- ・無駄な支出を削減してほしい。（10件）
- ・無駄な支出を削減し、市政改革を推進してほしい。（4件）
- ・無駄な支出を削減して、住みやすい市政を実現してほしい。（4件）
- ・予算配分を再検討してほしい。（8件）

- ・税金還元と市民サービスの充実を図ってほしい。(7件)
- ・市議や市長の報酬を見直してほしい。(6件)
- ・透明性のある市政運営を進めてほしい。(5件)
- ・物価高に対する施策を講じてほしい。(4件)
- ・子どもの数に応じて減税してほしい。(1件)
- ・市民の安全と利便性を最優先とした施策に予算を使ってほしい。(3件)

#### (8) その他

##### ◆その他(8件)

- ・アンケートなど市民参加の仕組みを見直し、「わからない」などの選択肢を導入して意見が反映されやすいように改善してほしい。(2件)
- ・昔のしきたりや地域ルールを見直してほしい。(4件)
- ・市民の施設利用マナーを改善してほしい。(2件)

## 2 市内事業者

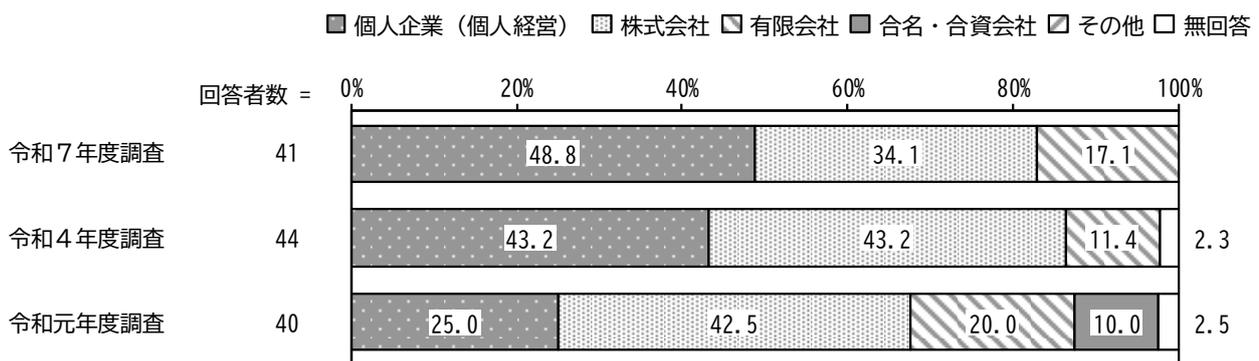
### (1) 回答者属性

問1 あなたの事業所についてお聞きします。

#### 企業形態 (〇は1つ)

「個人企業 (個人経営)」の割合が 48.8% と最も高く、次いで「株式会社」の割合が 34.1%、「有限会社」の割合が 17.1% となっています。

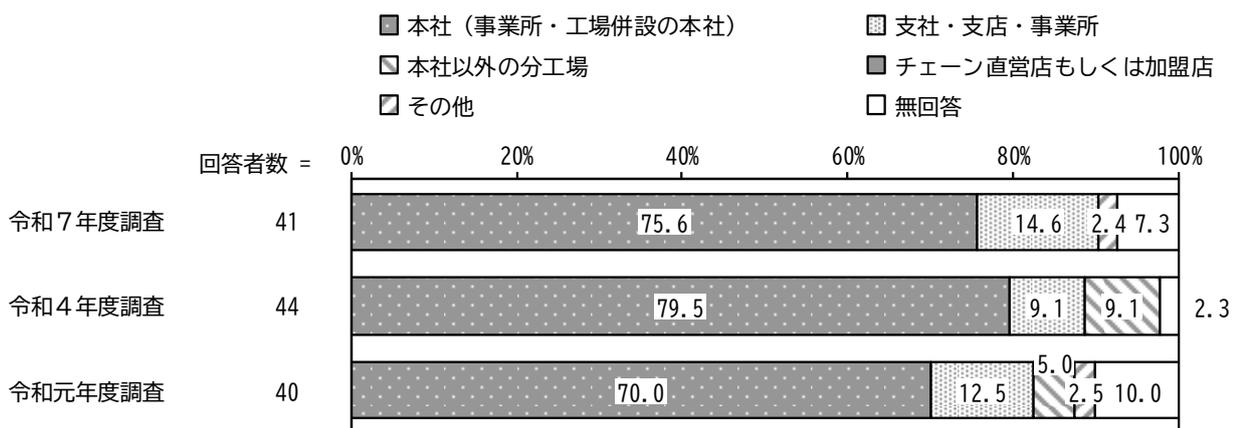
令和4年度調査と比べて、「有限会社」が 5.7 ポイント増加しています。一方、「株式会社」が 9.1 ポイント減少しています。



#### 本社・事業所区分 (〇は1つ)

「本社 (事業所・工場併設の本社)」の割合が 75.6% と最も高く、次いで「支社・支店・事業所」の割合が 14.6% となっています。

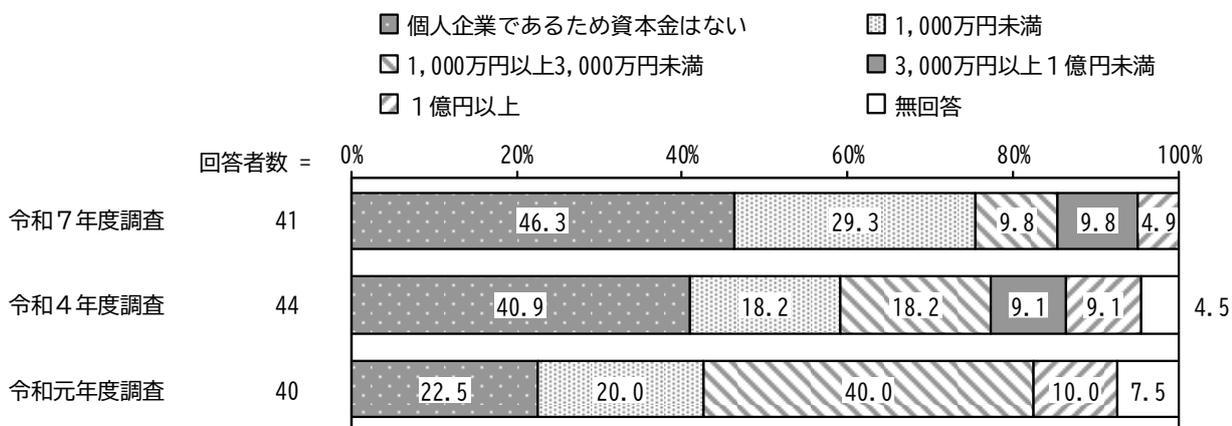
令和4年度調査と比べて、「支社・支店・事業所」が 5.5 ポイント増加しています。一方、「本社以外の分工場」が 9.1 ポイント減少しています。



## 資本金（〇は1つ）

「個人企業であるため資本金はない」の割合が46.3%と最も高く、次いで「1,000万円未満」の割合が29.3%となっています。

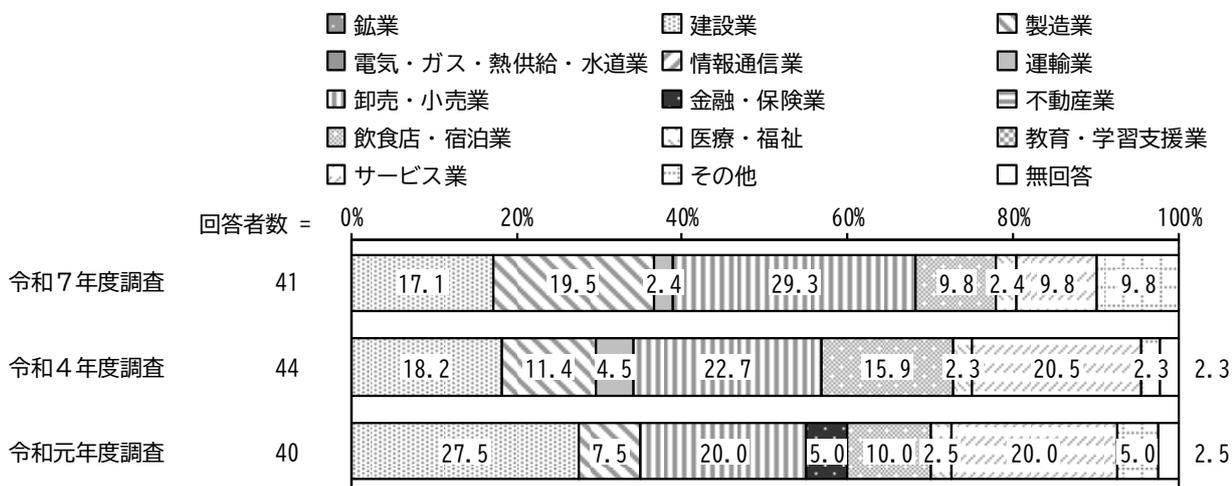
令和4年度調査と比べて、「1,000万円未満」が11.1ポイント増加しています。



## 業種（〇は1つ）

「卸売・小売業」の割合が29.3%と最も高く、次いで「製造業」の割合が19.5%、「建設業」の割合が17.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「卸売・小売業」が6.6ポイント増加し、「サービス業」が10.7ポイント減少しています。

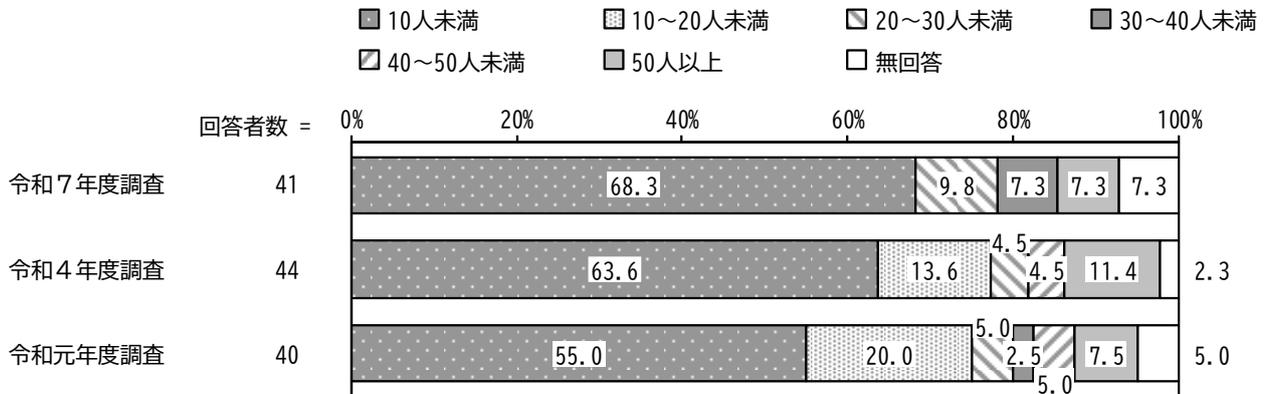


## 従業員数（R7.4.1時点）

### 総数

「10人未満」の割合が68.3%と最も高くなっています。

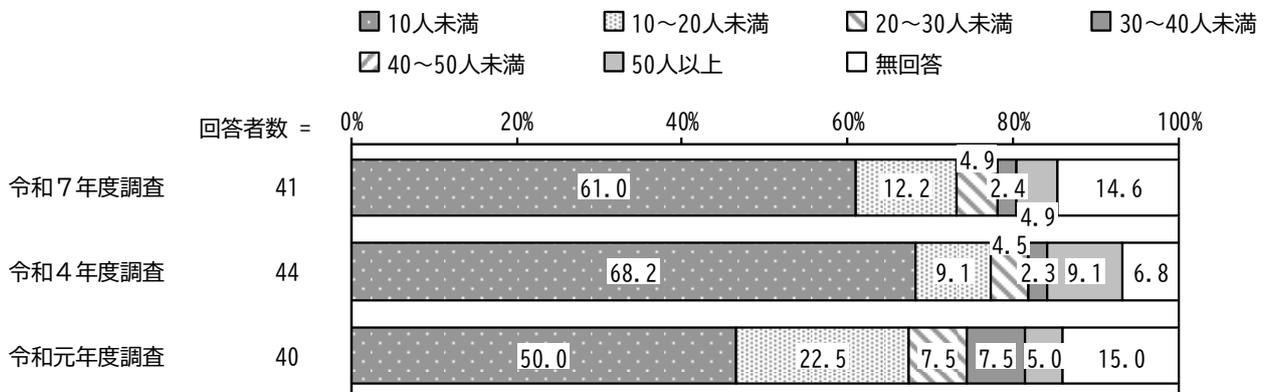
令和4年度調査と比べて、「10～20人未満」が13.6ポイント減少し、「30～40人未満」が7.3ポイント増加しています。



### うち田原市在住

「10人未満」の割合が61.0%と最も高く、次いで「10～20人未満」の割合が12.2%となっています。

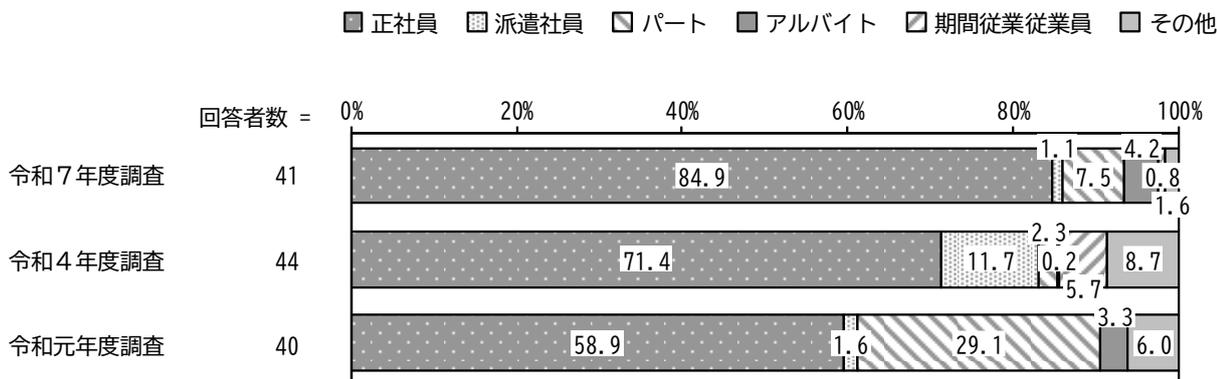
令和4年度調査と比べて、「10人未満」が7.2ポイント減少しています。



## 従業員の内訳

「正社員」の割合が84.9%と最も高くなっています。

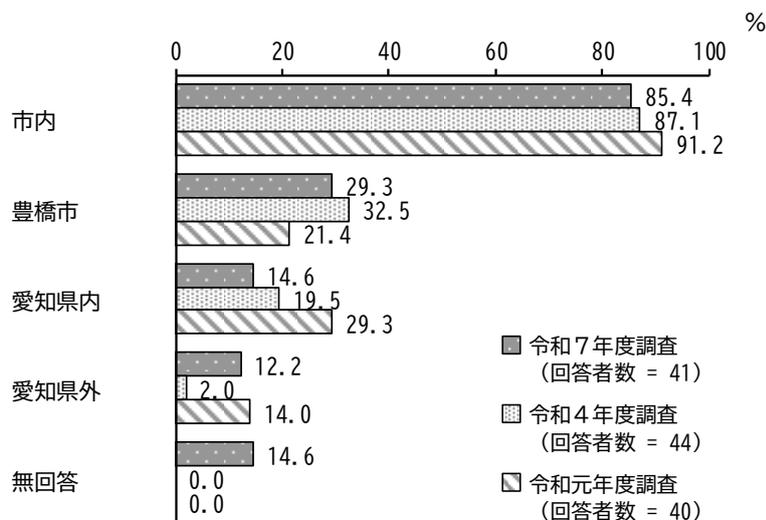
令和4年度調査と比べて、「正社員」が13.5ポイント増加し、「派遣社員」が10.6ポイント減少しています。



## あなたの事業所（工場）の従業員の居住先の概ねの比率（各項目に数値を記入）

「市内」の割合が85.4%と最も高く、次いで「豊橋市」の割合が29.3%、「愛知県内」の割合が14.6%となっています。

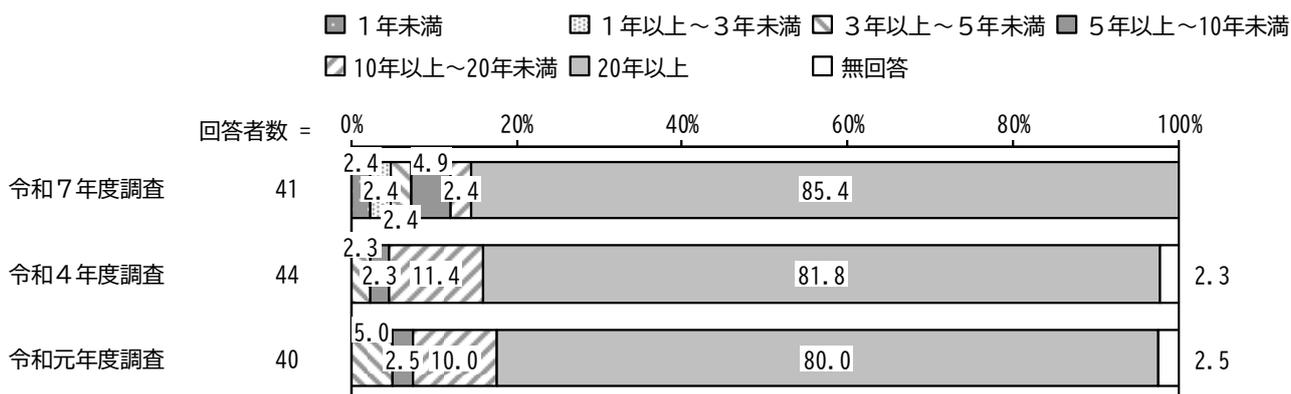
令和4年度調査と比べて、「愛知県外」が10.2ポイント増加しています。



## 田原市での事業年数（○は1つ）

「20年以上」の割合が85.4%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比べて、「10年以上～20年未満」が9.0ポイント減少しています。

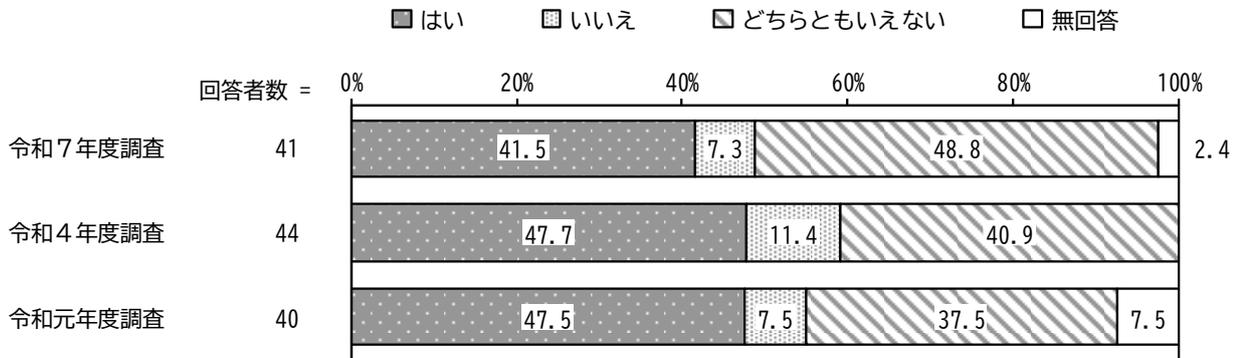


## (2) 田原市の事業環境について

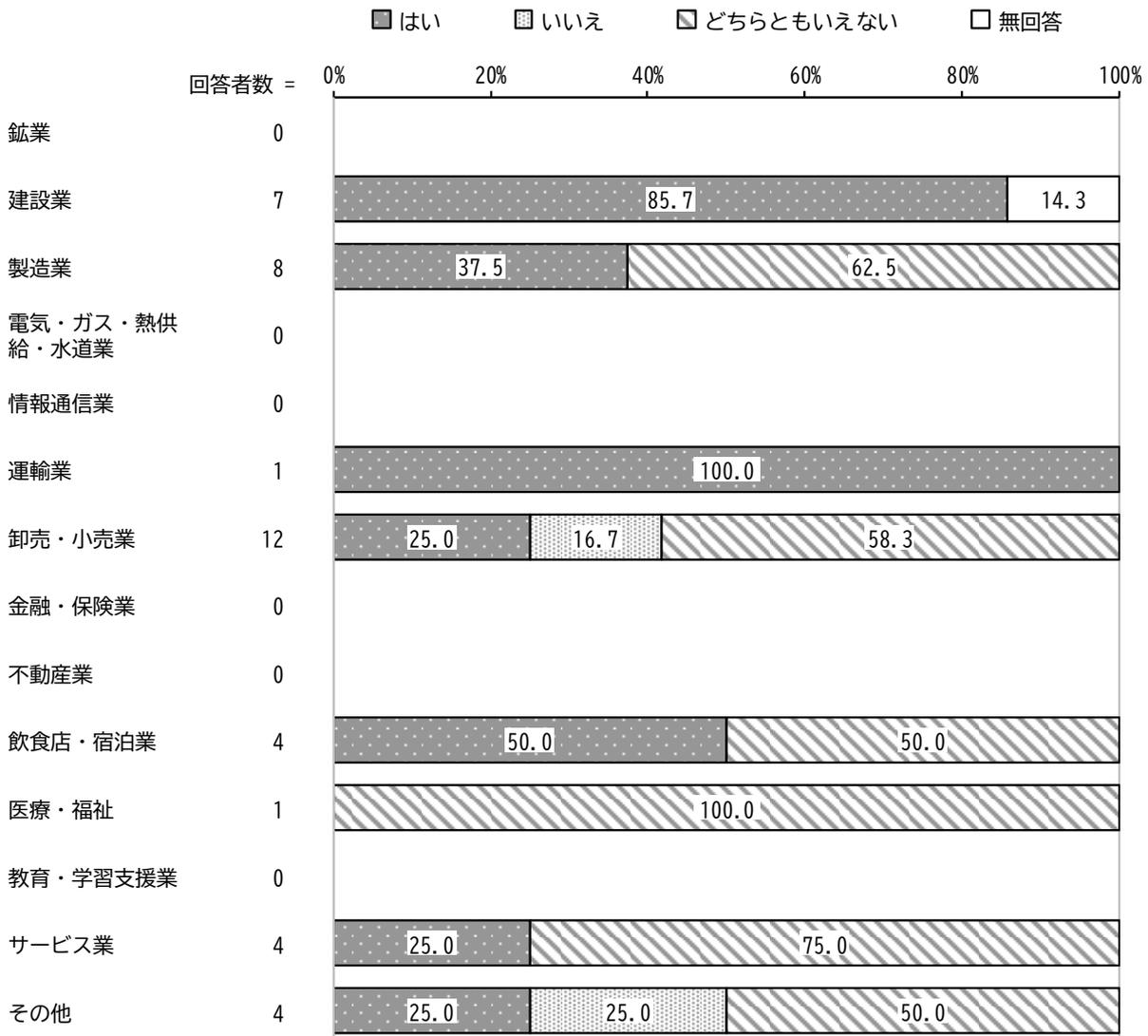
### 問2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が41.5%、「いいえ」の割合が7.3%、「どちらともいえない」の割合が48.8%となっています。

令和4年度調査と比べて、「はい」が6.2ポイント減少しています。



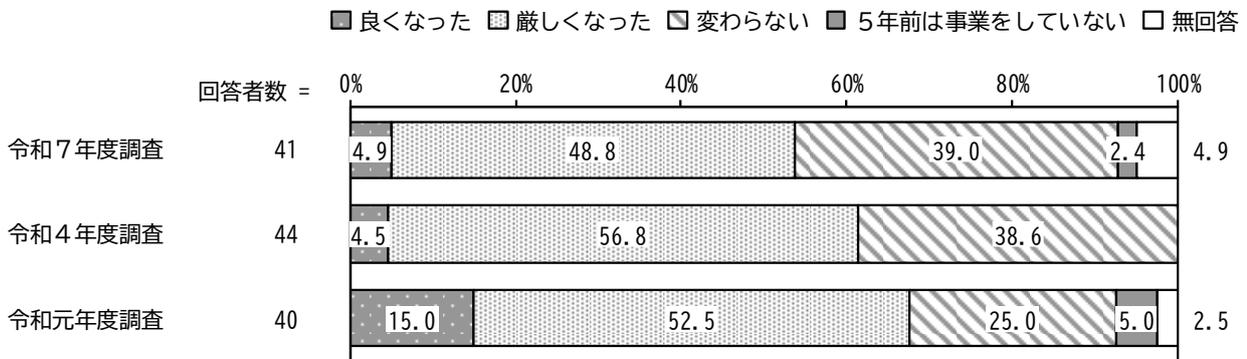
### 【業種別】



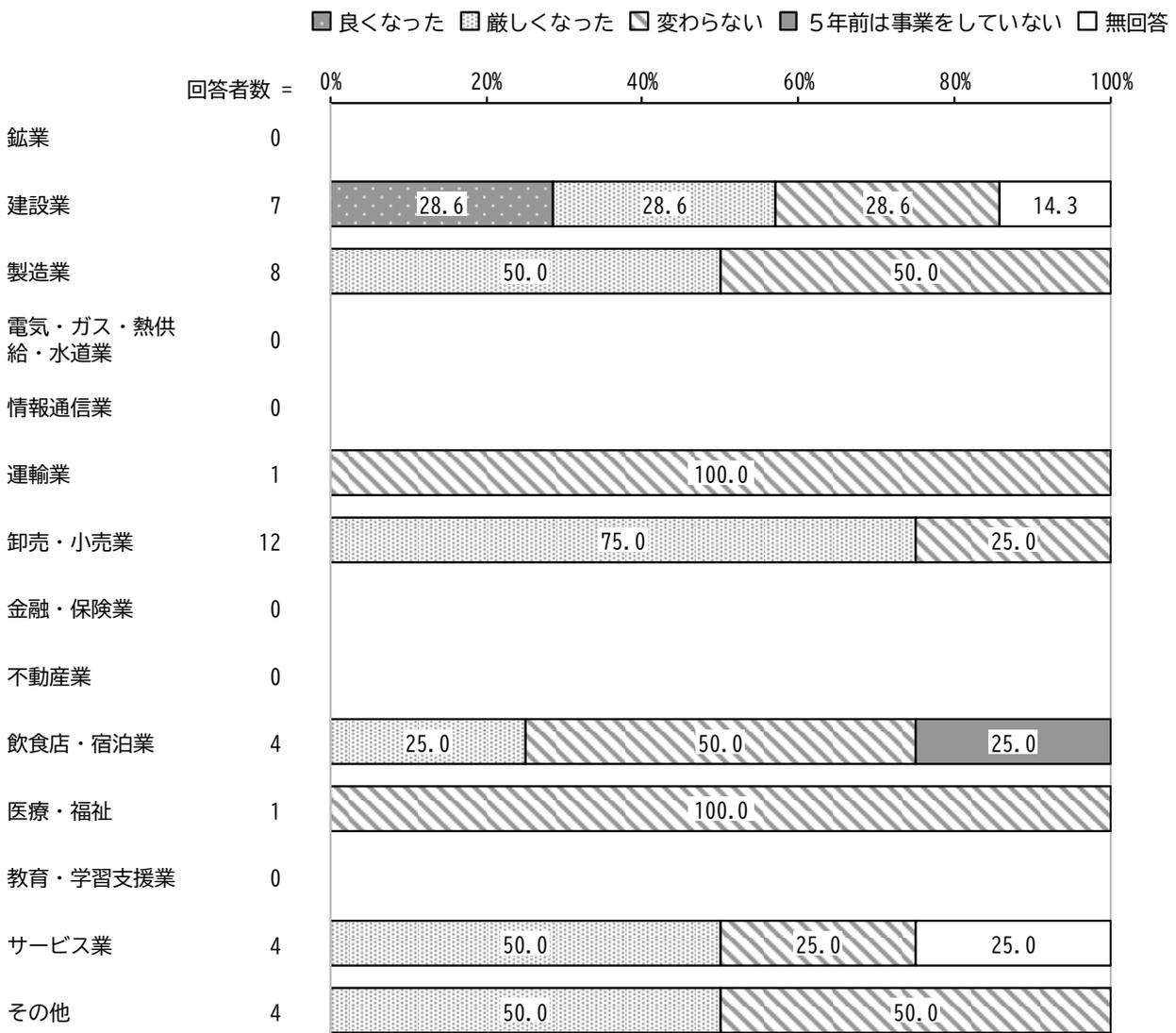
問3 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。  
(〇は1つ)

「厳しくなった」の割合が48.8%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が39.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「厳しくなった」が8.0ポイント減少しています。



【業種別】



問4 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、厳しくなった点などを、具体的にお聞かせください。

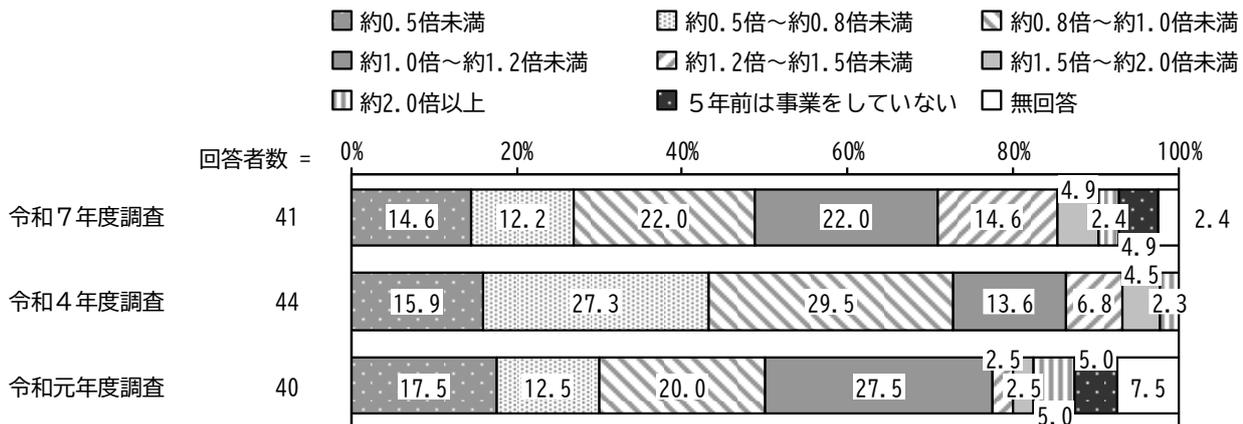
- ・ 市役所の仕事をさせて頂いたり、緑が多い環境なのでそれなりに仕事がある。
- ・ 過疎化が進んだので高齢者が多く、若い人が来ない。
- ・ 高齢化が進み、様々なことに配慮が求められている。市場が縮小傾向である。
- ・ 客数の減少、市外への流失。
- ・ 人口減少、販売店舗の増加。
- ・ 農業従事者不足、後継者不足による生産量の低下。
- ・ ドラッグストアができて、人口も減ったので商店街が少なくなってきた。
- ・ 商品を売っていた店がなくなっていった。
- ・ 新規参入事業所への対応が良くなった。差別的な目で見られなくなった。
- ・ 地理的にインターチェンジから離れている点はマイナス点ですが、風光明媚な景勝地は有利な点と考えている。一方、人材の確保には他の業種同様、苦勞している点が厳しい環境と言える。
- ・ 人口減少により、各テナントの客数減少。
- ・ 木工製造のため、建築形式が変化（和→洋）し、住宅ホーム会社買入により大工さんの仕事が減り、激的に仕事がなくなった。年齢も加わり、あと何年仕事ができるのか不安。
- ・ 高速道路から遠い点。田舎であるため宅配便の集荷が早い点など。
- ・ 過疎化・世帯数の減少。
- ・ 物価高で工事費が高くなった。
- ・ 同業者の増加と少子化による客数の減少。
- ・ 人口減少で売り上げ低下。この先も減益の見通し。
- ・ 人、家、店が少ない。
- ・ 地元での消費が落ちている。
- ・ 人手不足、高齢化。
- ・ 高齢化。若者は街に出てしまう。
- ・ 渥美地区の人口が著しく減少しており自社店舗での販売は厳しくなっている。道の駅などでの売り上げは自社努力もあり伸びている。将来的に自社店舗のあり方も考える必要はあるかもしれない。

### (3) あなたの事業所の事業について

#### 問5 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前の売上高の何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”が48.8%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」を合わせた“1倍以上”が43.9%となっています。

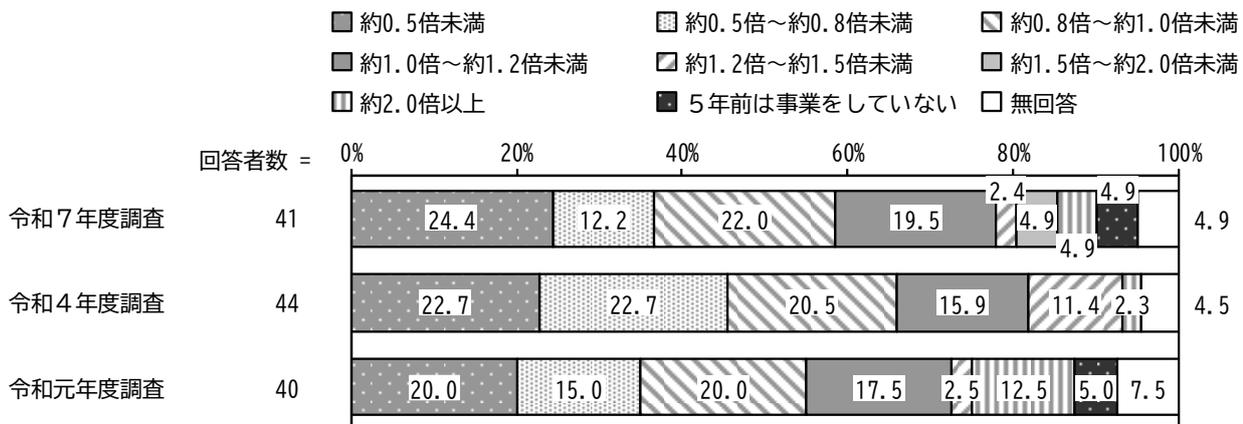
令和4年度調査と比べて、“1倍未満”が23.9ポイント減少、“1倍以上”が16.7ポイント増加しています。



#### 問6 あなたの事業所の直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)の何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”が58.6%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～約2.0倍未満」「約2.0倍以上」を合わせた“1倍以上”が31.7%となっています。

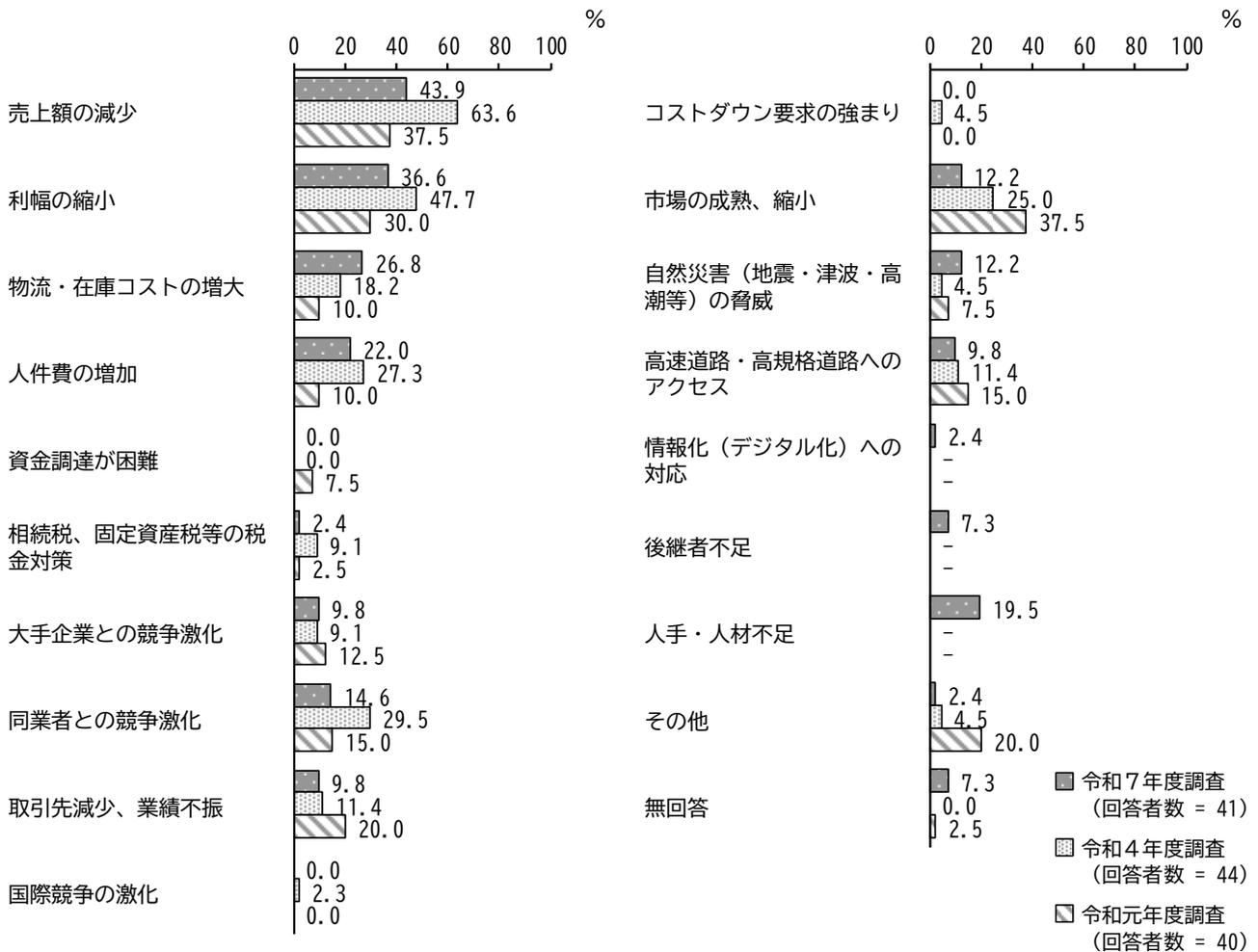
令和4年度調査と比べて、“1倍未満”が7.3ポイント減少しています。



問7 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。(〇は3つまで)

「売上額の減少」の割合が43.9%と最も高く、次いで「利幅の縮小」の割合が36.6%、「物流・在庫コストの増大」の割合が26.8%となっています。

令和4年度調査と比べて、「物流・在庫コストの増大」が8.6ポイント増加しています。一方、「売上額の減少」が19.7ポイント、「同業者との競争激化」が14.9ポイント減少しています。

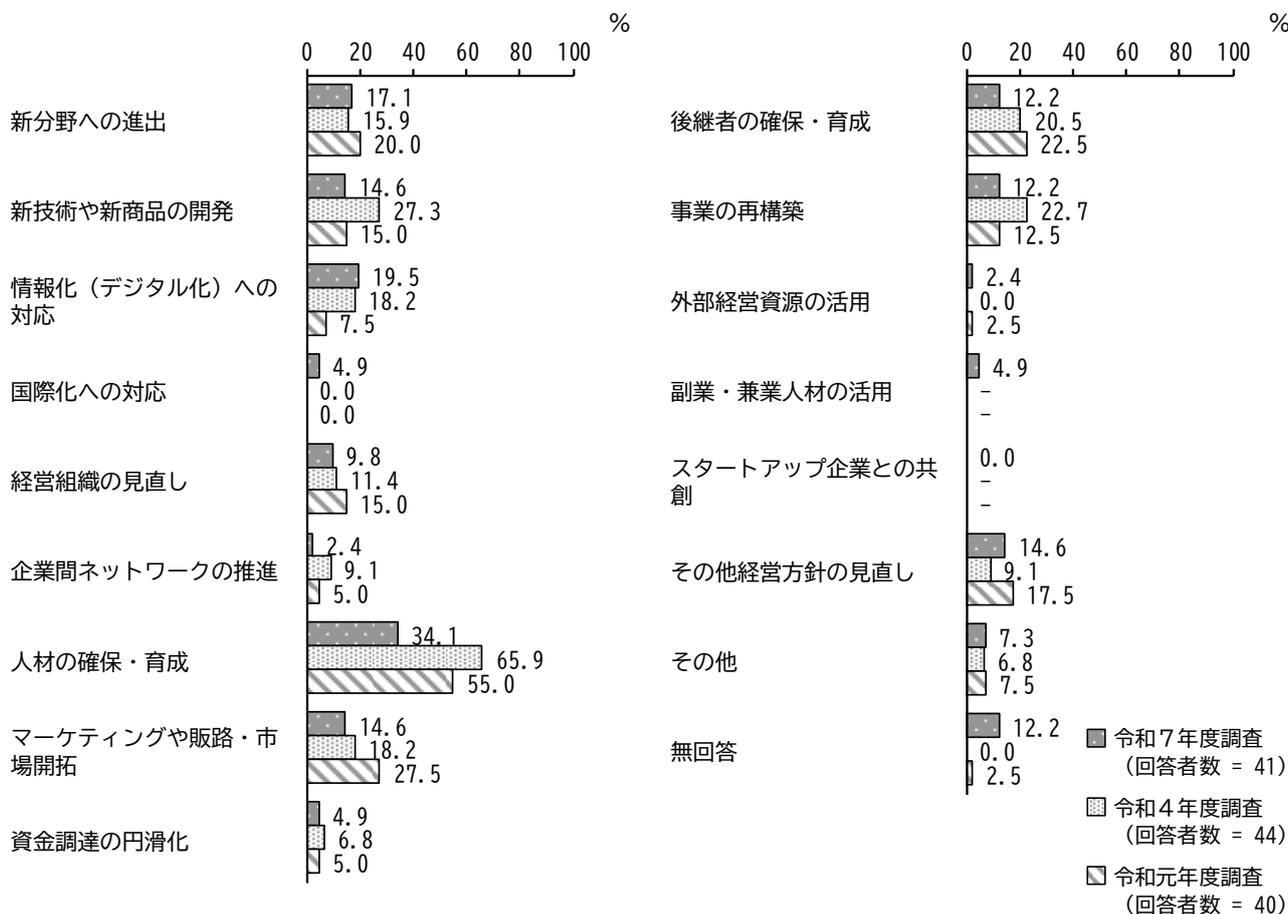


※今回調査から、「情報化（デジタル化）への対応」「後継者不足」「人手・人材不足」の項目を追加しました。

問8 あなたの事業所が今後重視したい取り組みは何ですか。(〇は3つまで)

「人材の確保・育成」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「情報化（デジタル化）への対応」の割合が 19.5%、「新分野への進出」の割合が 17.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「その他経営方針の見直し」が 5.5 ポイント増加しています。一方、「人材の確保・育成」が 31.8 ポイント、「新技術や新商品の開発」が 12.7 ポイント減少しています。



※今回調査から、「副業・兼業人材の活用」「スタートアップ企業との共創」の項目を追加しました。

問9 経営課題を解決する上で、必要となる市の取り組みがありましたら、具体的にご記入ください。

- ・ 経営セミナーの開催。
- ・ 大雨による川や水路の排水の完備。
- ・ 道路・交通網の拡充、環境整備、観光産業の拡充、サービスの向上他。
- ・ 第一に言える事は、地元の人材が確保出来ないこと。どうしても業種が避けられていると思える。他地域より人材を確保して社員寮を準備する等、費用負担が重しとなっている。人材発掘面で支援いただけると有難い。
- ・ 福江市街地への資金の注入。
- ・ 野田の一部区間で、国道 259 号に歩道がないので大変（商売する上でお客さんが店に入りにくい）。道路を広げて歩道を作ってほしい。
- ・ 人口増加・子育て環境の充実。
- ・ 市内での消費に対するメリットを明確にする。
- ・ 農業だけでなく、産業全体の活性化と新たな産業の創出により、さらなる発展を遂げることができる考える。
- ・ 設備投資への補助及び助成。
- ・ 道の駅田原めっくんはうすを移転した方がいいと思う。今のめっくんはうすは産直のみで終わっているのと、販売品目に比べて建物面積が狭いのと、駐車場の数が少ないと思っている。現在、全国で流行っている道の駅のトレンドは、産直以外の取り組みもしている。移転する事で集客力を上げることができると思うのと、めっくんはうすに商品を納めている企業・個人事業主の売り上げアップを見込めるのではないかと思う。そこだけでも目的地になる道の駅を目指してほしい。
- ・ 特になし（3件）

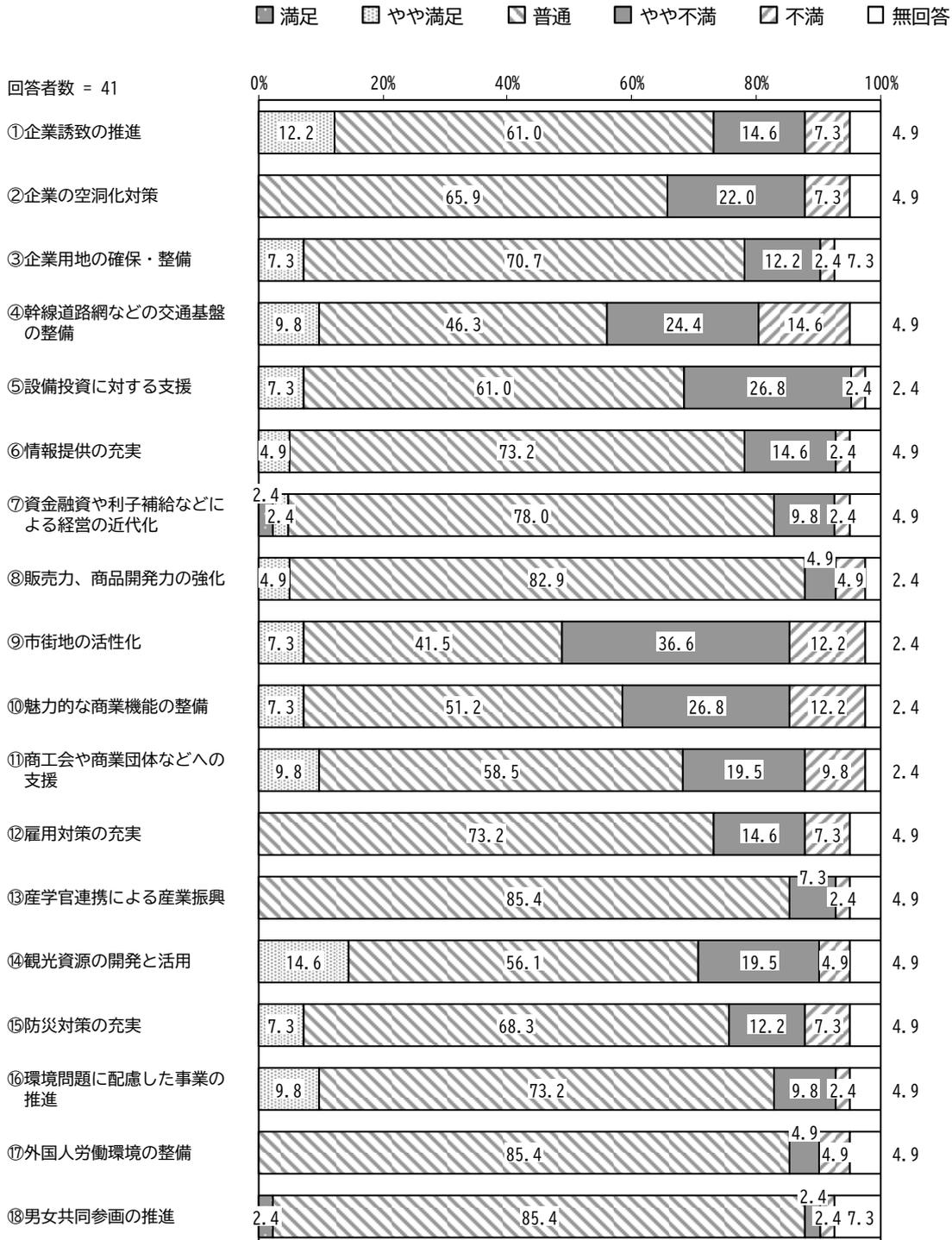
## (4) 市の施策について

問 10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

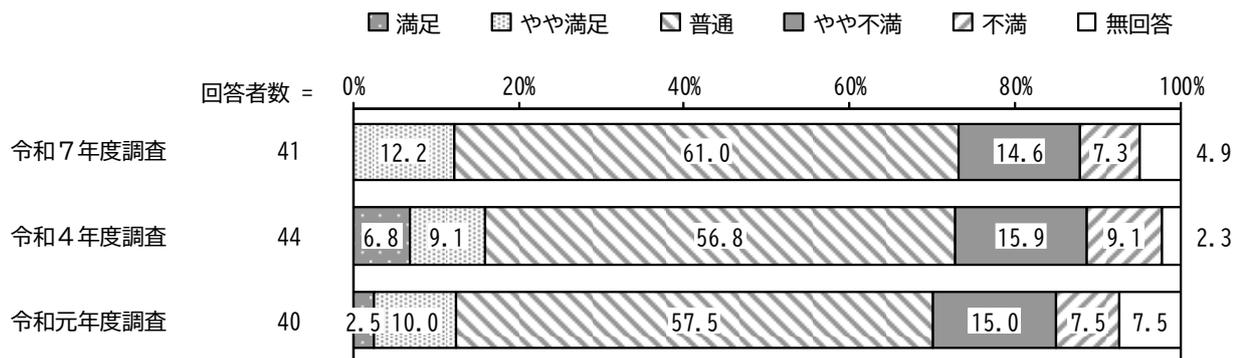
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、「満足」「やや満足」を合わせた“満足”は、『⑤設備投資に対する支援』『⑨市街地の活性化』『⑭観光資源の開発と活用』で増加しています。

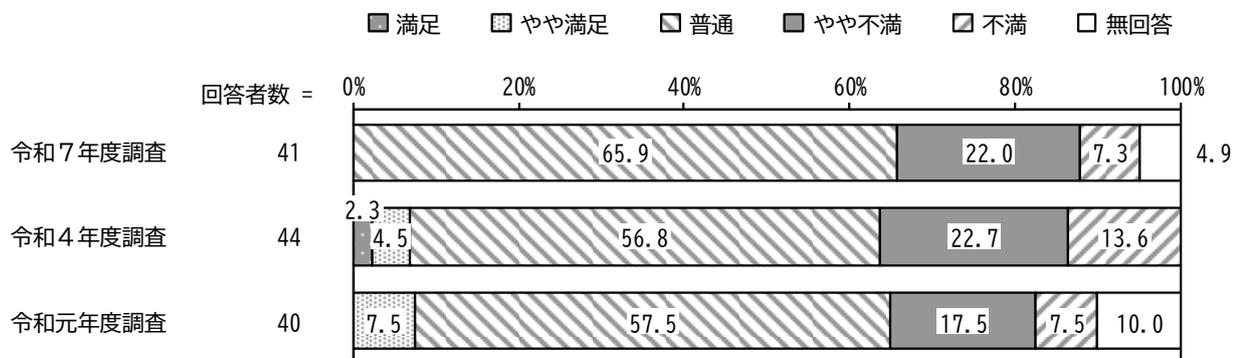
「不満」「やや不満」を合わせた“不満”は、『③企業用地の確保・整備』『⑪商工会や商業団体などへの支援』『⑮防災対策の充実』で増加しています。



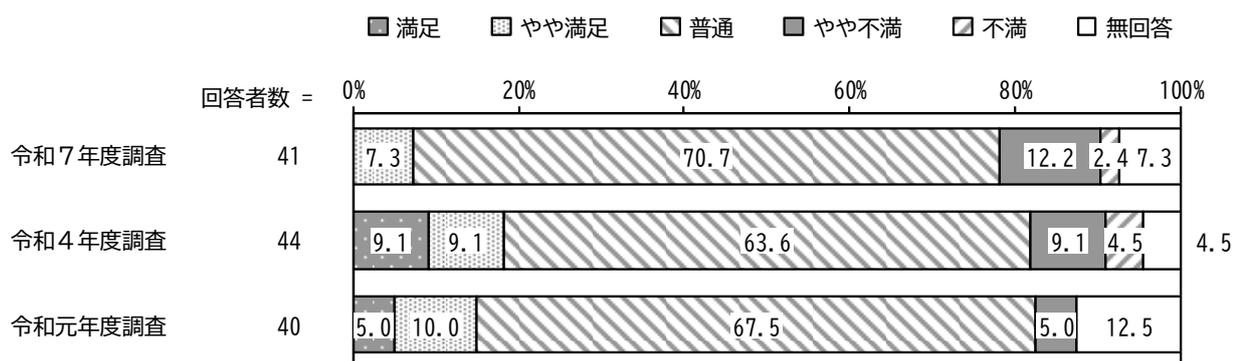
### ①企業誘致の推進



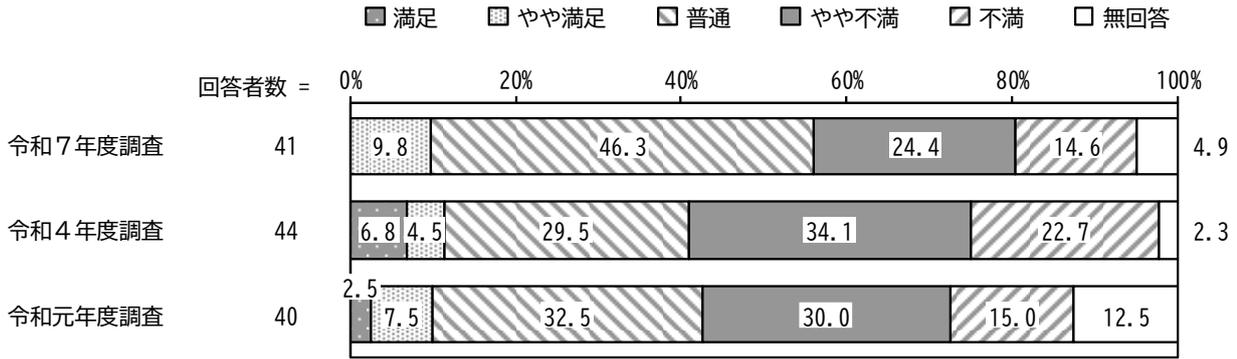
### ②企業の空洞化対策



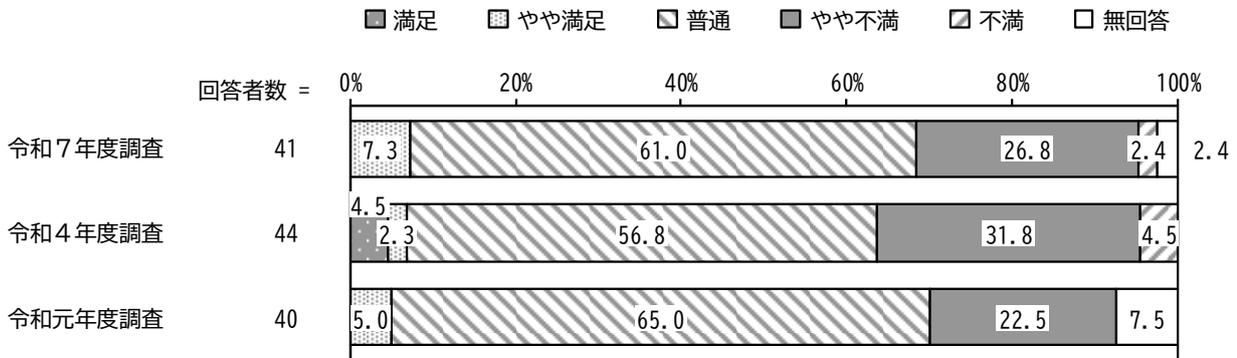
### ③企業用地の確保・整備



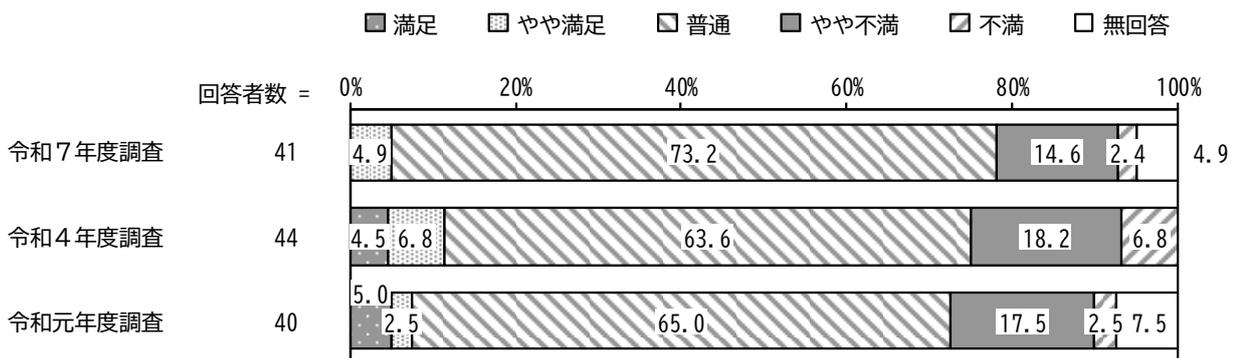
#### ④幹線道路網などの交通基盤の整備



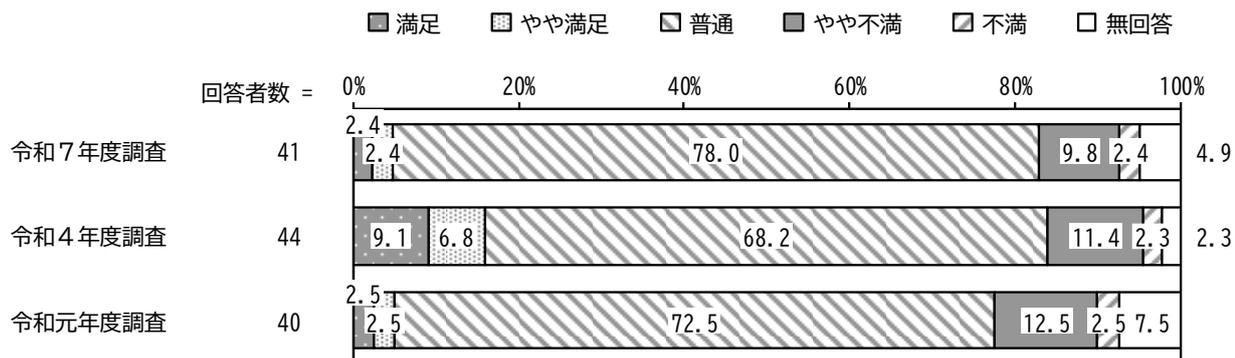
#### ⑤設備投資に対する支援



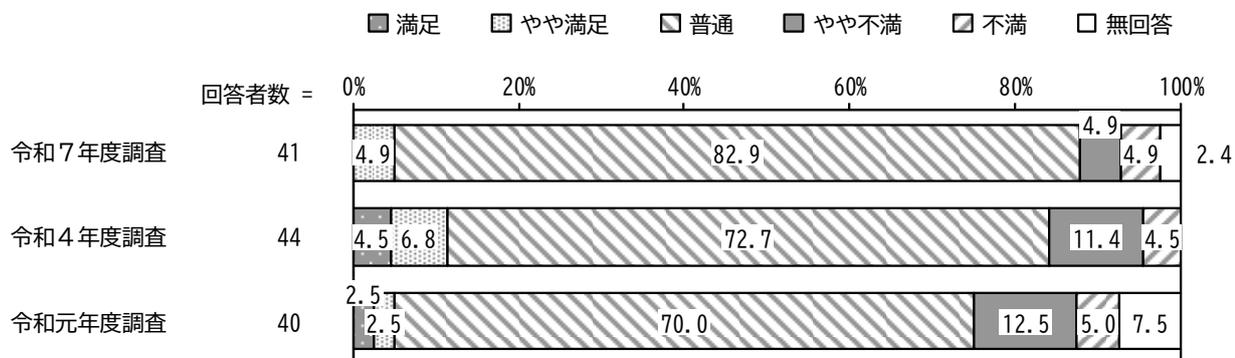
#### ⑥情報提供の充実



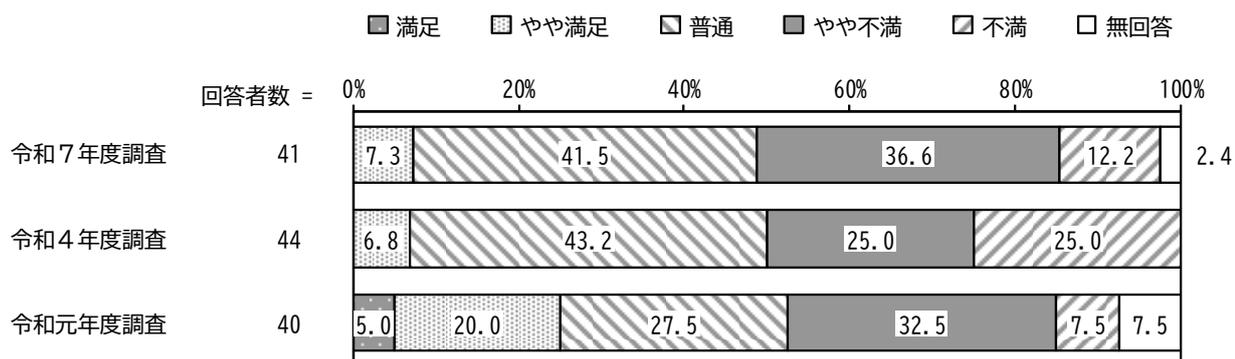
### ⑦ 資金融資や利子補給などによる経営の近代化



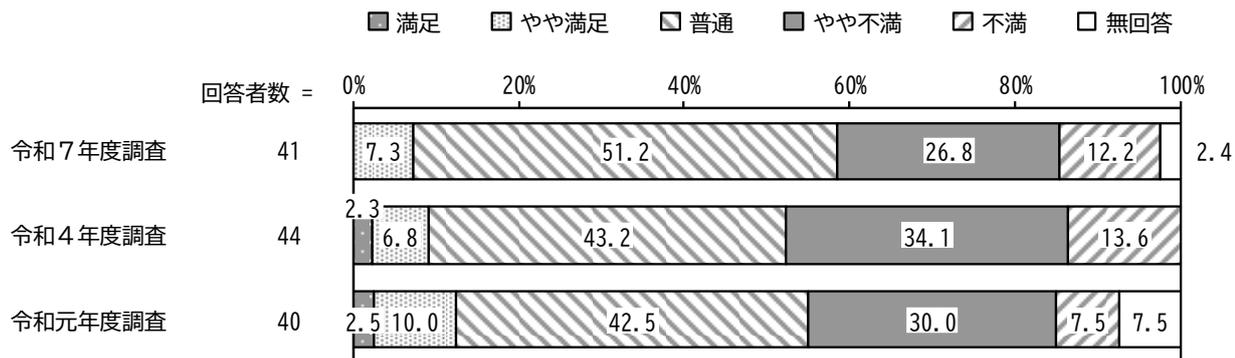
### ⑧ 販売力、商品開発力の強化



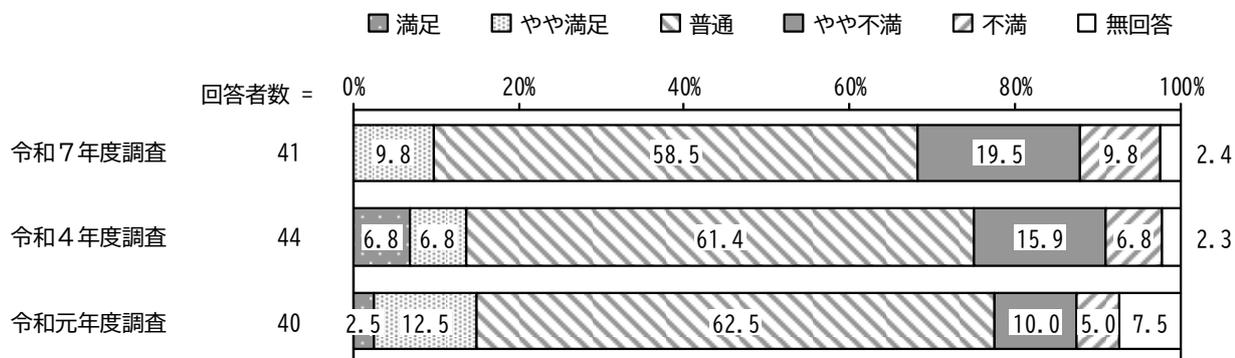
### ⑨ 市街地の活性化



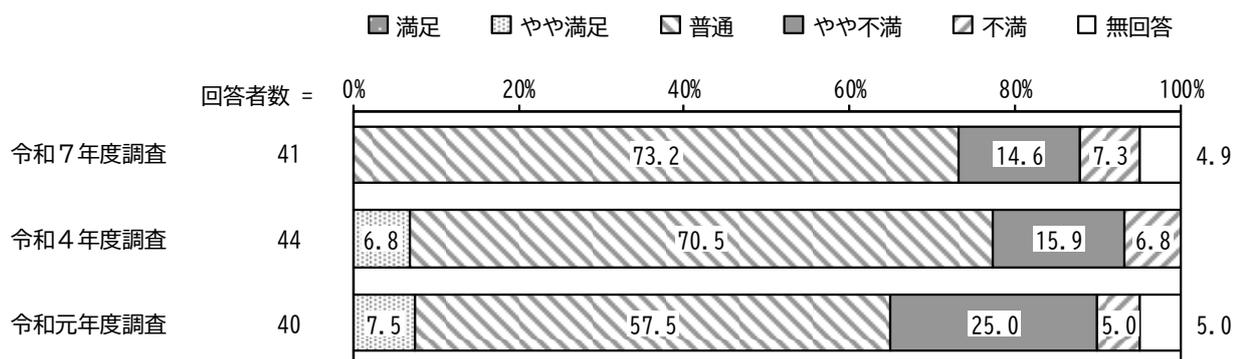
### ⑩魅力的な商業機能の整備



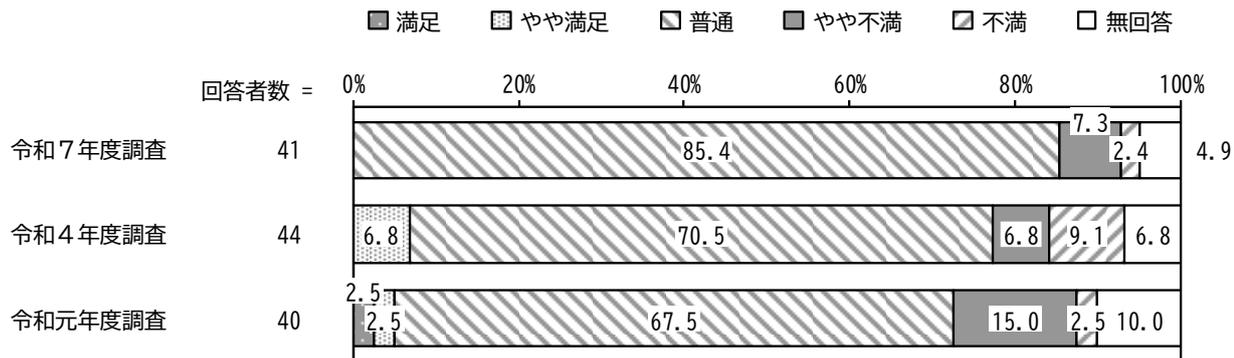
### ⑪商工会や商業団体などへの支援



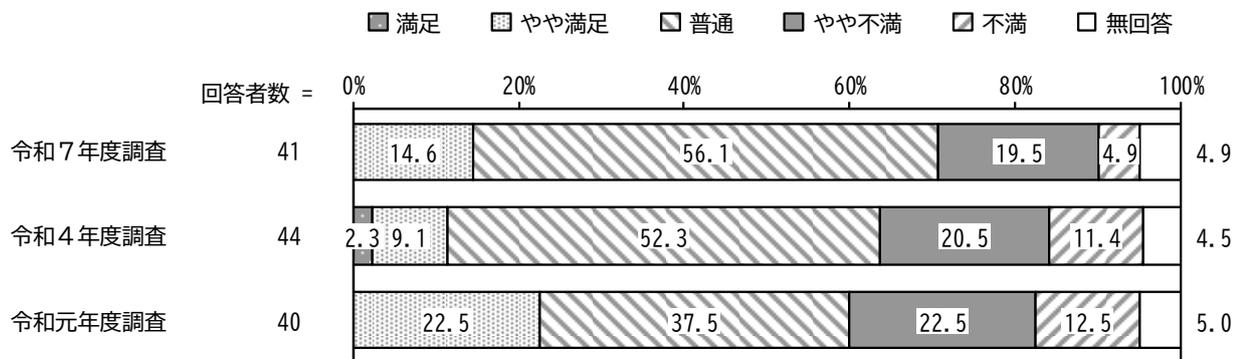
### ⑫雇用対策の充実



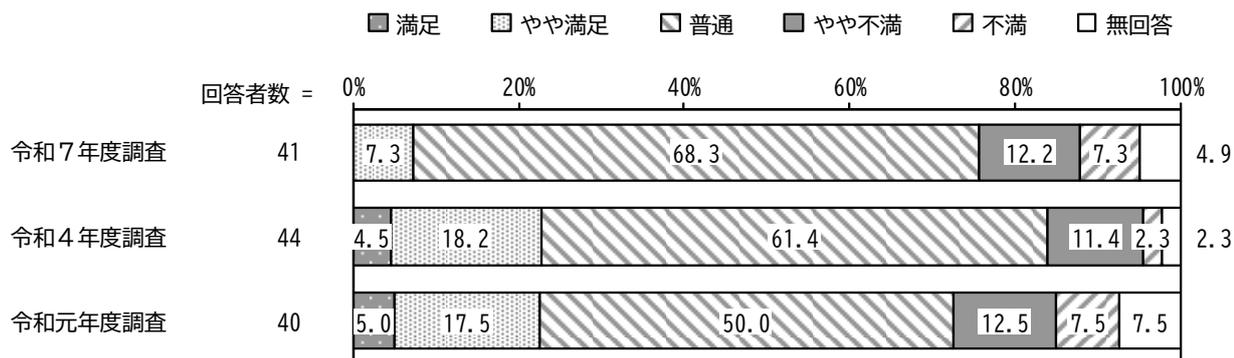
### ⑬産学官連携による産業振興



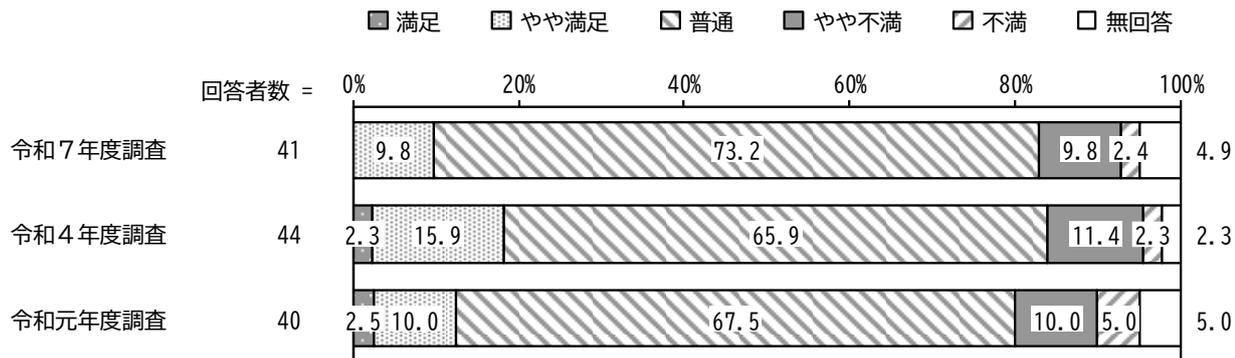
### ⑭観光資源の開発と活用



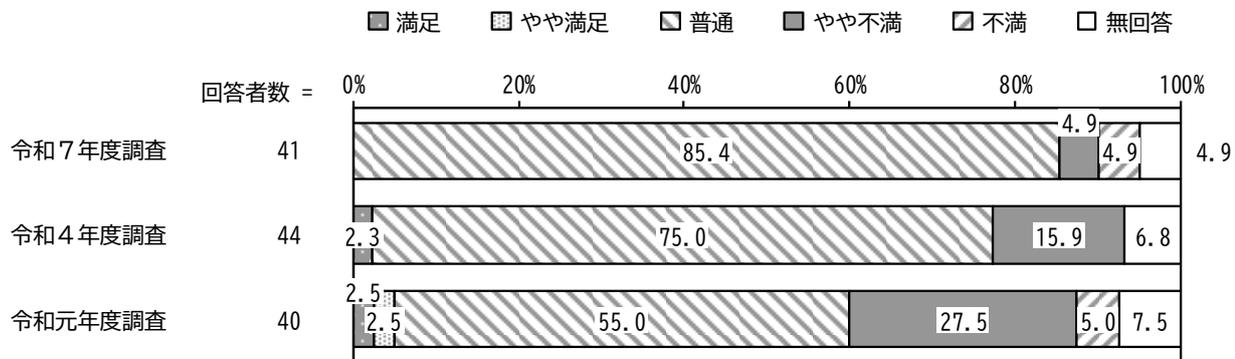
### ⑮防災対策の充実



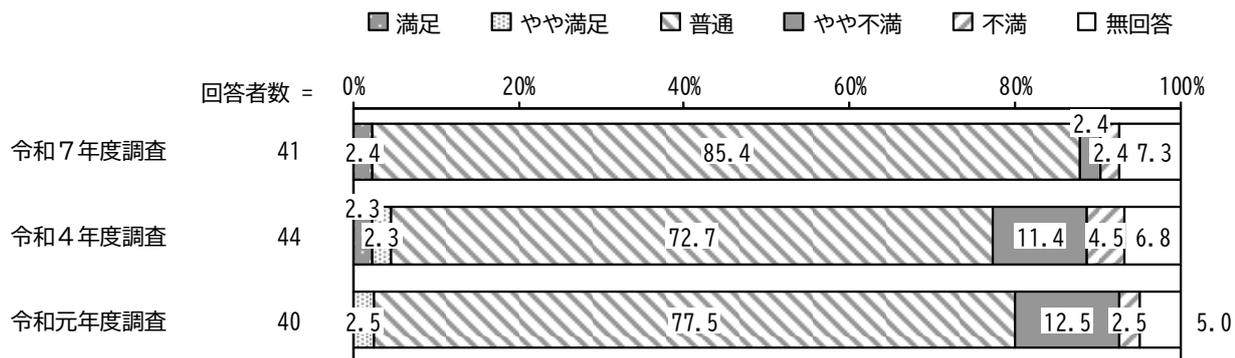
### ⑩環境問題に配慮した事業の推進



### ⑪外国人労働環境の整備



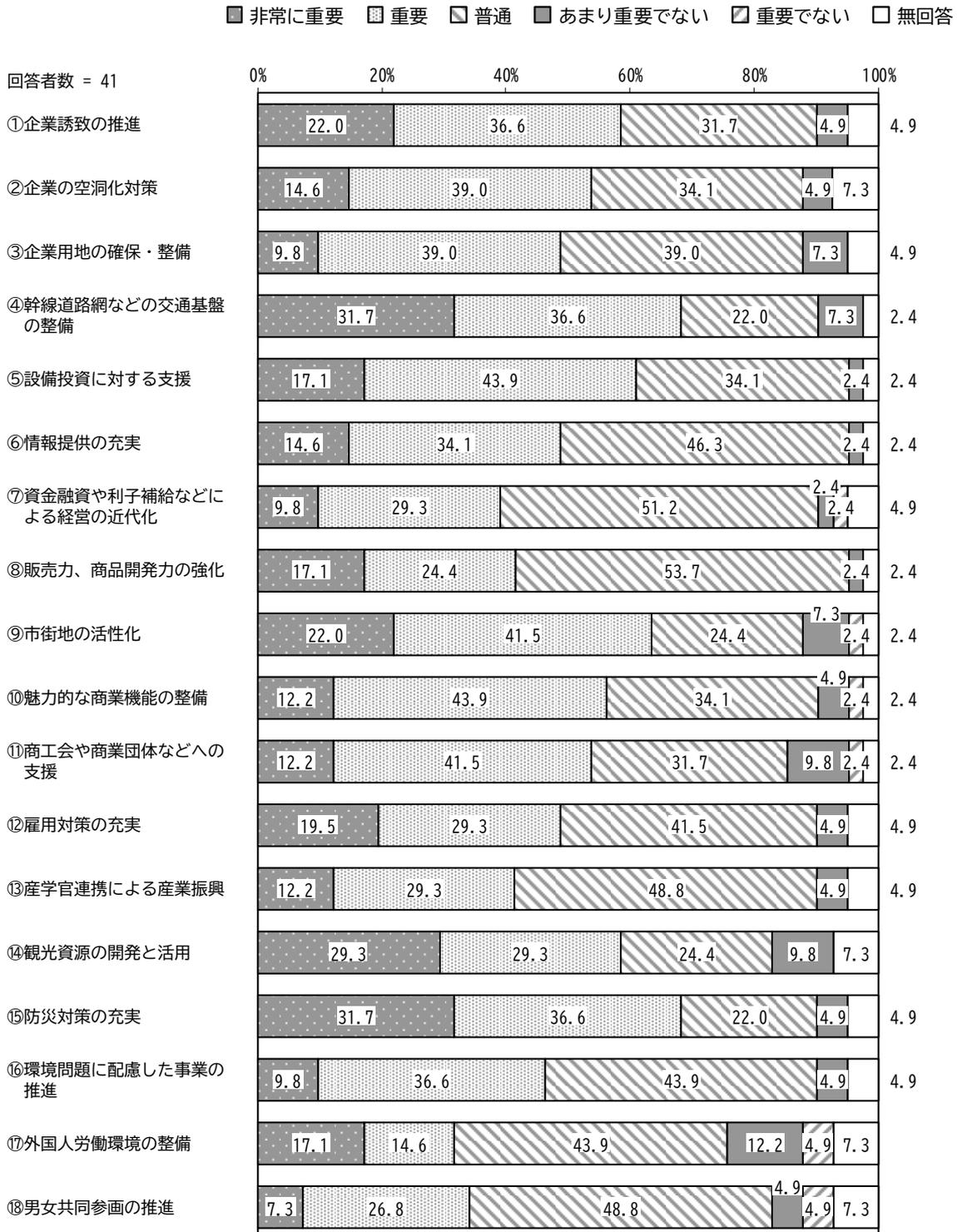
### ⑫男女共同参画の推進



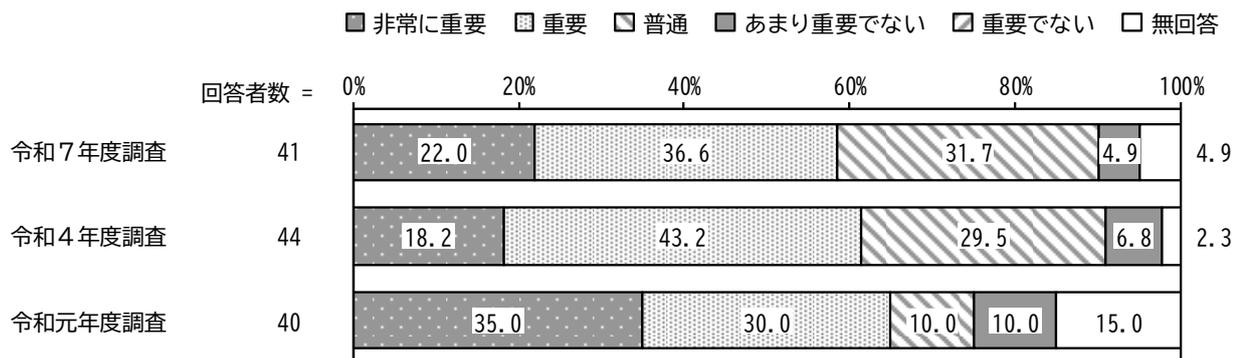
## 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、「非常に重要」「重要」を合わせた“重要”は、『③企業用地の確保・整備』『⑤設備投資に対する支援』『⑧販売力、商品開発力の強化』『⑪商工会や商業団体などへの支援』『⑬産学官連携による産業振興』『⑮防災対策の充実』『⑱男女共同参画の推進』で増加しています。

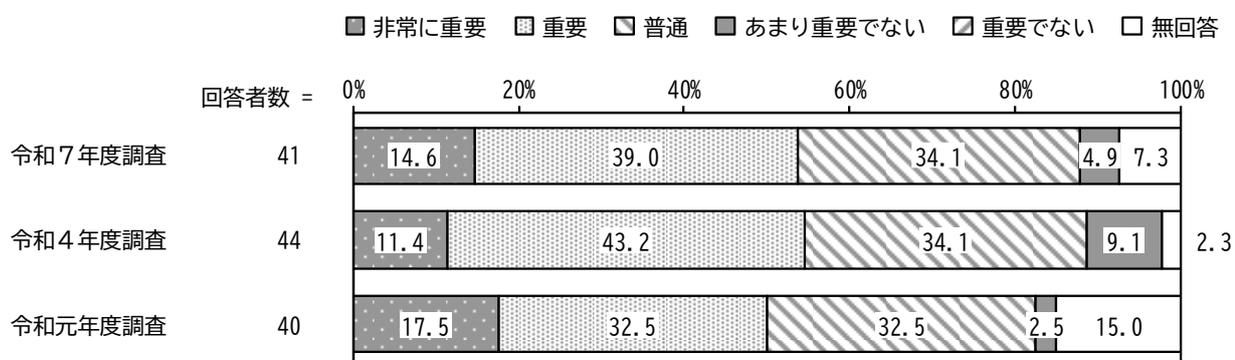
「重要でない」「あまり重要でない」を合わせ“重要でない”は、『①企業誘致の推進』『②企業の空洞化対策』『④企業用地の確保・整備』『⑤設備投資に対する支援』を除く項目で増加しています。



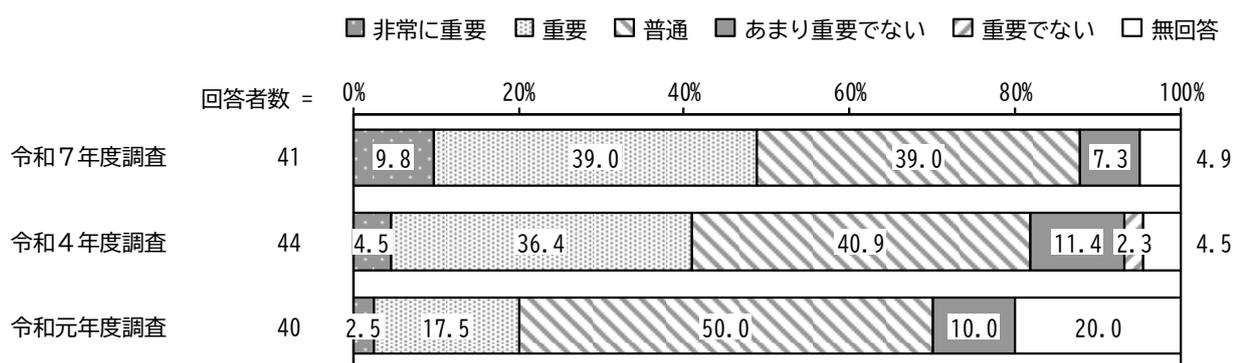
### ①企業誘致の推進



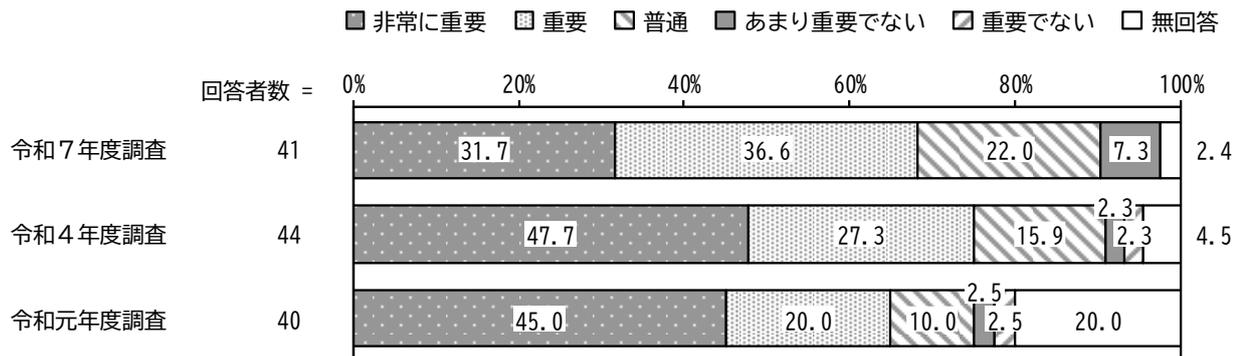
### ②企業の空洞化対策



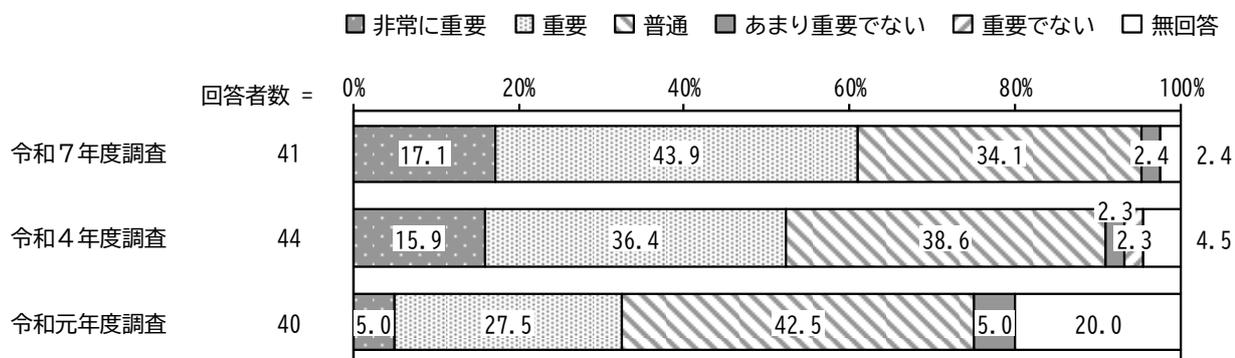
### ③企業用地の確保・整備



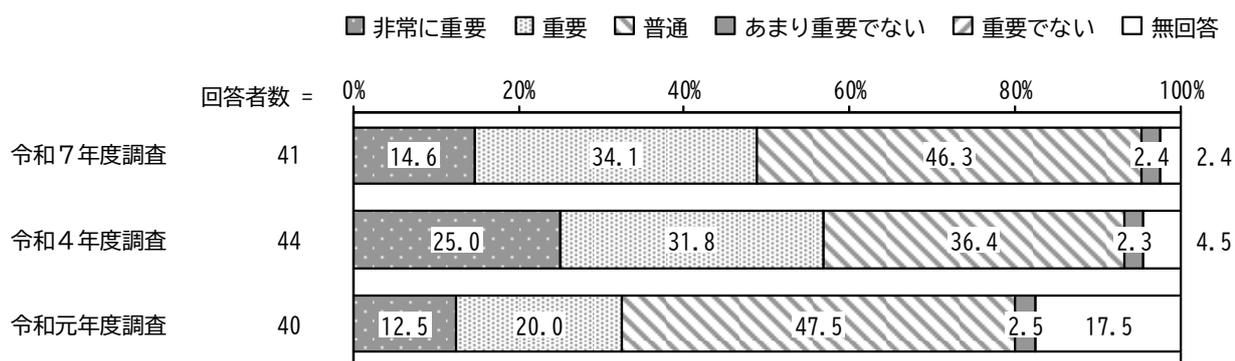
#### ④幹線道路網などの交通基盤の整備



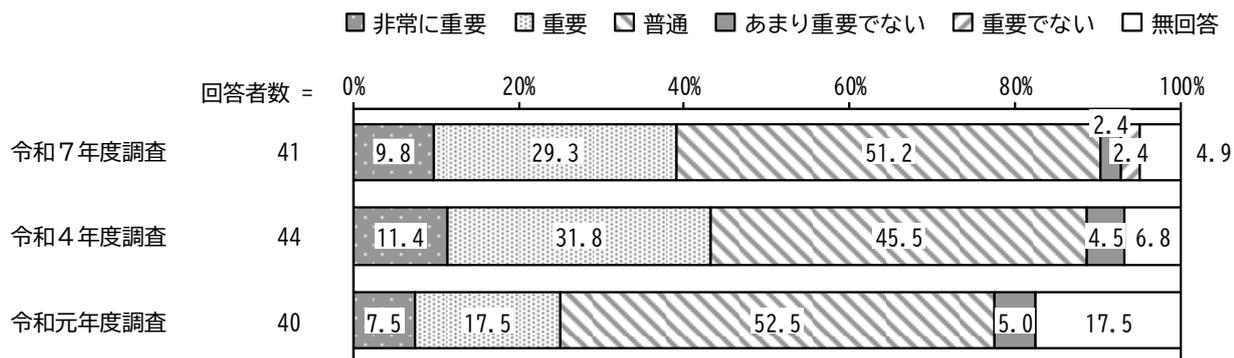
#### ⑤設備投資に対する支援



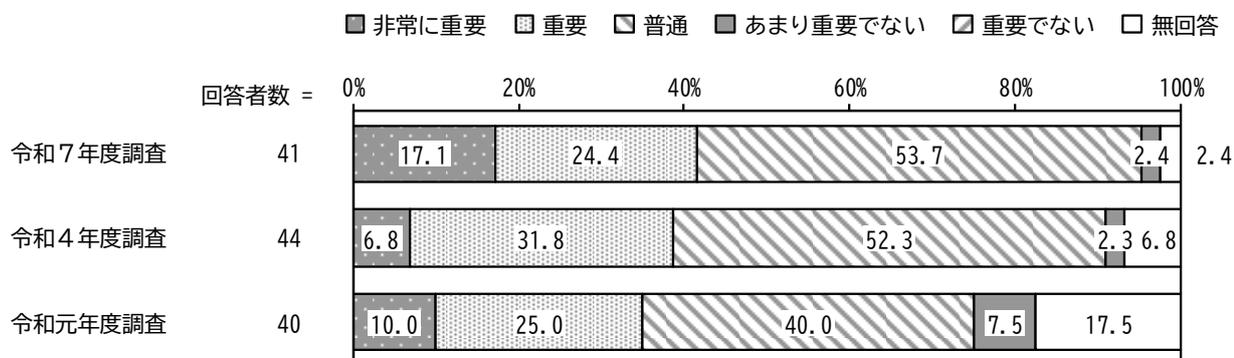
#### ⑥情報提供の充実



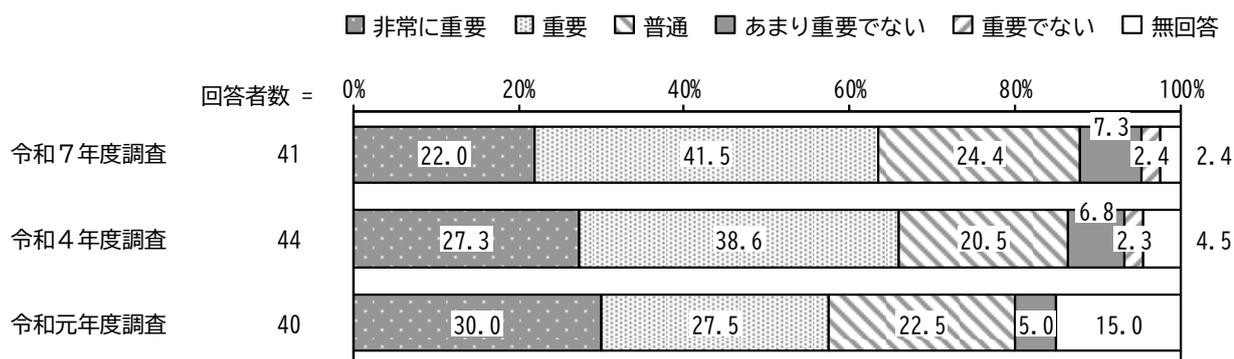
### ⑦ 資金融資や利子補給などによる経営の近代化



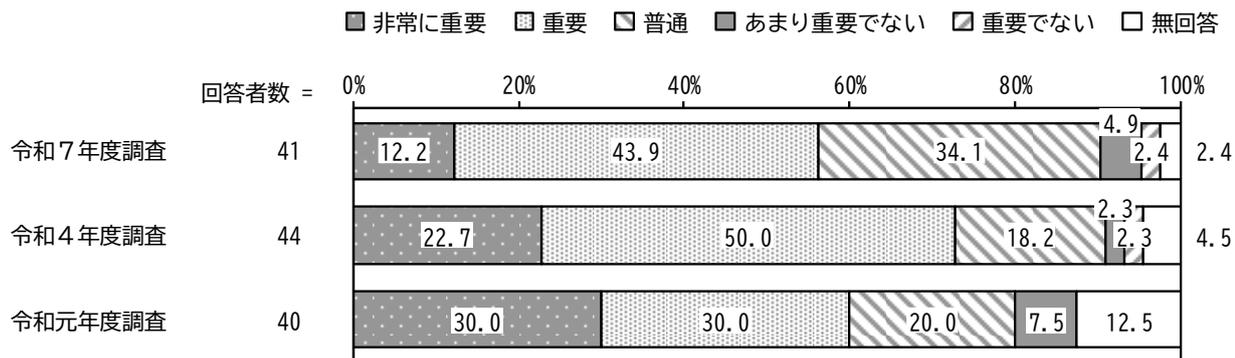
### ⑧ 販売力、商品開発力の強化



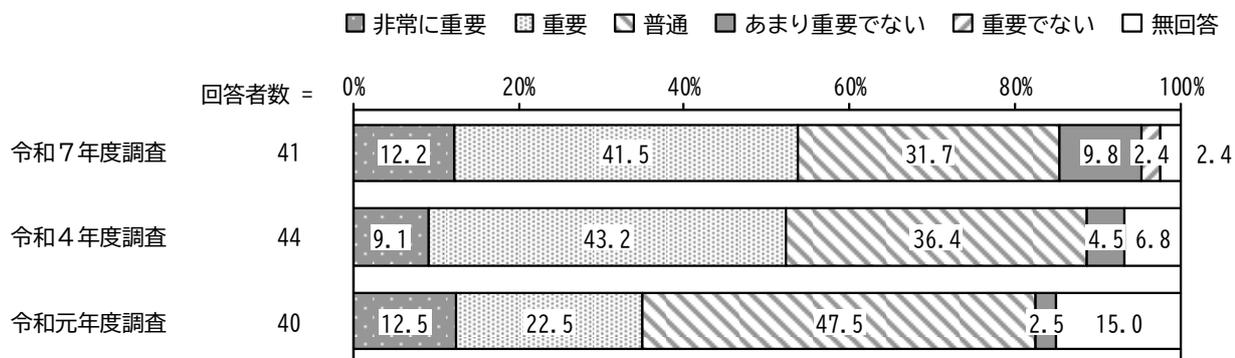
### ⑨ 市街地の活性化



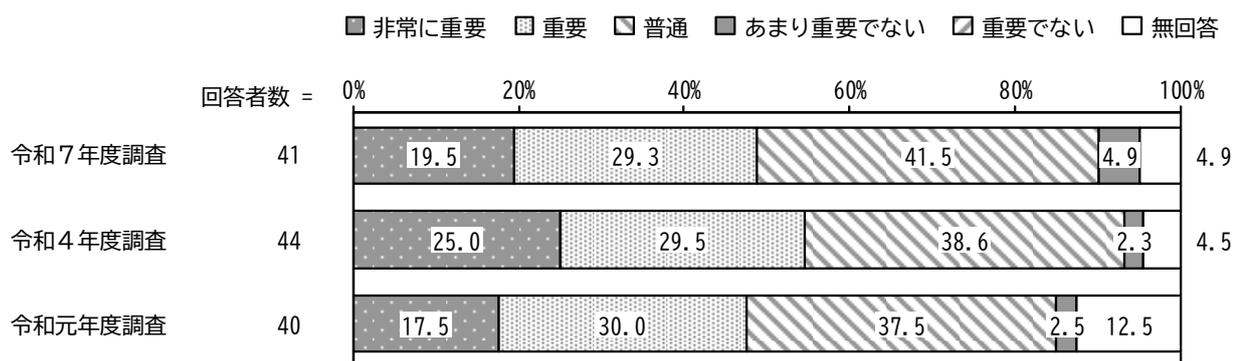
### ⑩魅力的な商業機能の整備



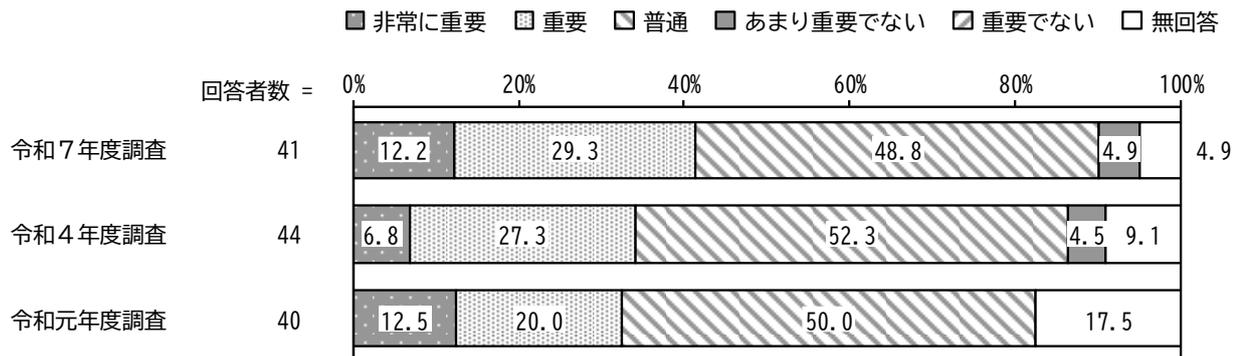
### ⑪商工会や商業団体などへの支援



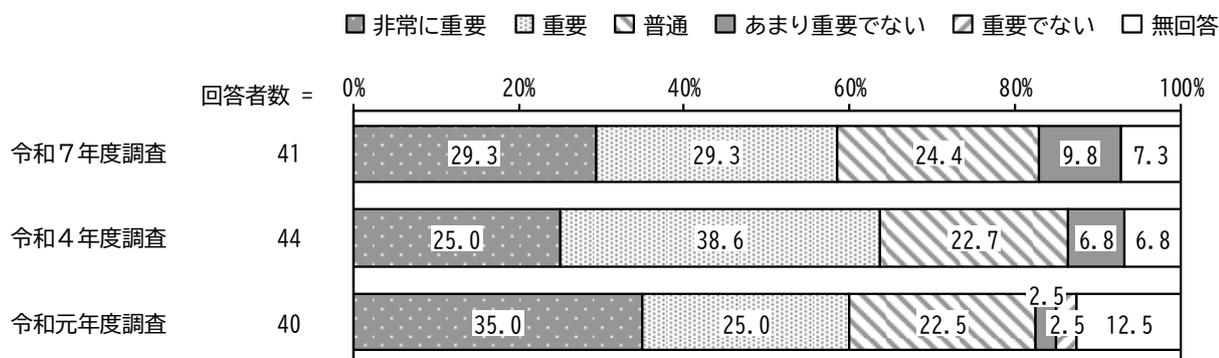
### ⑫雇用対策の充実



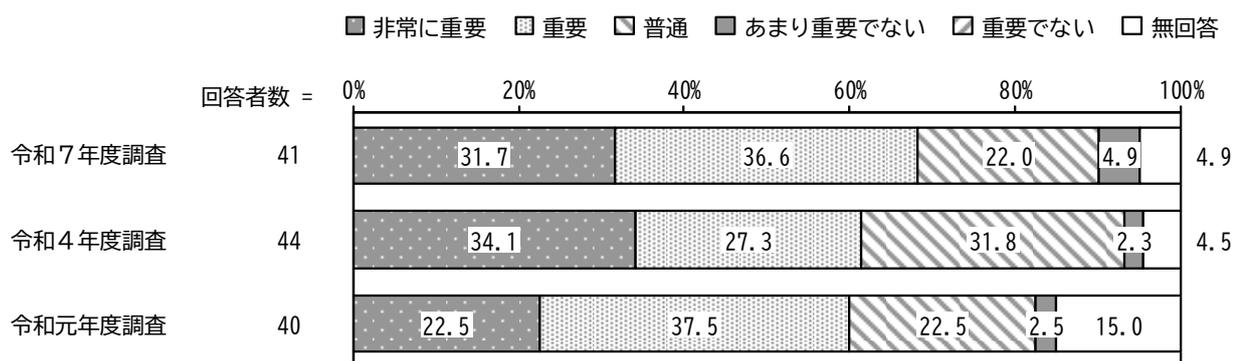
### ⑬産学官連携による産業振興



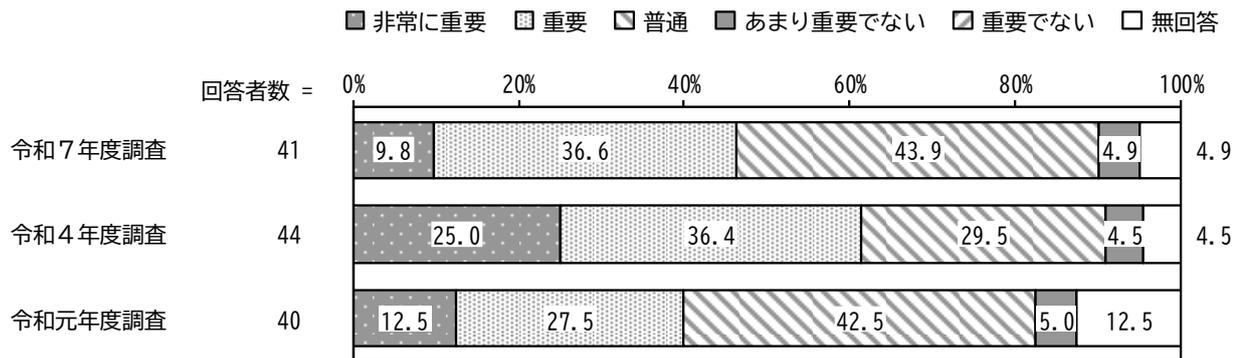
### ⑭観光資源の開発と活用



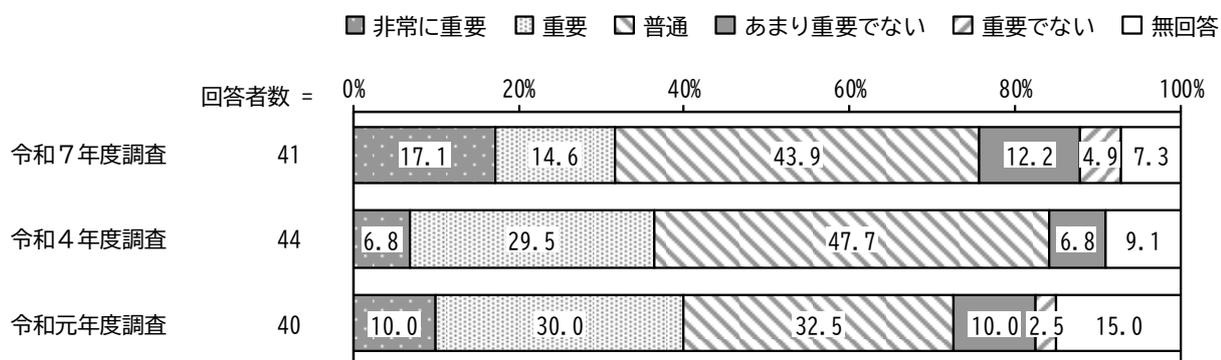
### ⑮防災対策の充実



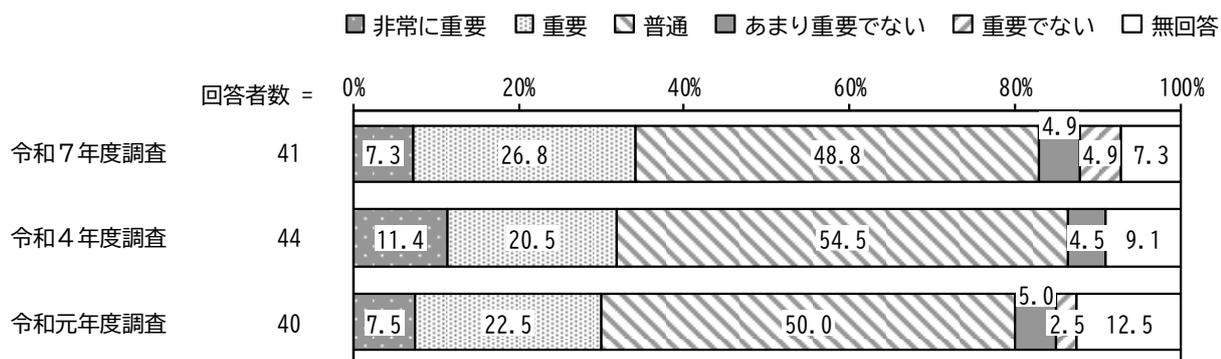
### ⑯環境問題に配慮した事業の推進



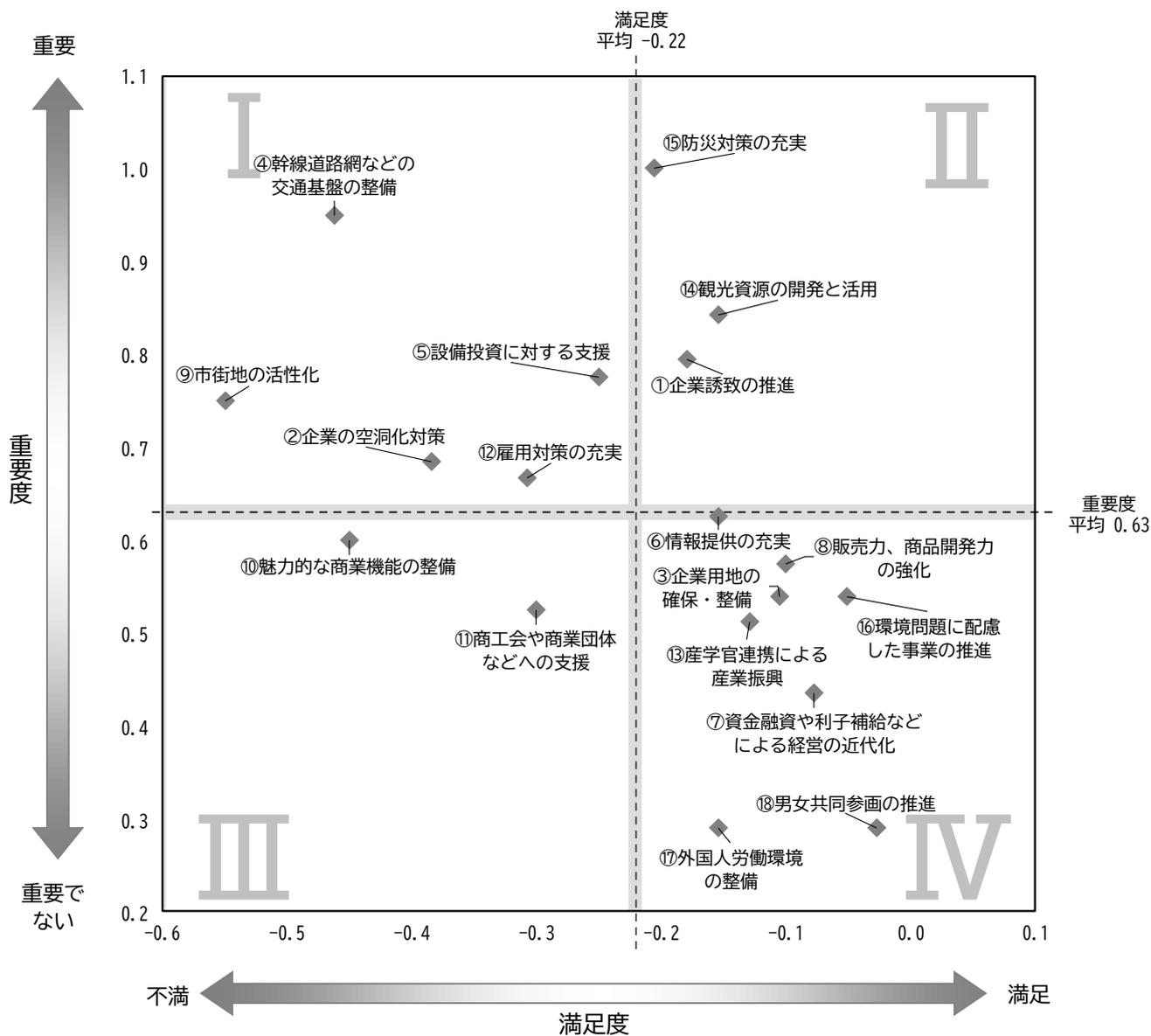
### ⑰外国人労働環境の整備



### ⑱男女共同参画の推進



ポートフォリオ分析による市の施策の評価については、『④幹線道路網などの交通基盤の整備』など5項目が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度	重要度
①企業誘致の推進	-0.18	0.79
②企業の空洞化対策	-0.38	0.68
③企業用地の確保・整備	-0.11	0.54
④幹線道路網などの交通基盤の整備	-0.46	0.95
⑤設備投資に対する支援	-0.25	0.78
⑥情報提供の充実	-0.15	0.63
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	-0.08	0.44
⑧販売力、商品開発力の強化	-0.10	0.58
⑨市街地の活性化	-0.55	0.75
⑩魅力的な商業機能の整備	-0.45	0.60
⑪商工会や商業団体などへの支援	-0.30	0.53
⑫雇用対策の充実	-0.31	0.67
⑬産学官連携による産業振興	-0.13	0.51
⑭観光資源の開発と活用	-0.15	0.84
⑮防災対策の充実	-0.21	1.00
⑯環境問題に配慮した事業の推進	-0.05	0.54
⑰外国人労働環境の整備	-0.15	0.29
⑱男女共同参画の推進	-0.03	0.29

◆前ページの図から分析判断できる最優先課題◆

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| ②企業の空洞化対策   | ④幹線道路網などの交通基盤の整備 |
| ⑤設備投資に対する支援 | ⑨市街地の活性化         |
| ⑫雇用対策の充実    |                  |

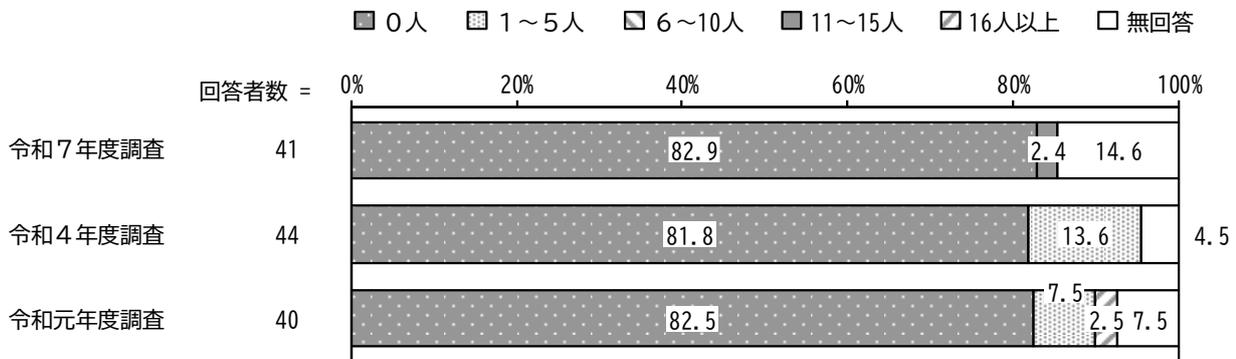
## (5) 従業員の雇用環境について

問 11 あなたの事業所の新規学卒者の採用状況、今後5年間の採用見込みをお聞かせください。

### (1) 令和7年度の新規学卒採用者

「0人」の割合が82.9%と最も高くなっています。

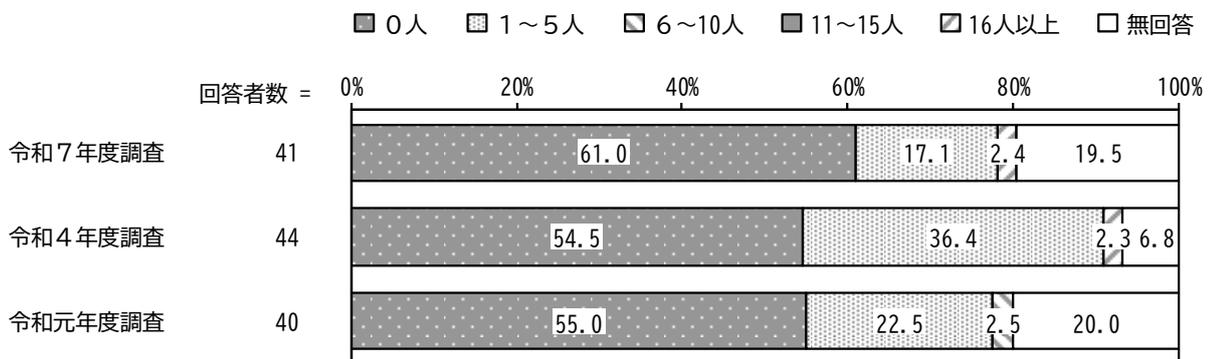
令和4年度調査と比べて、「1～5人」が13.6ポイント減少しています。



### (2) 令和8年度以降5年間の採用見込み

「0人」の割合が61.0%と最も高く、次いで「1～5人」の割合が17.1%となっています。

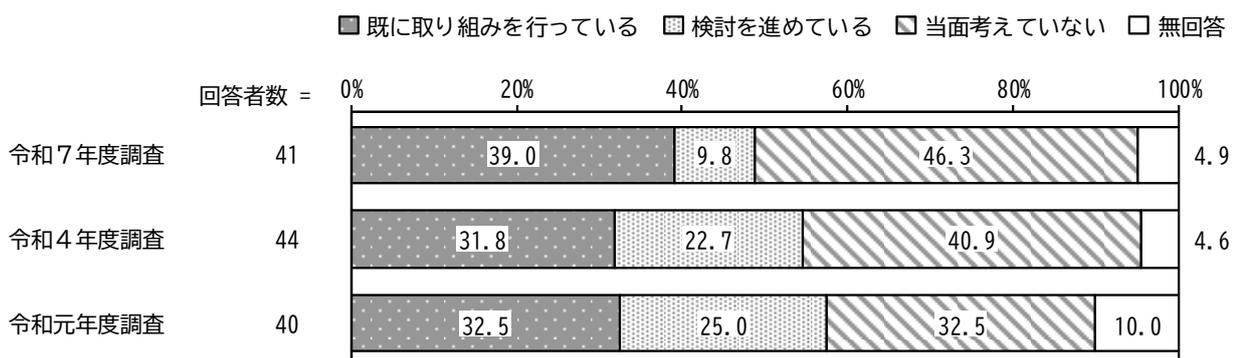
令和4年度調査と比べて、「0人」が6.5ポイント増加しています。一方、「1～5人」が19.3ポイント減少しています。



問 12 あなたの事業所では、定年制の延長についての取り組みが行われていますか。

「既に取り組みを行っている」の割合が39.0%、「検討を進めている」の割合が9.8%、「当面考えていない」の割合が46.3%となっています。

令和4年度調査と比べて、「既に取り組みを行っている」が7.2ポイント増加しています。

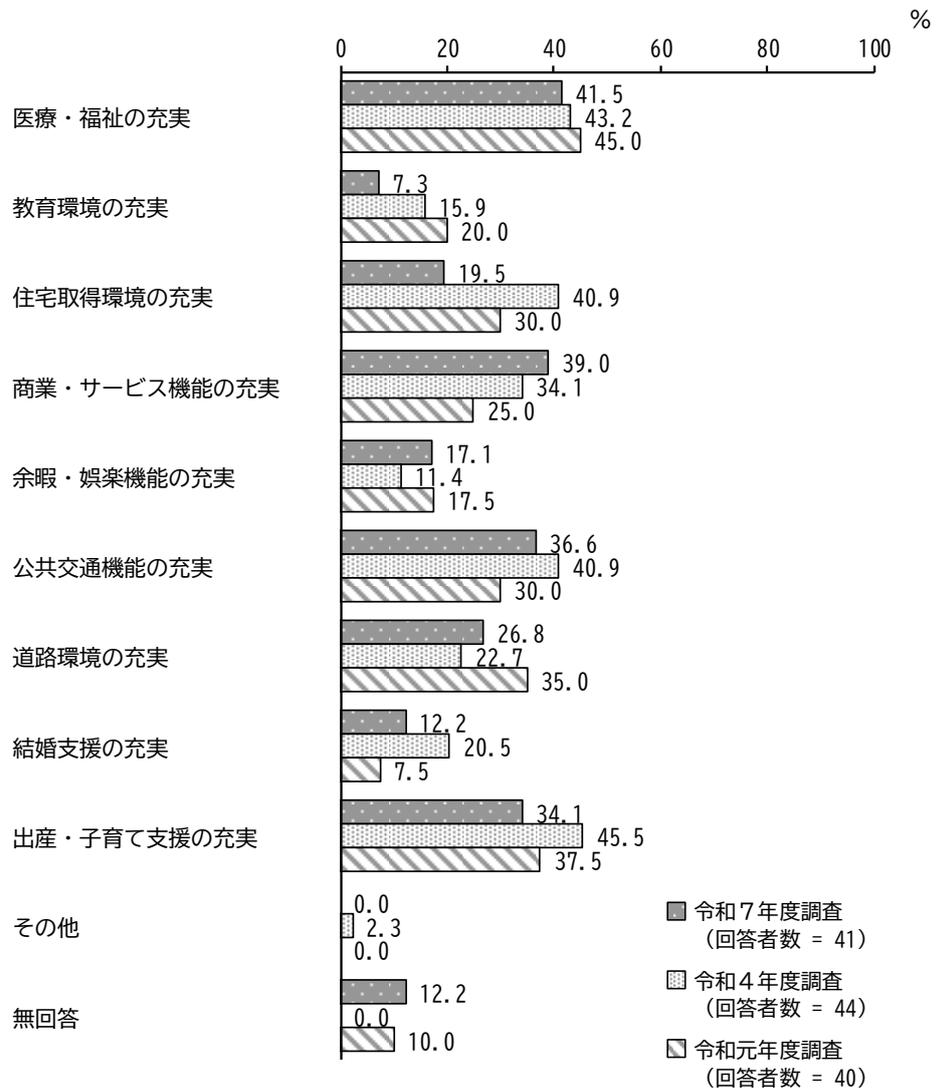


## (6) 従業員の市内定住対策について

問13 従業員の方が田原市に住んでいただくためには、特にどのような対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「医療・福祉の充実」の割合が41.5%と最も高く、次いで「商業・サービス機能の充実」の割合が39.0%、「公共交通機能の充実」の割合が36.6%となっています。

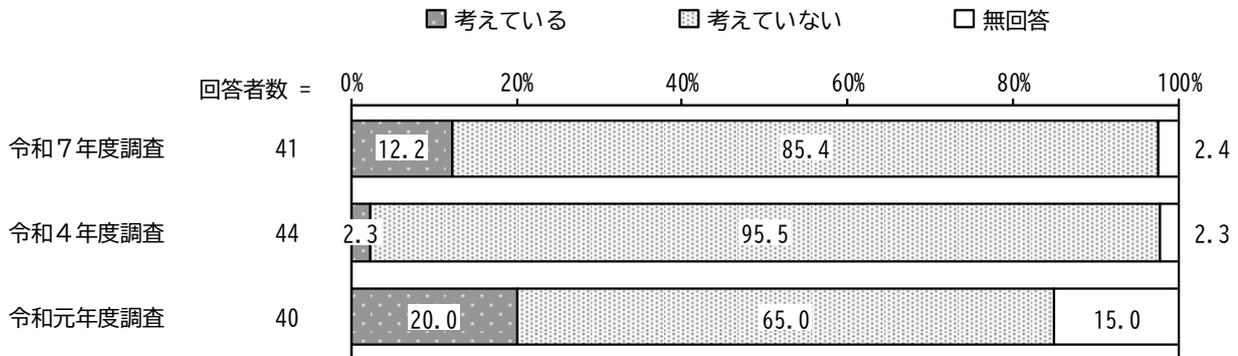
令和4年度調査と比べて、「余暇・娯楽機能の充実」が5.7ポイント増加しています。一方、「住宅取得環境の充実」が21.4ポイント、「出産・子育て支援の充実」が11.4ポイント、「教育環境の充実」が8.6ポイント減少しています。



## (7) 農業分野での事業展開について

問 14 田原市は、農業産出額が全国トップクラスです。あなたの事業所では、農業分野に関連した事業展開をお考えですか。(○は1つ)

「考えている」の割合が12.2%、「考えていない」の割合が85.4%となっています。  
令和4年度調査と比べて、「考えている」が9.9ポイント増加しています。



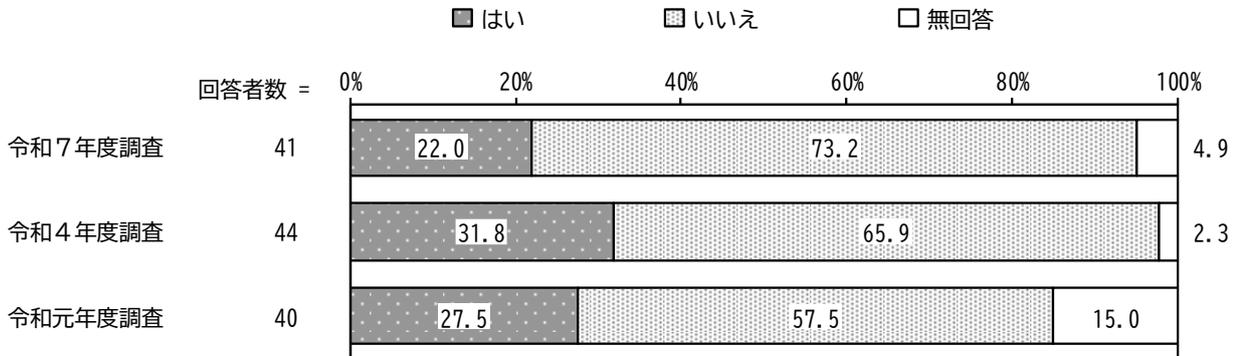
「考えている」と答えた方にお聞きします。どんな事業をお考えですか。

- ・ 農業の作業効率向上のコンサルティング。
- ・ 農福関連には興味がある。
- ・ 地元産の農産物を使用した商品開発をより進めていきたい。
- ・ 現状が農業分野に関係している。

## (8) 環境共生について

### 問15 環境や景観などに配慮した事業経営を行っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が22.0%、「いいえ」の割合が73.2%となっています。  
 令和4年度調査と比べて、「はい」が9.8ポイント減少しています。



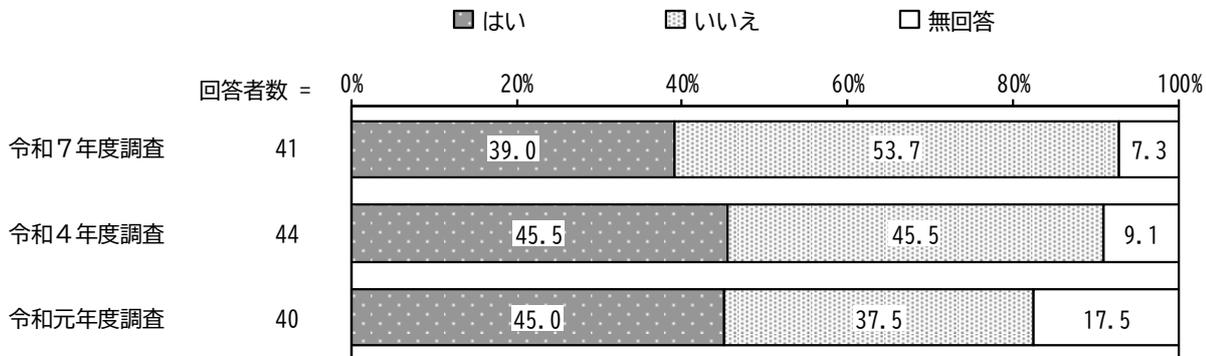
「はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮していますか。

- ・ 田原市の樹木は素晴らしいと思ってもらいたい。
- ・ 自然エネルギー（太陽光）の活用。
- ・ 愛知県屈指の観光地として、全国にアピールしていきたい。
- ・ 外観。
- ・ エコドライブの徹底、低燃費・低排出ガス車両の導入、車両メンテナンスの徹底。
- ・ 環境関連の法令遵守、省エネの積極的取り組み。
- ・ 環境に配慮した排水処理の実施。
- ・ 当社敷地内の清掃を定期的に行っている。

## (9) 男女共同参画について

問 16 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が39.0%、「いいえ」の割合が53.7%となっています。  
令和4年度調査と比べて、「いいえ」が8.2ポイント増加しています。



「はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮して取り組んでいますか。

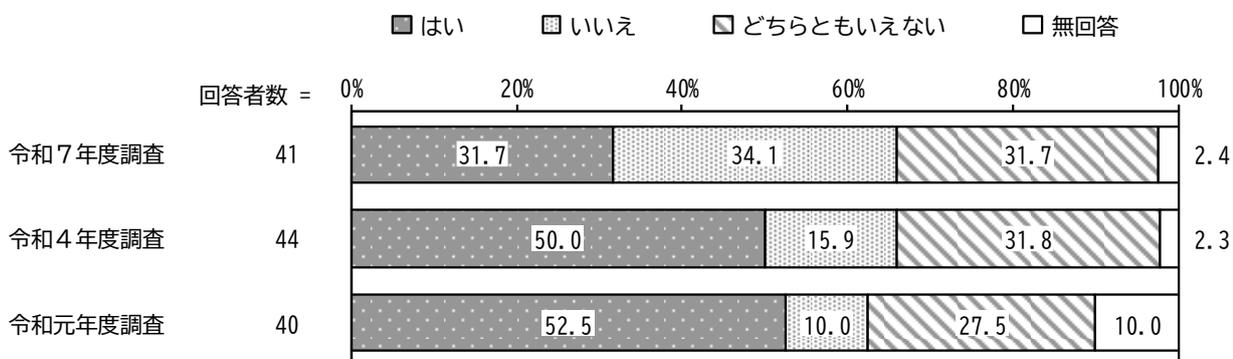
- ・ みんなが同じように仕事ができるよう分担して作業を進めている。
- ・ 意識を変える。
- ・ 有給休暇を取りやすい環境。
- ・ 女性職員の産休・育児休暇が取りやすく、また職場への復帰もスムーズに行えるようにしている。
- ・ 雇用に全く差を設けていない。
- ・ 産休・育休後も働き方を共に考え、パート・時短など必要に応じて働く時間や仕事内容を変えたりしている。
- ・ 勤務時間を柔軟にしている。
- ・ 育児・介護休業制度等の整備。
- ・ 就業時間でも家庭の用事を尊重している。
- ・ 営業時間を短くして家庭の業務にかかる時間を長くした。
- ・ 賃金制度、基準の統一、育休取得への支援。
- ・ 育休取得の推進。
- ・ 男女で仕事の内容変わらない。
- ・ 女性にも、色々な機械のオペレーターになってもらえる様に現場での教育を実施している。

## (10) 地域社会への貢献活動について

問 17 あなたの事業所では、地域社会へ何らかの貢献活動を行っていますか。(○は1つ)

「はい」、「どちらともいえない」の割合がともに 31.7%、「いいえ」の割合が 34.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「はい」が 18.3 ポイント減少しています。

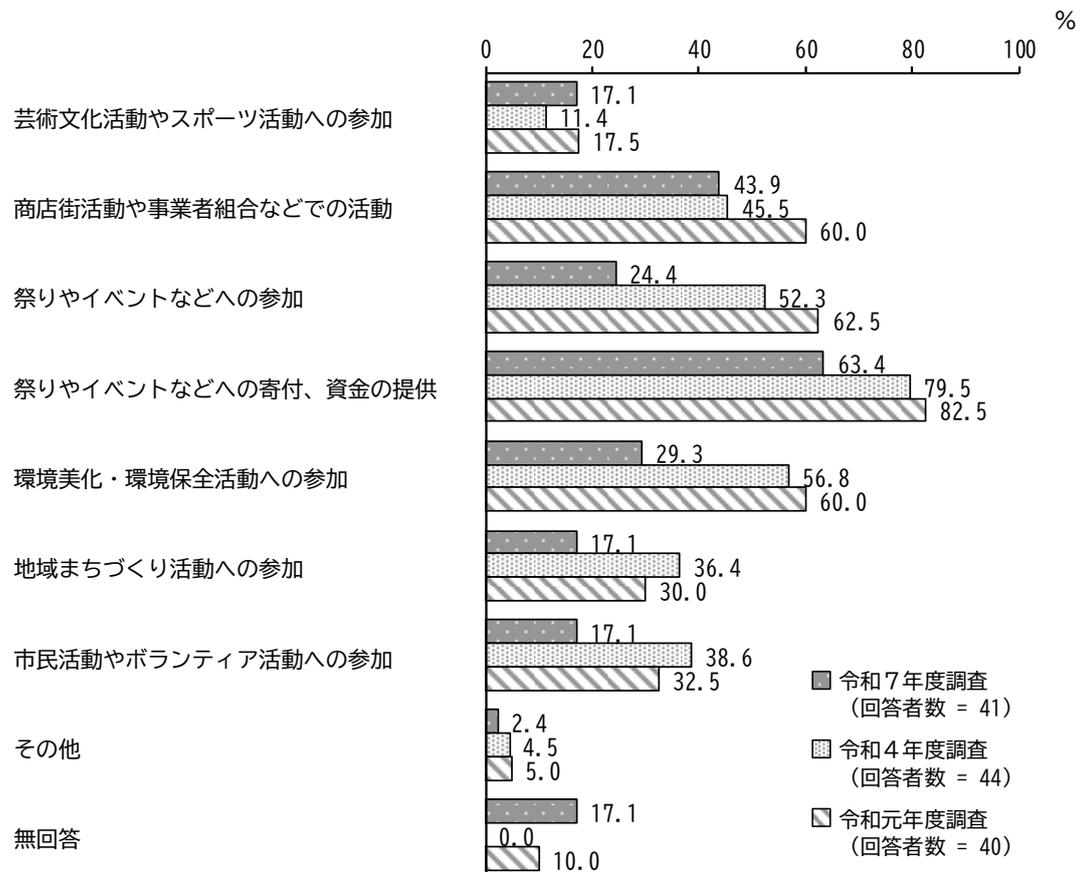


問 18 あなたの事業所での、地域への貢献活動の状況についてお聞きします。次の項目について、あてはまるものに○をつけてください。(該当する欄に○を記入)

【現在行っている】

「祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「商店街活動や事業者組合などでの活動」の割合が 43.9%、「環境美化・環境保全活動への参加」の割合が 29.3%となっています。

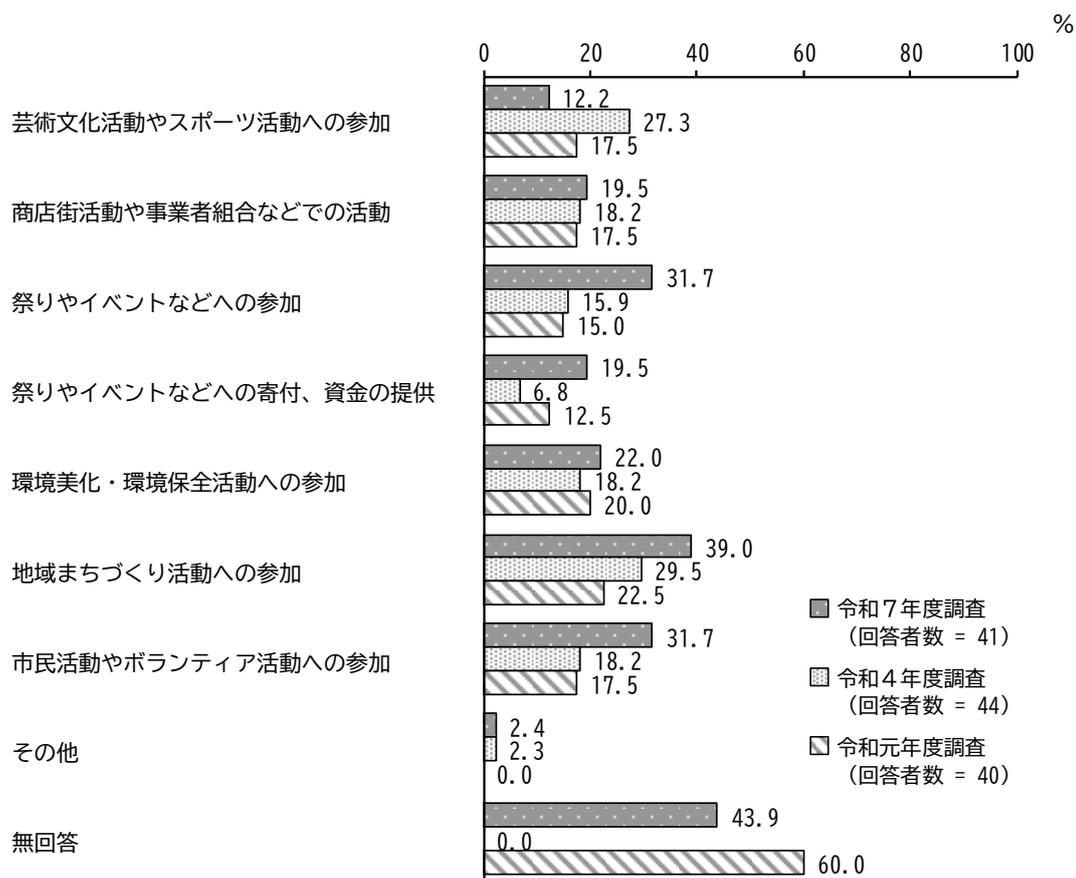
令和4年度調査と比べて、「芸術文化活動やスポーツ活動への参加」が5.7ポイント増加しています。一方、「祭りやイベントなどへの参加」が27.9ポイント、「環境美化・環境保全活動への参加」が27.5ポイント減少しています。



【今後行ってもよい】

「地域まちづくり活動への参加」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「祭りやイベントなどへの参加」、「市民活動やボランティア活動への参加」の割合がともに 31.7%となっています。

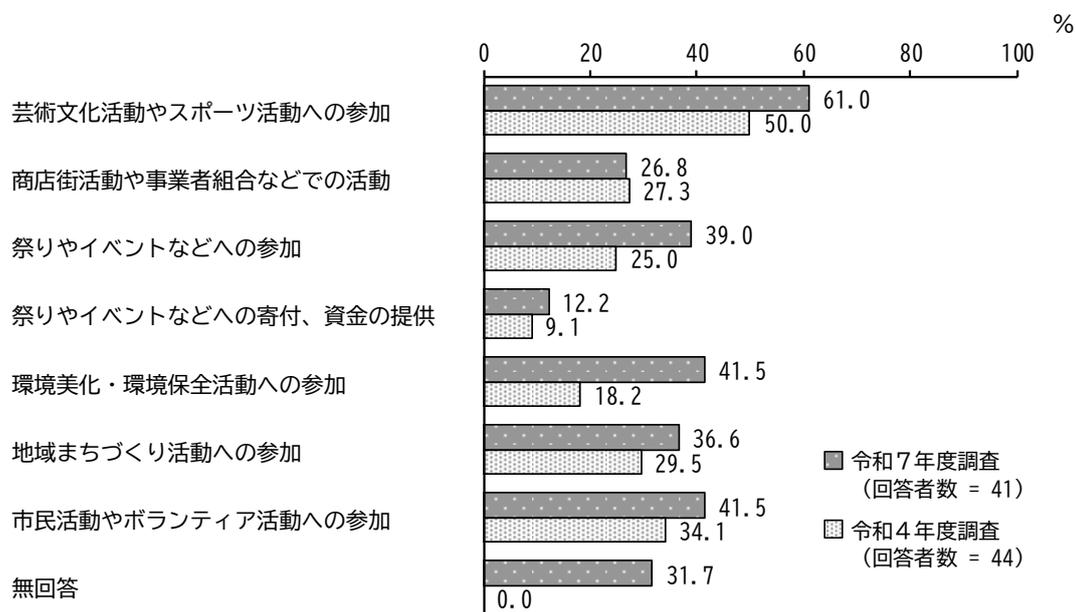
令和4年度調査と比べて、「祭りやイベントなどへの参加」が 15.8 ポイント増加しています。一方、「芸術文化活動やスポーツ活動への参加」が 15.1 ポイント減少しています。



【行う予定はない】

「芸術文化活動やスポーツ活動への参加」の割合が 61.0%と最も高く、次いで「環境美化・環境保全活動への参加」、「市民活動やボランティア活動への参加」の割合がともに 41.5%となっています。

令和4年度調査と比べて、「環境美化・環境保全活動への参加」が 23.3 ポイント増加しています。



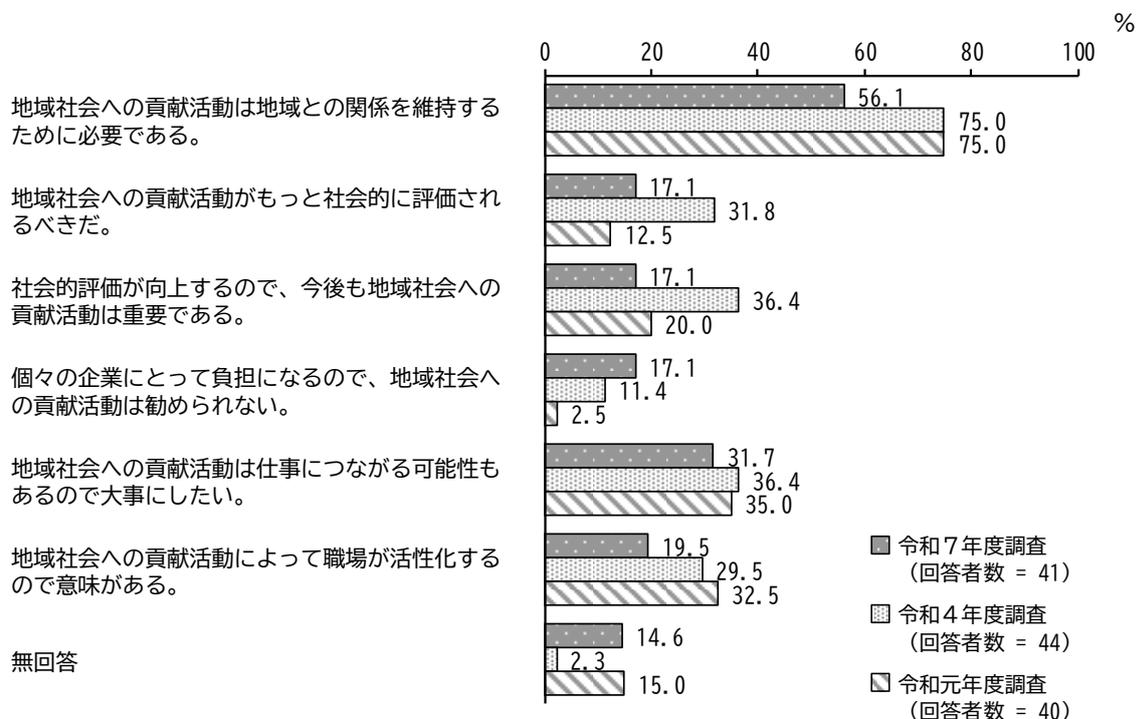
問 19 あなたの事業所が行っている地域社会への貢献活動をご紹介します。また、貢献活動を行う上で、市へのご要望、ご意見などがあればお書きください。

- ・ 社会的団体の会員活動。ロータリークラブ、旅館組合、飲食店組合など。
- ・ 地域の祭りへの寄付。
- ・ 休日のボランティアなどに個人的参加をしているが、特に要望はない。
- ・ 祭り、イベントへの参加、寄付。
- ・ 商工祭りへの参加、祭りへの寄付、美化活動（草刈り等）。
- ・ 地元の祭りやイベント等への積極的参加。
- ・ 市内のごみ拾い。
- ・ 祭りへの寄付。商工会での活動を、参加できる範囲で行っている。

問 20 あなたの事業所では、次のような貢献活動の考え方について賛同できますか。（○はいくつでも）

「地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である。」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい。」の割合が 31.7%、「地域社会への貢献活動によって職場が活性化するので意味がある。」の割合が 19.5%となっています。

令和 4 年度調査と比べて、「社会的評価が向上するので、今後も地域社会への貢献活動は重要である。」が 19.3 ポイント、「地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である。」が 18.9 ポイント減少しています。



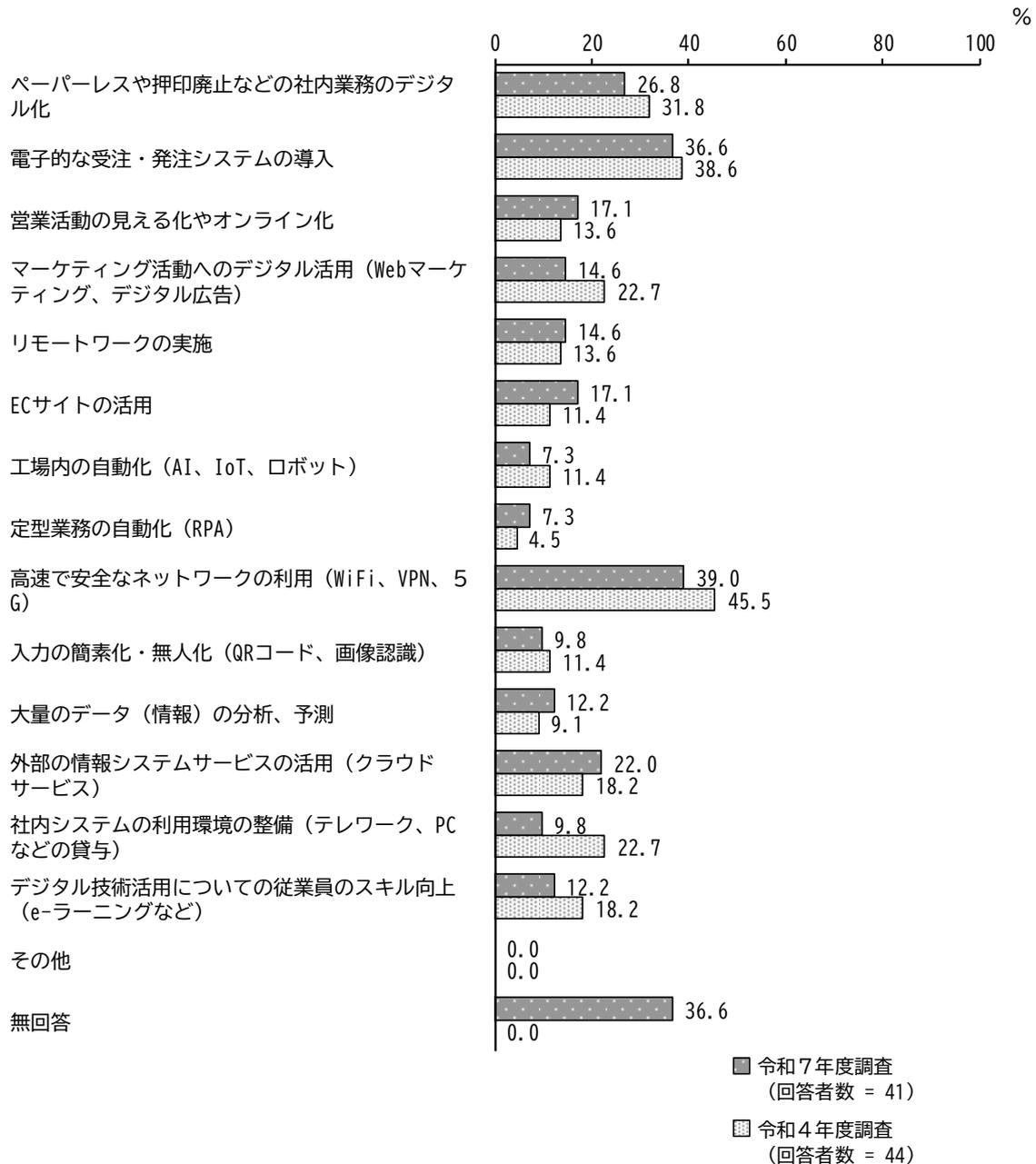
## (11) デジタル社会について

問 21 あなたの事業所での、デジタル技術の活用状況についてお聞きします。次の項目について、あてはまるものに○をつけてください。(該当する欄に○を記入)

### 〔現在取り組んでいる〕

「高速で安全なネットワークの利用 (WiFi、VPN、5G)」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「電子的な受注・発注システムの導入」の割合が 36.6%、「ペーパーレスや押印廃止などの社内業務のデジタル化」の割合が 26.8%となっています。

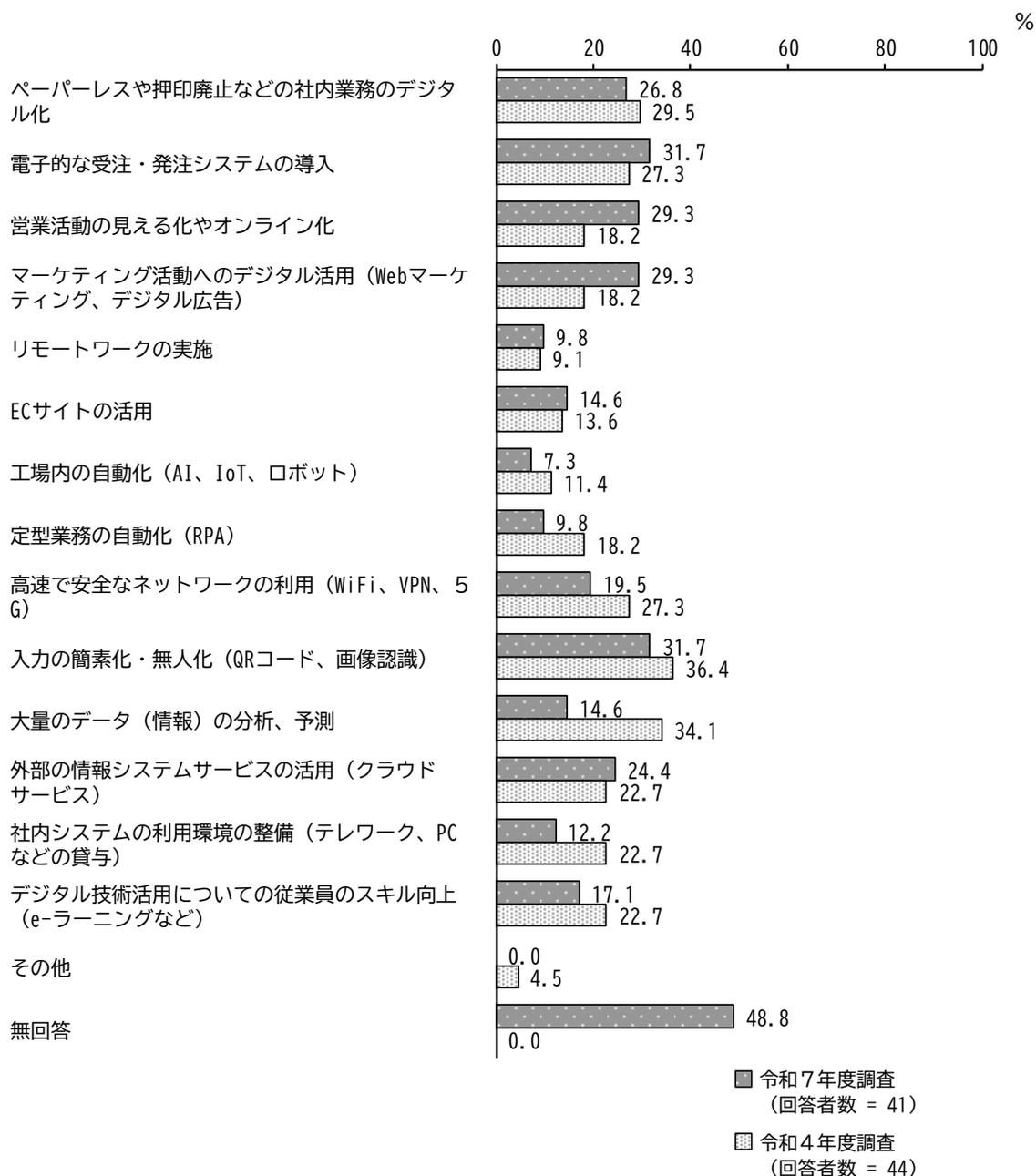
令和4年度調査と比べて、「ECサイトの活用」が 5.7 ポイント増加しています。一方、「社内システムの利用環境の整備 (テレワーク、PC などの貸与)」が 12.9 ポイント減少しています。



### 【今後取り組みたい】

「電子的な受注・発注システムの導入」、「入力の簡素化・無人化（QRコード、画像認識）」の割合がともに 31.7%と最も高く、次いで「営業活動の見える化やオンライン化」、「マーケティング活動へのデジタル活用（Web マーケティング、デジタル広告）」の割合がともに 29.3%となっています。

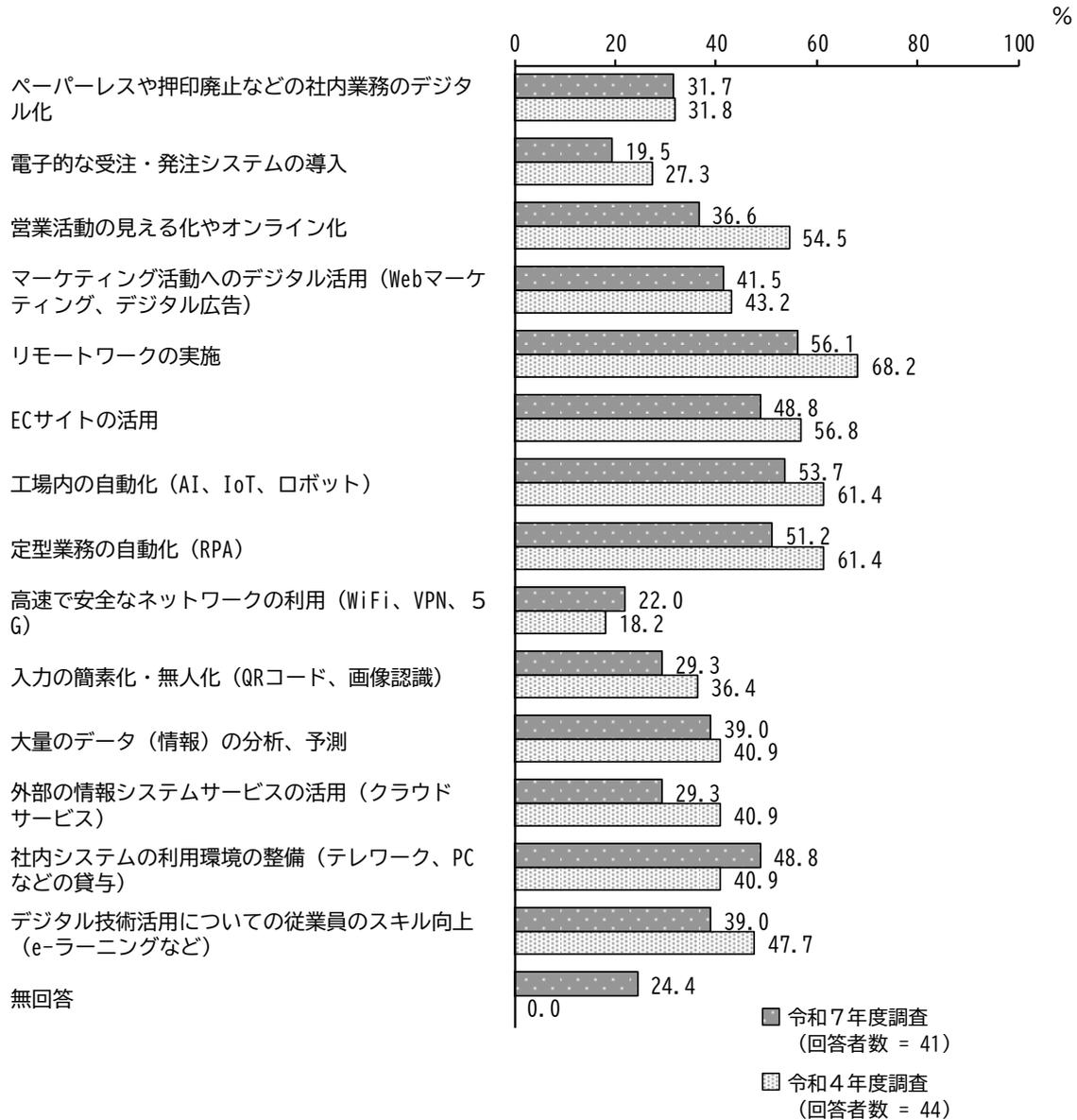
令和4年度調査と比べて、「営業活動の見える化やオンライン化」「マーケティング活動へのデジタル活用（Web マーケティング、デジタル広告）」がともに 11.1 ポイント増加しています。一方、「大量のデータ（情報）の分析、予測」が 19.5 ポイント減少しています。



【取り組む予定はない】

「リモートワークの実施」の割合が56.1%と最も高く、次いで「工場内の自動化（AI、IoT、ロボット）」の割合が53.7%、「定型業務の自動化（RPA）」の割合が51.2%となっています。

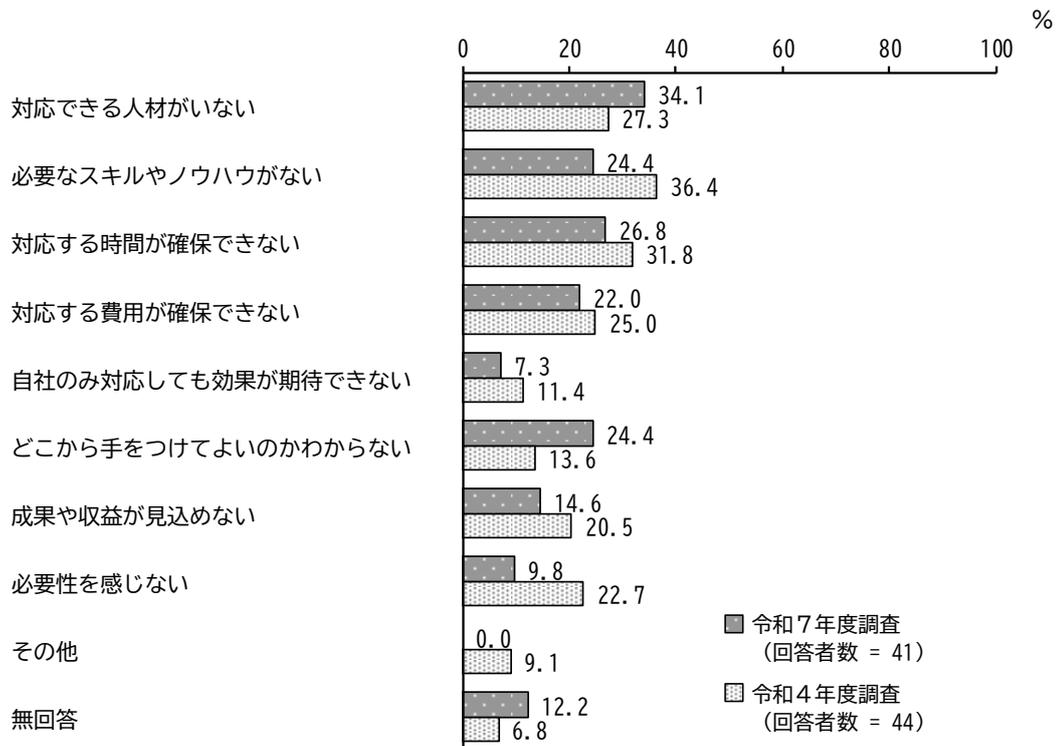
令和4年度調査と比べて、「社内システムの利用環境の整備（テレワーク、PCなどの貸与）」が7.9ポイント増加しています。一方、「営業活動の見える化やオンライン化」が17.9ポイント減少しています。



問 22 あなたの事業所で、デジタル技術の活用に取り組む上での課題は何ですか。(〇はいくつでも)

「対応できる人材がない」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「対応する時間が確保できない」の割合が 26.8%、「必要なスキルやノウハウがない」、「どこから手をつけてよいのかわからない」の割合がともに 24.4%となっています。

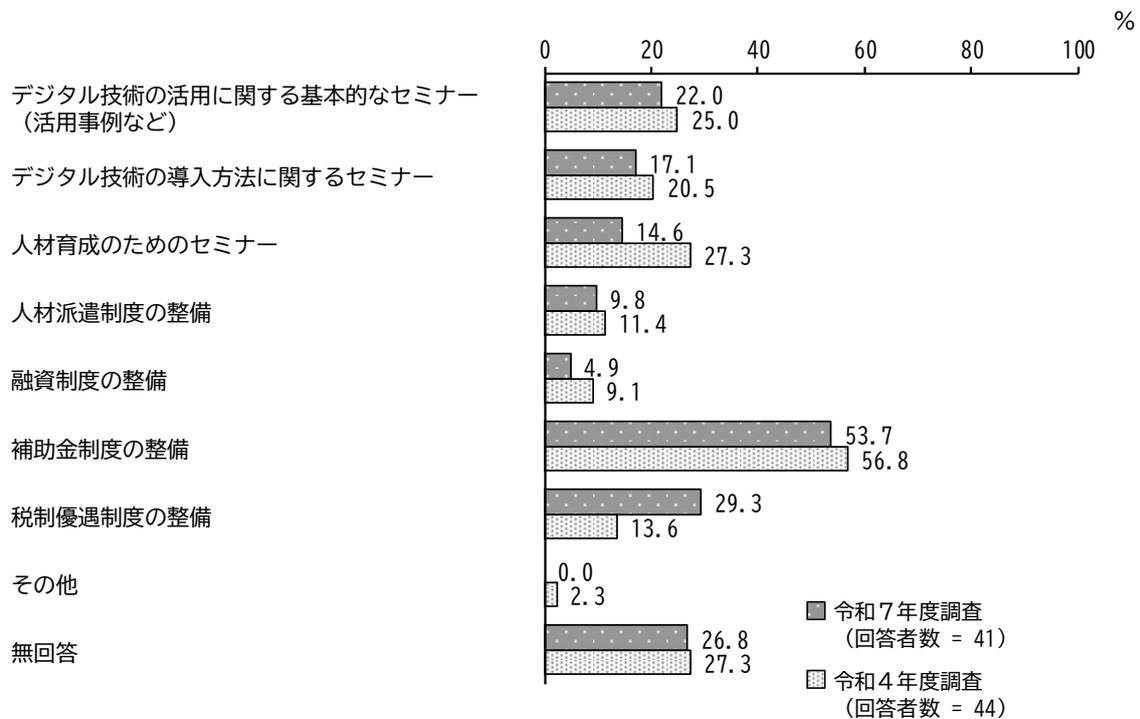
令和4年度調査と比べて、「どこから手をつけてよいのかわからない」が 10.8 ポイント増加しています。一方、「必要性を感じない」が 12.9 ポイント減少しています。



問 23 あなたの事業所で、デジタル技術の活用に取り組む上で、市・県・国に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「補助金制度の整備」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「税制優遇制度の整備」の割合が 29.3%、「デジタル技術の活用に関する基本的なセミナー（活用事例など）」の割合が 22.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「税制優遇制度の整備」が 15.7ポイント増加しています。一方、「人材育成のためのセミナー」が 12.7ポイント減少しています。



## (12) 市政に対するご意見

問 24 市が実施する施策や事業について、ご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・ 借金をしてまで色々な事をするべきでない。維持費がかかるものを作らない方がいい。集まった税金を使い切るのではなく、貯めて残すべき。
- ・ インバウンド対策。アクセスの悪さを逆手にとった滞在型のインバウンド客誘致策。シティプロモーションの拡充。
- ・ 人材確保の為にマッチング支援。住居の空きが少なく（特に福江地区）、部屋を比較することができない。市営、県営住宅等の貸与など。
- ・ 婚活事業の多岐に渡る提案（例年どおりではダメ）。
- ・ 働く環境という点で言えば、中学校の休日部活動がなくなることで働く親御さんの不安があるように思う。地域移行と言いつつ具体的な移行には無責任さしか感じない。だからといって先生に無給でというのも違うので、もっとちゃんと考えて皆が納得できる環境を整えてほしい。
- ・ 田原市の中心だけを活発にせず、今ある市街化調整区域も減らし活発にする範囲を広げた方がよい。
- ・ 道の駅田原めっくんはうすを移転した方がいいと思う。今のめっくんはうすは産直のみで終わっているのと、販売品目に比べて建物面積が狭いのと、駐車場の数が少ないと思っている。現在の全国で流行っている道の駅のトレンドは、産直以外の取り組みもしている。移転する事で集客力を上げることはできると思うのと、めっくんはうすに商品を納めている企業・個人事業主の売り上げアップを見込めるのではないかと思う。そこだけでも目的地になる道の駅を目指してほしい。あと伊良湖の整備もできるだけ早めに進めていただけたらと思う。

### 3 市内農業者

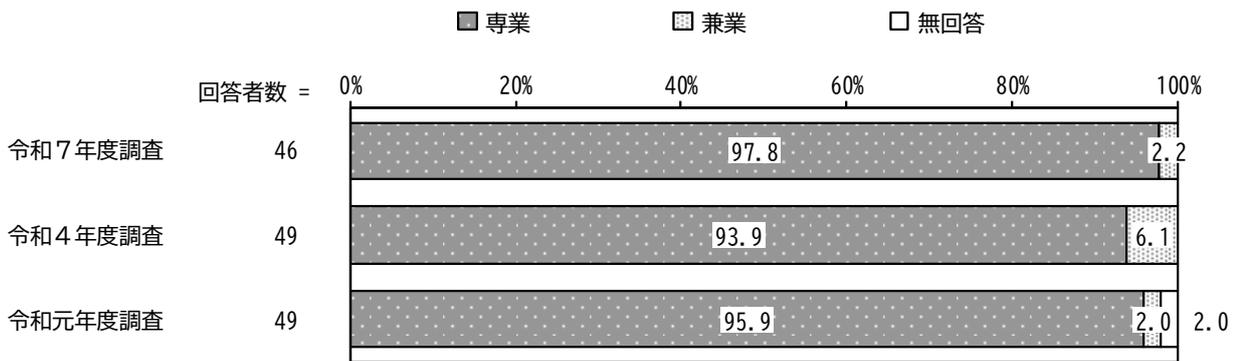
#### (1) 回答者属性

問1 あなたの事業についてお聞きします。

##### 専業・兼業の別 (〇は1つ)

「専業」の割合が97.8%、「兼業」の割合が2.2%となっています。

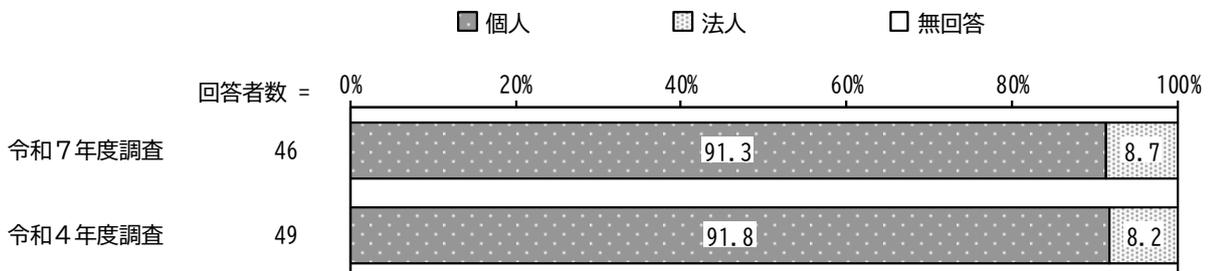
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



##### 個人・法人の別 (〇は1つ)

「個人」の割合が91.3%、「法人」の割合が8.7%となっています。

令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



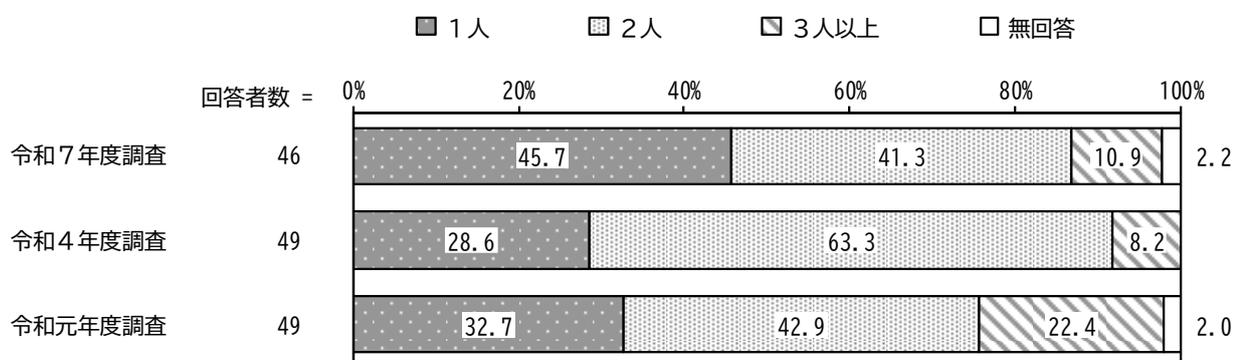
## 農業に従事している人数（回答者を含んだ数）

### ・常時農業に従事している人

#### 男性

「1人」の割合が45.7%、「2人」の割合が41.3%、「3人以上」の割合が10.9%となっています。

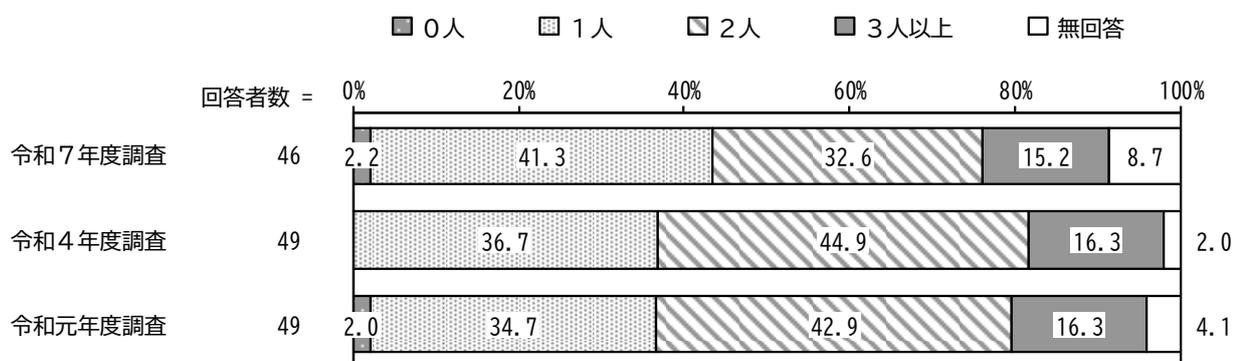
令和4年度調査と比べて、「1人」が17.1ポイント増加しています。一方、「2人」が22.0ポイント減少しています。



#### 女性

「1人」の割合が41.3%と最も高く、次いで「2人」の割合が32.6%、「3人以上」の割合が15.2%となっています。

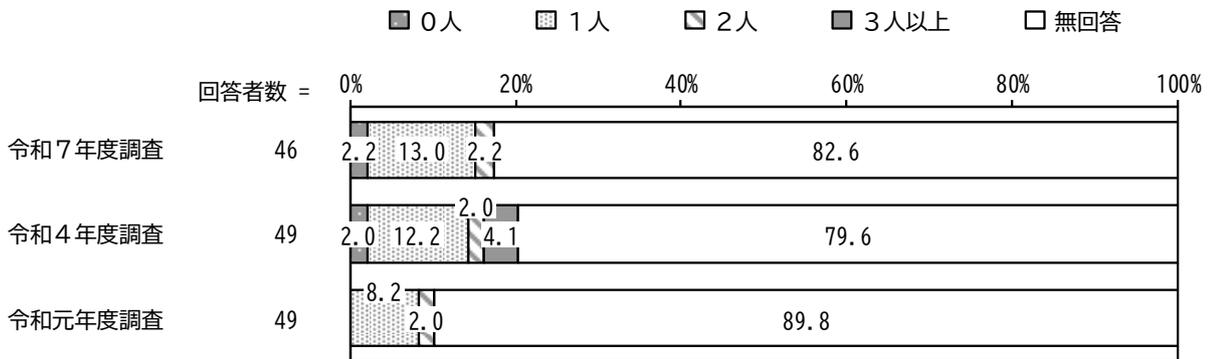
令和4年度調査と比べて、「1人」が4.6ポイント増加しています。一方、「2人」が12.3ポイント減少しています。



・臨時に農業に従事する人

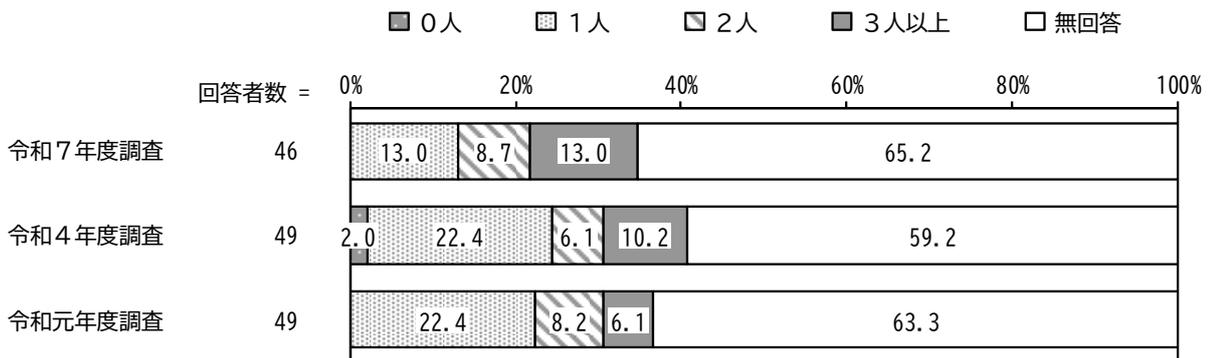
男性

「1人」の割合が13.0%と最も高くなっています。  
 令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



女性

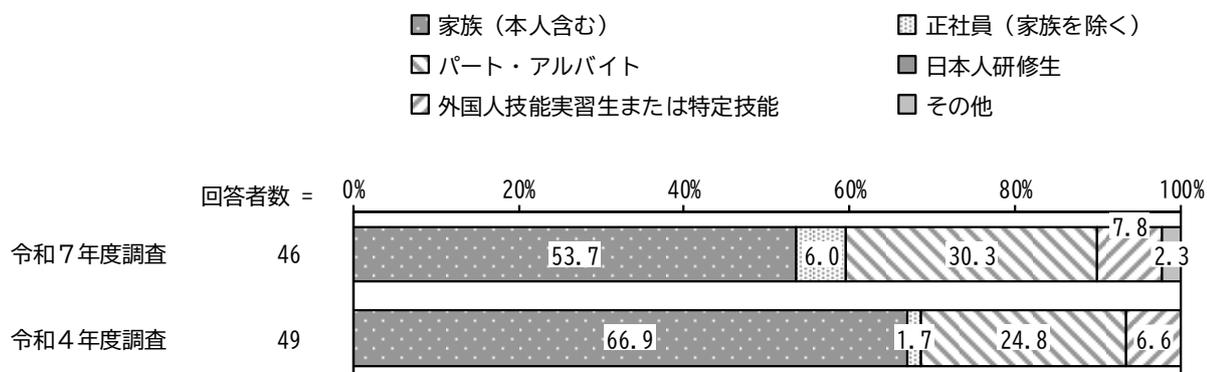
「1人」、「3人以上」の割合がともに13.0%と最も高くなっています。  
 令和4年度調査と比べて、「1人」が9.4ポイント減少しています。



## 農業に従事している人の内訳

「家族（本人含む）」の割合が53.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が30.3%となっています。

令和4年度調査と比べて、「パート・アルバイト」が5.5ポイント増加しています。一方、「家族（本人含む）」が13.2ポイント減少しています。

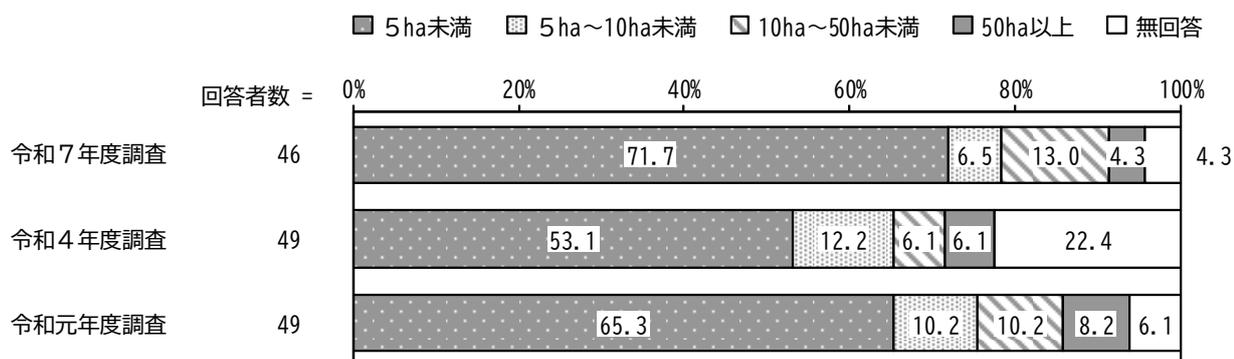


## おおよその耕地面積（1ha=10,000㎡）

### ・耕作地

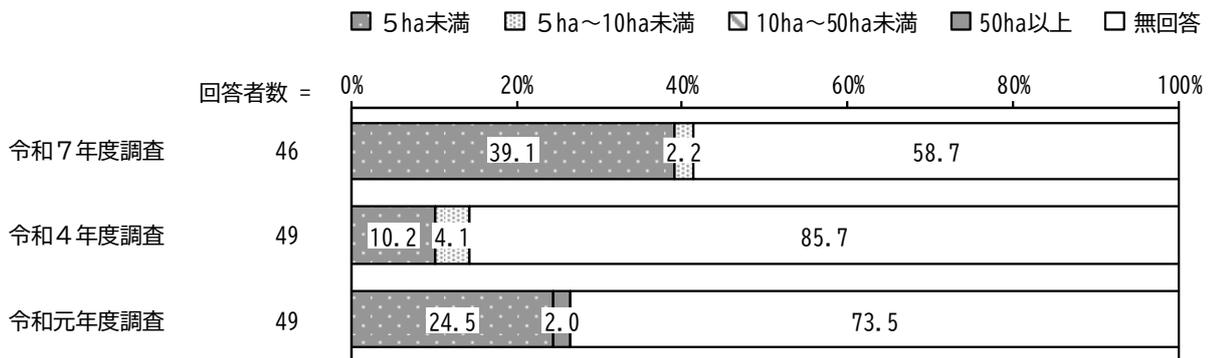
「5ha未満」の割合が71.7%と最も高く、次いで「10ha～50ha未満」の割合が13.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「5ha未満」が18.6ポイント、「10ha～50ha未満」が6.9ポイント増加しています。一方、「5ha～10ha未満」が5.7ポイント減少しています。



・不耕作地

「5ha未満」の割合が39.1%と最も高くなっています。  
 令和4年度調査と比べて、「5ha未満」が28.9ポイント増加しています。



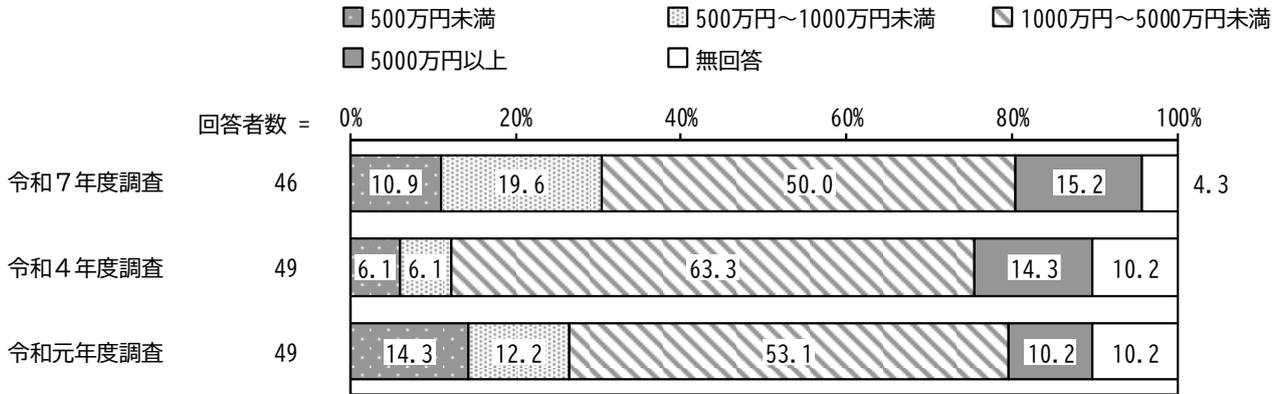
主な農作物

カテゴリ名	件数
キャベツ	18
菊	17
米	8
ブロッコリー	7
トウモロコシ	5
メロン	5
牛	4
トマト	4
スイカ	2
ミカン	2
大葉	2
イチジク	1
オクラ	1
カスミ草	1
カリフラワー	1
スイートピー	1
スナップエンドウ	1
豚	1

**おおよその農業所得 (R6.1.1~R6.12.31)**

「1000万円～5000万円未満」の割合が50.0%と最も高く、次いで「500万円～1000万円未満」の割合が19.6%、「5000万円以上」の割合が15.2%となっています。

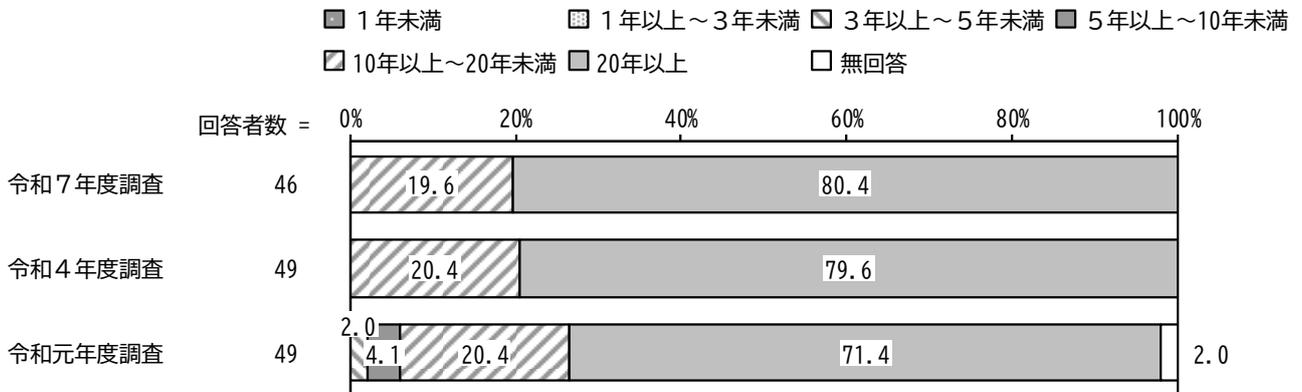
令和4年度調査と比べて、「500万円～1000万円未満」が13.5ポイント増加しています。一方、「1000万円～5000万円未満」が13.3ポイント減少しています。



**田原市での就農年数 (〇は1つ)**

「20年以上」の割合が80.4%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が19.6%となっています。

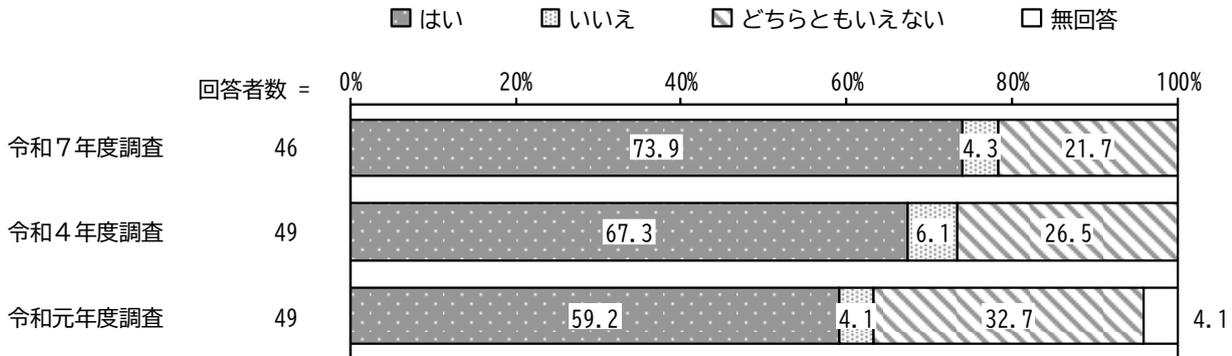
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



## (2) 田原市の農業全般について

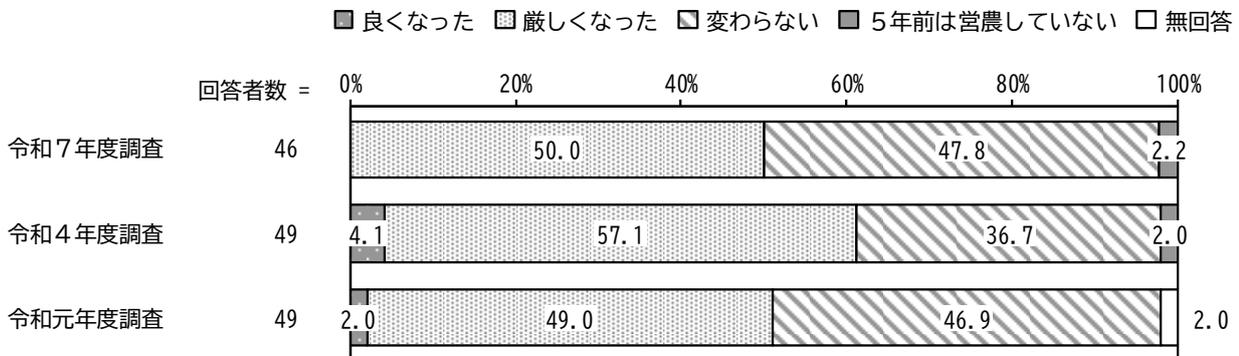
### 問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が73.9%、「いいえ」の割合が4.3%となっています。  
令和4年度調査と比べて、「はい」が6.6ポイント増加しています。



### 問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇は1つ)

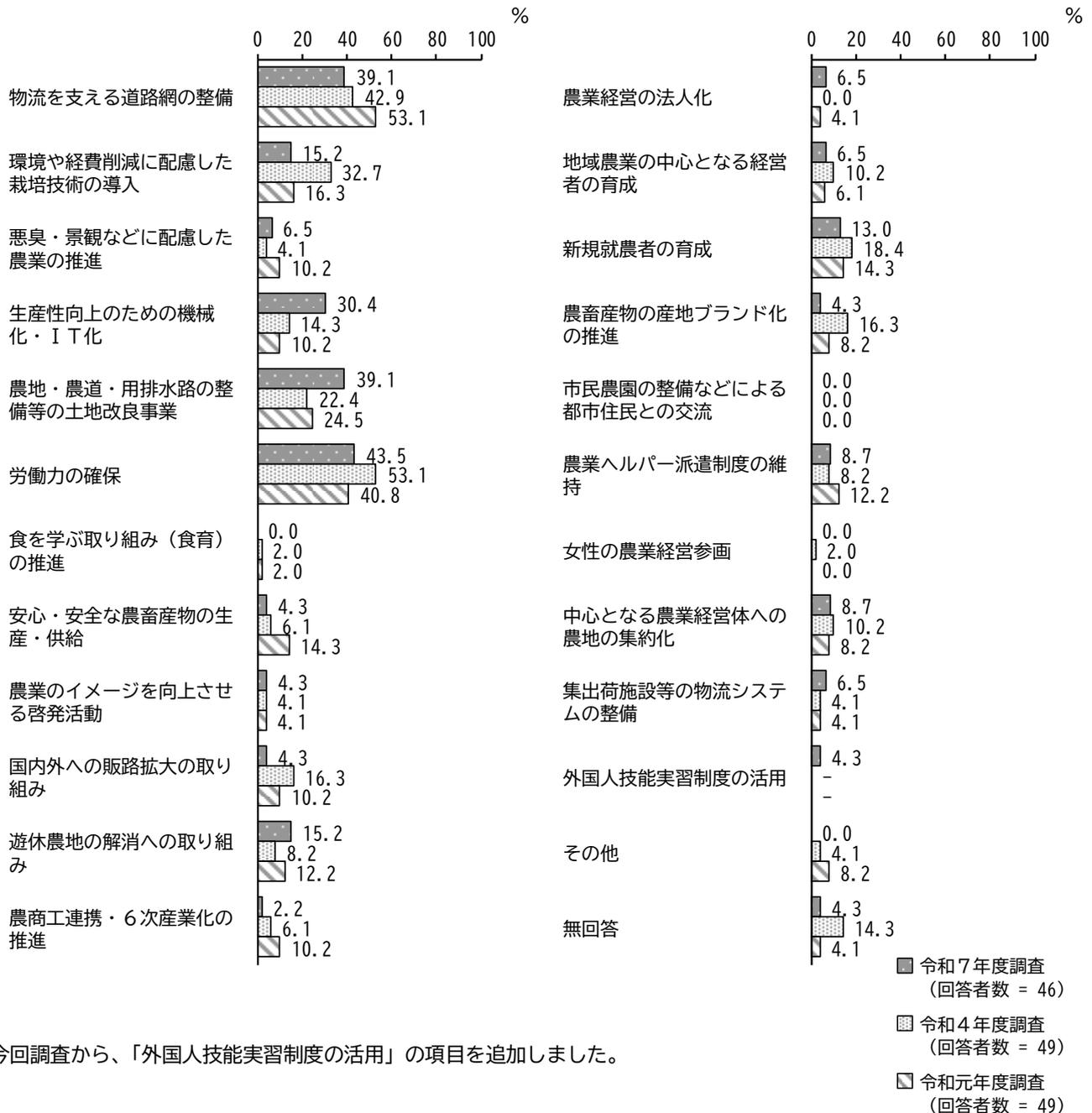
「厳しくなった」の割合が50.0%、「変わらない」の割合が47.8%となっています。  
令和4年度調査と比べて、「厳しくなった」が7.1ポイント減少しています。



問4 あなたは、農業産出額全国トップクラスの田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「労働力の確保」の割合が43.5%と最も高く、次いで「物流を支える道路網の整備」、「農地・農道・用排水路の整備等の土地改良事業」の割合がともに39.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「農地・農道・用排水路の整備等の土地改良事業」が16.7ポイント、「生産性向上のための機械化・IT化」が16.1ポイント増加しています。一方、「環境や経費削減に配慮した栽培技術の導入」が17.5ポイント減少しています。



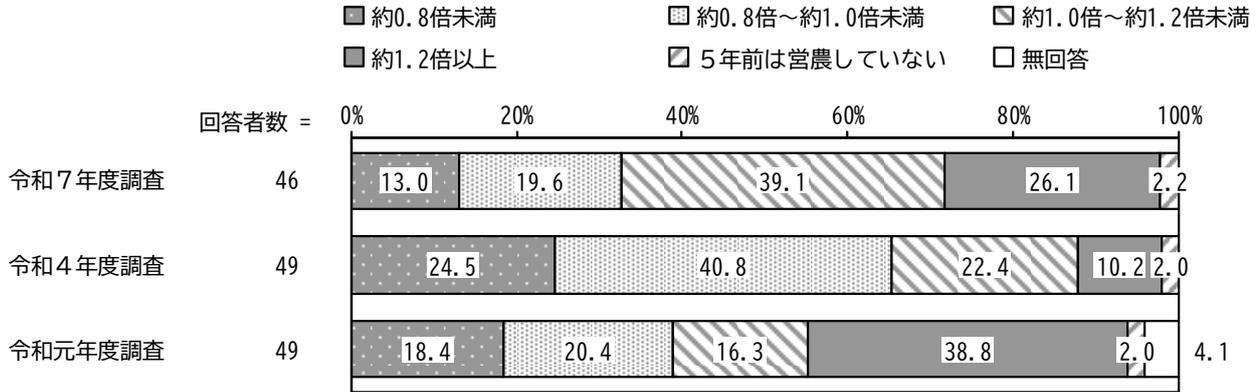
※今回調査から、「外国人技能実習制度の活用」の項目を追加しました。

### (3) あなたの農業経営について

#### 問5 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合が32.6%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合が65.2%となっています。

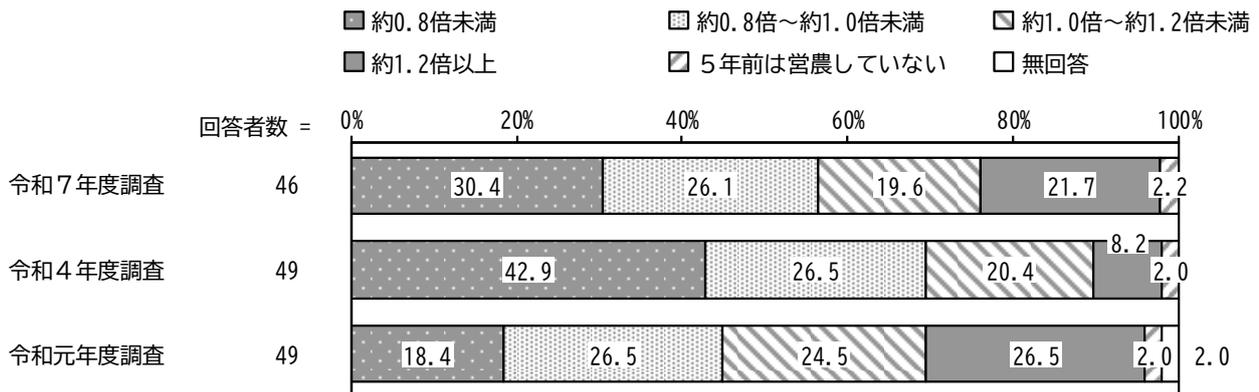
令和4年度調査と比べて、“1倍未満”の割合が32.7ポイント減少し、“1倍以上”の割合が32.6ポイント増加しています。



#### 問6 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合が56.5%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合が41.3%となっています。

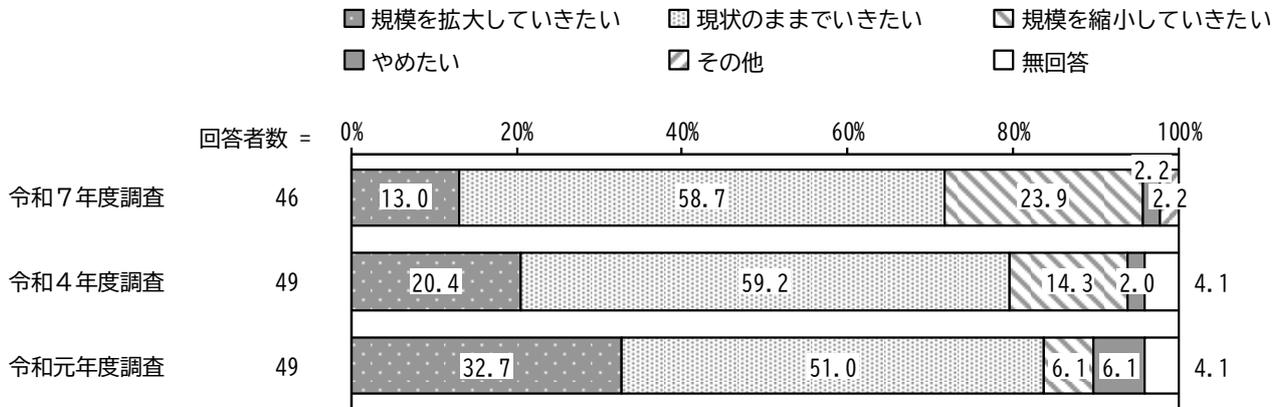
令和4年度調査と比べて、“1倍未満”の割合が12.9ポイント減少し、“1倍以上”の割合が12.7ポイント増加しています。



問7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇は1つ)

「現状のままでいきたい」の割合が58.7%と最も高く、次いで「規模を縮小していきたい」の割合が23.9%、「規模を拡大していきたい」の割合が13.0%となっています。

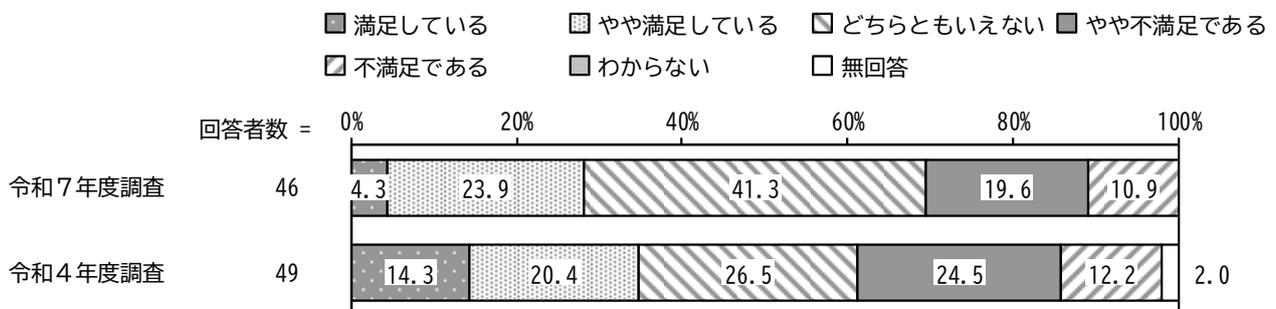
令和4年度調査と比べて、「規模を縮小していきたい」が9.6ポイント増加しています。



問8 あなたは、ご自身の農業経営に満足していますか。(〇は1つ)

「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が28.2%、「やや不満足である」「不満足である」を合わせた“不満足である”の割合が30.5%となっています。

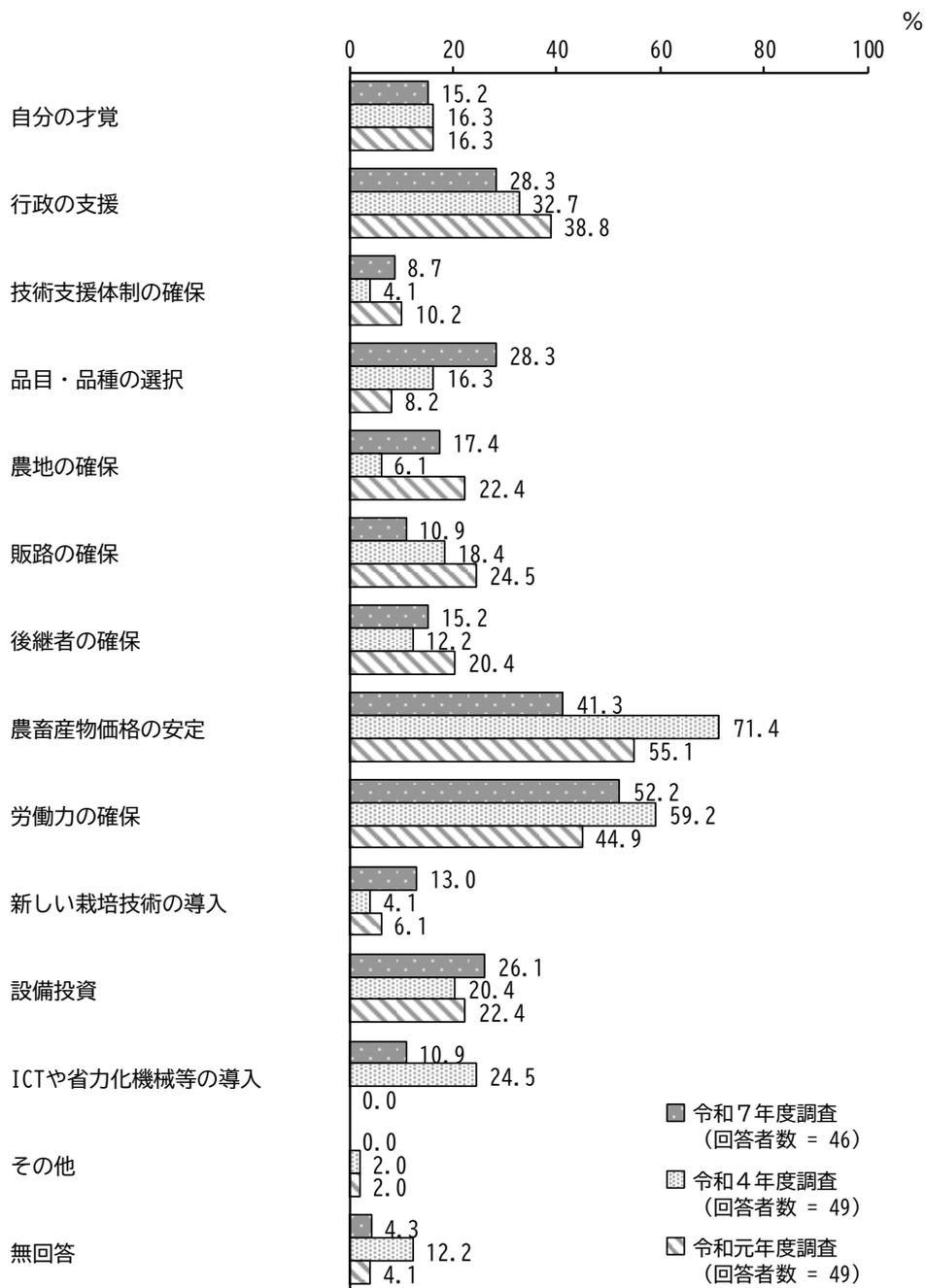
令和4年度調査と比べて、“満足している”が6.5ポイント減少しています。



問9 あなたの農業経営で、重要と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

「労働力の確保」の割合が52.2%と最も高く、次いで「農畜産物価格の安定」の割合が41.3%、「行政の支援」、「品目・品種の選択」の割合がともに28.3%となっています。

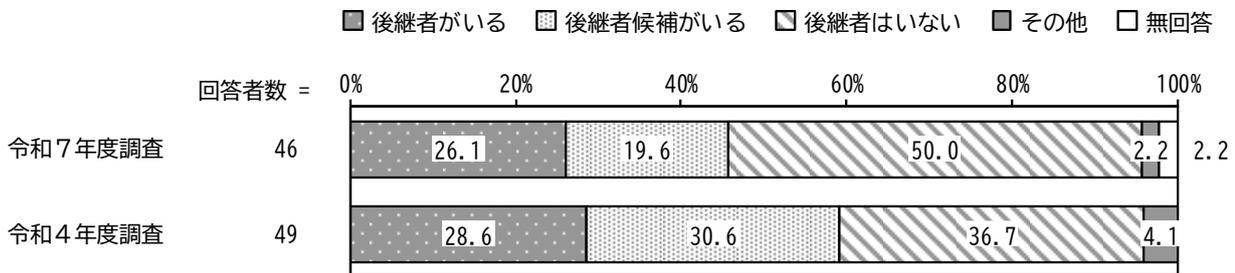
令和4年度調査と比べて、「品目・品種の選択」が12.0ポイント、「農地の確保」が11.3ポイント増加しています。一方、「農畜産物価格の安定」が30.1ポイント減少しています。



問10 あなたの農業経営の後継者はいますか。(○は1つ)

「後継者がいる」の割合が26.1%、「後継者候補がいる」の割合が19.6%、「後継者はいない」の割合が50.0%となっています。

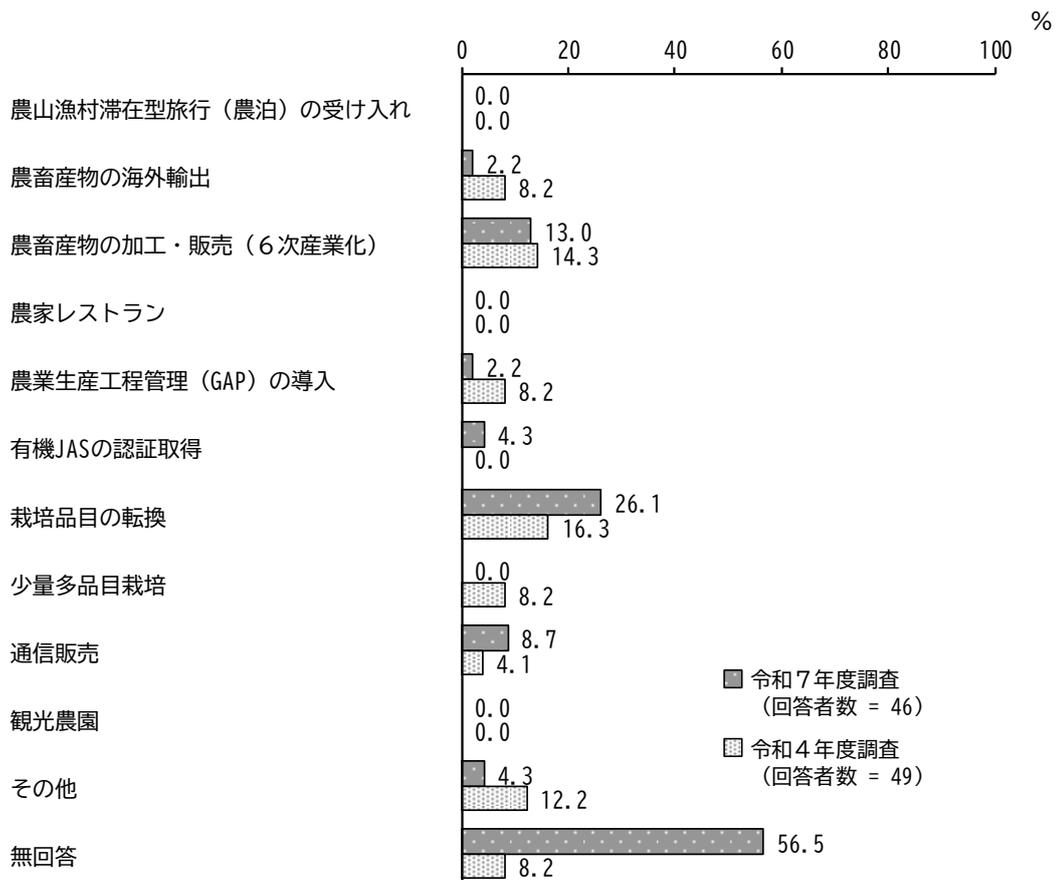
令和4年度調査と比べて、「後継者はいない」が13.3ポイント増加しています。



問11 あなたが、10年以内に取り組もうと考えていることはありますか。(あてはまるものすべて○)

「栽培品目の転換」の割合が26.1%と最も高く、次いで「農畜産物の加工・販売（6次産業化）」の割合が13.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「栽培品目の転換」が9.8ポイント増加しています。一方、「少量多品目栽培」が8.2ポイント減少しています。



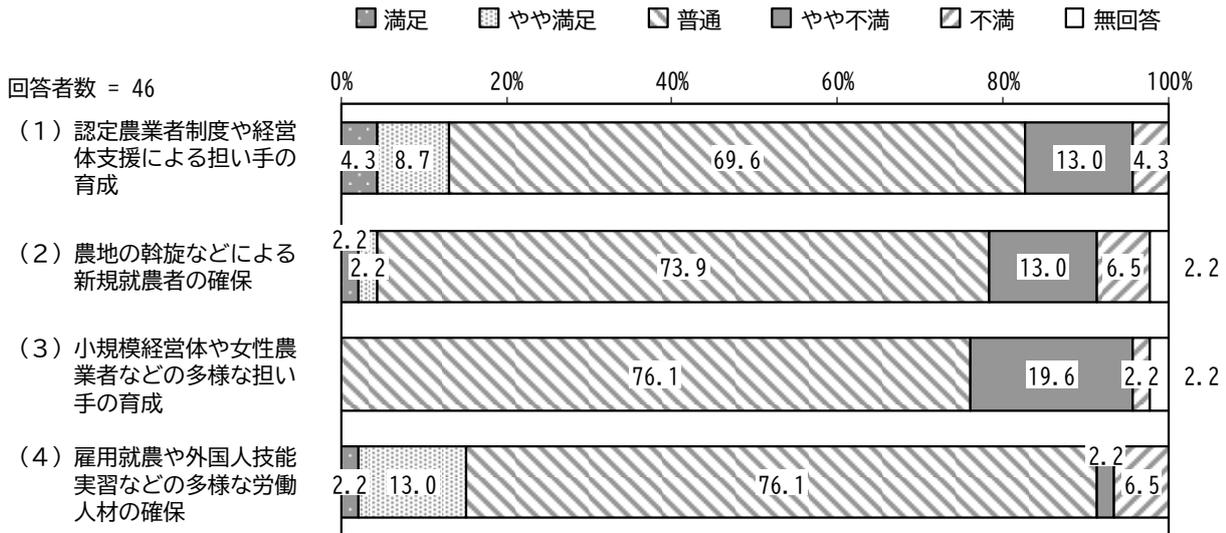
## (4) 多様な担い手の育成について

問 12 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

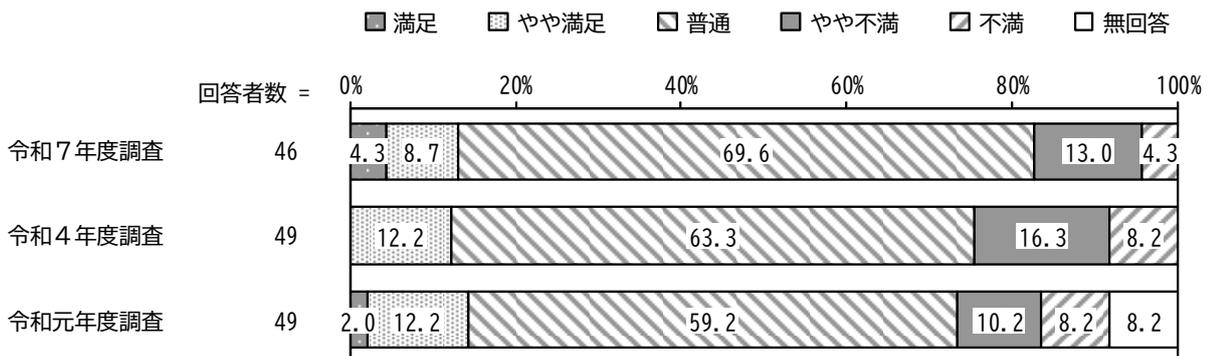
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、「満足」「やや満足」を合わせた“満足”(以下同じ)は、『(3)小規模経営体や女性農業者などの多様な担い手の育成』を除く全ての項目で増加しています。

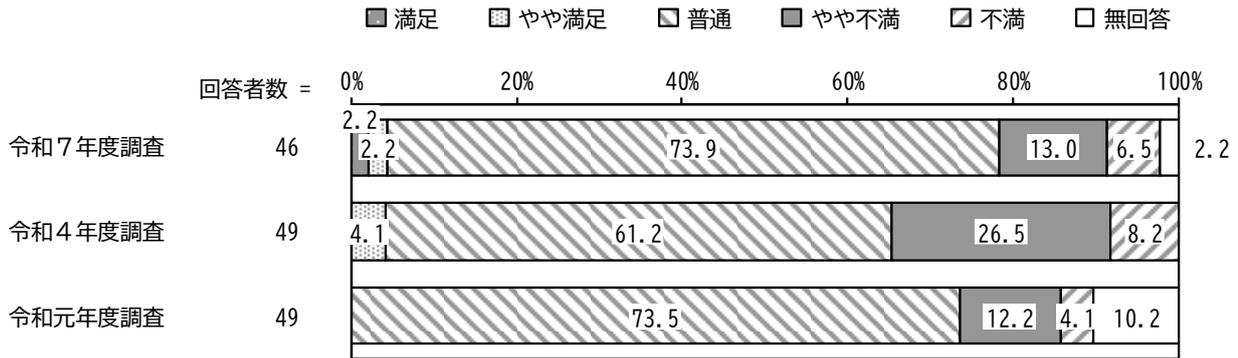
「不満」「やや不満」を合わせた“不満”(以下同じ)は、全ての項目で減少しており、『(4)雇用就農や外国人技能実習などの多様な労働人材の確保』は40.2ポイント減少しています。



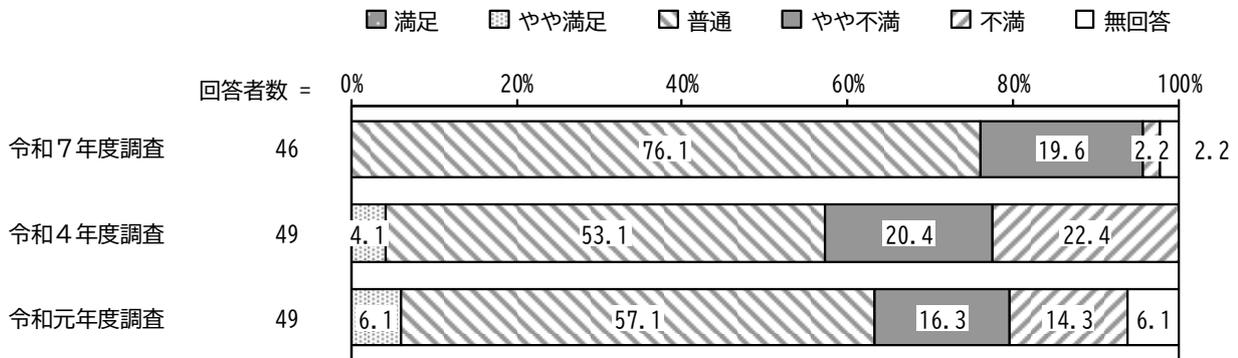
### (1) 認定農業者制度や経営体支援による担い手の育成



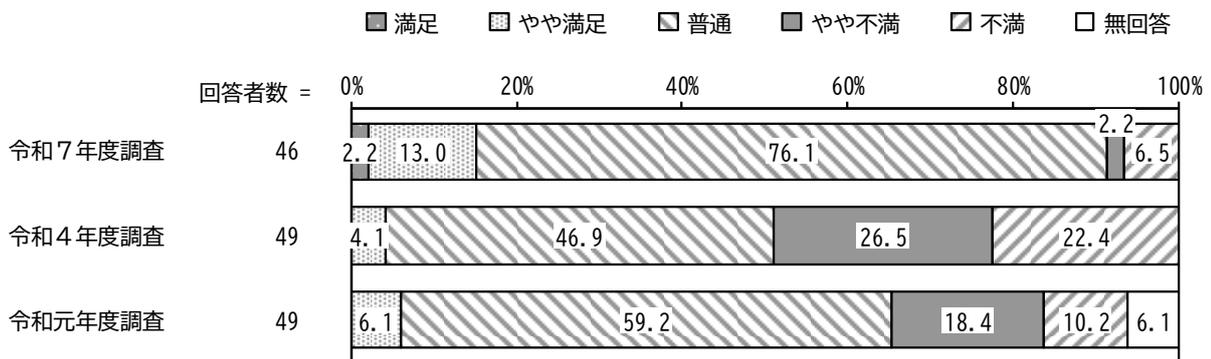
## (2) 農地の幹旋などによる新規就農者の確保



## (3) 小規模経営体や女性農業者などの多様な担い手の育成



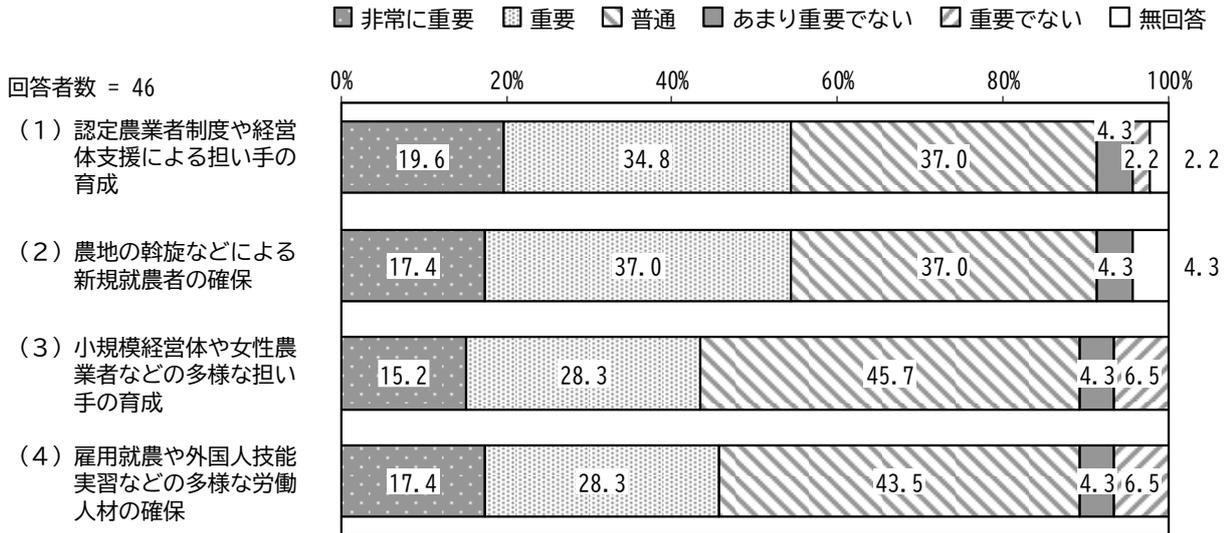
## (4) 雇用就農や外国人技能実習などの多様な労働人材の確保



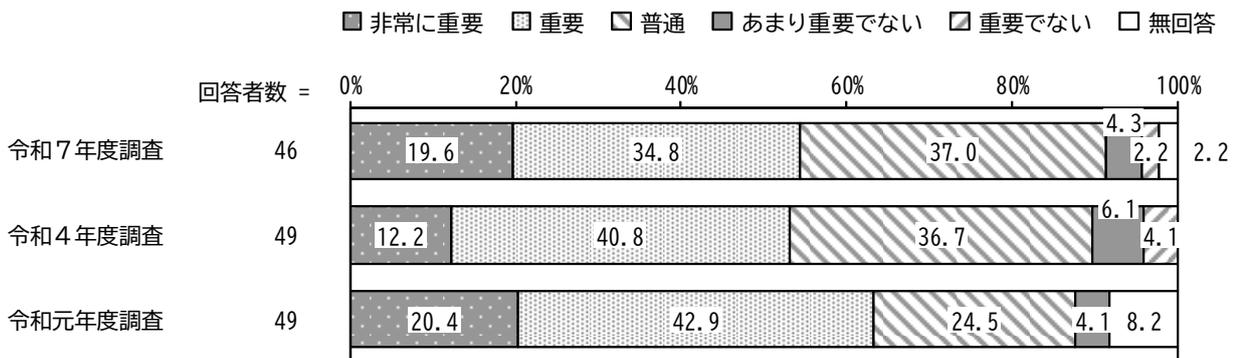
## 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、「非常に重要」「重要」を合わせた“重要”（以下同じ）は、『(1) 認定農業者制度や経営体支援による担い手の育成』を除く全ての項目で減少しており、『(4) 雇用就農や外国人技能実習などの多様な労働人材の確保』は25.7ポイント減少しています。

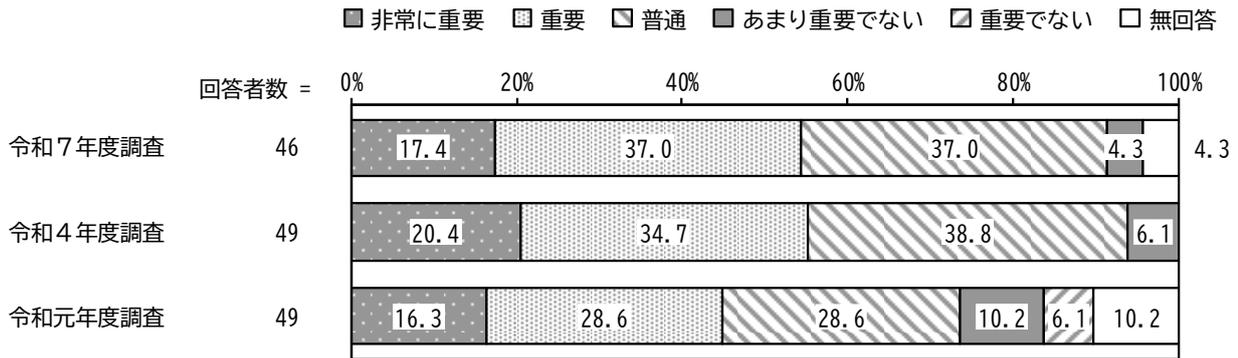
「重要でない」「あまり重要でない」を合わせた“重要でない”（以下同じ）は、『(3) 小規模経営体や女性農業者などの多様な担い手の育成』『(4) 雇用就農や外国人技能実習などの多様な労働人材の確保』で増加しています。



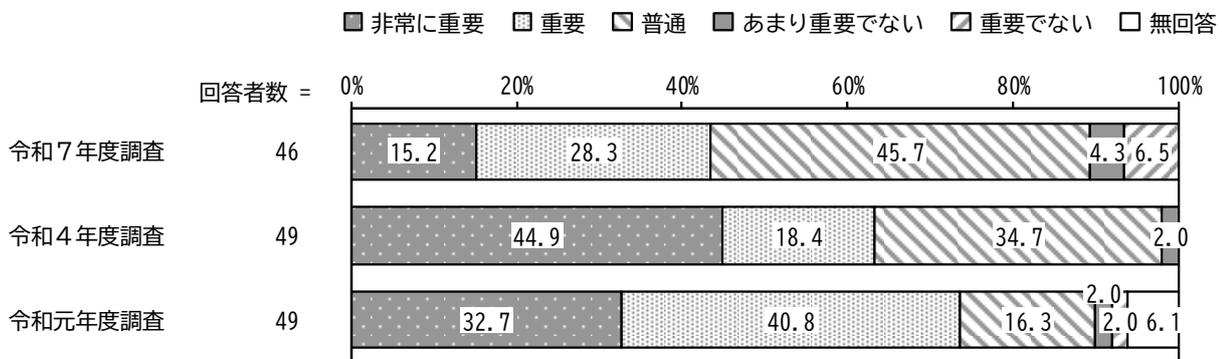
### (1) 認定農業者制度や経営体支援による担い手の育成



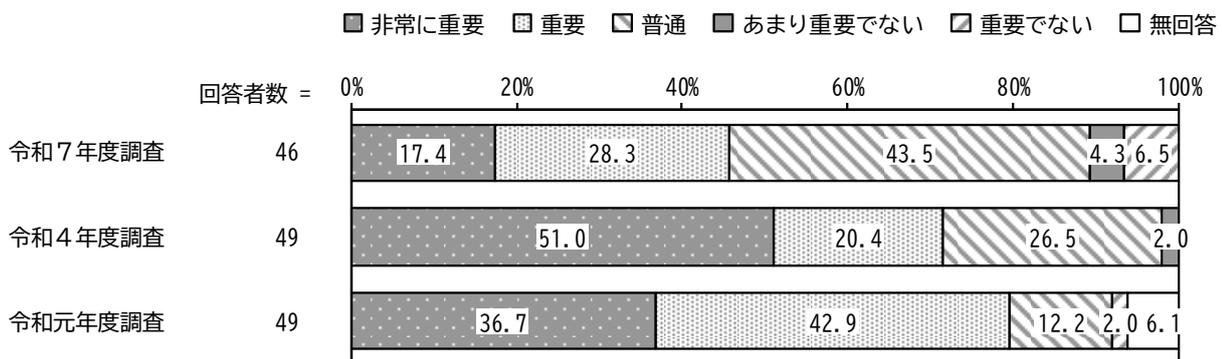
## (2) 農地の幹旋などによる新規就農者の確保



## (3) 小規模経営体や女性農業者などの多様な担い手の育成



## (4) 雇用就農や外国人技能実習などの多様な労働人材の確保



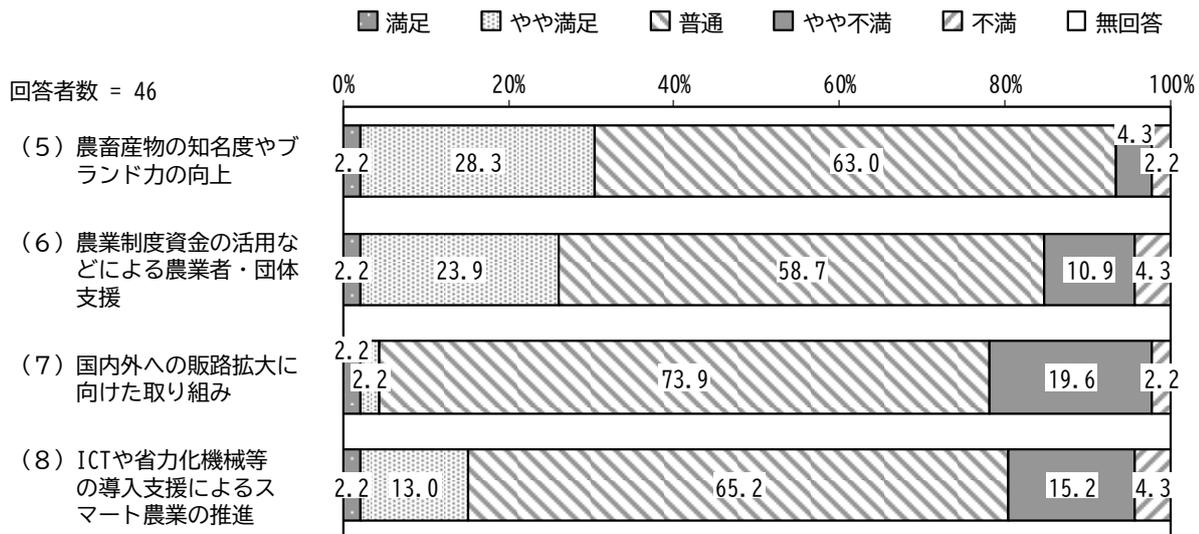
## (5) 農業経営の活性化について

問13 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

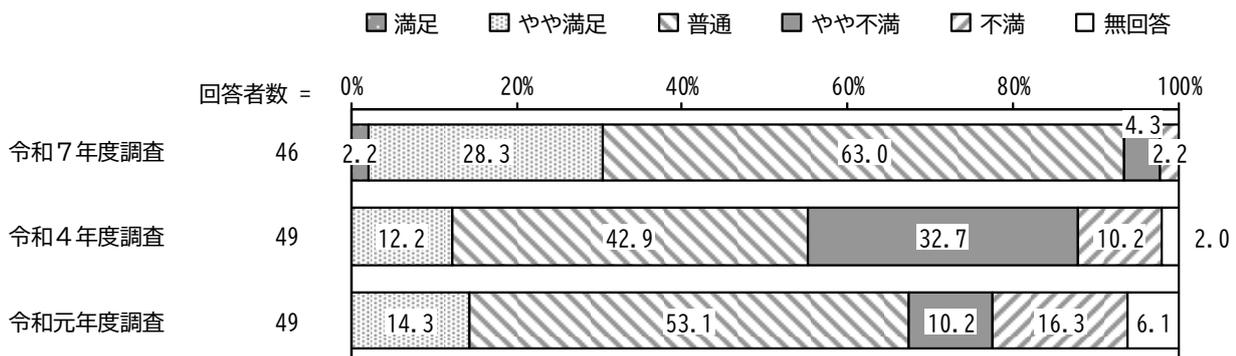
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、“満足”は、全ての項目で増加しており、『(5) 農畜産物の知名度やブランド力の向上』は18.3ポイント増加しています。

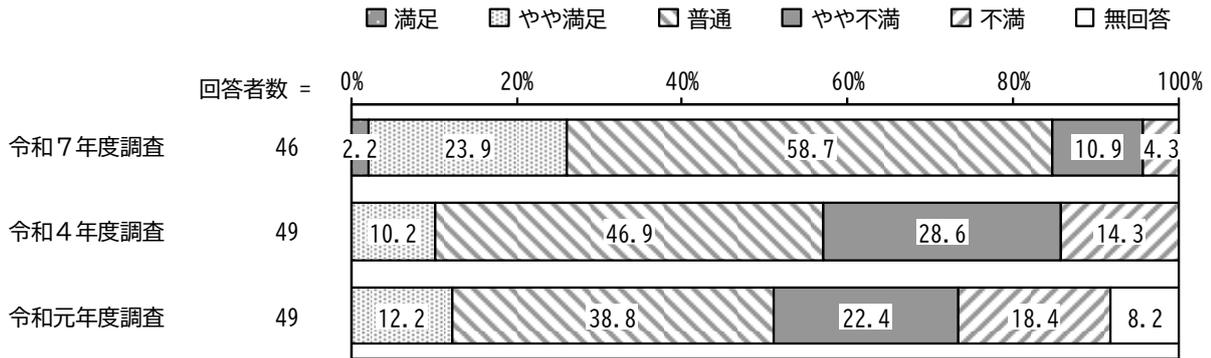
“不満”は、全ての項目で減少しており、『(5) 農畜産物の知名度やブランド力の向上』は36.4ポイント、『(7) 国内外への販路拡大に向けた取り組み』は31.2ポイント減少しています。



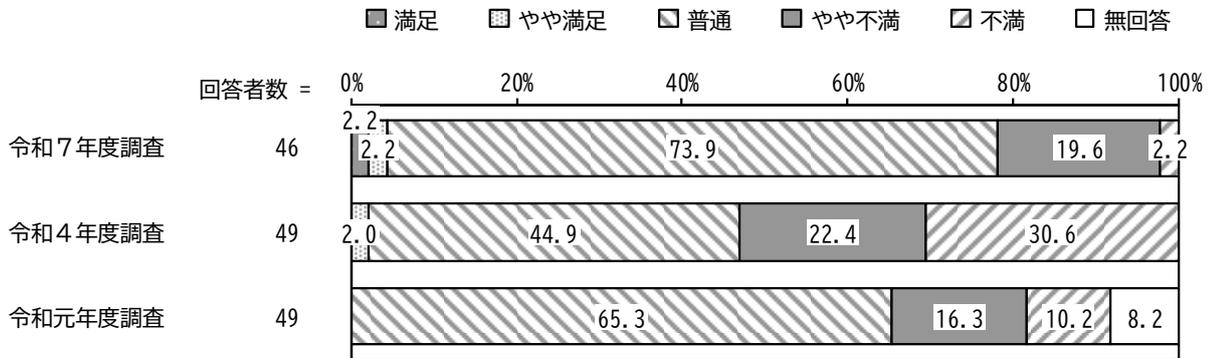
### (5) 農畜産物の知名度やブランド力の向上



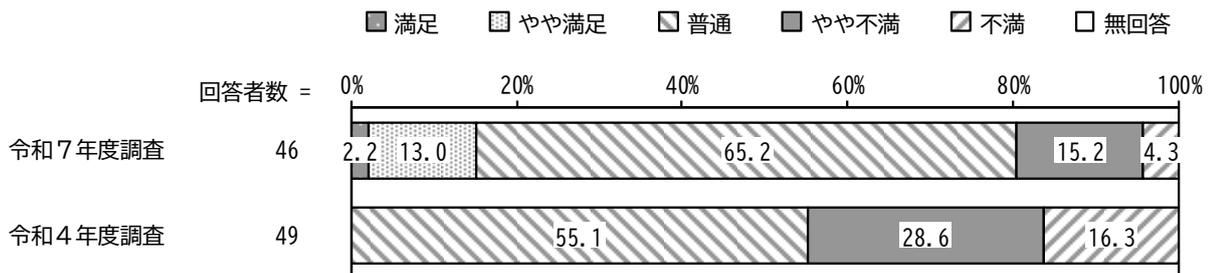
(6) 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援



(7) 国内外への販路拡大に向けた取り組み



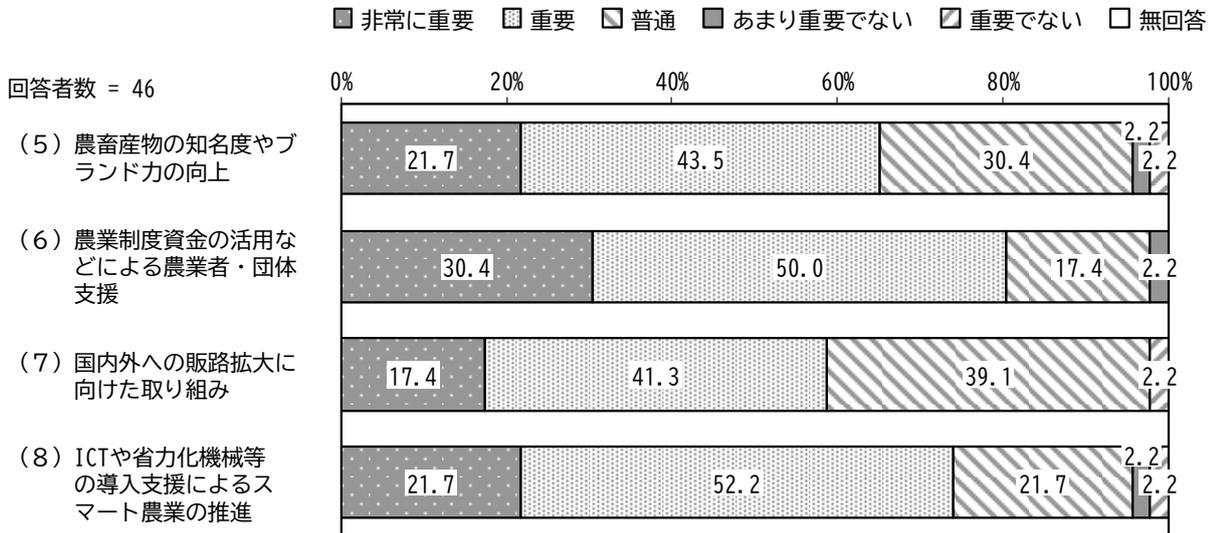
(8) ICT や省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進



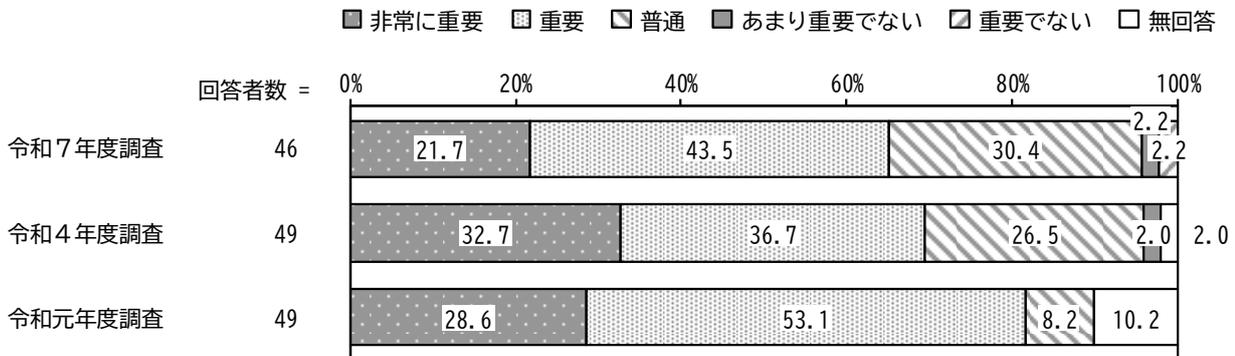
## 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(6) 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援』『(8) ICTや省力化機器等の導入支援によるスマート農業の推進』で増加しており、『(8) ICTや省力化機器等の導入支援によるスマート農業の推進』は16.8ポイント増加しています。

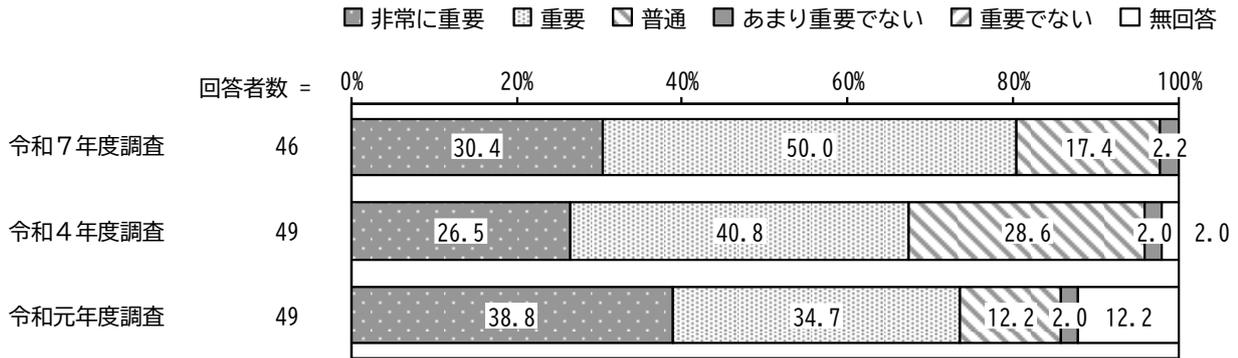
“重要でない”は、『(7) 国内外への販路拡大に向けた取り組み』を除く全ての項目で増加しています。



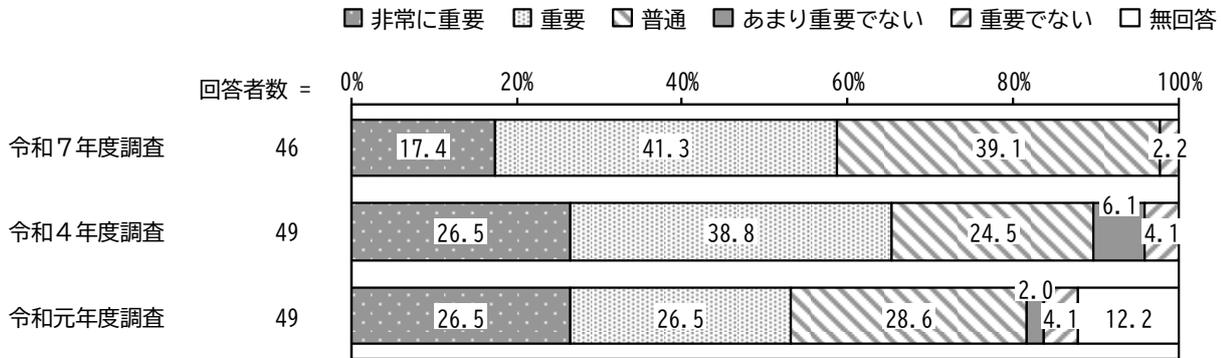
## (5) 農畜産物の知名度やブランド力の向上



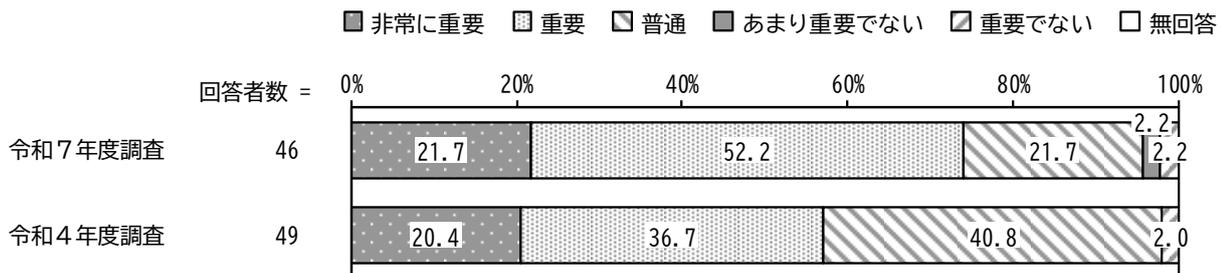
(6) 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援



(7) 国内外への販路拡大に向けた取り組み



(8) ICT や省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進



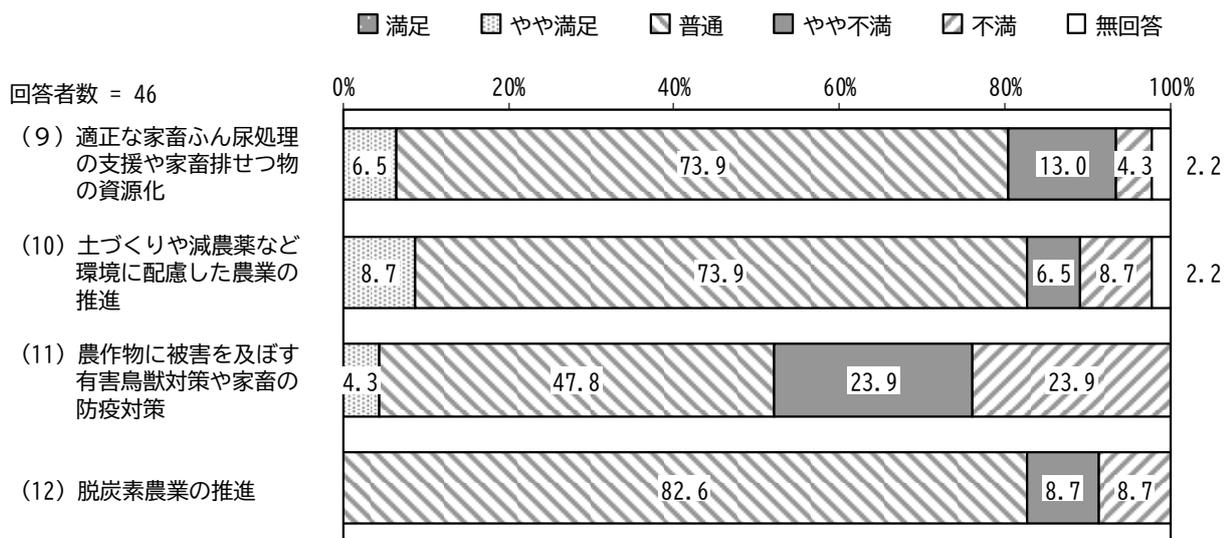
## (6) 環境保全型農業の推進について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

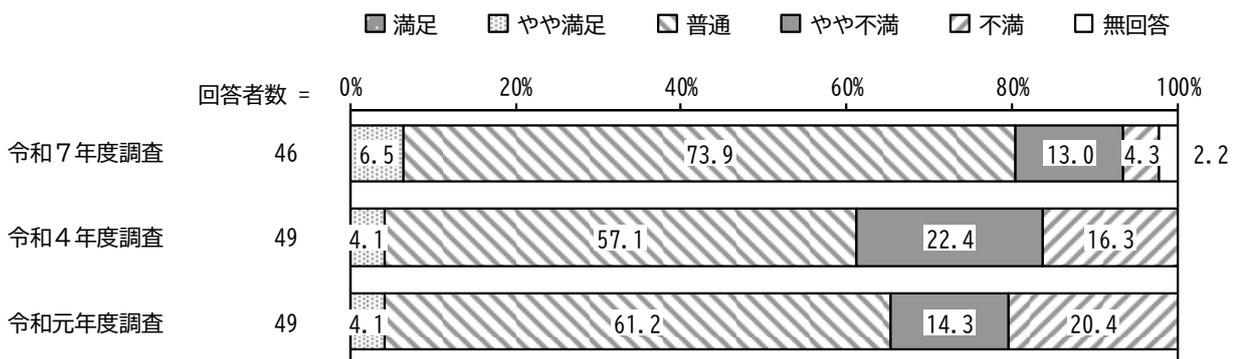
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(9) 適正な家畜ふん尿処理の支援や家畜排せつ物の資源化』『(10) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進』で増加しています。

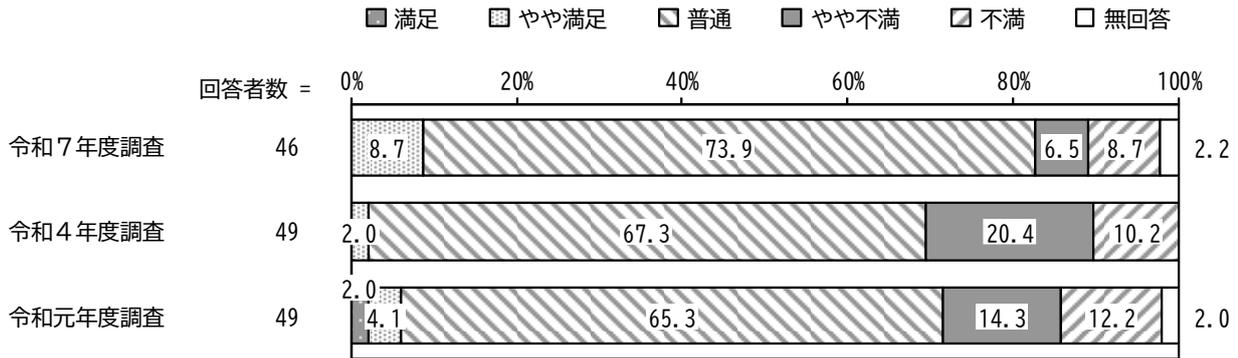
“不満”は、『(9) 適正な家畜ふん尿処理の支援や家畜排せつ物の資源化』『(10) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進』で減少しており、『(9) 適正な家畜ふん尿処理の支援や家畜排せつ物の資源化』は21.4ポイント減少しています。



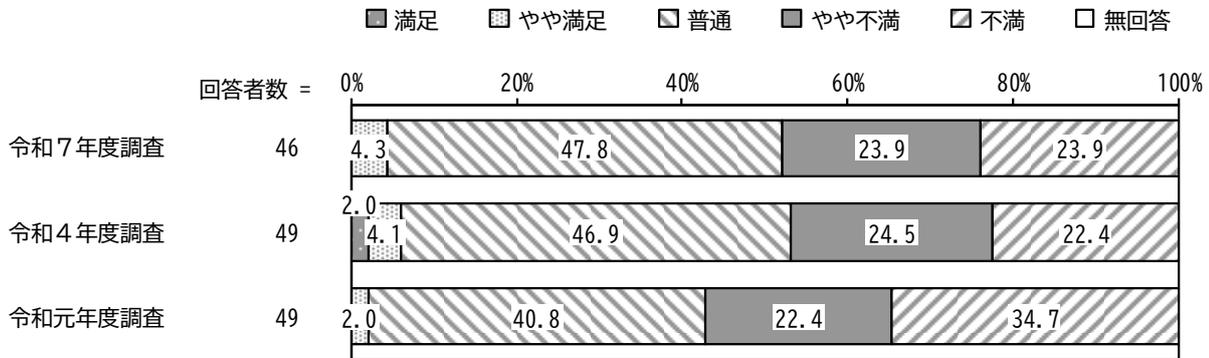
### (9) 適正な家畜ふん尿処理の支援や家畜排せつ物の資源化



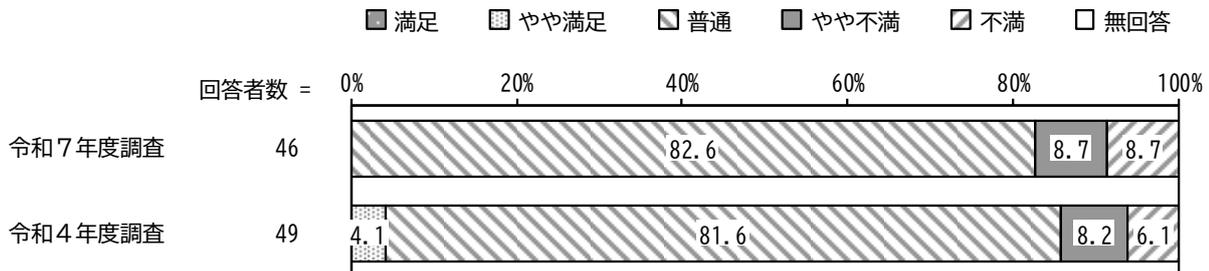
### (10) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進



### (11) 農作物に被害を及ぼす有害鳥獣対策や家畜の防疫対策



### (12) 脱炭素農業の推進

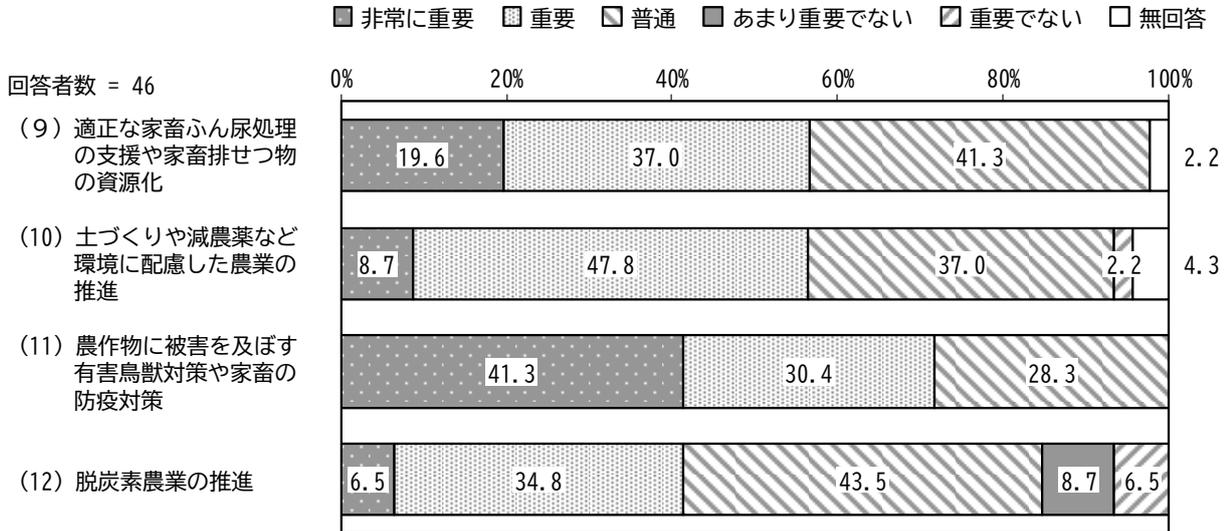


※令和元年度調査では、この項目はありませんでした。

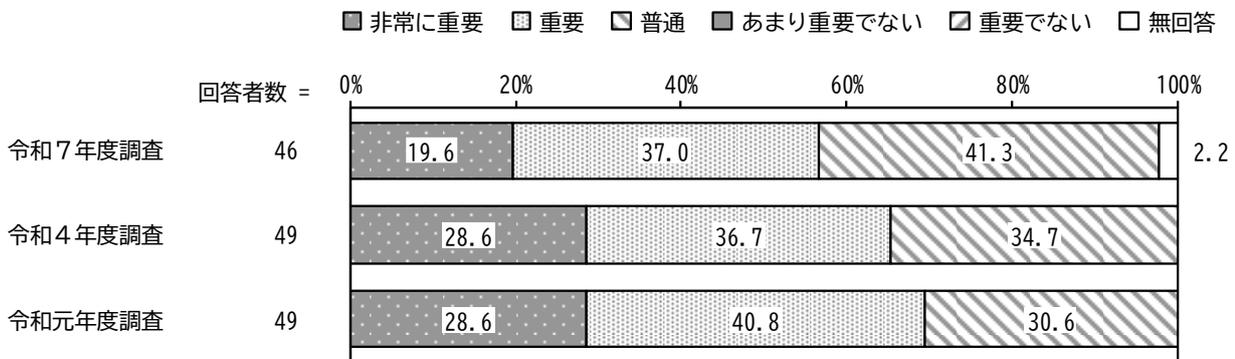
## 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(11) 農作物に被害を及ぼす有害鳥獣対策や家畜の防疫対策』を除く全ての項目で減少しています。

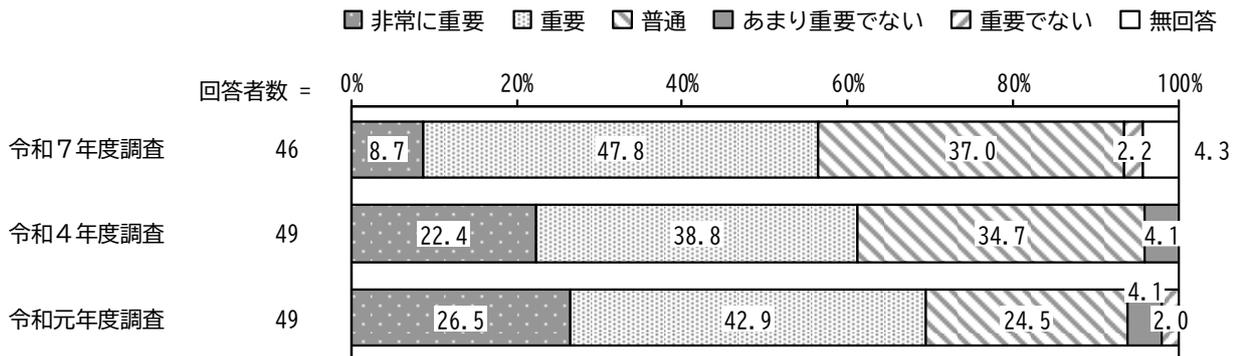
“重要でない”は、『(10) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進』で減少、『(12) 脱炭素農業の推進』で増加しています。



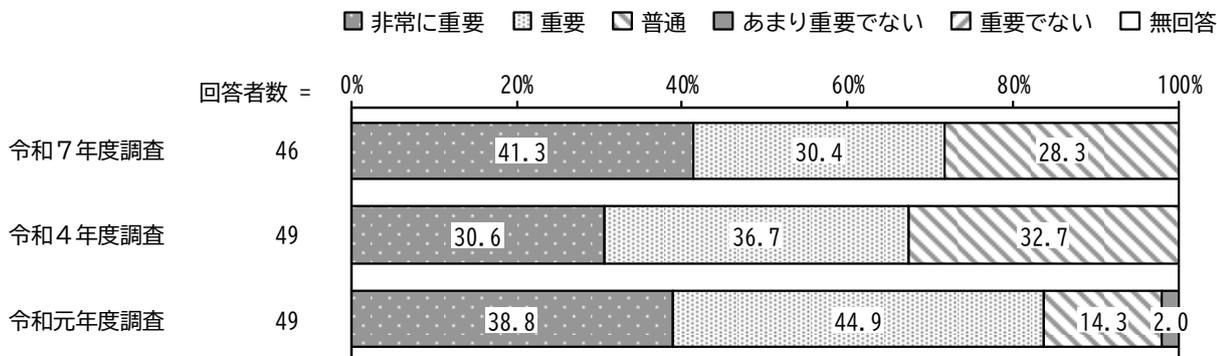
## (9) 適正な家畜ふん尿処理の支援や家畜排せつ物の資源化



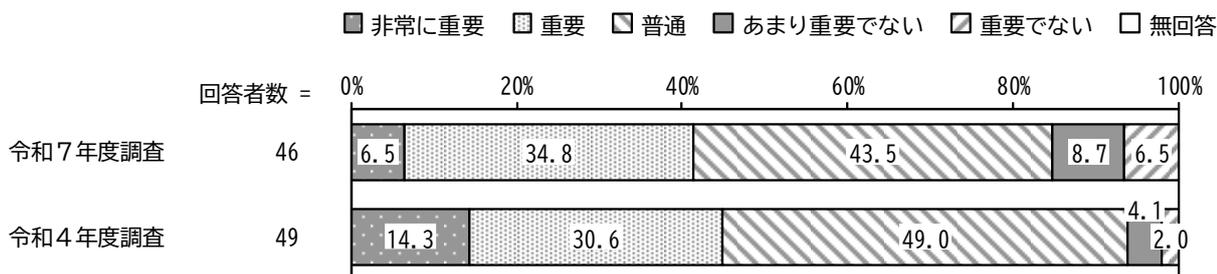
### (10) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進



### (11) 農作物に被害を及ぼす有害鳥獣対策や家畜の防疫対策



### (12) 脱炭素農業の推進



※令和元年度調査では、この項目はありませんでした。

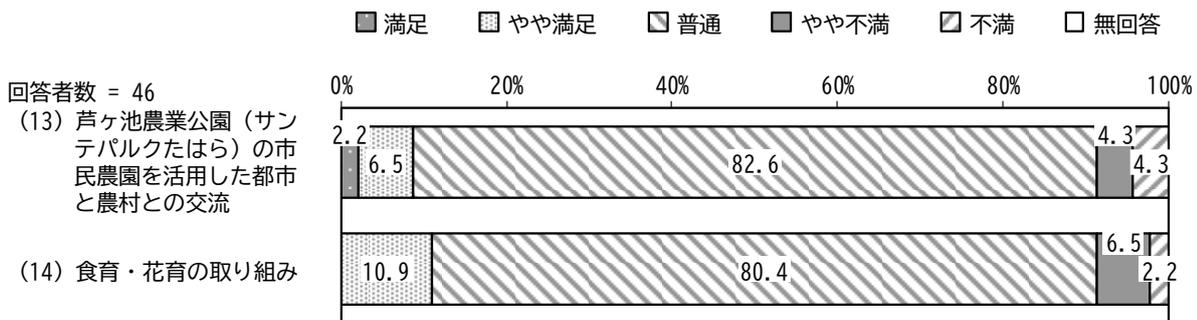
## (7) 交流・食育・花育の推進について

問 15 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

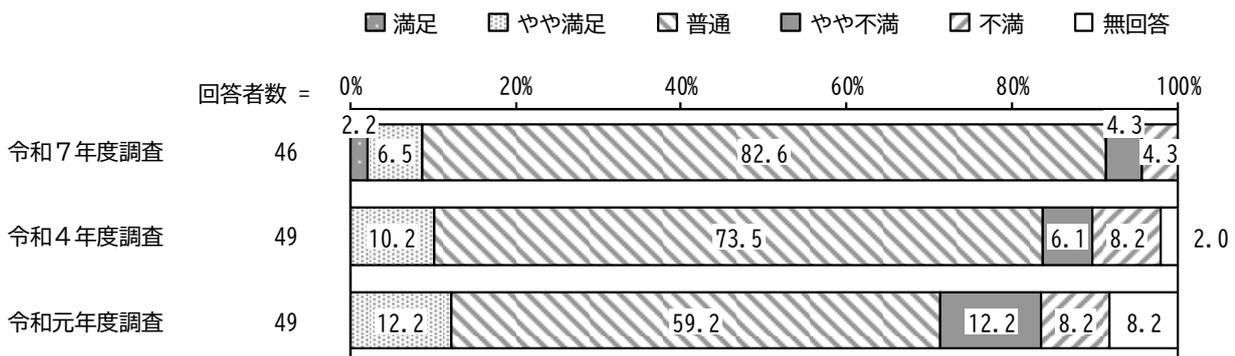
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(14)食育・花育の取り組み』で増加しています。

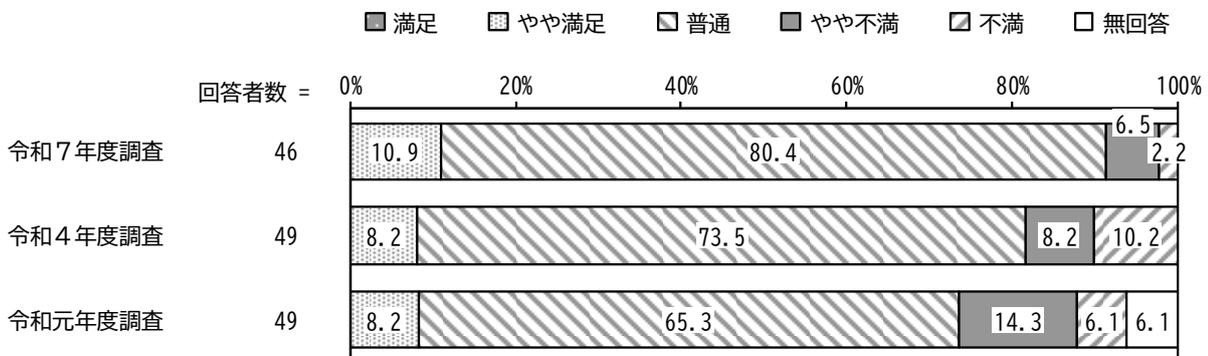
“不満”は、どちらの項目も減少しており、『(14)食育・花育の取り組み』は9.7ポイント減少しています。



### (13) 芦ヶ池農業公園（サンテパークたはら）の市民農園を活用した都市と農村との交流



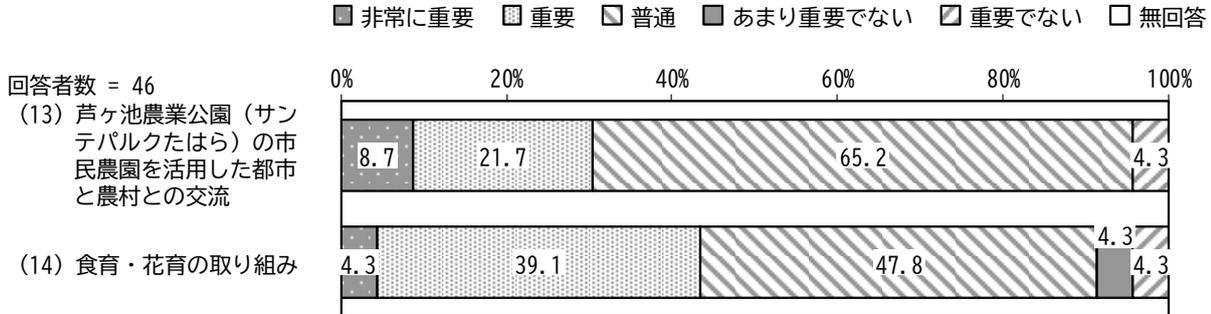
### (14) 食育・花育の取り組み



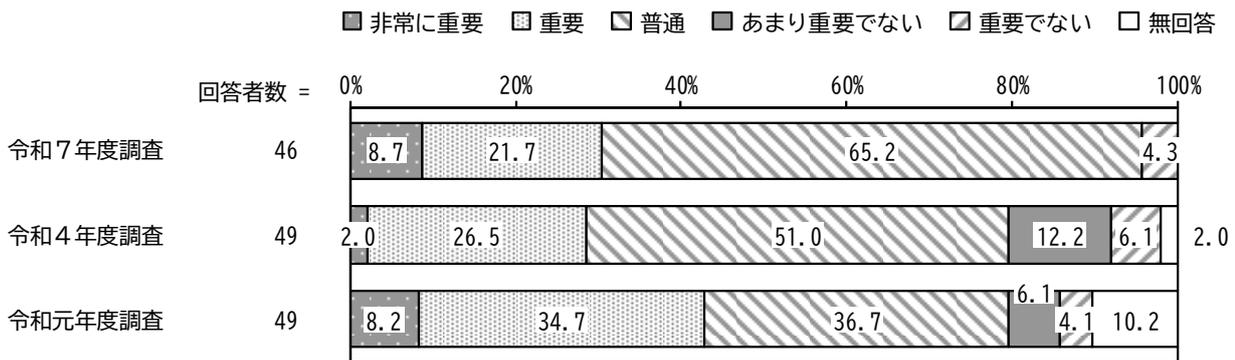
今後の重要性

令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(13) 芦ヶ池農業公園（サンテパークたはら）の市民農園を活用した都市と農村との交流』で増加しています。

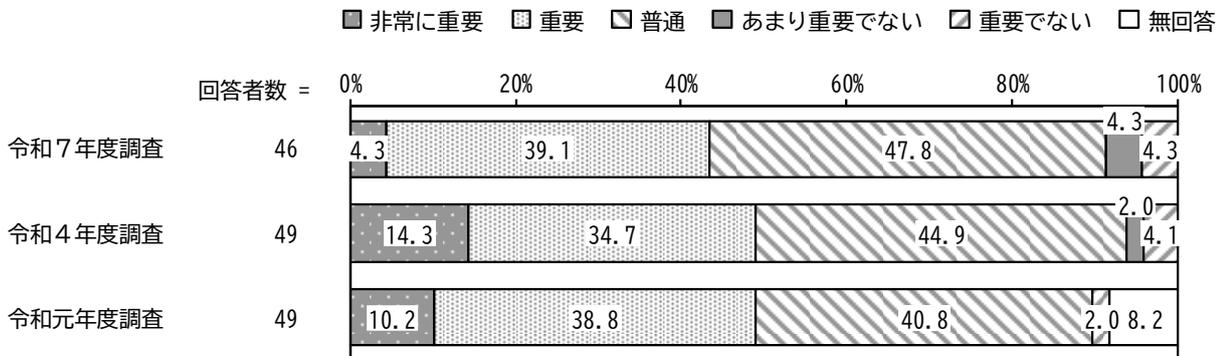
“重要でない”は、『(13) 芦ヶ池農業公園（サンテパークたはら）の市民農園を活用した都市と農村との交流』で14.0ポイント減少しています。



(13) 芦ヶ池農業公園（サンテパークたはら）の市民農園を活用した都市と農村との交流



(14) 食育・花育の取り組み

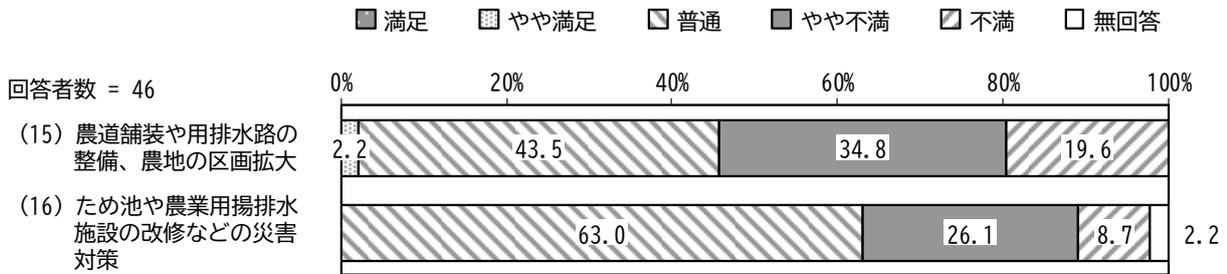


## (8) 農業基盤の整備について

問 16 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

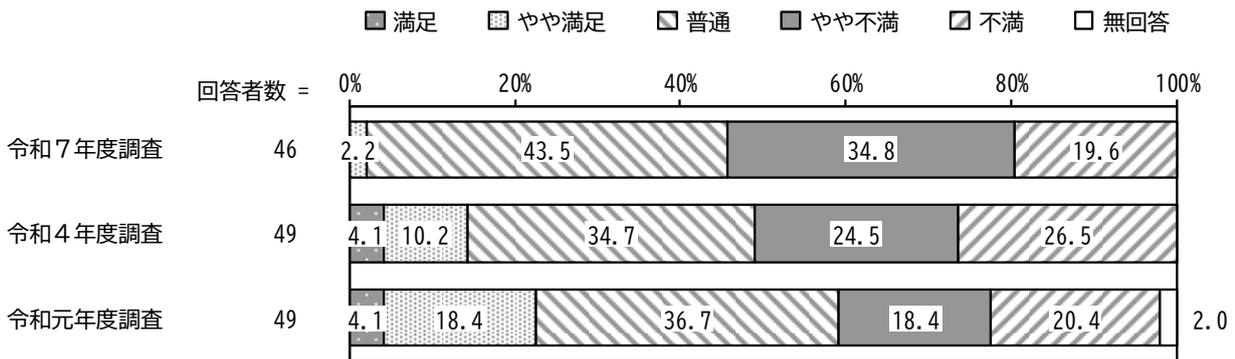
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(15) 農道舗装や用排水路の整備、農地の区画拡大』で12.1ポイント減少しています。



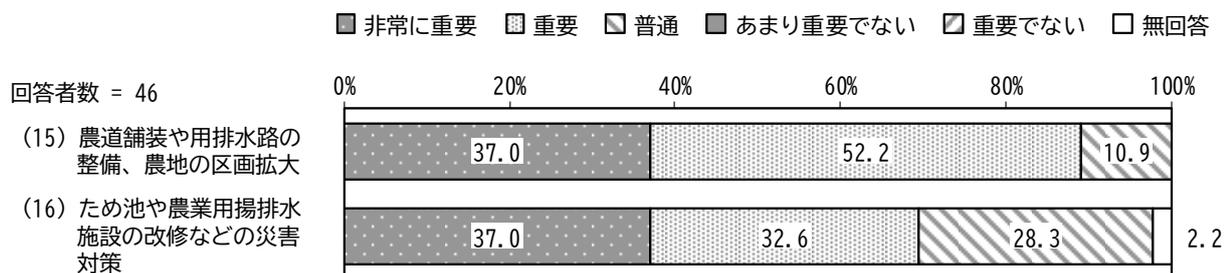
※今回の調査から「(16)ため池や農業用揚排水施設の改修などの災害対策」の項目を追加しました。

### (15) 農道舗装や用排水路の整備、農地の区画拡大



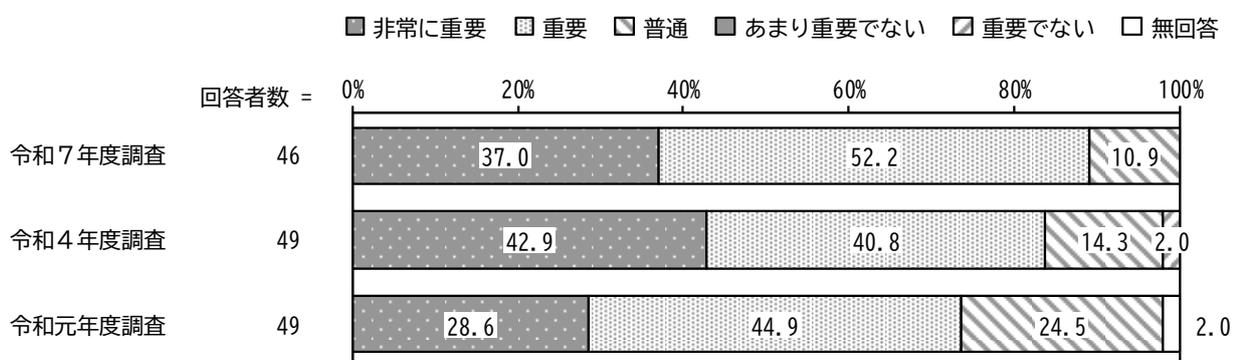
## 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(15) 農道舗装や用排水路の整備、農地の区画拡大』で5.5ポイント増加しています。



※今回の調査から「(16)ため池や農業用揚排水施設の改修などの災害対策」の項目を追加しました。

## (15) 農道舗装や用排水路の整備、農地の区画拡大



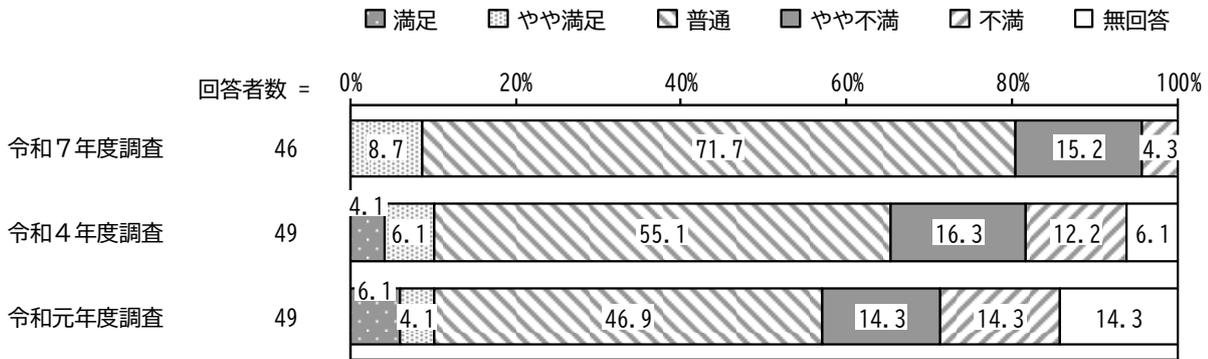
## (9) 農地の保全・活用の推進について

問 17 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

### 現在の評価

#### (17) 貸し手と借り手のマッチングなどによる遊休農地の解消や農地の有効利用

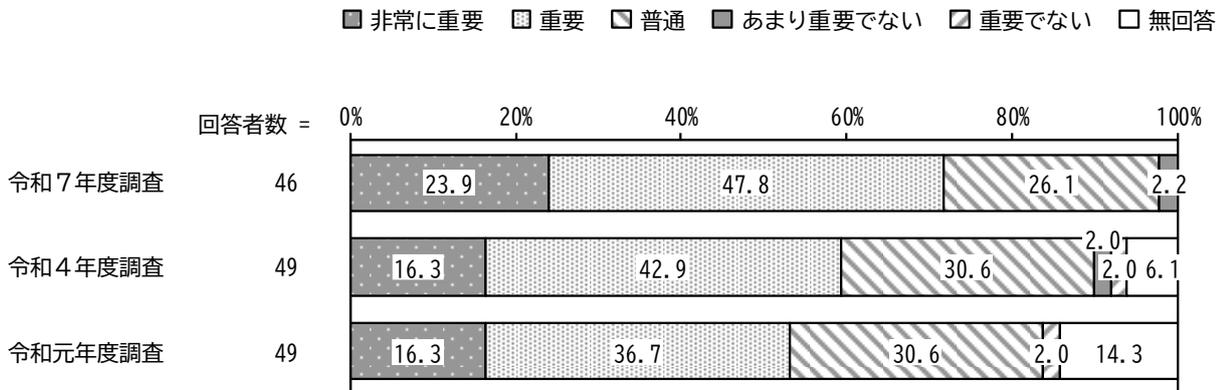
令和4年度調査と比べると、“不満”は、9.0ポイント減少しています。



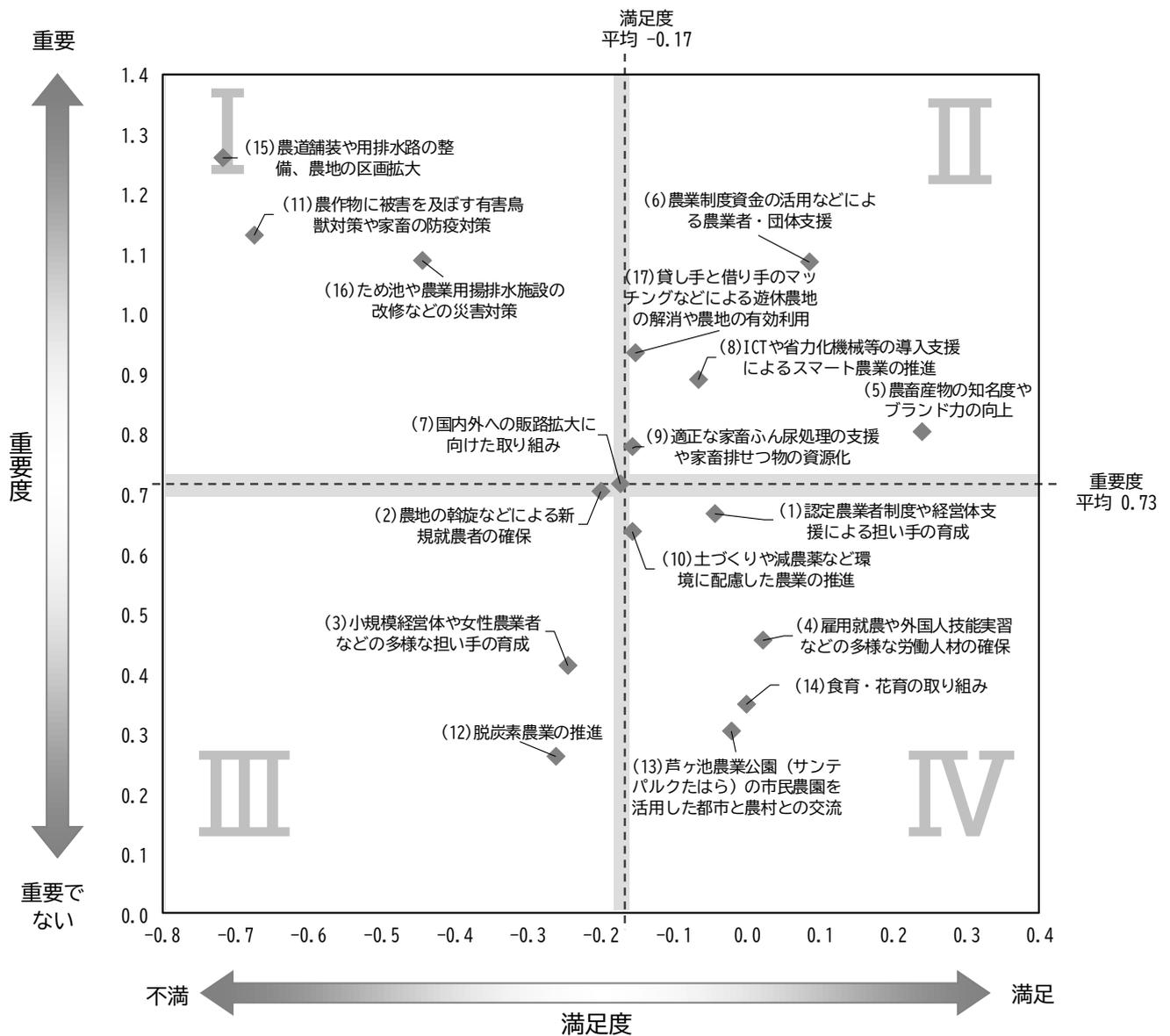
### 今後の重要性

#### (17) 貸し手と借り手のマッチングなどによる遊休農地の解消や農地の有効利用

令和4年度調査と比べると、“重要”は、12.5ポイント増加しています。



ポートフォリオ分析による市の取り組みの評価については、『(15) 農道舗装や用排水路の整備、農地の区画拡大』など3項目が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度	重要度
(1) 認定農業者制度や経営体支援による担い手の育成	-0.04	0.67
(2) 農地の幹旋などによる新規就農者の確保	-0.20	0.70
(3) 小規模経営体や女性農業者などの多様な担い手の育成	-0.24	0.41
(4) 雇用就農や外国人技能実習などの多様な労働人材の確保	0.02	0.46
(5) 農畜産物の知名度やブランド力の向上	0.24	0.80
(6) 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	0.09	1.09
(7) 国内外への販路拡大に向けた取り組み	-0.17	0.72
(8) ICT や省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進	-0.07	0.89
(9) 適正な家畜ふん尿処理の支援や家畜排せつ物の資源化	-0.16	0.78
(10) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	-0.16	0.64
(11) 農作物に被害を及ぼす有害鳥獣対策や家畜の防疫対策	-0.67	1.13
(12) 脱炭素農業の推進	-0.26	0.26
(13) 芦ヶ池農業公園（サンテパルクたはら）の市民農園を活用した都市と農村との交流	-0.02	0.30
(14) 食育・花育の取り組み	0.00	0.35
(15) 農道舗装や用排水路の整備、農地の区画拡大	-0.72	1.26
(16) ため池や農業用揚排水施設の改修などの災害対策	-0.44	1.09
(17) 貸し手と借り手のマッチングなどによる遊休農地の解消や農地の有効利用	-0.15	0.93

◆前ページの図から分析判断できる最優先課題◆

- (11) 農作物に被害を及ぼす有害鳥獣対策や家畜の防疫対策
- (15) 農道舗装や用排水路の整備、農地の区画拡大
- (16) ため池や農業用揚排水施設の改修などの災害対策

## (10) 市政に対するご意見

問 18 今後、田原市の農業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・ 市県民税が高すぎる。
- ・ 10年前と比べると、ヌートリア・アナグマ・ハクビシンが増えて作物を食べて困る。
- ・ もう手遅れだとは思いますが、今の状態ではちゃんと考える事ができる人なら農家を継がせるのをやめるでしょう。現に私の地域で就農した若者は、私の息子の後は誰もいません。
- ・ 花のアピールばかりで野菜のアピールが不足している。花は食べられません。
- ・ 田原市が何をしているかわからない。
- ・ 舗装をしてない畑の区間の道路の舗装や排水などの工事をしてほしい。人員不足による外国人労働者の確保を促す活動などは、市として極力控えて考えてほしい。理由としては、研修生を雇う事業者達が需要と供給のバランスを崩して価格破壊を招く為。家族経営の農家がやっつけなくなる。もっと市をあげて農家を応援してほしい。トラクターなど大きな買い物に対しての補助金など、これから農業をやる人たちにとっては必要不可欠だと思う。面積拡大や売上の上昇などが補助金の申請項目にあるが、面積を増やしたところで売上は市場の需要と供給のバランスで決まり、上昇などはあまりない。未完熟な堆肥などを入れる人が後を絶たず、カラスや病気の蔓延などの被害が年々増えている。
- ・ 実現性のある地域計画の策定と実行。農地集積や集約、担い手と小規模農家や市民農園とのゾーニングなどは、個人では難しい面もあるため行政との協働が必要だと思う。
- ・ 若者が外に出て行き、帰ってこないことに対してもっと危機感を持ってほしい。外からの移住者にお金を出すよりも田原市に住み続ける若者にお金を出すべき。地元就職すれば返済不要の奨学金とか、農業を継げば農学部に行かせてあげるとか、結婚相手を連れて帰ってくれば祝金とか色々あると思う。
- ・ 日本一の奪還、インフレ対策、害獣駆除の組織化、農機具の泥棒対策。
- ・ 農業残渣の焼却や畜産業から出る糞尿処理などは、寛大な対応を取って欲しい。逆に、食品残渣を含むバーク堆肥の悪臭問題は厳しく規制して欲しい。

## 4 市内漁業者

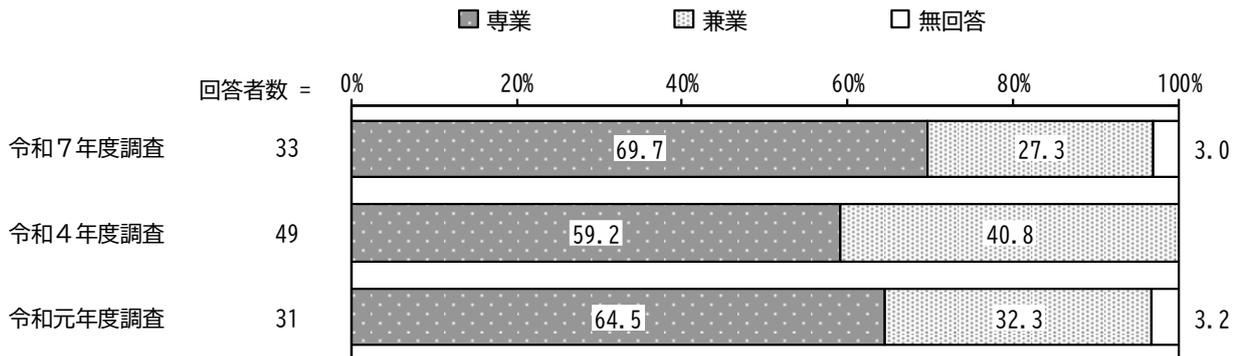
### (1) 回答者属性

問1 あなたの事業についてお聞きします。

#### 専業・兼業の別 (○は1つ)

「専業」の割合が69.7%、「兼業」の割合が27.3%となっています。

令和4年度調査と比べて、「専業」が10.5ポイント増加しています。一方、「兼業」が13.5ポイント減少しています。



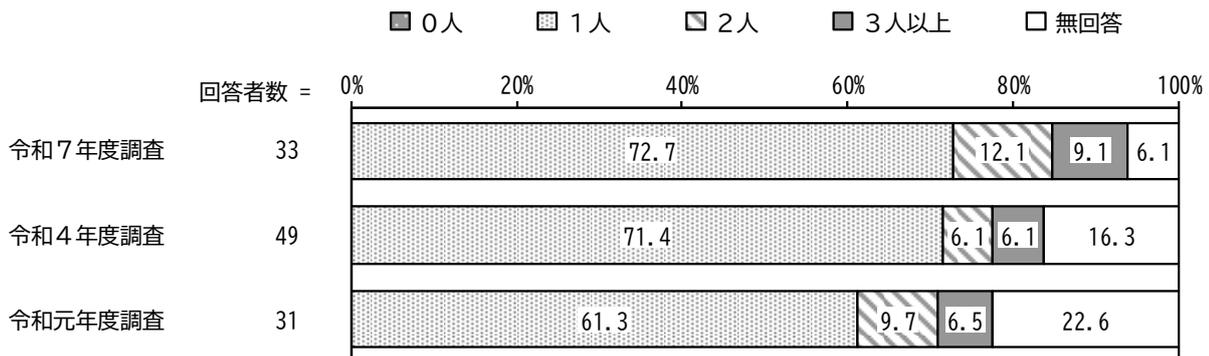
#### 漁業に従事している人数 (回答者を含んだ数)

##### 1 常時漁業に従事している

##### 男性

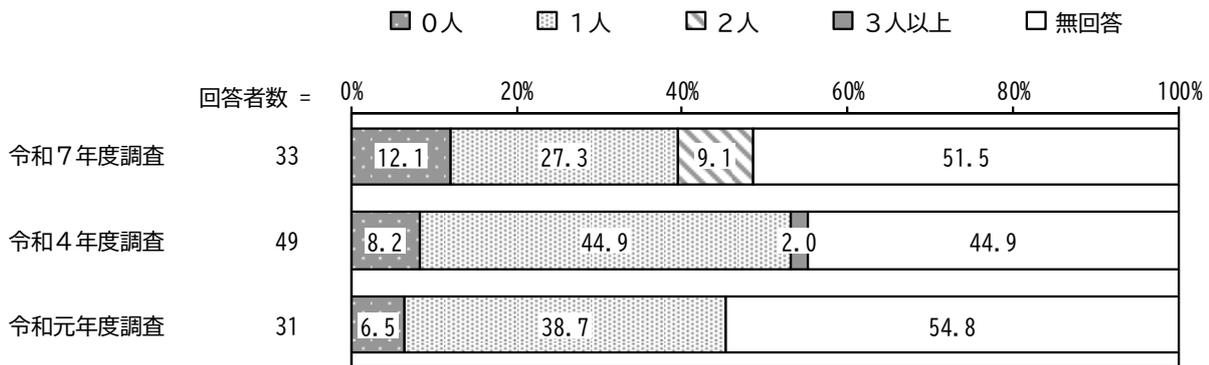
「1人」の割合が72.7%と最も高く、次いで「2人」の割合が12.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「2人」が6.0ポイント増加しています。



## 女性

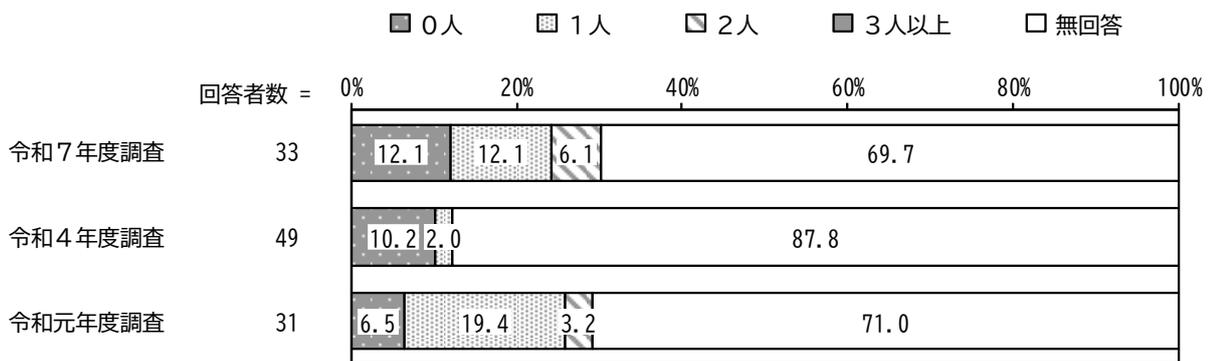
「1人」の割合が27.3%と最も高く、次いで「0人」の割合が12.1%となっています。  
令和4年度調査と比べて、「1人」が17.6ポイント減少しています。



## 2 臨時に漁業に従事している

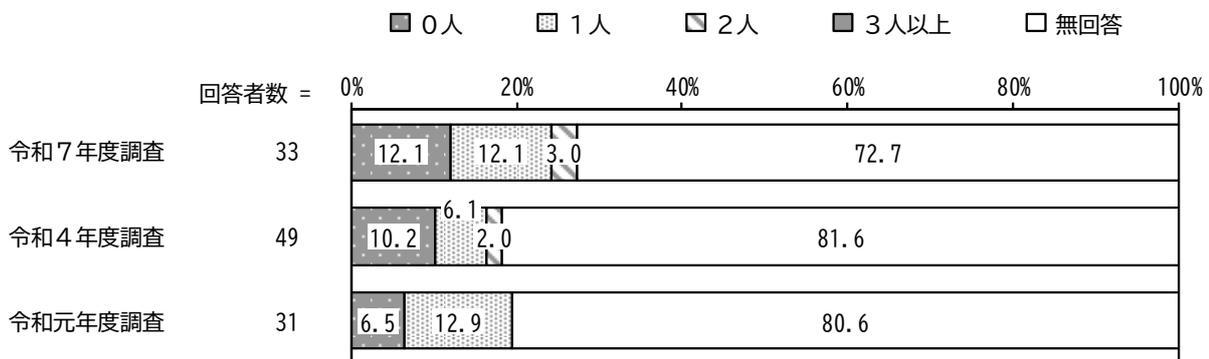
### 男性

「0人」、「1人」の割合がともに12.1%と最も高くなっています。  
令和4年度調査と比べて、「1人」が10.1ポイント、「2人」が6.1ポイント増加しています。



### 女性

「0人」、「1人」の割合がともに12.1%と最も高くなっています。  
令和4年度調査と比べて、「1人」が6.0ポイント増加しています。



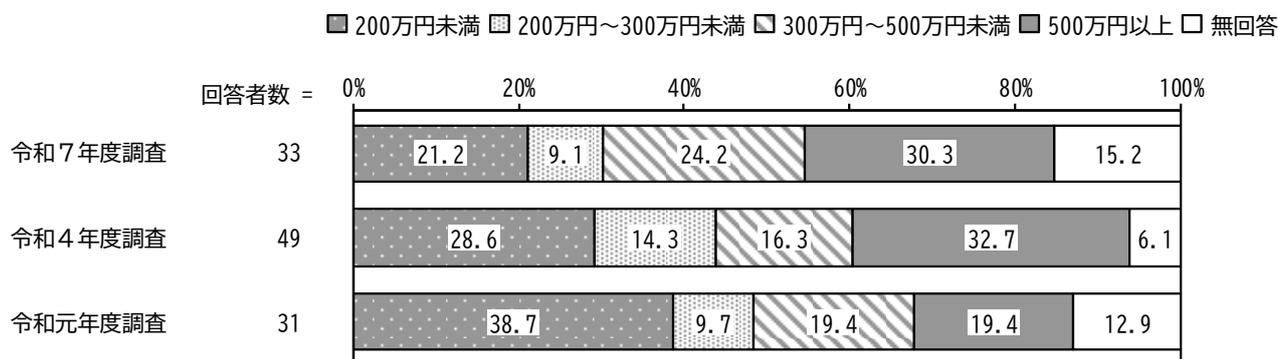
## 主な漁獲物

カテゴリ名	件数
あさり	21
海苔	8
魚（ヒラメ、マゴチ、カンパチ、のどぐろ等）	7
貝	4
カニ	2
カキ	1
コウイカ	1
しらす	1
タコ	1
ワカメ	1
その他	1

## おおよその漁業所得（R6.1.1～R6.12.31）

「500万円以上」の割合が30.3%と最も高く、次いで「300万円～500万円未満」の割合が24.2%、「200万円未満」の割合が21.2%となっています。

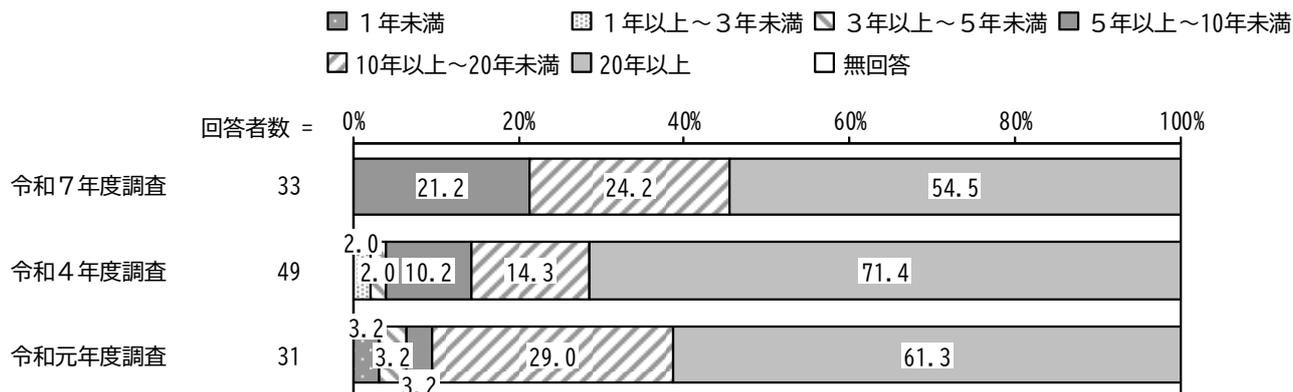
令和4年度調査と比べて、「300万円～500万円未満」が7.9ポイント増加しています。



## 田原市での就漁年数（○は1つ）

「20年以上」の割合が54.5%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が24.2%、「5年以上～10年未満」の割合が21.2%となっています。

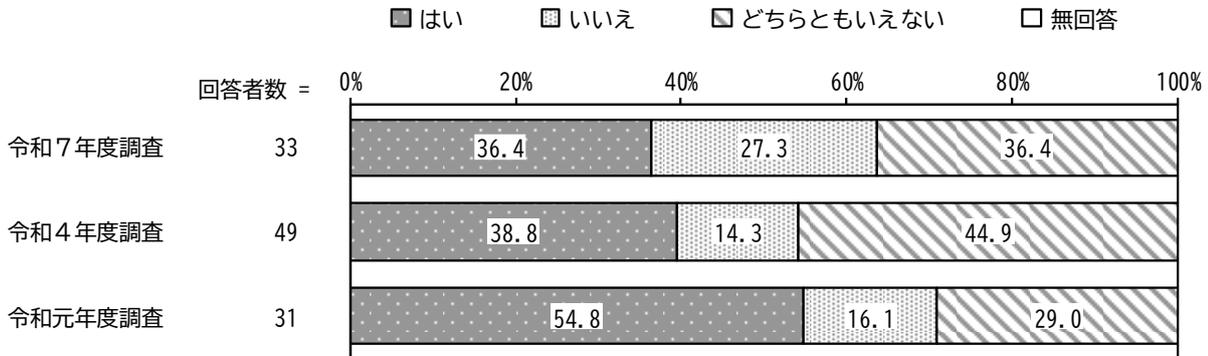
令和4年度調査と比べて、「20年以上」が16.9ポイント減少しています。



## (2) 田原市の漁業全般について

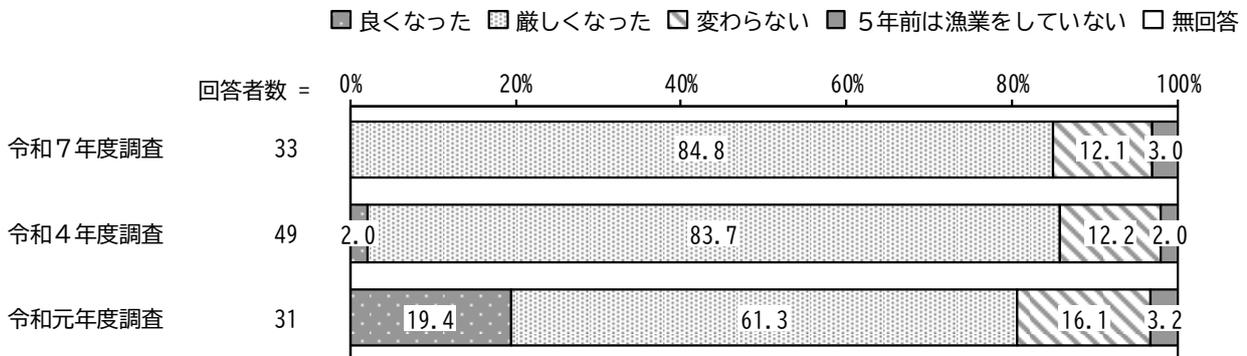
### 問2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が36.4%、「いいえ」の割合が27.3%となっています。  
令和4年度調査と比べて、「いいえ」が13.0ポイント増加しています。



### 問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇は1つ)

「厳しくなった」の割合が84.8%、「変わらない」の割合が12.1%となっています。  
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。

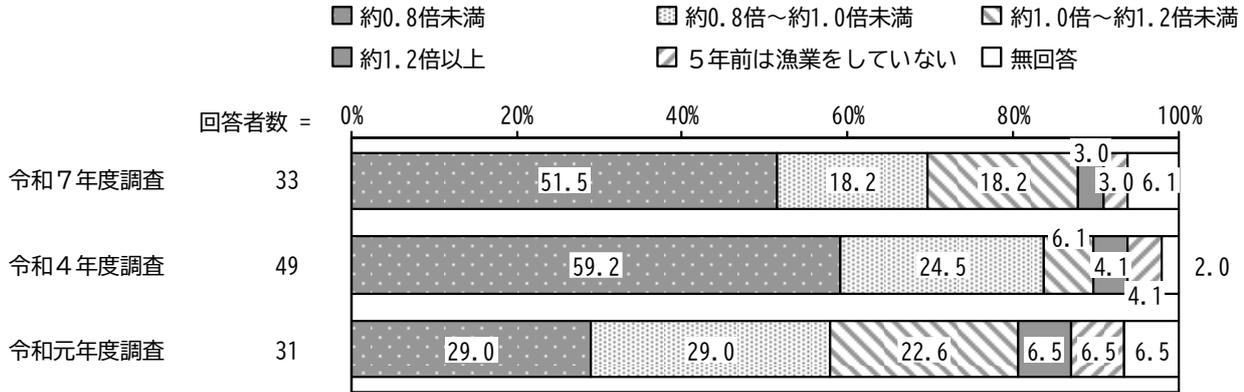


### (3) あなたの漁業経営について

#### 問4 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合は69.7%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合が21.2%となっています。

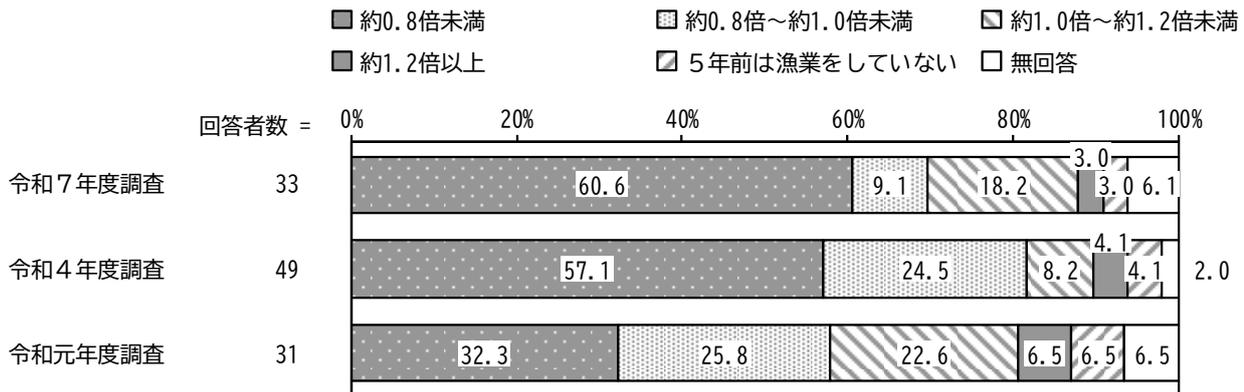
令和4年度調査と比べて、“1倍未満”の割合が14.0ポイント減少し、“1倍以上”の割合が11.0ポイント増加しています。



#### 問5 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度ですか。(〇は1つ)

「約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1倍未満”の割合は69.7%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍以上」を合わせた“1倍以上”の割合が21.2%となっています。

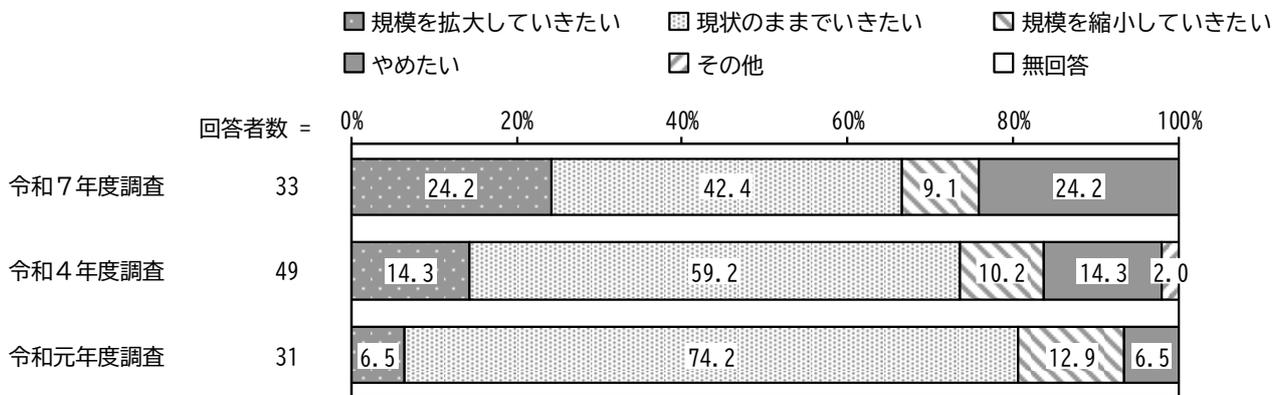
令和4年度調査と比べて、“1倍未満”の割合が11.9ポイント減少し、“1倍以上”の割合が8.9ポイント増加しています。



問6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇は1つ)

「現状のままでいきたい」の割合が42.4%と最も高く、次いで「規模を拡大していきたい」、「やめたい」の割合がともに24.2%となっています。

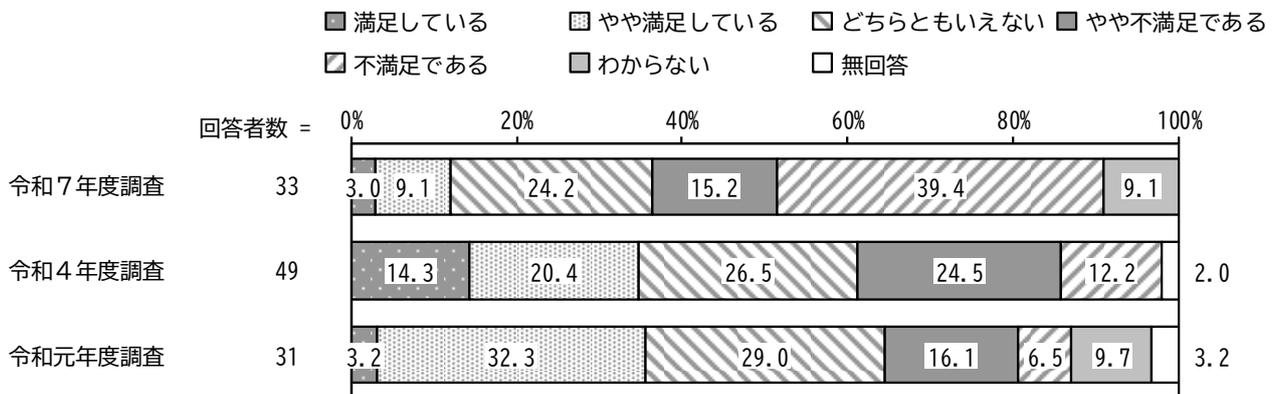
令和4年度調査と比べて、「規模を拡大していきたい」「やめたい」がともに9.9ポイント増加しています。



問7 あなたは、ご自身の漁業経営に満足していますか。(〇は1つ)

「満足している」「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合が12.1%、「やや不満足である」「不満足である」を合わせた“不満足である”の割合が54.6%となっています。

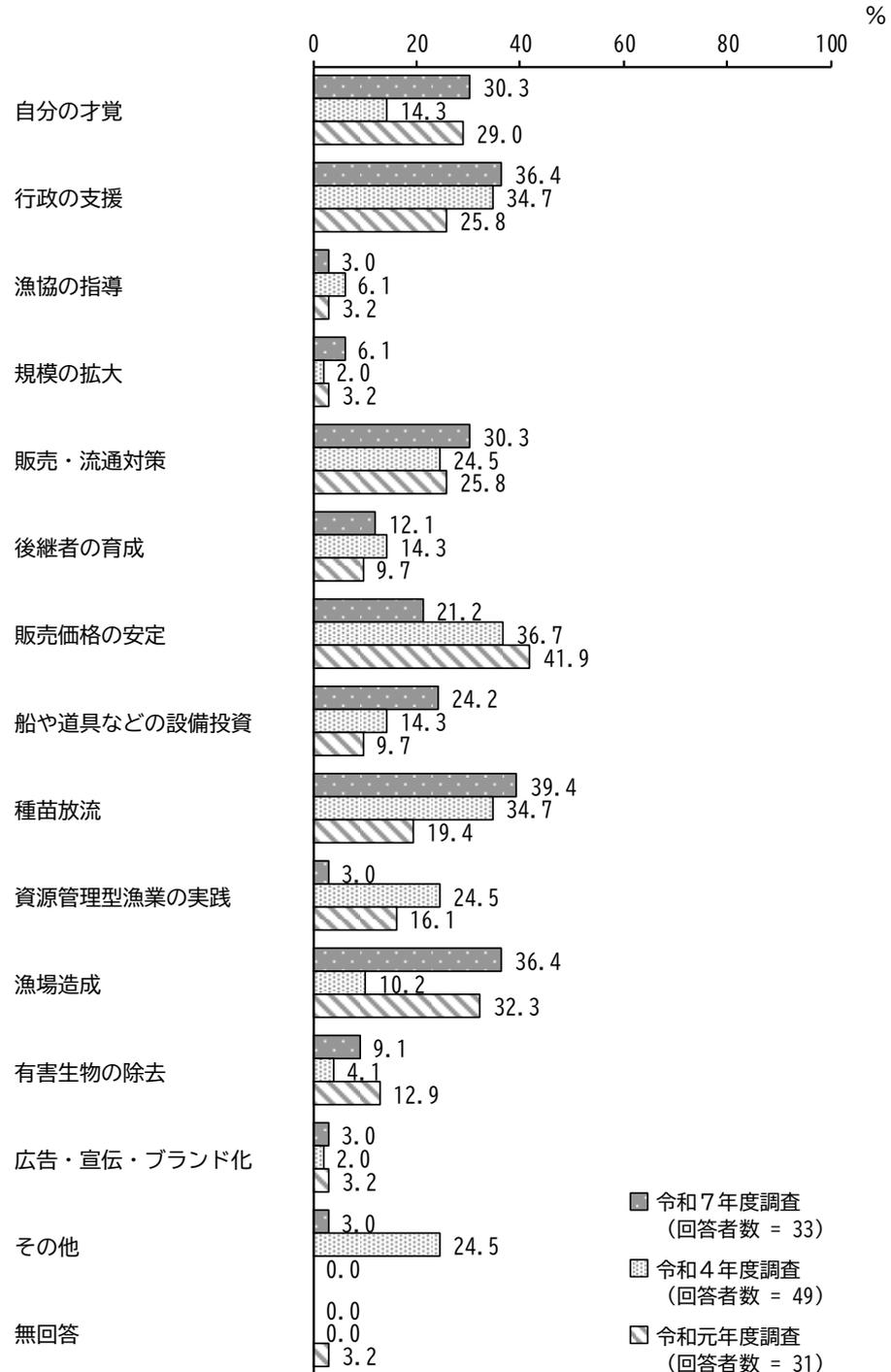
令和4年度調査と比べて、“満足している”が22.6ポイント減少しています。



問8 あなたの漁業経営で、重要と考えることは何ですか。(〇は3つまで)

「種苗放流」の割合が39.4%と最も高く、次いで「行政の支援」、「漁場造成」の割合がともに36.4%となっています。

令和4年度調査に比べて、「漁場造成」が26.2ポイント増加しています。一方、「資源管理型漁業の実践」が21.5ポイント減少しています。



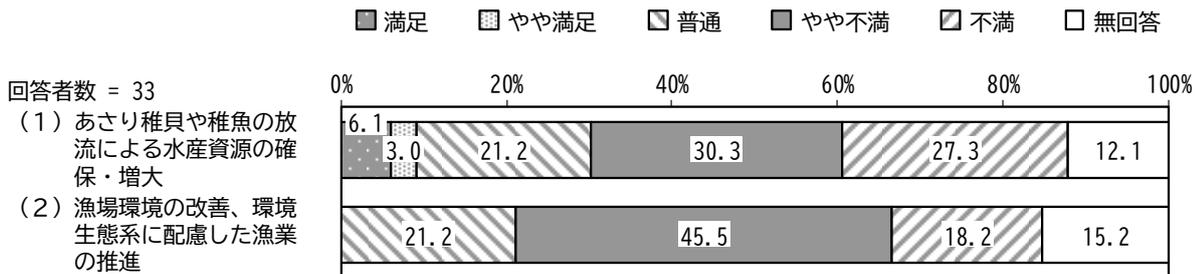
## (4) 水産資源の安定確保について

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

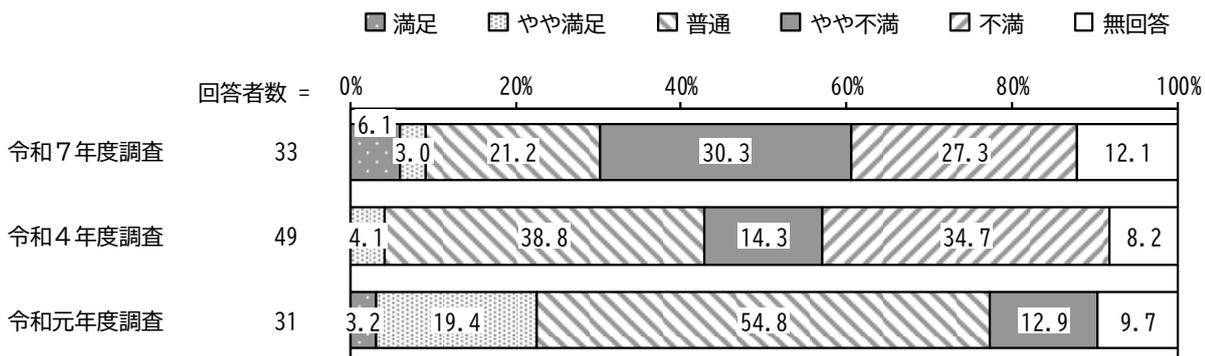
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、「満足」「やや満足」を合わせた“満足”(以下同じ)は、『(2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進』で12.2ポイント減少しています。

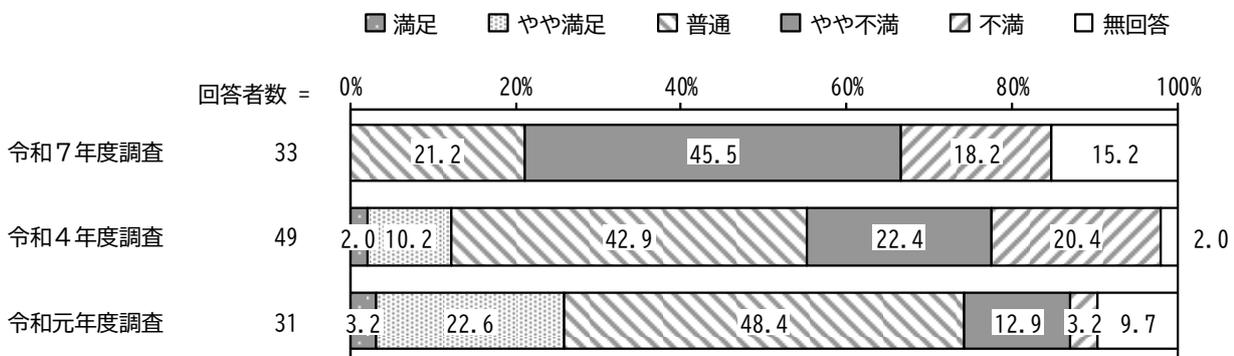
「不満」「やや不満」を合わせた“不満”(以下同じ)は、どちらの項目も増加しており、『(2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進』で20.9ポイント増加しています。



### (1) あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保・増大



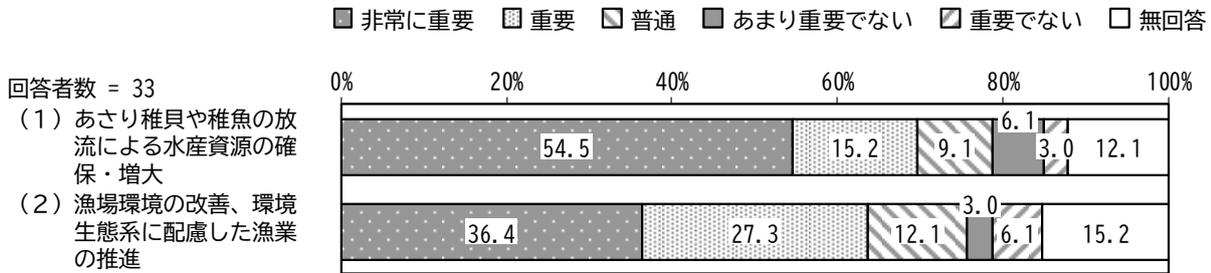
### (2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進



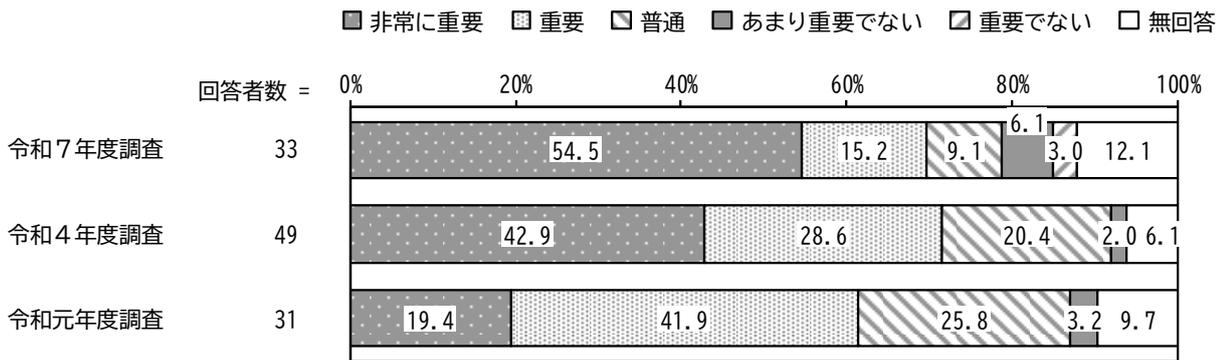
## 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、「非常に重要」「重要」を合わせた“重要”（以下同じ）は、どちらの項目も減少しており、『(2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進』で7.7ポイント減少しています。

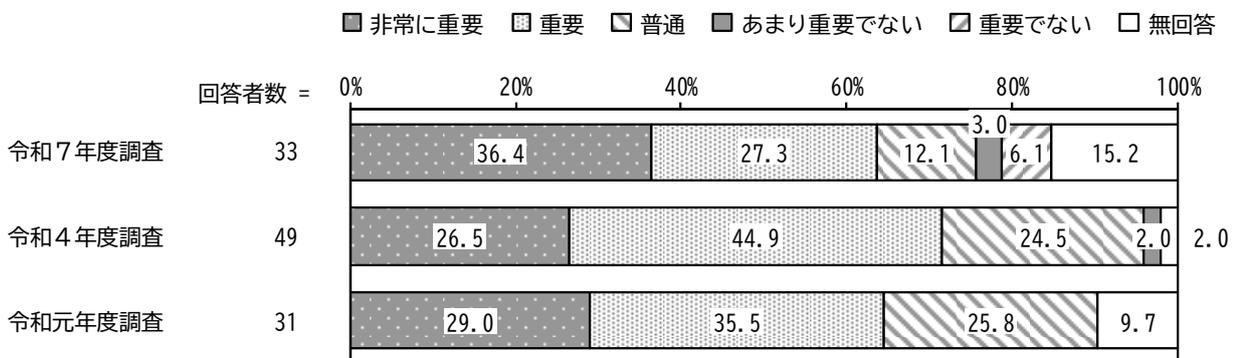
「重要でない」「あまり重要でない」を合わせた“重要でない”（以下同じ）は、どちらの項目も7.1ポイント増加しています。



### (1) あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保・増大

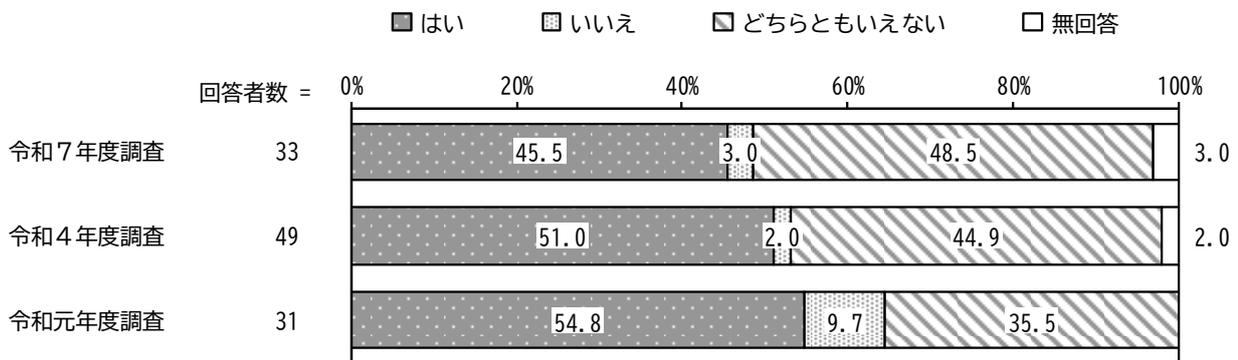


### (2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進



問 10 あなたは環境生態系に配慮した漁業経営を行っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が45.5%、「いいえ」の割合が3.0%となっています。  
 令和4年度調査と比べて、「はい」の割合が5.5ポイント減少しています。



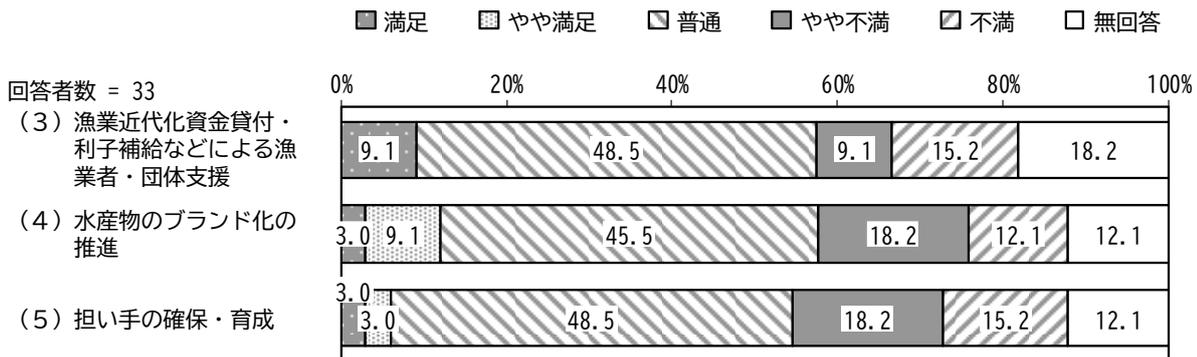
## (5) 漁業経営の活性化について

問 11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

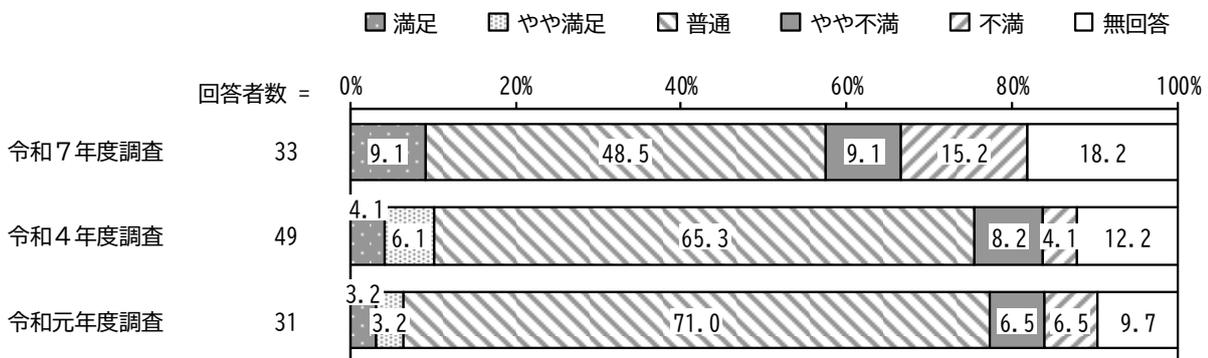
### 現在の評価

令和4年度調査と比べると、“満足”は、『(4)水産物のブランド化の推進』を除く全ての項目で減少しています。

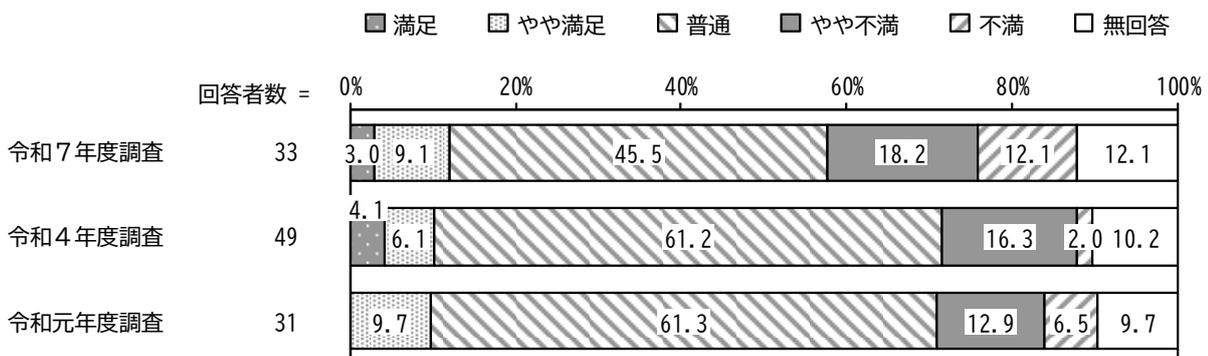
“不満”は、全ての項目で増加しており、『(5)担い手の確保・育成』は13.0ポイント増加しています。



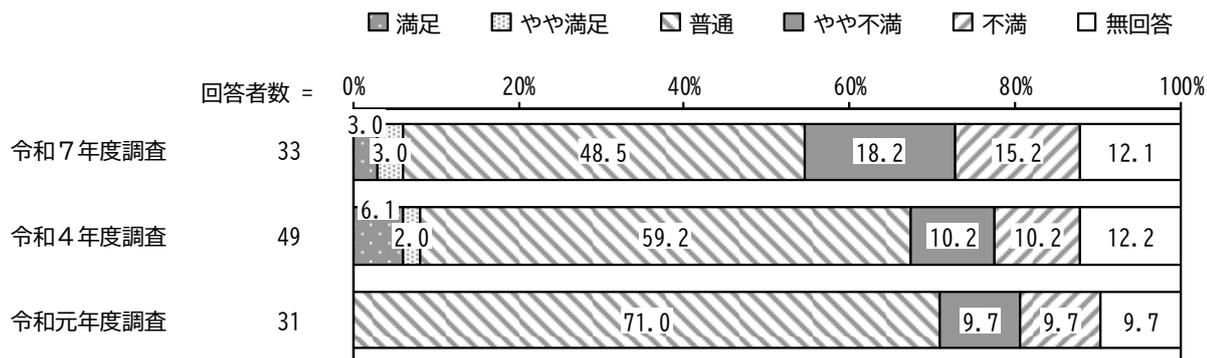
### (3) 漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援



### (4) 水産物のブランド化の推進



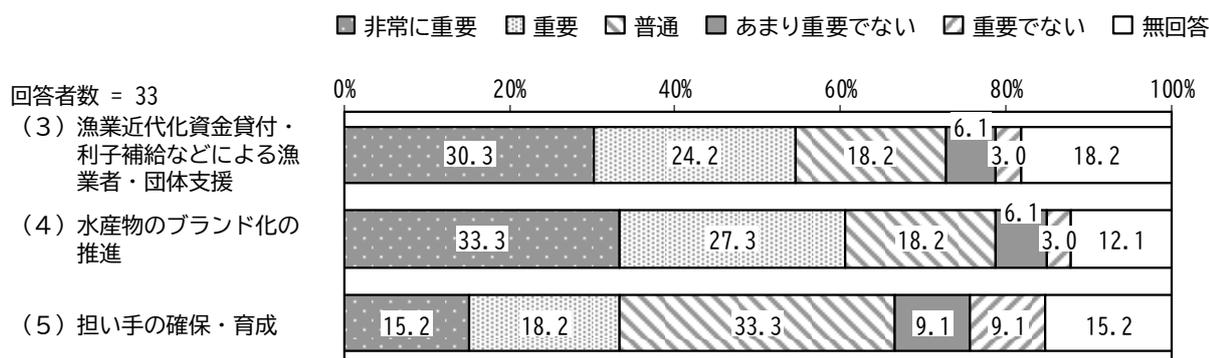
## (5) 担い手の確保・育成



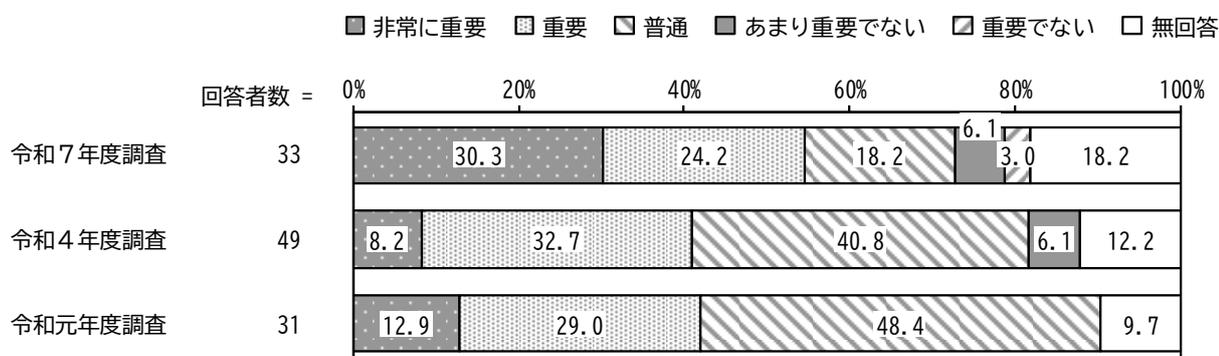
### 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、“重要”は、『(5) 担い手の確保・育成』を除く全ての項目で増加しています。

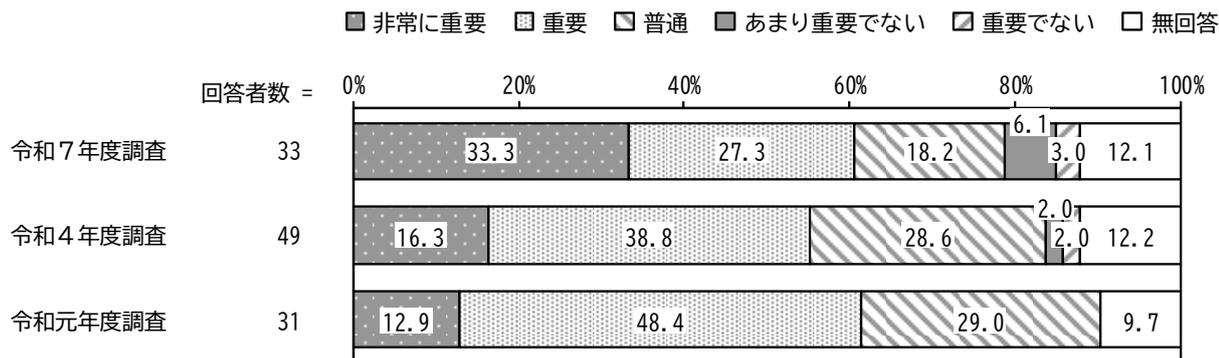
“重要でない”は、全ての項目で増加しており、『(5) 担い手の確保・育成』は10.0ポイント増加しています。



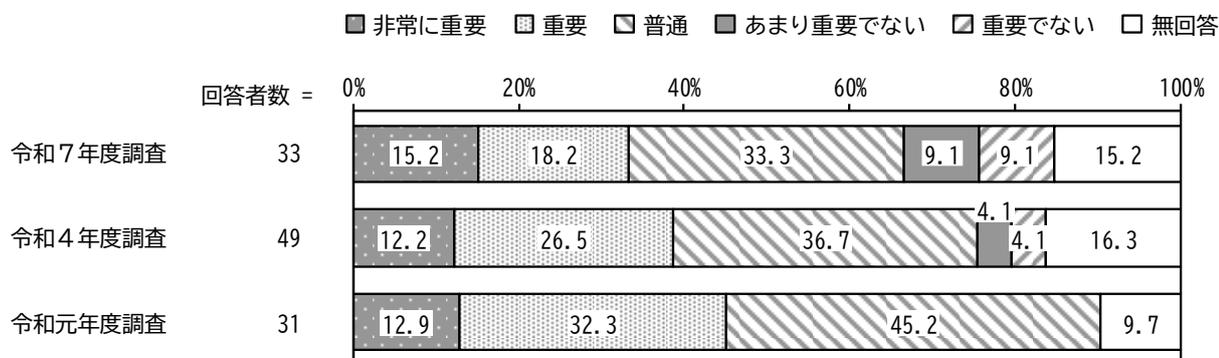
### (3) 漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援



#### (4) 水産物のブランド化の推進



#### (5) 担い手の確保・育成



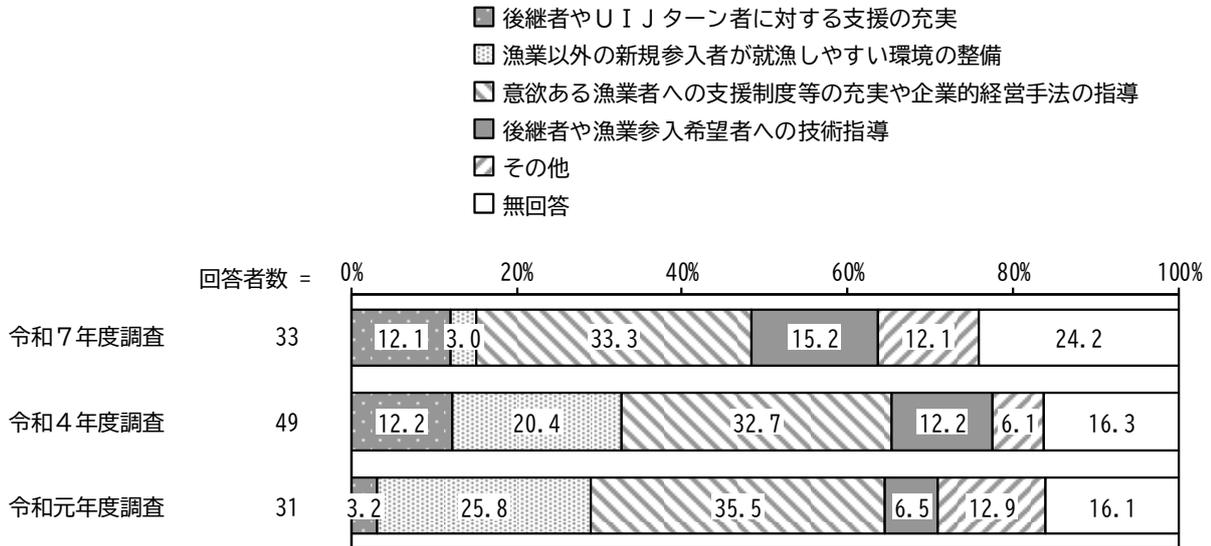
問12 漁業経営を強化するためには、どのような取り組みが必要だとお考えですか。理由もあればご記入ください。

- ・ 漁業者に対しての規制がきつすぎる(漁獲量が減っているのに、漁をしたくても取り組めない)。漁業者がいなくならないか心配。
- ・ 過剰な水質保全によって、海に栄養が無くなり、漁獲量が減少している。(4件)
- ・ 豊かな海にするため害のない栄養固形物を貝類の生息域に埋蔵する。
- ・ 漁獲制限をし、育てる漁業で安定した漁獲量にする。SNSをもっと上手に利用し、少ない資源を高く売ることが出来れば良いと思う。
- ・ 水産資源の確保、育成。生計を立てるような魚等が獲れなくなった。
- ・ 国の支援。
- ・ 新造船作製によるリース事業。
- ・ 漁業資源の確保の為、適切な水質などの環境を見極め持続させる。
- ・ やる気と行動力。
- ・ 物価高などによる船の設備維持・経営が心配。漁業に力を入れてくれている他市などは、市などが補助金を出してくれたり、積極的にバックアップしてくれている。こちらとしても手助けしてくれれば、田原市を野菜と同じく漁業でも盛り上げていきたいと思う。
- ・ やりたい魚種がやれること、漁場が狭い。
- ・ 密猟者がいる。
- ・ あさが減らないようにするため、時間を限定して漁をする。

問 13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が必要だとお考えですか。(○は1つ)

「意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業の経営手法の指導」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「後継者や漁業参入希望者への技術指導」の割合が 15.2%、「後継者やU I J ターン者に対する支援の充実」の割合が 12.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備」が 17.4 ポイント減少しています。



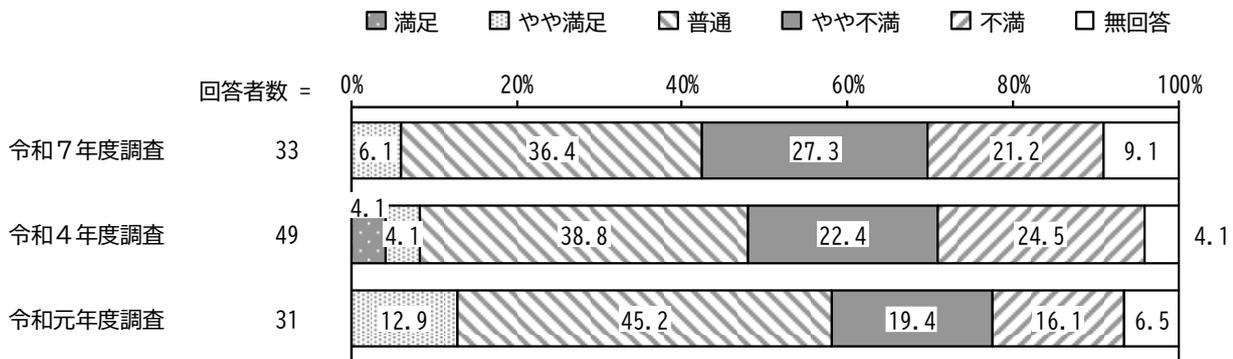
## (6) 水産施設の充実について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

### 現在の評価

#### (6) 漁港の適正な管理や長寿命化などの環境整備

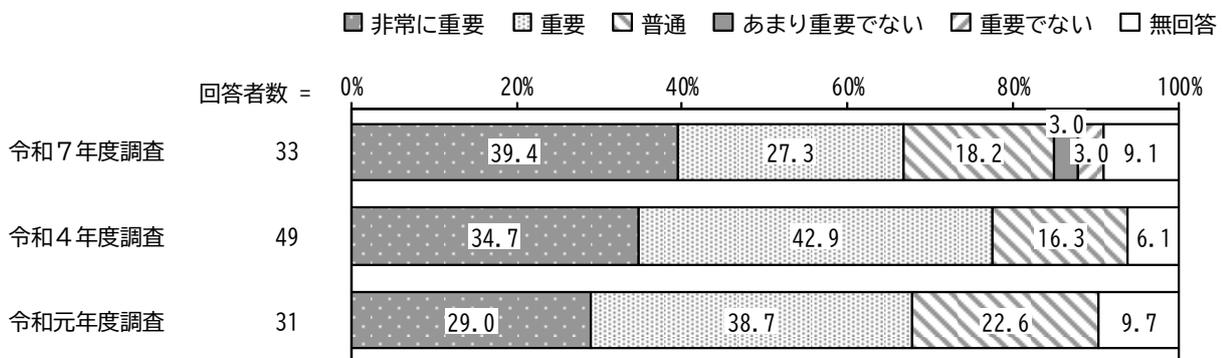
令和4年度調査と比べると、“満足”は、2.1ポイント減少しています。



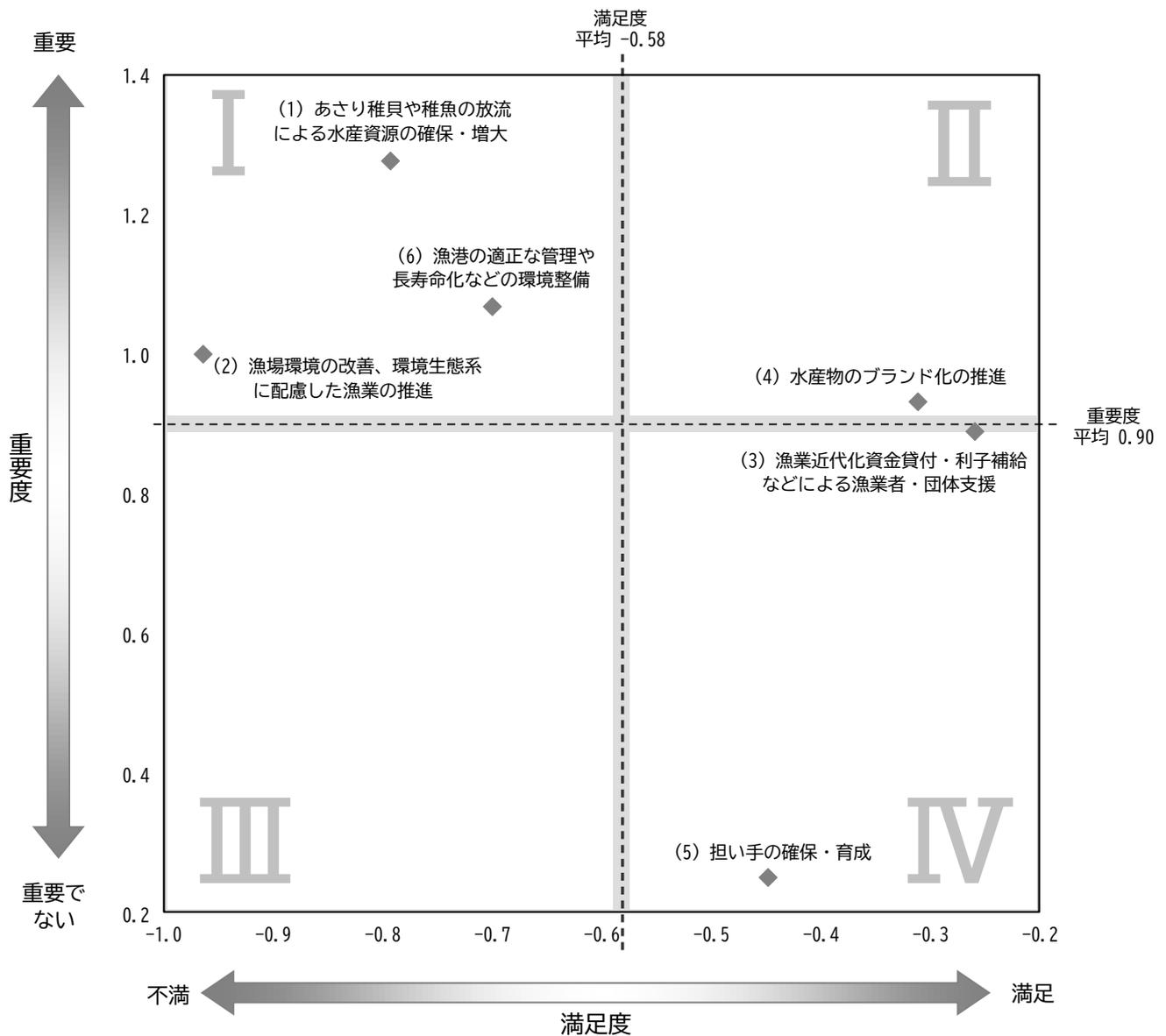
### 今後の重要性

#### (6) 漁港の適正な管理や長寿命化などの環境整備

令和4年度調査と比べると、“重要”は、10.9ポイント減少しています。



ポートフォリオ分析による市の取り組みの評価については、『(1) あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保・増大』など3項目が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度	重要度
(1) あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保・増大	-0.79	1.28
(2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進	-0.96	1.00
(3) 漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	-0.26	0.89
(4) 水産物のブランド化の推進	-0.31	0.93
(5) 担い手の確保・育成	-0.45	0.25
(6) 漁港の適正な管理や長寿命化などの環境整備	-0.70	1.07

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

- (1) あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保・増大
- (2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進
- (6) 漁港の適正な管理や長寿命化などの環境整備

## (7) 市政に対するご意見

問15 今後、田原市の漁業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・ 漁師をしているとサーファーとの問題が多い。漁をじゃまする。
- ・ これからも新たに挑戦して行く若者たちにいつまでも支援を（情報とともに）お願いしたい。
- ・ 魚貝類が住みやすい、栄養のある海にしてほしい。
- ・ 漁業は年々厳しい状況になっている。少しでも改善できるよう、お力添えいただきたい。
- ・ 長年、稚貝・稚魚の放流をしても魚貝の増大はまったく見られない。漁場造成しても漁場を壊しすぎる。田原市で一番歴史のある江比間泉港に入港できない。
- ・ 漁師がペットボトル・缶・ビニールゴミを海に捨てる、海苔網・漁網の廃棄など、海で生活しているとは思えないモラル。今、自分達が良ければという考えにしか見えない。
- ・ 新造船を作製する際のリース事業を行ってほしい。南知多では漁業者への支援が良く、しらす漁船など国と県が資金援助しており、漁師の事をとても考えている。農家の事だけでなく、まずは漁師の事をよく知り、他市がどんな援助・どんな協力を漁業者にしているのか知っておくべき。
- ・ 漁師と消費者を結ぶ流通経路の拡充が求められる。漁獲量が減った分、仲買などの中間マージンを省いて取引価格があがれば持ち直せる。
- ・ 主要水産物であるあさりに関しては現在ほぼ枯渇している状況なので、そうした現象の原因を調査し適切な環境を確保することが重要と思う。また、その間漁業者が廃業してしまわないために、何らかの生活支援なども必要と思う。猶予はあまり残されていない。
- ・ 支援の拡大。
- ・ 海がおかしい。
- ・ 私が普段使用している港は、指定管理等ではないので相談が限られてくる。漁船は多いが補助が受けにくいと思う。
- ・ 魚や貝、海藻類が取れる浜はなかなか無いと思う。海を綺麗にするのは大切なことだが、生物が生きやすい栄養豊富な海にして欲しい。
- ・ 渥美半島という素晴らしい半島に素晴らしい海があるので、海を最大限に生かして今後は田原市も漁業の方にも力を入れてもらい、サーフィン・農業・漁業などを盛り上げてほしい。
- ・ 海産物ブランドを作るも、市場がないため仲買だけが儲かる仕組みを辞めて、海産物市場を造って競りにより適正価格で販売したい。

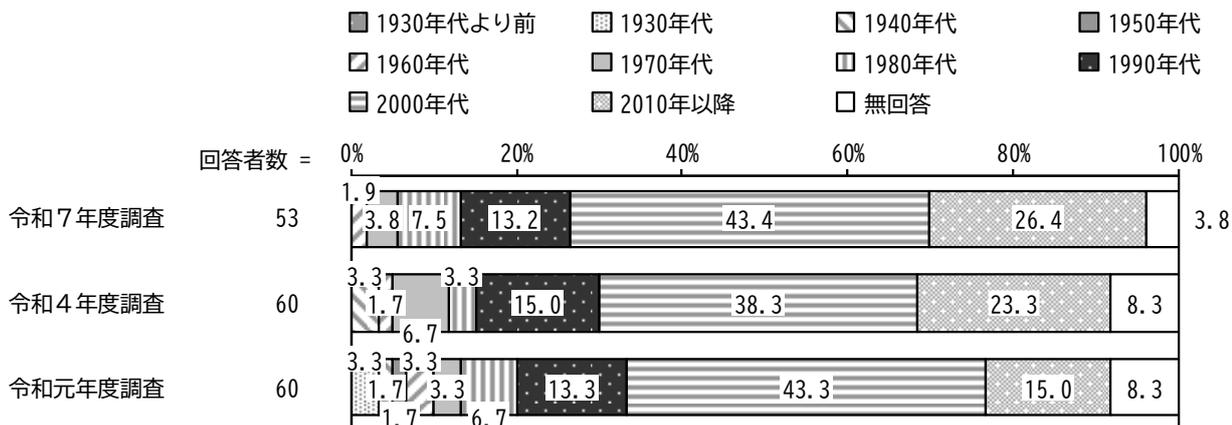
## 5 市内団体

### (1) 回答者属性

#### 問1 あなたの団体の設立年月についてお聞きします。

「2000年代」の割合が43.4%と最も高く、次いで「2010年以降」の割合が26.4%、「1990年代」の割合が13.2%となっています。

令和4年度調査と比べて、「2000年代」が5.1ポイント増加しています。

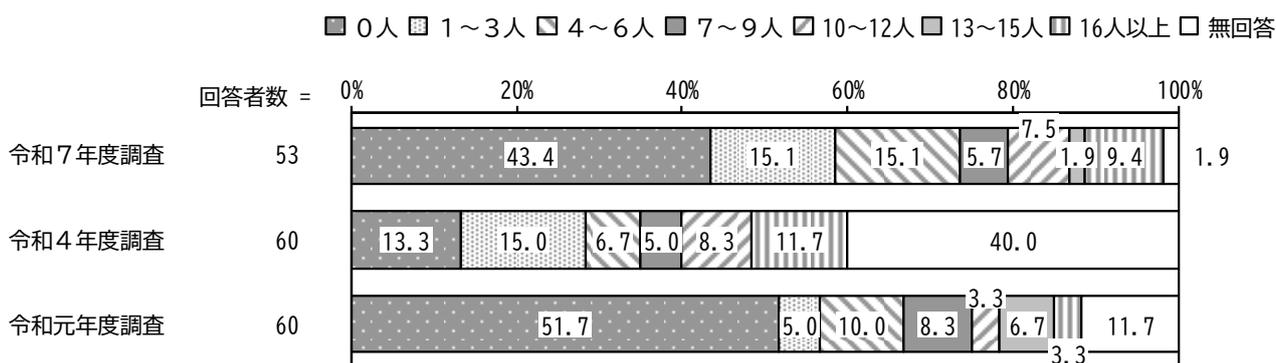


#### 問2 あなたの団体の組織体制についてお聞きします。

##### (1) 理事

「0人」の割合が43.4%と最も高く、次いで「1～3人」、「4～6人」の割合がともに15.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「0人」が30.1ポイント増加しています。

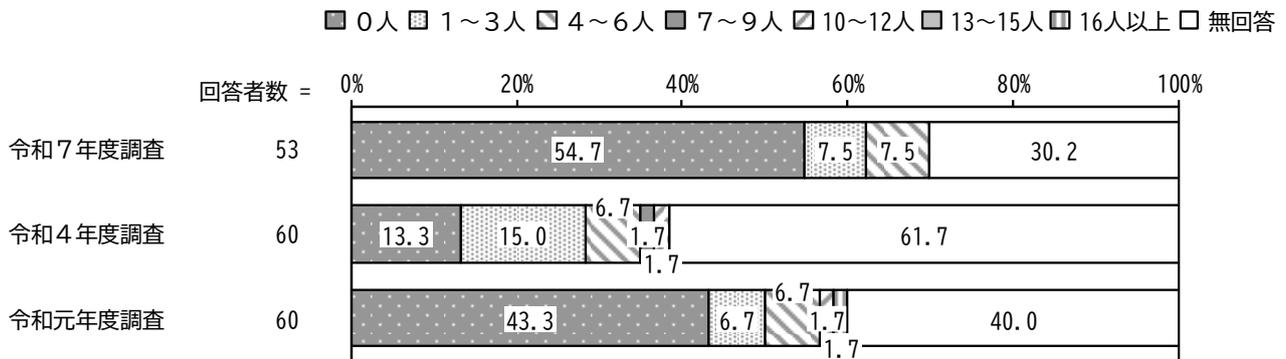


## (2) 運営メンバー

### ・常勤（フルタイム）

「0人」の割合が54.7%と最も高くなっています。

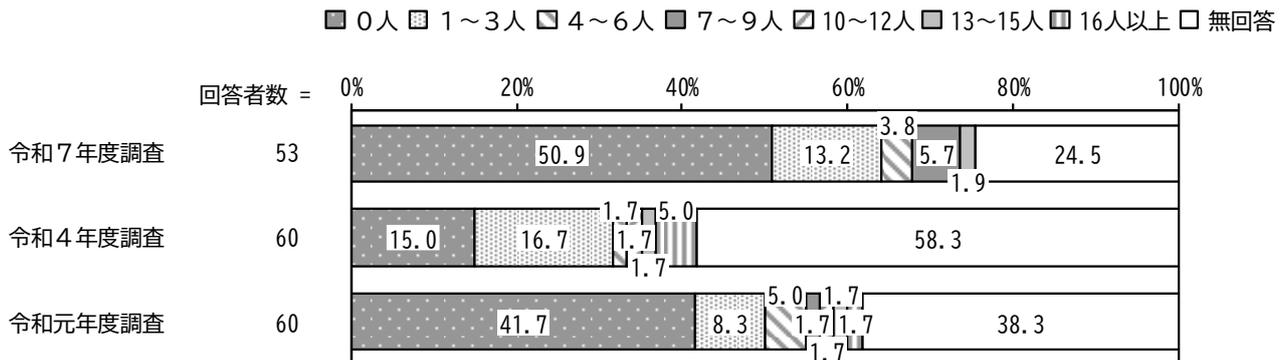
令和4年度調査と比べて、「0人」が41.4ポイント増加しています。



### ・非常勤（パートタイマー・アルバイト）

「0人」の割合が50.9%と最も高く、次いで「1～3人」の割合が13.2%となっています。

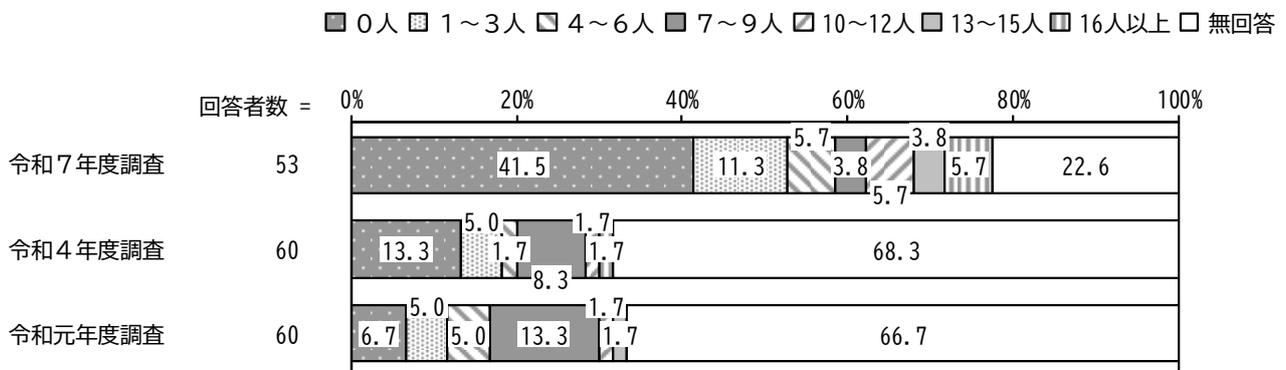
令和4年度調査と比べて、「0人」が35.9ポイント増加しています。



### ・その他

「0人」の割合が41.5%と最も高く、次いで「1～3人」の割合が11.3%となっています。

令和4年度調査と比べて、「0人」が28.2ポイント増加しています。

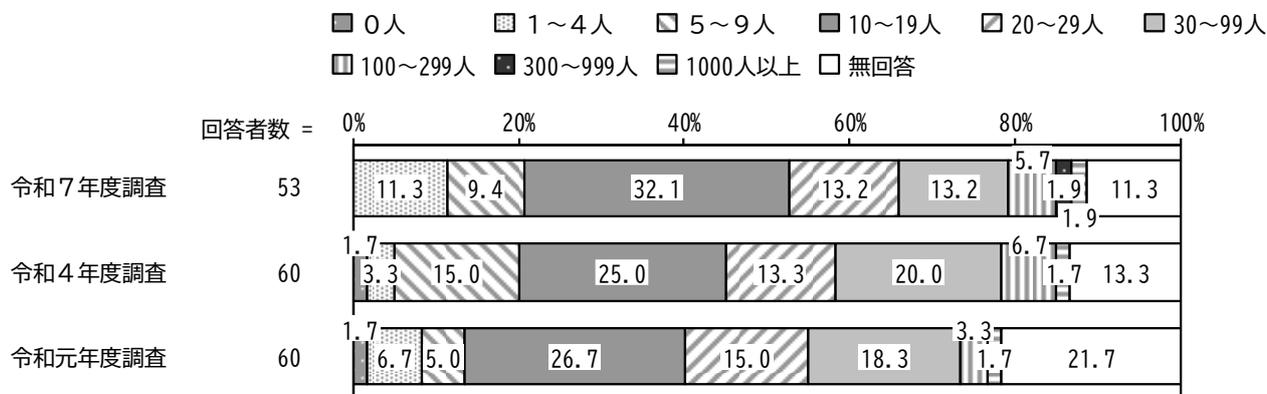


### (3) 会員・社員構成

#### ・活動する人・正会員

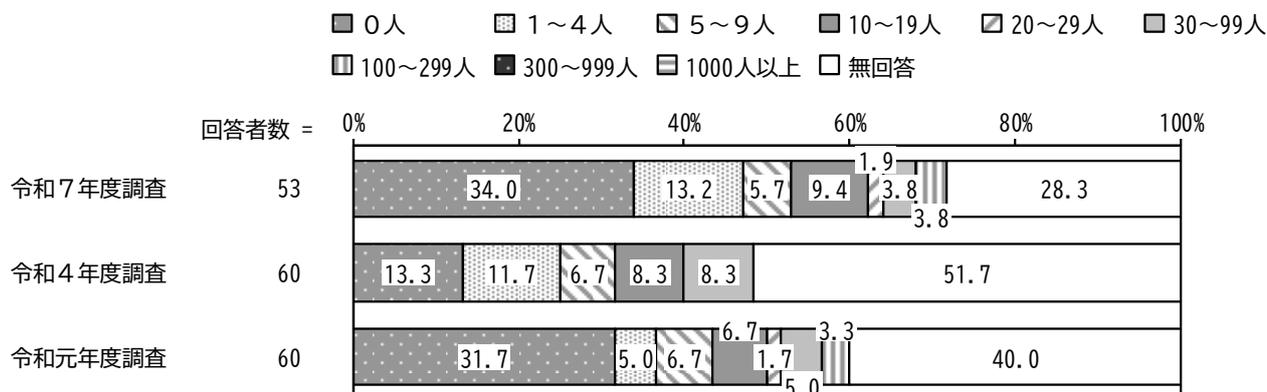
「10～19人」の割合が32.1%と最も高く、次いで「20～29人」、「30～99人」の割合がともに13.2%となっています。

令和4年度調査と比べて、「1～4人」が8.0ポイント増加しています。



#### ・支援者・賛助会員

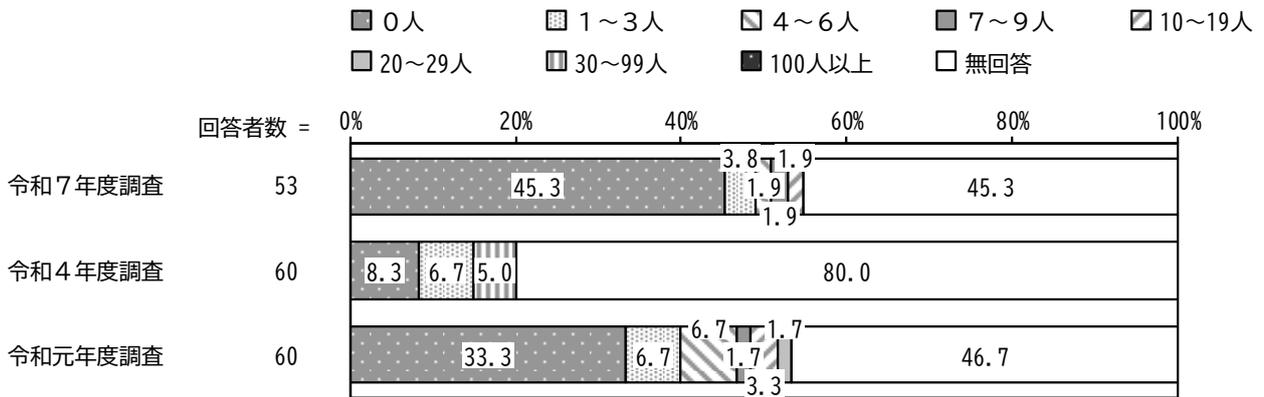
「0人」の割合が34.0%と最も高く、次いで「1～4人」の割合が13.2%となっています。令和4年度調査と比べて、「0人」が20.7ポイント増加しています。



・その他

「0人」の割合が45.3%と最も高くなっています。

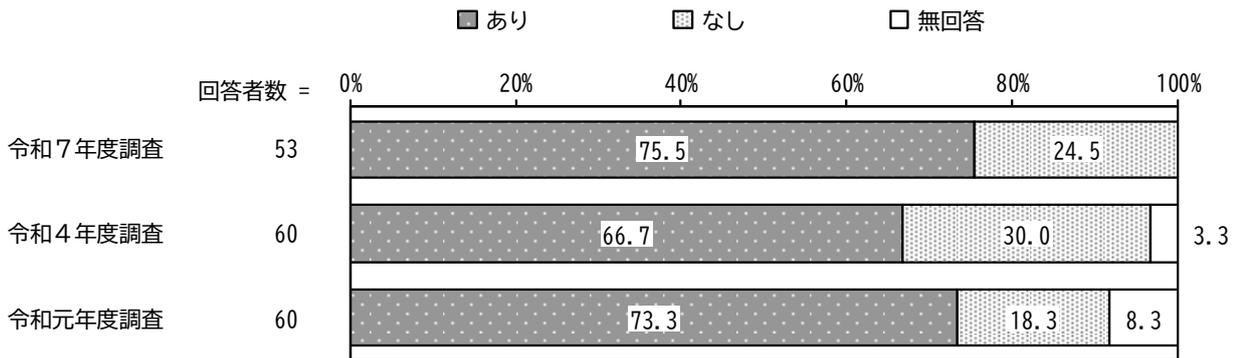
令和4年度調査と比べて、「0人」が37.0ポイント増加しています。



(4) 規則・会則・定款

「あり」の割合が75.5%、「なし」の割合が24.5%となっています。

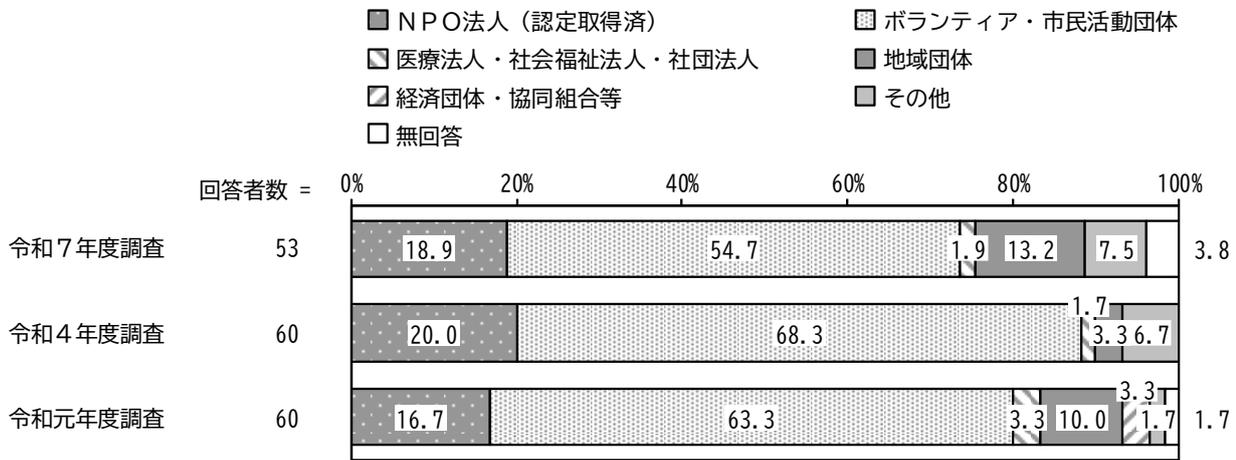
令和4年度調査と比べて、「あり」が8.8ポイント増加しています。



### 問3 あなたの団体は、次のどの分類にあてはまりますか。

「ボランティア・市民活動団体」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「NPO法人（認定取得済）」の割合が 18.9%、「地域団体」の割合が 13.2%となっています。

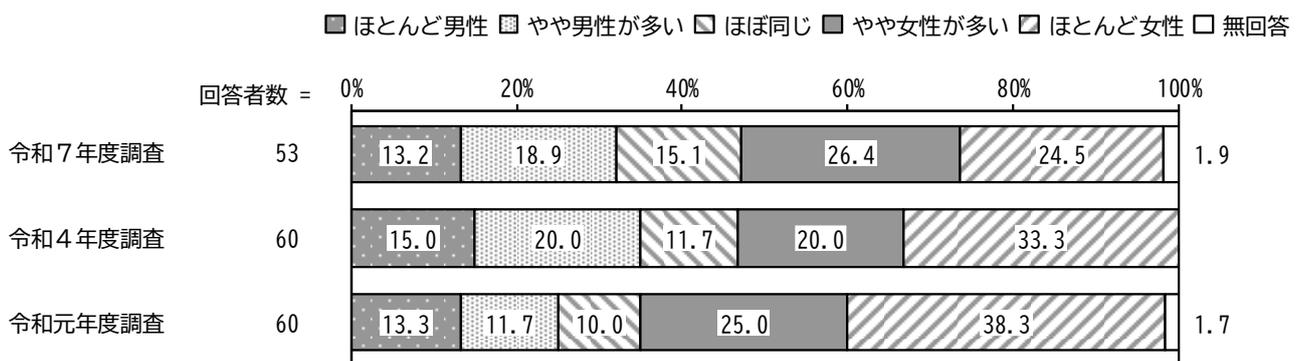
令和4年度調査と比べて、「地域団体」が 9.9ポイント増加しています。一方、「ボランティア・市民活動団体」が 13.6ポイント減少しています。



### 問4 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。（○は1つ）

「ほとんど男性」「やや男性が多い」を合わせた“男性が多い”の割合が 32.1%、「ほぼ同じ」の割合が 15.1%、「やや女性が多い」「ほとんど女性」を合わせた“女性が多い”の割合が 50.9%となっています。

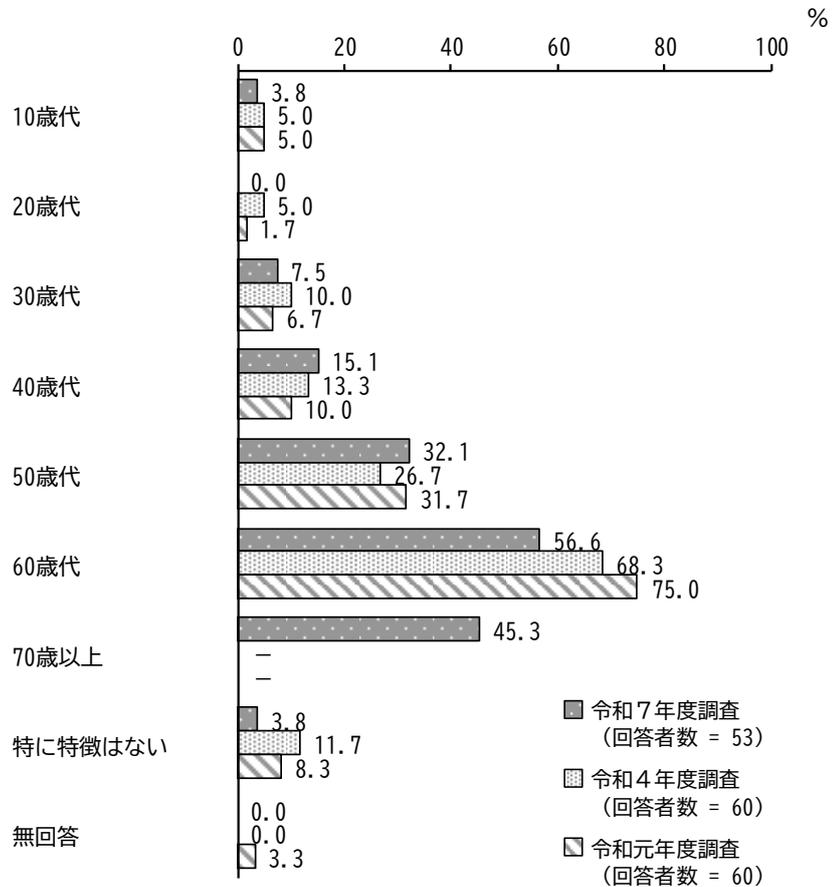
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



### 問5 活動する人・正会員の年齢は、どの年代が多いですか。(〇は2つ)

「60歳代」の割合が56.6%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が45.3%、「50歳代」の割合が32.1%となっています。

令和4年度調査と比べて、「50歳代」が5.4ポイント増加しています。

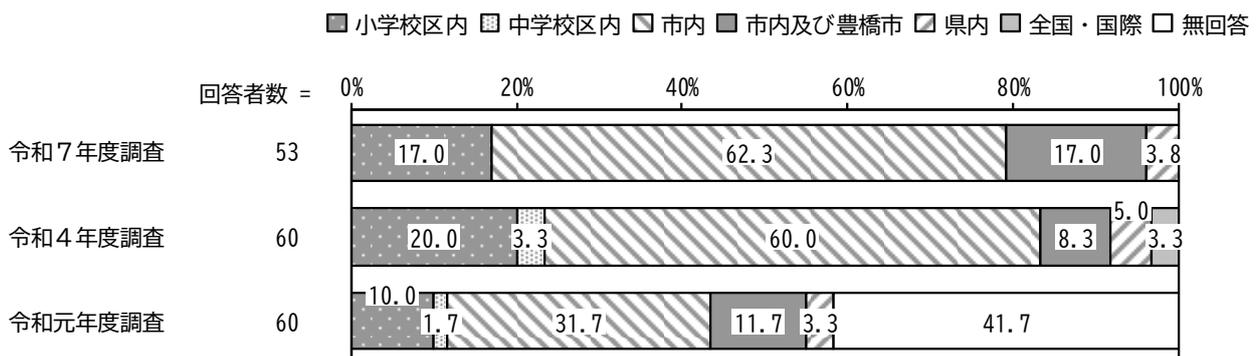


※今回調査から、「70歳以上」の項目を追加しました。

### 問6 活動の地域は、主にどこですか。(〇は1つ)

「市内」の割合が62.3%と最も高く、次いで「小学校区内」、「市内及び豊橋市」の割合がともに17.0%となっています。

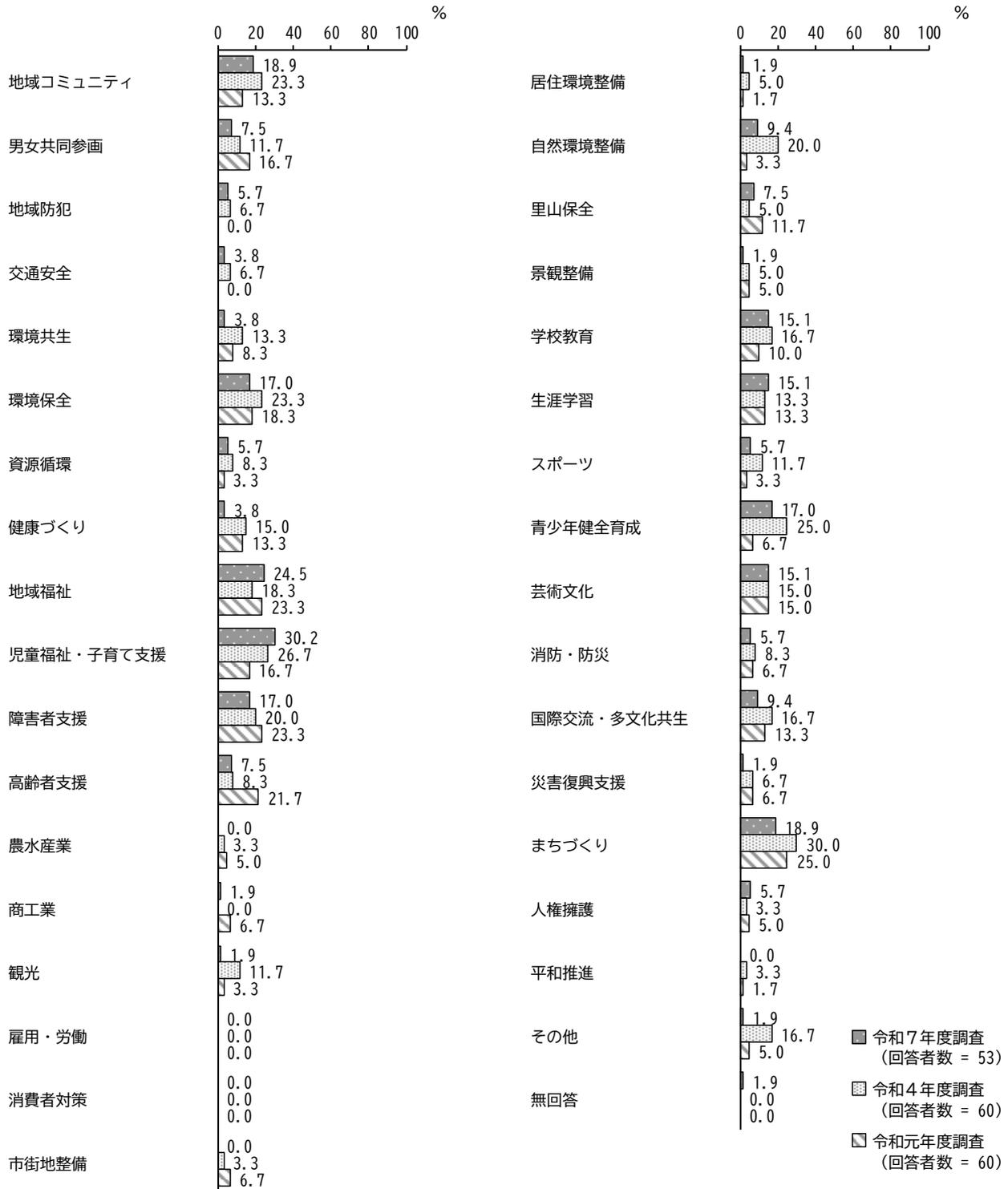
令和4年度調査と比べて、「市内及び豊橋市」が8.7ポイント増加しています。



問7 主な活動目的をお聞かせください。(〇はいくつでも)

「児童福祉・子育て支援」の割合が30.2%と最も高く、次いで「地域福祉」の割合が24.5%、「地域コミュニティ」、「まちづくり」の割合がともに18.9%となっています。

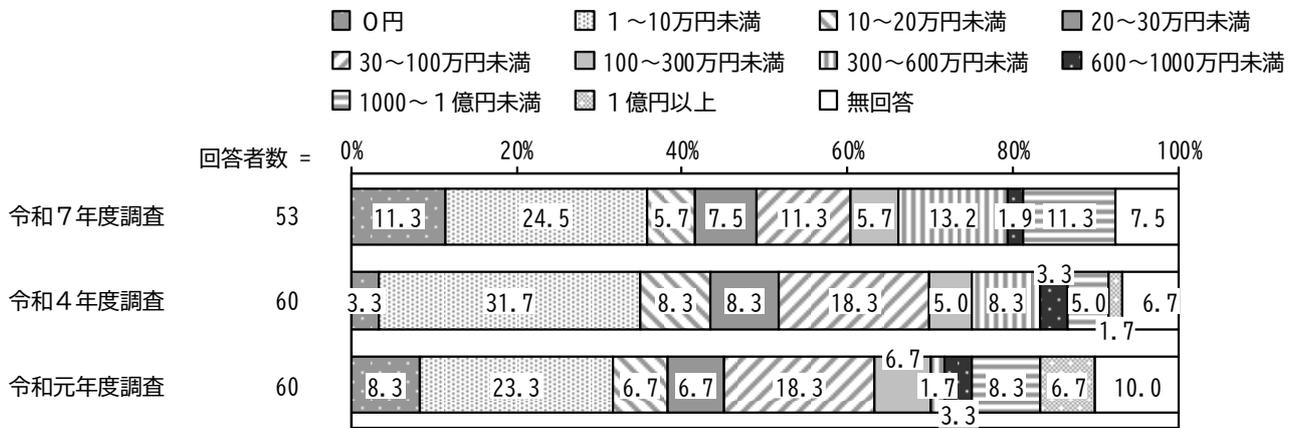
令和4年度調査と比べて、「地域福祉」が6.2ポイント増加しています。一方、「健康づくり」が11.2ポイント減少しています。



問8 あなたの団体の財政についてお聞きします。年間活動費はいくら程度ですか。

「1～10万円未満」の割合が24.5%と最も高く、次いで「300～600万円未満」の割合が13.2%となっています。

令和4年度調査と比べて、「0円」が8.0ポイント増加しています。一方、「1～10万円未満」が7.2ポイント減少しています。

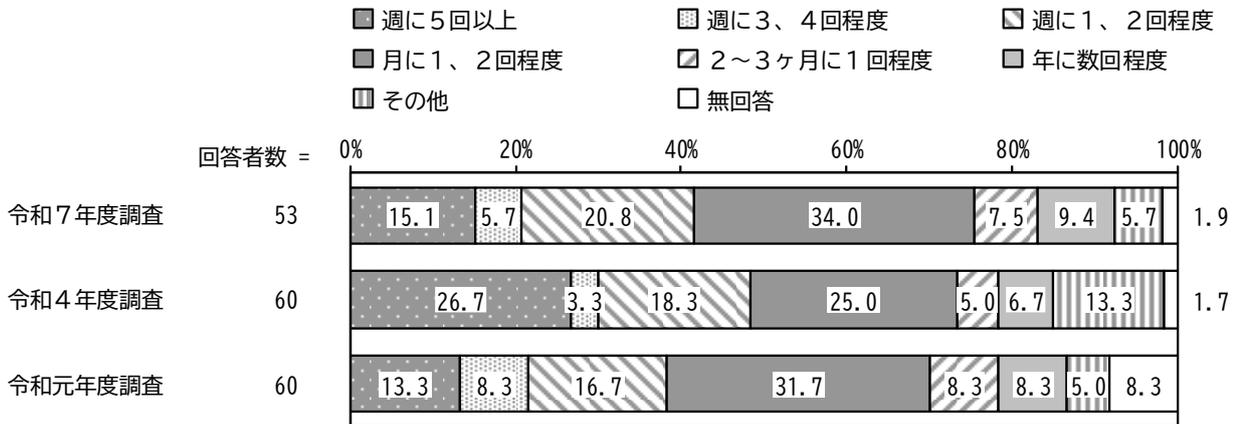


## (2) 団体の活動について

### 問9 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(○は1つ)

「月に1、2回程度」の割合が34.0%と最も高く、次いで「週に1、2回程度」の割合が20.8%、「週に5回以上」の割合が15.1%となっています。

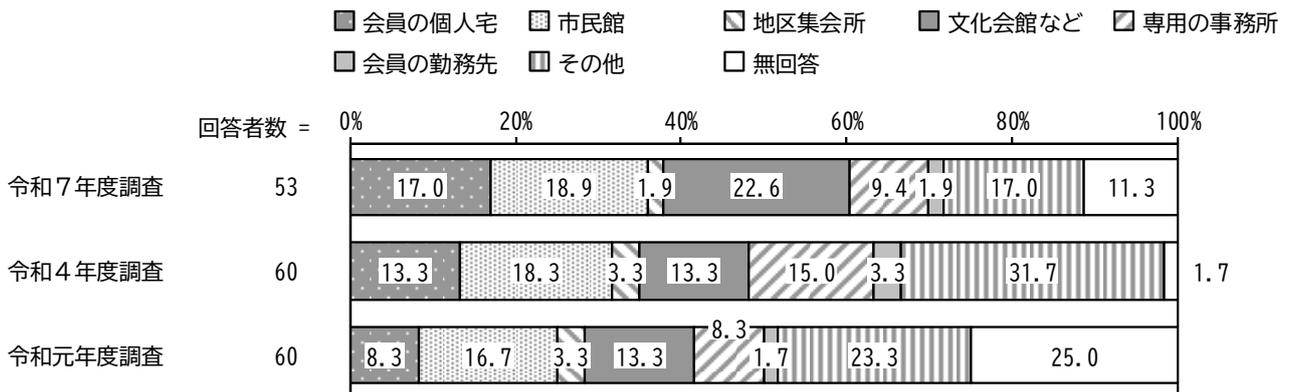
令和4年度調査と比べて、「月に1、2回程度」が9.0ポイント増加しています。一方、「週に5回以上」が11.6ポイント減少しています。



### 問10 事務所、会場場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(○は1つ)

「文化会館など」の割合が22.6%と最も高く、次いで「市民館」の割合が18.9%、「会員の個人宅」の割合が17.0%となっています。

令和4年度調査と比べて、「文化会館など」が9.3ポイント増加しています。一方、「専用の事務所」が5.6ポイント減少しています。

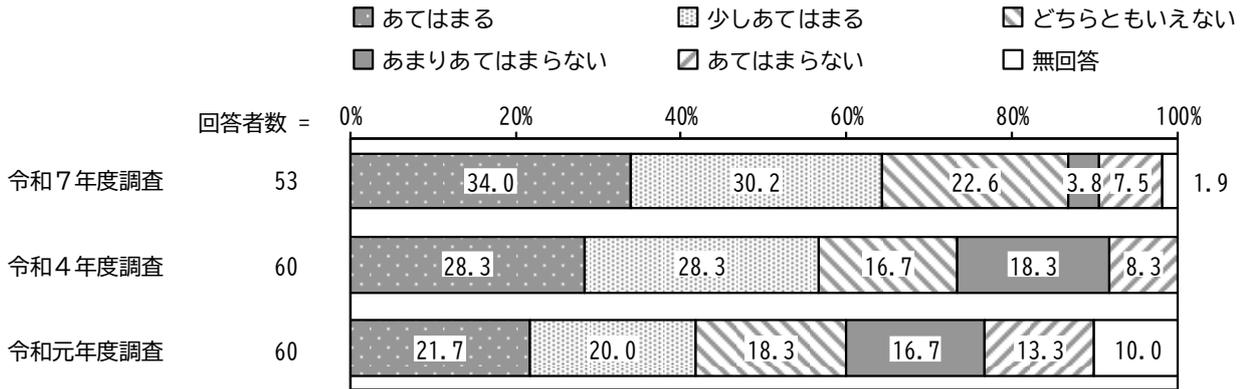


問 11 あなたの団体が活動を進めていく上で、次の問題についてどれくらいあてはまりますか。(項目ごとに○は1つ)

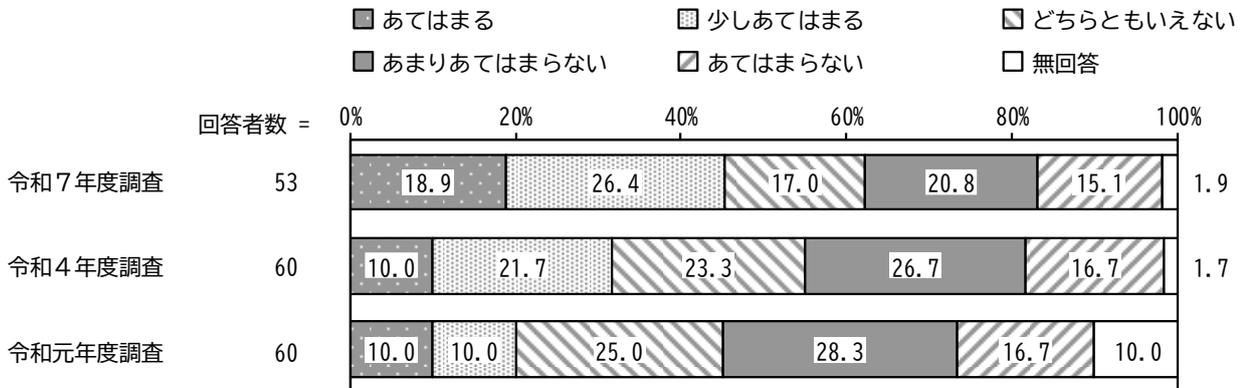
『(4) 会員が高齢化している』で「あてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた“あてはまる”が高くなっています。一方、『(6) 活動拠点などが確保しにくい』、『(16) 家族の理解が得られない』で「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”が高くなっています。



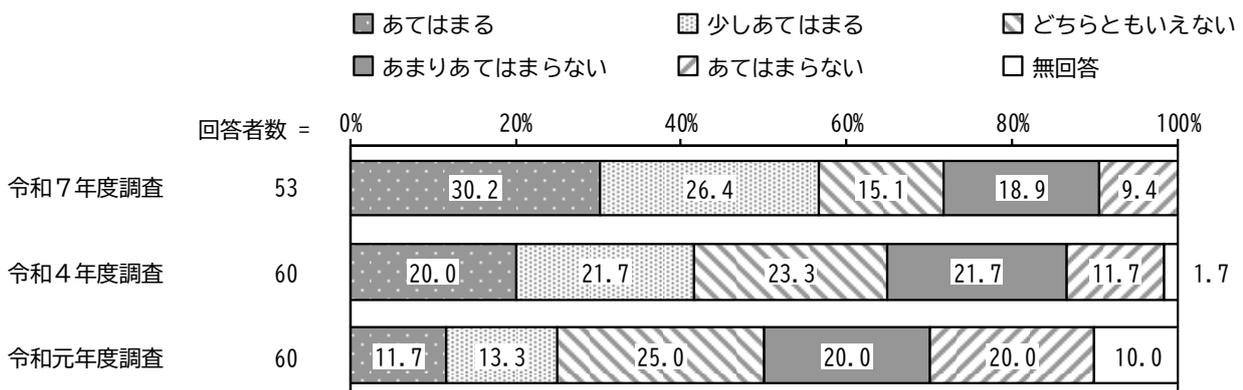
(1) 活動に参加する人数が少ない



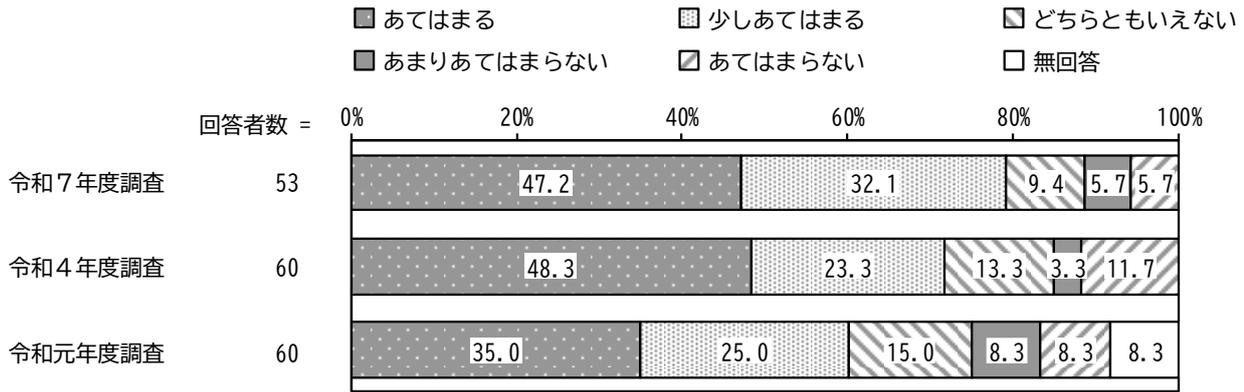
(2) 活動に積極的な人材が少ない



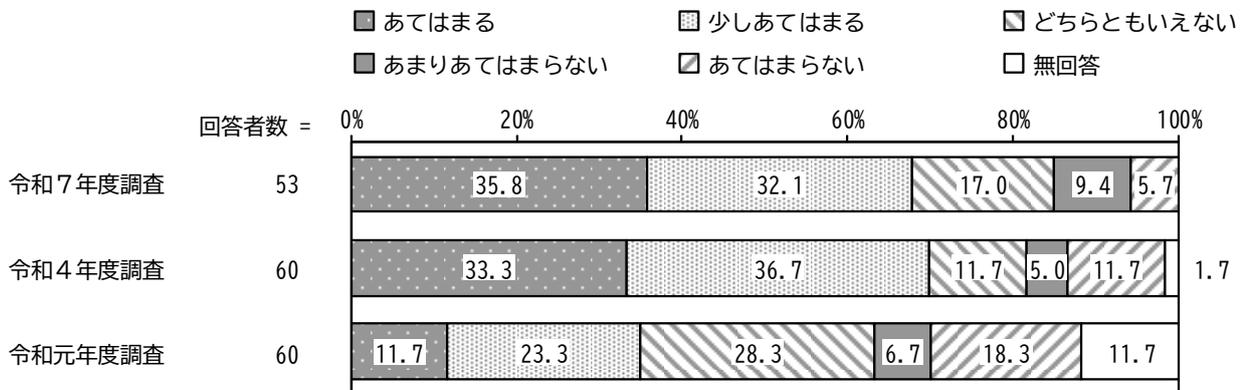
(3) リーダーになれる人が少ない



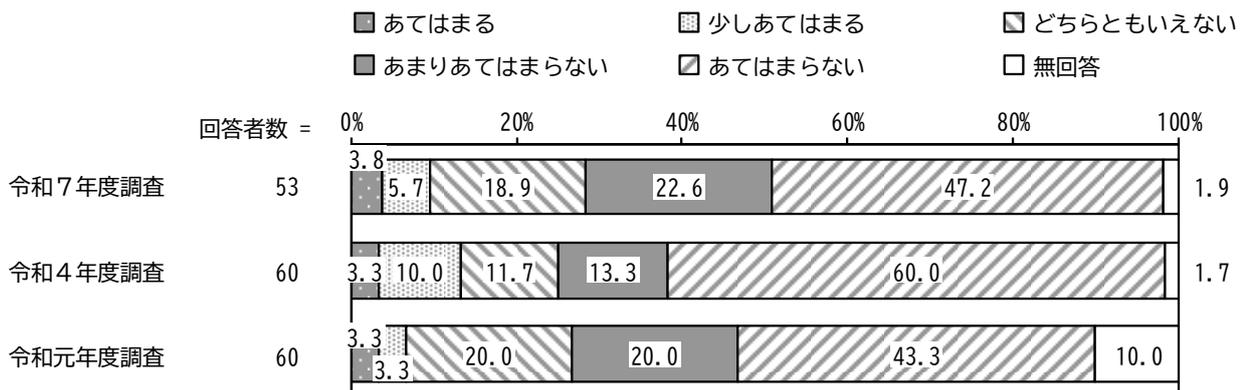
#### (4) 会員が高齢化している



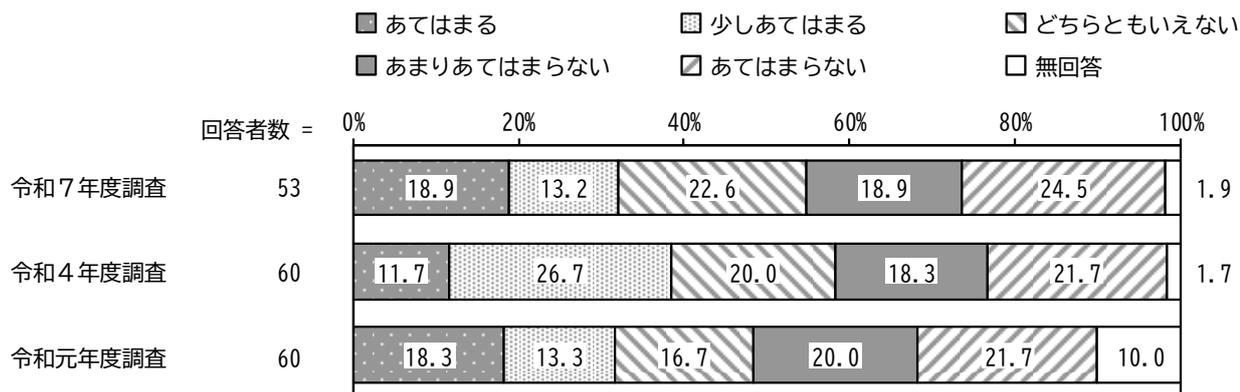
#### (5) 後継者がいない



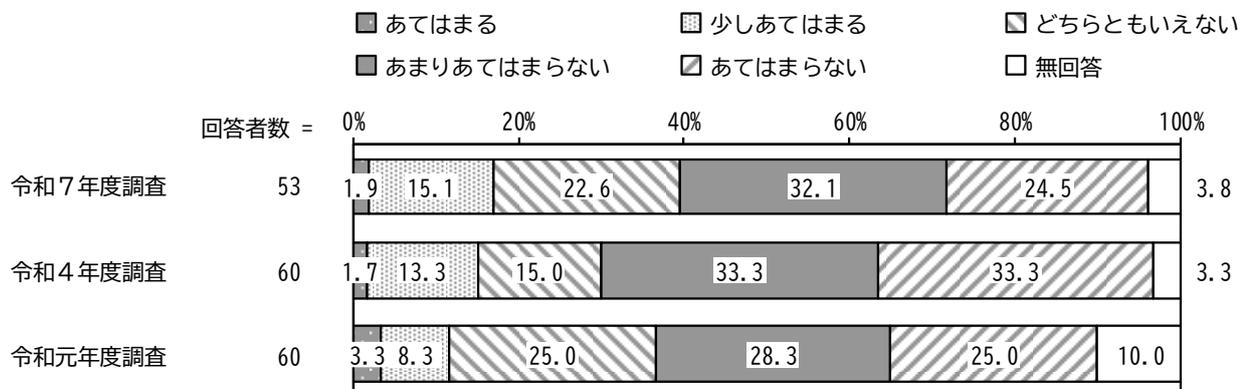
#### (6) 活動拠点などが確保しにくい



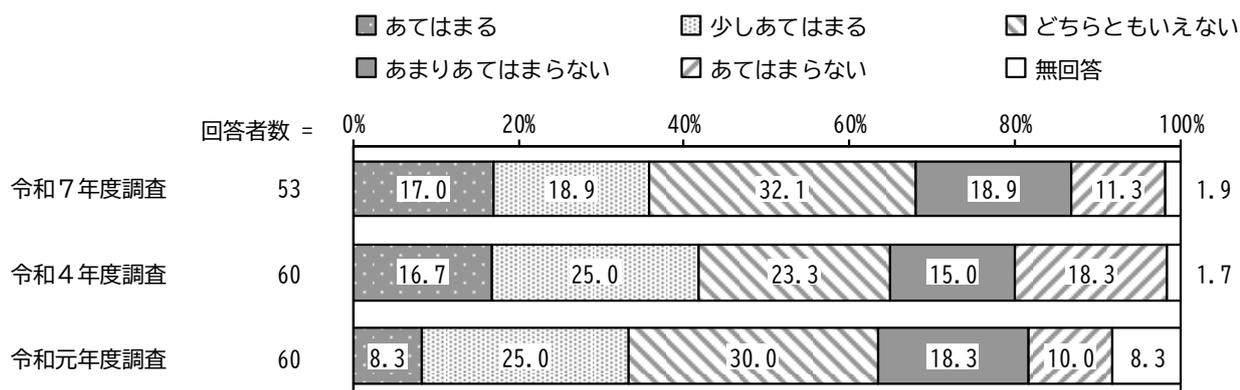
### (7) 活動資金が足りない



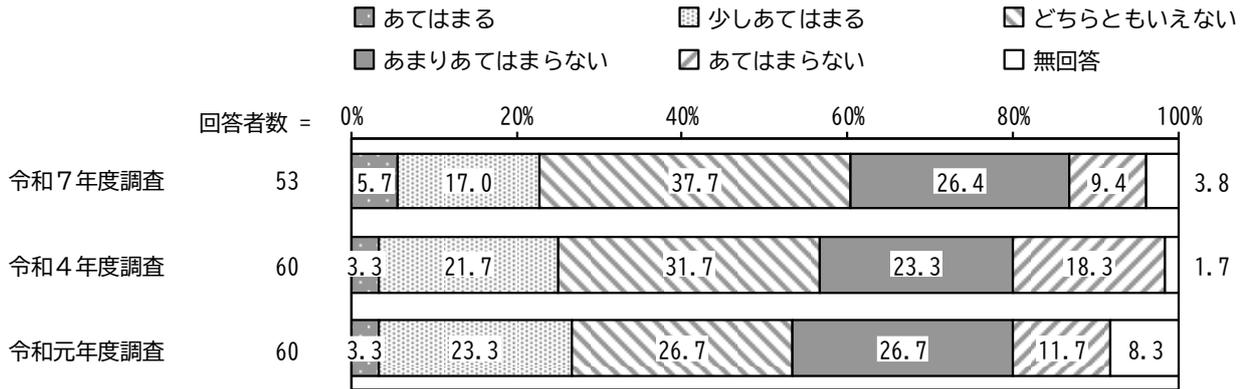
### (8) 活動に必要な情報の収集方法がない



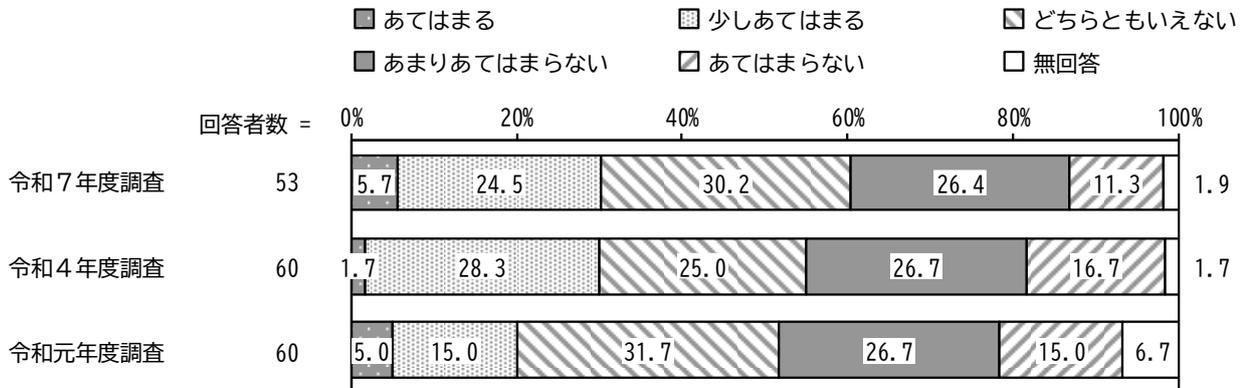
### (9) 活動をPRする力が弱い



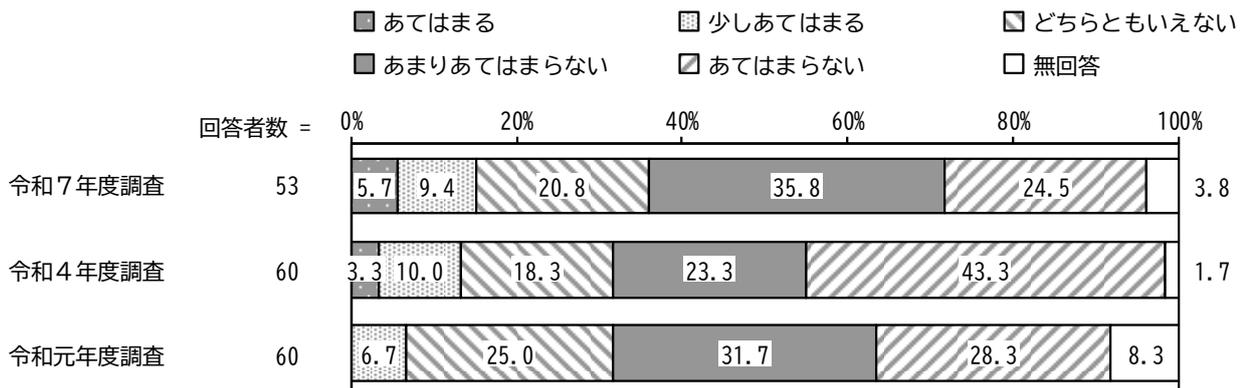
(10) 活動をすすめていくための専門的な知識や能力が不足している



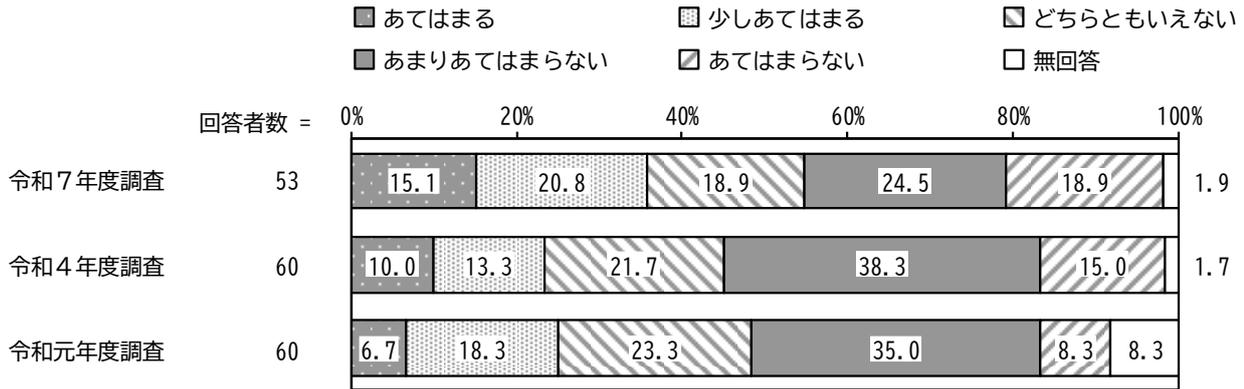
(11) 活動の調整に苦労している



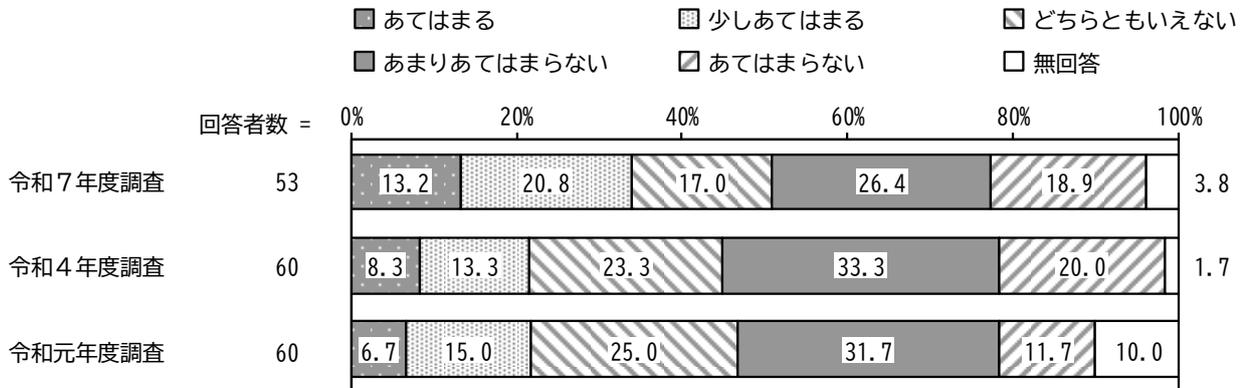
(12) 役員会などの運営に苦労している



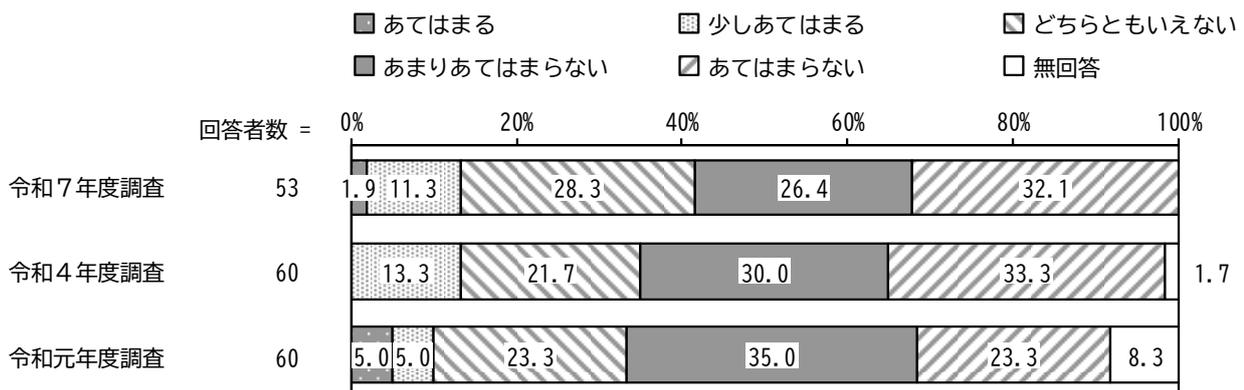
(13) 他団体との交流がない



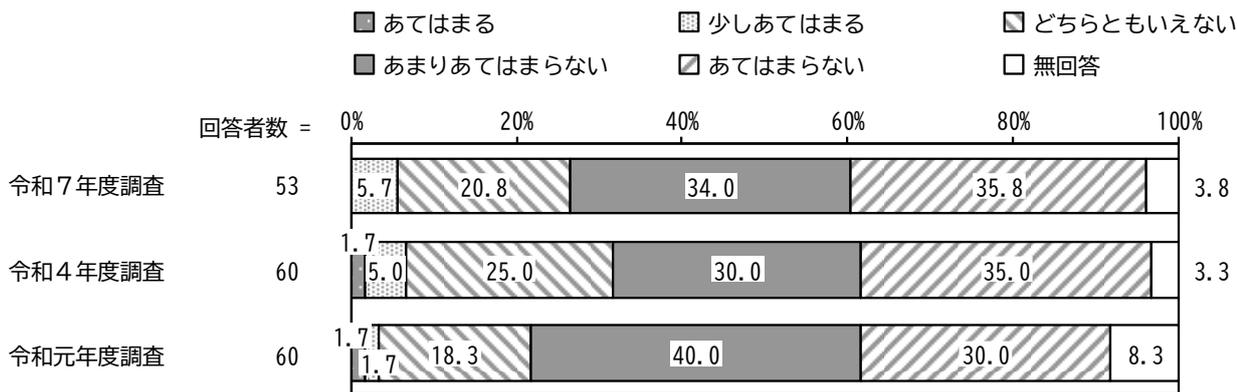
(14) 他団体と連携がない



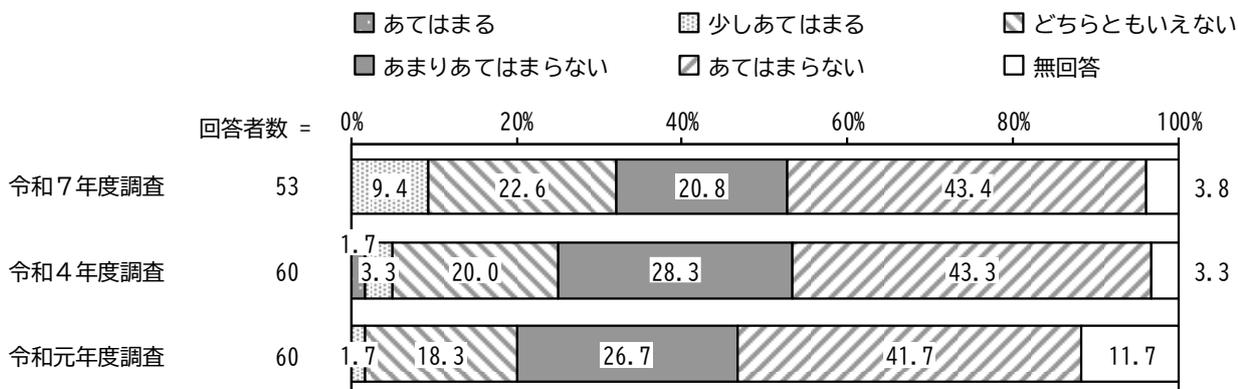
(15) 地域の理解が得られない



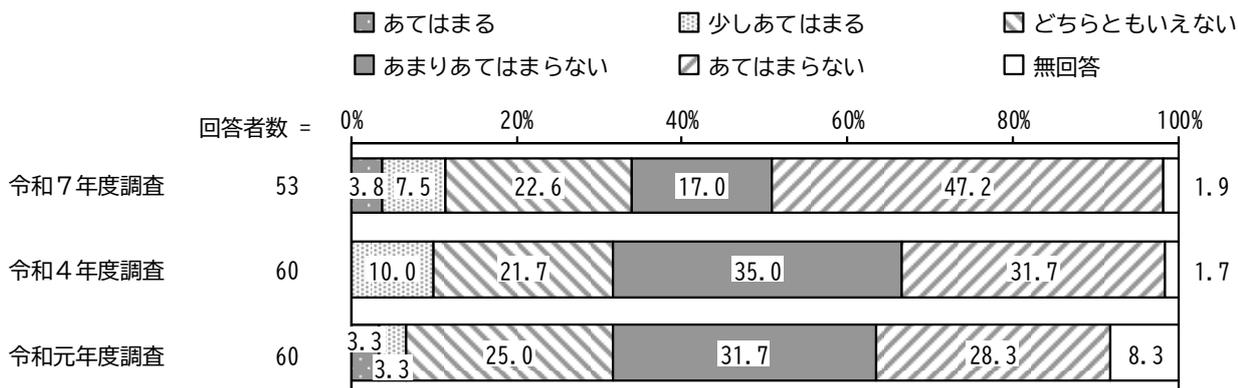
(16) 家族の理解が得られない



(17) 職場の理解が得られない



(18) 行政の理解が得られない

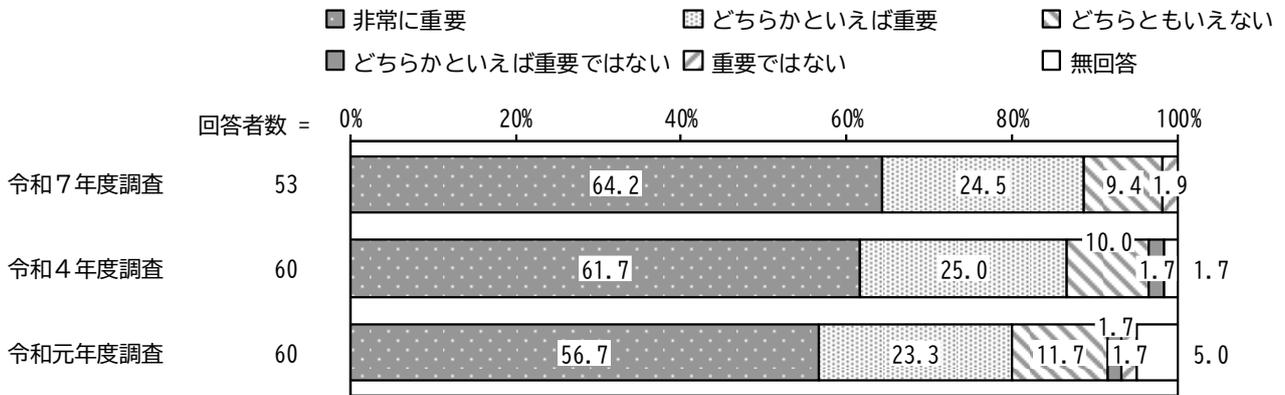


### (3) 市との連携・協力について

#### 問12 あなたの団体にとって、市との連携・協力は重要ですか。(○は1つ)

「非常に重要」「どちらかといえば重要」を合わせた“重要”の割合が88.7%、「どちらかといえば重要ではない」「重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が1.9%となっています。

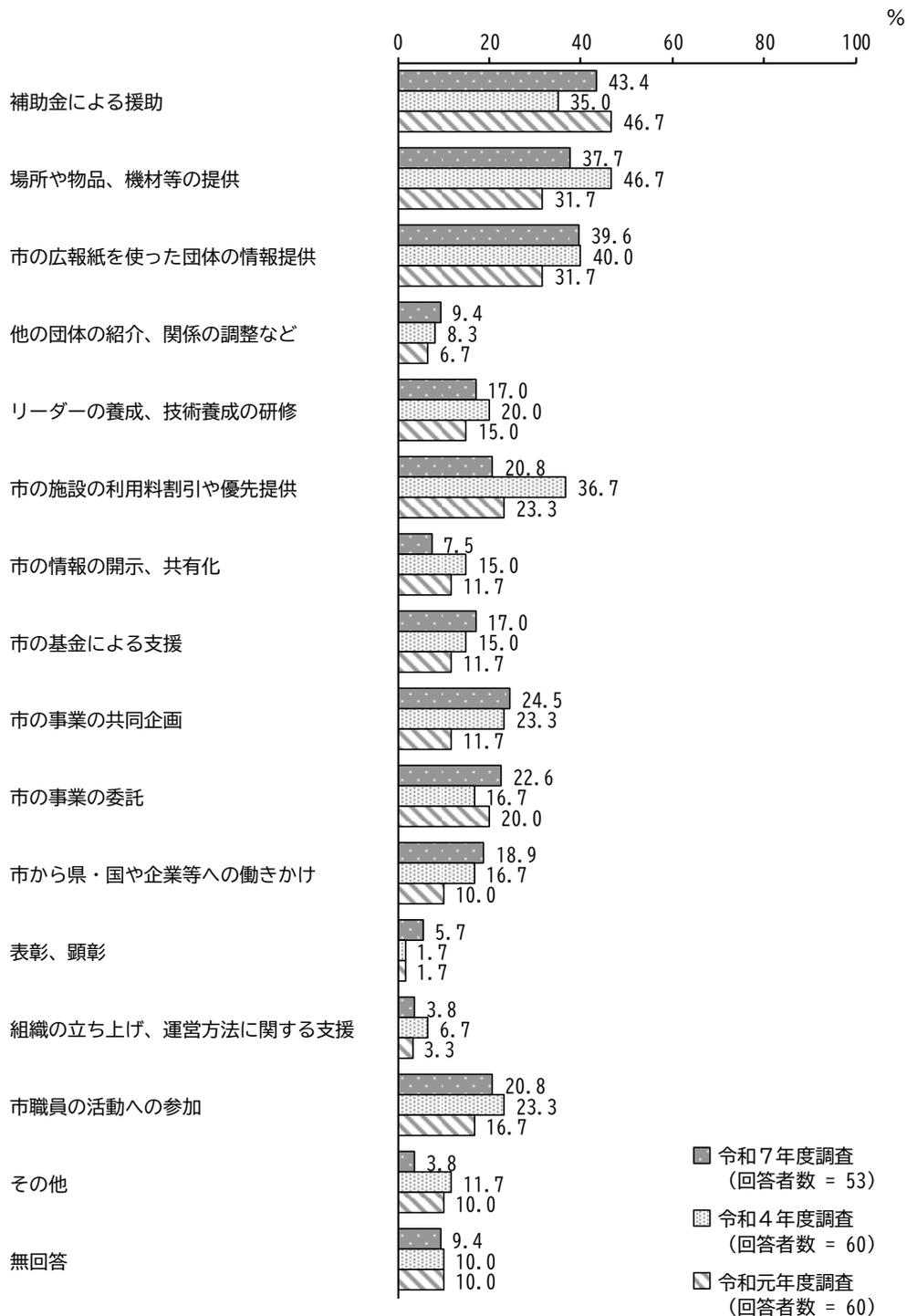
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



問13 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。  
(〇はいくつでも)

「補助金による援助」の割合が43.4%と最も高く、次いで「市の広報紙を使った団体の情報提供」の割合が39.6%、「場所や物品、機材等の提供」の割合が37.7%となっています。

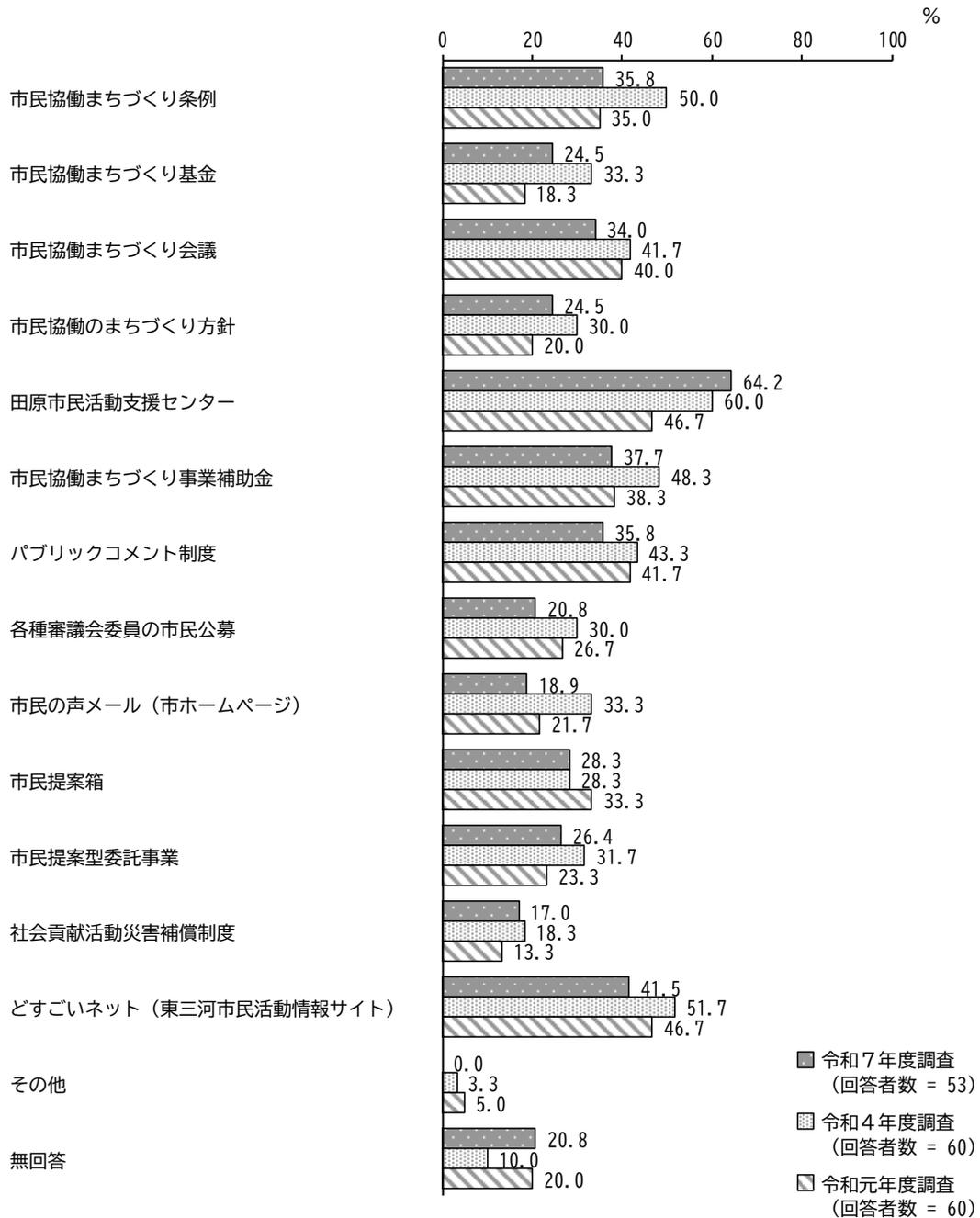
令和4年度調査と比べて、「補助金による援助」が8.4ポイント増加しています。一方、「市の施設の利用率割引や優先提供」が15.9ポイント減少しています。



問 14 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(〇はいくつでも)

「田原市民活動支援センター」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「どすごいネット（東三河市民活動情報サイト）」の割合が 41.5%、「市民協働まちづくり事業補助金」の割合が 37.7%となっています。

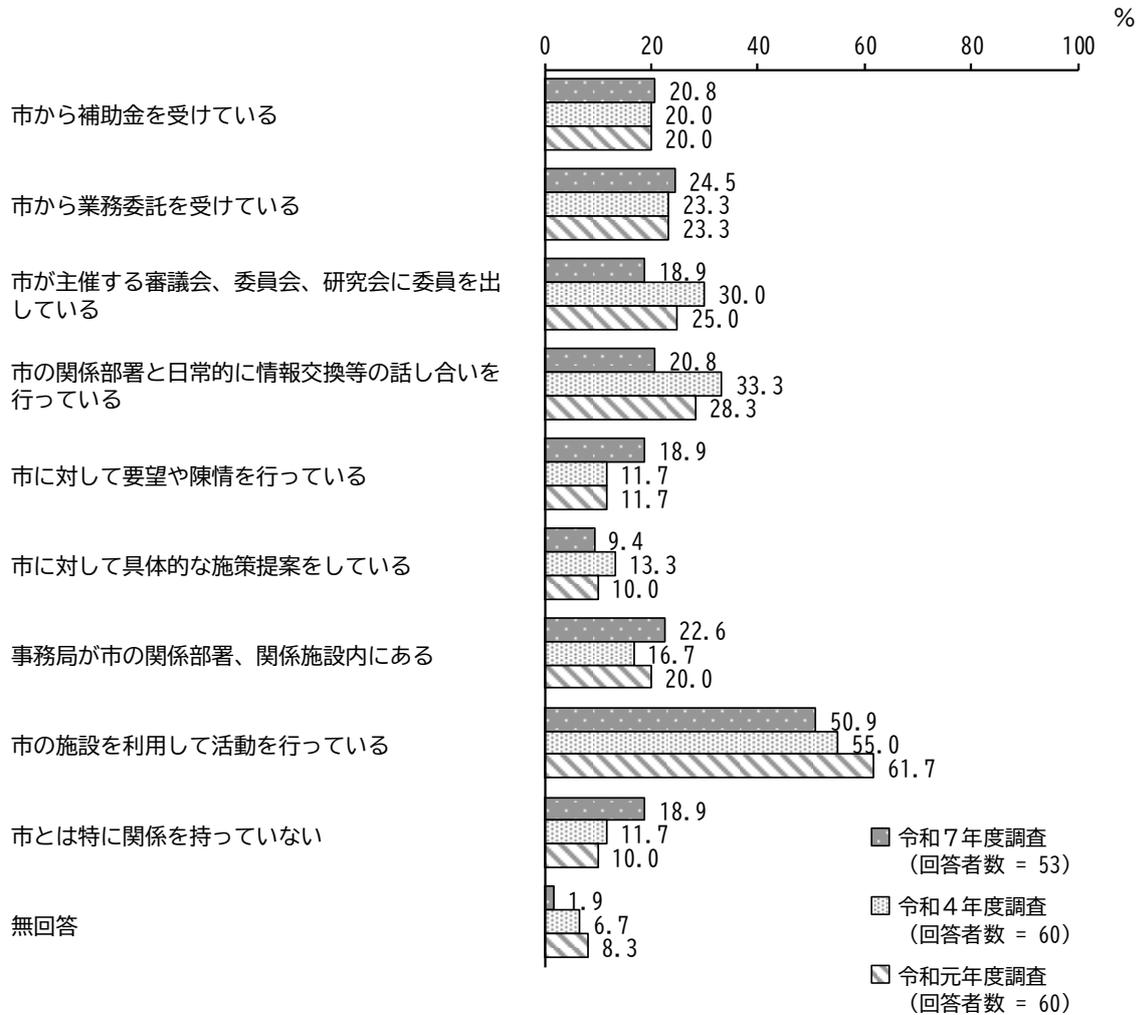
令和 4 年度調査と比べて、「市民の声メール（市ホームページ）」が 14.4 ポイント、「市民協働まちづくり条例」が 14.2 ポイント減少しています。



問 15 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(〇はいくつでも)

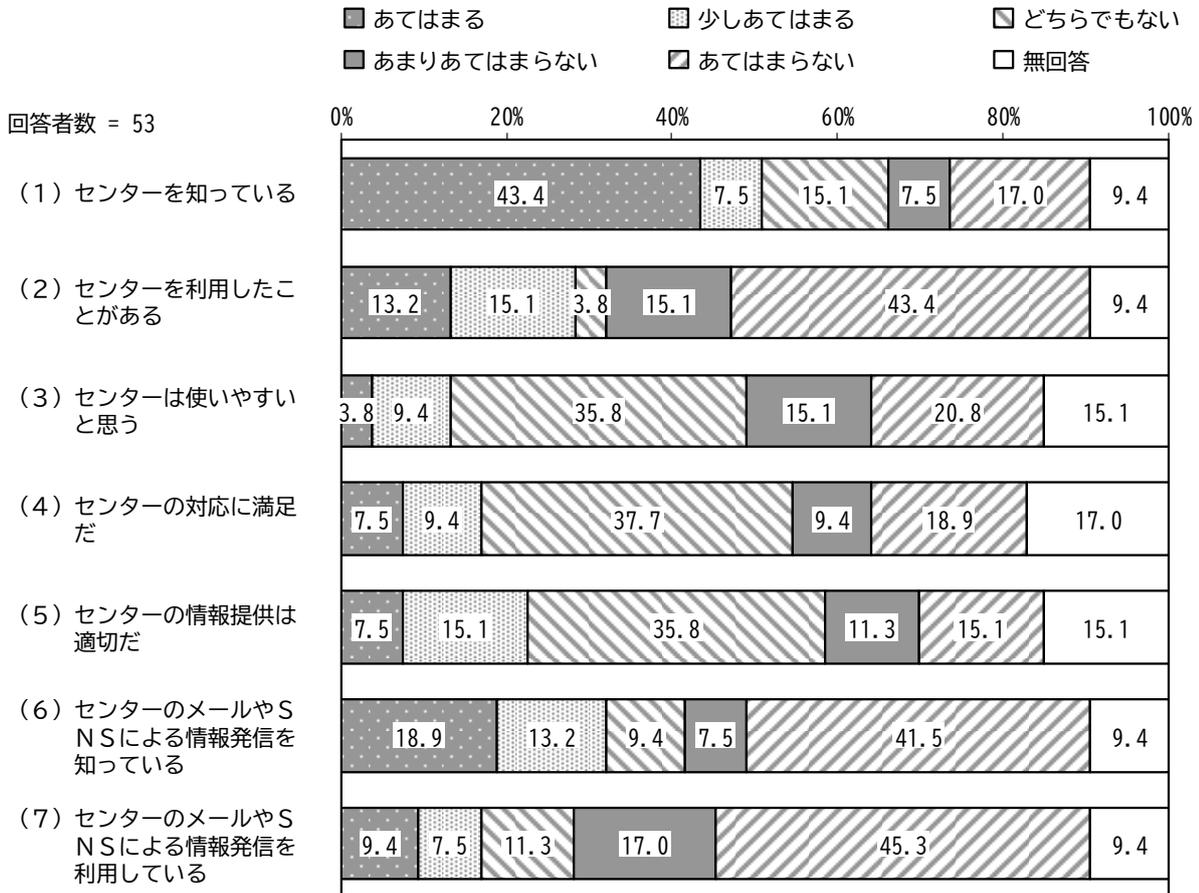
「市の施設を利用して活動を行っている」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「市から業務委託を受けている」の割合が 24.5%、「事務局が市の関係部署、関係施設内にある」の割合が 22.6%となっています。

令和4年度調査と比べて、「市に対して要望や陳情を行っている」が 7.2 ポイント増加しています。一方、「市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている」が 12.5 ポイント減少しています。

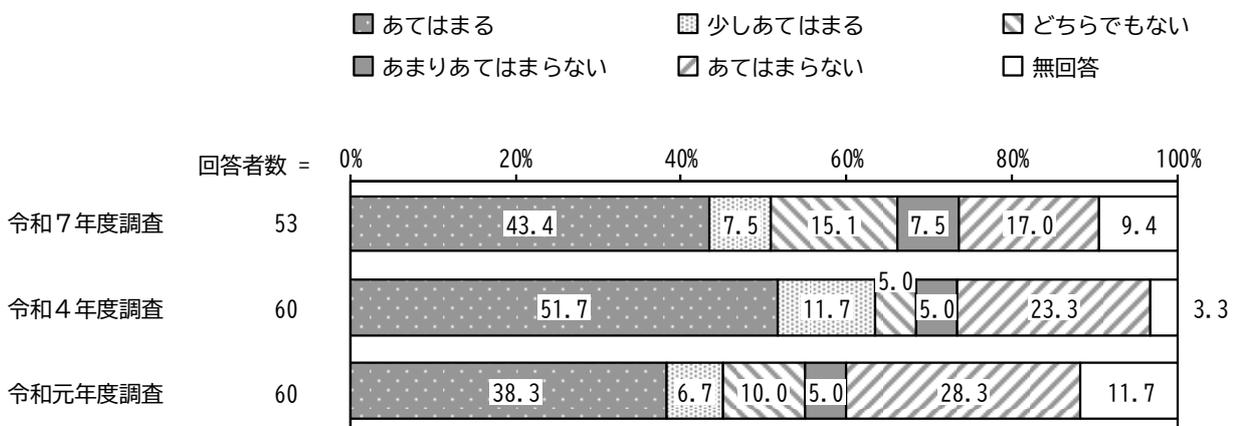


問 16 田原市民活動支援センターについて、あてはまるものに○をつけてください。

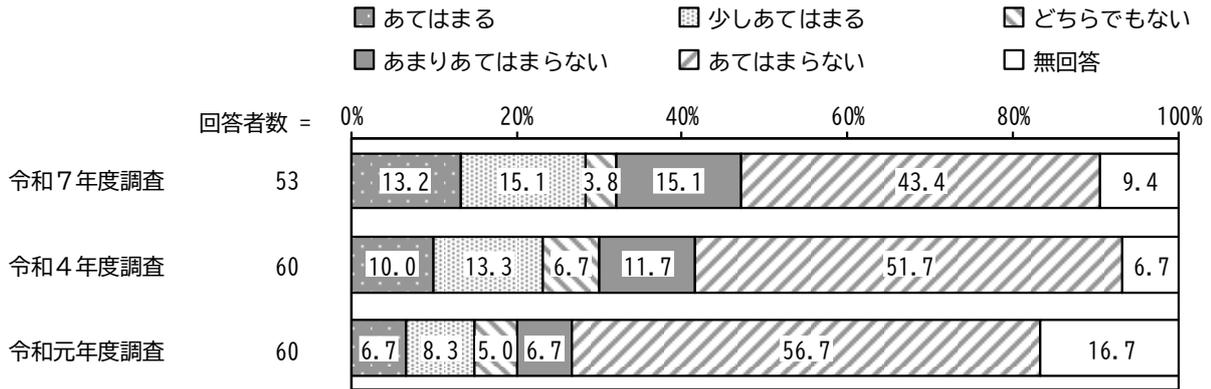
『(1) センターを知っている』で「あてはまる」と「少しあてはまる」を合わせた“あてはまる”が高くなっています。一方、『(7) センターのメールやSNSによる情報発信を利用している』で「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”が高くなっています。



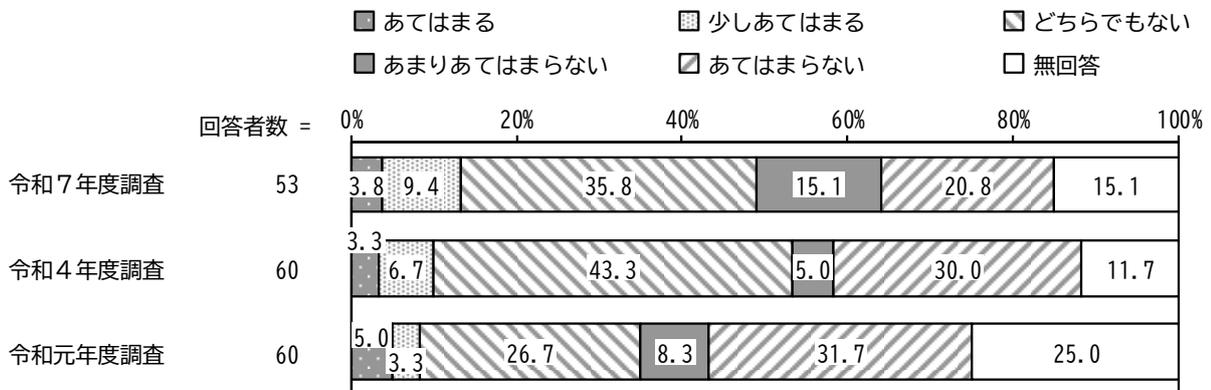
(1) センターを知っている



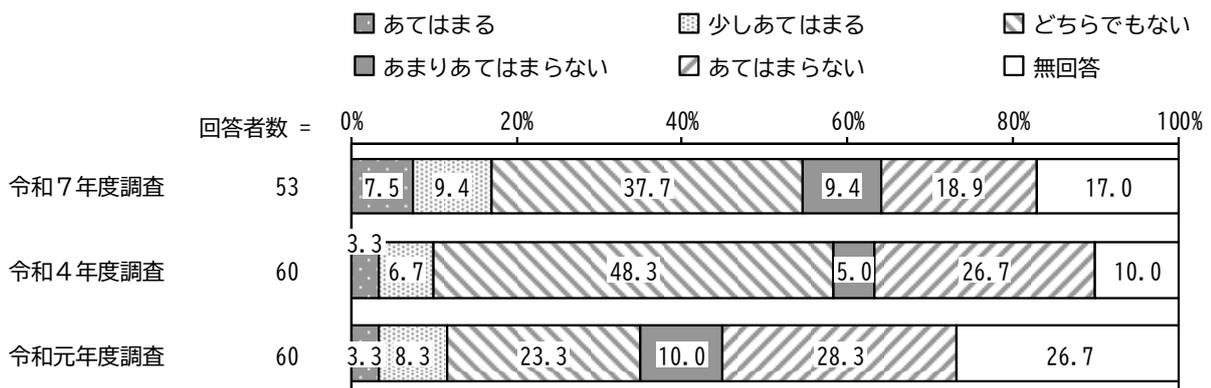
## (2) センターを利用したことがある



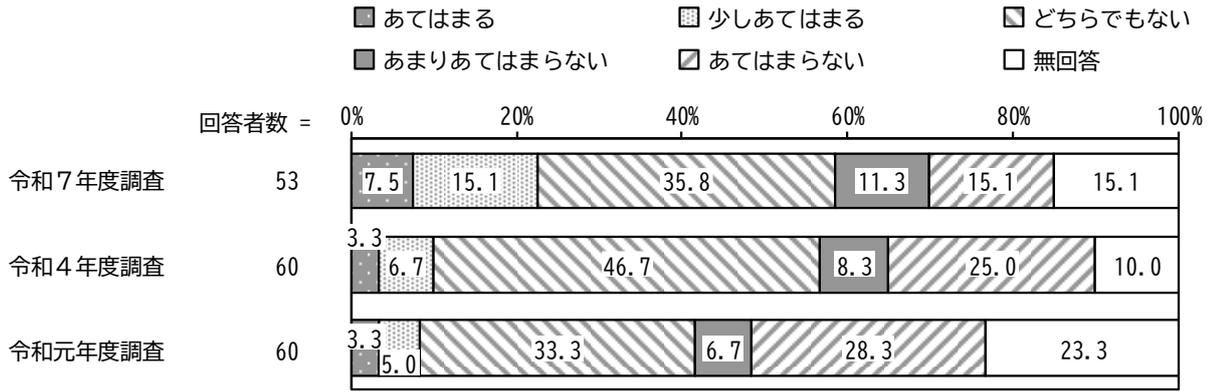
## (3) センターは使いやすいと思う



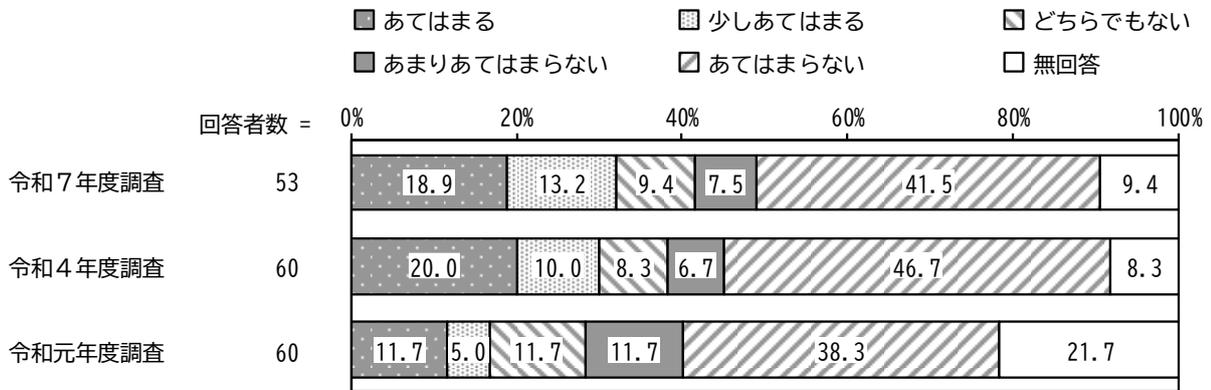
## (4) センターの対応に満足だ



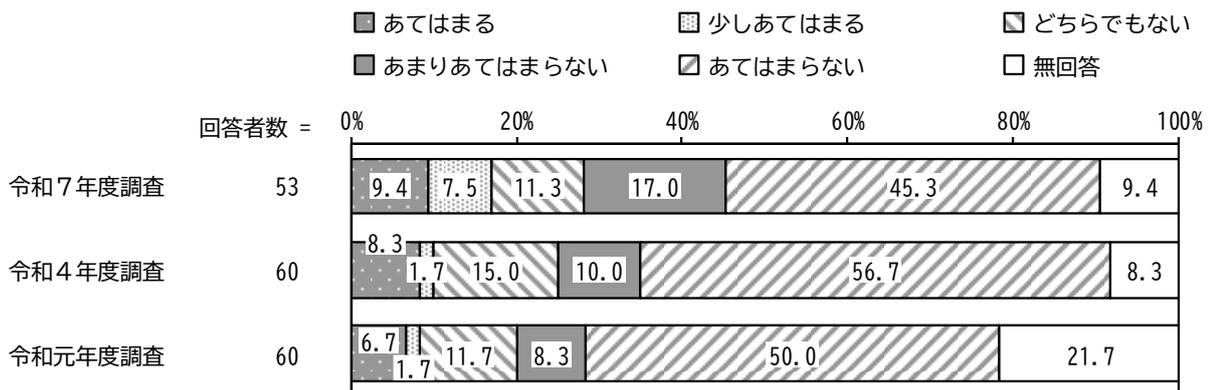
(5) センターの情報提供は適切だ



(6) センターのメールやSNSによる情報発信を知っている



(7) センターのメールやSNSによる情報発信を利用している



問 17 田原市民活動支援センターに欲しい、もしくは必要だと思う機能があれば、ご記入ください。(自由記述)

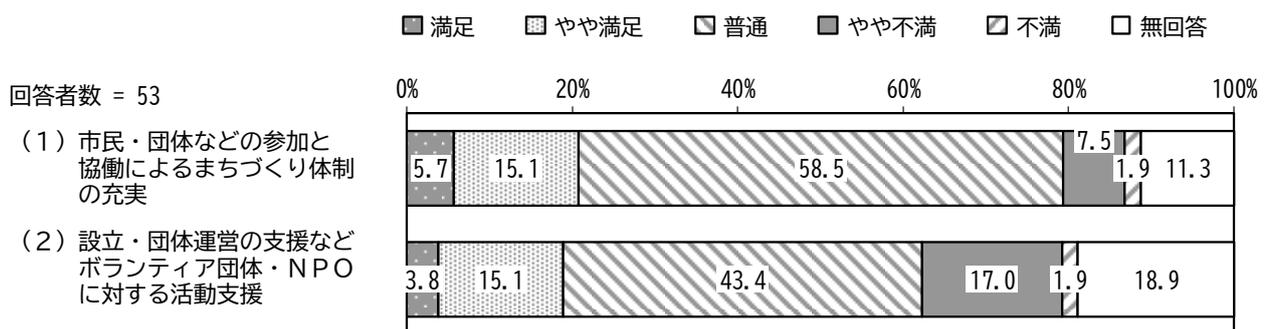
- ・ 丁合機。
- ・ 窓口を企画課協働係に移動し、職員が訪問者に対応してほしい。交流イベントは中止する。
- ・ 社協ボランティア・NPOと市民活動と2つの政策は必要ない。負担が増えるだけ。やたらと自活動だけに力を入れる団体があり不適切。
- ・ FacebookよりもインスタグラムまたはX（旧ツイッター）で発信してほしい。
- ・ スタッフの能力向上(調整力、情報収集力、発信力、企画力など)。
- ・ 公民館等の公共施設の利用のしやすさ、気軽に使える会議室などの利用、補助金・市の委託事業の充実。
- ・ スタッフのスキルアップを希望。
- ・ インスタグラムやT i k T o kなど、無料で使用できる動画の使い方。
- ・ 幅広い広報活動の支援。
- ・ 市民活動とシルバー人材センター、ボランティアの窓口との連携が望ましい。

問 18 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」に○を1つずつ)

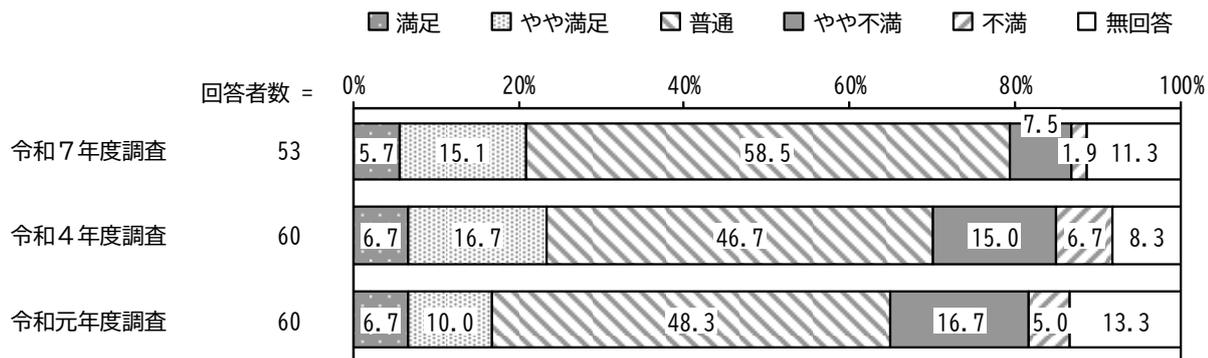
現在の評価

令和4年度調査と比べると、「満足」「やや満足」を合わせた“満足”は、どちらの項目も減少しており、『(2) 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援』は6.1ポイント減少しています。

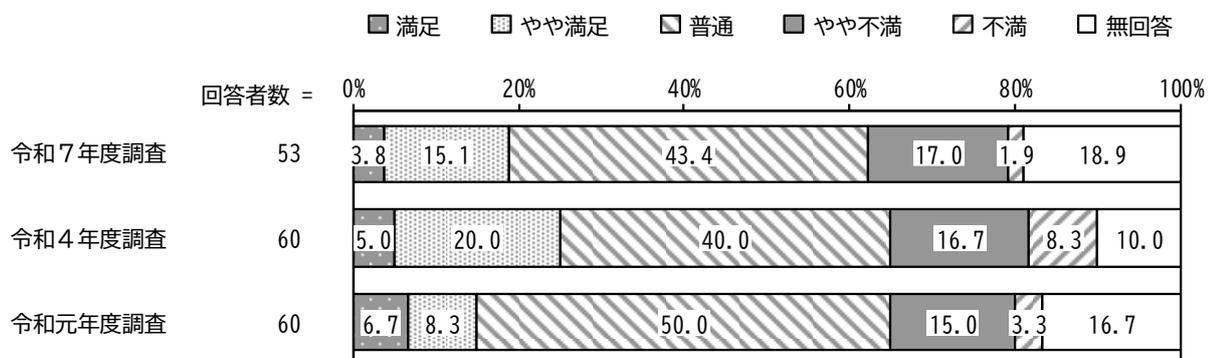
「不満」「やや不満」を合わせた“不満”は、どちらの項目も減少しており、『(1) 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実』は12.3ポイント減少しています。



## (1) 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実



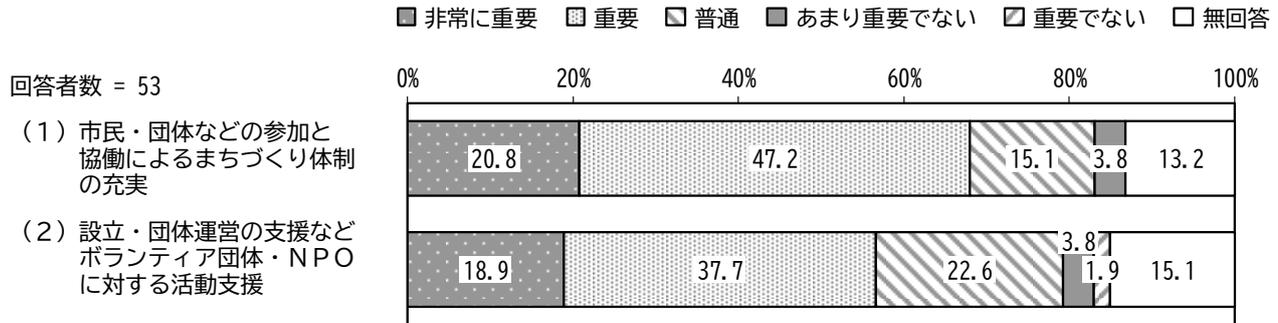
## (2) 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援



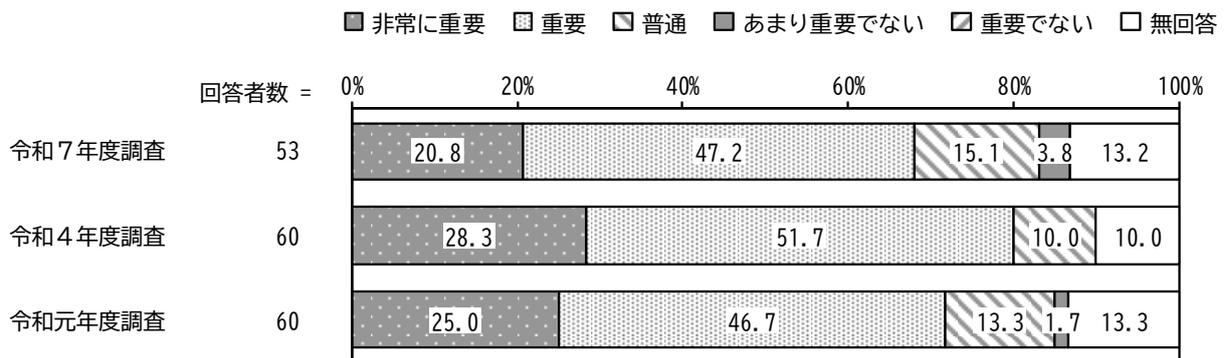
## 今後の重要性

令和4年度調査と比べると、「非常に重要」「重要」を合わせた“重要”は、どちらの項目も減少しており、『(2) 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援』は15.1ポイント減少しています。

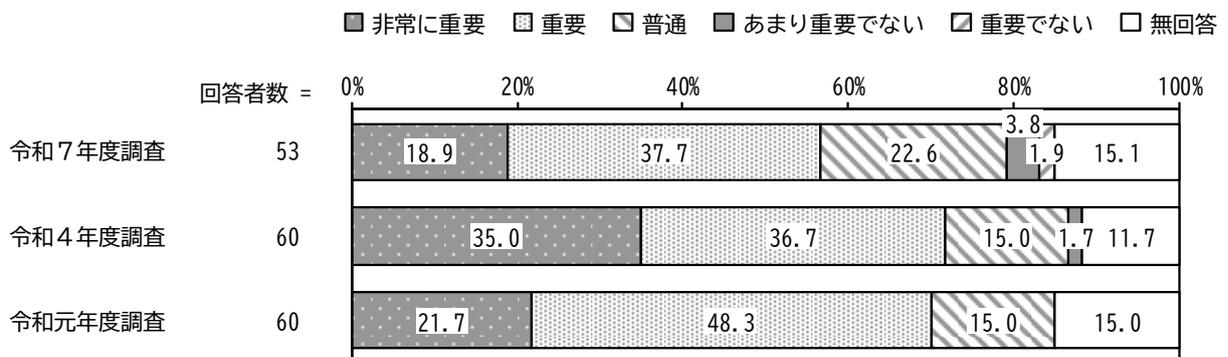
「重要でない」「あまり重要でない」を合わせた“重要でない”は、どちらの項目も増加しており、『(2) 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援』は4.0ポイント増加しています。



### (1) 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実



### (2) 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援



問 19 あなたの団体は、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

- ・ 市主催のイベント・会議等に加えてもらっている。担当課の職員等に資料配布や顔出し、訪問等で交流協力してもらっている。
- ・ 地元の食材を使用して提供していることのPRなどをいろいろな角度から応援してほしい。
- ・ 環境政策、生物多様性、環境保全、海に関わる活動、山の整備等。
- ・ 支援を求める団体には大都市で活躍する専門家を派遣する。専門性を持った市民と行政が一緒になってまちづくりを進める。市の課題を解決する。
- ・ 耳の不自由な方々への翻訳ボランティアの拡充をお願いしたい。高齢化による難聴の増加の深刻さが心配される。コミュニケーション不足が問題で事故・事件の多発が予想される。
- ・ 里山保全活動・リーダー養成講座の開催について「街づくり推進課」へ要望を提出し、今年度実施予定。
- ・ ①防災力を強める。②教育委員会と連携して学校に防災教育を広めたい。③高齢福祉課等と協力し高齢者福祉に携わっていただけたいと思っている（赤十字のノウハウを生かして）。
- ・ 赤十字と密接な関係にあるため、今年度から防災についての協力を始めている。女性目線の防災を各地区で取り入れてもらいたい。更生保護女性会は各小学校に会員がいて、全 103 名で組織されているのでうまく協力できないか考えている。
- ・ 地域貢献。
- ・ 障がい者が住み良いまちにしたい。
- ・ イベントを行う際、多くの市民に知っていただけるように支援してほしい。
- ・ 今のままで良い。
- ・ 今まで通り、補助金での資金面の支援や認知度を広げる広報面での活動支援を継続してほしい。
- ・ 学校に行けない児童生徒の居場所づくり、及びサポートセンター等が利用できない人の受け皿として活動したい。不登校の受け皿支援、学生の居場所（ボランティア）の充実。
- ・ 不登校やひきこもり支援のために連携して、当事者に情報発信や提供する機会を増やしたい。小中学校、適応指導教室、フリースクール、相談機関と連携して不登校の子どもたちに早期に支援、居場所の提供ができると良い。
- ・ 地域河川の草刈り作業を主に行う自主的グループ。一年に一度、行政主導の河川草刈り作業が行われるが、364 日間は放置のため草は人の背丈程に伸び、景観・治安が悪い。これらの問題を少しでも解決しようと 13 年間活動しているが、人力での作業には限界がある。川の法面に密集する暖竹の除去・農家による河川への不法投棄等の対策を強く要望する。
- ・ 十分実施している。
- ・ NPOだが、事業の活動に忙しく市民活動に法人が参加することができなく心苦しい。
- ・ 小中山地区での当会計画風車を復興風車として活用、再生可能エネルギー活用の地域電力会社の設立（グリーン電力証書等の活用）、災害復興等への市内での活用誘致、防災施設等への充電池等の提供、水素ガス基地等の誘致、立馬池利用での養殖施設誘致（陸上養殖含む）など。
- ・ 市の福祉イベントなどにも積極的に参加していきたい。

## (4) 市政に対するご意見

問 20 その他、普段お考えになっていること、団体の将来の展望、市に対するご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・ 各所にチラシ・パンフレット等が設置されたり、メディア等にも楽しい情報として提供されてきている。次代に田原市の元気さや若さの生き生きした所が伝わってきている。もうひと頑張りの広がりが楽しみ。
- ・ 必要と思われる事案については、校区コミュニティ会長と協議して行っている。
- ・ 使用していない市の建物を早く活用出来る様にしないともったいないと思う。古い建物は倒壊するおそれがあり危険を感じる。
- ・ 自然環境課を設置し、渥美半島の豊かな自然を守る・維持していくための取り組みが必要。県・国の管理地といっても、田原市内の川・森であり、市としてあるべき姿を提言し、市行政が先頭に立って整備していくことが必要。
- ・ 財務対策（市）。南海トラフ地震後の対応が非常に重要。
- ・ 近いうちにボランティアや市民活動団体は形を変えます。まちづくりを専門で行っている職員には、専門性を高めて他セクターに対応してほしい。
- ・ 各地域の生の声を取材し、市民の声を収集し政策に結びつける。
- ・ 会場の利用許可をはじめ、活動支援に対し深く感謝する。団員の高齢化や新入団員の確保の難しさなど課題はたくさんあるが、未永く歌うことを楽しむとともに、演奏会を通して少しでも地域の皆さんの心に届く演奏ができるよう励んでいきたいと思う。
- ・ 問 11 の（1）（2）（3）（4）（5）の解決を望む。
- ・ 田原市赤十字奉仕団の活動資金は、赤十字の社資（田原市が徴収し日赤に納めた額の一部が助成される）によって賄われている。田原市は日赤の助成金が少ないため、活動資金が足りなくなり活動に支障が出る場合があるので、市からの助成があればとても助かる。以前より何度も要望しているが変化無し。
- ・ ボランティア団体なのに活動は年間でほぼ決まっている。ボランティア団体なのに、各小学校区から2年ごとに会員が入れ替わっている。会員の勧誘は、現会員が自力で探す地区がほとんどで、知名度の低さも相まって非常に苦労している。更生保護女性会の会員から赤十字の理事もお願いしているので、もう少し市からコミュニティ協議会への協力要請をしてほしい。本当に困っている。
- ・ 会の活動をサポートしてくれる人材がほしい。
- ・ 少子高齢化が進み、隣近所の方とのコミュニケーションも薄れている現代、誰もが気軽に参加出来る交流出来る場を多く設けて欲しい。インターネット・スマートフォンから情報を得る事も良いが、認知症を予防するためにも人と会話しながら情報を得たり、気軽に街に出向いて情報を得る事も大切な事だと思うのでアピールして欲しい。
- ・ 田原市の中心が田原駅なのかララグランなのか、セントファールなのかはっきりしない気がする。
- ・ 田原文化協会の音楽祭とは別に、募集型の音楽祭をステージイベントとして、行うといいのではないかと思う。
- ・ 江比間野外教育センターの閉鎖が大変残念。ここに代わって、市内で青少年育成活動をするにあたり低価格で宿泊できる施設や、野外活動ができる場所があれば情報がほしい。
- ・ 市民の高齢化・少子化など難しい問題が蓄積しており、時間がかかると思うが、市の人口が増える対応策など、地道な活動にもっと市民が参加できるような行事があればいいと思う。昨年の子供数が200名くらいと聞いて将来のことが心配。
- ・ 委託事業について、テーマ型も市民提案型も委託事業であるのに、受託事業者の報酬を含めてはいけないう過去の慣習の打開をなんとかお願いしたい。恐らく、土木建設関係の事業者への委託事業については人件費も込みで契約をされていると思われるが、なぜ市民協働となるとボラ

ンティアになってしまうのか？複雑で多様な課題の多い社会の中で、課題解決に向け継続的に活動を維持発展させるためには、専門性の高い人材や社会的な責任を果たすための人材配置が重要であるところに予算を割かないことが、数年後どういう展開になるのか議論してもらえるとありがたい。補助金と委託費は全く意味合いが異なると思う。

- ・ 子どもの居場所に対する市の委託事業の検討。ハード面の支援よりも、人件費などソフト面の支援が必要。子育てがしやすい制度の改革、地域と学校の連携、市役所の課内の連携。新しいことへの挑戦のしやすさが課題だと思うので、市の職員と地域の人との意見交換の場が必要。市民の声を事業に活かすことで、よりよいまちづくりにつながると思う。
- ・ 多くの市民は、自分の家や庭は他人から言われなくても手入れする。公共の道路・河川の草刈り・ゴミ拾いを自主的にする市民は大変少ない。自分の家に面した道路・農地・農業・商業施設の周り等を綺麗にすることは可能かと思う。市が「お金」を出すだけでなく、自主的な行動を評価、広める政策を掲げれば、やる気の出る市民も現れるような気がする。
- ・ 外国人増加に伴い、地域と地域に住んでいる外国人との連携が益々重要になってくる。市として外国人と地域を連携させる施策を、様々な行政活動の中で実施する必要があると感じている。
- ・ 初年度は、参加希望のボランティアの人数が増えすぎて逆に活動に支障が出てしまったため、現在はボランティアに参加してくれる皆さんが、楽しく活動できる規模で活動を行っている。団体の規模は現在程度の感じで、なるべく長く活動を続けていきたいと思っている。

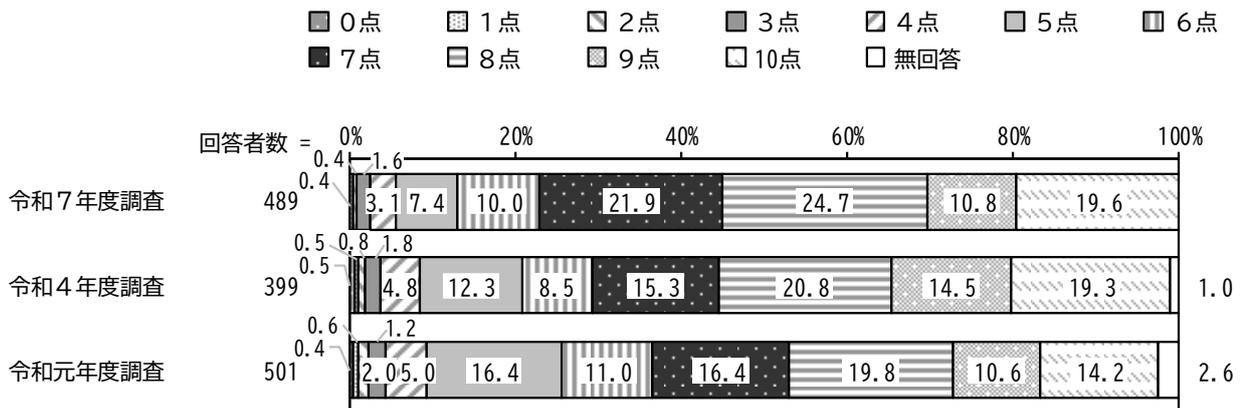
## 6 中学生

### (1) あなたにとっての『幸せ』について

#### ① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

平均点は7.60点で、概ね「幸せ（7点以上）」と思っている人の割合が77.0%となっています。

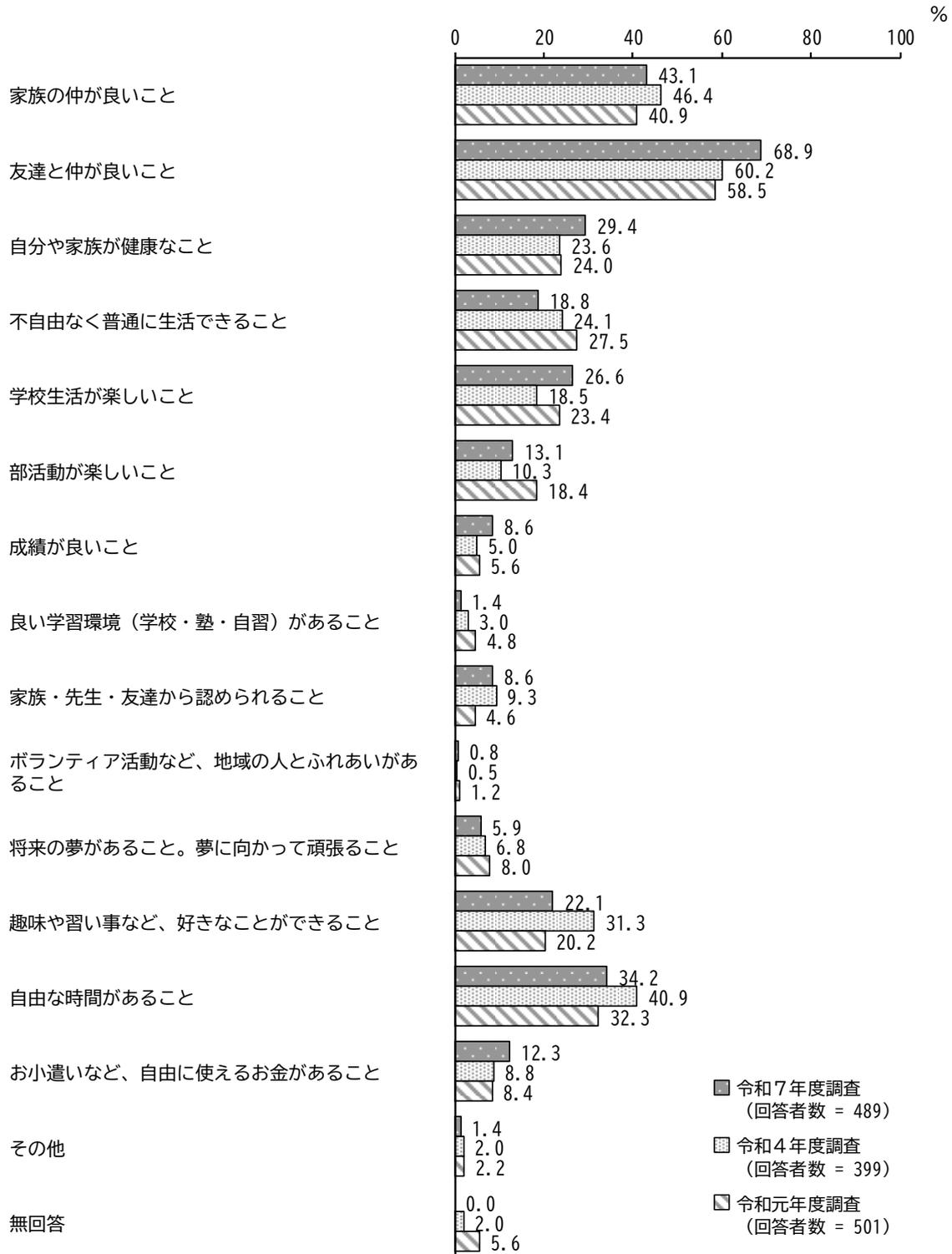
令和4年度調査の平均点（7.40点）と比べて、0.2ポイント高くなっており、令和元年度調査の平均点（7.0点）と比べて、0.6ポイント高くなっています。



② あなた自身が『幸せ』でいるために、重要だと思うことは何ですか？（○を3つまで）

「友達と仲が良いこと」の割合が68.9%と最も高く、次いで「家族の仲が良いこと」の割合が43.1%、「自由な時間があること」の割合が34.2%となっています。

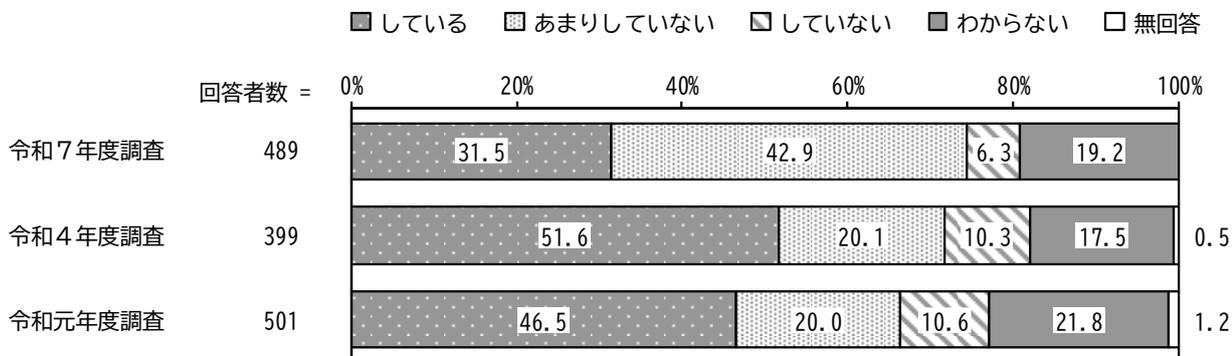
令和4年度調査と比べて、「友達と仲が良いこと」が8.7ポイント増加しています。一方、「趣味や習い事など、好きなことができること」が9.2ポイント減少しています。



③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？

「している」の割合が31.5%、「あまりしていない」の割合が42.9%、「していない」の割合が6.3%となっています。

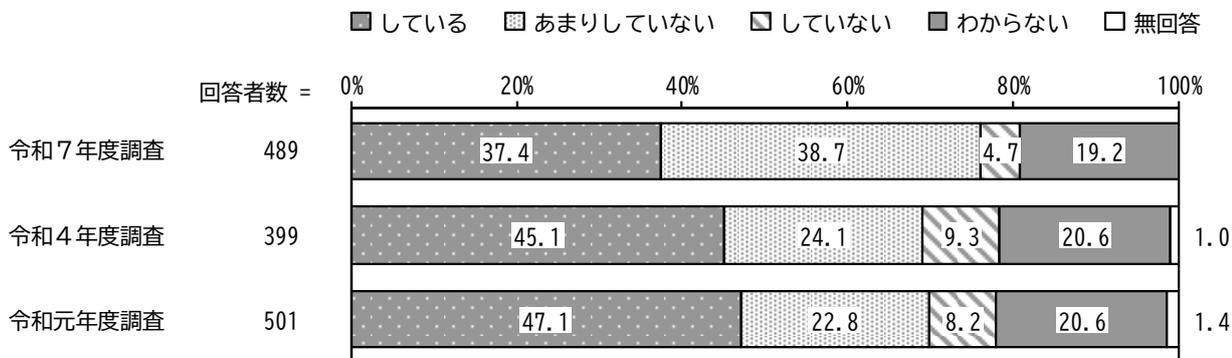
令和4年度調査と比べて、「している」が20.1ポイント減少しています。



④ あなたは普段の生活のなかで、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？

「している」の割合が37.4%、「あまりしていない」の割合が38.7%、「していない」の割合が4.7%となっています。

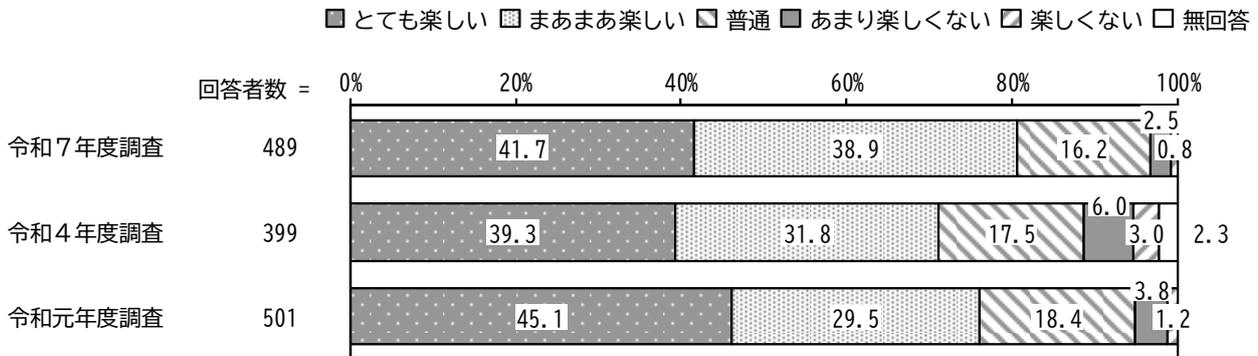
令和4年度調査と比べて、「している」が7.7ポイント減少しています。



## (2) あなたの学校生活について

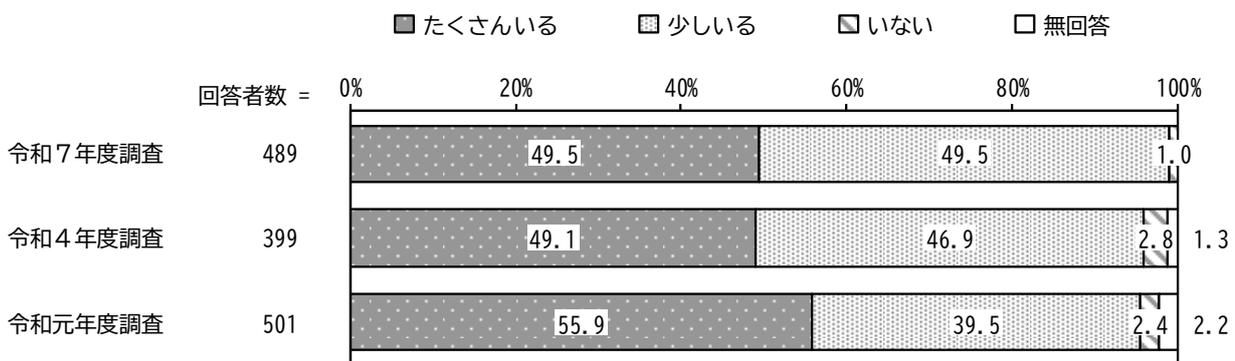
### ① あなたは学校生活が楽しいですか？

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせた“楽しい”の割合が80.6%、「あまり楽しくない」「楽しくない」を合わせた“楽しくない”の割合が3.3%となっています。  
令和4年度調査と比べて、“楽しい”が9.5ポイント増加しています。



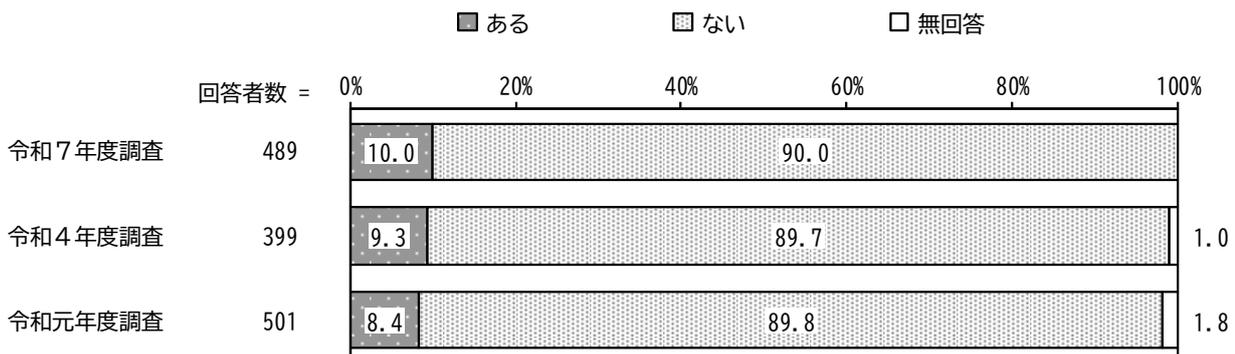
### ② あなたには信頼できる友達がありますか？

「たくさんいる」、「少しいる」の割合がともに49.5%、「いない」の割合が1.0%となっています。  
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



### ③ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

「ある」の割合が10.0%、「ない」の割合が90.0%となっています。  
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。

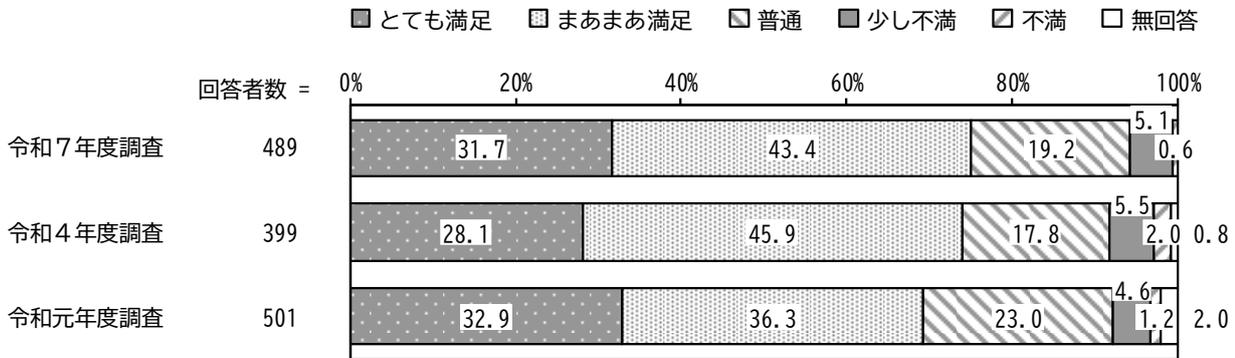


### (3) あなたの普段の生活・家族との関係について

#### ① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

「とても満足」「まあまあ満足」を合わせた“満足”の割合が75.1%、「少し不満」「不満」を合わせた“不満”の割合が5.7%となっています。

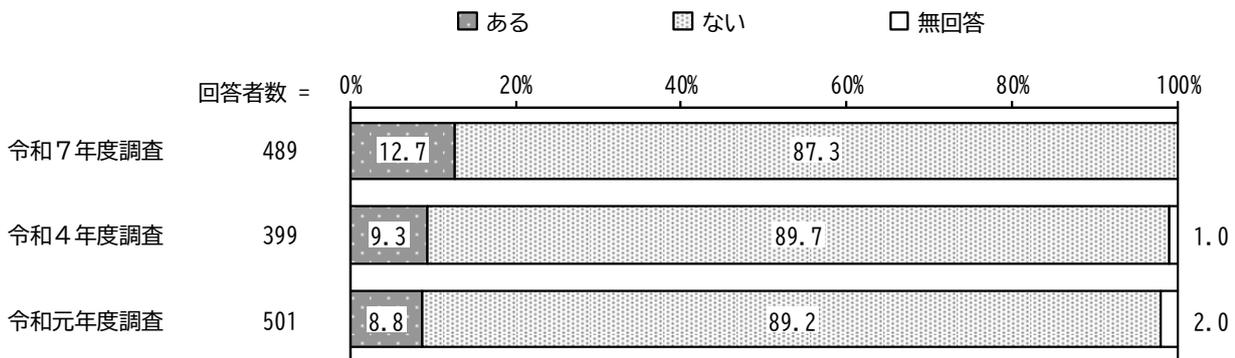
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



#### ② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

「ある」の割合が12.7%、「ない」の割合が87.3%となっています。

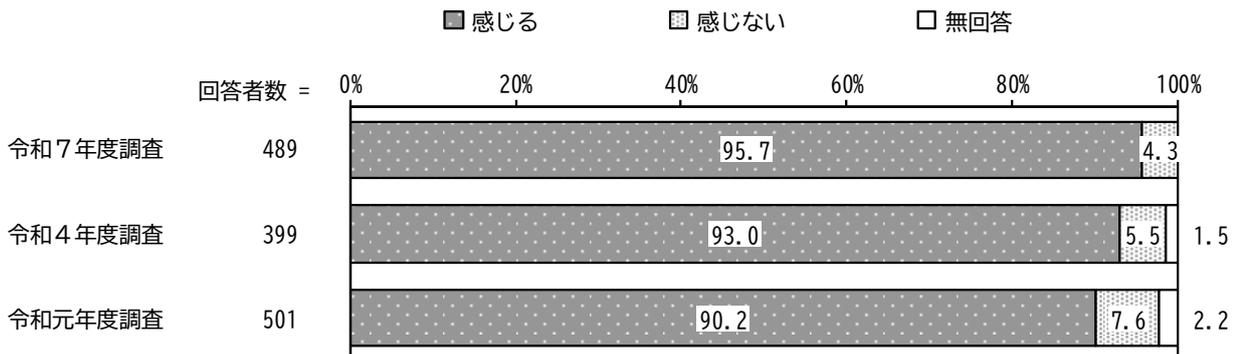
令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



#### ③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

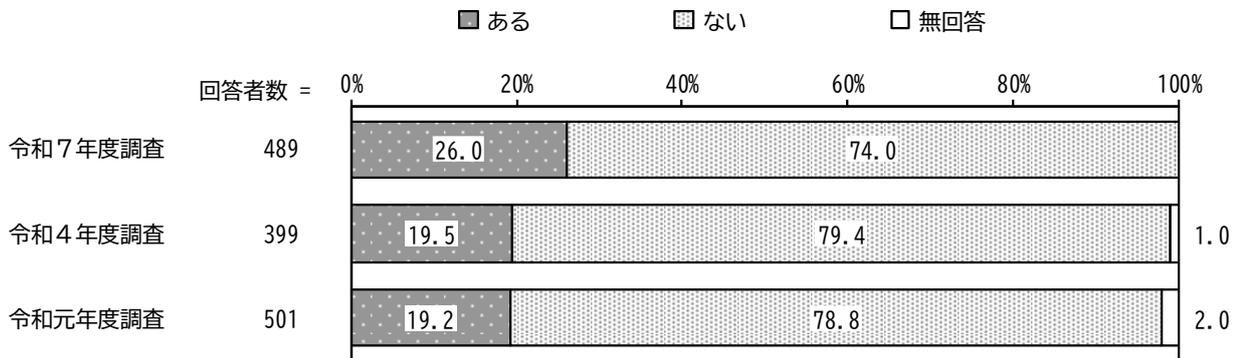
「感じる」の割合が95.7%、「感じない」の割合が4.3%となっています。

令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



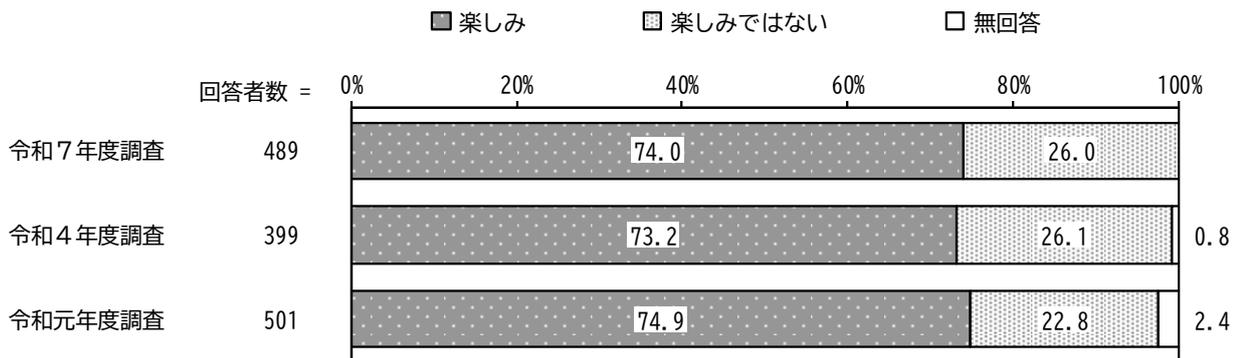
④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

「ある」の割合が26.0%、「ない」の割合が74.0%となっています。  
 令和4年度調査と比べて、「ある」が6.5ポイント増加しています。



⑤ あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？

「楽しみ」の割合が74.0%、「楽しみではない」の割合が26.0%となっています。  
 令和4年度調査と比べて、傾向に大きな差異はありません。



## (4) その他

自由意見 [あなたにとっての幸せとはなんですか？]

- ・楽しく過ごせること (107 件)
- ・友達といること (73 件)
- ・不自由のない普通の生活 (57 件)
- ・自由 (48 件)
- ・家族がいること (37 件)
- ・生きていること (34 件)
- ・趣味 (27 件)
- ・健康 (25 件)
- ・他人を認める・認められる・信頼される・信頼する (18 件)
- ・平和 (13 件)
- ・おいしいご飯を食べる事 (10 件)
- ・お金 (5 件)
- ・勉強ができる (5 件)
- ・部活 (3 件)
- ・その他 (27 件)



問9 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。  
(あてはまるもの3つに○)

1 伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	2 伊良湖海水浴場
3 太平洋ロングビーチ周辺	4 セントファーレ・はなとき通り商店街
5 白谷海浜公園	6 仁崎海水浴場・キャンプ場
7 沙川干潟	8 初立池公園
9 赤羽根文化広場・文化の森	10 サンテパルクたはら
11 蔵王山展望台・権現の森	12 滝頭公園
13 緑が浜公園	14 池ノ原公園・つばき公園
15 博物館・田原城跡周辺	16 田原まつり会館
17 磯・伊川津・黒河湿地・藤七原湿地のシデコブシ	
18 吉胡貝塚・シェルマよしご	19 葉の花畑
20 道の駅田原めつくんはうす	21 道の駅あかねロコステーション・ロコパーク
22 道の駅伊良湖クリスタルポルト	23 図書館
24 親子交流館(すくっと)	25 LaLaGran (ララグラン)
26 その他( )	

問10 あなたは、今後も田原市に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 すっと住み続ける	2 できれば住み続けたい
3 住み続けざるを得ない	4 住み続けたいが市外へ移らざるを得ない
5 できれば市外へ移りたい	6 わからない

施策	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要ではない
(9) 地域福祉の充実 ・担い手の育成・確保 ・福祉施設の充実 ・地域福祉活動の推進 ・権利擁護の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 障がい者福祉の充実 ・自立生活支援の充実 ・地域生活支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 高齢者福祉の充実 ・介護保険制度の安定運営 ・介護予防・フレイル対策の推進 ・地域包括ケアシステムの充実 ・高齢者生活支援の充実 ・生きがいづくりの推進 ・高齢者施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 社会保障の充実 ・国民年金制度の安定運営 ・生活自立支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
教育文化分野について										
(13) 学校教育の充実 ・教育環境の充実 ・教育機会の充実 ・学校施設の充実 ・学校給食の充実 ・高校生等支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14) 生涯学習の充実 ・生涯学習活動の推進 ・生涯学習施設の充実 ・図書館の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15) スポーツの振興 ・スポーツ振興体制の充実 ・スポーツ活動の推進 ・スポーツ施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16) 青少年健全育成の推進 ・青少年健全育成の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(17) 芸術文化の振興 ・芸術文化活動の推進 ・芸術文化施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18) 文化財の継承 ・文化財の保護・活用の推進 ・文化財施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

#### 4 各分野での市の取り組みについて

問11 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。  
また、それぞれの取り組みについて、重要度はどの程度だと思いますか。  
(項目ごとに、「満足度」「重要度」をそれぞれ評価し、該当する番号に○をつけてください。)

施策	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要ではない
<記入例> (1) ○○○○ ×××の推進、△△△の充実										
市民環境分野について										
(1) 市民協働・男女共同参画の推進 ・市民協働まちづくりの推進 ・地域コミュニティ活動の推進 ・男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 地域防犯・交通安全の推進 ・地域防犯活動の推進 ・交通安全活動の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 環境共生の推進 ・環境共生まちづくりの推進 ・環境保全の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 生活衛生の向上 ・食料管理の充実 ・感染症対策の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 資源循環の推進 ・ごみ減量・資源化の推進 ・ごみ処理体制の充実 ・ごみ処理施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
健康福祉分野について										
(6) 健康づくりの推進 ・健康づくりの推進 ・母子保健の推進 ・成人保健の推進 ・感染症予防の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 医療の充実 ・地域医療体制の充実 ・国民健康保険の安定運営 ・福祉医療の充実 ・後期高齢者医療の安定運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8) 子ども・子育て支援の充実 ・子育て支援体制の充実 ・保育の充実 ・児童福祉の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	満足度					重要度				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要ではない
産業経済分野について										
(19) 農業の振興 ・多様な担い手の育成 ・農業経営の活性化 ・環境保全型農業の推進 ・交配・食育・花育の推進 ・農業基盤の整備 ・農地の保全・活用の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20) 水産物の振興 ・水産資源の安定確保 ・漁業経営の活性化 ・水産施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21) 工業の振興 ・工業の活性化 ・三河産の振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22) 商業の振興 ・中小企業の活性化 ・商業地の活性化 ・商業団体支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(23) 観光の振興 ・観光資源の発掘と魅力向上 ・観光基盤の整備 ・観光推進体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(24) 労働環境・消費者支援の充実 ・勤労者支援の充実 ・雇用対策の推進 ・消費者支援の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
都市整備分野について										
(25) 交通基盤の整備 ・広域幹線道路の整備促進 ・幹線道路の整備 ・生活道路の整備 ・道路管理の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26) 公共交通の充実 ・公共交通の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27) 港湾・河川・海岸の整備 ・港湾施設の充実 ・河川・排水路の整備 ・河川・排水路管理の充実 ・海岸管理の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28) 市街地の活性化 ・都市計画の推進 ・市街地の活性化 ・新市街地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	重要ではない		
(29) 地域・住環境の整備 ・集落環境の整備 ・表浜地域の整備促進 ・住環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(30) 上下水道の充実 ・水道事業の健全な経営 ・水道水の安定供給 ・下水道事業の健全な経営 ・下水道施設の適正化 ・し尿収集体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(31) 自然環境の保全 ・森林の保全・利用の推進 ・生態系の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32) 緑化・景観形成の推進 ・景観形成の推進 ・緑化の推進 ・公園・緑地の整備 ・公園・緑地管理の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
消防防災分野について										
(33) 消防・救急体制の充実 ・消防体制の充実 ・消防基盤の整備 ・救急体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(34) 防災・減災体制の充実 ・自主防災組織の推進 ・防災体制の充実 ・防災基盤の整備 ・耐震化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
行政分野について										
(35) 国際化・多文化共生の推進 ・国際交流の推進 ・多文化共生の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(36) 情報体制の充実 ・シティサービスの推進 ・情報共有の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37) 広域連携の推進 ・市町村連携の推進 ・上下関係の推進 ・水源地域の振興 ・産学官連携の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

- 8 -

#### ■議会について

問 14 あなたは、「議会だより」を読んでいますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1 すべて読む  | 2 関心のある記事だけ読む |
| 3 全く読まない | 4 知らない        |

問 15 問 14 で「1 すべて読む」「2 関心のある記事だけ読む」を選んだ方にお聞きします。「議会だより」は読みやすいと思いますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- |         |                 |      |                 |         |
|---------|-----------------|------|-----------------|---------|
| 1 読みやすい | 2 どちらかというと読みやすい | 3 普通 | 4 どちらかというと読みにくい | 5 読みにくい |
|---------|-----------------|------|-----------------|---------|

問 16 あなたは、ティーズやインターネットの議会中継を見ますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 よく見る  | 2 ときどき見る |
| 3 全く見ない | 4 知らない   |

問 17 あなたは、「議員とたはらトーク」(議会報告会、意見交換会)に参加したことがありますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1 参加したことがある | 2 知っているが参加したことはない |
| 3 知らない      |                   |

問 18 問 17 で「1 参加したことがある」を選んだ方にお聞きします。参加のきっかけは何か。(あてはまるものすべてに○)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 議会だより      | 2 案内チラシ(回覧板)    |
| 3 市議会議員からの案内 | 4 校区・地区関係者からの案内 |
| 5 市公式LINE    | 6 市議会ホームページ     |
| 7 その他( )     |                 |

- 10 -

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	重要ではない		
(38) 行政運営 ・施策の総合的な推進 ・土地利用総合調整の推進 ・統計データの充実 ・組織運営の効率化 ・業務基盤の充実 ・財政運営の効率化 ・財源確保の推進 ・財産管理の適正化 ・住民窓口の充実 ・議会運営体制の充実 ・行政委員会運営の適正化 ・その他の行政対応の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問 12 問 11 の(1)～(38)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

<記入例>			
8			

#### 5 個別の取り組みについておたずねします

##### ■市政の情報について

問 13 あなたは、市から発信している市政に関する情報をどの程度活用していますか。

(項目ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

	よく見る	ときどき見る	たどどき見る	知っているが、見	見方がわからない・見る手段がない	知らない
(1) 広報紙(広報たはら)	1	2	3	4	5	
(2) 回覧板(パンフレット、チラシ)	1	2	3	4	5	
(3) 市ホームページ	1	2	3	4	5	
(4) ティーズ(ケーブルテレビ)	1	2	3	4	5	
(5) 新聞(地方紙)	1	2	3	4	5	
(6) 市公式SNS(Instagram、LINE)	1	2	3	4	5	
(7) その他( )	1	2	3	4	5	

- 9 -

##### ■デジタル社会について

問 19 あなたを含めた、ご家族が所有する通信機器についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

- |  |                 |
|--|-----------------|
| 1 家族の1人以上はスマートフォン(携帯電話含む)を持っている            | 9 自宅(世帯)にFAXがある |
| 2 高校生(同年齢)以上の家族全員が、1人1台スマートフォンを持っている       | 10 通信機器を持っていない  |
| 3 中学生以下の家族にもスマートフォンを持っている人がいる              | 11 わからない        |
| 4 家族にスマートフォンを持つ人はいないが、通話専用携帯電話(ガラケー)を持っている |                 |
| 5 自宅(世帯)に1台以上のインターネットに接続できるパソコンまたはタブレットがある |                 |
| 6 自宅(世帯)にインターネット回線が接続されている                 |                 |
| 7 自宅(世帯)にWiFi(無線LAN)がある                    |                 |
| 8 自宅(世帯)に固定電話がある                           |                 |

問 20 あなたを含めた、ご家族のスマートフォン・パソコン・タブレットの使用目的についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

- |  |  |
|--|--|
| 1 メールやLINEなど、SNSで家族や友人などと連絡する          |  |
| 2 趣味や生活で知りたいお店・商品・旅行先・地図・便利な方法などの情報を得る |  |
| 3 ブログやX(旧Twitter)など、SNSで自分や家族の情報を発信する  |  |
| 4 仕事(ITビジネス・業務管理・テレワークなど)や勉強に使う        |  |
| 5 インターネット上で各種予約・買い物・販売などをする            |  |
| 6 買い物・金融・証券取引などの出入金をオンライン決済する          |  |
| 7 ゲームや動画、音楽視聴などに使う                     |  |
| 8 写真データなどの保存や加工などに使う                   |  |
| 9 その他( )                               |  |

問 21 デジタル社会の実現で、特に期待することは何か。(あてはまるもの5つまで○)

- |  |
|--|
| 1 オンライン申請(市役所などに行かず、インターネットで申請・証明書発行など)    |
| 2 オンライン診療(病院へ行かず、自宅のパソコン画面などで医師診療)         |
| 3 オンラインショッピング(スマートフォンやパソコンで注文して配達してもらう)    |
| 4 オンライン授業(学校や学習塾などへ行かず、自宅のパソコン画面などでの授業)    |
| 5 テレワーク・リモートワーク(出社せず、自宅や旅行先などでパソコンを使って仕事)  |
| 6 オンライン会議(会社や自宅のパソコン画面などに映って行う会議など)        |
| 7 ICカード・オンライン決済(サービス・買い物代金などを現金を使わずに支払うなど) |
| 8 労働力不足を解消するため、重労働や大量処理、接客などの業務を自動化するシステム  |
| 9 子育てや介護の分野を省力化・自動化するシステム                  |
| 10 高齢者などが、行きたいところに車で行ける自動運転システム            |
| 11 その他( )                                  |

- 11 -

問 22 デジタル社会に変化していくことで、特に不安に感じることは何ですか。  
(あてはまるもの3つまで○)

- 1 スマートフォンなどの機器の使い方がわからない
- 2 デジタルを使いこなせる人と使えない人の格差が広がる
- 3 デジタル用語はカタカナ表記が多く、意味が理解しにくい
- 4 個人情報漏洩や不正利用などが発生する
- 5 インターネット悪質サイトの詐欺などの犯罪被害が増える
- 6 情報が多すぎて、何を信じてよいかわからない
- 7 機器の購入代金や使用料の費用負担が増える
- 8 人と人とのふれあひの喪失や人間関係の希薄化
- 9 社会変化に取り残されるのではないかと不安
- 10 その他 ( )

■**沙川干潟について**

問 23 あなたは、「沙川干潟」(三河湾沿岸の沙川河口から豊橋市にかけて広がる自然の干潟)に行ったことはありますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 沙川干潟に行ったことがある
- 2 沙川干潟という名前は知っているが、行ったことはない
- 3 沙川干潟という名前すら知らない

問 24 あなたは、沙川干潟をはじめとした「豊かな自然環境」を保全するためには、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるもの2つまで○)

- 1 漂着ごみ・投棄ごみを無くす
- 2 河川や海の水質浄化
- 3 外来生物の駆除など生態系を保全
- 4 立入制限など管理を徹底し生態系を保護
- 5 自然に関する情報発信やイベント実施などの啓発活動

■**防災対策について**

問 25 自宅からの避難場所(避難所・一時避難場所)、避難経路についてお聞きします。  
(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 避難場所、避難経路ともに知っており、訓練などで確認したことがある
- 2 避難場所、避難経路ともに知っているが、訓練などで確認したことはない
- 3 避難場所は知っているが、避難経路は知らない
- 4 避難場所も避難経路も知らない

問 26 災害時は、食料などの支援物資が被災された皆さんのもとへすぐに届くわけではありません。支援物資が届くまでの間、個人(家庭)で備蓄する食料は最低何日必要だと思いますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 1～2日程度
- 2 3～4日程度
- 3 5～6日程度
- 4 1週間以上
- 5 個人での備蓄は必要ない

問 27 あなたの自宅に普段から備蓄している食料(調理不要な食品など)で、災害時に何日程度生活できると思いますか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 1～2日程度
- 2 3～4日程度
- 3 5～6日程度
- 4 1週間以上
- 5 備蓄をしていない

問 28 あなたは、「田原市防災アプリ」または「安心安全ほっとメール」を登録していますか。  
(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 登録している
- 2 登録していない

問 29 問 28 で「2 登録していない」と回答された方にお聞きします。登録をしていない主な理由は何ですか。(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 手間がかかる(面倒)
- 2 登録方法がわからない
- 3 通信料などの利用料金がかかる
- 4 携帯電話・スマートフォンを持っていない
- 5 テレビ・ラジオなどで十分
- 6 大きな災害が起きると思わない
- 7 その他 ( )

■**上下水道について**

問 30 上下水道について、知っていることをお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 水道事業と下水道事業は、税金ではなく料金収入で運営されるものである。
- 2 田原市の水道料金は、1か月あたりの固定料金(基本料金)と使用水量に応じた使用水量料金の2種類で構成されている。
- 3 昭和50年代頃に整備された水道管・下水道管・施設などの老朽化が進んでおり、今後、断水や道路陥没など、日常生活に影響を及ぼす可能性が高くなっていく。
- 4 上下水道事業の経営状況や、水道水の水質検査結果などの情報が市ホームページで確認できる。

問 31 安定的な上下水道のサービスを維持するため、田原市では令和6年4月に上下水道料金を改定しました。あなたは、料金改定をどのようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 今まで知らなかった
- 2 広報紙(広報たはら)
- 3 市ホームページ
- 4 ティーズ(ケーブルテレビ)、新聞
- 5 家族、友人、知人
- 6 使用水量等のお知らせ(検針票)の通信欄
- 7 請求額(口座振替額)を見て
- 8 その他 ( )

問 32 水道水の安定供給や適切な汚水処理のためには、今後、老朽化した施設の更新や地震対策などに多額の費用が必要です。料金とサービスのバランスについて、どのように考えますか。  
(あてはまるもの1つだけ○)

- 1 料金を値上げして、老朽施設の更新などを積極的に進めるべき
- 2 料金を少しだけ値上げして、老朽施設の更新などができる範囲で進めるべき
- 3 料金の値上げをせず、老朽施設の更新などは先送りすればよい
- 4 わからない
- 5 その他 ( )

■**市内の公共施設について**

問 33 公共施設の老朽化により、多額の建替費用や修繕費用が必要となっています。また、少子高齢化の更なる進行が予想され、全ての施設を現状のまま維持することは難しくなります。あなたは、この問題に対し、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(施設ごとに、あてはまる数字を1つだけ○)

	施設を現状維持するために、他の行政サービスの低下も仕方ない	施設の使用料を上げて(または有料化して)、現在の施設を維持すべき	他の行政サービスを維持するため、施設の統合があっても仕方ない
1 児童福祉施設 [親子交流館(すくっと)、児童センター]	1	2	3
2 保健・福祉施設 [福祉センター、ライフランド]	1	2	3
3 ごみ処理施設 [資源化センター、環境センター等]	1	2	3
4 生涯学習施設 [図書館]	1	2	3
5 文化施設 [文化会館、文化ホール等]	1	2	3
6 文化財施設 [博物館、郷土資料館等]	1	2	3
7 スポーツ施設 [総合体育館、陸美運動公園等]	1	2	3
8 観光施設 [道の駅、蔵王山展望台、サンテバルク等]	1	2	3
9 市民館	1	2	3

6 **市政に対するご意見**

問 34 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

## 2 市内事業者

### 田原市市民意識調査(市内事業者アンケート)

#### アンケート調査へのご協力のお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
 田原市では、市政へ市民の皆様のご意見を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定めた将来都市像「うるおいと活力あふれるガーデンシティ〜みんなが幸せを実現できるまち〜」の実現を目指すための基礎資料として、市内に事業所を有する皆様のご意見をお伺いするものです。  
 ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。  
 ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月

田原市長 山下 政良

**【回答方法】**

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」  
どちらかを選択してください

「Web」回答  
(スマートフォン・パソコン)

別紙「Web回答方法」をご覧ください。

認証ID

「紙」回答

○ このアンケート用紙に直接記入してください。

○ 同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。

○ 回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○を付けてください。

**ご記入にあたって**

○ 認証IDと回答者を紐づけておらず、回答者を特定することはありませんので、率直に思ったことをお答えください。

○ このアンケートは、**7月22日(火)まで**にご回答(投函)ください。

○ このアンケートについて、ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-23-3507(直通)

### 1 あなたの事業所について

問1 あなたの事業所についてお聞きします。

企業形態 (○は1つ)	1 個人企業(個人経営)      2 株式会社 3 有限会社                      4 合名・合資会社 5 その他( )
本社・事業所区分 (○は1つ)	1 本社(事業所・工場併設の本社) 2 支社・支店・事業所 3 本社以外の分工場 4 チェーン直営店もしくは加盟店 5 その他( )
資本金 (○は1つ)	1 個人企業であるため資本金はない 2 1,000万円未満 3 1,000万円以上3,000万円未満 4 3,000万円以上1億円未満 5 1億円以上
業種 (○は1つ)	1 鉱業                              2 建設業 3 製造業                          4 電気・ガス・熱供給・水道業 5 情報通信業                    6 運輸業 7 卸売・小売業                  8 金融・保険業 9 不動産業                        10 飲食店・宿泊業 11 医療・福祉                    12 教育・学習支援業 13 サービス業                    14 その他( )
従業員数 (○は1時点)	総数(      人      うち田原市在住(      人) 【内訳】正社員(      人) 派遣社員(      人) パート(      人) アルバイト(      人) 期間従業員(      人) その他(      人)
あなたの事業所(工場)の従業員の居住先の概ねの比率(各項目に数値を記入)	1 市内(      %)                              2 豊橋市(      %) 3 愛知県内(      %) ※田原市、豊橋市を除く 4 愛知県外(      %)
田原市での事業年数 (○は1つ)	1 1年未満                              2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満                4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満              6 20年以上

-2-

### 2 田原市の事業環境について

問2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

問3 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○は1つ)

1 良くなった	2 厳しくなった	3 変わらない	4 5年前は事業をしていない
---------	----------	---------	----------------

問4 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、厳しくなった点などを、具体的にお願いします。

.....

.....

.....

.....

### 3 あなたの事業所の事業について

問5 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前の売上高の何倍程度ですか。(○は1つ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～約0.8倍未満	3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満	7 約2.0倍以上	8 5年前は事業をしていない

-3-

問6 あなたの事業所の直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)の何倍程度ですか。(○は1つ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～約0.8倍未満	3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～約2.0倍未満	7 約2.0倍以上	8 5年前は事業をしていない

問7 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。(○は3つまで)

1 売上額の減少	2 利幅の縮小
3 物流・在庫コストの増大	4 人件費の増加
5 資金調達困難	6 相続税、固定資産税等の税金対策
7 大手企業との競争激化	8 同業者との競争激化
9 取引先減少、業績不振	10 国際競争の激化
11 コストダウン要求の強まり	12 市場の成熟、縮小
13 自然災害(地震・津波・高潮等)の脅威	14 高速度路・高規格道路へのアクセス
15 情報化(デジタル化)への対応	16 後継者不足
17 人手・人材不足	18 その他( )

問8 あなたの事業所が今後重視したい取り組みは何ですか。(○は3つまで)

1 新分野への進出	2 新技術や新商品の開発
3 情報化(デジタル化)への対応	4 国際化への対応
5 経営組織の見直し	6 企業間ネットワークの推進
7 人材の確保・育成	8 マーケティングや販路・市場開拓
9 資金調達の円滑化	10 後継者の確保・育成
11 事業の再構築	12 外部経営資源の活用
13 副業・兼業人材の活用	14 スタートアップ企業との共創
15 その他経営方針の見直し	16 その他( )

-4-

問9 経営課題を解決する上で、必要となる市の取り組みがありましたら、具体的に  
ご記入ください。

-----  
-----  
-----  
-----

**4 市の施策について**

問10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
<記入例> ①○○○○	5	4	3	3	1	5	4	3	2	1
①企業誘致の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②企業の空洞化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③企業用地の確保・整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④幹線道路網などの交通基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤設備投資に対する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥情報提供の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧販売力、商品開発力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨市街地の活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩魅力的な商業機能の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪商工会や商業団体などへの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫雇用対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

⑬産学官連携による産業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑭観光資源の開発と活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮防災対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯環境問題に配慮した事業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰外国人労働環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**5 従業員の雇用環境について**

問11 あなたの事業所の新規卒卒者の採用状況、今後5年間の採用見込みをお聞かせください。

(1) 令和7年度の新規卒卒者 ( ) 人  
(2) 令和8年度以降5年間の採用見込み ( ) 人

問12 あなたの事業所では、定年制の延長についての取り組みが行われていますか。

1 既に取り組みを行っている      2 検討を進めている  
3 当面考えていない

**6 従業員の市内定住対策について**

問13 従業員の方が田原市に住んでいただくためには、特にとどのような対策が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1 医療・福祉の充実      2 教育環境の充実  
3 住宅取得環境の充実      4 商業・サービス機能の充実  
5 余暇・娯楽機能の充実      6 公共交通機能の充実  
7 道路環境の充実      8 結婚支援の充実  
9 出産・子育て支援の充実  
10 その他 ( )

**7 農業分野での事業展開について**

問14 田原市は、農業産出額が全国トップクラスです。あなたの事業所では、農業分野に関連した事業展開をお考えですか。(○は1つ)

1 考えている      2 考えていない

「1 考えている」と答えた方にお聞きします。どんな事業をお考えですか。

-----  
-----  
-----  
-----

**8 環境共生について**

問15 環境や景観などに配慮した事業経営を行っていますか。(○は1つ)

1 はい      2 いいえ

「1 はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮していますか。

-----  
-----  
-----  
-----

**9 男女共同参画について**

問16 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

1 はい      2 いいえ

「1 はい」と答えた方にお聞きします。どんなことに配慮して取り組んでいますか。

-----  
-----  
-----  
-----

**10 地域社会への貢献活動について**

問17 あなたの事業所では、地域社会へ何らかの貢献活動を行っていますか。(○は1つ)

1 はい      2 いいえ      3 どちらともえない



# 3 市内農業者

## 田原市市民意識調査（農業者アンケート）

### アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
 田原市では、市政へ市民の皆様のご意見を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定めた将来都市像「うるおいと活力あふれるガーデンシティ〜みんなが幸せを実現できるまち〜」の実現を目指すための基礎資料として、市内の農業者の皆様から農業に関するご意見をお伺いするものです。  
 ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。  
 ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月

田原市長 山下 政良

### 【回答方法】

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」  
 どちらかを選択してください

「Web」回答  
 (スマートフォン・パソコン)

別紙「Web回答方法」をご覧ください。

認証ID

「紙」回答

- このアンケート用紙に直接記入してください。
- 同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。
- 回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○を付けてください。

### ご記入にあたって

- 認証IDと回答者を紐づけておらず、回答者を特定することはありませんので、率直に思ったことをお答えください。
- このアンケートは、7月22日(火)までにご回答(投函)ください。
- このアンケートについて、ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-23-3507（直通）

## 1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお聞きます。

専業・兼業の別 (○は1つ)	1 専業      2 兼業
個人・法人の別 (○は1つ)	1 個人      2 法人
農業に従事している人数 (回答者を含んだ数)	・常時農業に従事している人 (男性 人 女性 人) ・臨時に農業に従事する人 (男性 人 女性 人) 【上記の内訳】 ・家族(本人含む) _____人 ・正社員(家族を除く) _____人 ・パート・アルバイト _____人 ・日本人研修生 _____人 ・外国人技能実習生または特定技能 _____人 ・その他 _____人
おおよその耕地面積 (1ha=10,000㎡)	・耕作地 ( ) ha ・不耕作地 ( ) ha
主な農作物	① _____ ② _____ ③ _____
おおよその農業所得 (R6. 1.1～R6. 12.31)	( ) 万円
田原市での就農年数 (○は1つ)	1 1年未満      2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満      4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満      6 20年以上

- 1 -

## 2 田原市の農業全般について

問2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- 1 はい      2 いいえ      3 どちらともいえない

問3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○は1つ)

- 1 良くなった      2 悪くなった  
 3 変わらない      4 5年前は営農していない

問4 あなたは、農業産出額全国トップクラスの田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 物流を支える道路網の整備
- 2 環境や経費削減に配慮した栽培技術の導入
- 3 悪臭・景観などに配慮した農業の推進
- 4 生産性向上のための機械化・IT化
- 5 農地・農道・用排水路の整備等の土地改良事業
- 6 労働力の確保
- 7 食を学び取り組み(食育)の推進
- 8 安心・安全な農畜産物の生産・供給
- 9 農業のイメージを向上させる啓発活動
- 10 国内外への販路拡大の取り組み
- 11 遊休農地の解消への取り組み
- 12 農商工連携・6次産業化の推進
- 13 農業経営の法人化
- 14 地域農業の中心となる経営者の育成
- 15 新規就農者の育成
- 16 農畜産物の産地ブランド化の推進
- 17 市民農園の整備などによる都市住民との交流
- 18 農業ヘルパー派遣制度の維持
- 19 女性の農業経営参画
- 20 中心となる農業経営体への農地の集約化
- 21 集出荷施設等の物流システムの整備
- 22 外国人技能実習制度の活用
- 23 その他(具体的に: )

- 2 -

## 3 あなたの農業経営について

問5 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

- 1 約0.8倍未満      2 約0.8倍～約1.0倍未満  
 3 約1.0倍～約1.2倍未満      4 約1.2倍以上  
 5 5年前は営農していない

問6 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

- 1 約0.8倍未満      2 約0.8倍～約1.0倍未満  
 3 約1.0倍～約1.2倍未満      4 約1.2倍以上  
 5 5年前は営農していない

問7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○は1つ)

- 1 規模を拡大していきたい      2 現状のままでいきたい  
 3 規模を縮小していきたい      4 やめたい  
 5 その他(具体的に: )

問8 あなたは、ご自身の農業経営に満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している      2 やや満足している  
 3 どちらともいえない      4 やや不満足である  
 5 不満足である      6 わからない

問9 あなたの農業経営で、重要と考えることは何ですか。(○は3つまで)

- 1 自分の才覚      2 行政の支援
- 3 技術支援体制の確保      4 品目・品種の選択
- 5 農地の確保      6 販路の確保
- 7 後継者の確保      8 農畜産物価格の安定
- 9 労働力の確保      10 新しい栽培技術の導入
- 11 設備投資      12 ICTや省力化機械等の導入
- 13 その他(具体的に: )

- 3 -

問 10 あなたの農業経営の後継者はいますか。(○は1つ)

1 後継者がいる	)
2 後継者候補がいる	
3 後継者はいない	
4 その他(具体的に: )	

問 11 あなたが、10年以内に取り組もうと考えていることはありますか。(あてはまるものすべて○)

1 農山漁村滞在型旅行(農泊)の受け入れ	2 農畜産物の海外輸出
3 農畜産物の加工・販売(6次産業化)	4 農家レストラン
5 農業生産工程管理(GAP)の導入	6 有機JASの認証取得
7 栽培品目の転換	8 少量多品目栽培
9 通信販売	10 観光農園
11 その他(具体的に: )	

#### 4 多様な担い手の育成について

問 12 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
<記入例> (1) ○○○○	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(1) 認定農業者制度や経営体支援による担い手の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 農地の幹旋などによる新規就農者の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 小規模経営体や女性農業者などの多様な担い手の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 雇用就農や外国人技能実習などの多様な労働人材の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

- 4 -

#### 5 農業経営の活性化について

問 13 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(5) 農畜産物の知名度やブランド力の向上	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 国内外への販路拡大に向けた取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(8) ICTや省力化機械等の導入支援によるスマート農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

#### 6 環境保全型農業の推進について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(9) 適正な家畜ふん尿処理の支援や家畜排せつ物の資源化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 農作物に被害を及ぼす有害鳥獣対策や家畜の防疫対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 脱炭素農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

- 5 -

#### 7 交流・食育・花育の推進について

問 15 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(13) 芦ヶ池農業公園(サンテパルクたはら)の市民農園を活用した都市と農村との交流	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14) 食育・花育の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

#### 8 農業基盤の整備について

問 16 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(15) 農道舗装や排水路の整備、農地の区画拡大	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16) ため池や農業用排水施設の改修などの災害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

- 6 -

#### 9 農地の保全・活用の推進について

問 17 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(17) 貸し手と借り手のマッチングなどによる遊休農地の解消や農地の有効利用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

#### 10 市政に対するご意見

問 18 今後、田原市の農業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

-----

-----

-----

-----

-----

ご協力ありがとうございました。

- 7 -

# 4 市内漁業者

## 田原市市民意識調査（漁業者アンケート）

### アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
 田原市では、市政へ市民の皆様意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定めた将来都市像「うるおいと活力あふれるガーデンシティ～みんなが幸せを実現できるまち～」の実現を目指すための基礎資料として、市内の漁業者の皆様から漁業に関するご意見をお伺いするものです。  
 ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。  
 ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月

田原市長 山下 政良

### 【回答方法】

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」  
 どちらかを選択してください

「Web」回答  
 (スマートフォン・パソコン)

別紙「Web回答方法」をご覧ください。

認証ID

「紙」回答

- このアンケート用紙に直接記入してください。
- 同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。
- 回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○を付けてください。

### ご記入にあたって

- 認証IDと回答者を紐づけおらず、回答者を特定することはありませんので、率直に思ったことをお答えください。
- このアンケートは、7月22日(火)までにご回答(投函)ください。
- このアンケートについて、ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-23-3507 (直通)

## 1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお聞きます。

専業・兼業の別 (○は1つ)	1 専業      2 兼業
漁業に従事している人数 (回答者を含んだ数)	1 常時漁業に従事している (男性 人 女性 人) 2 臨時に漁業に従事している (男性 人 女性 人)
主な漁獲物	① _____ ② _____ ③ _____
おおよその漁業所得 (R6.1.1～R6.12.31)	(                      ) 万円
田原市での就漁年数 (○は1つ)	1 1年未満      2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満      4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満      6 20年以上

- 1 -

## 2 田原市の漁業全般について

問2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

- 1 はい      2 いいえ      3 どちらともいえない

問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○は1つ)

- 1 良くなった      2 厳しくなった  
3 変わらない      4 5年前は漁業をしていない

## 3 あなたの漁業経営について

問4 あなたの直近の売上高は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

- 1 約0.8倍未満      2 約0.8倍～約1.0倍未満  
3 約1.0倍～約1.2倍未満      4 約1.2倍以上  
5 5年前は漁業をしていない

問5 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前に比べ何倍程度ですか。(○は1つ)

- 1 約0.8倍未満      2 約0.8倍～約1.0倍未満  
3 約1.0倍～約1.2倍未満      4 約1.2倍以上  
5 5年前は漁業をしていない

問6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○は1つ)

- 1 規模を拡大していきたい      2 現状のままでいきたい  
3 規模を縮小していきたい      4 やめたい  
5 その他(具体的に:                      )

問7 あなたは、ご自身の漁業経営に満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している      2 やや満足している  
3 どちらともいえない      4 やや不満足である  
5 不満足である      6 わからない

問8 あなたの漁業経営で、重要と考えることは何ですか。(○は3つまで)

- 1 自分の才覚      2 行政の支援  
3 漁協の指導      4 規模の拡大  
5 販売・流通対策      6 後継者の育成  
7 販売価格の安定      8 船や道具などの設備投資  
9 種苗放流      10 資源管理型漁業の実践  
11 漁場造成      12 有害生物の除去  
13 広告・宣伝・ブランド化  
14 その他(具体的に:                      )

- 2 -

- 3 -

**4 水産資源の安定確保について**

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
<記入例> (1) ○○○○	5	4	3	3	1	5	4	3	2	1
(1) あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保・増大	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 漁場環境の改善、環境生態系に配慮した漁業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問10 あなたは環境生態系に配慮した漁業経営を行っていますか。(○は1つ)

1 はい                      2 いいえ                      3 どちらともいえない

**5 漁業経営の活性化について**

問11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(3) 漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 水産物のブランド化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 担い手の確保・育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問12 漁業経営を強化するためには、どのような取り組みが必要だとお考えですか。理由もあればご記入ください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

問13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が必要だとお考えですか。(○は1つ)

1 後継者やU I J ターン者に対する支援の充実  
2 漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備  
3 意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導  
4 後継者や漁業参入希望者への技術指導  
5 その他(具体的に: )

**6 水産施設の充実について**

問14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(6) 漁港の適正な管理や長寿命化などの環境整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**7 市政に対するご意見**

問15 今後、田原市の漁業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

ご協力ありがとうございました。

# 5 市内団体

## 田原市市民意識調査(市内団体アンケート)

### アンケート調査へのご協力のお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
 田原市では、市政へ市民の皆様の意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。この調査は、田原市総合計画で定めた将来都市像「うるおいと活力あふれるガーデンシティ～みんなが幸せを実現できるまち～」の実現を目指すための基礎資料として、市内の各種団体の皆様のご意見をお伺いするものです。  
 ご回答いただいた内容は、全て統計的に処理し、回答者を特定するような調査結果の利用や他の目的への利用は一切ございません。  
 ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年7月

田原市長 山下 政良

**【回答方法】**

「Web(スマートフォン・パソコン)」または「紙」  
どちらかを選択してください

「Web」回答  
(スマートフォン・パソコン)

別紙「Web回答方法」をご覧ください。

確認ID

「紙」回答

○このアンケート用紙に直接記入してください。  
 ○同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。  
 ○回答は、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○を付けてください。

**ご記入にあたって**

○認証IDと回答者を紐付けておらず、回答者を特定することはありませんので、率直に思ったことをお答えください。  
 ○このアンケートは、**7月22日(火)まで**にご回答(投函)ください。  
 ○このアンケートについて、ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課企画係 電話：0531-23-3507(直通)

- 問5 活動する人・正会員の年齢は、どの年代が多いですか。(○は2つ)
- |        |        |         |           |
|--------|--------|---------|-----------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代  | 4 40歳代    |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 | 8 特に特徴はない |
- 問6 活動の地域は、主にどこですか。(○は1つ)
- |           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| 1 小学校区内   | 2 中学校区内 | 3 市内    |
| 4 市内及び豊橋市 | 5 県内    | 6 全国・国際 |
- 問7 主な活動目的をお聞かせください。(○はいくつでも)
- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1 地域コミュニティ     | 2 男女共同参画      | 3 地域防犯    |
| 4 交通安全         | 5 環境共生        | 6 環境保全    |
| 7 資源循環         | 8 健康づくり       | 9 地域福祉    |
| 10 児童福祉・子育て支援  | 11 障害者支援      | 12 高齢者支援  |
| 13 農水産業        | 14 商工業        | 15 観光     |
| 16 雇用・労働       | 17 消費者対策      | 18 市街地整備  |
| 19 居住環境整備      | 20 自然環境整備     | 21 里山保全   |
| 22 景観整備        | 23 学校教育       | 24 生涯学習   |
| 25 スポーツ        | 26 青少年健全育成    | 27 芸術文化   |
| 28 消防・防災       | 29 国際交流・多文化共生 | 30 災害復興支援 |
| 31 まちづくり       | 32 人権擁護       | 33 平和推進   |
| 34 その他(具体的に: ) |               |           |

問8 あなたの団体の財政についてお聞きします。  
 年間活動費はいくら程度ですか。( )万円程度

## 1 団体の概要について

問1 あなたの団体の設立年月についてお聞きします。

設立年月 : 明治・大正・昭和・平成・令和 年 月

問2 あなたの団体の組織体制についてお聞きします。

下の一覧表の該当する欄に、数字(いない場合には「0(ゼロ)」と記入、(4)については、どちらかに○)をご記入ください。

(1) 理事	人
(2) 運営メンバー	
・常勤(フルタイム)※	人
・非常勤(パートタイマー・アルバイト)	人
・その他(具体的に: )	人
(3) 会員・社員構成	
・活動する人・正会員	人・会員
・支援者・賛助会員	人・会員
・その他(具体的に: )	人・会員
(4) 規則・会則・定款	あり・なし

※おおむね週30時間以上働いていることを常勤(フルタイム)の日安とします。

問3 あなたの団体は、次のどの分類にあてはまりますか。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 NPO法人(認定取得済)     | 2 ボランティア・市民活動団体 |
| 3 医療法人・社会福祉法人・社団法人 | 4 地域団体          |
| 5 経済団体・協同組合等       |                 |
| 6 その他(具体的に: )      |                 |

問4 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。(○は1つ)

- |           |           |        |
|-----------|-----------|--------|
| 1 ほとんど男性  | 2 やや男性が多い | 3 ほぼ同じ |
| 4 やや女性が多い | 5 ほとんど女性  |        |

- 1 -

## 2 団体の活動について

問9 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(○は1つ)

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1 週に5回以上      | 2 週に3、4回程度 |
| 3 週に1、2回程度    | 4 月に1、2回程度 |
| 5 2～3ヶ月に1回程度  | 6 年に数回程度   |
| 7 その他(具体的に: ) |            |

問10 事務所、会合場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(○は1つ)

- |               |          |
|---------------|----------|
| 1 会員の個人宅      | 2 市民館    |
| 3 地区集会所       | 4 文化会館など |
| 5 専用の事務所      | 6 会員の勤務先 |
| 7 その他(具体的に: ) |          |

問11 あなたの団体が活動を進めていく上で、次の問題についてどれくらいあてはまりますか。(項目ごとに○は1つ)

	あてはまる	少しあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) 活動に参加する人数が少ない	5	4	3	2	1
(2) 活動に積極的な人材が少ない	5	4	3	2	1
(3) リーダーになれる人が少ない	5	4	3	2	1
(4) 会員が高齢化している	5	4	3	2	1
(5) 後継者がいない	5	4	3	2	1
(6) 活動拠点などが確保しにくい	5	4	3	2	1
(7) 活動資金が足りない	5	4	3	2	1
(8) 活動に必要な情報の収集方法がない	5	4	3	2	1
(9) 活動をPRする力が弱い	5	4	3	2	1
(10) 活動をすすめていくための専門的な知識や能力が不足している	5	4	3	2	1
(11) 活動の調整に苦労している	5	4	3	2	1
(12) 役員会などの運営に苦労している	5	4	3	2	1
(13) 他団体との交流がない	5	4	3	2	1
(14) 他団体と連携がない	5	4	3	2	1
(15) 地域の理解が得られない	5	4	3	2	1
(16) 家族の理解が得られない	5	4	3	2	1
(17) 職場の理解が得られない	5	4	3	2	1
(18) 行政の理解が得られない	5	4	3	2	1

- 4 -

### 3 市との連携・協力について

問12 あなたの団体にとって、市との連携・協力は重要ですか。(○は1つ)

1 非常に重要	2 どちらかといえば重要
3 どちらともいえない	4 どちらかといえば重要ではない
5 重要ではない	

問13 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(○はいくつでも)

1 補助金による援助	2 場所や物品、機材等の提供
3 市の広報紙を使った団体の情報提供	4 他の団体の紹介、関係の調整など
5 リーダーの養成、技術養成の研修	6 市の施設の利用割引や優先提供
7 市の情報の開示、共有化	8 市の基金による支援
9 市の事業の共同企画	10 市の事業の委託
11 市から県・国や企業等への働きかけ	12 表彰、顕彰
13 組織の立ち上げ、運営方法に関する支援	14 市職員の活動への参加
15 その他(具体的に: )	

問14 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(○はいくつでも)

1 市民協働まちづくり条例	2 市民協働まちづくり基金
3 市民協働まちづくり会議	4 市民協働のまちづくり方針
5 田原市民活動支援センター	6 市民協働まちづくり事業補助金
7 パブリックコメント制度	8 各種審議会委員の市民公募
9 市民の声メール(市ホームページ)	10 市民提案箱
11 市民提案型委託事業	12 社会貢献活動災害補償制度
13 どすごいネット(東三河市民活動情報サイト)	
14 その他( )	

- 5 -

問15 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(○はいくつでも)

1 市から補助金を受けている
2 市から業務委託を受けている
3 市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している
4 市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている
5 市に対して要望や陳情を行っている
6 市に対して具体的な施策提案をしている
7 事務局が市の関係部署、関係施設内にある
8 市の施設を利用して活動を行っている
9 市とは特に関係を持っていない

問16 田原市民活動支援センターについて、あてはまるものに○をつけてください。

	あてはまる	少しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) センターを知っている	5	4	3	2	1
(2) センターを利用したことがある	5	4	3	2	1
(3) センターは使いやすいと思う	5	4	3	2	1
(4) センターの対応に満足だ	5	4	3	2	1
(5) センターの情報提供は適切だ	5	4	3	2	1
(6) センターのメールやSNSによる情報発信を知っている	5	4	3	2	1
(7) センターのメールやSNSによる情報発信を利用している	5	4	3	2	1

問17 田原市民活動支援センターに欲しい、もしくは必要だと思う機能があれば、ご記入ください。(自由記述)

- 6 -

問18 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」に○を1つずつ)

	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない
(1) 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問19 あなたの団体は、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

### 4 市政に対するご意見

問20 その他、普段お考えになっていること、団体の将来の展望、市に対するご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。

- 7 -

# 6 中学生

## [ 市民の『幸せ』に関するアンケート（中学生） ]

別紙2

このアンケートは、田原市が目指すまちづくり「みんなが幸せを実現できるまち」に向けた取り組みの基礎調査として、市内の中学2年生全員を対象に、3年に一度実施するアンケート調査です。  
自分の考えや感覚に一番近いと思う番号に○を付けて下さい。

アンケートにご協力をお願いします



### Q1 あなたにとっての『幸せ』について

① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0  
 とても幸せ ←————→ とても不幸  
 ● 点数の理由は？ ( )

② あなた自身が『幸せ』であるために、重要だと思うことは何ですか？ (○を3つまで)

- |                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| ① 家族の仲が良いこと       | ⑧ 良い学習環境(学校・塾・自習)があること      |
| ② 友達と仲が良いこと       | ⑨ 家族・先生・友達から認められること         |
| ③ 自分や家族が健康なこと     | ⑩ ボランティア活動など、地域の人とふれあいがあること |
| ④ 不自由なく普通に生活できること | ⑪ 将来の夢があること。夢に向かって頑張ること     |
| ⑤ 学校生活が楽しいこと      | ⑫ 趣味や習い事など、好きなことができること      |
| ⑥ 部活動が楽しいこと       | ⑬ 自由な時間があること                |
| ⑦ 成績が良いこと         | ⑭ お小遣いなど、自由に使えるお金があること      |
| ⑮ その他( )          |                             |

③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？

(例：将来の夢のために習い事を頑張っている。家族とたくさん会話をするようにしている。など)

1. している    2. あまりしていない    3. していない    4. わからない

● 何をしている？ ( )

④ あなたは普段の生活のなかで、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？ (例：家の手伝いを進んでやっている。いつもみんなに笑顔で挨拶している。など)

1. している    2. あまりしていない    3. していない    4. わからない

● 何をしている？ ( )

### Q2 あなたの学校生活について

① あなたは学校生活が楽しいですか？

1. とても楽しい    2. まあまあ楽しい    3. 普通    4. あまり楽しくない    5. 楽しくない

② あなたには信頼できる友達がいますか？

1. たくさんいる    2. 少しいる    3. いない

③ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

1. ある    2. ない

### Q3 あなたの普段の生活・家族との関係について

① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

1. とても満足    2. まあまあ満足    3. 普通    4. 少し不満    5. 不満

② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

1. ある    2. ない

③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

1. 感じる    2. 感じない

④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

1. ある    2. ない

⑤ あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？

1. 楽しみ    2. 楽しみではない

### Q4 その他

自由意見

あなたにとつての幸せとは何ですか？

ご協力ありがとうございました！



田原市市民意識調査報告書

発行年月：令和7年12月

発行：愛知県田原市 企画部企画課  
〒441-3492

愛知県田原市田原町南番場 30 番地 1

電話：0531-22-1111（代表）

F A X：0531-23-0669

E-mail：kikaku@city.tahara.aichi.jp